2-341-2

環境影響評価書

－江戸川清掃工場建替事業－

資　料　編

令和元年 7 月

東京二十三区清掃一部事務組合

目　次

6　対象事業の目的及び内容
6.2　事業の内容 …… 1
6.3　施工計画及び供用計画 …… 5
7　環境影響評価の項目
7.1　選定した（しなかった）項目及びその理由 …… 29
8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価
8.1　大気汚染 …… 59
8.2　悪臭 …… 153
8.3　騒音・振動 …… 159
8.4　土壌汚染 …… 205
8.5　地盤 …… 209
8.6　水循環 …… 239
8.7　日影 …… 241
8.8　電波障害 …… 245
8.9　景観 …… 251
8.11　廃棄物 …… 253
8.12　温室効果ガス …… 263

写真集　…… 269

6　対象事業の目的及び内容

6　対象事業の目的及び内容

6.2　事業の内容

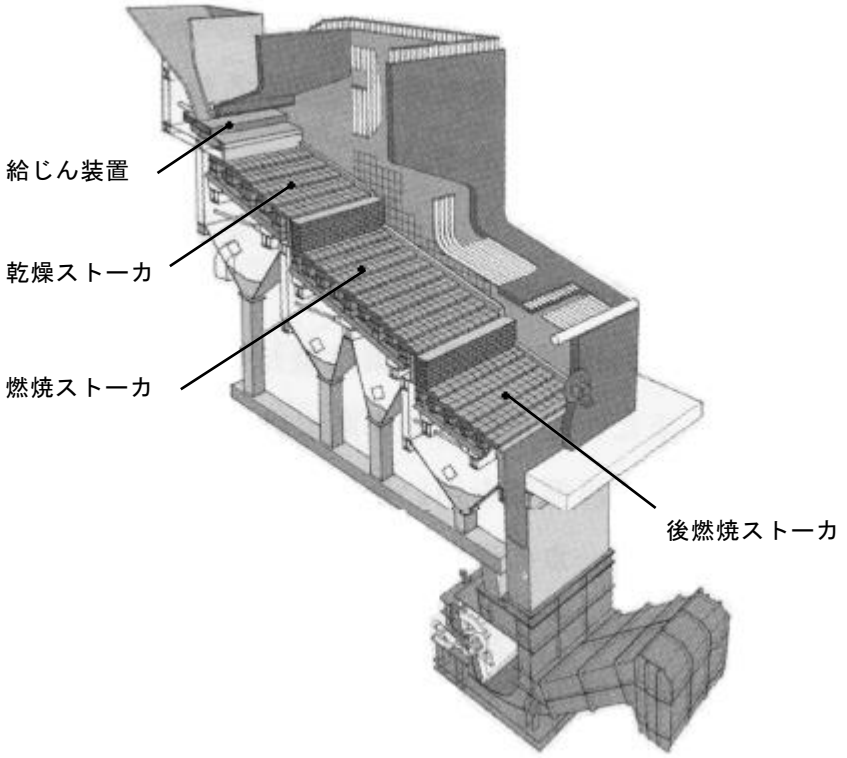
6.2.1 計画の内容

（1） 設備計画

ア　設備の概略

(ｱ) 焼却炉設備（参考）

本事業において導入する焼却炉は、全連続燃焼式火格子焼却炉であり、その代表的な構造は、図 6.2-1に示すとおりである。可動の火格子と固定の火格子を交互に段階状に配列し、可動火格子の往復運動によりごみを移動させながら燃焼させる方式のものである。



資料）「ごみ処理施設整備の計画・設計要領（2006 改訂版）」（平成 18 年、（社）全国都市清掃会議）

図 6.2-1　焼却炉の構造（参考）

(ｲ)　排ガス処理設備

a　ろ過式集じん器（参考）

ごみ焼却ガス中のばいじんを除去する集じん設備は、ろ過式集じん器、電気集じん器及び機械式集じん器等があるが、現在、清掃一組ではろ過式集じん器を採用している。

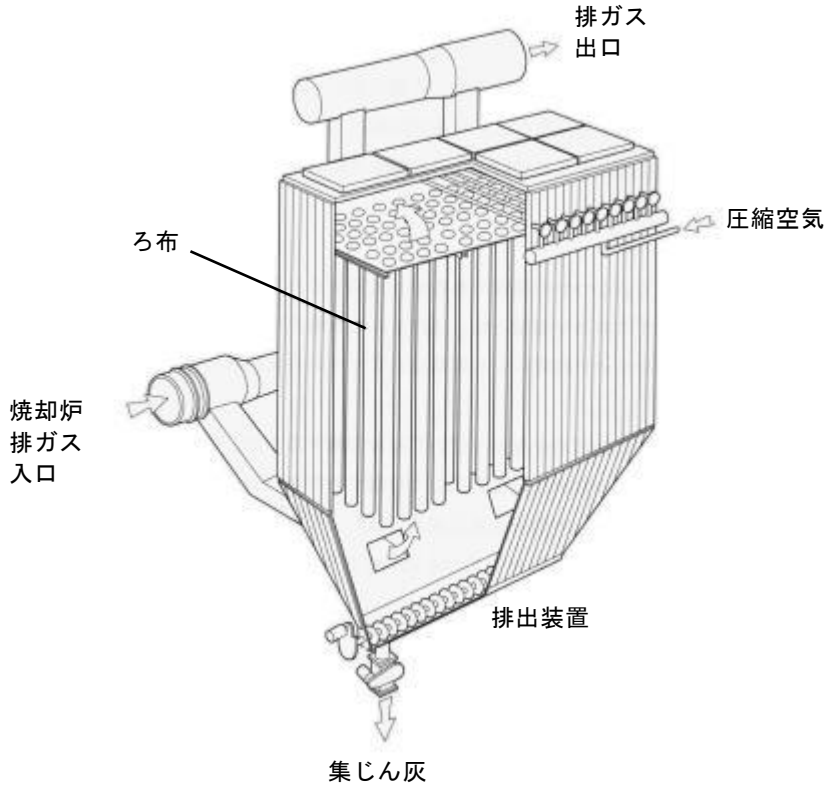
ろ過式集じん器では、ろ布（織布・不織布）表面に堆積した粒子層で排ガス中のばいじんを捕集する。ろ布にばいじんが堆積することにより圧力損失が上昇した場合、圧縮空気により払い落とし操作によって堆積したばいじん(集じん灰)を払い落とし、再度ろ過を継続する。

ろ過式集じん器の特性については表 6.2-1に、また、その構造は図 6.2-2に示すとおりである。

表 6.2-1　ろ過式集じん器の特性

形　式	取り扱われる粒度 （μm）	圧力損失 （kPa）	集じん効率 （%）
バグフィルター	20～0.1	1～2	90～99

資料)「ごみ処理施設整備の計画・設計要領（2006 改訂版）（平成 18 年、（社）全国都市清掃会議）



資料)「ごみ処理施設整備の計画・設計要領（2006 改訂版）」（平成 18 年、（社）全国都市清掃会議）

図 6.2-2　ろ過式集じん器の構造（参考）

(ｳ)　汚水処理設備（参考）

汚水処理設備の処理フローは、図 6.2-3に示すとおりである。また、下水排除基準は、表 6.2-2及び表 6.2-3に示すとおりである。

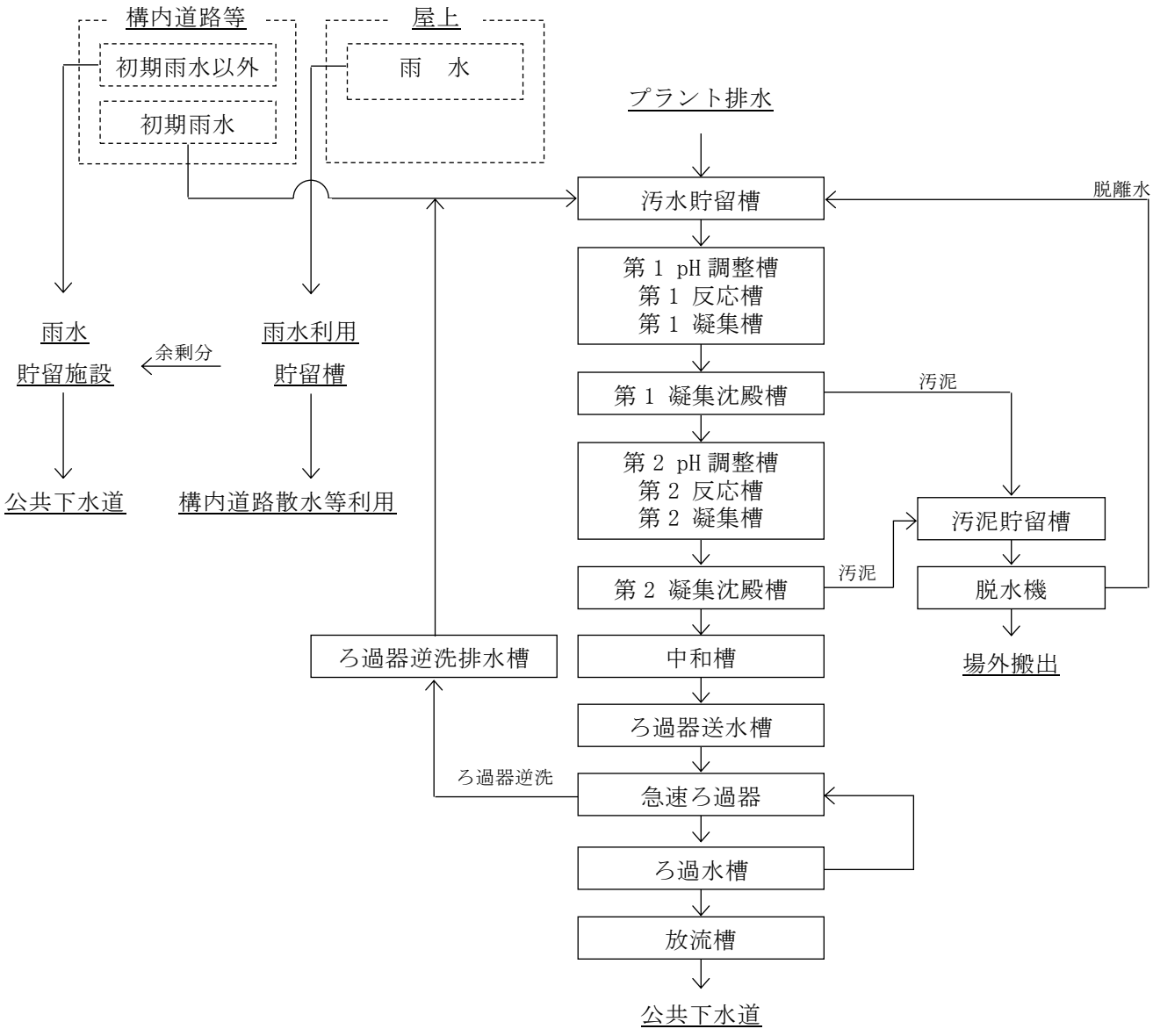


図 6.2-3　排水処理フロー（参考）

表 6.2-2　東京 23 区内の下水排除基準（ダイオキシン類以外：平成 27 年 10 月 21 日現在）

対象者 / 対象物質又は項目		水質汚濁防止法上の特定施設の設置者			水質汚濁防止法上の特定施設を設置していない者	
		50m³/日以上	50m³/日未満		50m³/日以上	50m³/日未満
有害物質	カドミウム	0.03mg/L以下	0.03mg/L以下		0.03mg/L以下	0.03mg/L以下
	シアン	1mg/L以下	1mg/L以下		1mg/L以下	1mg/L以下
	有機燐	1mg/L以下	1mg/L以下		1mg/L以下	1mg/L以下
	鉛	0.1mg/L以下	0.1mg/L以下		0.1mg/L以下	0.1mg/L以下
	六価クロム	0.5mg/L以下	0.5mg/L以下		0.5mg/L以下	0.5mg/L以下
	砒素	0.1mg/L以下	0.1mg/L以下		0.1mg/L以下	0.1mg/L以下
	総水銀	0.005mg/L以下	0.005mg/L以下		0.005mg/L以下	0.005mg/L以下
	アルキル水銀	検出されないこと	検出されないこと		検出されないこと	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル	0.003mg/L以下	0.003mg/L以下		0.003mg/L以下	0.003mg/L以下
	トリクロロエチレン	0.1mg/L以下	0.1mg/L以下		0.1mg/L以下	0.1mg/L以下
	テトラクロロエチレン	0.1mg/L以下	0.1mg/L以下		0.1mg/L以下	0.1mg/L以下
	ジクロロメタン	0.2mg/L以下	0.2mg/L以下		0.2mg/L以下	0.2mg/L以下
	四塩化炭素	0.02mg/L以下	0.02mg/L以下		0.02mg/L以下	0.02mg/L以下
	1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L以下	0.04mg/L以下		0.04mg/L以下	0.04mg/L以下
	1,1-ジクロロエチレン	1mg/L以下	1mg/L以下		1mg/L以下	1mg/L以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L以下	0.4mg/L以下		0.4mg/L以下	0.4mg/L以下
	1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L以下	3mg/L以下		3mg/L以下	3mg/L以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L以下	0.06mg/L以下		0.06mg/L以下	0.06mg/L以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L以下	0.02mg/L以下		0.02mg/L以下	0.02mg/L以下
	チウラム	0.06mg/L以下	0.06mg/L以下		0.06mg/L以下	0.06mg/L以下
	シマジン	0.03mg/L以下	0.03mg/L以下		0.03mg/L以下	0.03mg/L以下
	チオベンカルブ	0.2mg/L以下	0.2mg/L以下		0.2mg/L以下	0.2mg/L以下
	ベンゼン	0.1mg/L以下	0.1mg/L以下		0.1mg/L以下	0.1mg/L以下
	セレン	0.1mg/L以下	0.1mg/L以下		0.1mg/L以下	0.1mg/L以下
	ほう素	10mg/L以下	10mg/L以下		10mg/L以下	10mg/L以下
		230mg/L以下	230mg/L以下		230mg/L以下	230mg/L以下
	ふっ素	8mg/L以下	8mg/L以下		8mg/L以下	8mg/L以下
		15mg/L以下	15mg/L以下		15mg/L以下	15mg/L以下
	1,4-ジオキサン	0.5mg/L以下	0.5mg/L以下		0.5mg/L以下	0.5mg/L以下
環境項目等	総クロム	2mg/L以下	2mg/L以下	2mg/L以下	2mg/L以下	2mg/L以下
	銅	3mg/L以下	3mg/L以下	3mg/L以下	3mg/L以下	3mg/L以下
	亜鉛	2mg/L以下	2mg/L以下	2mg/L以下	2mg/L以下	2mg/L以下
	フェノール類	5mg/L以下	5mg/L以下	—	5mg/L以下	—
	鉄（溶解性）	10mg/L以下	10mg/L以下	—	10mg/L以下	—
	マンガン(溶解性)	10mg/L以下	10mg/L以下	—	10mg/L以下	—
	生物化学的酸素要求量（BOD）	600mg/L未満（300mg/L未満）	—		600mg/L未満（300mg/L未満）	—
	浮遊物質量（SS）	600mg/L未満（300mg/L未満）	—		600mg/L未満（300mg/L未満）	—
	ノルマルヘキサン抽出物質 鉱油	5mg/L以下	—		5mg/L以下	—
	ノルマルヘキサン抽出物質 動植物油	30mg/L以下	—		30mg/L以下	—
	窒素	120mg/L未満	—		120mg/L未満	—
	燐	16mg/L未満	—		16mg/L未満	—
	水素イオン濃度(pH)	5を超え9未満（5.7を超え8.7未満）	5を超え9未満（5.7を超え8.7未満）		5を超え9未満（5.7を超え8.7未満）	5を超え9未満（5.7を超え8.7未満）
	温度	45℃未満（40℃未満）	45℃未満（40℃未満）		45℃未満（40℃未満）	45℃未満（40℃未満）
	沃素消費量	220mg/L未満	220mg/L未満		220mg/L未満	220mg/L未満

（備考）　1.ほう素、ふっ素の基準のうち上段は「河川その他の公共用水域を放流先としている公共下水道」に排除する場合、下段は「海域を放流先としている公共下水道」に排除する場合の基準値。（事業場の所在地により異なる。）
2.網掛部のうち 50 立方メートル/日未満の特定施設の設置者に係る総クロムの基準は、工場を設置している者又は平成 13 年４月１日以降に指定作業場を設置した者等に適用し、銅・亜鉛・フェノール類・鉄・マンガンの基準は、昭和 47 年４月２日以降に工場を設置した者又は平成 13 年４月１日以降に指定作業場を設置した者等に適用する基準。工場とは「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(平成 12 年東京都条例第 215 号)」第２条第７号に規定するもの、指定作業場とは同条第８号に規定するもの。
3.BOD、SS、pH、温度に係る（　）内の数値は製造業又はガス供給業に適用。

資料）東京都下水道局ホームページ

表 6.2-3　下水排除基準（ダイオキシン類：平成 12 年１月 15 日施行）

対象者	ダイオキシン類対策特別措置法に規定する水質基準対象施設の設置者
排除基準値	１Ｌ当たり 10pg-TEQ 以下

6.3　施工計画及び供用計画

6.3.1　施工計画

（1）　工事の主な工種とその概要

ア　解体工事

解体工事における工事概念図は、図 6.3-1に示すとおりである。

既存の建築物等は全て解体する。建築物のく体やプラント設備の解体は油圧式破砕機等を使用する。工場棟解体にあたっては、全覆い仮設テント等を設置するとともに、必要に応じテント等の内側に防音パネルを設け、騒音や粉じん等の発生を防止する処置を講ずる。

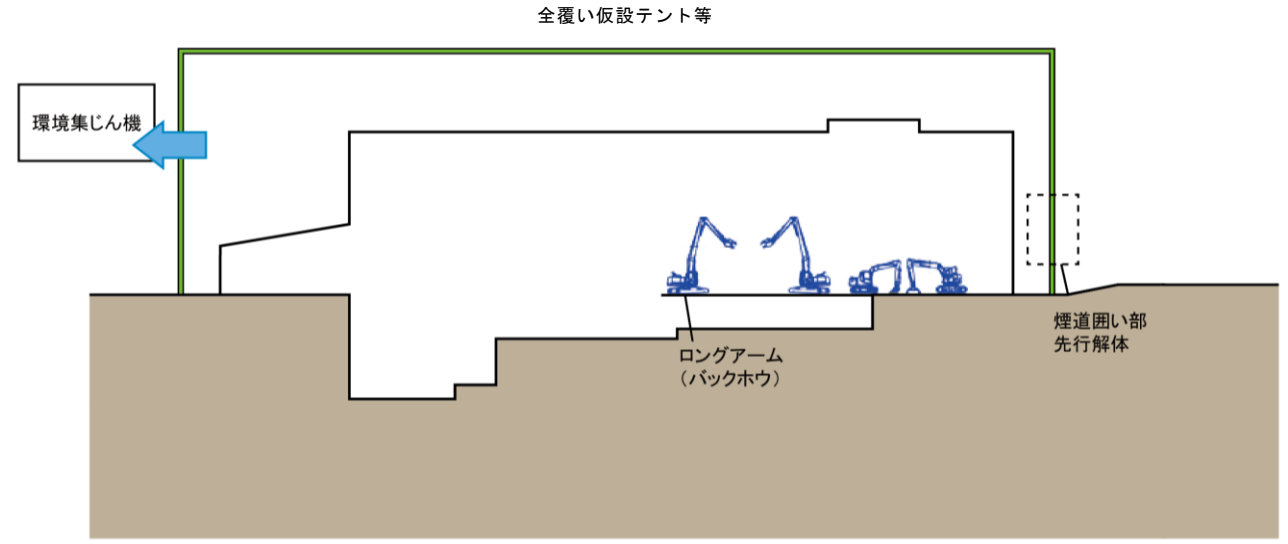


図 6.3-1　解体工事の工事概念

イ　土工事

(ｱ)　山留め工事

土工事における山留め工事の工事概念図は、図 6.3-2に示すとおりである。

地下部分の掘削に先立ち、止水性に優れたSMW工法による山留め壁を工場GL約-37ｍまで貫入させ、遮水を行う。

なお、山留め壁は、切梁又は地盤アンカー工法等の支保工により支持する。

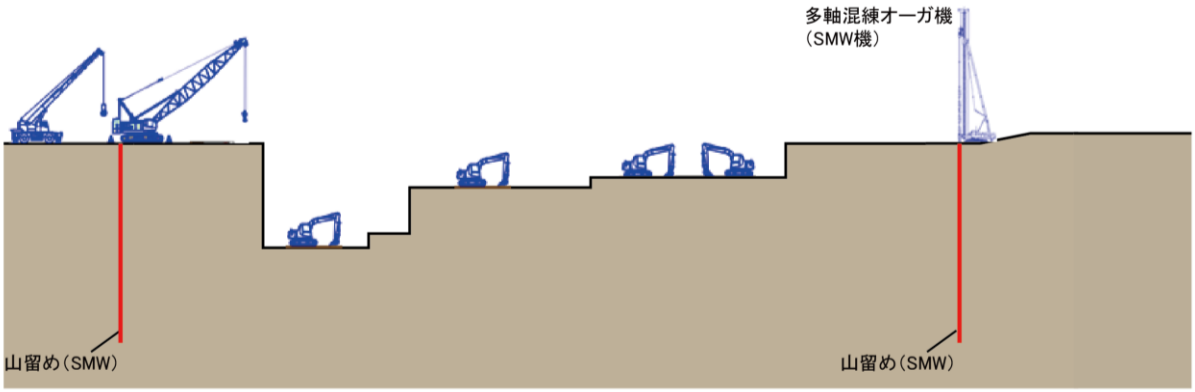


図 6.3-2　山留め工事の工事概念

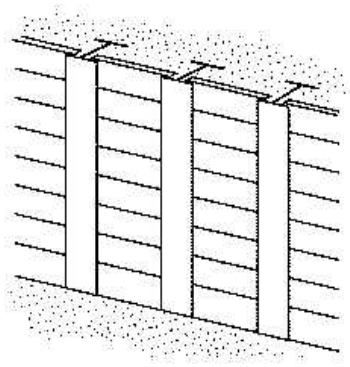
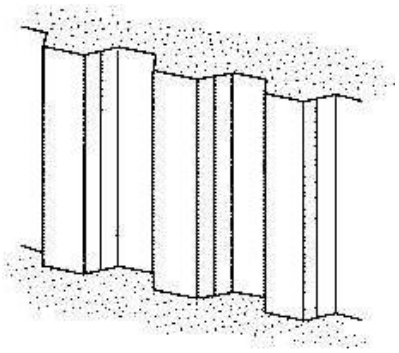
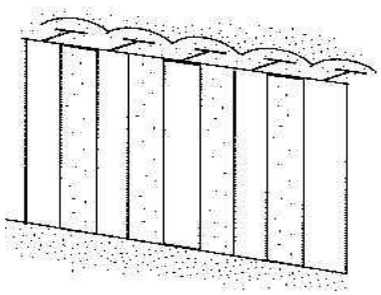
※SMW 工法

SMW とは土(Soil)とセメントスラリー（セメントと水の混合液）を原位置で混合・かくはん(Mixing)し、地中に造成する壁体(Wall)の略称で、山留め工法としてソイルセメント柱列壁とも呼ばれている。

SMW 工法は多軸又は単軸混練オーガー機や回転チェーンカッター機と呼ばれる削孔機により、地盤を削孔しながら、削孔機先端から吐き出されるセメントスラリーと削孔した原位置土を地中内で混練し、列柱状にソイルセメント壁体を造るものである。SMW 壁の補強方法として支保工として切梁や地盤アンカーのほか、壁体内部にH鋼を挿入する方法がある。SMW 工法の主な特徴は、以下のとおりであり、他の山留め工法との比較は表 6.3-1 のとおりである。また、山留め・掘削工事による地盤の変形現象については表 6.3-2 に示す。

・壁体の剛性が高く，止水性がよく、利用できる地盤が多い
・周辺地盤に対する影響は少なく、地盤沈下を防止することができる
・原位置の土を利用するため、工期の短縮が図れ、廃棄物が少ない
・山留め壁だけでなく、ダムなどの止水壁や共同溝などの外壁としても利用が可能
・大深度までの施行が可能

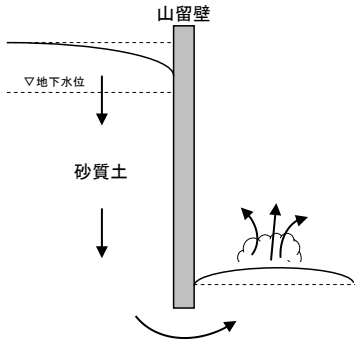
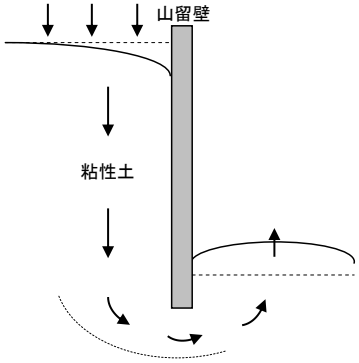
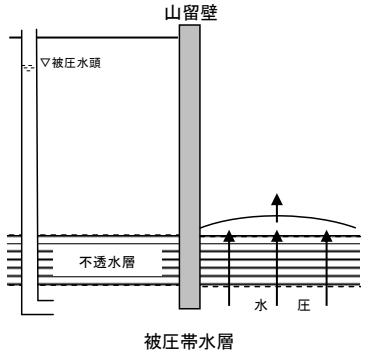
表 6.3-1　山留め工法の比較表

親杭横矢板壁	鋼矢板壁（シートパイル等）	ソイルセメント柱列壁（SMW）
		
H形鋼等の親杭を一定の間隔で打ち込み、根切りの進行に伴って木製等の横矢板をはめ込んで、山留め壁を形成する。	U形等の断面形状の鋼矢板を継手部を互いに噛み合わせながら連続して地中に打ち込んで山留め壁を形成する。	原位置土とセメントスラリーを混合かくはんした後に、壁体を連続して築造し山留め壁を形成する。
透水壁なので、適用地盤としては、地下水位の低い良質地盤に限定され、軟弱地盤への適用性は低い。	遮水性を有するので、地下水位の高い地盤や軟弱地盤にも適用出来る。 施行にあたっては、特に継手部の噛み合わせに留意する必要がある。	遮水性を有するが、地盤種別によりソイルセメントの材料品質に差が生じるので、品質管理が重要となる。 注）鋼材をソイルセメント内に入れ込む方法もある

資料）「山留め設計施工指針」（社）日本建築学会

※掘削・山留めによる地盤の変形現象

表 6.3-2　掘削・山留めによる地盤の変形現象

ボイリング（噴砂）	ヒービング	盤ぶくれ
		
地下水位の高い砂質地盤で土留めを行う場合、地下水と掘削面と水位差によって、地下水と土砂が、お湯が沸騰しているように掘削面に流出してくる現象	軟弱な粘性土質地盤で土留めを行う場合、山留め背面の土の重さにより、土が山留め壁を下側から回り込み、掘削底面が持ち上がる現象	掘削底面下部に被圧帯水層がある場合、掘削により掘削面の土圧が弱まり、被圧帯水層の上向きの水圧により、掘削面付近の不透水層を持ち上げる現象
対策） ・地盤改良工法 ・地下水位低下工法 （釜場排水、ディープウェル等）	対策） ・山留め壁の根入れを深くする。 ・地盤改良工法	対策） ・山留め壁の根入れを深くする。 ・地盤改良工法 ・地下水位低下工法 （釜場排水、ディープウェル等）

(ｲ)　掘削工事

掘削工事は、バックホウ等を用い、山留め壁で囲まれた部分の掘削を行う。

ウ　く体・プラント工事

地上く体・仕上工事における工事概念図は、図 6.3-3に示すとおりである。

掘削工事完了後、鉄筋コンクリート構造体を地下部分より順次構築し、地上く体工事は、基礎・地下く体工事が終了した部分から順次施行する。また、鉄骨工事は、クローラークレーン、トラッククレーン等を用いて行う。さらに、仕上工事は、く体工事を完了した部分より順次施行する。

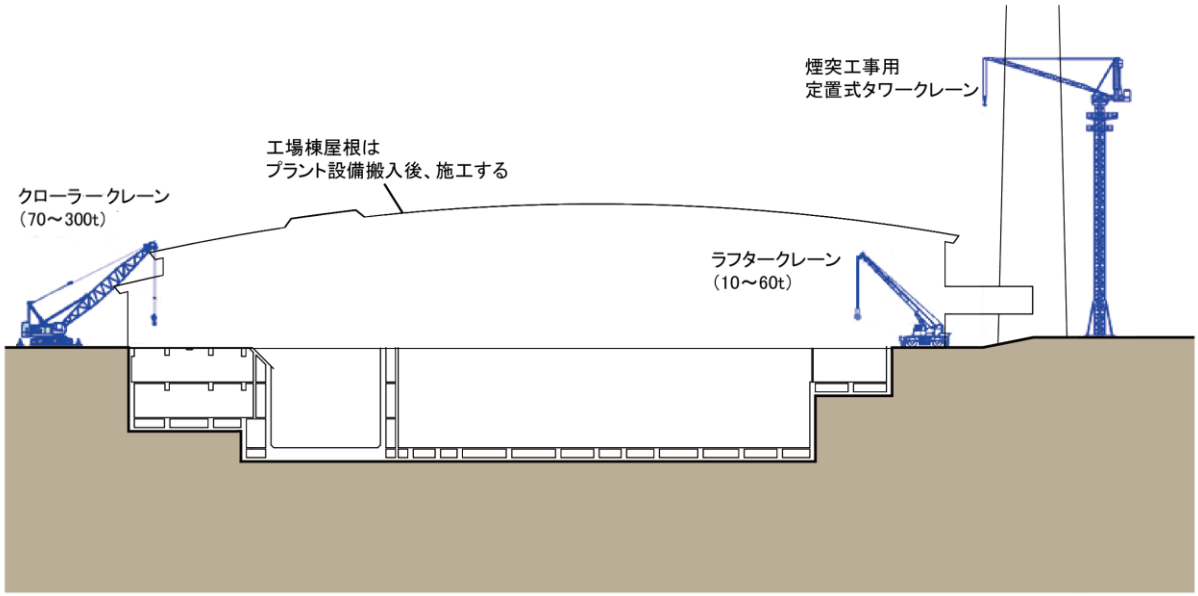


図 6.3-3　く体・仕上工事の工事概念

（２） 建設機械及び工事用車両

工事の施行中の建設機械稼働台数及び工事用車両台数は表 6.3-4(1)及び(2)に示すとおりである。

なお、ピーク日における工事用車両台数の内訳は、表 6.3-3 に示すとおりである。

表 6.3-3　ピーク日における工事用車両台数の内訳

種別	1日当り台数 (片道)	主な車両
大型	155	トラック(10t)、ダンプトラック(10t)、 トレーラー(30t)
小型	9	ユニック車(4t)、トラック(4t)、散水車(4t)、 通勤車両
合計	164	

注）月最大となる工事着工後 33 か月目から 36 か月目のうち、日最大となる台数を示す。

表 6.3-4(1)　建設機械稼働台数・工事用車両台数

| 項目 | | | 経過月 | | |

表 6.3-4(2)　建設機械稼働台数・工事用車両台数

| 経過月 | | |

6.3.2　供用計画

（１）　現況交通量

ア　道路交通センサスにおける経年推移

計画地周辺における交通量の経年推移を把握するための道路交通センサスの調査地点は、図 6.3-5に示す21地点である。また、平成11年度から平成27年度までの交通量調査結果は表 6.3-5(1)～(5)に示すとおりである。

調査地点の交通量は、地点によって増減に差はあるものの、地域全体としてみればほぼ横ばいであると判断される。したがって、将来においても一般交通量の伸びはないものとする。

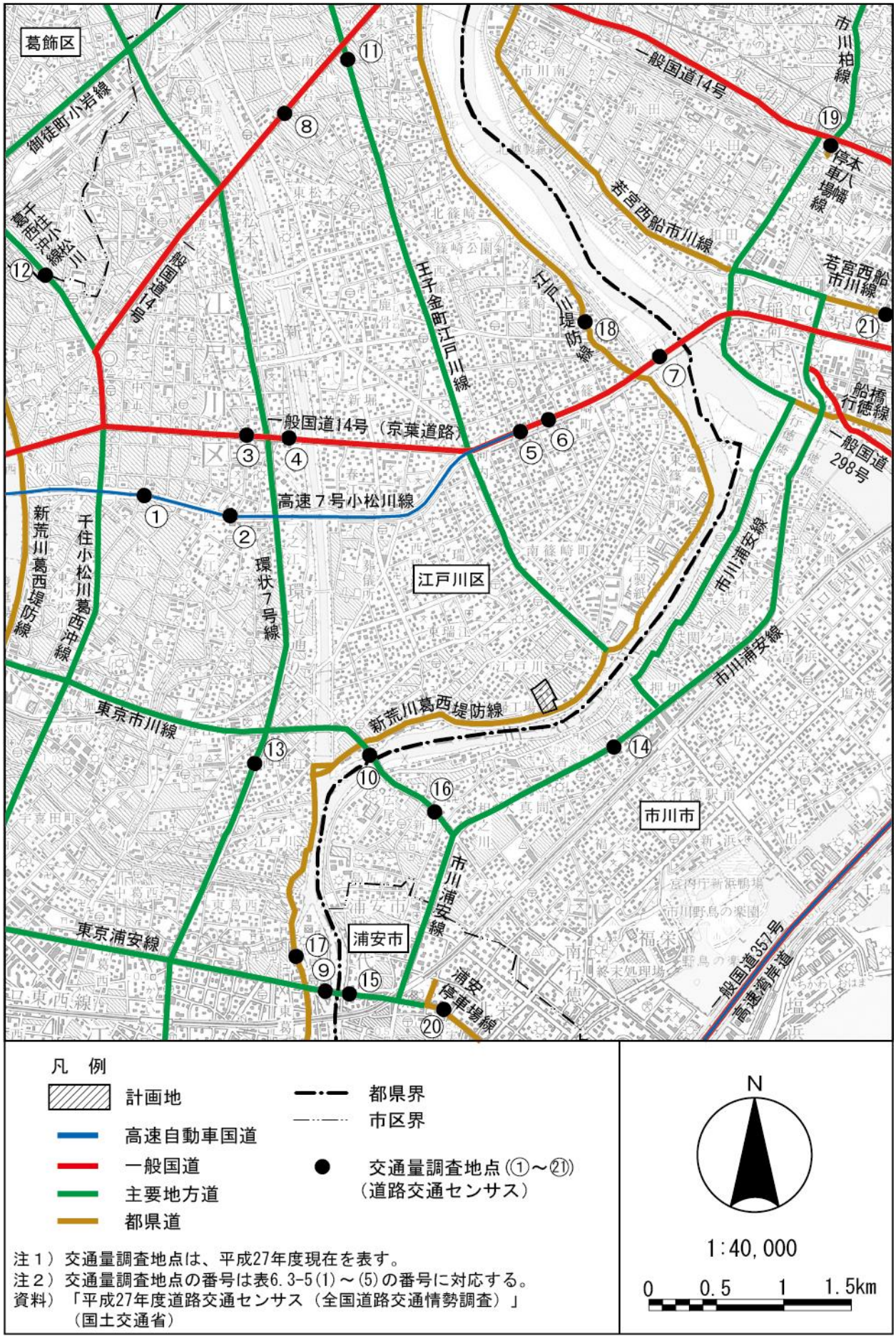


図 6.3-5　交通量調査地点

表 6.3-5(1)　道路交通センサスにおける経年推移

単位：台、％

地図No.	路線名	観測地点名	区分		平成11年	平成17年	平成22年	平成27年
1	高速7号小松川線	一之江出入口～小松川出入口	平日	12時間交通量	32,759	30,613	36,560	37,585
				24時間交通量	60,314	56,669	59,754	60,789
			休日	12時間交通量	34,360	31,454	－	－
				24時間交通量	55,108	50,218	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	1.05	1.03	－	－
			昼夜率	平日	1.84	1.85	1.63	1.62
				休日	1.60	1.60	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-6.04	5.44	1.73
2	高速7号小松川線	京葉道～一之江出入口	平日	12時間交通量	32,759	30,613	31,400	31,657
				24時間交通量	60,314	56,669	51,594	50,747
			休日	12時間交通量	34,360	31,454	－	－
				24時間交通量	55,108	50,218	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	1.05	1.03	－	－
			昼夜率	平日	1.84	1.85	1.64	1.60
				休日	1.60	1.60	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-6.04	-8.96	-1.64
3	一般国道14号（京葉道路）	江戸川区大杉一丁目11	平日	12時間交通量	34,180	33,185	31,320	28,779
				24時間交通量	51,863	50,765	47,202	42,388
			休日	12時間交通量	31,958	27,887	－	－
				24時間交通量	47,719	41,721	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.93	0.84	－	－
			昼夜率	平日	1.52	1.53	1.51	1.47
				休日	1.49	1.50	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-2.12	-7.02	-10.20
4	一般国道14号（京葉道路）	江戸川区大杉三丁目（起点部）	平日	12時間交通量	－	－	37,357	33,315
				24時間交通量	－	－	56,001	50,871
			休日	12時間交通量	－	－	－	－
				24時間交通量	－	－	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	－	－	－	－
			昼夜率	平日	－	－	1.50	1.53
				休日	－	－	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	－	－	-9.16
5	一般国道14号（京葉道路）	江戸川区篠崎八丁目	平日	12時間交通量	－	－	45,459	40,335
				24時間交通量	－	－	68,073	61,602
			休日	12時間交通量	－	－	－	－
				24時間交通量	－	－	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	－	－	－	－
			昼夜率	平日	－	－	1.50	1.53
				休日	－	－	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	－	－	-9.51

注）平成22年度及び平成27年度センサスについては、休日交通量調査が実施されていない。
資料）「平成11年度、平成17年度、平成22年度、平成27年度　道路交通センサス」

表 6.3-5(2)　道路交通センサスにおける経年推移

単位：台、％

地図No.	路線名	観測地点名	区分		平成11年	平成17年	平成22年	平成27年
6	一般国道14号（京葉道路）	江戸川区一之江	平日	12時間交通量	91,508	86,935	30,706	30,793
				24時間交通量	146,905	139,452	49,973	48,660
			休日	12時間交通量	78,608	73,749	－	－
				24時間交通量	119,280	111,273	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.86	0.85	－	－
			昼夜率	平日	1.61	1.60	1.63	1.58
				休日	1.52	1.51	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-5.07	-64.16	-2.63
7	一般国道14号（京葉道路）	江戸川区篠崎町（篠崎IC）	平日	12時間交通量	91,508	86,935	80,512	76,526
				24時間交通量	146,905	139,452	123,296	114,485
			休日	12時間交通量	78,608	73,749	－	－
				24時間交通量	119,280	111,273	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.86	0.85	－	－
			昼夜率	平日	1.61	1.60	1.53	1.50
				休日	1.52	1.51	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-5.07	-11.59	-7.15
8	一般国道14号	江戸川区南小岩五丁目13	平日	12時間交通量	14,291	14,088	13,000	12,455
				24時間交通量	22,580	22,259	18,720	16,690
			休日	12時間交通量	13,222	12,156	－	－
				24時間交通量	19,701	17,626	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.93	0.86	－	－
			昼夜率	平日	1.58	1.58	1.44	1.34
				休日	1.49	1.45	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-1.42	-15.90	-10.84
9	東京浦安線	江戸川区東葛西三丁目17	平日	12時間交通量	21,659	20,071	22,393	21,066
				24時間交通量	33,747	31,475	32,909	30,547
			休日	12時間交通量	21,024	20,531	－	－
				24時間交通量	30,569	29,691	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.97	1.02	－	－
			昼夜率	平日	1.56	1.57	1.47	1.45
				休日	1.45	1.45	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-6.73	4.56	-7.18
10	東京市川線	江戸川区江戸川三丁目54	平日	12時間交通量	18,331	17,904	21,039	22,424
				24時間交通量	28,596	27,572	30,296	31,394
			休日	12時間交通量	14,765	16,402	－	－
				24時間交通量	21,705	25,095	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.81	0.92	－	－
			昼夜率	平日	1.56	1.54	1.44	1.40
				休日	1.47	1.53	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-3.58	9.88	3.62

注）平成22年度及び平成27年度センサスについては、休日交通量調査が実施されていない。
資料）「平成11年度、平成17年度、平成22年度、平成27年度　道路交通センサス」

表 6.3-5(3)　道路交通センサスにおける経年推移

単位：台、％

地図No.	路線名	観測地点名	区分		平成11年	平成17年	平成22年	平成27年
11	王子金町江戸川線	江戸川区南小岩三丁目29	平日	12時間交通量	9,797	10,063	9,148	8,451
				24時間交通量	15,283	15,497	13,173	11,155
			休日	12時間交通量	7,738	8,098	－	－
				24時間交通量	11,375	12,390	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.79	0.80	－	－
			昼夜率	平日	1.56	1.54	1.44	1.32
				休日	1.47	1.53	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	1.40	-15.00	-15.32
12	千住小松川葛西沖線	江戸川区中央四丁目1-13	平日	12時間交通量	11,532	12,183	11,874	9,978
				24時間交通量	17,990	18,762	17,099	13,371
			休日	12時間交通量	11,840	10,909	－	－
				24時間交通量	17,405	16,691	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	1.03	0.90	－	－
			昼夜率	平日	1.56	1.54	1.44	1.34
				休日	1.47	1.53	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	4.29	-8.86	-21.80
13	環状7号線	江戸川区西瑞江五丁目	平日	12時間交通量	28,145	30,377	27,522	24,618
				24時間交通量	43,906	46,781	39,306	35,303
			休日	12時間交通量	28,126	27,532	－	－
				24時間交通量	41,345	42,124	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	1.00	0.91	－	－
			昼夜率	平日	1.56	1.54	1.43	1.43
				休日	1.47	1.53	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	6.55	-15.98	-10.18
14	市川浦安線	市川市香取二丁目1-16	平日	12時間交通量	20,660	17,862	15,820	15,452
				24時間交通量	30,164	25,185	22,781	21,015
			休日	12時間交通量	18,689	17,413	－	－
				24時間交通量	26,165	23,856	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.90	0.97	－	－
			昼夜率	平日	1.46	1.41	1.44	1.36
				休日	1.40	1.37	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-16.51	-9.55	-7.75
15	東京浦安線	浦安市猫実五丁目11-14	平日	12時間交通量	21,659	20,071	21,987	20,646
				24時間交通量	33,747	31,475	32,532	30,955
			休日	12時間交通量	21,024	20,531	－	－
				24時間交通量	30,569	29,691	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.97	1.02	－	－
			昼夜率	平日	1.56	1.57	1.48	1.50
				休日	1.45	1.45	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-6.73	3.36	-4.85

注）平成22年度及び平成27年度センサスについては、休日交通量調査が実施されていない。
資料）「平成11年度、平成17年度、平成22年度、平成27年度　道路交通センサス」

表 6.3-5(4)　道路交通センサスにおける経年推移

単位：台、％

地図No.	路線名	観測地点名	区分		平成11年	平成17年	平成22年	平成27年
16	東京市川線	市川市新井一丁目1-21	平日	12時間交通量	20,245	19,418	18,913	18,764
				24時間交通量	29,558	27,379	27,704	27,029
			休日	12時間交通量	18,908	19,678	－	－
				24時間交通量	26,471	26,959	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.93	1.01	－	－
			昼夜率	平日	1.46	1.41	1.46	1.44
				休日	1.40	1.37	－	－
			平日24時間交通量前回比(％)		－	-7.37	1.19	-2.44
17	新荒川葛西堤防線	江戸川区東葛西三丁目13	平日	12時間交通量	4,687	5,637	6,353	7,656
				24時間交通量	7,312	8,512	9,148	9,876
			休日	12時間交通量	4,923	6,815	－	－
				24時間交通量	7,237	10,086	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	1.05	1.21	－	－
			昼夜率	平日	1.56	1.51	1.44	1.29
				休日	1.47	1.48	－	－
			平日24時間交通量前回比(％)		－	16.41	7.47	7.96
18	江戸川堤防線	江戸川区篠崎町一丁目95	平日	12時間交通量	10,619	10,487	9,146	9,031
				24時間交通量	16,566	15,835	13,170	11,921
			休日	12時間交通量	9,663	9,598	－	－
				24時間交通量	14,205	14,205	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.91	0.92	－	－
			昼夜率	平日	1.56	1.51	1.44	1.32
				休日	1.47	1.48	－	－
			平日24時間交通量前回比(％)		－	-4.41	-16.83	-9.48
19	本八幡停車場線	市川市八幡二丁目6-12	平日	12時間交通量	4,071	3,370	3,129	2,914
				24時間交通量	6,473	4,617	4,506	3,643
			休日	12時間交通量	3,753	3,722	－	－
				24時間交通量	5,329	5,285	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.92	1.10	－	－
			昼夜率	平日	1.59	1.37	1.44	1.25
				休日	1.42	1.42	－	－
			平日24時間交通量前回比(％)		－	-28.67	-2.40	-19.15
20	浦安停車場線	浦安市猫実三丁目28-30	平日	12時間交通量	19,056	16,970	16,999	15,700
				24時間交通量	30,299	23,249	24,479	21,509
			休日	12時間交通量	18,128	18,058	－	－
				24時間交通量	25,742	27,268	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.95	1.06	－	－
			昼夜率	平日	1.59	1.37	1.44	1.37
				休日	1.42	1.51	－	－
			平日24時間交通量前回比(％)		－	-23.27	5.29	-12.13

注）平成22年度及び平成27年度センサスについては、休日交通量調査が実施されていない。
資料）「平成11年度、平成17年度、平成22年度、平成27年度　道路交通センサス」

表 6.3-5(5)　道路交通センサスにおける経年推移

単位：台、％

地図No.	路線名	観測地点名	区分		平成11年	平成17年	平成22年	平成27年
21	若宮西船市川線	市川市鬼高三丁目27	平日	12時間交通量	12,818	11,822	12,431	11,739
				24時間交通量	20,253	18,198	19,144	16,578
			休日	12時間交通量	12,353	12,094	－	－
				24時間交通量	18,883	18,245	－	－
			休日/平日	12時間交通量比	0.96	1.02	－	－
			昼夜率	平日	1.58	1.54	1.54	1.41
				休日	1.53	1.51	－	－
			平日24時間交通量前回比（％）		－	-10.15	5.20	-13.40

注）平成22年度及び平成27年度センサスについては、休日交通量調査が実施されていない。
資料）「平成11年度、平成17年度、平成22年度、平成27年度　道路交通センサス」

イ　現況調査結果

平成28年度における交通量（現況）及び走行速度の調査地点は、図 6.3-6に示すとおり５地点であり、その調査結果は、表 6.3-6(1)～(6)に示すとおりである。

表 6.3-6(1)～(5)中「ごみ収集車両等」は、ごみ収集車両及び灰運搬車両とし、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。また、「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両（一般の車両とその他のごみ収集車両を合わせたもの）とした。

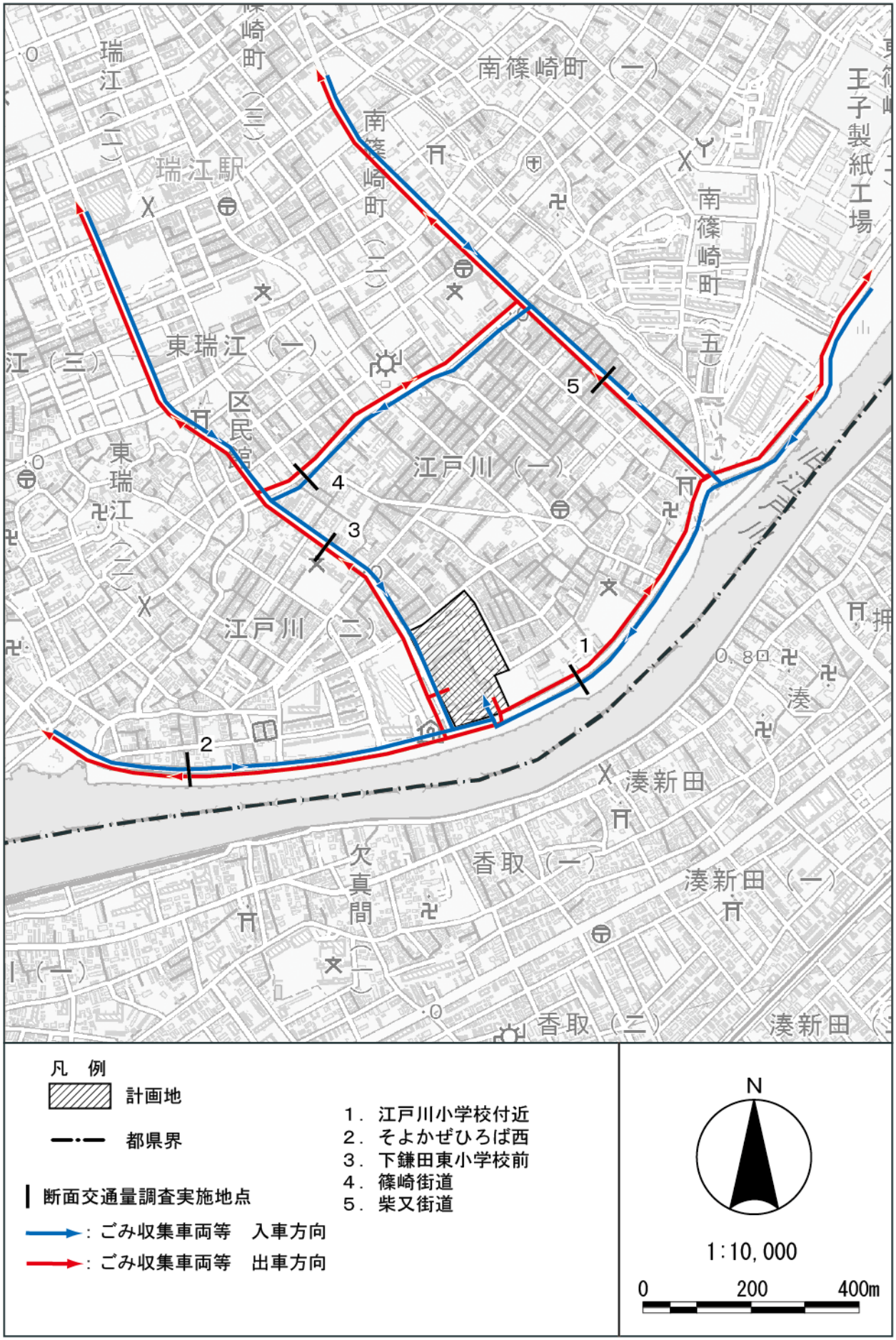


図 6.3-6　交通量調査地点

表 6.3-6(1)　現況交通量（地点１　江戸川小学校付近）

時間帯	入車方向（台）				出車方向（台）				断面合計（台）			
	一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	49	340	0	0	19	128	0	0	68	468	0	0
8:00～ 9:00	38	288	27	0	20	139	22	0	58	427	49	0
9:00～10:00	54	216	30	0	48	152	23	1	102	368	53	1
10:00～11:00	44	209	28	0	45	155	30	0	89	364	58	0
11:00～12:00	34	165	24	0	58	147	27	0	92	312	51	0
12:00～13:00	36	159	14	0	28	157	19	0	64	316	33	0
13:00～14:00	33	179	34	3	46	140	32	7	79	319	66	10
14:00～15:00	29	153	35	0	45	157	34	0	74	310	69	0
15:00～16:00	31	163	1	0	39	199	6	0	70	362	7	0
16:00～17:00	32	194	0	0	66	266	0	0	98	460	0	0
17:00～18:00	14	223	0	0	16	317	0	0	30	540	0	0
18:00～19:00	8	210	0	0	11	319	0	0	19	529	0	0
19:00～20:00	5	135	0	0	7	215	0	0	12	350	0	0
20:00～21:00	3	107	0	0	4	156	0	0	7	263	0	0
21:00～22:00	4	78	0	0	1	111	0	0	5	189	0	0
22:00～23:00	2	65	0	0	1	75	0	0	3	140	0	0
23:00～ 0:00	2	42	0	0	3	60	0	0	5	102	0	0
0:00～ 1:00	4	19	0	0	0	41	0	0	4	60	0	0
1:00～ 2:00	1	25	0	0	3	19	0	0	4	44	0	0
2:00～ 3:00	6	17	0	0	9	19	0	0	15	36	0	0
3:00～ 4:00	2	19	0	0	5	17	0	0	7	36	0	0
4:00～ 5:00	8	58	0	0	5	25	0	0	13	83	0	0
5:00～ 6:00	13	144	0	0	4	57	0	0	17	201	0	0
6:00～ 7:00	45	322	0	0	14	105	0	0	59	427	0	0
昼12時間合計	402	2,499	193	3	441	2,276	193	8	843	4,775	386	11
夜12時間合計	95	1,031	0	0	56	900	0	0	151	1,931	0	0
24時間合計	497	3,530	193	3	497	3,176	193	8	994	6,706	386	11
昼夜率(%)	1.24	1.41	1.00	1.00	1.13	1.40	1.00	1.00	1.18	1.40	1.00	1.00

表 6.3-6(2)　現況交通量（地点２　そよかぜひろば西）

時間帯	入車方向（台）				出車方向（台）				断面合計（台）			
	一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	22	147	0	0	45	346	0	0	67	493	0	0
8:00～ 9:00	22	167	18	3	33	285	15	2	55	452	33	5
9:00～10:00	54	141	34	5	66	235	34	6	120	376	68	11
10:00～11:00	48	131	37	4	41	182	38	3	89	313	75	7
11:00～12:00	60	131	28	0	34	166	14	1	94	297	42	1
12:00～13:00	30	142	20	1	35	162	12	0	65	304	32	1
13:00～14:00	55	169	41	6	34	170	38	6	89	339	79	12
14:00～15:00	48	200	49	4	30	165	27	1	78	365	76	5
15:00～16:00	40	221	8	0	26	156	8	0	66	377	16	0
16:00～17:00	55	280	0	0	33	195	0	0	88	475	0	0
17:00～18:00	28	277	0	0	25	189	0	0	53	466	0	0
18:00～19:00	16	317	0	0	12	211	0	0	28	528	0	0
19:00～20:00	7	228	0	0	7	134	0	0	14	362	0	0
20:00～21:00	5	188	0	0	4	99	0	0	9	287	0	0
21:00～22:00	2	118	0	0	5	75	0	0	7	193	0	0
22:00～23:00	1	76	0	0	3	57	0	0	4	133	0	0
23:00～ 0:00	2	53	0	0	1	36	0	0	3	89	0	0
0:00～ 1:00	1	44	0	0	4	18	0	0	5	62	0	0
1:00～ 2:00	3	20	0	0	1	28	0	0	4	48	0	0
2:00～ 3:00	8	18	0	0	6	27	0	0	14	45	0	0
3:00～ 4:00	6	15	0	0	5	21	0	0	11	36	0	0
4:00～ 5:00	7	25	0	0	12	58	0	0	19	83	0	0
5:00～ 6:00	6	62	0	0	23	142	0	0	29	204	0	0
6:00～ 7:00	17	95	0	0	49	326	0	0	66	421	0	0
昼12時間合計	478	2,323	235	23	414	2,462	186	19	892	4,785	421	42
夜12時間合計	65	942	0	0	120	1,021	0	0	185	1,963	0	0
24時間合計	543	3,265	235	23	534	3,483	186	19	1,077	6,748	421	42
昼夜率(%)	1.14	1.41	1.00	1.00	1.29	1.41	1.00	1.00	1.21	1.41	1.00	1.00

注)「ごみ収集車両等」は、ごみ収集車両及び灰等運搬車両とし、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。また、「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両とした。

表 6.3-6(3)　現況交通量（地点３　下鎌田東小学校前）

時間帯	入車方向（台）				出車方向（台）				断面合計（台）			
	一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	10	41	0	0	12	85	0	0	22	126	0	0
8:00～ 9:00	14	68	15	1	11	75	13	1	25	143	28	2
9:00～10:00	12	75	18	0	13	71	17	2	25	146	35	2
10:00～11:00	12	59	20	1	9	55	22	3	21	114	42	4
11:00～12:00	9	72	10	0	9	58	19	1	18	130	29	1
12:00～13:00	12	76	10	0	12	40	4	1	24	116	14	1
13:00～14:00	11	74	15	0	12	53	24	0	23	127	39	0
14:00～15:00	12	79	7	0	11	59	14	0	23	138	21	0
15:00～16:00	19	88	2	0	19	67	1	0	38	155	3	0
16:00～17:00	14	93	0	0	12	84	0	0	26	177	0	0
17:00～18:00	16	97	0	0	15	71	0	0	31	168	0	0
18:00～19:00	13	80	0	0	12	69	0	0	25	149	0	0
19:00～20:00	13	83	0	0	11	55	0	0	24	138	0	0
20:00～21:00	8	57	0	0	4	44	0	0	12	101	0	0
21:00～22:00	5	44	0	0	4	31	0	0	9	75	0	0
22:00～23:00	4	36	0	0	2	17	0	0	6	53	0	0
23:00～ 0:00	0	22	0	0	0	13	0	0	0	35	0	0
0:00～ 1:00	0	9	0	0	0	7	0	0	0	16	0	0
1:00～ 2:00	2	3	0	0	0	10	0	0	2	13	0	0
2:00～ 3:00	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
3:00～ 4:00	1	7	0	0	1	3	0	0	2	10	0	0
4:00～ 5:00	2	7	0	0	3	9	0	0	5	16	0	0
5:00～ 6:00	1	12	0	0	1	23	0	0	2	35	0	0
6:00～ 7:00	10	29	0	0	8	50	0	0	18	79	0	0
昼12時間合計	154	902	97	2	147	787	114	8	301	1,689	211	10
夜12時間合計	46	310	0	0	34	262	0	0	80	572	0	0
24時間合計	200	1,212	97	2	181	1,049	114	8	381	2,261	211	10
昼夜率(%)	1.30	1.34	1.00	1.00	1.23	1.33	1.00	1.00	1.27	1.34	1.00	1.00

表 6.3-6(4)　現況交通量（地点４　篠崎街道）

時間帯	入車方向（台）				出車方向（台）				断面合計（台）			
	一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	46	229	0	0	49	95	0	0	95	324	0	0
8:00～ 9:00	53	215	3	0	47	141	2	0	100	356	5	0
9:00～10:00	62	163	2	0	65	140	1	0	127	303	3	0
10:00～11:00	60	194	2	0	57	146	6	0	117	340	8	0
11:00～12:00	56	179	4	0	39	155	2	0	95	334	6	0
12:00～13:00	39	150	1	0	46	128	2	0	85	278	3	0
13:00～14:00	56	152	1	0	43	153	0	0	99	305	1	0
14:00～15:00	54	166	0	0	50	200	7	0	104	366	7	0
15:00～16:00	45	181	0	0	50	206	11	0	95	387	11	0
16:00～17:00	54	177	0	0	48	243	0	0	102	420	0	0
17:00～18:00	48	200	0	0	47	231	0	0	95	431	0	0
18:00～19:00	27	187	0	0	36	229	0	0	63	416	0	0
19:00～20:00	28	165	0	0	39	200	0	0	67	365	0	0
20:00～21:00	21	96	0	0	27	101	0	0	48	197	0	0
21:00～22:00	15	58	0	0	18	71	0	0	33	129	0	0
22:00～23:00	12	43	0	0	21	51	0	0	33	94	0	0
23:00～ 0:00	5	26	0	0	11	44	0	0	16	70	0	0
0:00～ 1:00	5	25	0	0	3	26	0	0	8	51	0	0
1:00～ 2:00	3	17	0	0	1	23	0	0	4	40	0	0
2:00～ 3:00	8	22	0	0	5	20	0	0	13	42	0	0
3:00～ 4:00	10	20	0	0	8	21	0	0	18	41	0	0
4:00～ 5:00	17	37	0	0	7	14	0	0	24	51	0	0
5:00～ 6:00	14	97	0	0	7	30	0	0	21	127	0	0
6:00～ 7:00	75	195	0	0	33	65	0	0	108	260	0	0
昼12時間合計	600	2,193	13	0	577	2,067	31	0	1,177	4,260	44	0
夜12時間合計	213	801	0	0	180	666	0	0	393	1,467	0	0
24時間合計	813	2,994	13	0	757	2,733	31	0	1,570	5,727	44	0
昼夜率(%)	1.36	1.37	1.00	－	1.31	1.32	1.00	－	1.33	1.34	1.00	－

注)「ごみ収集車両等」は、ごみ収集車両及び灰等運搬車両とし、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。また、「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両とした。

表 6.3-6(5)　現況交通量（地点５　柴又街道）

時間帯	入車方向（台）				出車方向（台）				断面合計（台）			
	一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等		一般車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	8	44	0	0	7	55	0	0	15	99	0	0
8:00～ 9:00	9	65	4	0	9	64	2	0	18	129	6	0
9:00～10:00	17	44	5	0	15	61	4	1	32	105	9	1
10:00～11:00	15	49	8	0	23	56	7	0	38	105	15	0
11:00～12:00	14	35	4	0	30	50	10	1	44	85	14	1
12:00～13:00	17	46	4	0	13	47	4	0	30	93	8	0
13:00～14:00	11	37	8	0	22	62	3	0	33	99	11	0
14:00～15:00	12	66	6	0	25	55	5	0	37	121	11	0
15:00～16:00	14	59	0	0	13	76	1	0	27	135	1	0
16:00～17:00	18	86	0	0	40	95	0	0	58	181	0	0
17:00～18:00	7	77	0	0	8	91	0	0	15	168	0	0
18:00～19:00	2	64	0	0	3	75	0	0	5	139	0	0
19:00～20:00	1	59	0	0	0	68	0	0	1	127	0	0
20:00～21:00	0	36	0	0	1	51	0	0	1	87	0	0
21:00～22:00	0	21	0	0	1	22	0	0	1	43	0	0
22:00～23:00	0	18	0	0	0	21	0	0	0	39	0	0
23:00～ 0:00	0	16	0	0	2	5	0	0	2	21	0	0
0:00～ 1:00	0	4	0	0	1	8	0	0	1	12	0	0
1:00～ 2:00	0	3	0	0	1	3	0	0	1	6	0	0
2:00～ 3:00	0	6	0	0	3	5	0	0	3	11	0	0
3:00～ 4:00	1	6	0	0	2	3	0	0	3	9	0	0
4:00～ 5:00	2	4	0	0	1	4	0	0	3	8	0	0
5:00～ 6:00	5	16	0	0	0	9	0	0	5	25	0	0
6:00～ 7:00	7	30	0	0	1	25	0	0	8	55	0	0
昼 12 時間合計	144	672	39	0	208	787	36	2	352	1,459	75	2
夜 12 時間合計	16	219	0	0	13	224	0	0	29	443	0	0
24 時間合計	160	891	39	0	221	1,011	36	2	381	1,902	75	2
昼夜率(%)	1.11	1.33	1.00	－	1.06	1.28	1.00	1.00	1.08	1.30	1.00	1.00

注)「ごみ収集車両等」は、ごみ収集車両及び灰等運搬車両とし、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。また、「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両とした。

表 6.3-6(6)　走行速度

単位:km/h

調査地点			昼間平均	夜間平均	全日平均
1	江戸川小学校付近	入車方向	50.6	52.3	51.4
		出車方向	44.8	51.0	47.9
2	そよかぜひろば西	入車方向	47.1	51.0	49.1
		出車方向	46.6	50.2	48.4
3	下鎌田東小学校前	入車方向	37.5	38.3	37.9
		出車方向	36.6	38.2	37.3
4	篠崎街道	入車方向	33.6	35.4	34.5
		出車方向	38.0	40.1	39.1
5	柴又街道	入車方向	42.4	45.4	43.7
		出車方向	41.3	43.3	42.2

注）昼間を午前 7:00 から午後 7:00、夜間を午後 7:00 から午前 7:00 とした。

（２） 将来交通量の推計

ア　工事の施行中における将来交通量

将来交通量の推計フローは図 6.3-7に、工事用車両の通行が最も多くなる時期（工事着工から33か月目から36か月目）における工事用車両の推計結果は表 6.3-7(1)～(5)に示すとおりである。

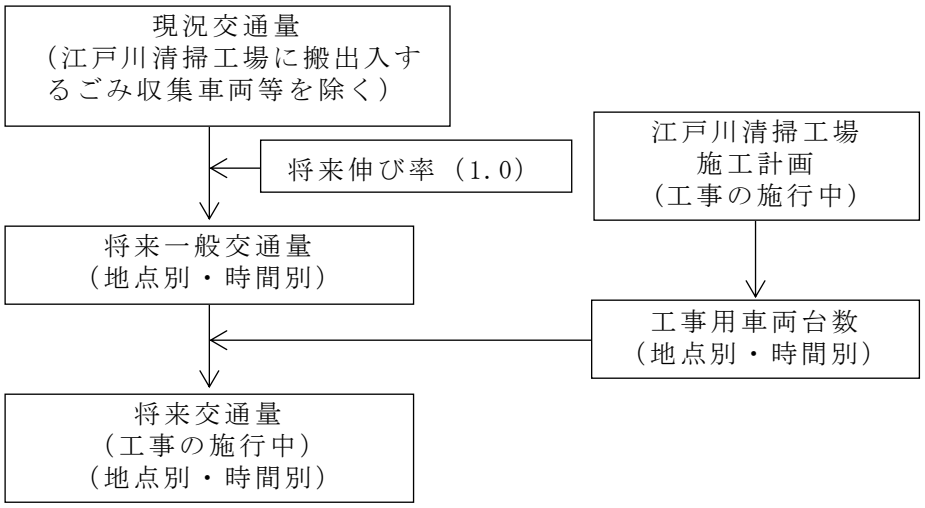


図 6.3-7　工事の施行中における将来交通量の推計フロー

イ　工事の完了後における将来交通量

将来交通量の推計フローは図 6.3-8に、工事の完了後におけるごみ収集車両等などの推計結果は表 6.3-7(1)～(5)に示すとおりである。

なお、同表中「ごみ収集車両等」は、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とし、「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両（一般の車両と、その他のごみ収集車両等を合わせたもの）とした。

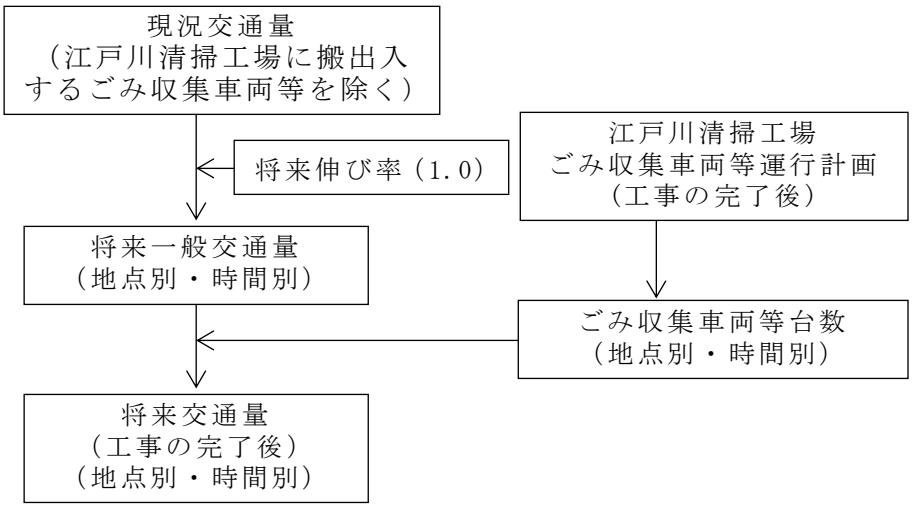


図 6.3-8　工事の完了後における将来交通量の推計フロー

表 6.3-7(1) 将来交通量（地点１ 江戸川小学校付近）

時間帯	入車方向（台）						出車方向（台）						断面合計（台）					
	一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	49	340	7	2	0	0	19	128	6	0	0	0	68	468	13	2	0	0
8:00～ 9:00	38	288	8	0	30	3	20	139	6	0	33	4	58	427	14	0	63	7
9:00～10:00	54	216	1	0	40	4	48	152	5	0	44	5	102	368	6	0	84	9
10:00～11:00	44	209	11	1	34	4	45	155	10	0	38	4	89	364	21	1	72	8
11:00～12:00	34	165	7	0	20	2	58	147	7	0	22	2	92	312	14	0	42	4
12:00～13:00	36	159	7	0	6	1	28	157	8	0	7	1	64	316	15	0	13	2
13:00～14:00	33	179	12	0	37	4	46	140	10	0	41	5	79	319	22	0	78	9
14:00～15:00	29	153	6	0	17	2	45	157	5	0	18	2	74	310	11	0	35	4
15:00～16:00	31	163	4	0	2	0	39	199	4	0	2	1	70	362	8	0	4	1
16:00～17:00	32	194	1	1	0	0	66	266	2	1	0	0	98	460	3	2	0	0
17:00～18:00	14	223	0	0	0	0	16	317	1	1	0	0	30	540	1	1	0	0
18:00～19:00	8	210	0	0	0	0	11	319	0	2	0	0	19	529	0	2	0	0
19:00～20:00	5	135	0	0	0	0	7	215	0	0	0	0	12	350	0	0	0	0
20:00～21:00	3	107	0	0	0	0	4	156	0	0	0	0	7	263	0	0	0	0
21:00～22:00	4	78	0	0	0	0	1	111	0	0	0	0	5	189	0	0	0	0
22:00～23:00	2	65	0	0	0	0	1	75	0	0	0	0	3	140	0	0	0	0
23:00～ 0:00	2	42	0	0	0	0	3	60	0	0	0	0	5	102	0	0	0	0
0:00～ 1:00	4	19	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0	4	60	0	0	0	0
1:00～ 2:00	1	25	0	0	0	0	3	19	0	0	0	0	4	44	0	0	0	0
2:00～ 3:00	6	17	0	0	0	0	9	19	0	0	0	0	15	36	0	0	0	0
3:00～ 4:00	2	19	0	0	0	0	5	17	0	0	0	0	7	36	0	0	0	0
4:00～ 5:00	8	58	0	0	0	0	5	25	0	0	0	0	13	83	0	0	0	0
5:00～ 6:00	13	144	0	0	0	0	4	57	0	0	0	0	17	201	0	0	0	0
6:00～ 7:00	45	322	0	0	0	0	14	105	0	0	0	0	59	427	0	0	0	0
昼 12 時間合計	402	2,499	64	4	186	20	441	2,276	64	4	205	24	843	4,775	128	8	391	44
夜 12 時間合計	95	1,031	0	0	0	0	56	900	0	0	0	0	151	1,931	0	0	0	0
24 時間合計	497	3,530	64	4	186	20	497	3,176	64	4	205	24	994	6,706	128	8	391	44
昼夜率（%）	1.24	1.41	1.00	1.00	1.00	1.00	1.13	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00	1.18	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00

注１）「ごみ収集車両等」は、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。
注２）「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両（一般の車両と、その他のごみ収集車両等を合わせたもの）とした。

表 6.3-7(2)　将来交通量（地点２　そよかぜひろば西）

時間帯	入車方向（台）						出車方向（台）						断面合計（台）					
	一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	22	147	8	2	0	0	45	346	7	0	0	0	67	493	15	2	0	0
8:00～ 9:00	22	167	8	0	40	4	33	285	6	0	32	3	55	452	14	0	72	7
9:00～10:00	54	141	1	0	56	6	66	235	5	0	46	4	120	376	6	0	102	10
10:00～11:00	48	131	11	1	48	5	41	182	10	0	39	4	89	313	21	1	87	9
11:00～12:00	60	131	8	0	26	3	34	166	8	0	21	2	94	297	16	0	47	5
12:00～13:00	30	142	7	0	8	1	35	162	8	0	7	1	65	304	15	0	15	2
13:00～14:00	55	169	13	0	53	6	34	170	11	0	43	4	89	339	24	0	96	10
14:00～15:00	48	200	7	0	21	2	30	165	5	0	17	2	78	365	12	0	38	4
15:00～16:00	40	221	4	0	3	1	26	156	4	0	2	0	66	377	8	0	5	1
16:00～17:00	55	280	1	1	0	0	33	195	3	1	0	0	88	475	4	2	0	0
17:00～18:00	28	277	0	0	0	0	25	189	1	1	0	0	53	466	1	1	0	0
18:00～19:00	16	317	0	0	0	0	12	211	0	2	0	0	28	528	0	2	0	0
19:00～20:00	7	228	0	0	0	0	7	134	0	0	0	0	14	362	0	0	0	0
20:00～21:00	5	188	0	0	0	0	4	99	0	0	0	0	9	287	0	0	0	0
21:00～22:00	2	118	0	0	0	0	5	75	0	0	0	0	7	193	0	0	0	0
22:00～23:00	1	76	0	0	0	0	3	57	0	0	0	0	4	133	0	0	0	0
23:00～ 0:00	2	53	0	0	0	0	1	36	0	0	0	0	3	89	0	0	0	0
0:00～ 1:00	1	44	0	0	0	0	4	18	0	0	0	0	5	62	0	0	0	0
1:00～ 2:00	3	20	0	0	0	0	1	28	0	0	0	0	4	48	0	0	0	0
2:00～ 3:00	8	18	0	0	0	0	6	27	0	0	0	0	14	45	0	0	0	0
3:00～ 4:00	6	15	0	0	0	0	5	21	0	0	0	0	11	36	0	0	0	0
4:00～ 5:00	7	25	0	0	0	0	12	58	0	0	0	0	19	83	0	0	0	0
5:00～ 6:00	6	62	0	0	0	0	23	142	0	0	0	0	29	204	0	0	0	0
6:00～ 7:00	17	95	0	0	0	0	49	326	0	0	0	0	66	421	0	0	0	0
昼 12 時間合計	478	2,323	68	4	255	28	414	2,462	68	4	207	20	892	4,785	136	8	462	48
夜 12 時間合計	65	942	0	0	0	0	120	1,021	0	0	0	0	185	1,963	0	0	0	0
24 時間合計	543	3,265	68	4	255	28	534	3,483	68	4	207	20	1,077	6,748	136	8	462	48
昼夜率（%）	1.14	1.41	1.00	1.00	1.00	1.00	1.29	1.41	1.00	1.00	1.00	1.00	1.21	1.41	1.00	1.00	1.00	1.00

注１）「ごみ収集車両等」は、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。
注２）「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両（一般の車両と、その他のごみ収集車両等を合わせたもの）とした。

表 6.3-7(3) 将来交通量（地点３ 下鎌田東小学校前）

時間帯	入車方向（台）						出車方向（台）						断面合計（台）					
	一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	10	41	3	1	0	0	12	85	2	0	0	0	22	126	5	1	0	0
8:00～ 9:00	14	68	3	0	16	2	11	75	2	0	21	2	25	143	5	0	37	4
9:00～10:00	12	75	1	0	22	2	13	71	2	0	28	3	25	146	3	0	50	5
10:00～11:00	12	59	4	0	18	2	9	55	3	0	23	3	21	114	7	0	41	5
11:00～12:00	9	72	3	0	10	1	9	58	3	0	13	2	18	130	6	0	23	3
12:00～13:00	12	76	2	0	4	0	12	40	3	0	4	0	24	116	5	0	8	0
13:00～14:00	11	74	4	0	20	2	12	53	4	0	26	3	23	127	8	0	46	5
14:00～15:00	12	79	2	0	9	1	11	59	2	0	12	1	23	138	4	0	21	2
15:00～16:00	19	88	1	0	1	0	19	67	1	0	2	0	38	155	2	0	3	0
16:00～17:00	14	93	0	0	0	0	12	84	1	0	0	0	26	177	1	0	0	0
17:00～18:00	16	97	0	0	0	0	15	71	0	0	0	0	31	168	0	0	0	0
18:00～19:00	13	80	0	0	0	0	12	69	0	1	0	0	25	149	0	1	0	0
19:00～20:00	13	83	0	0	0	0	11	55	0	0	0	0	24	138	0	0	0	0
20:00～21:00	8	57	0	0	0	0	4	44	0	0	0	0	12	101	0	0	0	0
21:00～22:00	5	44	0	0	0	0	4	31	0	0	0	0	9	75	0	0	0	0
22:00～23:00	4	36	0	0	0	0	2	17	0	0	0	0	6	53	0	0	0	0
23:00～ 0:00	0	22	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0
0:00～ 1:00	0	9	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0
1:00～ 2:00	2	3	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0
2:00～ 3:00	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
3:00～ 4:00	1	7	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0
4:00～ 5:00	2	7	0	0	0	0	3	9	0	0	0	0	5	16	0	0	0	0
5:00～ 6:00	1	12	0	0	0	0	1	23	0	0	0	0	2	35	0	0	0	0
6:00～ 7:00	10	29	0	0	0	0	8	50	0	0	0	0	18	79	0	0	0	0
昼 12 時間合計	154	902	23	1	100	10	147	787	23	1	129	14	301	1,689	46	2	229	24
夜 12 時間合計	46	310	0	0	0	0	34	262	0	0	0	0	80	572	0	0	0	0
24 時間合計	200	1,212	23	1	100	10	181	1,049	23	1	129	14	381	2,261	46	2	229	24
昼夜率（%）	1.30	1.34	1.00	1.00	1.00	1.00	1.23	1.33	1.00	1.00	1.00	1.00	1.27	1.34	1.00	1.00	1.00	1.00

注１）「ごみ収集車両等」は、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。
注２）「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両（一般の車両と、その他のごみ収集車両等を合わせたもの）とした。

表 6.3-7(4)　将来交通量（地点４　篠崎街道）

時間帯	入車方向（台）						出車方向（台）						断面合計（台）					
	一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	46	229	0	0	0	0	49	95	0	0	0	0	95	324	0	0	0	0
8:00～ 9:00	53	215	0	0	2	0	47	141	0	0	5	0	100	356	0	0	7	0
9:00～10:00	62	163	0	0	3	0	65	140	0	0	6	0	127	303	0	0	9	0
10:00～11:00	60	194	0	0	3	0	57	146	0	0	5	0	117	340	0	0	8	0
11:00～12:00	56	179	0	0	2	0	39	155	0	0	3	0	95	334	0	0	5	0
12:00～13:00	39	150	0	0	1	0	46	128	0	0	1	0	85	278	0	0	2	0
13:00～14:00	56	152	0	0	3	0	43	153	0	0	6	0	99	305	0	0	9	0
14:00～15:00	54	166	0	0	1	0	50	200	0	0	3	0	104	366	0	0	4	0
15:00～16:00	45	181	0	0	0	0	50	206	0	0	0	0	95	387	0	0	0	0
16:00～17:00	54	177	0	0	0	0	48	243	0	0	0	0	102	420	0	0	0	0
17:00～18:00	48	200	0	0	0	0	47	231	0	0	0	0	95	431	0	0	0	0
18:00～19:00	27	187	0	0	0	0	36	229	0	0	0	0	63	416	0	0	0	0
19:00～20:00	28	165	0	0	0	0	39	200	0	0	0	0	67	365	0	0	0	0
20:00～21:00	21	96	0	0	0	0	27	101	0	0	0	0	48	197	0	0	0	0
21:00～22:00	15	58	0	0	0	0	18	71	0	0	0	0	33	129	0	0	0	0
22:00～23:00	12	43	0	0	0	0	21	51	0	0	0	0	33	94	0	0	0	0
23:00～ 0:00	5	26	0	0	0	0	11	44	0	0	0	0	16	70	0	0	0	0
0:00～ 1:00	5	25	0	0	0	0	3	26	0	0	0	0	8	51	0	0	0	0
1:00～ 2:00	3	17	0	0	0	0	1	23	0	0	0	0	4	40	0	0	0	0
2:00～ 3:00	8	22	0	0	0	0	5	20	0	0	0	0	13	42	0	0	0	0
3:00～ 4:00	10	20	0	0	0	0	8	21	0	0	0	0	18	41	0	0	0	0
4:00～ 5:00	17	37	0	0	0	0	7	14	0	0	0	0	24	51	0	0	0	0
5:00～ 6:00	14	97	0	0	0	0	7	30	0	0	0	0	21	127	0	0	0	0
6:00～ 7:00	75	195	0	0	0	0	33	65	0	0	0	0	108	260	0	0	0	0
昼 12 時間合計	600	2,193	0	0	15	0	577	2,067	0	0	29	0	1,177	4,260	0	0	44	0
夜 12 時間合計	213	801	0	0	0	0	180	666	0	0	0	0	393	1,467	0	0	0	0
24 時間合計	813	2,994	0	0	15	0	757	2,733	0	0	29	0	1,570	5,727	0	0	44	0
昼夜率（%）	1.36	1.37	－	－	1.00	－	1.31	1.32	－	－	1.00	－	1.33	1.34	－	－	1.00	－

注１）「ごみ収集車両等」は、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。
注２）「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両（一般の車両と、その他のごみ収集車両等を合わせたもの）とした。

表 6.3-7(5) 将来交通量（地点５ 柴又街道）

時間帯	入車方向（台）						出車方向（台）						断面合計（台）					
	一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等		一般車両		工事用車両		ごみ収集車両等	
	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～ 8:00	8	44	3	1	0	0	7	55	3	0	0	0	15	99	6	1	0	0
8:00～ 9:00	9	65	3	0	7	0	9	64	2	0	7	0	18	129	5	0	14	0
9:00～10:00	17	44	1	0	9	0	15	61	2	0	9	1	32	105	3	0	18	1
10:00～11:00	15	49	4	0	8	0	23	56	4	0	8	0	38	105	8	0	16	0
11:00～12:00	14	35	3	0	4	0	30	50	3	0	4	0	44	85	6	0	8	0
12:00～13:00	17	46	3	0	1	0	13	47	4	0	1	0	30	93	7	0	2	0
13:00～14:00	11	37	5	0	8	0	22	62	4	0	8	0	33	99	9	0	16	0
14:00～15:00	12	66	3	0	4	0	25	55	2	0	4	0	37	121	5	0	8	0
15:00～16:00	14	59	2	0	0	0	13	76	2	0	0	0	27	135	4	0	0	0
16:00～17:00	18	86	0	0	0	0	40	95	1	0	0	0	58	181	1	0	0	0
17:00～18:00	7	77	0	0	0	0	8	91	0	0	0	0	15	168	0	0	0	0
18:00～19:00	2	64	0	0	0	0	3	75	0	1	0	0	5	139	0	1	0	0
19:00～20:00	1	59	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0	1	127	0	0	0	0
20:00～21:00	0	36	0	0	0	0	1	51	0	0	0	0	1	87	0	0	0	0
21:00～22:00	0	21	0	0	0	0	1	22	0	0	0	0	1	43	0	0	0	0
22:00～23:00	0	18	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	39	0	0	0	0
23:00～ 0:00	0	16	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	2	21	0	0	0	0
0:00～ 1:00	0	4	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	1	12	0	0	0	0
1:00～ 2:00	0	3	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0
2:00～ 3:00	0	6	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	3	11	0	0	0	0
3:00～ 4:00	1	6	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	3	9	0	0	0	0
4:00～ 5:00	2	4	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	3	8	0	0	0	0
5:00～ 6:00	5	16	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	5	25	0	0	0	0
6:00～ 7:00	7	30	0	0	0	0	1	25	0	0	0	0	8	55	0	0	0	0
昼 12 時間合計	144	672	27	1	41	0	208	787	27	1	41	1	352	1,459	54	2	82	1
夜 12 時間合計	16	219	0	0	0	0	13	224	0	0	0	0	29	443	0	0	0	0
24 時間合計	160	891	27	1	41	0	221	1,011	27	1	41	1	381	1,902	54	2	82	1
昼夜率（%）	1.11	1.33	1.00	1.00	1.00	－	1.06	1.28	1.00	1.00	1.00	1.00	1.08	1.30	1.00	1.00	1.00	1.00

注１）「ごみ収集車両等」は、江戸川清掃工場に搬出入するごみ収集車両等とした。
注２）「一般車両」は、「ごみ収集車両等」以外の車両（一般の車両と、その他のごみ収集車両等を合わせたもの）とした。

7　環境影響評価の項目

7.1　選定した（しなかった）項目及びその理由

7　環境影響評価の項目

7.1　選定した（しなかった）項目及びその理由

7.1.1 騒音・振動（低周波音）

（1） 現況調査

ア 調査方法

(ｱ) 調査期間

現地調査の期間は、表 7.1-1に示すとおり、江戸川清掃工場の２炉稼働時及び２炉停止時の各１日間とした。

表 7.1-1　現地調査期間

測定事項	調　査　期　間	
低周波音	平成 28 年５月 18 日(水)13：00 ～ ５月 19 日(木)13：00	停止時
	平成 29 年１月 24 日(火)9:00 ～ １月 25 日(水)9:00	稼働時

(ｲ) 調査地点

調査地点は、図 7.1-1に示すとおりである。調査地点は計画地周辺の10地点とし、測定の高さは地上1.2ｍとした。

(ｳ) 測定方法

「低周波音の測定方法に関するマニュアル」（平成12年10月、環境庁大気保全局）に定める測定方法に準拠した。

現地調査10地点では、24時間のうち６時～８時、８～19時、19時～23時、23時～６時の各時間帯の10分間、計４回の測定を行った。さらに、敷地境界上の４地点(地点１、２、３、４)では、24時間のうち毎正時から10分間、計24回の測定を行った。

なお、調査で使用した機器は、表 7.1-2に示す。

表 7.1-2　使用機器一覧

調査項目	機器名	メーカー名	形式	仕様
低周波音 （音圧レベル）	精密騒音計 （低周波音測定機能付）	リオン(株)	NL-62	測定範囲：43～130dB（G特性） ：50～130dB（平坦特性） 周波数範囲：１～20ｋHz （分析範囲１～80Hz）

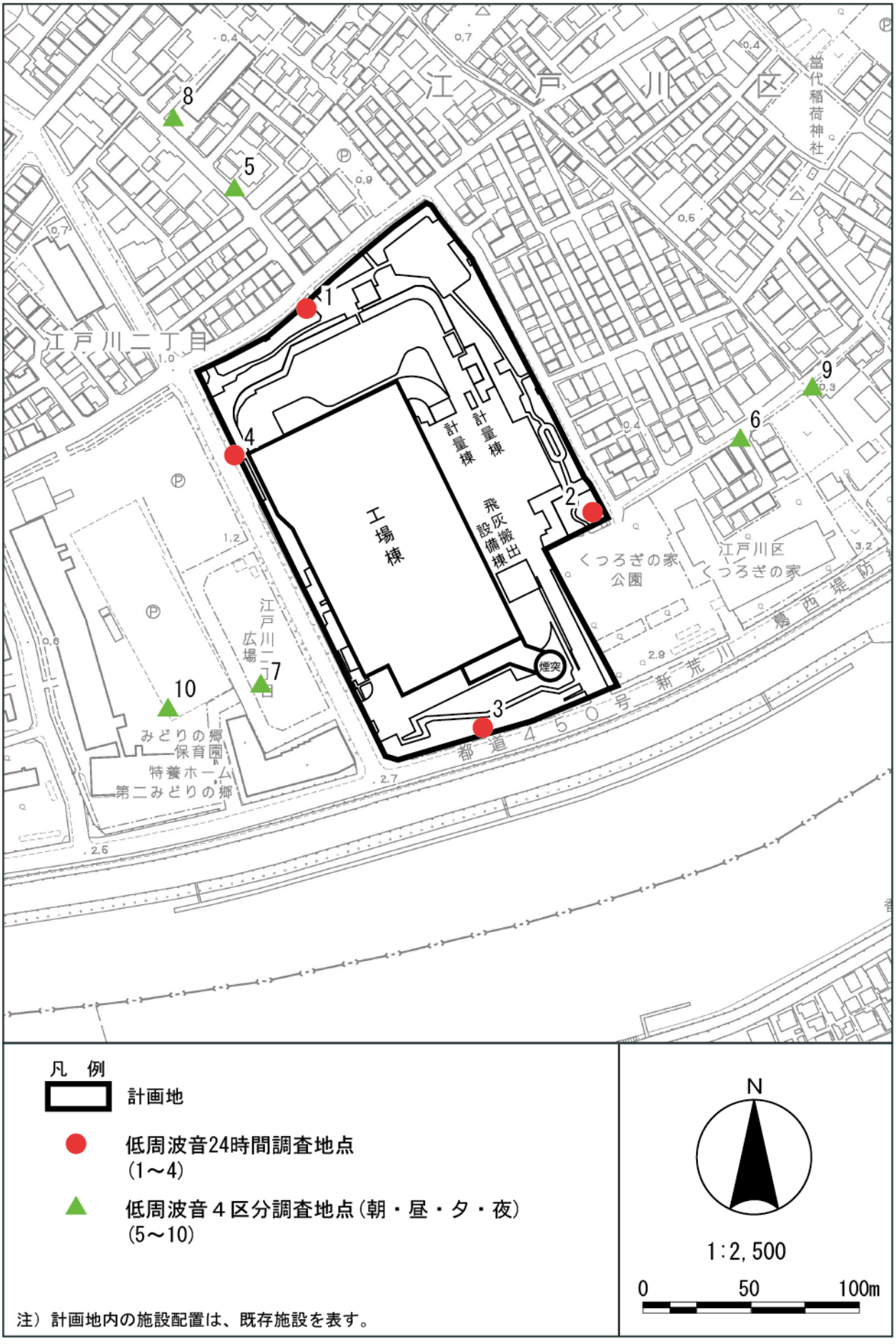


図 7.1-1　低周波音調査地点

イ　調査結果

(ｱ)　Ｇ特性

低周波音のＧ特性における現地調査結果は、表 7.1-3に示すとおりである。また、結果の詳細は、表 7.1-8(1)～(20)に示すとおりである。

Ｇ特性等価音圧レベル(L_{Geq})の範囲は、敷地境界の全４地点において、停止時が71～74dB、稼働時が72～75dBであった。計画地周辺の全６地点においては、停止時が60～72dB、稼働時が64～72dBであった。

Ｇ特性における参考指標は、表 7.1-4に示すとおりである。低周波音には基準又は目標値が設定されていないが、代表的なＧ特性における指標としてISO 7196に規定された参考指標がある。現地調査のＧ特性等価音圧レベルは、稼働時において最大の測定地点(No.2)でも75dBであり、参考指標の100dBと比べ25dB以上低くなっている。

表 7.1-3　低周波音調査結果（Ｇ特性）

No.	測定地点	区分	Ｇ特性等価音圧レベル（L_{Geq}）(dB)	
			停止時	稼働時
1	境界（北）	24 時間	71	72
2	境界（東）	24 時間	74	75
3	境界（南）	24 時間	72	74
4	境界（西）	24 時間	74	74
5	周辺（北）	４時間	63	64
6	周辺（東）	４時間	68	65
7	周辺（西）	４時間	72	72
8	周辺（北）	４時間	60	65
9	周辺（東）	４時間	66	70
10	周辺（西）	４時間	70	70

注１）測定地点　:「境界（○○)」は計画地敷地境界での測定、「周辺（○○)」は計画地外部の周辺地域での測定を表す。各測定地点の位置は、図 7.1-1 を参照。
注２）測定区分：24 時間：毎正時から 10 分間の測定
４時間：朝（６時～８時)、昼（８～19 時)、夕（19 時～23 時)、夜（23 時～６時)の各時間帯で 10 分間の測定
注３）等価音圧レベルは 24 時間または４時間の毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。

表 7.1-4　参考指標（Ｇ特性）

参考指標	指標値	備考
ISO 7196 に規定されたＧ特性低周波音圧レベル	Ｇ特性音圧レベルで 100dB	ISO 7196 では１～20Hz の周波数範囲において、平均的な被験者が知覚できる低周波音をＧ特性加重音圧レベルで概ね 100dB としている

資料）ISO7196:1995、Acoustics - Frequency-weighting characteristic for infrasound measurements

(ｲ) 平坦特性

低周波音の平坦特性における現地調査結果は、表 7.1-5に示すとおりである。また、結果の詳細は、表 7.1-8(1)～(20)に示すとおりである。

１～80Hzの音圧レベル合成値(AP)は、敷地境界の全4地点において、停止時が73～74dB、稼働時が72～76dBであった。計画地周辺の全6地点においては、停止時が69～75dB、稼働時が72～76dBであった。

また、1/3オクターブバンド別の音圧レベルについては、敷地境界と計画地周辺のいずれにおいても停止時か稼働時かに関わらず1Hzが最大となっている地点が多いが、他の周波数に比べて音圧レベルが卓越していることはない。５～80Hzにおける音圧レベル最大の周波数をみると、敷地境界の４地点については、５～63Hzの間でばらついており、このうち最大値は工場停止時及び稼働時における地点２の67dBであった。計画地周辺の６か所の測定地点では、５～８Hzが最大となっているが、これらの周波数についても他の周波数にくらべて音圧レベルが卓越していることはない。

平坦特性における参考指標は、表 7.1-6、図 7.1-2及び図 7.1-3に示すとおりである。現地調査の結果と参考指標を比較すると、敷地境界及び計画地周辺の全地点において、1/3オクターブバンド別の音圧レベルは、「圧迫感・振動感を感じる音圧レベル」及び「建具のがたつきがはじまる値」の二つの参考指標を大きく下回っており、「よくわかる　不快な感じがしない音圧レベル」以下となっている。

表 7.1-5　低周波音調査結果（平坦特性）

（単位：dB）

No.	測定地点		稼働状況	平坦特性等価音圧レベル																				
				AP	中心周波数(Hz)																			
					1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
1	敷地境界	境界	停止時	73	64	63	62	62	61	61	60	60	59	58	56	58	58	56	58	55	57	56	54	51
		北西	稼働時	72	63	62	61	60	59	59	58	58	57	58	56	59	58	59	61	57	57	57	55	52
2		境界	停止時	74	60	59	58	57	57	57	59	63	66	67	63	62	61	58	55	55	64	60	56	53
		北東	稼働時	76	65	64	63	63	62	61	62	64	67	67	62	63	63	60	57	57	59	58	58	55
3		境界	停止時	72	60	57	55	54	54	54	55	57	60	62	58	59	58	58	59	60	62	63	63	62
		南東	稼働時	76	66	64	64	63	62	62	62	62	62	65	61	61	61	61	61	61	64	65	64	62
4		境界	停止時	74	64	62	60	59	59	58	58	59	62	61	61	60	60	59	63	62	64	63	63	60
		南西	稼働時	75	66	64	63	62	62	61	61	61	63	62	61	61	61	60	64	60	61	64	61	58
5	計画地周辺	周辺	停止時	69	61	61	60	59	58	57	55	55	55	54	52	52	49	48	47	47	52	48	49	44
		北西	稼働時	72	65	64	63	62	61	60	59	58	57	55	53	52	50	49	50	51	49	48	47	46
6		周辺	停止時	73	64	64	63	62	62	61	61	61	62	62	57	55	54	54	51	55	54	55	55	49
		北東	稼働時	72	64	63	62	61	61	60	60	60	62	60	54	52	51	49	48	50	51	51	49	47
7		周辺	停止時	75	66	66	65	64	63	62	61	62	62	64	61	60	58	57	56	57	57	56	57	54
		南東	稼働時	76	68	67	67	66	65	65	64	64	64	64	62	61	59	57	58	58	58	60	57	54
8		周辺	停止時	69	62	62	61	59	59	58	56	55	54	52	50	50	47	45	46	47	46	48	49	46
		南西	稼働時	72	66	65	63	62	61	60	59	57	56	55	52	52	52	51	53	53	52	53	51	51
9		周辺	停止時	71	63	62	61	60	60	59	58	58	58	59	55	55	53	50	51	51	51	49	52	48
		北東	稼働時	75	67	67	66	65	65	65	64	63	63	62	60	59	57	54	53	52	51	50	50	50
10		周辺	停止時	73	65	64	63	62	61	61	59	60	61	61	58	60	56	56	55	56	54	52	51	50
		南西	稼働時	74	65	64	64	63	62	62	62	62	61	61	60	60	56	54	57	56	55	56	52	50

注１）測定地点：「境界」は計画地境界での測定、「周辺地域」は計画地外部の周辺地域での測定を表す。各測定地点の位置は、図 7.1-1 を参照。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの音圧レベルの合成値である。
注３）24 時間または 4 時間の毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）網掛部（□）は、1/3 オクターブバンド別の最大の音圧レベルを示す。また、下線は、5～80Hz における 1/3 オクターブバンド別の最大の音圧レベルを示す。

表 7.1-6　参考指標（1/3 オクターブバンド別）

参考指標	指標値
圧迫感・振動感を感じる音圧レベル[注１]	図 7.1-2 の塗りつぶされた範囲が圧迫感や振動感による不快感が生じる範囲を示す
低周波音により建具ががたつきはじめる値[注２]	図 7.1-3 の直線より大きくなると建具ががたつきはじめる

注１）「環境アセスメントの技術」（社団法人環境情報科学センター）
注２）「低周波音の測定方法に関するマニュアル」（平成 12 年 10 月，環境庁）

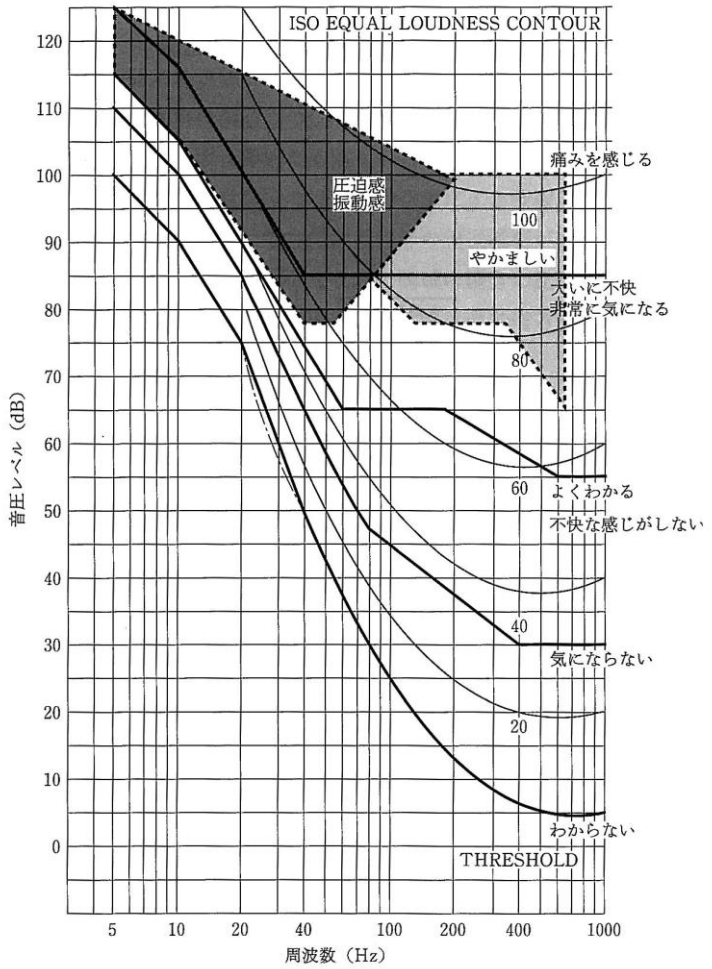


図 7.1-2　低周波音及び可聴音の不快さを感じる感覚

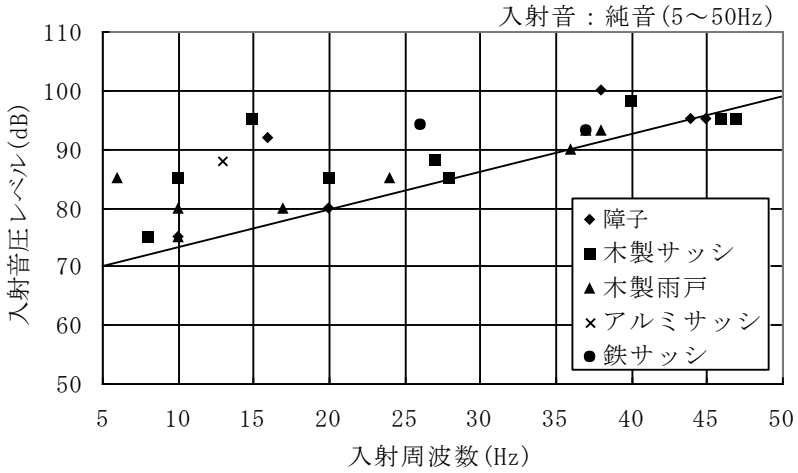


図 7.1-3　低周波音により建具ががたつきはじめる値

（2） 計画施設と既存施設の比較

ア　設備機器の構成

計画施設と既存施設の主要な設備機器については、表 7.1-7に示すとおり、構成と数量に差異はない。

また、既存施設に設置されていない設備機器で低周波音の要因となるものを計画施設に新たに設置する計画はない。

表 7.1-7　主要な設備機器と設置数（計画施設および既存施設）

設備機器名	単位	数量		設備機器名	単位	数量	
		計画	既存			計画	既存
ごみクレーン	基	2	2	ろ過式集じん器	基	2	2
焼却炉	炉	2	2	洗煙設備	基	2	2
押込ファン	基	2	2	触媒反応塔	基	2	2
ボイラ	基	2	2	誘引ファン	基	2	2
ボイラ給水ポンプ	台	2	2	灰等コンベヤ	式	1	1
脱気器	基	2	2	灰クレーン	式	1	1
脱気器給水ポンプ	台	2	2	発電設備	式	1	1
排気復水設備	式	1	1	汚水処理設備	式	1	1

イ　低周波音を発生する機器の設置状況

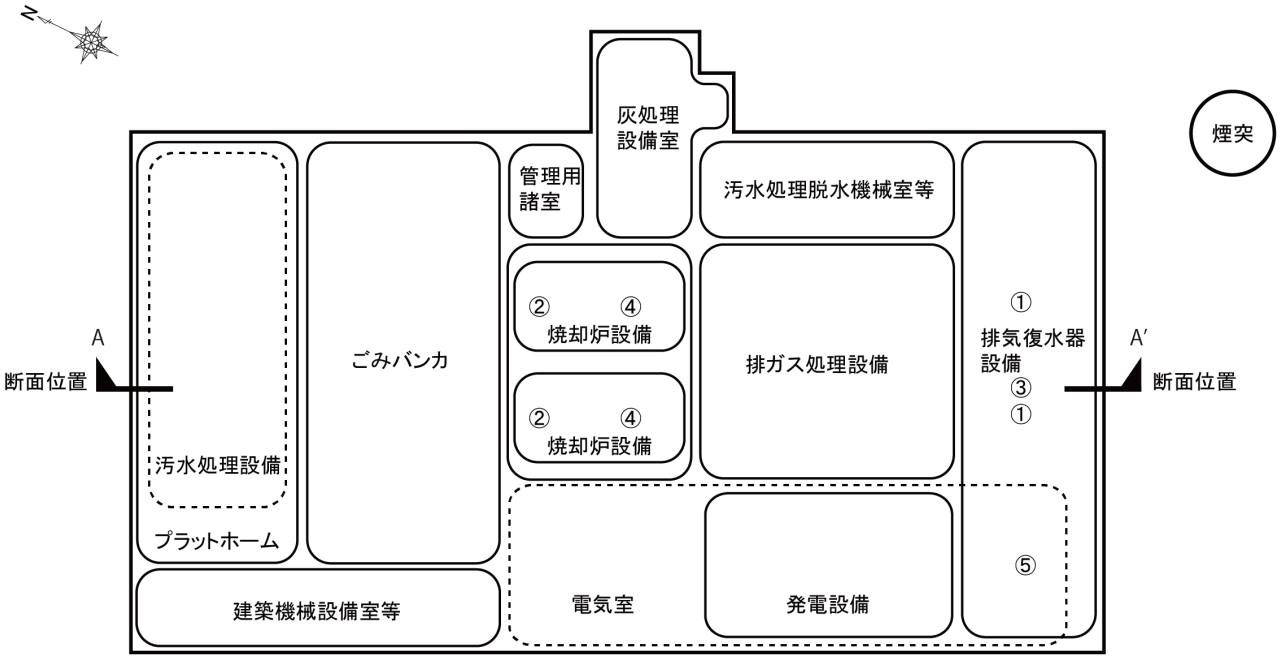
計画施設と既存施設の低周波音発生の程度について検討するため、低周波音を発生する主要な設備機器の配置状況を比較した。

低周波音を発生する可能性のある主要な設備機器の配置は、図 7.1-4(1)及び(2)に示すとおりである。

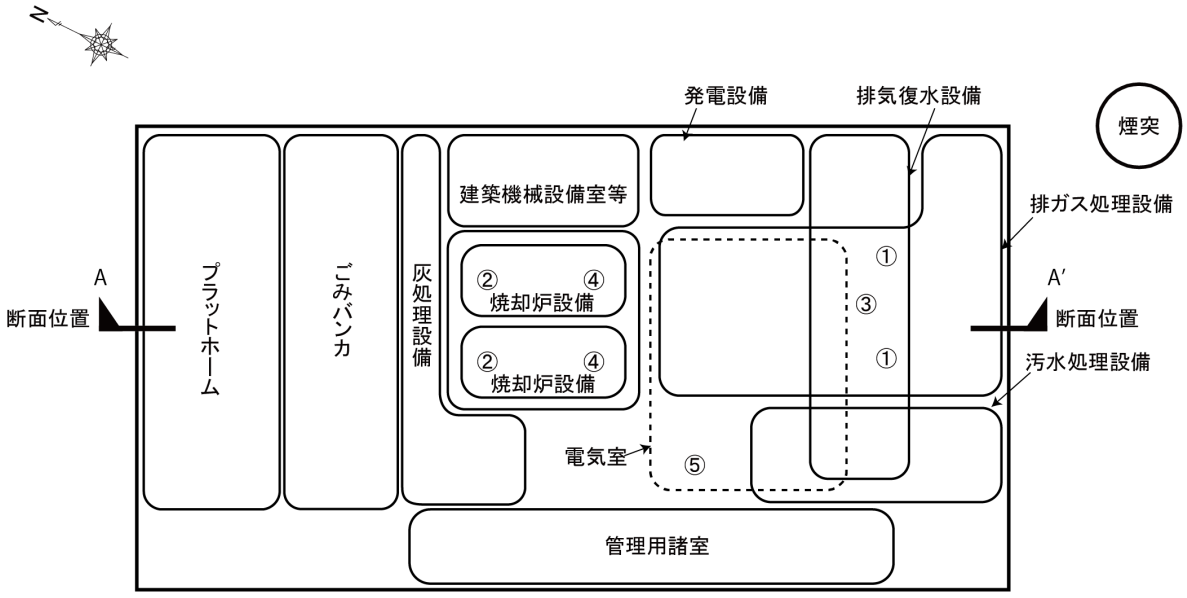
「低周波音の測定方法に関するマニュアル」（環境庁、平成12年）によると、低周波音の問題が発生する可能性のある機器は、送風機、往復式圧縮機、ディーゼル機関、真空ポンプ、振動ふるいなどである。清掃工場で該当する主な設備機器としては誘引ファン、押込ファン、復水ファン（排気復水設備）、ボイラ、変圧器がある。既存施設において最も出力の大きい誘引ファンは、770kWの出力を有する。

また、北側のプラットホームから南側の煙突に向かうごみ処理の流れは同じであることから、主要な設備機器の配置に大きな差異はない。

なお、計画施設は既存施設と同じ600トン/日の処理能力を有しており、建物についても既存施設とほぼ同じ位置に配置している。

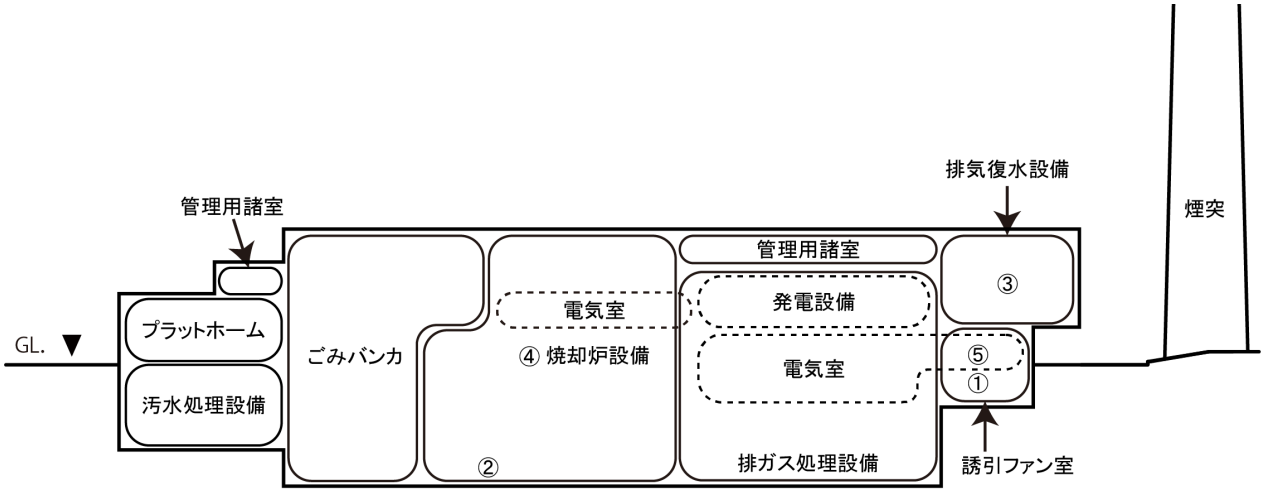


計画施設平面図

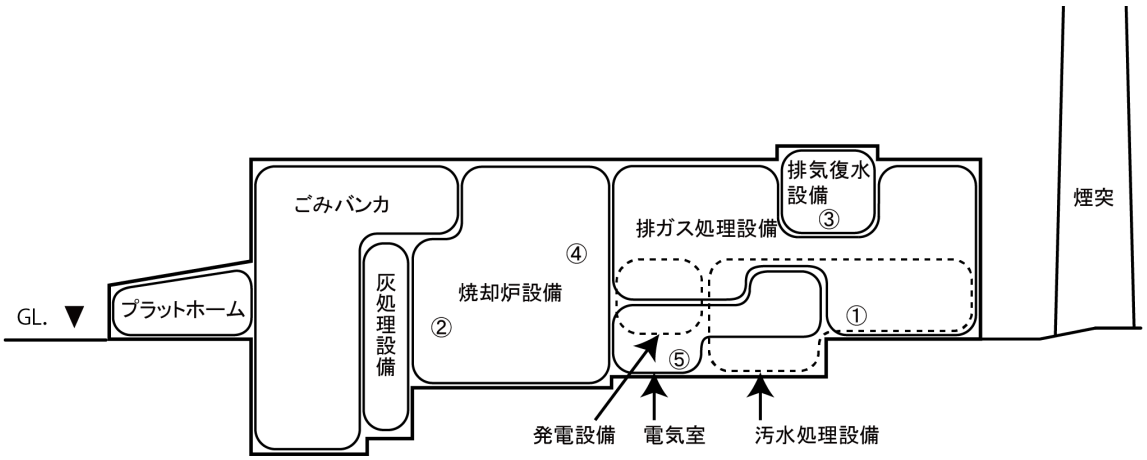


既存施設平面図

図 7.1-4(1)　低周波音を発生する可能性のある主要な設備機器の配置（平面図）
（①誘引ファン、②押込ファン、③復水ファン、④ボイラ、⑤変圧器）



計画施設断面図（A-A’断面図）



既存施設断面図（A-A’断面図）

図 7.1-4(2)　低周波音を発生する可能性のある主要な設備機器の配置（断面図）
（①誘引ファン、②押込ファン、③復水ファン、④ボイラ、⑤変圧器）

（3） 低周波音を項目として選定しなかった理由

現況調査の調査結果で示したとおり、既存施設における低周波音（G特性及び平坦特性の音圧レベル）では、卓越した周波数が認められない上、周辺へ影響を及ぼすとされる指標を下回っている。また、計画施設の主要な機器構成及び配置は、既存施設と大きな差異はない。

以上のことから、施設の稼働に伴い発生する低周波音については予測・評価項目としない。

（４） 現況調査結果の詳細（参考）

表 7.1-8(1)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 1）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～ 5 月 19 日（木）13 時（停止時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																			
		AP	中心周波数(Hz)																		
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	67.3	67.3	55.7	54.3	53.5	52.3	53.0	51.5	51.2	53.3	54.3	55.2	53.0	56.2	54.8	52.2	54.4	52.6	54.3	56.9	56.2	55.4
7:00	67.7	67.3	55.3	54.7	53.8	53.0	52.8	53.3	53.7	53.4	54.2	54.9	52.5	55.5	55.4	53.6	54.4	54.1	56.3	56.7	53.5	51.0
8:00	69.4	74.8	67.4	66.6	65.9	66.4	64.2	62.3	61.5	61.5	59.9	58.8	57.2	57.3	57.6	54.0	55.3	54.5	54.7	52.5	52.5	49.3
9:00	72.3	75.8	67.5	67.6	66.2	65.7	65.2	64.4	63.9	62.4	61.6	60.8	58.9	58.5	60.1	57.9	59.7	57.6	58.1	57.8	55.1	51.8
10:00	74.4	75.4	66.8	65.8	64.1	63.8	63.7	63.7	62.9	61.7	61.1	59.7	58.1	60.4	61.2	61.7	60.4	58.0	62.1	61.9	61.3	53.4
11:00	73.9	77.1	69.1	68.3	67.4	66.6	66.6	65.8	65.3	64.5	63.5	62.3	60.4	60.8	61.0	59.9	60.4	59.2	56.4	56.9	56.1	54.3
12:00	73.3	76.2	67.7	67.0	66.3	66.0	65.6	64.9	64.1	63.8	62.2	62.9	60.8	60.1	60.8	58.2	60.7	57.6	59.0	56.4	54.2	52.6
13:00	72.2	74.9	67.2	67.2	65.3	64.4	63.6	61.9	61.1	59.8	59.4	58.3	56.1	57.9	59.0	57.3	62.8	56.7	58.7	58.9	57.2	52.0
14:00	73.6	75.8	67.5	66.6	66.0	65.0	64.3	64.0	63.3	62.4	62.1	60.9	59.4	59.9	59.9	58.7	63.3	58.8	59.0	58.6	56.5	52.9
15:00	74.3	77.0	68.2	67.2	66.7	66.4	65.8	66.0	65.9	65.1	64.0	62.8	60.7	61.4	61.0	59.5	62.8	57.3	61.0	58.3	56.4	52.7
16:00	70.6	75.3	67.6	66.6	65.3	65.3	64.9	64.1	63.5	62.6	61.5	60.9	58.9	58.4	57.7	55.5	55.3	56.0	58.6	55.4	54.0	51.2
17:00	69.7	74.5	67.6	65.8	65.5	63.5	64.4	62.7	60.8	60.8	59.5	58.3	55.4	56.3	56.1	56.4	56.9	57.3	58.2	55.1	55.1	52.1
18:00	67.3	69.5	61.4	60.7	58.6	58.6	57.5	56.3	55.5	55.3	55.1	55.8	52.7	55.1	54.4	53.1	55.0	55.5	56.0	53.5	51.9	51.6
19:00	66.9	66.4	52.5	53.5	52.2	50.8	49.6	49.4	50.0	52.8	54.0	55.3	52.2	54.7	54.1	51.6	56.2	55.2	55.3	55.9	53.9	49.9
20:00	67.2	66.2	53.8	52.6	52.8	51.8	51.2	50.2	50.2	52.9	54.0	55.0	52.6	55.4	55.0	51.6	55.5	53.1	53.4	53.4	52.8	51.5
21:00	68.4	65.6	49.8	49.0	47.7	47.9	49.2	49.6	49.2	52.5	53.9	55.0	52.1	55.5	57.0	53.5	54.3	53.7	52.5	52.3	50.7	50.4
22:00	70.0	66.8	52.7	51.3	51.4	50.3	51.1	52.9	51.1	53.3	54.6	55.2	52.9	58.3	57.5	56.2	54.9	51.2	52.3	51.9	54.5	49.7
23:00	70.3	65.7	45.8	47.2	45.7	46.9	47.4	47.0	50.1	53.1	54.0	54.7	52.9	57.9	57.6	57.4	54.0	49.1	50.8	49.0	47.3	45.4
0:00	67.1	64.5	43.0	44.7	45.3	46.2	46.1	47.0	50.1	53.0	54.0	54.9	52.1	55.2	54.7	53.2	53.2	51.6	51.4	50.8	48.2	46.5
1:00	70.5	65.7	43.9	45.6	46.0	47.0	48.5	46.7	50.6	53.2	54.2	54.7	52.7	58.7	57.4	57.5	53.5	49.2	49.8	48.2	46.7	44.4
2:00	64.6	63.1	45.2	46.5	45.9	47.5	48.5	46.5	49.1	52.8	53.9	54.6	51.5	54.0	52.8	47.6	51.3	45.1	46.4	47.3	45.9	43.3
3:00	64.7	62.9	43.2	43.4	44.9	46.3	46.8	45.9	48.3	52.2	53.5	54.6	51.5	54.1	52.8	47.8	51.2	48.6	47.3	46.4	45.4	43.3
4:00	64.7	63.1	42.7	43.6	44.3	46.1	48.0	47.6	48.3	52.2	53.6	54.5	51.5	54.3	52.8	47.8	51.3	46.4	48.7	47.8	47.3	47.3
5:00	65.1	64.1	49.2	49.9	48.5	48.2	49.1	48.0	48.5	52.8	53.7	54.5	51.7	54.3	52.9	48.8	51.9	48.7	50.8	49.5	50.8	47.4
24 時間平均	70.5	72.6	64.1	63.4	62.4	61.9	61.4	60.6	60.1	59.6	58.9	58.4	56.3	57.7	57.7	56.2	57.9	55.1	56.5	55.6	54.4	51.1

注１）L_{Geq} はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、13 時である。

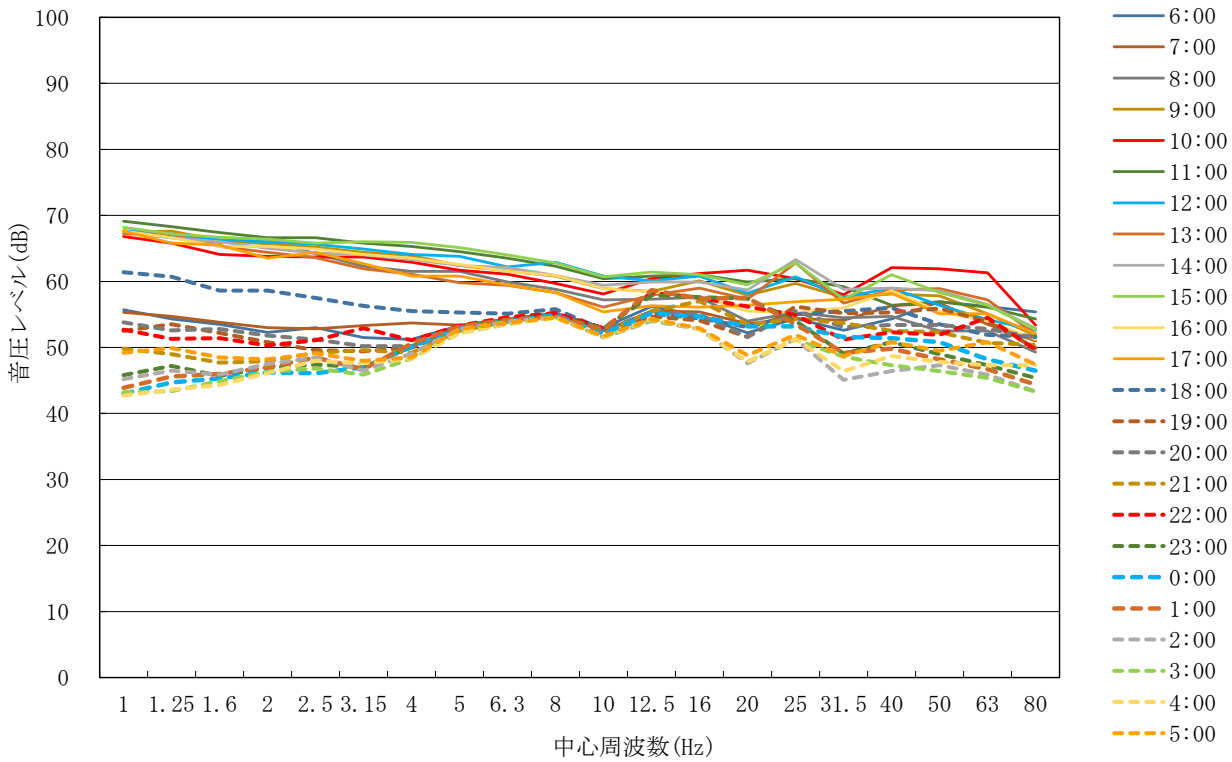


表 7.1-8(2)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 1）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）9 時～1 月 25 日（水）9 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	69.4	66.5	47.1	47.5	47.2	47.2	48.5	49.6	51.2	53.6	54.2	55.6	54.3	57.0	55.8	55.1	59.0	53.7	51.6	53.2	52.3	49.3
7:00	72.0	69.2	47.6	47.0	46.7	47.8	48.3	51.0	52.7	53.6	54.2	56.3	55.3	58.8	57.4	58.5	62.0	58.3	55.4	60.4	56.6	52.7
8:00	71.7	68.6	48.5	47.7	47.4	48.4	48.6	50.1	51.8	54.0	54.6	56.5	55.1	57.7	57.1	57.7	62.5	57.3	55.8	56.6	55.6	52.8
9:00	74.3	74.1	65.4	63.0	63.4	62.4	61.4	60.7	60.9	59.6	58.5	59.7	57.8	61.2	59.7	61.9	62.1	59.8	60.1	59.0	58.6	54.4
10:00	73.9	76.1	68.9	67.9	65.7	65.8	63.7	62.8	61.0	59.9	59.2	58.8	57.9	60.3	59.6	61.5	61.9	60.7	61.4	63.0	60.2	56.4
11:00	73.7	74.0	65.5	63.4	62.2	61.9	62.1	60.4	60.6	59.1	58.1	58.3	57.1	59.5	58.9	61.4	62.6	60.8	61.4	61.0	58.9	55.8
12:00	73.8	74.8	67.6	66.2	64.1	62.8	63.3	62.2	60.2	59.3	58.3	58.4	57.6	61.5	59.4	61.1	60.8	59.6	59.4	58.7	57.5	53.5
13:00	74.2	74.1	65.0	65.6	63.7	62.0	59.6	59.6	59.0	58.4	57.6	58.0	56.7	61.6	59.0	62.2	61.2	60.8	60.7	59.8	59.1	55.7
14:00	74.4	75.6	66.4	65.9	64.8	63.9	63.8	63.7	62.8	61.5	60.8	60.8	59.1	60.9	59.8	62.1	62.0	62.1	62.5	60.8	59.3	56.4
15:00	75.4	76.7	68.4	67.0	66.0	65.3	65.1	66.0	65.4	63.4	63.3	62.9	61.8	63.9	61.5	62.1	61.0	58.0	58.0	57.1	55.7	52.6
16:00	71.2	74.2	67.1	66.9	64.4	63.9	62.0	60.5	59.8	58.5	57.6	58.1	56.5	58.6	56.6	56.4	61.9	55.7	55.8	56.4	55.0	52.6
17:00	71.0	69.7	60.5	59.1	55.6	56.9	55.7	54.8	53.8	54.5	54.8	56.2	54.8	58.1	56.1	57.0	61.6	55.5	55.2	56.2	52.7	50.5
18:00	71.3	70.6	60.5	60.4	59.8	58.1	56.9	56.7	57.0	55.0	55.3	56.0	55.5	57.9	56.0	57.2	62.5	56.0	54.3	54.7	53.0	53.5
19:00	71.2	72.5	65.1	63.3	62.2	62.2	60.9	60.1	58.1	57.6	56.6	57.4	56.1	58.3	56.6	57.1	61.4	54.6	54.4	53.5	52.6	51.0
20:00	70.8	70.5	62.5	60.6	58.6	57.1	56.1	55.2	55.6	56.4	55.6	56.3	55.3	58.0	56.8	56.3	61.3	54.8	54.9	55.5	54.5	53.3
21:00	69.2	69.4	60.6	60.2	58.1	58.7	56.5	55.7	54.0	55.1	54.7	55.6	55.0	56.4	54.3	54.0	60.6	52.6	52.7	52.5	49.9	48.6
22:00	70.0	71.2	63.4	62.7	61.9	60.4	59.1	57.3	56.1	56.3	56.0	56.7	55.2	58.0	55.9	55.0	60.3	51.9	52.4	52.1	48.9	47.6
23:00	70.2	69.1	59.2	59.4	57.9	57.6	55.5	53.1	55.2	55.3	55.2	56.0	55.2	58.1	56.1	56.5	59.6	52.0	50.1	51.3	48.1	46.3
0:00	69.7	68.1	58.3	57.6	55.7	53.9	53.2	54.1	53.9	54.9	54.8	55.9	54.8	57.8	55.6	55.4	59.3	50.8	49.2	49.8	47.5	45.5
1:00	70.1	66.4	49.0	47.8	47.5	48.0	47.8	48.5	51.4	53.7	53.9	55.6	54.8	58.0	56.0	56.6	59.3	51.1	49.2	49.7	47.0	45.5
2:00	70.0	66.9	53.9	52.8	52.9	50.5	50.3	50.4	52.7	53.7	54.0	55.7	54.4	58.0	55.7	56.5	59.0	50.3	49.4	49.6	46.7	44.9
3:00	70.4	66.5	46.6	45.7	45.2	45.9	47.1	49.3	52.1	53.5	54.3	55.7	54.7	58.3	56.4	56.8	59.5	51.3	49.6	50.1	47.3	46.1
4:00	69.1	65.9	48.5	46.8	46.0	46.6	48.0	49.5	51.1	53.1	53.8	55.5	54.3	57.3	55.2	54.5	58.6	51.0	50.5	50.3	48.0	45.8
5:00	69.9	66.4	47.3	47.1	46.5	47.2	48.1	50.0	52.3	53.3	54.4	55.3	54.6	57.5	56.6	55.7	58.9	51.4	50.7	50.5	48.4	47.3
24 時間平均	72.0	72.1	63.4	62.4	60.9	60.2	59.3	58.9	58.3	57.5	57.1	57.6	56.4	59.3	57.6	58.7	61.0	57.0	56.9	57.0	55.2	52.3

注１）L_{Geq} はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、9 時である。

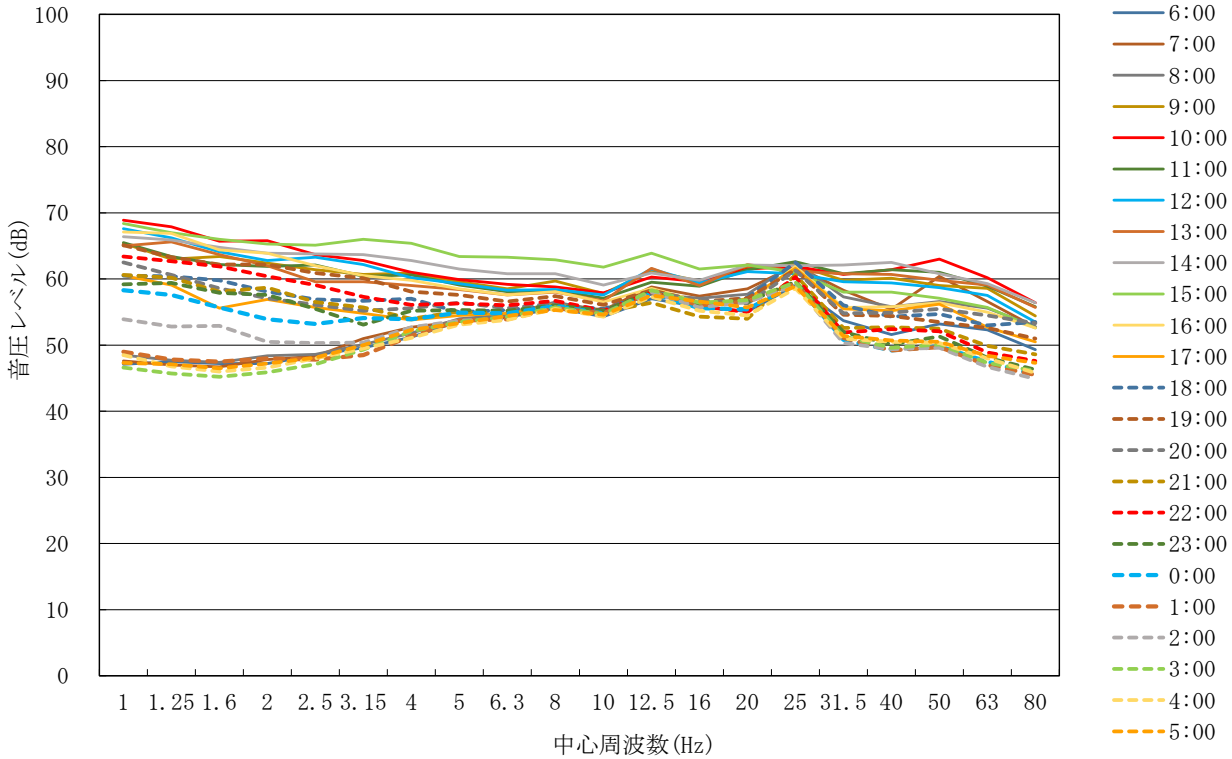


表 7.1-8(3)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 2）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時（停止時）　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	73.0	72.6	49.7	49.3	49.8	50.0	51.9	54.2	57.5	63.0	65.8	66.2	62.8	61.7	60.7	57.2	53.8	54.5	54.1	56.4	57.4	54.0
7:00	73.0	72.8	55.0	54.1	55.5	53.7	53.6	55.2	58.2	63.3	66.1	66.5	62.6	61.6	60.6	57.4	52.8	53.1	53.6	54.3	53.5	50.9
8:00	73.2	73.2	56.4	56.6	56.5	56.4	56.2	56.3	58.8	63.3	66.0	66.4	62.7	61.6	61.0	57.5	53.6	53.7	54.3	55.5	56.4	53.2
9:00	74.9	74.5	61.5	60.6	59.5	58.6	58.6	58.5	60.0	63.5	66.1	67.0	63.2	61.8	62.4	60.6	58.5	56.8	58.5	58.3	57.4	55.4
10:00	74.8	74.2	59.1	58.3	57.6	57.4	57.8	58.4	59.6	63.1	66.3	67.4	62.9	61.9	62.4	60.6	58.0	56.7	57.8	58.8	58.5	53.6
11:00	74.4	75.1	64.9	62.5	61.2	61.7	60.3	60.2	61.6	63.7	66.2	67.3	62.5	62.0	61.8	59.9	58.4	57.6	58.1	57.5	57.2	55.3
12:00	74.4	75.5	64.2	64.7	63.1	62.3	62.3	62.1	62.6	63.9	66.5	67.5	63.2	62.3	62.1	59.0	57.3	56.0	55.4	56.6	55.0	53.0
13:00	75.1	76.2	56.8	57.3	55.7	54.7	55.2	56.0	58.9	63.1	66.1	67.6	62.8	61.8	62.2	61.0	58.9	58.2	71.9	62.2	58.8	57.7
14:00	74.8	77.7	66.3	64.8	61.9	61.7	60.8	61.0	61.1	63.5	66.3	67.9	63.3	62.0	62.0	60.3	58.6	58.5	71.8	69.2	58.0	55.4
15:00	74.7	76.8	66.7	64.3	63.1	62.5	60.5	60.8	62.1	64.1	66.3	68.0	63.2	62.4	62.0	59.6	58.1	58.3	70.4	58.4	56.6	54.5
16:00	74.2	77.1	66.9	63.4	62.7	61.0	60.1	59.5	61.1	64.1	66.7	68.1	63.0	61.8	61.6	58.7	55.2	56.8	70.6	67.1	59.6	55.8
17:00	73.3	74.2	61.3	61.1	60.7	58.9	59.6	59.9	59.9	64.4	66.1	66.9	62.6	61.7	60.3	58.7	54.9	54.4	55.9	55.3	53.9	54.0
18:00	72.7	72.5	53.5	52.9	52.4	52.3	52.9	54.2	57.4	63.1	65.6	66.6	62.3	61.5	60.3	57.1	52.3	52.6	53.1	53.0	53.4	52.3
19:00	72.8	72.7	53.6	54.5	54.9	52.8	53.4	54.6	57.9	63.1	65.8	66.3	62.1	61.6	60.4	57.1	53.0	54.5	55.4	54.3	54.4	52.4
20:00	72.9	72.5	47.2	48.4	48.4	48.9	50.8	53.3	57.2	62.8	66.1	66.4	62.6	61.8	60.6	56.9	51.9	52.4	54.2	55.6	54.8	52.4
21:00	72.9	72.4	47.3	47.7	48.9	49.5	51.2	53.6	57.6	62.9	65.8	66.4	62.3	61.7	60.7	56.8	52.6	53.8	53.7	54.2	53.9	51.5
22:00	72.9	72.5	47.9	49.3	48.9	49.8	51.3	54.0	57.5	63.1	65.9	66.3	62.8	61.6	60.6	57.0	52.0	52.1	53.2	54.6	56.7	52.6
23:00	72.7	72.2	46.3	47.8	47.8	48.6	50.2	53.4	57.5	63.1	65.8	66.0	62.6	61.5	60.7	56.7	50.5	50.2	51.1	53.4	52.6	49.5
0:00	72.7	72.3	46.1	46.9	47.5	47.8	50.2	53.2	57.8	63.4	65.9	66.2	62.4	61.3	60.8	56.4	50.3	50.2	51.3	53.4	52.9	49.7
1:00	72.7	72.4	46.8	47.9	48.3	50.1	51.1	53.2	58.0	63.2	66.1	66.2	62.6	61.4	60.5	56.7	50.5	50.3	51.4	53.0	52.6	49.1
2:00	72.4	72.1	47.3	48.8	49.1	49.6	51.1	53.7	57.5	63.2	65.8	66.1	62.2	61.4	60.4	56.0	49.2	49.8	50.9	52.2	51.6	48.7
3:00	72.6	72.2	46.5	46.9	48.1	48.5	50.5	53.3	57.7	63.0	65.9	66.1	62.4	61.5	60.5	56.2	49.5	49.7	51.5	52.0	51.6	48.4
4:00	72.4	72.1	46.7	46.6	48.0	48.7	50.9	53.8	57.7	63.1	65.6	66.2	62.3	61.4	60.4	56.0	49.6	50.1	51.7	52.6	52.2	50.0
5:00	72.6	72.2	47.3	48.3	48.7	48.7	50.6	53.8	57.5	63.1	65.7	66.1	62.3	61.4	60.6	56.3	50.8	51.6	51.8	53.6	53.7	50.7
24 時間平均	73.5	74.1	60.2	58.8	57.6	57.0	56.7	57.2	59.2	63.4	66.0	66.8	62.7	61.7	61.1	58.2	55.0	54.8	63.9	59.7	55.8	53.2

注１）L_{Geq} はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、13 時である。

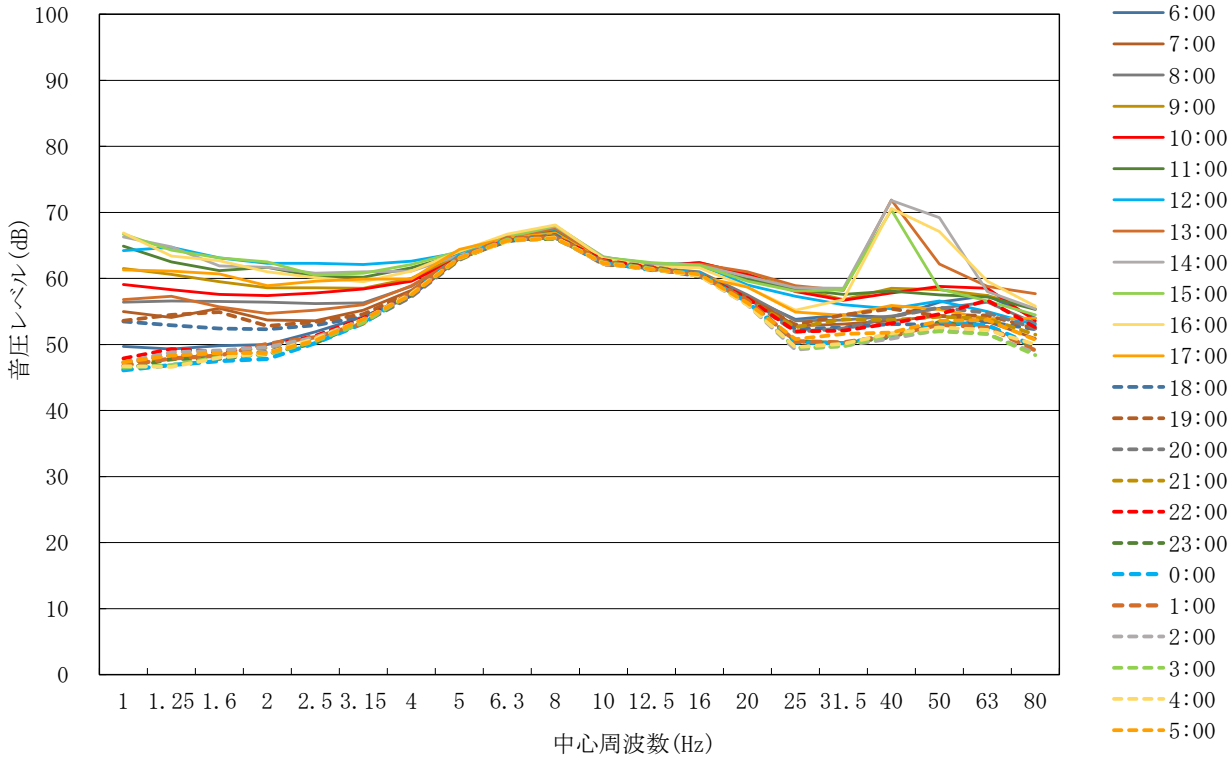


表 7.1-8(4)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 2）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）9 時～1 月 25 日（水）9 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	73.8	72.8	49.3	49.2	49.6	50.0	51.9	54.6	58.2	63.0	66.0	66.5	61.6	62.8	62.1	58.1	53.7	53.6	54.9	54.7	55.1	51.9
7:00	74.3	73.3	50.1	50.6	50.5	50.8	52.4	55.6	58.6	63.2	66.4	66.5	62.2	62.8	62.6	58.7	54.9	55.6	59.3	56.0	56.8	54.3
8:00	75.2	73.9	51.8	50.8	51.5	51.1	52.3	55.4	58.4	62.8	66.4	66.4	61.7	62.9	62.4	61.7	56.7	59.2	63.4	60.7	58.6	55.8
9:00	75.7	76.0	64.8	64.7	64.1	61.7	61.7	61.7	61.4	64.4	66.9	67.0	62.1	63.1	63.1	62.0	59.7	58.7	60.8	60.8	60.3	56.9
10:00	77.0	78.6	70.0	69.5	67.8	67.6	66.0	64.1	64.1	65.6	67.3	67.8	62.9	63.7	63.5	64.5	61.0	59.9	62.4	62.0	61.5	58.4
11:00	76.3	77.2	66.8	66.5	65.5	64.0	65.2	63.1	62.7	64.6	67.2	67.6	62.7	63.5	63.6	62.6	60.6	59.8	63.6	62.3	61.4	58.1
12:00	75.3	76.2	66.1	65.7	63.8	63.4	62.4	62.7	62.5	64.4	66.6	66.8	62.4	63.3	62.9	60.8	59.9	58.9	60.8	60.1	58.4	56.7
13:00	76.3	78.4	70.2	68.2	68.8	68.1	66.2	64.6	63.9	65.2	67.4	67.4	62.8	63.6	63.3	62.9	60.7	58.9	61.0	61.7	60.3	57.3
14:00	76.3	78.8	71.7	69.6	68.9	66.6	65.8	65.4	64.3	65.2	67.2	67.4	62.7	63.5	63.4	62.7	60.7	59.9	62.0	62.6	60.8	56.9
15:00	77.3	79.4	69.9	69.4	68.6	68.2	67.6	67.8	67.2	67.9	68.7	68.6	65.7	65.1	64.9	62.5	61.0	59.0	60.2	60.6	58.4	57.0
16:00	74.7	77.2	68.9	67.2	65.4	65.4	64.6	64.3	63.9	65.1	67.1	67.6	62.6	63.1	62.5	59.5	55.5	56.7	58.9	60.1	57.7	57.2
17:00	73.8	73.5	58.8	58.0	56.3	56.0	55.6	57.7	59.0	63.2	66.2	67.0	61.7	62.9	61.8	58.3	53.6	54.2	55.1	54.6	55.1	52.4
18:00	74.0	76.0	66.8	64.5	64.6	64.4	64.0	63.3	62.7	64.3	66.4	66.7	62.8	63.1	61.9	58.5	54.3	54.5	56.0	55.3	55.6	52.7
19:00	73.6	74.8	64.2	63.2	62.8	61.5	61.0	60.4	61.5	64.0	66.2	66.6	62.0	62.4	61.5	58.1	53.9	55.3	55.8	55.6	56.3	53.8
20:00	73.6	73.7	60.1	60.8	59.9	58.8	57.6	57.2	58.9	63.1	65.7	66.4	61.7	62.4	61.7	58.2	54.3	54.7	56.0	55.4	56.1	53.9
21:00	73.6	74.8	63.3	64.2	62.6	60.9	60.1	60.5	61.1	64.0	66.4	66.8	62.4	62.6	61.6	57.8	53.2	53.4	54.7	54.2	55.0	52.0
22:00	73.5	73.8	61.3	61.0	59.9	59.1	58.8	58.4	60.2	63.3	66.1	66.5	62.1	62.4	61.7	57.7	52.4	52.4	53.8	53.7	54.4	51.2
23:00	73.8	74.1	62.9	61.6	60.7	59.5	58.7	58.8	59.9	63.7	66.1	66.4	62.0	62.5	62.1	58.1	53.1	53.1	54.2	53.5	54.4	50.6
0:00	73.5	72.9	57.3	55.6	55.3	54.1	54.0	56.0	58.7	62.9	65.9	66.3	61.8	62.6	61.8	57.7	52.5	53.1	54.0	53.9	54.4	50.7
1:00	73.7	72.7	51.3	50.6	50.6	50.7	52.1	54.9	58.5	63.2	65.9	66.3	61.8	62.5	62.0	57.9	52.7	52.7	54.1	53.5	54.7	50.7
2:00	73.6	72.8	53.0	52.6	51.3	51.7	52.5	54.8	58.4	62.9	66.1	66.5	61.8	62.7	61.8	57.9	52.6	52.3	54.0	53.2	54.2	50.5
3:00	73.7	72.7	47.8	47.3	47.8	48.7	51.0	54.6	58.5	63.1	65.8	66.4	61.7	62.9	62.0	57.8	52.9	52.1	54.1	53.5	54.4	50.2
4:00	73.7	72.6	51.1	50.2	50.6	50.5	52.0	55.4	58.3	63.1	65.7	66.2	61.7	62.7	62.0	58.0	53.0	52.8	54.1	53.3	54.4	50.9
5:00	73.9	72.8	48.4	48.4	48.9	49.7	51.5	54.8	58.0	63.1	66.2	66.3	61.8	62.9	62.4	58.1	53.2	53.1	54.1	53.6	54.6	51.1
24 時間平均	74.8	75.6	65.3	64.2	63.4	62.5	61.7	61.4	61.6	64.2	66.6	66.9	62.4	63.0	62.5	60.2	57.0	56.5	58.8	58.3	57.6	54.7

注１）L_{Geq} はＧ特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、9 時である。

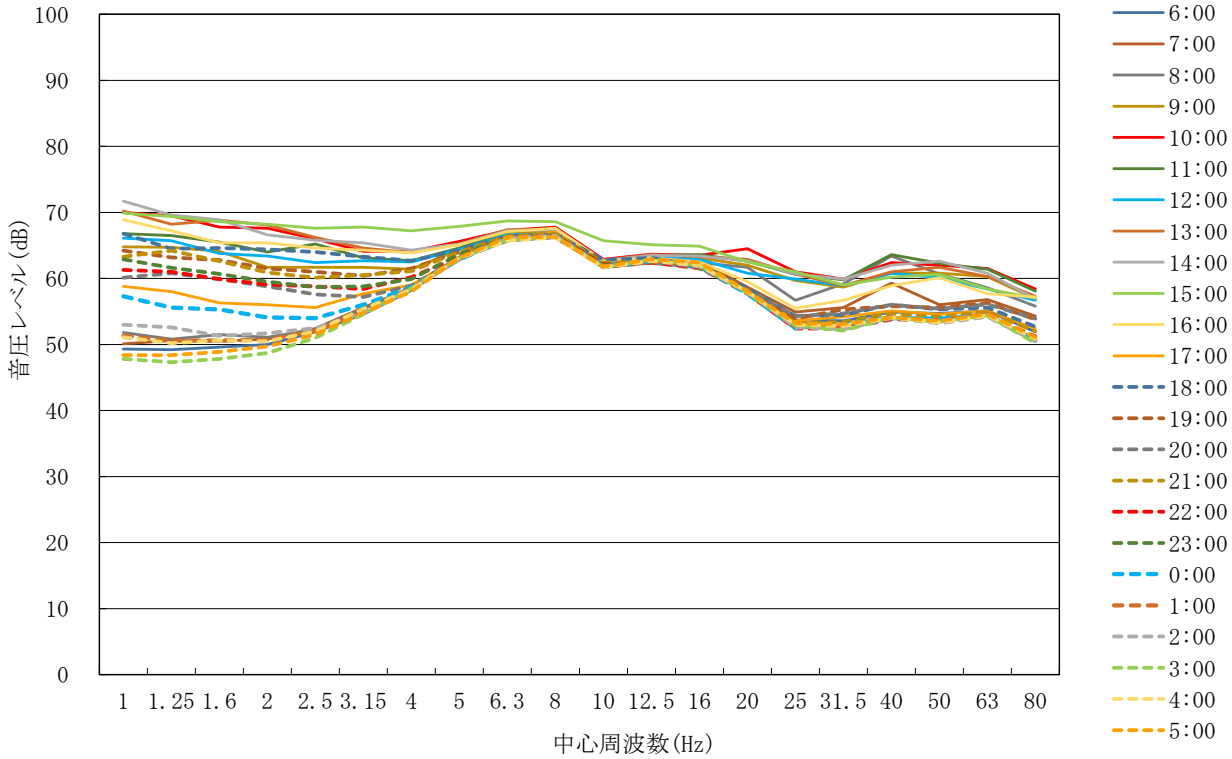


表 7.1-8(5)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 3）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時（停止時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	71.6	71.5	60.8	54.3	50.3	49.4	50.7	51.1	53.8	56.8	59.9	61.8	58.6	59.6	57.9	58.0	59.1	59.8	58.9	60.6	62.9	57.0
7:00	70.5	71.0	59.2	53.7	50.6	49.6	51.1	52.2	54.1	56.5	59.5	61.8	57.7	58.4	56.7	57.4	56.0	59.4	59.3	62.7	59.9	57.9
8:00	71.6	72.9	59.8	56.2	53.8	52.7	51.7	52.4	53.5	56.5	59.2	60.9	58.2	58.7	59.1	57.7	58.0	59.7	62.2	62.5	65.0	65.5
9:00	74.4	74.8	60.9	59.2	57.3	55.8	56.6	55.9	56.2	57.9	59.8	61.7	59.7	59.8	61.4	61.0	62.2	63.9	64.5	65.0	66.8	65.4
10:00	74.1	74.9	63.6	60.3	56.9	57.1	57.7	57.1	56.6	58.4	60.2	62.0	59.5	60.1	61.0	60.7	62.1	62.8	66.1	67.2	64.4	61.9
11:00	73.4	75.4	63.7	60.7	61.0	59.8	58.3	57.3	56.9	58.6	59.9	61.6	59.8	60.2	60.0	59.8	61.4	60.9	64.6	65.7	67.5	67.5
12:00	73.5	74.7	61.7	60.2	59.6	57.2	57.6	57.7	57.1	58.5	59.8	61.5	59.8	59.3	60.4	59.8	61.4	64.3	63.9	64.2	67.0	64.3
13:00	71.8	73.4	61.1	56.6	54.6	53.7	54.2	54.4	56.0	57.6	59.4	60.6	58.4	58.4	58.3	58.3	59.2	61.4	65.1	66.0	64.5	61.1
14:00	73.6	74.4	63.8	61.2	59.3	58.4	57.5	57.7	57.8	58.6	59.6	60.9	59.2	58.7	58.7	61.2	62.5	63.9	63.2	65.2	63.9	62.7
15:00	71.9	73.8	63.8	61.6	59.9	59.0	58.1	57.6	58.1	59.0	60.0	60.9	58.9	58.9	58.3	57.8	60.8	61.1	63.2	63.1	64.4	60.7
16:00	72.4	73.4	60.2	57.4	55.2	54.0	53.8	53.6	54.6	57.1	59.1	61.2	59.1	58.7	58.2	59.0	61.0	61.6	63.6	64.8	63.1	65.3
17:00	71.4	72.7	58.4	54.4	52.8	51.2	51.9	51.9	53.6	56.5	59.6	61.5	57.8	58.2	56.7	58.1	60.2	60.4	60.4	64.7	63.9	64.8
18:00	70.7	71.4	60.0	55.1	52.1	50.5	51.4	51.1	53.2	56.3	59.3	61.7	58.0	58.2	56.6	57.1	58.7	59.0	59.9	60.5	62.1	61.3
19:00	71.7	71.7	57.7	53.7	49.4	48.2	49.5	50.0	53.1	56.3	59.4	61.5	57.8	58.3	56.3	58.9	60.6	60.0	60.3	62.2	63.8	59.3
20:00	70.1	70.8	58.2	53.7	48.9	47.8	48.6	49.7	52.9	55.9	59.4	61.8	57.9	58.7	56.9	55.9	56.1	57.3	60.6	62.0	60.8	58.6
21:00	70.1	69.9	55.6	50.8	48.6	48.7	49.5	50.5	52.8	56.5	59.5	61.8	58.0	58.7	56.9	55.8	55.2	57.7	57.9	58.0	58.7	59.0
22:00	69.9	69.8	55.7	52.3	48.6	48.6	50.7	51.0	53.1	56.7	59.7	61.6	58.0	58.9	56.9	55.5	54.9	56.5	56.5	56.1	60.1	58.1
23:00	69.2	68.8	56.5	51.7	47.9	47.4	48.2	50.3	53.6	56.5	59.6	61.6	57.7	58.2	56.3	54.7	52.7	53.8	55.5	56.1	53.3	53.4
0:00	69.3	68.9	50.7	47.9	46.4	46.7	48.3	49.6	53.2	56.6	59.5	61.7	57.7	58.4	56.6	54.6	52.3	54.5	55.4	59.7	55.3	51.4
1:00	69.5	69.0	56.4	50.0	48.2	48.6	50.6	50.3	53.7	56.7	59.7	61.7	57.7	58.0	56.5	55.2	53.2	54.0	57.5	57.4	53.4	49.7
2:00	68.7	68.0	49.1	48.0	47.9	49.2	50.2	50.2	53.3	56.6	59.7	61.4	57.7	57.8	55.7	54.1	50.9	52.5	53.7	54.1	50.3	48.8
3:00	69.1	68.6	54.1	48.5	47.0	47.8	49.1	50.0	53.0	56.7	59.5	61.5	57.7	57.9	56.1	54.5	53.6	52.7	58.2	55.4	54.2	50.4
4:00	68.7	69.1	56.5	54.0	48.3	48.4	49.9	50.9	53.2	56.5	59.5	61.6	57.7	58.1	56.0	53.4	50.9	52.0	52.9	54.0	60.3	56.6
5:00	70.0	69.9	56.8	53.7	50.1	48.1	49.9	50.9	53.1	56.4	59.5	61.6	57.8	58.3	56.4	56.1	55.5	60.9	59.1	57.9	54.4	52.5
24 時間平均	71.5	72.2	59.9	56.7	54.8	53.7	53.8	53.7	54.8	57.2	59.6	61.5	58.4	58.7	58.0	57.9	58.8	60.1	61.5	62.6	62.9	61.6

注１）L_{Geq} はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、13 時である。

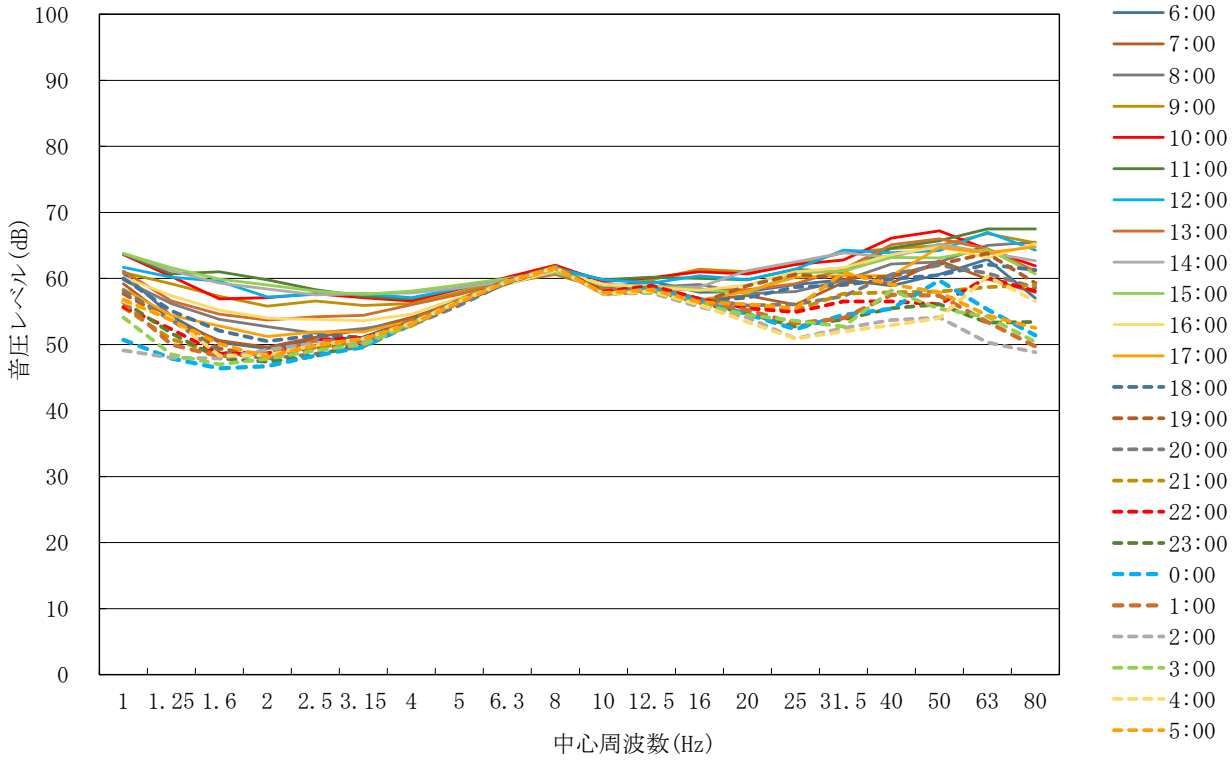


表 7.1-8(6)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 3）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）9 時～1 月 25 日（水）9 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	73.1	72.1	56.9	56.1	55.7	54.9	54.4	55.2	55.7	57.9	60.4	63.4	59.7	60.2	59.8	59.6	59.9	61.8	59.5	60.6	59.1	56.6
7:00	74.7	73.9	56.0	53.5	51.7	51.3	52.0	53.6	55.4	57.9	60.5	64.0	59.8	60.3	60.7	60.6	64.9	62.9	62.8	65.1	63.4	63.0
8:00	73.9	74.0	60.8	58.4	57.4	57.3	56.0	56.0	56.7	58.8	60.9	63.6	59.7	60.1	60.3	61.0	60.8	62.1	63.0	65.7	64.0	60.5
9:00	74.9	76.5	64.1	64.9	63.4	61.6	61.0	61.5	61.0	61.0	62.0	65.8	61.1	60.7	61.2	62.0	62.1	62.7	66.0	66.2	66.9	64.9
10:00	76.0	79.3	68.3	66.6	65.6	64.9	64.2	63.9	63.8	63.0	63.7	65.9	62.3	61.3	61.4	63.6	63.8	64.8	69.7	67.8	71.8	69.6
11:00	74.6	78.2	65.6	65.5	64.2	63.0	63.0	61.9	61.4	61.1	62.3	65.5	61.7	60.6	60.8	61.5	61.1	62.5	69.5	72.0	67.3	66.3
12:00	74.7	78.4	68.4	67.5	67.2	66.5	66.1	66.0	65.9	64.8	64.4	66.2	63.2	61.4	61.4	60.6	61.8	62.8	68.6	65.1	66.0	62.8
13:00	74.2	77.6	69.1	67.1	66.7	66.3	65.8	64.7	63.7	62.8	63.7	65.8	62.2	61.0	61.1	60.2	60.3	60.1	64.2	65.4	65.4	62.7
14:00	74.8	78.6	69.7	68.8	67.6	67.5	66.6	65.5	65.4	64.7	64.7	66.1	62.7	61.6	61.7	60.5	62.1	63.4	66.7	66.6	64.3	62.2
15:00	74.6	78.5	70.6	68.8	67.9	66.5	66.4	66.7	64.8	64.0	64.2	66.2	63.0	61.7	61.6	60.2	60.7	60.9	63.5	66.0	65.4	60.6
16:00	73.9	78.0	67.0	64.8	64.4	64.4	63.1	62.7	62.3	62.2	63.3	65.8	62.3	60.6	60.4	60.4	60.0	60.6	63.9	71.6	68.1	67.5
17:00	73.9	75.3	65.7	63.2	63.6	62.4	62.0	61.3	61.2	62.0	62.0	64.2	60.2	60.2	60.3	60.8	61.1	61.4	62.1	63.4	63.5	60.6
18:00	74.2	76.6	68.2	66.5	65.1	64.7	64.8	64.2	63.4	62.7	63.3	64.5	61.8	60.7	59.9	61.8	60.3	60.8	61.8	64.0	61.8	59.1
19:00	73.9	76.7	68.0	67.1	66.6	65.4	64.5	64.0	63.7	63.3	63.3	64.7	61.3	60.6	59.9	61.3	60.2	60.3	61.7	60.8	61.8	59.9
20:00	73.8	73.8	63.1	61.1	61.1	60.6	59.3	59.0	58.8	59.6	61.1	63.4	59.6	60.1	60.0	61.6	60.2	60.0	61.0	62.1	59.6	60.2
21:00	73.5	75.8	66.3	65.8	65.5	65.4	64.4	63.8	62.9	62.7	63.2	64.3	61.7	60.5	60.2	60.2	58.6	59.1	60.6	59.9	57.5	56.3
22:00	73.2	74.3	64.9	63.4	62.6	62.2	61.6	61.0	61.0	61.3	62.2	64.3	61.2	60.2	60.0	59.7	59.5	57.6	58.2	58.3	56.9	58.5
23:00	73.1	74.0	63.3	63.1	63.0	62.5	61.3	60.8	60.3	61.2	62.0	64.2	60.3	60.2	60.4	59.6	58.1	58.5	61.2	58.5	54.8	51.4
0:00	72.8	71.5	58.3	57.5	57.2	56.2	55.7	55.8	57.3	58.6	60.7	63.8	59.8	60.0	59.6	59.6	58.2	57.0	56.7	57.2	54.4	51.0
1:00	72.6	71.1	57.2	56.0	55.9	54.6	53.9	54.7	56.2	58.4	61.0	63.6	59.6	60.0	59.6	59.3	57.6	56.5	56.3	57.0	53.0	50.9
2:00	72.9	70.7	55.1	53.0	51.7	51.2	51.6	53.0	55.1	57.9	60.5	63.6	59.7	59.8	59.5	60.4	58.2	57.0	56.4	57.2	52.9	52.5
3:00	72.9	70.7	51.5	49.8	48.5	49.5	50.8	52.8	55.2	57.9	60.9	63.8	59.6	59.9	59.7	60.0	58.1	56.9	56.3	58.6	53.1	50.5
4:00	72.9	71.0	53.4	51.9	51.3	50.2	51.6	53.4	55.0	57.8	60.4	64.0	59.9	59.9	59.9	59.7	58.5	57.9	57.1	58.6	56.1	54.8
5:00	73.0	72.8	61.0	61.1	60.4	60.3	59.6	59.4	59.1	59.8	61.4	63.5	60.0	60.3	60.2	59.2	59.0	60.1	57.1	57.9	54.5	53.0
24 時間平均	73.9	75.8	65.6	64.3	63.6	63.0	62.4	62.0	61.5	61.5	62.4	64.7	61.1	60.5	60.5	60.7	60.6	60.9	63.8	65.1	64.0	62.1

注１）L_{Geq} はＧ特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、9 時である。

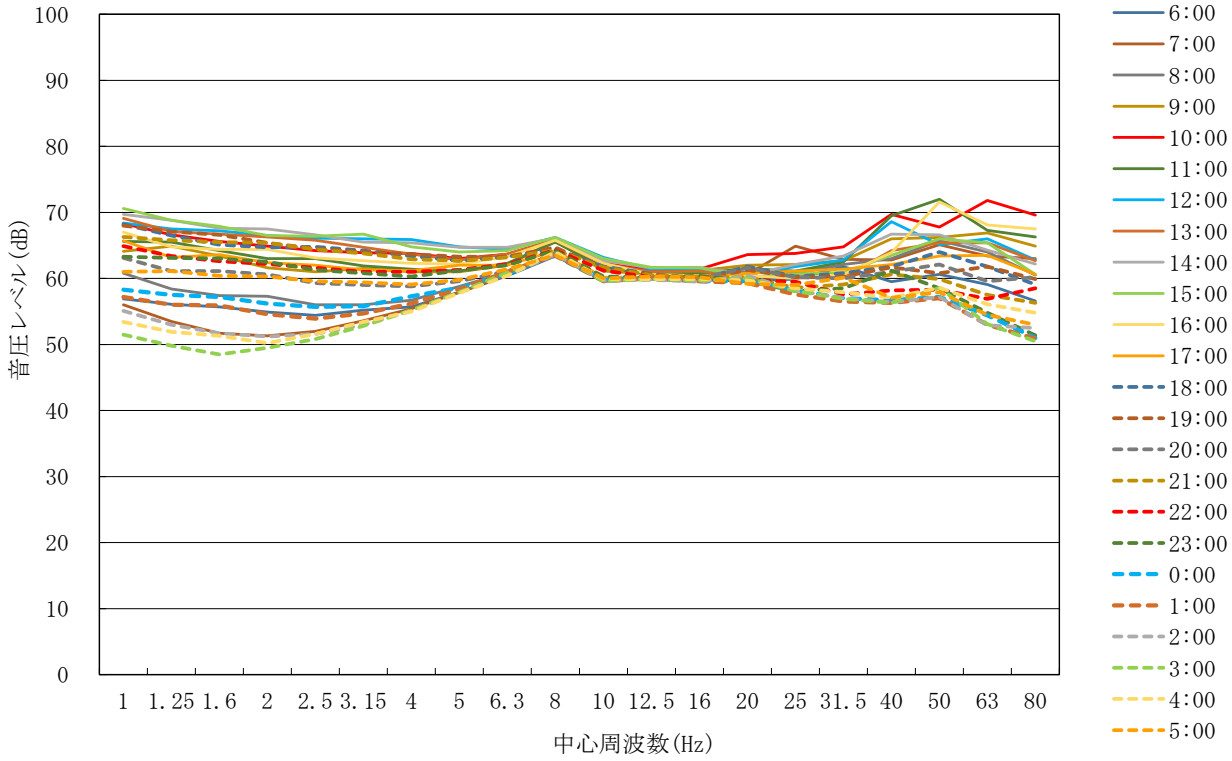


表 7.1-8(7)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 4）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時（停止時）　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	69.1	69.5	59.2	54.9	51.2	49.8	50.6	50.6	51.8	55.2	60.5	60.2	57.2	57.2	56.1	53.7	56.9	51.4	52.8	61.5	57.1	53.7
7:00	71.8	71.9	60.9	58.5	54.7	52.1	51.2	52.3	53.2	55.5	60.3	60.2	57.7	57.9	57.3	59.2	59.1	63.6	63.0	59.5	60.3	55.0
8:00	72.8	73.8	63.6	62.6	60.6	59.2	58.2	57.2	57.5	58.3	60.8	61.4	61.8	59.9	59.9	57.7	60.8	64.5	62.7	60.3	61.3	57.3
9:00	76.5	76.5	66.1	63.9	63.0	62.4	62.1	60.9	61.5	61.4	62.7	62.4	63.5	63.5	63.7	61.5	65.3	64.9	65.5	66.1	62.6	59.8
10:00	76.1	76.2	65.2	62.5	61.6	61.2	61.1	60.3	60.4	61.1	62.9	62.5	61.7	62.3	62.5	62.2	65.6	64.2	65.7	65.5	65.5	61.9
11:00	76.1	76.3	65.6	64.8	64.7	63.8	63.1	62.1	62.0	62.0	63.8	62.9	63.3	63.1	62.6	61.2	65.5	63.6	62.7	62.1	62.3	60.1
12:00	77.0	77.9	67.3	66.6	65.7	65.0	63.9	62.9	63.0	62.7	63.7	62.7	64.1	63.9	64.7	61.6	66.2	63.6	66.2	65.5	67.4	64.4
13:00	76.3	75.3	64.8	63.8	62.3	59.6	59.5	58.9	59.5	60.6	62.6	61.8	60.9	62.1	61.8	59.8	68.5	60.6	62.0	62.8	61.0	56.6
14:00	77.2	77.3	67.0	65.8	63.3	61.7	61.8	60.8	61.0	61.0	62.4	62.4	62.7	63.0	62.4	62.4	68.5	65.9	64.9	65.6	66.9	64.4
15:00	77.7	79.1	68.8	66.9	66.4	65.9	65.5	64.3	64.0	63.9	64.5	63.6	65.1	64.2	63.5	62.2	68.6	62.0	71.9	66.1	66.1	63.4
16:00	74.1	75.9	65.7	64.2	64.1	63.3	62.6	61.4	60.6	60.9	62.6	62.1	64.1	62.1	59.9	60.0	60.9	64.4	60.7	62.5	65.0	64.3
17:00	72.9	75.2	67.2	64.5	61.9	60.8	59.7	58.5	58.3	58.2	61.2	61.1	60.5	58.9	58.9	58.6	61.8	66.0	65.6	63.6	61.2	56.5
18:00	73.5	75.3	65.6	63.9	59.7	55.2	53.9	53.3	53.1	55.7	60.8	60.6	61.6	60.6	59.5	60.1	61.0	63.3	66.9	66.3	65.4	63.9
19:00	73.1	74.5	59.4	55.6	53.0	52.1	51.1	51.1	51.8	55.3	60.5	60.5	59.8	58.9	58.7	58.8	63.6	64.5	64.4	67.0	67.6	61.7
20:00	72.4	73.6	62.6	60.2	55.5	51.6	50.7	51.1	51.8	55.2	60.6	60.7	61.6	60.0	58.3	57.6	61.8	62.5	63.2	64.5	64.0	63.1
21:00	69.6	68.6	58.0	54.4	50.4	47.9	49.0	51.1	50.6	54.9	60.4	60.2	57.4	56.8	56.2	55.4	57.8	52.4	53.0	55.7	53.3	48.5
22:00	70.9	70.2	59.7	56.6	53.0	50.8	50.9	53.3	52.3	55.5	60.4	60.1	57.7	57.5	57.0	57.3	59.7	57.1	56.8	58.8	57.9	54.2
23:00	70.4	67.9	49.4	48.5	47.1	48.1	48.4	49.1	51.7	55.3	60.8	60.5	56.9	56.3	56.5	57.6	56.9	49.8	50.7	51.7	50.8	46.7
0:00	68.7	67.9	49.7	49.1	48.1	48.1	48.2	48.3	51.6	55.8	60.7	60.2	56.8	56.2	55.6	53.2	56.5	53.0	57.5	52.9	50.1	48.0
1:00	69.5	67.6	51.0	48.6	47.0	47.8	49.1	49.2	52.3	55.7	60.6	60.4	57.3	56.6	55.8	55.5	56.9	48.8	49.5	50.1	48.3	44.2
2:00	68.8	67.2	47.0	47.8	47.7	46.4	49.0	49.3	51.4	55.5	60.6	59.9	56.6	55.8	54.5	54.8	56.9	49.3	49.6	49.8	47.8	45.0
3:00	68.0	66.9	45.7	46.2	46.2	45.9	47.9	48.2	50.7	54.9	60.7	60.1	56.7	55.9	54.5	52.2	56.2	47.9	49.4	48.6	47.1	43.9
4:00	67.9	67.0	46.0	45.9	45.2	47.1	49.2	49.2	50.3	55.2	60.9	60.2	56.4	55.8	54.4	51.9	56.1	48.4	50.9	48.8	47.0	46.2
5:00	69.6	68.6	55.5	53.3	52.0	51.8	51.8	51.4	52.2	55.6	60.5	59.9	57.1	58.9	56.8	53.9	57.1	52.3	54.7	53.2	50.8	47.6
24 時間平均	73.6	74.1	63.5	61.8	60.4	59.3	58.8	57.9	58.0	58.8	61.7	61.3	60.9	60.4	60.0	58.9	63.3	61.9	63.5	62.6	62.6	59.7

注１）L_{Geq} はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、13 時である。

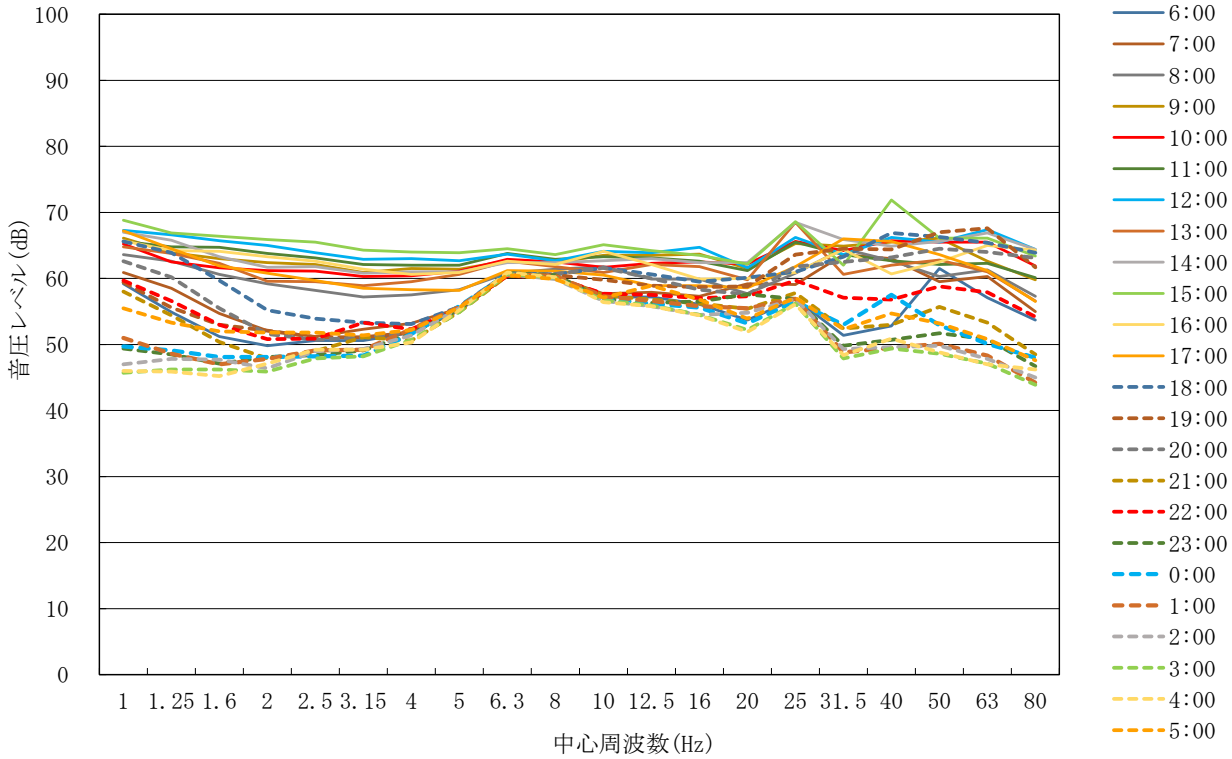


表 7.1-8(8)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 4）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）9 時～1 月 25 日（水）9 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	71.7	69.6	50.7	49.5	48.0	48.5	49.6	50.1	53.1	55.8	61.1	60.1	58.5	59.1	58.4	57.4	59.6	55.6	54.2	59.2	55.7	51.0
7:00	74.5	72.3	57.4	52.3	49.5	50.4	50.8	52.0	54.2	56.5	61.6	60.6	59.9	60.4	61.6	60.0	64.0	59.0	61.7	63.7	57.7	55.0
8:00	75.0	73.1	62.2	58.8	54.8	51.7	51.7	51.8	54.7	57.1	62.0	60.9	61.1	60.0	59.8	62.0	64.6	62.2	62.3	60.8	58.7	55.7
9:00	76.9	75.8	65.3	63.6	62.1	60.4	60.5	58.8	61.5	61.3	63.3	62.0	61.3	63.1	65.3	62.4	65.0	62.2	63.1	64.7	64.1	58.9
10:00	77.3	78.8	68.7	68.2	67.2	65.9	65.6	65.6	65.3	64.4	65.0	65.0	64.0	64.5	65.0	63.2	64.5	64.7	65.0	69.0	65.8	59.9
11:00	76.2	77.6	67.1	65.4	65.1	65.1	64.6	63.4	63.6	63.6	64.6	63.3	62.2	62.5	63.7	61.8	65.3	61.6	66.0	67.3	65.9	63.2
12:00	75.5	77.8	70.2	68.2	66.6	66.9	66.3	65.6	64.5	64.3	65.3	64.1	62.5	62.5	63.3	61.0	62.3	59.3	61.5	60.9	59.6	57.3
13:00	76.2	77.9	67.9	66.0	65.9	65.3	65.4	64.1	64.8	64.2	65.2	63.5	63.1	62.6	63.3	62.1	64.9	62.9	64.5	67.2	63.8	65.2
14:00	76.1	77.8	68.3	67.5	66.1	65.9	65.5	64.7	64.9	64.1	65.1	63.9	62.7	63.2	63.3	61.2	65.5	62.1	63.8	66.8	61.9	61.5
15:00	75.8	77.2	67.9	66.6	66.3	65.9	65.7	64.9	64.6	64.6	65.3	64.3	62.9	63.0	63.2	61.4	63.7	59.6	60.3	62.4	60.7	54.9
16:00	74.2	76.7	67.5	66.7	65.4	65.3	64.7	64.4	64.1	63.5	64.5	63.7	62.0	60.7	59.5	58.2	65.2	57.3	58.4	65.7	59.8	54.1
17:00	73.8	73.9	65.6	64.1	61.6	59.6	58.9	58.4	57.8	58.2	61.7	61.0	59.6	58.8	58.2	59.7	65.0	59.7	60.0	61.1	58.4	54.7
18:00	75.6	77.1	65.7	65.3	63.4	61.9	62.0	60.2	59.6	59.3	62.5	61.7	62.6	61.1	59.6	61.4	66.9	63.8	66.4	69.1	66.5	64.9
19:00	75.4	75.8	67.7	66.5	64.4	63.1	61.4	60.9	60.1	60.2	62.7	61.8	60.0	59.9	59.4	62.9	65.5	61.0	61.5	62.1	61.1	56.1
20:00	74.2	76.1	69.1	66.7	63.4	60.8	58.3	57.0	57.3	57.9	61.6	60.7	61.4	60.4	59.6	59.9	65.1	62.4	63.1	64.9	66.9	56.6
21:00	71.3	73.2	65.4	63.4	62.2	60.8	60.4	59.1	58.8	59.1	62.1	60.9	59.1	58.0	56.3	55.6	62.4	54.0	54.3	55.9	58.1	54.0
22:00	71.9	74.2	66.7	64.7	63.7	62.6	62.1	61.1	61.0	60.7	62.8	61.2	59.2	58.6	58.1	56.7	62.1	53.8	54.8	57.8	54.1	49.6
23:00	71.6	71.6	62.1	60.9	59.7	58.4	58.1	57.5	57.1	58.2	61.8	60.9	58.6	58.4	58.2	57.2	60.5	52.2	52.6	58.2	53.1	48.7
0:00	71.0	70.9	64.1	61.3	57.3	53.8	52.3	52.7	53.8	56.1	61.4	60.5	58.4	58.3	56.9	56.5	60.0	51.8	52.8	53.3	54.1	48.7
1:00	70.7	68.8	52.0	50.6	49.5	49.6	50.0	50.2	53.7	56.2	61.2	60.4	58.2	58.1	56.5	56.2	59.8	51.6	51.5	52.8	51.0	47.1
2:00	70.9	68.7	52.3	50.8	49.5	50.0	49.6	50.8	54.2	56.2	61.2	60.3	58.0	58.3	56.9	57.2	58.8	51.2	51.5	52.8	49.9	46.5
3:00	71.2	68.9	50.4	46.8	45.9	46.8	48.3	49.9	53.8	55.9	61.5	60.4	58.3	58.4	57.6	56.8	59.9	51.9	51.5	54.2	50.7	47.0
4:00	70.7	68.9	51.1	48.2	46.6	47.4	48.9	49.6	52.8	55.6	61.2	60.3	58.0	58.2	57.3	55.7	59.8	53.2	56.1	54.7	52.1	48.9
5:00	71.8	69.2	49.9	48.5	47.9	47.7	49.6	50.5	53.9	56.1	61.4	60.4	58.2	59.1	59.6	56.7	59.9	52.5	52.4	54.2	52.3	49.1
24 時間平均	74.3	75.0	65.6	64.1	62.7	62.0	61.6	60.8	60.9	60.8	63.0	62.0	60.8	60.8	61.0	60.0	63.6	59.8	61.2	63.6	61.3	58.1

注１）L_{Geq} はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は毎回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、9 時である。

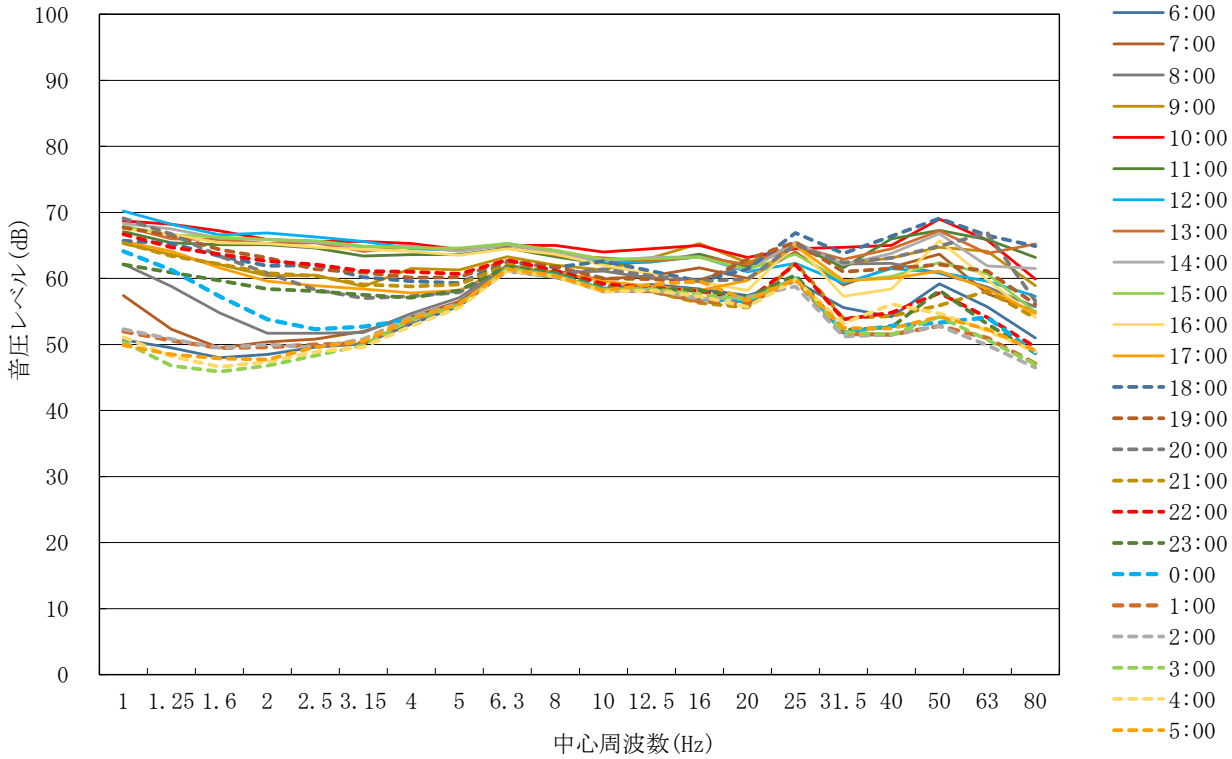


表 7.1-8(9)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 5）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）16 時～5 月 19 日（木）6 時（停止時）　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	61.3	67.1	59.5	59.6	58.8	57.5	55.5	53.6	51.5	51.7	53.3	52.2	48.9	49.4	47.2	47.9	47.3	46.2	46.5	51.1	50.9	45.4
16:00	66.4	73.4	66.4	66.0	64.9	63.4	62.8	61.2	60.2	59.5	58.7	57.5	56.6	55.5	52.5	51.2	49.3	49.3	56.9	48.9	47.4	45.3
22:00	61.1	62.6	49.8	50.4	48.4	48.6	49.7	52.3	48.7	49.6	53.2	52.4	48.3	50.9	46.6	47.4	46.1	46.1	47.5	46.9	51.4	44.3
2:00	57.4	60.0	46.2	47.9	47.2	47.2	48.9	47.7	47.1	49.1	52.6	51.2	45.5	47.4	42.8	42.7	41.8	41.2	41.4	42.7	41.7	37.8
平均	62.8	68.7	61.3	61.0	60.0	58.6	57.8	56.5	55.2	54.8	55.3	54.1	52.0	51.9	48.7	48.2	46.9	46.5	51.8	48.4	49.2	44.0

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）APは、１～80Hzの周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16時である。

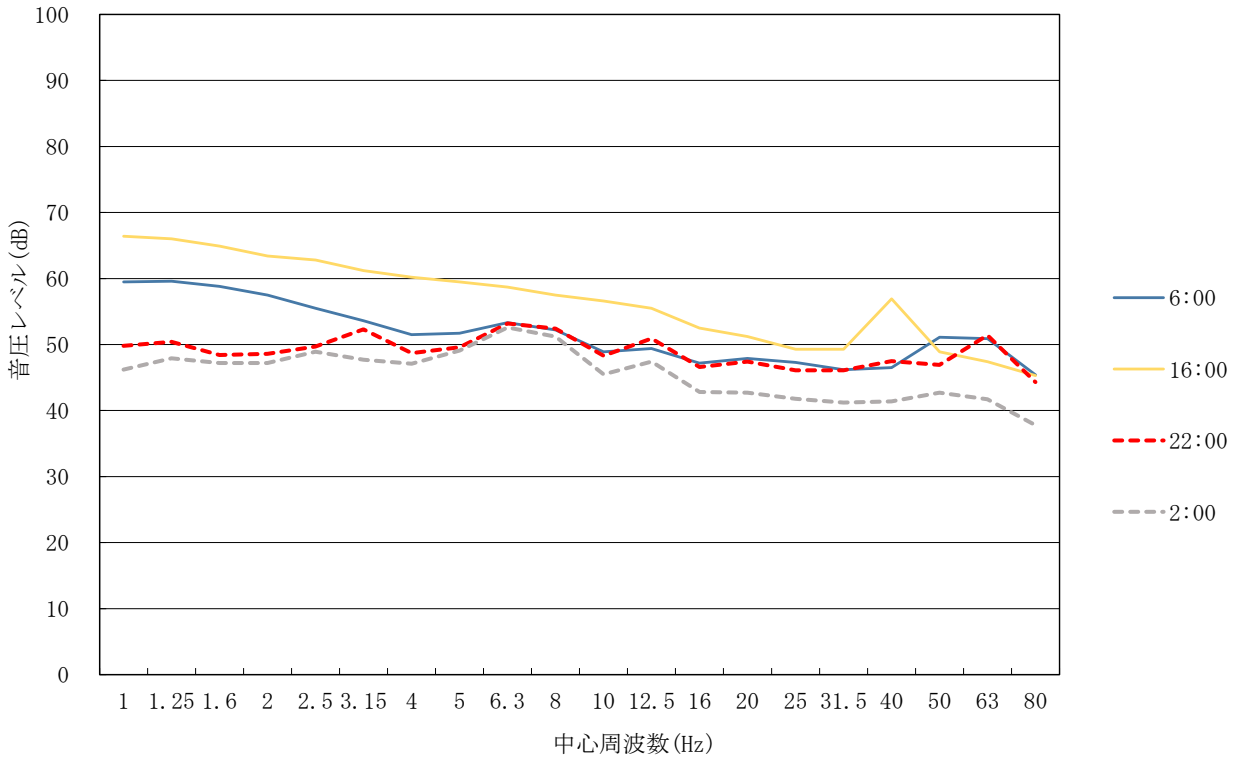


表 7.1-8(10)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 5）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）16 時～1 月 25 日（水）6 時（稼働時）　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	63.0	62.6	50.7	47.9	47.3	47.6	48.6	49.7	49.2	50.2	52.5	51.6	48.9	50.0	50.3	49.2	49.0	51.4	49.4	48.4	47.9	48.0
16:00	66.0	75.1	68.0	67.7	66.7	65.9	64.7	63.7	62.4	61.4	60.3	58.5	55.9	54.2	51.3	51.1	53.0	52.1	51.1	49.9	49.7	47.6
22:00	62.9	72.8	66.2	65.1	64.7	63.4	62.8	61.0	59.9	58.2	56.8	55.3	52.7	51.1	49.2	47.4	48.9	50.6	48.4	47.4	46.1	44.9
2:00	61.2	67.2	61.0	60.4	58.3	57.2	54.5	53.3	52.9	51.7	52.9	51.6	47.9	49.1	46.9	47.9	47.0	49.2	44.3	44.1	43.3	40.2
平均	63.6	71.6	64.7	64.1	63.2	62.2	61.1	59.9	58.7	57.6	56.8	55.2	52.5	51.6	49.7	49.1	50.1	51.0	48.9	47.9	47.3	46.1

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。

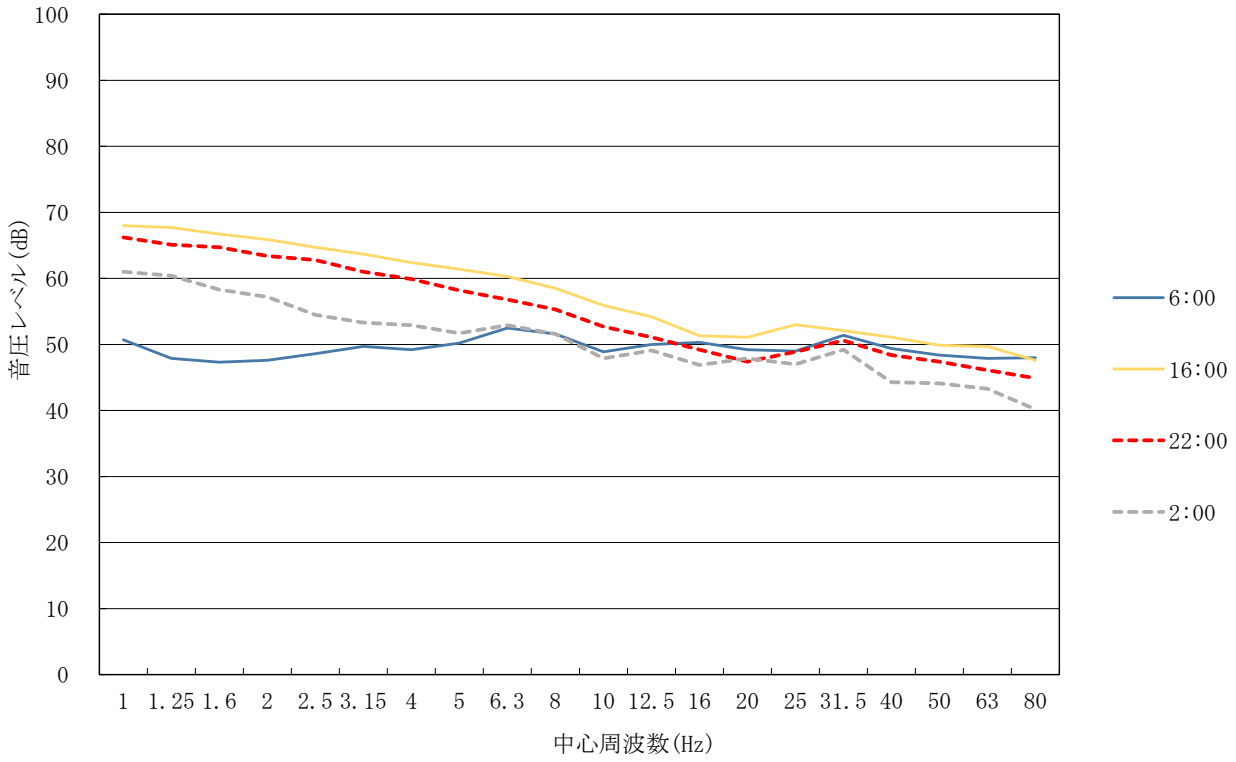


表 7.1-8(11)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 6）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）16 時～5 月 19 日（木）6 時（停止時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	65.8	69.0	59.7	57.8	57.7	55.9	55.2	54.8	54.9	57.2	60.4	60.4	53.5	53.0	52.1	51.9	49.2	49.9	50.5	54.2	55.2	48.0
16:00	73.0	77.6	69.0	68.6	67.9	67.3	67.1	66.4	65.6	65.7	65.6	65.3	61.8	59.6	58.4	58.8	55.8	55.9	58.7	59.1	58.1	53.2
22:00	64.3	70.1	61.9	61.3	59.4	58.3	57.6	55.5	56.1	58.2	60.6	60.4	52.0	51.0	50.2	49.5	46.3	56.5	51.3	49.6	53.7	47.1
2:00	61.2	65.9	49.4	49.2	50.2	50.5	50.3	50.9	52.8	57.2	60.1	59.7	49.2	47.2	46.4	44.2	41.9	53.3	48.4	46.4	44.5	41.6
平均	68.4	73.0	64.2	63.7	62.9	62.1	61.9	61.1	60.5	61.3	62.4	62.1	56.9	55.1	54.0	54.1	51.2	54.6	54.2	54.8	54.9	49.3

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。

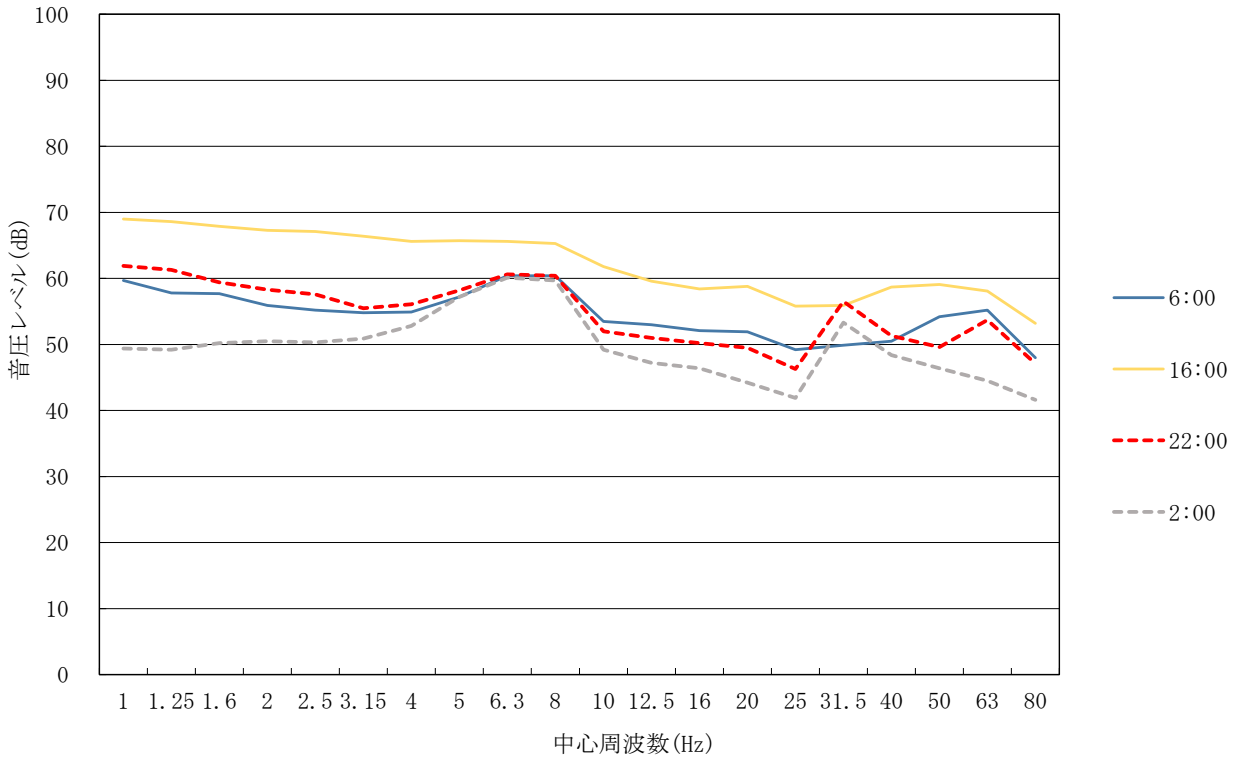


表 7.1-8(12)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 6）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）16 時～1 月 25 日（水）6 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	63.4	66.3	49.4	49.0	49.5	49.6	50.6	51.9	53.5	57.3	60.4	59.5	49.9	50.8	50.4	47.7	47.9	50.4	50.3	50.3	48.9	46.7
16:00	66.9	74.8	67.0	66.2	65.7	64.9	64.1	63.2	62.9	62.7	62.9	61.5	56.0	54.6	53.0	51.4	50.6	52.8	52.8	53.4	52.1	50.0
22:00	64.6	73.4	66.2	65.2	63.7	63.2	62.7	61.9	61.2	61.4	62.3	60.6	54.8	52.3	50.6	47.4	47.1	49.5	49.5	49.6	48.4	46.1
2:00	61.7	67.6	57.4	56.5	55.8	54.7	54.6	53.8	54.8	57.7	60.8	59.5	49.5	48.3	47.8	44.5	45.3	47.2	47.9	48.1	45.5	42.9
平均	64.6	71.9	63.9	63.0	62.1	61.4	60.8	60.0	59.8	60.4	61.7	60.4	53.5	52.1	50.8	48.5	48.2	50.4	50.5	50.8	49.4	47.1

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。

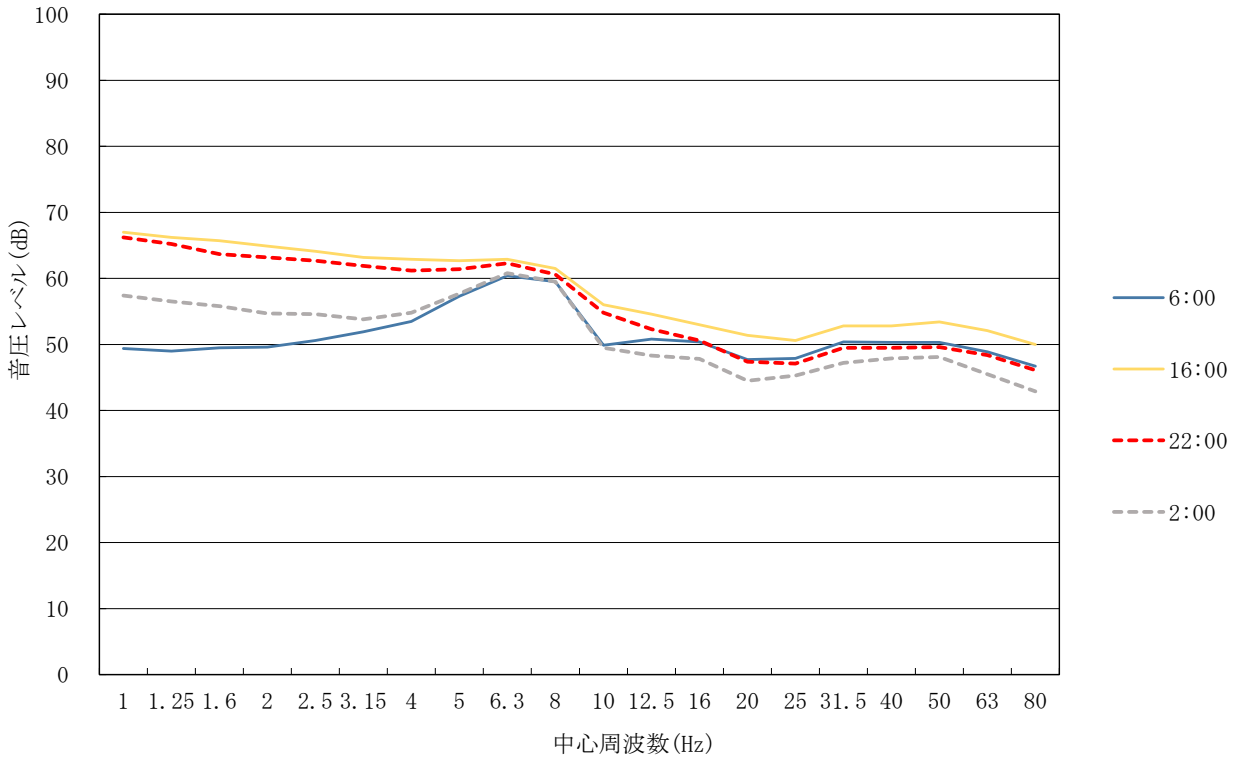


表 7.1-8(13)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 7）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）16 時～5 月 19 日（木）6 時（停止時）　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	71.2	76.0	68.4	67.7	67.2	65.9	64.7	63.3	62.1	61.7	62.4	64.0	61.0	59.9	58.2	55.7	54.7	56.1	54.8	57.3	57.3	53.9
16:00	73.3	77.3	68.8	68.0	67.5	66.9	66.7	65.6	64.7	64.4	63.8	64.0	62.1	60.9	59.8	59.3	59.1	60.3	60.7	57.9	58.4	56.7
22:00	70.8	71.8	62.1	60.4	59.6	59.6	57.4	58.5	56.9	59.4	60.8	63.2	59.7	59.5	57.4	56.4	55.4	55.4	54.7	54.5	58.0	52.6
2:00	70.0	70.5	59.9	58.8	57.6	55.8	54.8	56.4	55.6	58.5	60.7	63.6	59.6	58.9	56.2	55.6	53.6	52.0	52.1	52.0	50.4	48.4
平均	71.5	74.8	66.3	65.5	64.9	64.0	63.3	62.4	61.3	61.6	62.1	63.7	60.7	59.9	58.1	57.0	56.2	57.0	56.8	56.0	56.9	53.8

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）APは、１～80Hzの周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16時である。

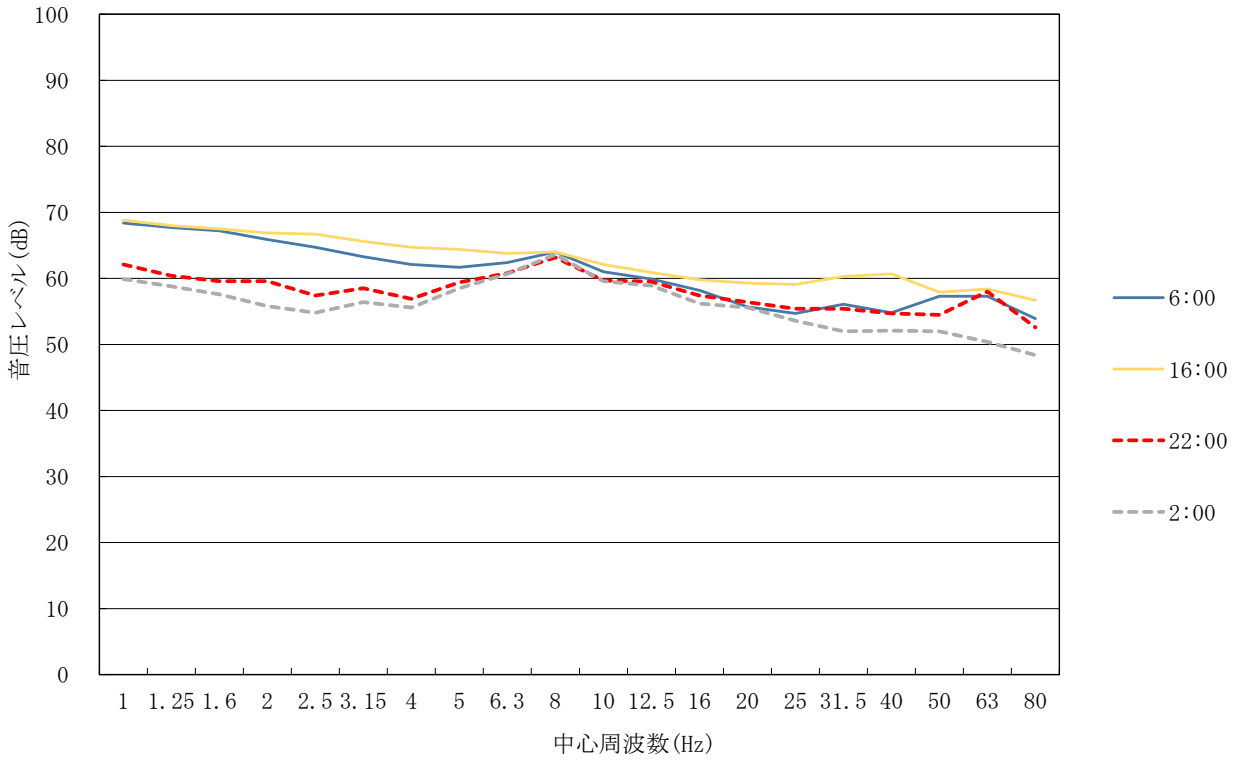


表 7.1-8(14)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 7）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）16 時～1 月 25 日（水）6 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	71.0	70.8	55.1	55.5	53.0	51.9	52.2	55.9	54.6	58.5	61.3	62.8	60.2	60.1	58.4	55.3	56.0	59.5	57.5	58.1	55.0	53.1
16:00	74.3	79.0	70.2	69.3	69.3	68.7	68.2	68.4	67.1	66.5	65.6	66.0	64.2	63.0	60.3	59.1	59.3	60.3	60.2	64.5	61.4	56.4
22:00	72.9	78.0	69.9	69.2	68.5	67.9	67.6	67.4	65.6	65.1	65.2	65.0	62.3	61.5	59.6	57.1	58.9	57.0	57.7	56.8	54.5	52.5
2:00	70.5	73.4	64.6	64.2	63.4	62.7	61.3	60.6	59.4	60.4	61.8	63.2	60.2	59.8	57.8	55.0	53.3	54.4	57.1	52.7	51.4	49.8
平均	72.4	76.4	67.7	66.9	66.5	65.9	65.4	65.4	63.9	63.8	63.9	64.4	62.1	61.3	59.1	56.9	57.5	58.4	58.3	60.1	57.2	53.6

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。

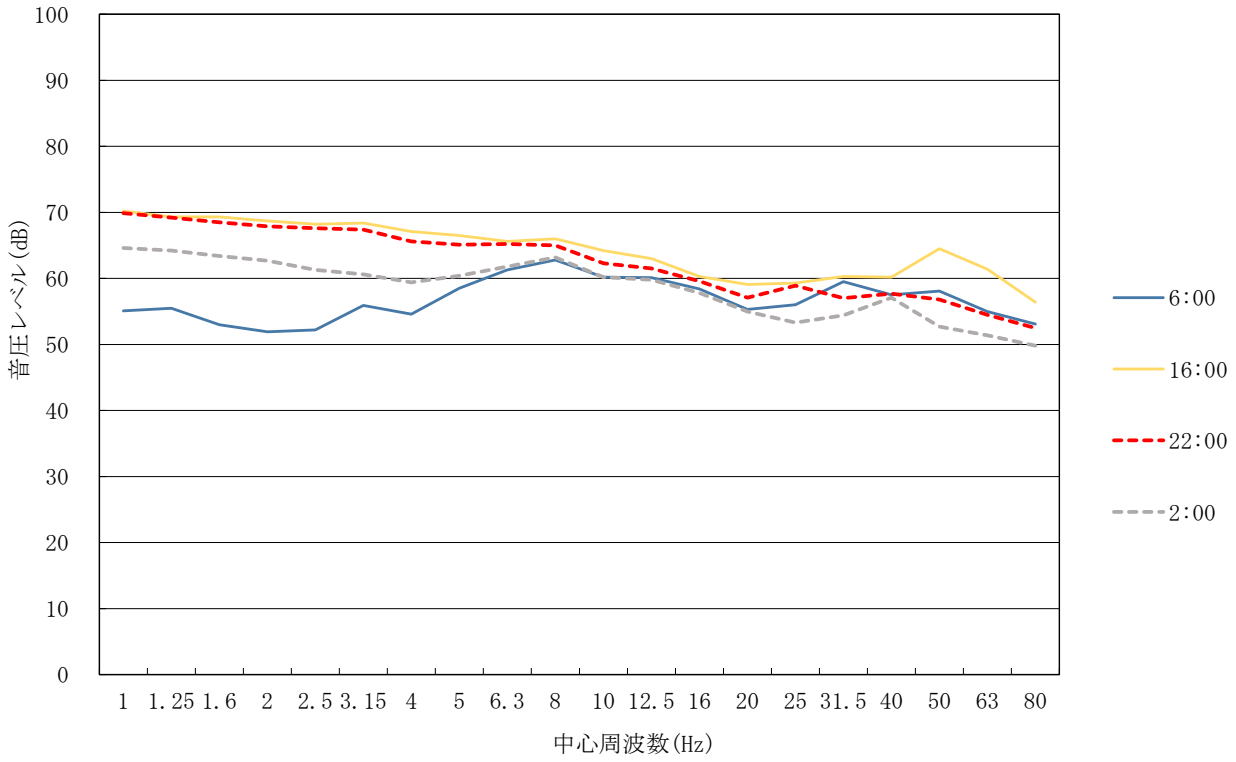


表 7.1-8(15)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 8）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）16 時～5 月 19 日（木）6 時（停止時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	60.0	68.9	62.7	62.5	60.1	58.4	57.5	56.5	54.3	52.8	51.9	51.2	49.0	49.7	46.1	44.1	46.5	48.5	46.1	49.6	49.9	48.3
16:00	63.5	73.6	66.5	66.0	65.3	63.7	63.7	62.8	61.3	60.3	57.7	55.7	53.4	52.4	49.7	47.4	48.1	48.8	47.4	49.0	46.5	46.3
22:00	59.5	61.7	50.8	50.2	49.3	49.3	49.8	50.1	48.1	48.1	50.0	49.9	46.3	48.5	46.4	44.6	46.4	47.2	46.0	47.6	51.2	45.2
2:00	54.0	58.4	45.4	46.9	47.4	47.8	48.5	46.9	47.0	46.5	48.9	48.9	42.9	42.9	40.2	37.9	40.2	41.5	40.4	41.8	40.7	38.4
平均	60.4	69.1	62.1	61.7	60.6	59.0	58.9	58.0	56.4	55.4	53.6	52.3	49.5	49.5	46.7	44.6	46.1	47.3	45.6	47.8	48.5	45.7

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。

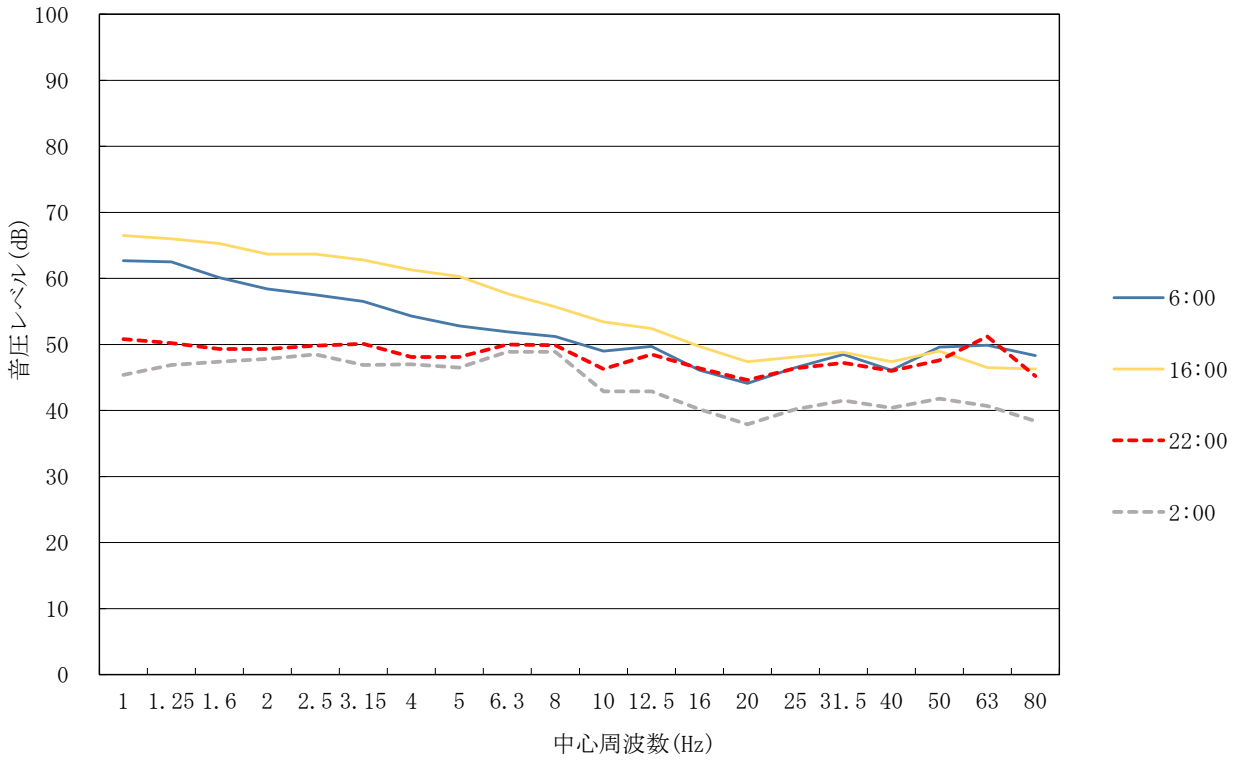


表 7.1-8(16)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 8）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）16 時～1 月 25 日（水）6 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	61.8	61.7	48.9	48.3	47.6	47.4	49.3	49.8	48.7	47.9	50.3	49.2	44.8	49.1	50.8	46.3	48.3	47.9	47.9	51.3	47.3	46.4
16:00	70.0	75.5	68.7	67.3	66.4	65.8	64.6	64.0	62.3	61.0	59.8	58.7	56.4	55.0	54.7	56.0	58.3	58.1	56.3	56.3	55.7	55.7
22:00	62.4	73.6	67.5	66.9	65.0	64.1	63.2	61.5	59.8	57.6	56.7	54.8	51.7	50.7	50.1	45.4	47.2	46.2	46.9	50.6	46.1	46.0
2:00	58.8	67.7	61.5	61.8	59.8	57.0	55.1	54.5	53.4	50.9	51.4	50.1	45.2	46.5	46.3	43.7	45.5	43.0	43.4	47.0	42.4	43.0
平均	65.4	72.2	65.6	64.7	63.3	62.4	61.3	60.3	58.7	57.0	56.2	54.9	52.1	51.5	51.5	51.0	53.2	52.8	51.5	52.6	50.8	50.7

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）APは、１～80Hzの周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16時である。

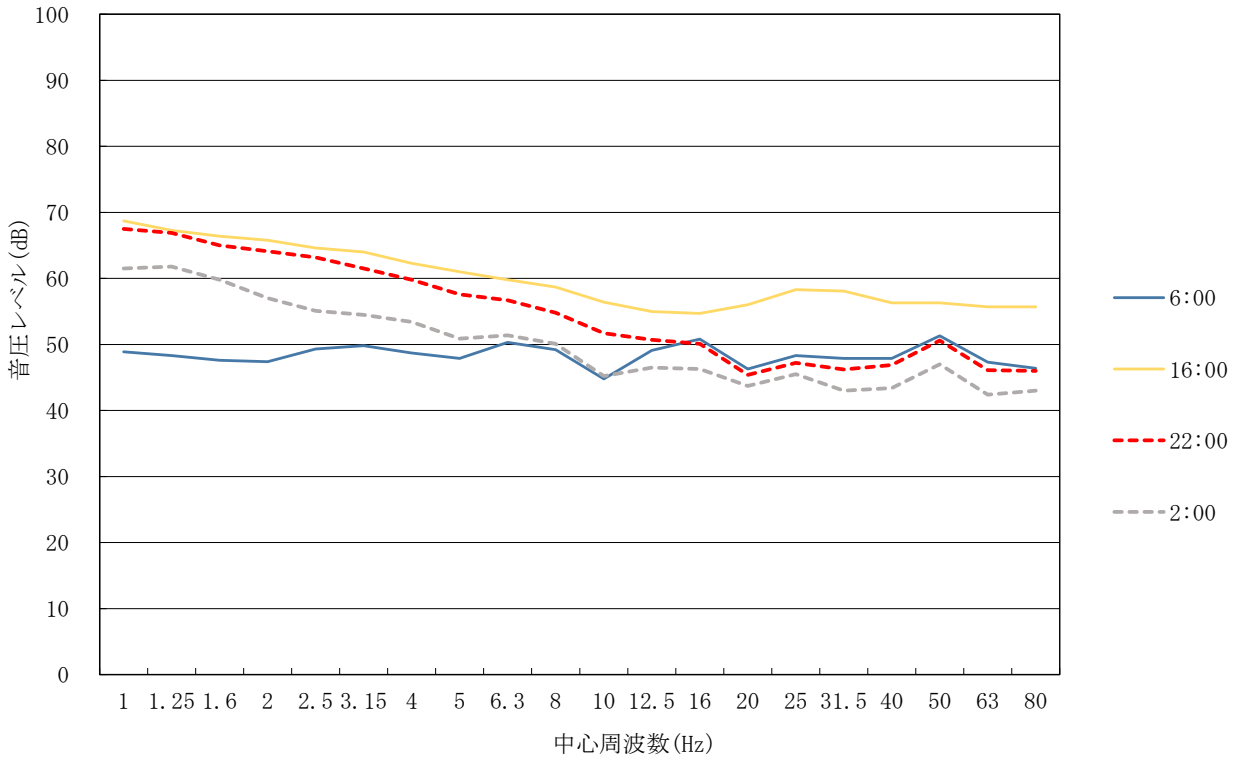


表 7.1-8(17)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 9）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）16 時～5 月 19 日（木）6 時（停止時）　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	66.0	69.2	61.5	60.6	59.8	58.8	56.9	55.7	55.1	55.7	56.2	57.9	55.3	55.9	53.1	50.0	50.4	48.3	47.2	49.0	50.2	47.6
16:00	68.4	74.8	67.6	66.7	65.4	64.4	64.0	63.3	62.4	61.6	60.8	60.8	57.7	57.1	54.4	52.7	53.9	55.3	55.1	52.0	52.4	50.6
22:00	64.6	68.8	60.4	60.2	58.9	57.8	56.9	56.5	54.9	55.8	56.2	58.0	53.5	54.2	51.8	48.3	48.7	46.5	47.4	47.9	55.4	48.7
2:00	61.8	63.2	46.6	48.1	48.4	48.5	49.6	48.6	50.5	53.9	54.9	57.1	51.1	52.1	49.0	43.9	43.3	41.8	42.2	42.9	41.6	39.4
平均	65.8	70.8	63.2	62.4	61.2	60.2	59.5	58.8	57.9	57.9	57.7	58.7	55.1	55.2	52.5	49.8	50.5	50.7	50.5	49.0	52.0	48.0

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。

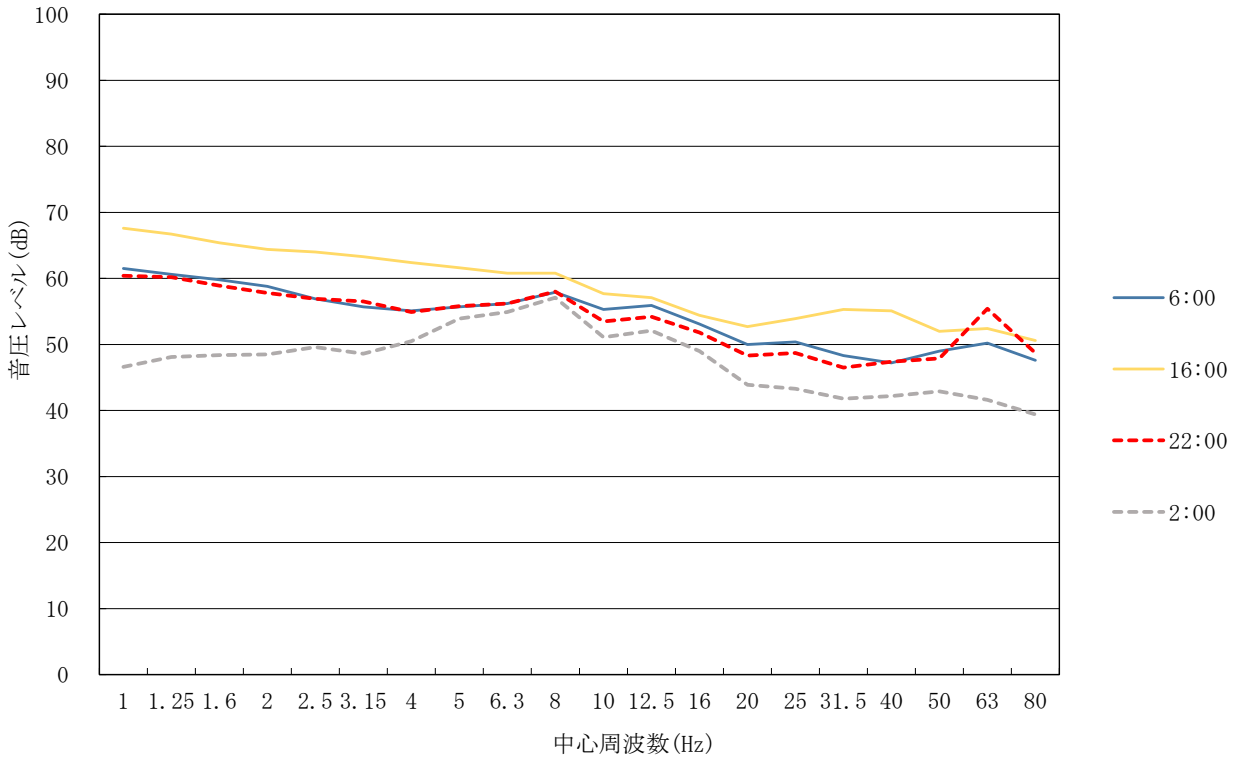


表 7.1-8(18)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 9）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）16 時～1 月 25 日（水）6 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	64.6	65.3	53.6	52.1	51.5	50.4	50.1	51.3	51.6	53.7	56.1	57.7	52.5	53.5	52.0	49.4	48.8	48.8	49.0	48.7	49.5	48.9
16:00	73.1	78.2	69.9	69.5	69.0	67.9	68.3	68.2	66.7	65.2	65.0	63.9	62.5	61.4	59.6	57.1	56.1	54.7	53.7	53.7	51.9	53.6
22:00	71.6	77.3	68.9	68.5	67.8	67.0	67.6	67.0	66.3	65.0	64.9	64.2	61.8	60.7	58.3	55.5	53.4	52.0	51.3	49.4	50.4	49.9
2:00	63.5	70.6	63.0	64.1	61.3	61.1	59.3	57.8	56.2	56.5	57.2	58.2	52.6	52.9	50.8	46.9	45.7	44.9	46.1	44.2	43.3	42.2
平均	70.0	75.3	66.9	66.7	65.9	65.0	65.3	64.9	63.8	62.5	62.5	62.0	59.6	58.7	56.7	54.0	52.7	51.5	50.9	50.2	49.7	50.2

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。

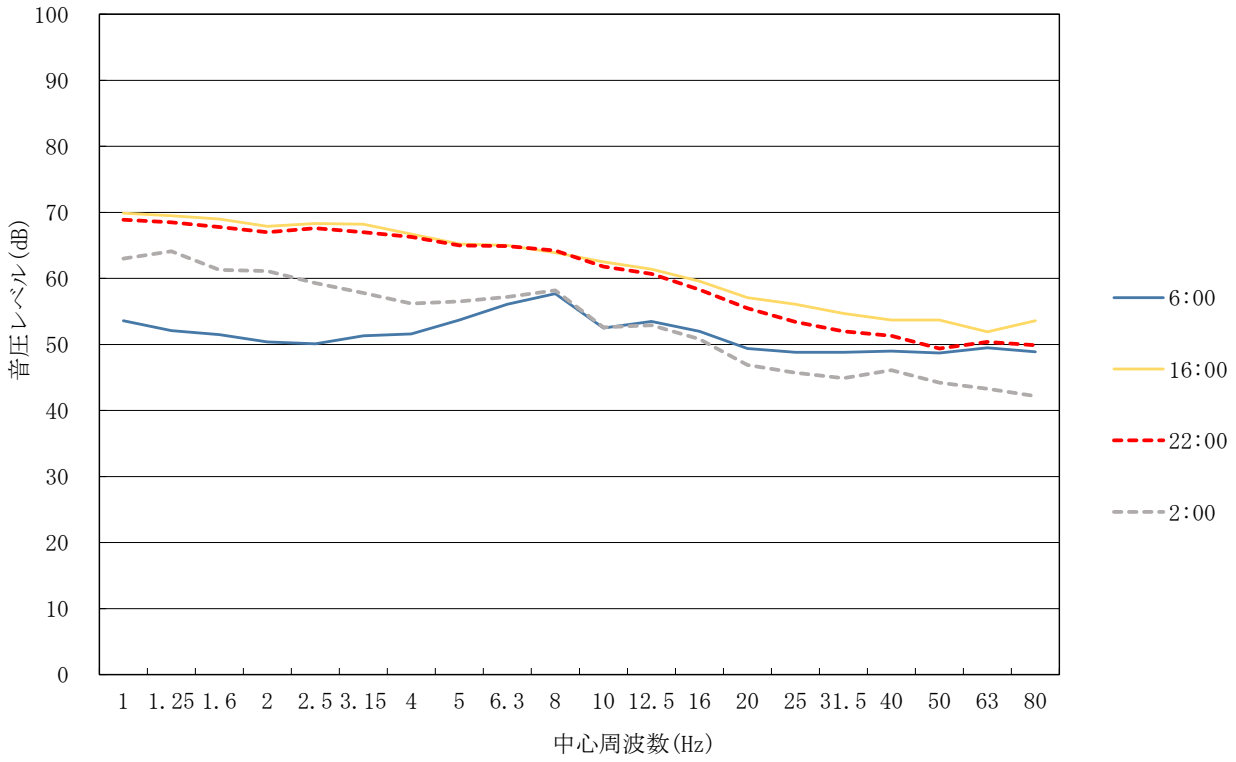


表 7.1-8(19)　低周波音周波数測定結果（停止時、地点 10）

調査期間：平成 28 年５月 18 日（水）16 時～５月 19 日（木）６時（停止時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	68.6	70.7	63.0	61.4	61.2	59.6	57.8	55.9	54.5	57.4	58.7	59.2	56.6	59.3	55.0	52.8	53.7	53.2	52.1	52.3	50.8	51.3
16:00	72.5	77.4	69.8	68.7	68.2	67.0	66.5	66.4	64.5	64.6	64.1	63.5	61.3	61.6	58.5	57.7	58.0	60.1	58.2	55.3	53.6	53.1
22:00	69.8	69.0	58.9	58.1	57.1	55.7	54.4	53.0	51.8	57.0	58.3	58.8	56.2	59.2	54.4	57.3	55.8	52.5	52.2	51.2	52.0	48.5
2:00	67.1	66.8	54.1	54.1	54.0	52.1	51.1	48.8	49.3	56.2	57.8	58.6	55.6	58.8	52.6	51.4	50.1	49.6	49.9	47.2	43.3	44.8
平均	70.0	73.0	65.0	63.8	63.4	62.1	61.4	61.0	59.2	60.4	60.6	60.6	58.1	59.9	55.7	55.6	55.3	55.7	54.3	52.4	51.2	50.4

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。

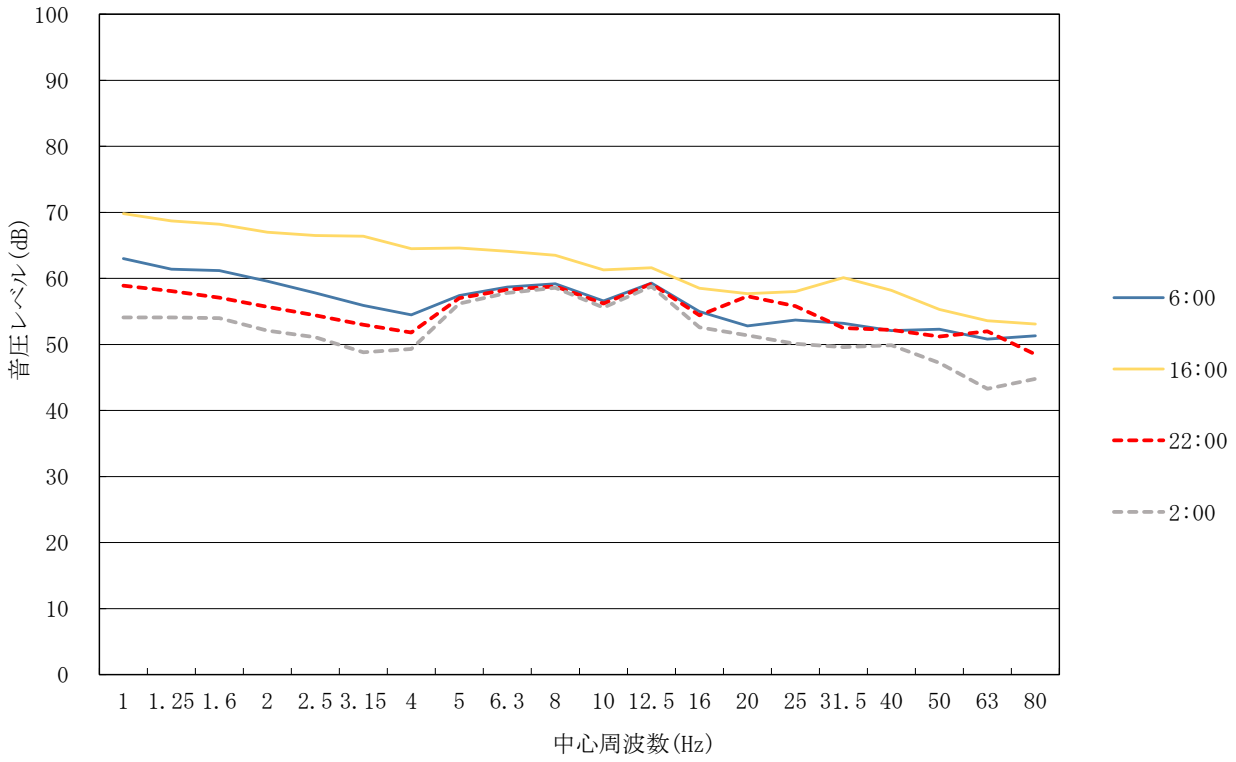
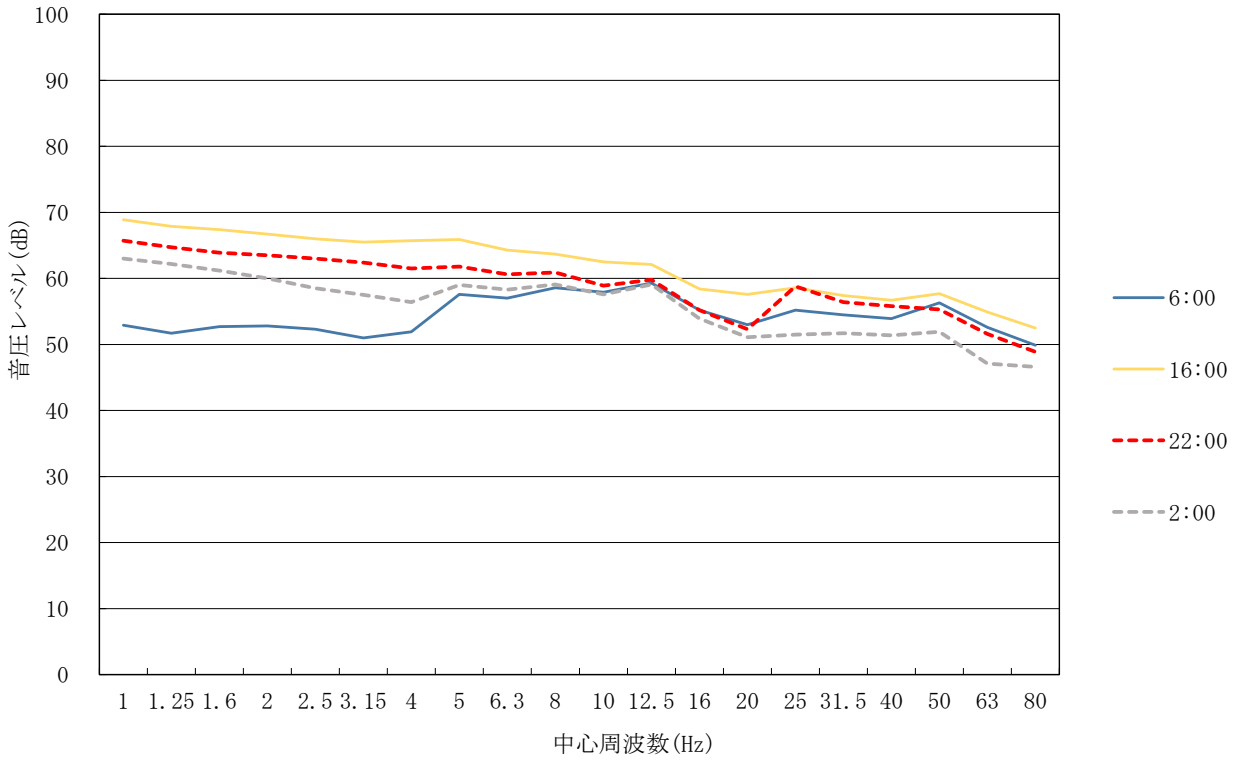


表 7.1-8(20)　低周波音周波数測定結果（稼働時、地点 10）

調査期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）16 時～1 月 25 日（水）6 時（稼働時）　　（単位：dB）

時刻	L_{Geq}	平坦特性等価音圧レベル																				
		AP	中心周波数(Hz)																			
			1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
6:00	68.8	68.2	52.9	51.7	52.7	52.8	52.3	51.0	51.9	57.6	57.0	58.6	57.9	59.3	55.2	53.0	55.2	54.5	53.9	56.3	52.6	49.9
16:00	73.3	77.1	68.9	67.9	67.4	66.7	66.0	65.5	65.7	65.9	64.3	63.7	62.5	62.1	58.4	57.6	58.6	57.4	56.7	57.7	54.9	52.5
22:00	69.6	73.9	65.7	64.7	63.9	63.5	63.0	62.4	61.5	61.8	60.6	60.9	58.9	59.8	55.2	52.3	58.8	56.4	55.8	55.3	51.6	48.9
2:00	67.7	70.9	63.0	62.2	61.2	60.0	58.5	57.5	56.4	59.0	58.3	59.1	57.6	59.1	53.9	51.1	51.5	51.7	51.4	51.9	47.1	46.6
平均	70.4	73.7	65.3	64.4	63.7	63.1	62.3	61.7	61.6	62.3	61.0	61.1	59.7	60.3	56.0	54.3	56.9	55.5	54.9	55.8	52.3	50.0

注１）L_{Geq}はG特性等価音圧レベルである。
注２）AP は、１～80Hz の周波数ごとの平坦特性等価音圧レベルの合成値である。
注３）平均は４回の測定の等価音圧レベルのパワー平均値である。
注４）測定開始時間は、16 時である。



8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

目　次

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.1　大気汚染 …… 59

8.2　悪臭 …… 153

8.3　騒音・振動 …… 159

8.4　土壌汚染 …… 205

8.5　地盤 …… 209

8.6　水循環 …… 239

8.7　日影 …… 241

8.8　電波障害 …… 245

8.9　景観 …… 251

8.11　廃棄物 …… 253

8.12　温室効果ガス …… 263

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.1　大気汚染

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.1　大気汚染

8.1.1　現況調査

（1）　大気質の概況

ア　一般環境大気質

調査結果は、表 8.1-1(1)～(5)に示すとおりである。

イ　道路沿道大気質

調査結果は、表 8.1-2(1)～(5)に示すとおりである。

表 8.1-1(1) 一般環境大気質測定結果（地点Ａ 江戸川清掃工場）

夏季（平成28年）

項目		7/20(水)	7/21(木)	7/22(金)	7/23(土)	7/24(日)	7/25(月)	7/26(火)	7/27(水)	7/28(木)	7/29(金)	7/30(土)	7/31(日)	8/1(月)	8/2(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.004	0.002	0.002	0.002	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001
	最高値	0.005	0.001	0.002	0.000	0.001	0.005	0.012	0.006	0.008	0.006	0.004	0.000	0.003	0.003	0.012
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.018	0.013	0.013	0.014	0.013	0.017	0.020	0.014	0.012	0.012	0.014	0.014	0.013	0.014	0.014
	最高値	0.029	0.018	0.019	0.018	0.020	0.029	0.037	0.020	0.019	0.025	0.023	0.022	0.019	0.020	0.037
	最低値	0.010	0.006	0.009	0.008	0.008	0.010	0.011	0.010	0.008	0.005	0.007	0.008	0.007	0.005	0.005
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.008	0.008	0.005	0.004	0.004	0.007	0.016	0.011	0.010	0.009	0.006	0.003	0.004	0.009	0.007
	最高値	0.017	0.012	0.012	0.008	0.011	0.013	0.023	0.017	0.021	0.015	0.012	0.006	0.008	0.019	0.023
	最低値	0.005	0.002	0.003	0.002	0.001	0.003	0.010	0.006	0.004	0.005	0.004	0.001	0.002	0.005	0.001
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.009	0.008	0.006	0.005	0.004	0.008	0.021	0.012	0.012	0.012	0.008	0.004	0.006	0.010	0.009
	最高値	0.027	0.013	0.015	0.012	0.013	0.014	0.039	0.021	0.031	0.023	0.017	0.009	0.017	0.029	0.039
	最低値	0.005	0.002	0.003	0.002	0.001	0.003	0.010	0.008	0.005	0.006	0.004	0.002	0.003	0.005	0.001
微小粒子状物質 ($\mu g/m^3$)	平均値	11.0	6.0	6.7	9.0	8.8	11.7	12.3	10.3	8.3	8.8	9.9	8.0	8.1	7.0	9.0
	最高値	19	9	9	12	16	27	22	15	16	20	21	13	15	13	27
	最低値	6	3	5	6	5	7	5	7	4	5	5	4	5	2	2
塩化水素(ppb)		0.42	0.10	N.D.	0.20	0.30	0.25	0.11	0.14	0.32	0.30	0.54	0.16	0.17	0.05	0.22
水銀(ng/m^3)		2.2	2.0	2.0	1.9	2.1	1.9	2.4	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.9	1.8	2.1
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.010														

秋季（平成28年）

項目		10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	10/19(水)	10/20(木)	10/21(金)	10/22(土)	10/23(日)	10/24(月)	10/25(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001
	最高値	0.008	0.004	0.001	0.002	0.002	0.002	0.000	0.003	0.002	0.004	0.001	0.001	0.007	0.004	0.008
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.021	0.017	0.017	0.024	0.025	0.031	0.020	0.021	0.027	0.023	0.029	0.022	0.013	0.024	0.022
	最高値	0.029	0.022	0.027	0.038	0.031	0.052	0.031	0.028	0.032	0.028	0.049	0.047	0.019	0.036	0.052
	最低値	0.013	0.012	0.011	0.013	0.019	0.021	0.010	0.012	0.020	0.017	0.013	0.007	0.004	0.009	0.004
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.018	0.010	0.016	0.022	0.018	0.031	0.014	0.011	0.018	0.012	0.018	0.008	0.011	0.033	0.017
	最高値	0.027	0.018	0.043	0.040	0.040	0.043	0.028	0.019	0.035	0.025	0.028	0.017	0.030	0.050	0.050
	最低値	0.011	0.004	0.004	0.006	0.005	0.023	0.004	0.004	0.004	0.004	0.012	0.003	0.004	0.011	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.022	0.010	0.018	0.028	0.020	0.037	0.018	0.011	0.021	0.013	0.019	0.008	0.012	0.042	0.020
	最高値	0.044	0.018	0.066	0.066	0.052	0.084	0.058	0.019	0.058	0.025	0.029	0.017	0.031	0.063	0.084
	最低値	0.011	0.004	0.004	0.006	0.005	0.024	0.004	0.004	0.004	0.004	0.012	0.003	0.005	0.011	0.003
微小粒子状物質 ($\mu g/m^3$)	平均値	13.2	10.0	11.4	17.6	16.5	21.2	11.4	11.3	16.4	13.5	19.1	13.8	8.6	17.8	14.4
	最高値	22	14	21	31	27	39	24	19	22	19	33	27	12	35	39
	最低値	8	5	5	12	10	6	5	8	12	10	8	3	4	6	3
塩化水素(ppb)		0.31	0.10	0.40	0.47	0.32	0.07	0.50	0.20	0.83	0.30	0.14	0.68	0.12	0.14	0.33
水銀(ng/m^3)		1.8	2.1	2.0	2.1	2.3	2.5	2.5	2.2	2.4	2.2	2.0	2.2	1.8	2.1	2.2
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.045														

冬季（平成29年）

項目		1/14(土)	1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	1/22(日)	1/23(月)	1/24(火)	1/25(水)	1/26(木)	1/27(金)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.000	0.001	0.003	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001
	最高値	0.001	0.003	0.005	0.003	0.005	0.003	0.002	0.001	0.003	0.007	0.004	0.004	0.006	0.003	0.007
	最低値	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.012	0.007	0.010	0.008	0.014	0.017	0.032	0.012	0.025	0.010	0.009	0.009	0.017	0.023	0.015
	最高値	0.025	0.013	0.020	0.016	0.024	0.022	0.055	0.032	0.037	0.018	0.017	0.017	0.046	0.040	0.055
	最低値	0.002	0.003	0.004	0.002	0.005	0.010	0.020	0.004	0.013	0.004	0.001	0.004	0.006	0.013	0.001
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.020	0.010	0.021	0.018	0.027	0.022	0.026	0.012	0.023	0.009	0.013	0.016	0.030	0.026	0.019
	最高値	0.036	0.036	0.041	0.040	0.041	0.039	0.035	0.032	0.054	0.015	0.041	0.042	0.062	0.048	0.062
	最低値	0.006	0.003	0.005	0.007	0.010	0.008	0.012	0.005	0.009	0.004	0.004	0.005	0.012	0.008	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.029	0.011	0.038	0.020	0.035	0.026	0.030	0.012	0.026	0.010	0.016	0.019	0.046	0.038	0.025
	最高値	0.081	0.044	0.134	0.050	0.060	0.049	0.044	0.033	0.080	0.017	0.074	0.075	0.136	0.117	0.136
	最低値	0.007	0.004	0.007	0.007	0.012	0.009	0.012	0.006	0.009	0.004	0.005	0.006	0.014	0.009	0.004
微小粒子状物質 ($\mu g/m^3$)	平均値	11.2	5.3	8.8	6.6	13.1	16.1	29.8	11.0	23.3	8.0	6.7	8.3	16.6	17.2	13.0
	最高値	23	11	17	15	19	22	43	30	35	12	12	13	38	30	43
	最低値	1	0	3	3	7	11	21	2	12	4	4	5	7	10	0
塩化水素(ppb)		0.08	0.02	0.04	0.05	0.06	0.09	0.09	0.11	0.08	0.10	0.08	0.09	0.08	0.10	0.08
水銀(ng/m^3)		2.2	1.8	2.2	2.0	2.0	2.4	2.2	2.1	2.4	2.0	1.8	1.8	2.0	2.2	2.1
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.033														

春季（平成29年）

項目		3/10(金)	3/11(土)	3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	3/19(日)	3/20(月)	3/21(火)	3/22(水)	3/23(木)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
	最高値	0.001	0.002	0.001	0.003	0.000	0.000	0.003	0.000	0.003	0.003	0.005	0.004	0.000	0.002	0.005
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.014	0.014	0.013	0.020	0.015	0.012	0.015	0.012	0.017	0.044	0.038	0.018	0.015	0.019	0.019
	最高値	0.020	0.026	0.027	0.033	0.025	0.025	0.032	0.023	0.028	0.062	0.048	0.038	0.023	0.024	0.062
	最低値	0.008	0.006	0.008	0.007	0.005	0.002	0.009	0.006	0.009	0.020	0.025	0.004	0.005	0.013	0.002
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.017	0.010	0.008	0.015	0.012	0.009	0.023	0.012	0.019	0.014	0.009	0.012	0.008	0.018	0.013
	最高値	0.041	0.020	0.012	0.025	0.023	0.017	0.034	0.029	0.043	0.038	0.020	0.017	0.010	0.042	0.043
	最低値	0.005	0.005	0.005	0.006	0.005	0.005	0.014	0.006	0.005	0.006	0.005	0.007	0.004	0.007	0.004
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.019	0.011	0.008	0.017	0.013	0.010	0.031	0.013	0.020	0.015	0.009	0.013	0.008	0.020	0.015
	最高値	0.059	0.024	0.013	0.028	0.026	0.018	0.075	0.032	0.050	0.039	0.020	0.018	0.011	0.062	0.075
	最低値	0.006	0.005	0.005	0.006	0.005	0.006	0.014	0.007	0.006	0.006	0.005	0.007	0.004	0.007	0.004
微小粒子状物質 ($\mu g/m^3$)	平均値	12.1	11.2	11.5	17.8	11.4	9.1	12.5	10.2	15.7	38.8	32.7	11.7	12.0	15.4	15.9
	最高値	18	17	19	28	20	21	21	15	24	53	42	30	19	18	53
	最低値	6	6	6	5	3	1	8	6	12	22	19	3	1	13	1
塩化水素(ppb)		0.16	0.06	0.16	0.09	0.05	N.D.	0.15	0.15	0.16	0.43	0.42	0.12	0.05	0.11	0.15
水銀(ng/m^3)		2.2	1.8	2.0	2.0	2.0	1.7	1.9	1.9	2.1	2.0	1.9	2.0	1.8	1.9	1.9
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.017														

注１）期間値は、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び窒素酸化物については全１時間値を平均した値であり、微小粒子状物質、塩化水素及び水銀については全日平均値を平均した値である。

注２）ダイオキシン類は７日間値を示す。季節毎の測定期間は以下のとおりである。

夏季：7/20(水)～7/26(火)、秋季：10/12(水)～10/18(火)、冬季：1/16(月)～1/22(日)、春季：3/12(日)～3/18(土)

注３）微小粒子状物質の１時間値（最高値及び最低値）は参考値である。

注４）塩化水素のN.D.は定量下限値未満を表しており、季節毎の定量下限値は以下のとおりである。期間値の算出の際、定量下限値未満の結果は定量下限値を用いた。

夏季：0.03ppb、秋季：0.04ppb、冬季：0.02ppb、春季：0.03ppb

表 8.1-1(2)　一般環境大気質測定結果（地点Ｂ 南篠崎小学校）

夏季（平成28年）

項目		7/20(水)	7/21(木)	7/22(金)	7/23(土)	7/24(日)	7/25(月)	7/26(火)	7/27(水)	7/28(木)	7/29(金)	7/30(土)	7/31(日)	8/1(月)	8/2(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.000	0.000	0.001	0.001
	最高値	0.003	0.000	0.003	0.000	0.000	0.003	0.011	0.004	0.007	0.005	0.005	0.001	0.002	0.003	0.011
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.018	0.012	0.012	0.012	0.015	0.018	0.022	0.016	0.015	0.013	0.014	0.015	0.013	0.015	0.015
	最高値	0.030	0.017	0.015	0.018	0.022	0.024	0.034	0.021	0.025	0.018	0.022	0.019	0.019	0.023	0.034
	最低値	0.008	0.007	0.007	0.006	0.005	0.011	0.013	0.012	0.006	0.008	0.004	0.009	0.007	0.007	0.004
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.008	0.009	0.006	0.004	0.005	0.008	0.018	0.011	0.011	0.010	0.007	0.004	0.005	0.010	0.008
	最高値	0.017	0.013	0.012	0.008	0.012	0.014	0.023	0.018	0.021	0.017	0.015	0.008	0.009	0.021	0.023
	最低値	0.005	0.002	0.004	0.003	0.002	0.004	0.012	0.005	0.005	0.006	0.004	0.001	0.003	0.004	0.001
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.009	0.010	0.007	0.005	0.005	0.009	0.025	0.013	0.014	0.015	0.010	0.004	0.007	0.013	0.011
	最高値	0.028	0.015	0.016	0.010	0.015	0.015	0.039	0.025	0.035	0.029	0.021	0.011	0.021	0.031	0.039
	最低値	0.005	0.002	0.004	0.003	0.002	0.004	0.013	0.007	0.006	0.008	0.004	0.002	0.003	0.005	0.002
塩化水素(ppb)		0.43	0.31	N.D.	0.13	0.19	0.22	0.26	0.12	0.24	0.20	0.40	0.46	0.07	0.17	0.23
水銀(ng/m^3)		2.3	2.2	2.1	1.9	2.0	2.2	2.3	2.1	2.1	2.1	3.1	2.2	2.1	2.0	2.2
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.013														

秋季（平成28年）

項目		10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	10/19(水)	10/20(木)	10/21(金)	10/22(土)	10/23(日)	10/24(月)	10/25(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	最高値	0.008	0.005	0.001	0.002	0.003	0.003	0.001	0.002	0.002	0.004	0.001	0.002	0.004	0.003	0.008
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.019	0.013	0.014	0.024	0.024	0.032	0.019	0.019	0.024	0.020	0.027	0.021	0.012	0.024	0.021
	最高値	0.028	0.022	0.025	0.038	0.035	0.050	0.033	0.027	0.032	0.030	0.048	0.046	0.020	0.042	0.050
	最低値	0.011	0.009	0.005	0.009	0.013	0.015	0.007	0.012	0.013	0.015	0.012	0.005	0.001	0.008	0.001
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.019	0.011	0.018	0.021	0.017	0.031	0.015	0.011	0.017	0.013	0.018	0.008	0.013	0.032	0.018
	最高値	0.027	0.020	0.042	0.040	0.037	0.041	0.027	0.019	0.035	0.022	0.027	0.017	0.031	0.047	0.047
	最低値	0.010	0.005	0.004	0.006	0.005	0.024	0.005	0.004	0.004	0.004	0.013	0.003	0.004	0.012	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.024	0.011	0.021	0.029	0.019	0.039	0.020	0.012	0.023	0.014	0.020	0.009	0.015	0.042	0.021
	最高値	0.047	0.020	0.069	0.066	0.047	0.078	0.059	0.023	0.066	0.022	0.028	0.017	0.034	0.063	0.078
	最低値	0.012	0.006	0.004	0.007	0.005	0.026	0.005	0.004	0.004	0.004	0.013	0.003	0.005	0.012	0.003
塩化水素(ppb)		0.05	0.30	0.15	0.12	0.24	0.26	0.07	0.19	0.22	0.45	0.23	0.29	0.10	0.15	0.20
水銀(ng/m^3)		1.9	2.0	2.0	2.0	2.3	2.6	2.8	2.4	2.9	2.3	2.2	2.5	1.8	2.1	2.3
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.044														

冬季（平成29年）

項目		1/14(土)	1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	1/22(日)	1/23(月)	1/24(火)	1/25(水)	1/26(木)	1/27(金)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001
	最高値	0.001	0.003	0.005	0.003	0.005	0.003	0.002	0.002	0.003	0.007	0.004	0.004	0.007	0.003	0.007
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.012	0.005	0.009	0.008	0.014	0.015	0.030	0.011	0.022	0.008	0.006	0.007	0.016	0.021	0.013
	最高値	0.027	0.011	0.019	0.019	0.025	0.022	0.043	0.031	0.035	0.023	0.013	0.013	0.034	0.034	0.043
	最低値	0.003	0.002	0.002	0.003	0.006	0.010	0.021	0.003	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.009	0.002
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.020	0.010	0.022	0.020	0.029	0.024	0.029	0.013	0.025	0.010	0.015	0.019	0.034	0.030	0.021
	最高値	0.039	0.038	0.042	0.041	0.048	0.041	0.038	0.033	0.058	0.018	0.047	0.052	0.069	0.051	0.069
	最低値	0.007	0.003	0.007	0.007	0.010	0.008	0.013	0.006	0.009	0.005	0.006	0.006	0.013	0.009	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.033	0.012	0.045	0.025	0.042	0.030	0.034	0.016	0.031	0.012	0.021	0.027	0.059	0.052	0.031
	最高値	0.109	0.057	0.171	0.054	0.078	0.063	0.054	0.040	0.096	0.021	0.096	0.131	0.168	0.125	0.171
	最低値	0.009	0.004	0.008	0.008	0.013	0.010	0.014	0.007	0.010	0.006	0.007	0.008	0.014	0.011	0.004
塩化水素(ppb)		0.08	0.02	0.02	0.06	0.05	0.08	0.09	0.13	0.08	0.07	0.08	0.05	0.06	0.06	0.07
水銀(ng/m^3)		2.2	1.8	2.2	1.9	1.9	2.4	2.2	2.1	2.3	2.4	1.9	1.8	2.0	2.3	2.1
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.032														

春季（平成29年）

項目		3/10(金)	3/11(土)	3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	3/19(日)	3/20(月)	3/21(火)	3/22(水)	3/23(木)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001
	最高値	0.003	0.003	0.004	0.004	0.001	0.001	0.005	0.002	0.005	0.005	0.006	0.005	0.002	0.004	0.006
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.014	0.013	0.013	0.020	0.017	0.013	0.016	0.014	0.019	0.042	0.036	0.018	0.015	0.020	0.019
	最高値	0.020	0.021	0.022	0.027	0.028	0.025	0.024	0.025	0.030	0.055	0.047	0.039	0.021	0.025	0.055
	最低値	0.009	0.007	0.008	0.010	0.005	0.003	0.006	0.005	0.011	0.018	0.024	0.005	0.006	0.014	0.003
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.020	0.011	0.009	0.018	0.015	0.012	0.028	0.014	0.021	0.016	0.010	0.016	0.010	0.021	0.016
	最高値	0.047	0.023	0.012	0.030	0.027	0.020	0.051	0.035	0.048	0.040	0.022	0.024	0.015	0.048	0.051
	最低値	0.008	0.006	0.006	0.007	0.006	0.007	0.014	0.008	0.007	0.007	0.006	0.008	0.006	0.007	0.006
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.024	0.012	0.010	0.021	0.017	0.013	0.051	0.016	0.025	0.017	0.011	0.019	0.010	0.027	0.020
	最高値	0.070	0.028	0.014	0.037	0.032	0.021	0.203	0.041	0.075	0.043	0.023	0.041	0.017	0.081	0.203
	最低値	0.009	0.007	0.007	0.007	0.006	0.007	0.015	0.008	0.008	0.008	0.006	0.009	0.006	0.007	0.006
塩化水素(ppb)		0.09	0.10	0.08	0.15	0.06	N.D.	0.05	0.13	0.12	0.23	0.49	0.27	N.D.	0.07	0.14
水銀(ng/m^3)		2.5	2.0	1.9	2.0	2.1	1.8	1.9	2.1	2.2	2.4	2.4	2.0	1.9	1.9	2.1
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.020														

注１）期間値は、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び窒素酸化物については全１時間値を平均した値であり、塩化水素及び水銀については全日平均値を平均した値である。

注２）ダイオキシン類は７日間値を示す。季節毎の測定期間は以下のとおりである。

夏季：7/20(水)～7/26(火)、秋季：10/12(水)～10/18(火)、冬季：1/16(月)～1/22(日)、春季：3/12(日)～3/18(土)

注３）塩化水素の N.D.は定量下限値未満を表しており、季節毎の定量下限値は以下のとおりである。期間値の算出の際、定量下限値未満の結果は定量下限値を用いた。

夏季：0.03ppb、秋季：0.04ppb、冬季：0.02ppb、春季：0.03ppb

表 8.1-1(3) 一般環境大気質測定結果（地点Ｃ第七中学校）

夏季（平成28年）

項目		7/20(水)	7/21(木)	7/22(金)	7/23(土)	7/24(日)	7/25(月)	7/26(火)	7/27(水)	7/28(木)	7/29(金)	7/30(土)	7/31(日)	8/1(月)	8/2(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001
	最高値	0.003	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.010	0.004	0.006	0.005	0.006	0.000	0.002	0.002	0.010
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.021	0.016	0.015	0.016	0.016	0.019	0.024	0.018	0.016	0.017	0.017	0.016	0.015	0.017	0.017
	最高値	0.030	0.023	0.018	0.025	0.023	0.028	0.037	0.024	0.025	0.024	0.025	0.022	0.024	0.026	0.037
	最低値	0.014	0.011	0.010	0.004	0.007	0.009	0.016	0.011	0.008	0.007	0.008	0.008	0.009	0.008	0.004
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.007	0.009	0.007	0.005	0.004	0.008	0.016	0.011	0.010	0.010	0.007	0.004	0.005	0.009	0.008
	最高値	0.015	0.014	0.012	0.009	0.009	0.013	0.023	0.017	0.020	0.017	0.016	0.006	0.008	0.018	0.023
	最低値	0.005	0.002	0.004	0.003	0.002	0.003	0.011	0.005	0.004	0.005	0.004	0.002	0.003	0.005	0.002
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.008	0.010	0.008	0.006	0.005	0.009	0.021	0.012	0.012	0.013	0.009	0.005	0.008	0.011	0.010
	最高値	0.017	0.015	0.017	0.012	0.011	0.013	0.038	0.021	0.026	0.029	0.025	0.008	0.020	0.027	0.038
	最低値	0.006	0.002	0.004	0.004	0.002	0.003	0.012	0.006	0.005	0.008	0.004	0.003	0.004	0.005	0.002
塩化水素(ppb)		0.18	0.12	N.D.	0.12	0.23	0.17	0.15	0.10	0.17	0.21	0.47	0.18	0.08	0.05	0.16
水銀(ng/m^3)		2.4	2.1	2.1	2.0	2.1	2.2	2.6	2.1	2.2	2.1	2.3	2.1	2.0	2.0	2.2
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.011														

秋季（平成28年）

項目		10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	10/19(水)	10/20(木)	10/21(金)	10/22(土)	10/23(日)	10/24(月)	10/25(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000
	最高値	0.007	0.002	0.001	0.002	0.002	0.000	0.000	0.002	0.002	0.003	0.001	0.000	0.004	0.002	0.007
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.018	0.014	0.016	0.022	0.022	0.026	0.017	0.019	0.023	0.018	0.026	0.022	0.011	0.024	0.020
	最高値	0.029	0.019	0.024	0.037	0.034	0.050	0.030	0.030	0.029	0.025	0.045	0.042	0.023	0.046	0.050
	最低値	0.011	0.006	0.011	0.011	0.011	0.007	0.009	0.013	0.017	0.012	0.012	0.007	0.001	0.007	0.001
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.018	0.012	0.017	0.020	0.017	0.030	0.014	0.011	0.018	0.013	0.019	0.008	0.012	0.031	0.017
	最高値	0.027	0.018	0.039	0.038	0.036	0.041	0.025	0.019	0.031	0.024	0.025	0.015	0.029	0.045	0.045
	最低値	0.011	0.006	0.006	0.006	0.005	0.022	0.005	0.005	0.004	0.004	0.010	0.003	0.005	0.011	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.022	0.013	0.019	0.026	0.018	0.037	0.018	0.012	0.022	0.013	0.021	0.009	0.013	0.040	0.020
	最高値	0.040	0.019	0.048	0.061	0.047	0.081	0.050	0.019	0.053	0.024	0.028	0.018	0.030	0.059	0.081
	最低値	0.011	0.007	0.006	0.007	0.005	0.023	0.006	0.006	0.004	0.004	0.010	0.003	0.006	0.011	0.003
塩化水素(ppb)		0.26	0.18	0.29	0.30	0.28	0.08	0.25	0.12	0.79	0.30	0.11	0.63	0.12	0.11	0.27
水銀(ng/m^3)		1.9	2.2	2.0	1.9	2.3	2.7	2.6	2.4	2.5	2.3	2.2	2.1	1.8	1.9	2.2
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.040														

冬季（平成29年）

項目		1/14(土)	1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	1/22(日)	1/23(月)	1/24(火)	1/25(水)	1/26(木)	1/27(金)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.000	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.002	0.003	0.001	0.002	0.003	0.002	0.002
	最高値	0.002	0.003	0.006	0.003	0.005	0.005	0.001	0.003	0.006	0.008	0.005	0.006	0.007	0.004	0.008
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.012	0.006	0.008	0.008	0.012	0.015	0.027	0.012	0.022	0.008	0.008	0.007	0.014	0.019	0.013
	最高値	0.027	0.016	0.019	0.017	0.018	0.039	0.043	0.028	0.041	0.017	0.025	0.017	0.033	0.033	0.043
	最低値	0.002	0.000	0.001	0.000	0.004	0.007	0.019	0.001	0.005	0.002	0.001	0.001	0.002	0.005	0.000
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.019	0.010	0.020	0.018	0.028	0.024	0.027	0.013	0.023	0.010	0.014	0.017	0.032	0.026	0.020
	最高値	0.033	0.032	0.039	0.037	0.044	0.040	0.036	0.029	0.053	0.016	0.045	0.040	0.062	0.048	0.062
	最低値	0.008	0.003	0.006	0.007	0.011	0.010	0.013	0.006	0.010	0.004	0.006	0.006	0.013	0.008	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.028	0.011	0.038	0.022	0.039	0.030	0.033	0.014	0.028	0.011	0.019	0.020	0.050	0.040	0.027
	最高値	0.075	0.039	0.144	0.048	0.066	0.063	0.052	0.030	0.091	0.018	0.093	0.059	0.137	0.123	0.144
	最低値	0.010	0.004	0.008	0.007	0.014	0.012	0.014	0.007	0.010	0.004	0.006	0.008	0.013	0.008	0.004
塩化水素(ppb)		0.06	0.02	0.05	0.05	0.08	0.06	0.07	0.11	0.07	0.07	0.06	0.08	0.08	0.07	0.07
水銀(ng/m^3)		2.0	1.7	2.2	1.9	2.1	2.2	2.2	2.1	2.3	2.2	1.9	1.8	2.0	1.9	2.0
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.033														

春季（平成29年）

項目		3/10(金)	3/11(土)	3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	3/19(日)	3/20(月)	3/21(火)	3/22(水)	3/23(木)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001	0.000	0.001	0.001
	最高値	0.003	0.003	0.005	0.002	0.000	0.000	0.005	0.002	0.005	0.005	0.006	0.005	0.002	0.003	0.006
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.016	0.014	0.014	0.018	0.015	0.012	0.016	0.015	0.020	0.041	0.035	0.015	0.016	0.018	0.019
	最高値	0.043	0.035	0.030	0.041	0.029	0.023	0.039	0.037	0.043	0.077	0.068	0.037	0.049	0.040	0.077
	最低値	0.002	0.000	0.001	0.004	0.002	0.004	0.002	0.000	0.005	0.021	0.001	0.004	0.000	0.003	0.000
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.018	0.013	0.009	0.017	0.014	0.012	0.024	0.014	0.021	0.017	0.011	0.015	0.010	0.020	0.015
	最高値	0.040	0.023	0.014	0.031	0.028	0.018	0.037	0.028	0.042	0.040	0.023	0.020	0.014	0.043	0.043
	最低値	0.008	0.007	0.006	0.006	0.005	0.007	0.013	0.008	0.009	0.009	0.005	0.008	0.004	0.008	0.004
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.022	0.014	0.009	0.020	0.017	0.013	0.033	0.016	0.023	0.019	0.012	0.015	0.011	0.023	0.018
	最高値	0.065	0.030	0.015	0.039	0.035	0.019	0.084	0.033	0.050	0.042	0.023	0.021	0.017	0.068	0.084
	最低値	0.009	0.008	0.007	0.006	0.005	0.007	0.013	0.008	0.009	0.010	0.005	0.008	0.004	0.008	0.004
塩化水素(ppb)		0.17	0.07	0.13	0.09	0.04	N.D.	0.07	0.14	0.16	0.37	0.36	0.14	0.04	0.06	0.13
水銀(ng/m^3)		2.5	1.9	1.9	2.0	2.0	1.7	1.8	1.9	2.2	2.2	2.2	2.0	1.8	1.9	2.0
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.016														

注１）期間値は、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び窒素酸化物については全１時間値を平均した値であり、塩化水素及び水銀については全日平均値を平均した値である。

注２）ダイオキシン類は７日間値を示す。季節毎の測定期間は以下のとおりである。

夏季：7/20(水)～7/26(火)、秋季：10/12(水)～10/18(火)、冬季：1/16(月)～1/22(日)、春季：3/12(日)～3/18(土)

注３）塩化水素の N.D.は定量下限値未満を表しており、季節毎の定量下限値は以下のとおりである。期間値の算出の際、定量下限値未満の結果は定量下限値を用いた。

夏季：0.03ppb、秋季：0.04ppb、冬季：0.02ppb、春季：0.03ppb

表 8.1-1(4)　一般環境大気質測定結果（地点Ｄ 福栄中学校）

夏季（平成28年）

項目		7/20(水)	7/21(木)	7/22(金)	7/23(土)	7/24(日)	7/25(月)	7/26(火)	7/27(水)	7/28(木)	7/29(金)	7/30(土)	7/31(日)	8/1(月)	8/2(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001
	最高値	0.004	0.001	0.001	0.001	0.000	0.004	0.008	0.004	0.007	0.006	0.005	0.001	0.003	0.002	0.008
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.017	0.011	0.011	0.012	0.011	0.015	0.020	0.014	0.012	0.012	0.012	0.012	0.010	0.013	0.013
	最高値	0.026	0.018	0.017	0.016	0.017	0.024	0.034	0.017	0.019	0.016	0.018	0.019	0.016	0.022	0.034
	最低値	0.010	0.005	0.007	0.008	0.005	0.011	0.010	0.011	0.004	0.005	0.006	0.005	0.005	0.007	0.004
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.008	0.008	0.007	0.004	0.004	0.008	0.015	0.011	0.010	0.010	0.007	0.003	0.005	0.009	0.008
	最高値	0.014	0.016	0.013	0.006	0.008	0.013	0.020	0.018	0.020	0.016	0.012	0.006	0.009	0.020	0.020
	最低値	0.004	0.003	0.003	0.003	0.001	0.003	0.009	0.005	0.004	0.005	0.004	0.001	0.003	0.004	0.001
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.009	0.010	0.008	0.005	0.005	0.009	0.021	0.013	0.013	0.014	0.008	0.004	0.007	0.012	0.010
	最高値	0.015	0.018	0.018	0.007	0.011	0.014	0.040	0.023	0.029	0.030	0.017	0.008	0.015	0.031	0.040
	最低値	0.004	0.003	0.004	0.004	0.002	0.003	0.009	0.007	0.005	0.008	0.004	0.002	0.004	0.004	0.002
塩化水素(ppb)		0.34	0.08	N.D.	0.12	0.25	0.21	0.14	0.07	0.22	0.17	0.40	0.17	0.10	N.D.	0.17
水銀(ng/m^3)		2.4	2.2	2.4	1.9	2.0	2.2	2.4	2.0	2.0	2.1	2.4	2.6	2.0	2.1	2.2
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.0084														

秋季（平成28年）

項目		10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	10/19(水)	10/20(木)	10/21(金)	10/22(土)	10/23(日)	10/24(月)	10/25(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	最高値	0.008	0.004	0.001	0.002	0.003	0.002	0.001	0.007	0.004	0.004	0.001	0.001	0.008	0.003	0.008
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.021	0.016	0.018	0.025	0.025	0.032	0.020	0.021	0.028	0.022	0.030	0.023	0.012	0.027	0.023
	最高値	0.033	0.022	0.029	0.041	0.035	0.056	0.032	0.031	0.044	0.032	0.048	0.039	0.019	0.039	0.056
	最低値	0.013	0.010	0.010	0.015	0.015	0.019	0.008	0.011	0.020	0.013	0.017	0.009	0.003	0.010	0.003
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.018	0.011	0.017	0.021	0.018	0.029	0.015	0.012	0.020	0.013	0.018	0.008	0.011	0.032	0.017
	最高値	0.028	0.019	0.043	0.040	0.038	0.043	0.026	0.021	0.034	0.028	0.026	0.016	0.028	0.048	0.048
	最低値	0.011	0.004	0.004	0.007	0.005	0.022	0.005	0.005	0.004	0.003	0.010	0.004	0.004	0.012	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.022	0.012	0.020	0.027	0.019	0.036	0.020	0.013	0.024	0.014	0.019	0.009	0.011	0.041	0.020
	最高値	0.044	0.019	0.056	0.065	0.049	0.091	0.056	0.021	0.060	0.029	0.027	0.016	0.028	0.064	0.091
	最低値	0.012	0.005	0.005	0.007	0.005	0.025	0.006	0.006	0.004	0.003	0.010	0.004	0.004	0.012	0.003
塩化水素(ppb)		0.22	0.08	0.30	0.32	0.22	0.06	0.20	0.12	0.68	0.33	0.13	0.58	0.08	0.12	0.25
水銀(ng/m^3)		2.1	2.1	2.0	2.3	2.4	2.8	2.8	3.1	2.8	2.1	2.2	2.4	1.9	2.1	2.4
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.038														

冬季（平成29年）

項目		1/14(土)	1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	1/22(日)	1/23(月)	1/24(火)	1/25(水)	1/26(木)	1/27(金)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002
	最高値	0.002	0.003	0.005	0.003	0.005	0.003	0.001	0.002	0.003	0.007	0.004	0.004	0.005	0.004	0.007
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.015	0.006	0.008	0.007	0.012	0.015	0.029	0.011	0.021	0.008	0.007	0.007	0.014	0.018	0.013
	最高値	0.051	0.013	0.017	0.018	0.019	0.021	0.043	0.027	0.034	0.012	0.012	0.015	0.030	0.031	0.051
	最低値	0.002	0.002	0.003	0.003	0.006	0.008	0.019	0.003	0.005	0.004	0.004	0.004	0.007	0.011	0.002
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.020	0.009	0.021	0.017	0.029	0.023	0.027	0.011	0.023	0.009	0.013	0.016	0.032	0.025	0.020
	最高値	0.035	0.038	0.041	0.034	0.047	0.041	0.038	0.032	0.054	0.014	0.042	0.043	0.064	0.050	0.064
	最低値	0.006	0.002	0.007	0.006	0.012	0.008	0.013	0.005	0.009	0.004	0.005	0.006	0.013	0.009	0.002
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.028	0.010	0.036	0.020	0.038	0.027	0.032	0.013	0.028	0.010	0.017	0.019	0.052	0.036	0.026
	最高値	0.069	0.045	0.116	0.037	0.066	0.054	0.053	0.033	0.087	0.016	0.057	0.063	0.169	0.113	0.169
	最低値	0.007	0.003	0.008	0.006	0.015	0.010	0.013	0.006	0.009	0.004	0.006	0.007	0.013	0.010	0.003
塩化水素(ppb)		0.09	0.02	0.03	0.06	0.07	0.09	0.09	0.11	0.09	0.11	0.10	0.09	0.07	0.09	0.08
水銀(ng/m^3)		2.2	1.7	2.2	1.9	2.0	2.4	2.2	2.1	2.5	2.2	1.7	1.7	2.0	2.1	2.1
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.032														

春季（平成29年）

項目		3/10(金)	3/11(土)	3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	3/19(日)	3/20(月)	3/21(火)	3/22(水)	3/23(木)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001
	最高値	0.002	0.002	0.003	0.003	0.000	0.000	0.004	0.001	0.005	0.004	0.005	0.003	0.001	0.003	0.005
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.013	0.013	0.012	0.020	0.014	0.012	0.015	0.012	0.016	0.041	0.036	0.017	0.012	0.018	0.018
	最高値	0.021	0.017	0.020	0.029	0.024	0.025	0.021	0.019	0.028	0.055	0.047	0.037	0.019	0.029	0.055
	最低値	0.005	0.008	0.007	0.009	0.004	0.002	0.007	0.007	0.009	0.025	0.025	0.006	0.002	0.008	0.002
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.017	0.011	0.008	0.017	0.012	0.010	0.023	0.012	0.019	0.015	0.010	0.013	0.007	0.018	0.014
	最高値	0.039	0.019	0.016	0.026	0.024	0.017	0.034	0.024	0.042	0.038	0.022	0.023	0.010	0.039	0.042
	最低値	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.006	0.012	0.006	0.006	0.006	0.005	0.008	0.004	0.006	0.004
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.020	0.012	0.009	0.020	0.014	0.012	0.030	0.014	0.020	0.015	0.010	0.014	0.008	0.021	0.016
	最高値	0.054	0.023	0.017	0.035	0.029	0.018	0.057	0.027	0.044	0.039	0.023	0.026	0.011	0.050	0.057
	最低値	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005	0.006	0.013	0.006	0.007	0.006	0.005	0.008	0.004	0.006	0.004
塩化水素(ppb)		0.16	0.05	0.14	0.09	0.04	N.D.	0.09	0.15	0.19	0.47	0.47	0.14	0.04	0.11	0.16
水銀(ng/m^3)		1.9	1.8	1.7	1.8	1.9	1.6	1.9	1.8	1.5	1.9	2.2	1.8	1.6	1.8	1.8
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.017														

注１）期間値は、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び窒素酸化物については全１時間値を平均した値であり、塩化水素及び水銀については全日平均値を平均した値である。

注２）ダイオキシン類は７日間値を示す。季節毎の測定期間は以下のとおりである。

夏季：7/20(水)～7/26(火)、秋季：10/12(水)～10/18(火)、冬季：1/16(月)～1/22(日)、春季：3/12(日)～3/18(土)

注３）塩化水素のN.D.は定量下限値未満を表しており、季節毎の定量下限値は以下のとおりである。期間値の算出の際、定量下限値未満の結果は定量下限値を用いた。

夏季：0.03ppb、秋季：0.04ppb、冬季：0.02ppb、春季：0.03ppb

表 8.1-1(5) 一般環境大気質測定結果（地点Ｅ 瑞江小学校）

夏季（平成28年）

項目		7/20(水)	7/21(木)	7/22(金)	7/23(土)	7/24(日)	7/25(月)	7/26(火)	7/27(水)	7/28(木)	7/29(金)	7/30(土)	7/31(日)	8/1(月)	8/2(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.004	0.002	0.002	0.002	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001
	最高値	0.004	0.001	0.000	0.001	0.001	0.004	0.011	0.004	0.008	0.006	0.003	0.001	0.002	0.002	0.011
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.020	0.013	0.013	0.013	0.014	0.018	0.026	0.017	0.016	0.013	0.016	0.018	0.016	0.016	0.016
	最高値	0.050	0.022	0.018	0.018	0.021	0.027	0.047	0.025	0.030	0.019	0.023	0.040	0.029	0.030	0.050
	最低値	0.006	0.006	0.007	0.007	0.007	0.010	0.015	0.012	0.008	0.008	0.009	0.008	0.008	0.006	0.006
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.008	0.008	0.006	0.004	0.004	0.008	0.017	0.012	0.012	0.011	0.007	0.004	0.005	0.010	0.008
	最高値	0.019	0.012	0.011	0.006	0.009	0.014	0.023	0.019	0.024	0.016	0.013	0.008	0.009	0.017	0.024
	最低値	0.005	0.002	0.003	0.002	0.001	0.003	0.009	0.006	0.006	0.006	0.004	0.001	0.002	0.005	0.001
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.008	0.008	0.006	0.004	0.004	0.008	0.023	0.014	0.015	0.014	0.009	0.004	0.006	0.013	0.010
	最高値	0.020	0.012	0.014	0.007	0.011	0.015	0.038	0.025	0.036	0.025	0.018	0.010	0.017	0.022	0.038
	最低値	0.005	0.002	0.004	0.002	0.001	0.003	0.009	0.007	0.008	0.006	0.004	0.001	0.003	0.005	0.001
塩化水素(ppb)		0.37	0.22	N.D.	0.11	0.15	0.12	0.18	0.08	0.15	0.15	0.29	0.31	0.07	0.09	0.17
水銀(ng/m^3)		2.4	2.9	2.1	1.9	2.1	2.1	2.4	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1	2.2	2.0	2.2
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.010														

秋季（平成28年）

項目		10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	10/19(水)	10/20(木)	10/21(金)	10/22(土)	10/23(日)	10/24(月)	10/25(火)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001
	最高値	0.007	0.004	0.001	0.002	0.002	0.001	0.000	0.002	0.002	0.004	0.001	0.001	0.006	0.003	0.007
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.017	0.014	0.013	0.022	0.022	0.029	0.018	0.017	0.023	0.020	0.025	0.020	0.012	0.022	0.019
	最高値	0.024	0.019	0.020	0.036	0.034	0.044	0.038	0.026	0.036	0.027	0.049	0.038	0.020	0.034	0.049
	最低値	0.013	0.004	0.005	0.008	0.009	0.017	0.007	0.007	0.017	0.011	0.011	0.006	0.005	0.009	0.004
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.018	0.010	0.015	0.022	0.019	0.030	0.014	0.010	0.020	0.013	0.020	0.008	0.011	0.035	0.018
	最高値	0.030	0.016	0.041	0.042	0.039	0.043	0.026	0.017	0.034	0.023	0.027	0.018	0.028	0.050	0.050
	最低値	0.010	0.005	0.003	0.006	0.004	0.022	0.004	0.003	0.005	0.004	0.013	0.003	0.005	0.013	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.023	0.010	0.018	0.029	0.022	0.039	0.020	0.011	0.024	0.013	0.022	0.009	0.012	0.045	0.021
	最高値	0.047	0.016	0.068	0.087	0.048	0.094	0.064	0.019	0.064	0.024	0.033	0.019	0.029	0.070	0.094
	最低値	0.011	0.005	0.004	0.006	0.005	0.023	0.005	0.004	0.005	0.004	0.013	0.004	0.005	0.013	0.004
塩化水素(ppb)		N.D.	0.14	0.14	0.05	0.13	0.09	N.D.	0.07	0.19	0.33	0.15	0.24	0.06	0.14	0.13
水銀(ng/m^3)		2.0	2.0	2.0	2.2	2.3	2.7	2.8	2.3	2.6	2.3	2.1	2.4	1.8	2.0	2.3
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.038														

冬季（平成29年）

項目		1/14(土)	1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	1/22(日)	1/23(月)	1/24(火)	1/25(水)	1/26(木)	1/27(金)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.000	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001
	最高値	0.001	0.003	0.005	0.003	0.007	0.002	0.001	0.002	0.003	0.006	0.004	0.004	0.004	0.002	0.007
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.014	0.007	0.010	0.009	0.015	0.018	0.034	0.014	0.025	0.009	0.007	0.009	0.018	0.023	0.015
	最高値	0.029	0.011	0.022	0.014	0.019	0.022	0.048	0.034	0.041	0.017	0.012	0.017	0.035	0.037	0.048
	最低値	0.003	0.003	0.003	0.004	0.009	0.013	0.023	0.005	0.011	0.006	0.003	0.006	0.008	0.014	0.003
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.021	0.009	0.022	0.021	0.029	0.025	0.030	0.014	0.025	0.010	0.015	0.018	0.033	0.029	0.022
	最高値	0.035	0.030	0.043	0.038	0.042	0.041	0.039	0.034	0.054	0.017	0.042	0.046	0.059	0.052	0.059
	最低値	0.009	0.003	0.007	0.008	0.012	0.010	0.013	0.006	0.010	0.004	0.007	0.006	0.013	0.010	0.003
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.031	0.010	0.041	0.024	0.040	0.029	0.035	0.016	0.029	0.011	0.018	0.022	0.051	0.045	0.029
	最高値	0.084	0.031	0.158	0.052	0.074	0.055	0.062	0.049	0.087	0.019	0.062	0.087	0.137	0.142	0.158
	最低値	0.010	0.004	0.009	0.008	0.014	0.011	0.013	0.007	0.010	0.004	0.008	0.007	0.013	0.012	0.004
塩化水素(ppb)		0.06	0.03	0.02	0.04	0.05	0.08	0.07	0.09	0.07	0.05	0.06	0.04	0.05	0.05	0.05
水銀(ng/m^3)		2.3	1.8	2.2	1.8	2.0	2.3	2.2	2.1	2.9	2.4	1.8	1.9	2.0	2.3	2.1
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.028														

春季（平成29年）

項目		3/10(金)	3/11(土)	3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	3/19(日)	3/20(月)	3/21(火)	3/22(水)	3/23(木)	期間値
二酸化硫黄 (ppm)	平均値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.002	0.002	0.001	0.000	0.001	0.001
	最高値	0.002	0.002	0.002	0.001	0.000	0.000	0.004	0.000	0.004	0.004	0.011	0.005	0.001	0.004	0.011
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.013	0.011	0.012	0.017	0.013	0.011	0.014	0.012	0.017	0.039	0.033	0.014	0.015	0.016	0.017
	最高値	0.029	0.033	0.032	0.041	0.021	0.026	0.034	0.030	0.032	0.073	0.059	0.032	0.040	0.026	0.073
	最低値	0.005	0.005	0.004	0.007	0.003	0.003	0.006	0.004	0.007	0.016	0.015	0.002	0.003	0.007	0.002
二酸化窒素 (ppm)	平均値	0.018	0.011	0.008	0.017	0.013	0.010	0.026	0.013	0.021	0.015	0.011	0.013	0.009	0.020	0.015
	最高値	0.044	0.025	0.012	0.030	0.027	0.018	0.036	0.023	0.042	0.040	0.025	0.021	0.012	0.045	0.045
	最低値	0.007	0.006	0.006	0.006	0.005	0.006	0.014	0.007	0.008	0.008	0.005	0.008	0.005	0.007	0.005
窒素酸化物 (ppm)	平均値	0.021	0.012	0.009	0.018	0.015	0.010	0.034	0.014	0.023	0.016	0.012	0.014	0.010	0.024	0.017
	最高値	0.062	0.030	0.013	0.034	0.033	0.019	0.074	0.024	0.048	0.042	0.026	0.023	0.014	0.079	0.079
	最低値	0.008	0.007	0.006	0.006	0.005	0.006	0.014	0.007	0.009	0.008	0.005	0.009	0.005	0.007	0.005
塩化水素(ppb)		0.10	0.05	0.07	0.11	0.04	N.D.	N.D.	0.13	0.10	0.21	0.27	0.17	N.D.	0.04	0.10
水銀(ng/m^3)		2.5	2.0	1.9	2.1	2.1	1.8	1.9	2.1	1.9	2.3	2.4	2.0	1.8	1.9	2.1
ダイオキシン類($pg\text{-}TEQ/m^3$)		0.017														

注１）期間値は、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び窒素酸化物については全１時間値を平均した値であり、塩化水素及び水銀については全日平均値を平均した値である。

注２）ダイオキシン類は７日間値を示す。季節毎の測定期間は以下のとおりである。

夏季：7/20(水)～7/26(火)、秋季：10/12(水)～10/18(火)、冬季：1/16(月)～1/22(日)、春季：3/12(日)～3/18(土)

注３）塩化水素の N.D.は定量下限値未満を表しており、季節毎の定量下限値は以下のとおりである。期間値の算出の際、定量下限値未満の結果は定量下限値を用いた。

夏季：0.03ppb、秋季：0.04ppb、冬季：0.02ppb、春季：0.03ppb

表 8.1-2(1)　道路沿道大気質測定結果（地点１　江戸川小学校前）

秋季（平成28年）									
項目		10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.018	0.014	0.015	0.021	0.022	0.031	0.020	0.020
	最高値	0.032	0.023	0.028	0.035	0.037	0.054	0.042	0.054
	最低値	0.004	0.005	0.004	0.008	0.008	0.009	0.010	0.004
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.019	0.012	0.018	0.022	0.019	0.033	0.017	0.020
	最高値	0.031	0.019	0.041	0.042	0.039	0.046	0.029	0.046
	最低値	0.012	0.007	0.006	0.009	0.006	0.024	0.008	0.006
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.024	0.013	0.021	0.029	0.021	0.040	0.022	0.024
	最高値	0.044	0.019	0.068	0.068	0.052	0.097	0.061	0.097
	最低値	0.014	0.008	0.007	0.011	0.007	0.025	0.008	0.007
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.015	0.016	0.016	0.025	0.021	0.024	0.031	0.021
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.021	0.020	0.019	0.036	0.024	0.027	0.044	0.027

冬季（平成29年）									
項目		1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.002	0.007	0.003	0.009	0.010	0.031	0.005	0.010
	最高値	0.007	0.026	0.013	0.021	0.036	0.057	0.023	0.057
	最低値	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.007	0.000	0.000
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.010	0.021	0.018	0.032	0.024	0.030	0.013	0.021
	最高値	0.037	0.041	0.041	0.051	0.044	0.042	0.032	0.051
	最低値	0.003	0.005	0.006	0.013	0.008	0.014	0.005	0.003
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.011	0.040	0.021	0.042	0.028	0.034	0.014	0.027
	最高値	0.046	0.133	0.055	0.070	0.056	0.053	0.033	0.133
	最低値	0.004	0.006	0.007	0.019	0.009	0.014	0.006	0.004
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.011	0.029	0.016	0.030	0.038	0.026	0.028	0.025
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.016	0.049	0.020	0.041	0.053	0.032	0.034	0.035

春季（平成29年）									
項目		3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.009	0.016	0.014	0.006	0.012	0.004	0.013	0.011
	最高値	0.024	0.030	0.028	0.024	0.031	0.021	0.048	0.048
	最低値	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	0.000
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.008	0.015	0.012	0.010	0.024	0.012	0.020	0.014
	最高値	0.012	0.027	0.023	0.016	0.039	0.023	0.045	0.045
	最低値	0.005	0.005	0.005	0.006	0.013	0.006	0.005	0.005
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.009	0.017	0.013	0.010	0.032	0.013	0.022	0.017
	最高値	0.013	0.029	0.025	0.016	0.089	0.025	0.050	0.089
	最低値	0.005	0.005	0.005	0.006	0.013	0.006	0.006	0.005
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.009	0.012	0.016	0.010	0.019	0.020	0.014	0.014
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.012	0.015	0.020	0.012	0.028	0.030	0.019	0.019

夏季（平成29年）									
項目		8/3(木)	8/4(金)	8/5(土)	8/6(日)	8/7(月)	8/8(火)	8/9(水)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.012	0.015	0.019	0.026	0.025	0.030	0.030	0.022
	最高値	0.021	0.025	0.036	0.045	0.040	0.055	0.057	0.057
	最低値	0.004	0.005	0.000	0.009	0.016	0.012	0.014	0.000
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.009	0.010	0.011	0.008	0.007	0.010	0.013	0.010
	最高値	0.014	0.015	0.022	0.014	0.009	0.021	0.019	0.022
	最低値	0.005	0.006	0.004	0.005	0.004	0.004	0.006	0.004
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.011	0.013	0.012	0.010	0.010	0.011	0.014	0.012
	最高値	0.018	0.019	0.023	0.020	0.020	0.022	0.022	0.023
	最低値	0.006	0.006	0.004	0.006	0.005	0.004	0.006	0.004
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.007	0.011	0.010	0.013	0.008	0.008	0.013	0.010
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.009	0.015	0.017	0.017	0.012	0.013	0.016	0.014

注）期間値は、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び窒素酸化物（公定法）については全１時間値を平均した値であり、二酸化窒素及び窒素酸化物（簡易法）については全日平均値を平均した値である。

表 8.1-2(2) 道路沿道大気質測定結果（地点２ そよかぜひろば前）

秋季（平成28年）									
項目		10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.017	0.012	0.013	0.023	0.023	0.037	0.021	0.021
	最高値	0.028	0.020	0.028	0.043	0.042	0.065	0.047	0.065
	最低値	0.007	0.006	0.002	0.004	0.011	0.013	0.004	0.002
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.019	0.011	0.017	0.023	0.019	0.031	0.015	0.019
	最高値	0.032	0.017	0.043	0.043	0.039	0.045	0.028	0.045
	最低値	0.013	0.006	0.005	0.009	0.006	0.023	0.005	0.005
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.025	0.012	0.020	0.031	0.021	0.039	0.021	0.024
	最高値	0.047	0.018	0.060	0.075	0.048	0.103	0.067	0.103
	最低値	0.014	0.007	0.006	0.011	0.007	0.024	0.007	0.006
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.016	0.017	0.016	0.027	0.022	0.028	0.030	0.022
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.024	0.023	0.022	0.040	0.025	0.036	0.041	0.030

冬季（平成29年）									
項目		1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.003	0.005	0.003	0.011	0.007	0.031	0.006	0.009
	最高値	0.014	0.014	0.019	0.021	0.015	0.057	0.037	0.057
	最低値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.011	0.000	0.000
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.010	0.022	0.018	0.030	0.025	0.029	0.013	0.021
	最高値	0.035	0.044	0.041	0.047	0.042	0.039	0.032	0.047
	最低値	0.003	0.006	0.007	0.013	0.009	0.014	0.005	0.003
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.012	0.040	0.022	0.041	0.029	0.034	0.015	0.028
	最高値	0.039	0.139	0.050	0.066	0.068	0.054	0.034	0.139
	最低値	0.004	0.008	0.007	0.020	0.011	0.014	0.006	0.004
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.012	0.033	0.017	0.030	0.042	0.028	0.027	0.027
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.016	0.055	0.023	0.046	0.058	0.037	0.034	0.038

春季（平成29年）									
項目		3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.009	0.018	0.013	0.008	0.012	0.007	0.011	0.011
	最高値	0.020	0.028	0.034	0.026	0.024	0.014	0.031	0.034
	最低値	0.001	0.006	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.008	0.016	0.012	0.010	0.025	0.012	0.020	0.015
	最高値	0.014	0.029	0.022	0.018	0.042	0.029	0.045	0.045
	最低値	0.005	0.006	0.005	0.006	0.014	0.006	0.006	0.005
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.009	0.019	0.014	0.012	0.035	0.015	0.022	0.018
	最高値	0.016	0.033	0.027	0.021	0.093	0.037	0.051	0.093
	最低値	0.005	0.006	0.005	0.006	0.014	0.006	0.007	0.005
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.009	0.014	0.017	0.011	0.022	0.020	0.015	0.015
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.014	0.019	0.023	0.016	0.038	0.031	0.023	0.023

夏季（平成29年）									
項目		8/3(木)	8/4(金)	8/5(土)	8/6(日)	8/7(月)	8/8(火)	8/9(水)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.013	0.019	0.025	0.035	0.030	0.037	0.036	0.028
	最高値	0.026	0.033	0.040	0.059	0.055	0.071	0.075	0.075
	最低値	0.002	0.004	0.006	0.017	0.018	0.016	0.016	0.002
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.009	0.010	0.012	0.008	0.007	0.009	0.013	0.010
	最高値	0.015	0.014	0.025	0.014	0.009	0.021	0.021	0.025
	最低値	0.005	0.006	0.003	0.005	0.004	0.003	0.006	0.003
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.012	0.013	0.015	0.010	0.010	0.011	0.016	0.012
	最高値	0.020	0.021	0.029	0.022	0.021	0.023	0.027	0.029
	最低値	0.005	0.006	0.003	0.006	0.005	0.003	0.007	0.003
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.007	0.011	0.011	0.014	0.008	0.007	0.014	0.010
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.011	0.017	0.016	0.019	0.014	0.012	0.021	0.016

注）期間値は、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び窒素酸化物（公定法）については全１時間値を平均した値であり、二酸化窒素及び窒素酸化物（簡易法）については全日平均値を平均した値である。

表 8.1-2(3)　道路沿道大気質測定結果（地点３　下鎌田東小学校前）

秋季（平成28年）									
項目		10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.015	0.012	0.013	0.021	0.020	0.035	0.019	0.019
	最高値	0.025	0.024	0.027	0.040	0.035	0.055	0.044	0.055
	最低値	0.004	0.005	0.001	0.005	0.008	0.016	0.007	0.001
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.022	0.012	0.018	0.024	0.020	0.033	0.016	0.021
	最高値	0.036	0.019	0.040	0.041	0.040	0.048	0.029	0.048
	最低値	0.015	0.007	0.006	0.009	0.006	0.025	0.007	0.006
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.028	0.014	0.023	0.032	0.023	0.045	0.023	0.027
	最高値	0.053	0.023	0.066	0.073	0.053	0.111	0.081	0.111
	最低値	0.018	0.008	0.007	0.010	0.007	0.027	0.008	0.007
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.015	0.018	0.015	0.025	0.021	0.026	0.030	0.021
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.023	0.024	0.020	0.039	0.024	0.033	0.042	0.029

冬季（平成29年）									
項目		1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.003	0.006	0.002	0.011	0.013	0.032	0.007	0.011
	最高値	0.010	0.015	0.007	0.027	0.019	0.057	0.029	0.057
	最低値	0.001	0.001	0.000	0.001	0.003	0.013	0.000	0.000
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.011	0.023	0.020	0.030	0.025	0.029	0.013	0.022
	最高値	0.037	0.042	0.040	0.047	0.042	0.040	0.039	0.047
	最低値	0.003	0.008	0.007	0.013	0.010	0.014	0.006	0.003
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.013	0.044	0.026	0.045	0.031	0.036	0.016	0.030
	最高値	0.055	0.153	0.064	0.102	0.059	0.056	0.054	0.153
	最低値	0.004	0.011	0.007	0.018	0.011	0.015	0.006	0.004
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.013	0.031	0.018	0.032	0.039	0.028	0.026	0.027
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.018	0.054	0.023	0.046	0.059	0.036	0.035	0.039

春季（平成29年）									
項目		3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.010	0.018	0.016	0.010	0.013	0.010	0.014	0.013
	最高値	0.025	0.028	0.033	0.032	0.031	0.030	0.029	0.033
	最低値	0.000	0.007	0.001	0.000	0.002	0.001	0.001	0.000
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.009	0.017	0.013	0.011	0.024	0.013	0.020	0.015
	最高値	0.014	0.033	0.024	0.018	0.037	0.030	0.045	0.045
	最低値	0.005	0.006	0.005	0.006	0.014	0.007	0.006	0.005
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.011	0.020	0.015	0.012	0.036	0.015	0.023	0.019
	最高値	0.018	0.039	0.030	0.019	0.101	0.036	0.055	0.101
	最低値	0.005	0.006	0.005	0.006	0.014	0.007	0.007	0.005
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.010	0.014	0.017	0.013	0.022	0.020	0.015	0.016
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.014	0.019	0.024	0.016	0.036	0.032	0.022	0.023

夏季（平成29年）									
項目		8/3(木)	8/4(金)	8/5(土)	8/6(日)	8/7(月)	8/8(火)	8/9(水)	期間値
浮遊粒子状物質 (mg/m^3)	平均値	0.013	0.018	0.025	0.030	0.030	0.039	0.035	0.027
	最高値	0.023	0.031	0.038	0.056	0.046	0.070	0.073	0.073
	最低値	0.004	0.003	0.008	0.018	0.006	0.018	0.010	0.003
二酸化窒素(公定法) (ppm)	平均値	0.009	0.011	0.012	0.009	0.008	0.011	0.015	0.011
	最高値	0.015	0.018	0.027	0.015	0.014	0.025	0.026	0.027
	最低値	0.005	0.005	0.003	0.005	0.004	0.004	0.007	0.003
窒素酸化物(公定法) (ppm)	平均値	0.012	0.015	0.015	0.012	0.013	0.013	0.018	0.014
	最高値	0.024	0.026	0.031	0.021	0.022	0.029	0.031	0.031
	最低値	0.006	0.006	0.004	0.006	0.006	0.004	0.008	0.004
二酸化窒素(簡易法)(ppm)		0.007	0.011	0.011	0.013	0.009	0.008	0.014	0.010
窒素酸化物(簡易法)(ppm)		0.010	0.018	0.019	0.019	0.016	0.016	0.022	0.017

注）期間値は、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び窒素酸化物（公定法）については全１時間値を平均した値であり、二酸化窒素及び窒素酸化物（簡易法）については全日平均値を平均した値である。

表 8.1-2(4) 道路沿道大気質測定結果（地点４ 篠崎街道）

秋季（平成28年）								
項目	10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	期間値
二酸化窒素(簡易法)(ppm)	0.022	0.022	0.021	0.032	0.024	0.036	0.031	0.027
窒素酸化物(簡易法)(ppm)	0.050	0.042	0.046	0.069	0.039	0.066	0.061	0.053
冬季（平成29年）								
項目	1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	期間値
二酸化窒素(簡易法)(ppm)	0.013	0.036	0.022	0.038	0.046	0.037	0.027	0.031
窒素酸化物(簡易法)(ppm)	0.023	0.081	0.042	0.072	0.087	0.062	0.045	0.059
春季（平成29年）								
項目	3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	期間値
二酸化窒素(簡易法)(ppm)	0.013	0.018	0.021	0.015	0.033	0.023	0.019	0.020
窒素酸化物(簡易法)(ppm)	0.026	0.035	0.040	0.028	0.073	0.045	0.038	0.041
夏季（平成29年）								
項目	8/3(木)	8/4(金)	8/5(土)	8/6(日)	8/7(月)	8/8(火)	8/9(水)	期間値
二酸化窒素(簡易法)(ppm)	0.011	0.014	0.013	0.017	0.009	0.009	0.020	0.013
窒素酸化物(簡易法)(ppm)	0.027	0.032	0.029	0.030	0.021	0.020	0.035	0.028

注）期間値は、全日平均値を平均した値である。

表 8.1-2(5) 道路沿道大気質測定結果（地点５ 柴又街道）

秋季（平成28年）								
項目	10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)	10/15(土)	10/16(日)	10/17(月)	10/18(火)	期間値
二酸化窒素(簡易法)(ppm)	0.016	0.016	0.016	0.026	0.021	0.029	0.029	0.022
窒素酸化物(簡易法)(ppm)	0.025	0.021	0.021	0.039	0.024	0.040	0.038	0.030
冬季（平成29年）								
項目	1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)	期間値
二酸化窒素(簡易法)(ppm)	0.011	0.033	0.019	0.033	0.041	0.032	0.026	0.028
窒素酸化物(簡易法)(ppm)	0.014	0.060	0.028	0.049	0.061	0.042	0.033	0.041
春季（平成29年）								
項目	3/12(日)	3/13(月)	3/14(火)	3/15(水)	3/16(木)	3/17(金)	3/18(土)	期間値
二酸化窒素(簡易法)(ppm)	0.009	0.014	0.017	0.011	0.024	0.020	0.015	0.016
窒素酸化物(簡易法)(ppm)	0.013	0.021	0.023	0.015	0.042	0.028	0.022	0.023
夏季（平成29年）								
項目	8/3(木)	8/4(金)	8/5(土)	8/6(日)	8/7(月)	8/8(火)	8/9(水)	期間値
二酸化窒素(簡易法)(ppm)	0.007	0.010	0.010	0.013	0.008	0.009	0.014	0.010
窒素酸化物(簡易法)(ppm)	0.011	0.015	0.015	0.016	0.013	0.013	0.019	0.015

注）期間値は、全日平均値を平均した値である。

ウ　公定法と簡易法の比較

二酸化窒素について、公定法と簡易法の比較を行った。

江戸川小学校前（地点１）、そよかぜひろば前（地点２）及び下鎌田東小学校前（地点３）における二酸化窒素の公定法と簡易法の相関関係（季節別）は、表 8.1-3(1)、(2)及び図 8.1-1に示すとおりであり、高い相関（r=0.97～0.98）が得られた。

表 8.1-3(1) 公定法と簡易法の相関関係（秋季及び冬季）

調査地点		調査時期		現地調査結果（ppm）		相関係数（r）
				公定法	簡易法	
1	江戸川小学校前	秋季（平成 28 年）	10 月 12 日	0.013	0.015	0.98
			10 月 13 日	0.015	0.016	
			10 月 14 日	0.014	0.016	
			10 月 15 日	0.023	0.025	
			10 月 16 日	0.019	0.021	
			10 月 17 日	0.022	0.024	
			10 月 18 日	0.030	0.031	
2	そよかぜひろば前		10 月 12 日	0.015	0.016	
			10 月 13 日	0.014	0.017	
			10 月 14 日	0.013	0.016	
			10 月 15 日	0.023	0.027	
			10 月 16 日	0.018	0.022	
			10 月 17 日	0.025	0.028	
			10 月 18 日	0.026	0.030	
3	下鎌田東小学校前		10 月 12 日	0.015	0.015	
			10 月 13 日	0.017	0.018	
			10 月 14 日	0.015	0.015	
			10 月 15 日	0.024	0.025	
			10 月 16 日	0.020	0.021	
			10 月 17 日	0.025	0.026	
			10 月 18 日	0.029	0.030	
1	江戸川小学校前	冬季（平成 29 年）	1 月 15 日	0.010	0.011	0.98
			1 月 16 日	0.022	0.029	
			1 月 17 日	0.013	0.016	
			1 月 18 日	0.024	0.030	
			1 月 19 日	0.033	0.038	
			1 月 20 日	0.021	0.026	
			1 月 21 日	0.024	0.028	
2	そよかぜひろば前		1 月 15 日	0.009	0.012	
			1 月 16 日	0.024	0.033	
			1 月 17 日	0.014	0.017	
			1 月 18 日	0.024	0.030	
			1 月 19 日	0.032	0.042	
			1 月 20 日	0.023	0.028	
			1 月 21 日	0.021	0.027	
3	下鎌田東小学校前		1 月 15 日	0.010	0.013	
			1 月 16 日	0.023	0.031	
			1 月 17 日	0.014	0.018	
			1 月 18 日	0.025	0.032	
			1 月 19 日	0.033	0.039	
			1 月 20 日	0.023	0.028	
			1 月 21 日	0.022	0.026	

注）公定法の測定結果は、簡易法の測定日時に対応する 1 時間値の平均値を示す。

表 8.1-3(2)　公定法と簡易法の相関関係（春季及び夏季）

調査地点		調査時期		現地調査結果（ppm）		相関係数（r）
				公定法	簡易法	
1	江戸川小学校前	春季（平成 29 年）	3 月 12 日	0.009	0.009	0.97
			3 月 13 日	0.011	0.012	
			3 月 14 日	0.015	0.016	
			3 月 15 日	0.010	0.010	
			3 月 16 日	0.017	0.019	
			3 月 17 日	0.019	0.020	
			3 月 18 日	0.014	0.014	
2	そよかぜひろば前		3 月 12 日	0.009	0.009	
			3 月 13 日	0.012	0.014	
			3 月 14 日	0.015	0.017	
			3 月 15 日	0.009	0.011	
			3 月 16 日	0.020	0.022	
			3 月 17 日	0.019	0.020	
			3 月 18 日	0.014	0.015	
3	下鎌田東小学校前		3 月 12 日	0.010	0.010	
			3 月 13 日	0.013	0.014	
			3 月 14 日	0.016	0.017	
			3 月 15 日	0.010	0.013	
			3 月 16 日	0.019	0.022	
			3 月 17 日	0.020	0.020	
			3 月 18 日	0.014	0.015	
1	江戸川小学校前	夏季（平成 29 年）	8 月 3 日	0.006	0.007	0.98
			8 月 4 日	0.010	0.011	
			8 月 5 日	0.009	0.010	
			8 月 6 日	0.012	0.013	
			8 月 7 日	0.007	0.008	
			8 月 8 日	0.007	0.008	
			8 月 9 日	0.012	0.013	
2	そよかぜひろば前		8 月 3 日	0.006	0.007	
			8 月 4 日	0.010	0.011	
			8 月 5 日	0.010	0.011	
			8 月 6 日	0.012	0.014	
			8 月 7 日	0.007	0.008	
			8 月 8 日	0.006	0.007	
			8 月 9 日	0.013	0.014	
3	下鎌田東小学校前		8 月 3 日	0.006	0.007	
			8 月 4 日	0.010	0.011	
			8 月 5 日	0.011	0.011	
			8 月 6 日	0.013	0.013	
			8 月 7 日	0.009	0.009	
			8 月 8 日	0.008	0.008	
			8 月 9 日	0.014	0.014	

注）公定法の測定結果は、簡易法の測定日時に対応する 1 時間値の平均値を示す。

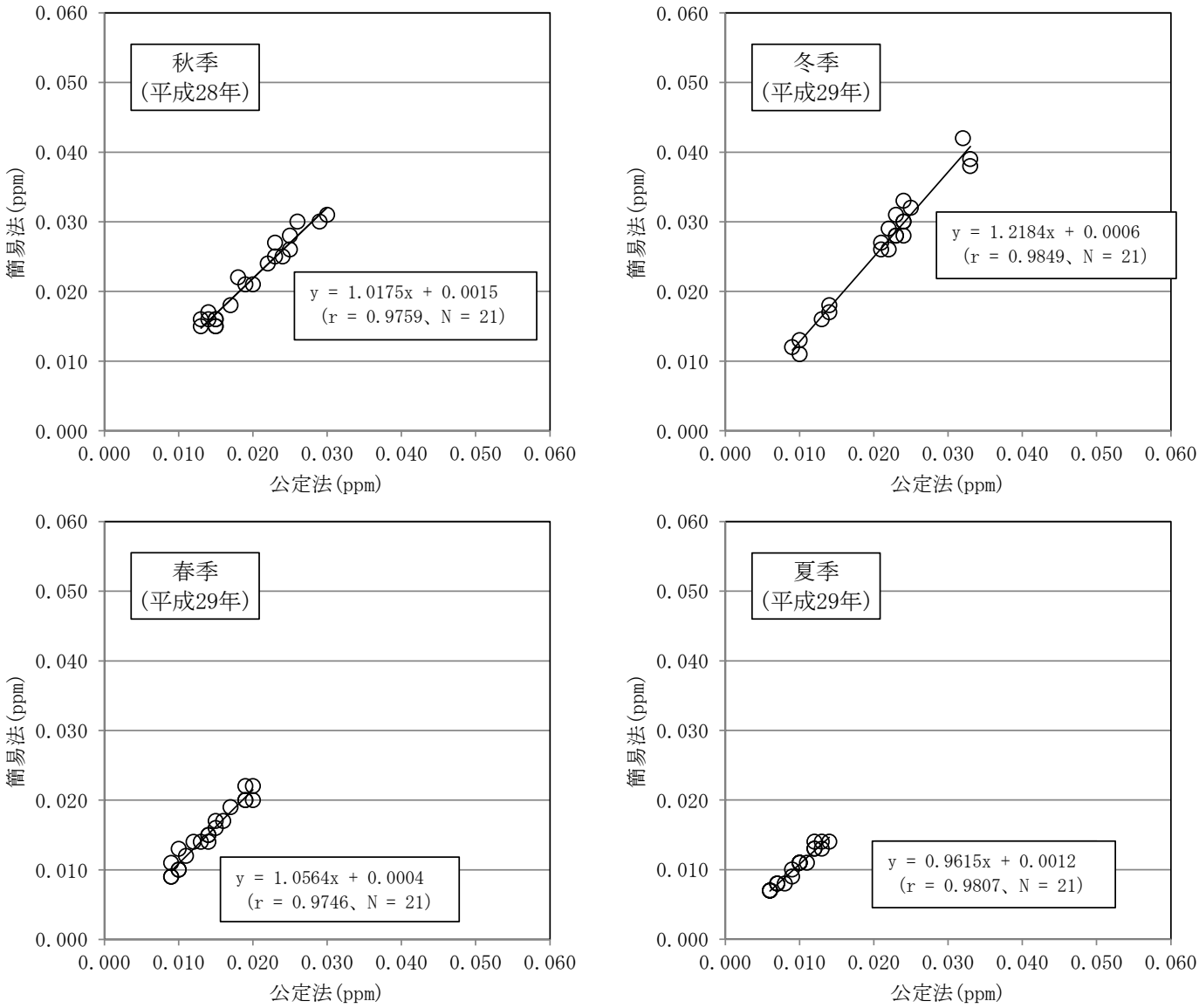


図 8.1-1　公定法と簡易法の相関関係

（2） 気象の状況

ア　地上気象

季節別の気象の状況は、表 8.1-4(1)～(4)に示すとおりである。

表 8.1-4(1)　季節別最多風向

観測地点	項目	夏季	秋季	冬季	春季	四季
江戸川清掃工場	最多風向	南	北北西	北西	南	北北西
	最多出現頻度（%）	20.6	19.1	26.3	22.3	14.4
	calm 出現頻度（%）	0.5	0.9	0.5	0.5	0.6

注 1）四季については、全期間中の最多風向を示す。
注 2）calm とは、風速 0.4m/s 以下である。

表 8.1-4(2)　季節別平均風速

単位：m/s

観測地点	夏季	秋季	冬季	春季	四季
江戸川清掃工場	3.8	3.2	3.8	4.0	3.7

注）四季の値は各季節の値を平均した値である。

表 8.1-4(3)　季節別平均気温

単位：℃

観測地点	夏季	秋季	冬季	春季	四季
江戸川清掃工場	25.1	18.4	7.2	14.3	16.3

注）四季の値は各季節の値を平均した値である。

表 8.1-4(4)　季節別平均湿度

単位：%

観測地点	夏季	秋季	冬季	春季	四季
江戸川清掃工場	76	73	52	66	67

注）四季の値は各季節の値を平均した値である。

イ　高層気象

季節別の高層気象の気温鉛直分布は、図 8.1-2(1)～(8)に示すとおりである。

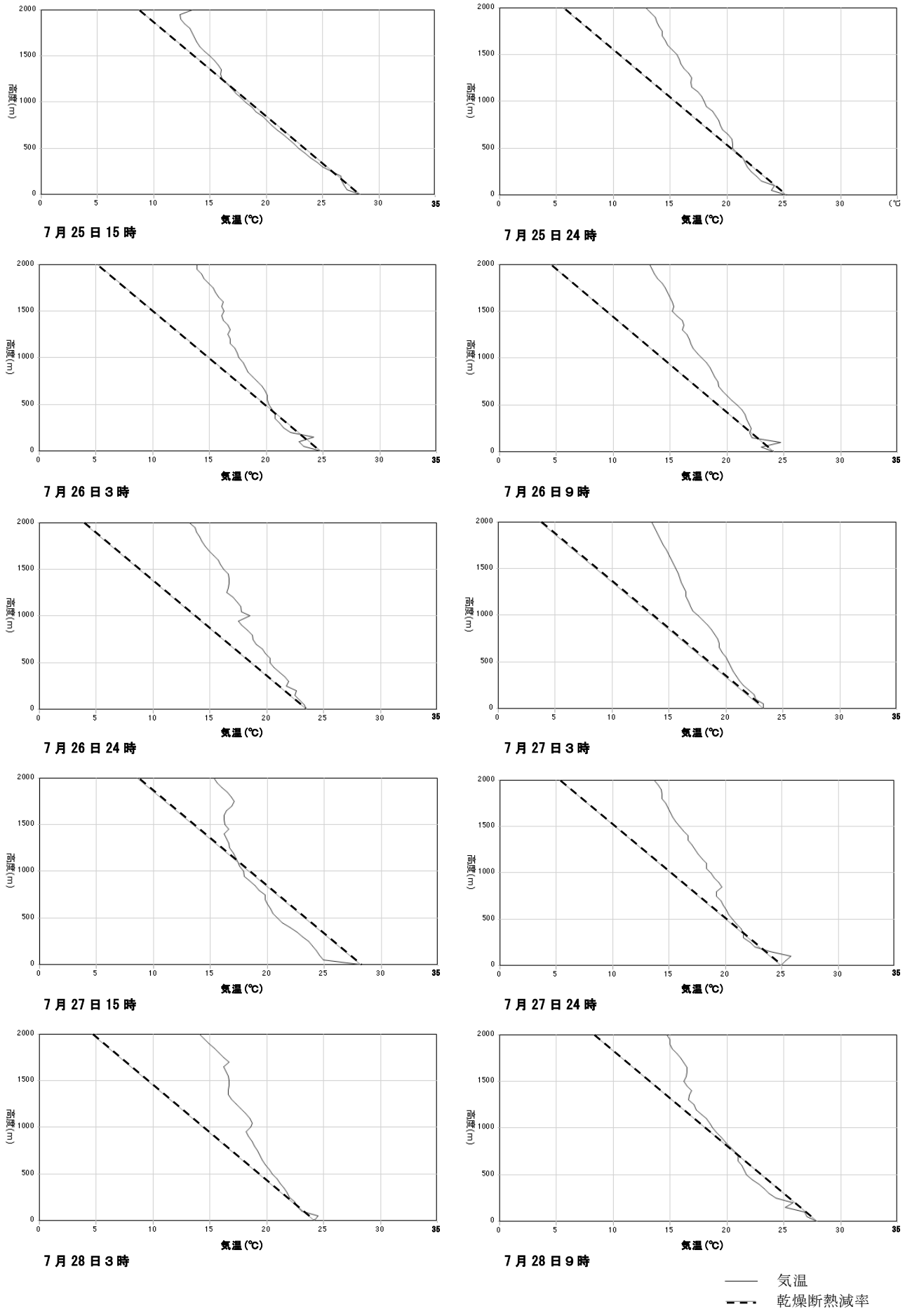


図 8.1-2(1)　気温の鉛直分布（夏季調査）

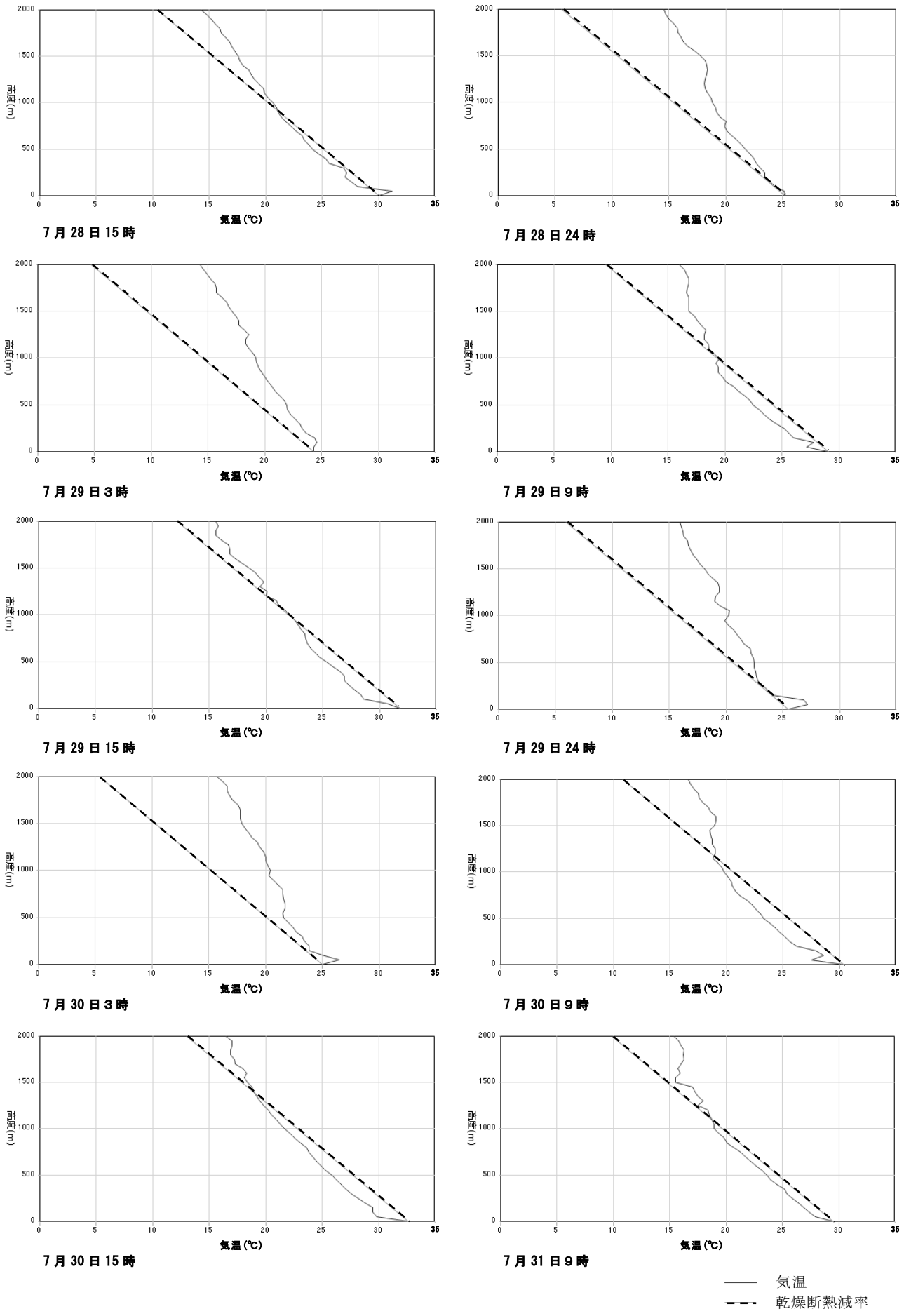


図 8.1-2(2)　気温の鉛直分布（夏季調査）

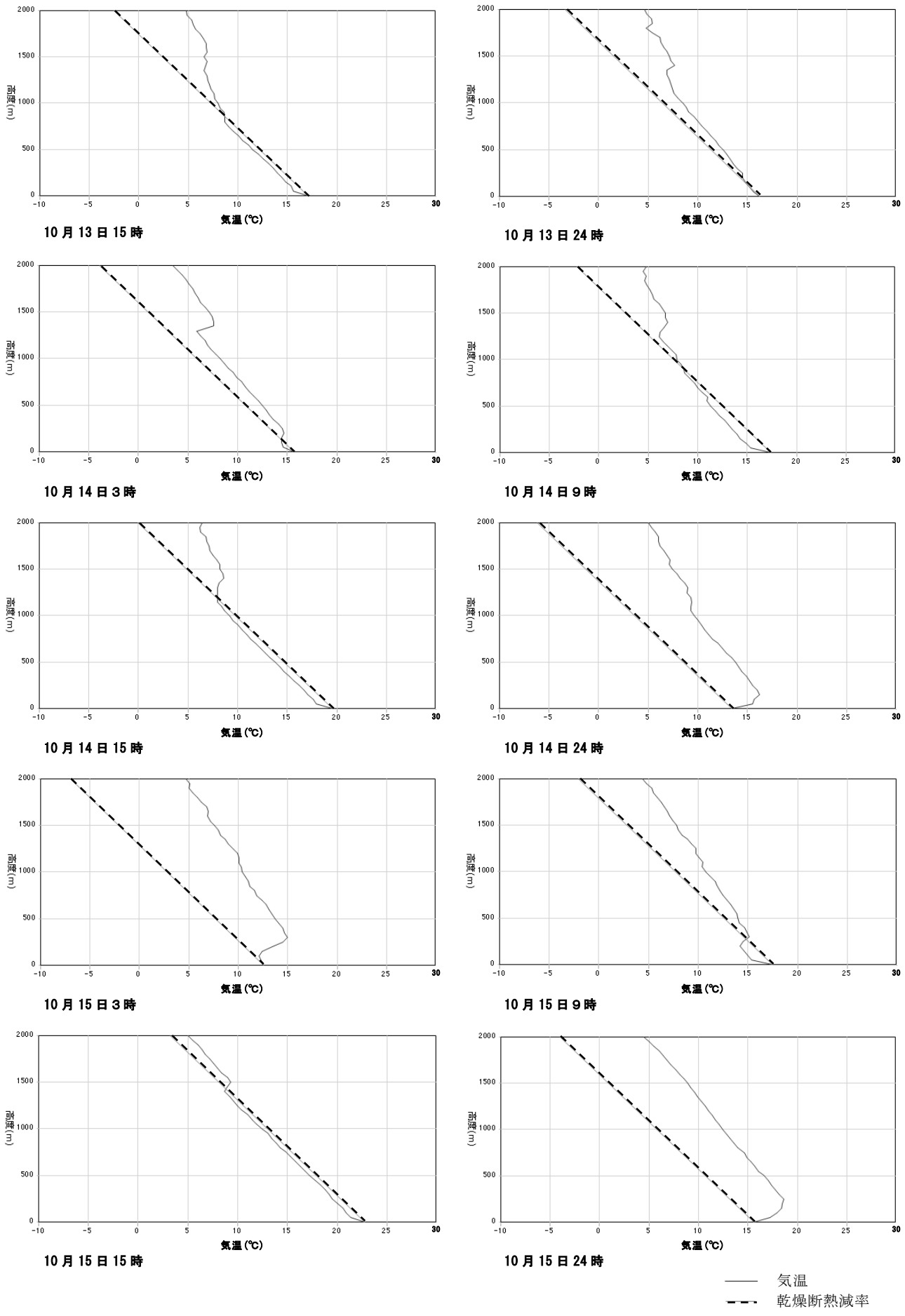


図 8.1-2(3)　気温の鉛直分布（秋季調査）

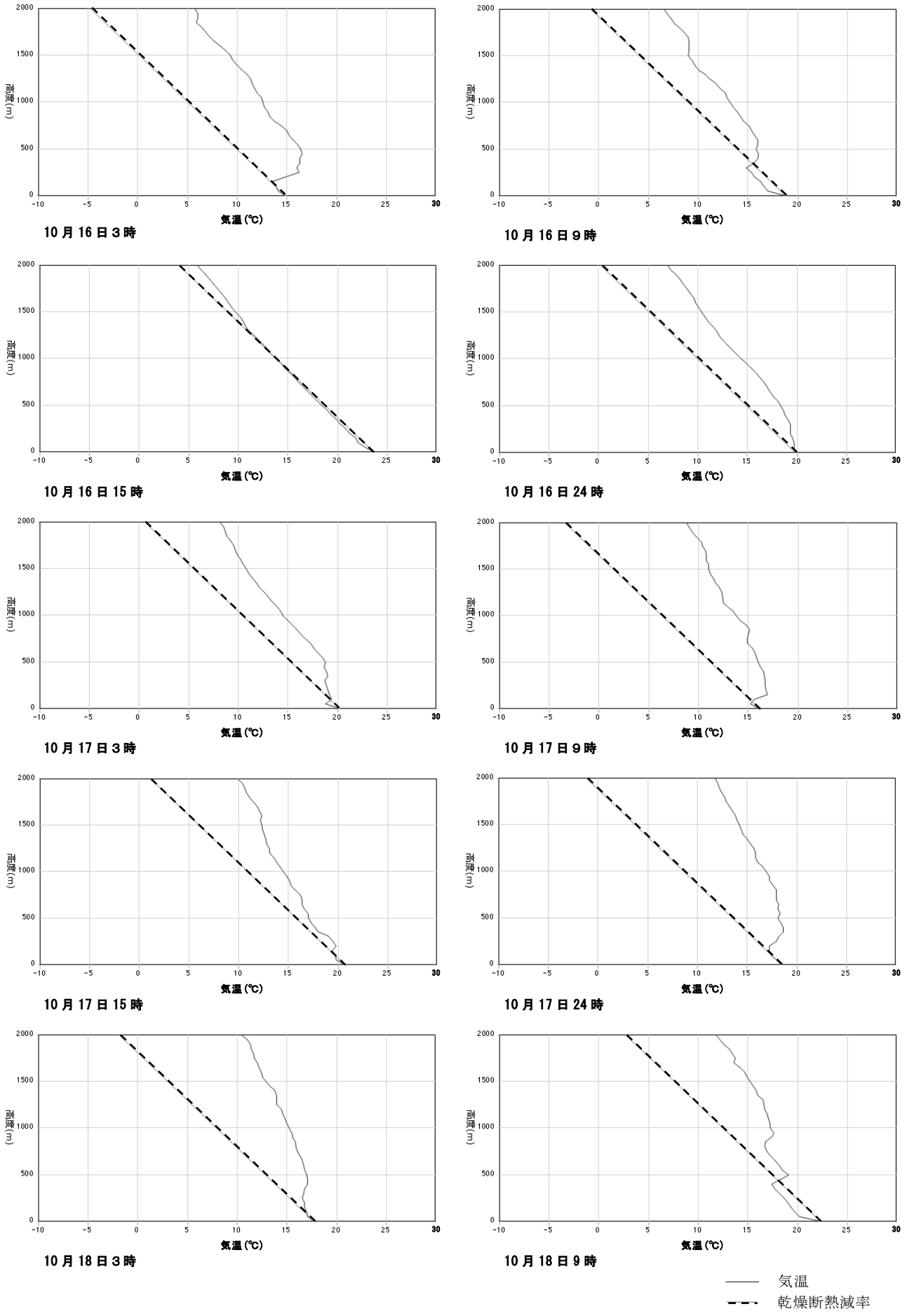


図 8.1-2(4)　気温の鉛直分布（秋季調査）

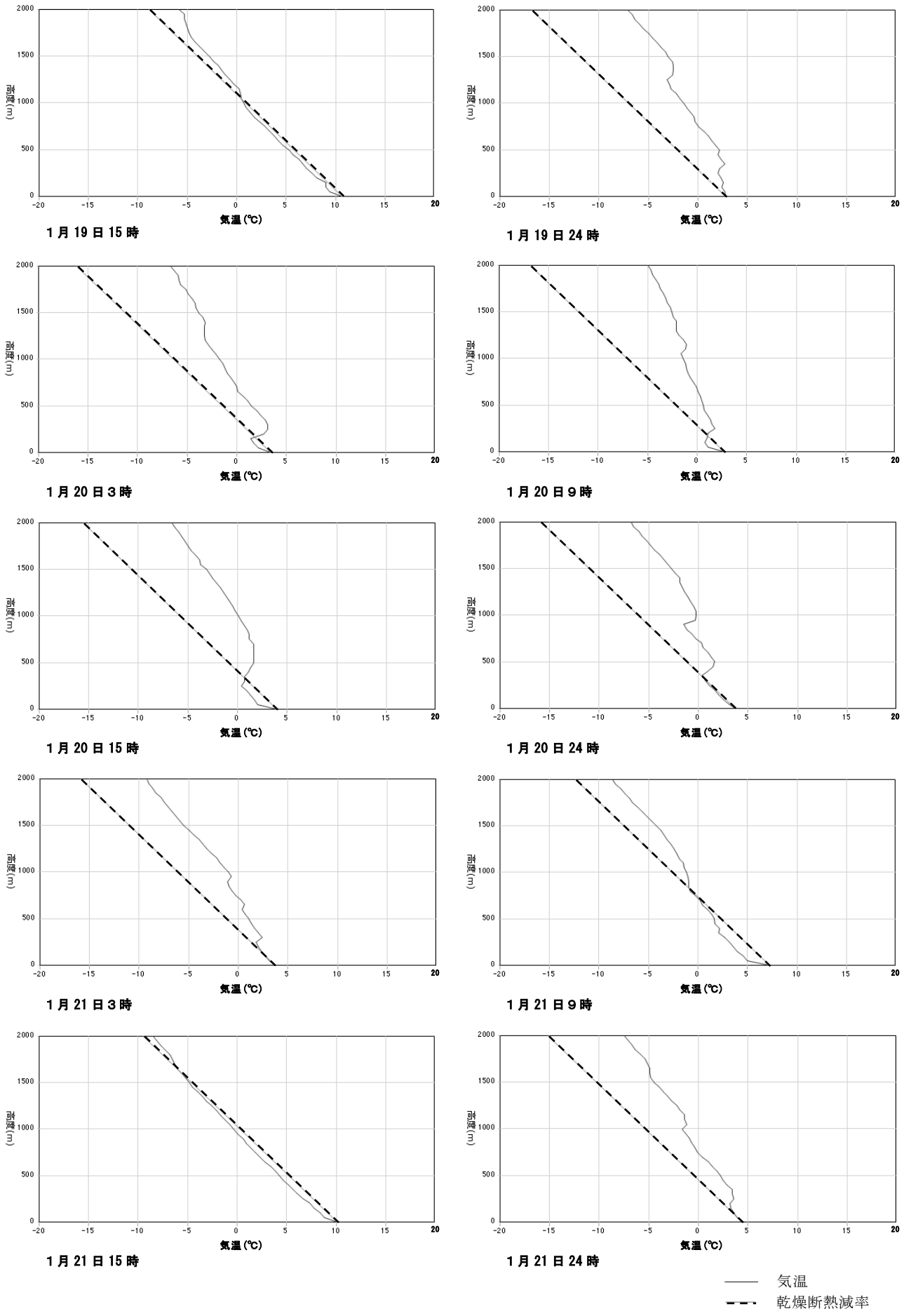


図 8.1-2(5)　気温の鉛直分布（冬季調査）

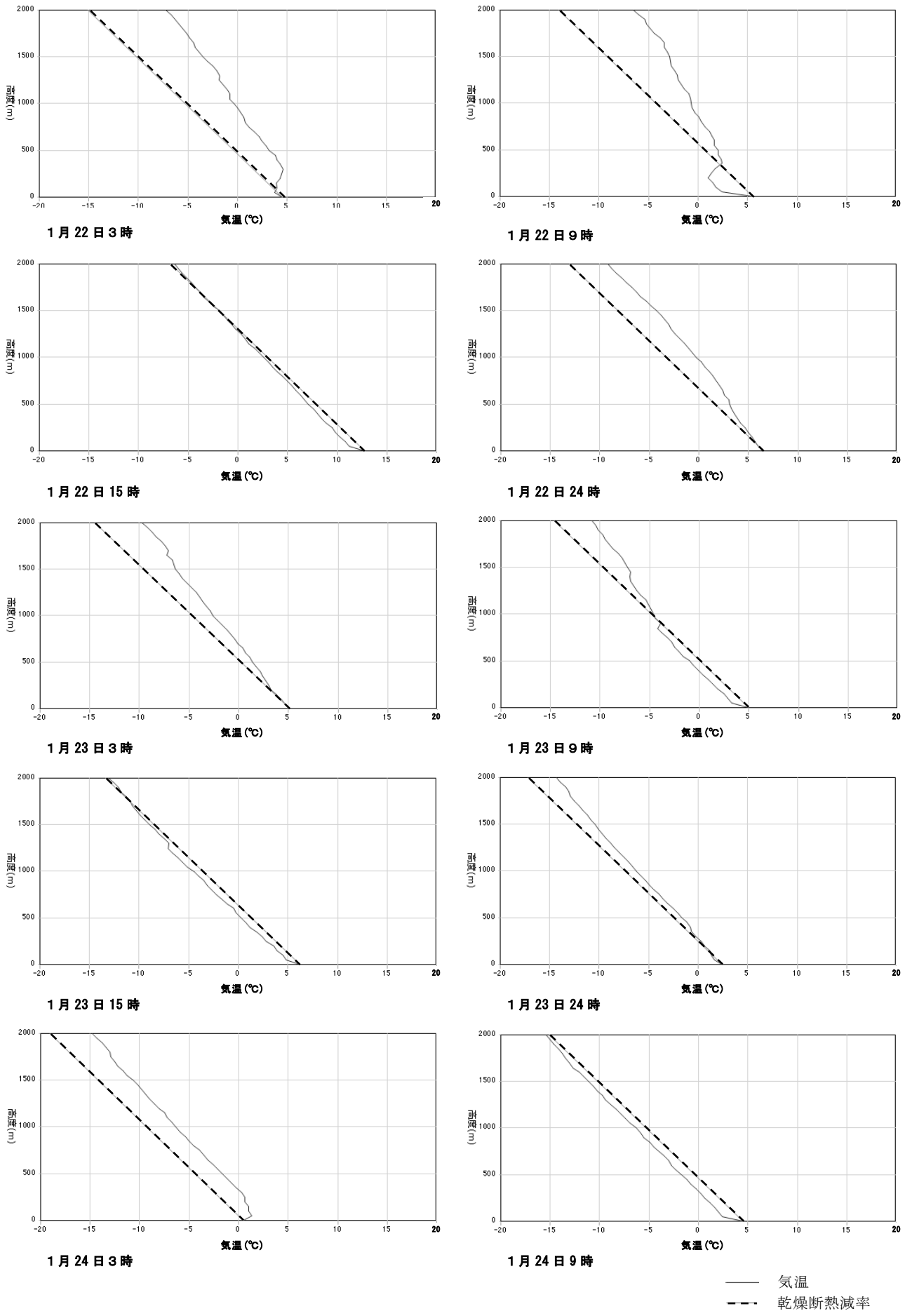


図 8.1-2(6)　気温の鉛直分布（冬季調査）

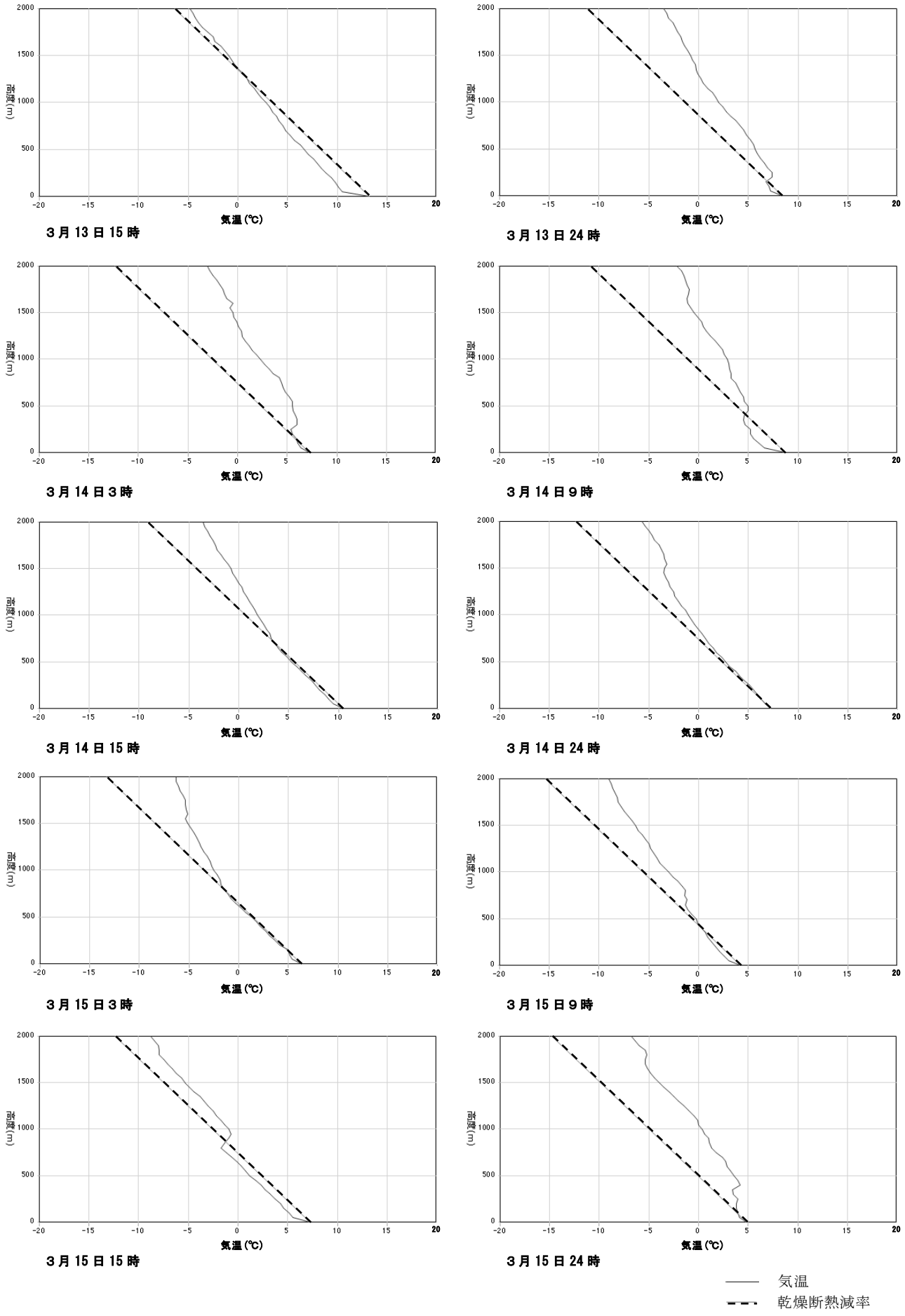


図 8.1-2(7)　気温の鉛直分布（春季調査）

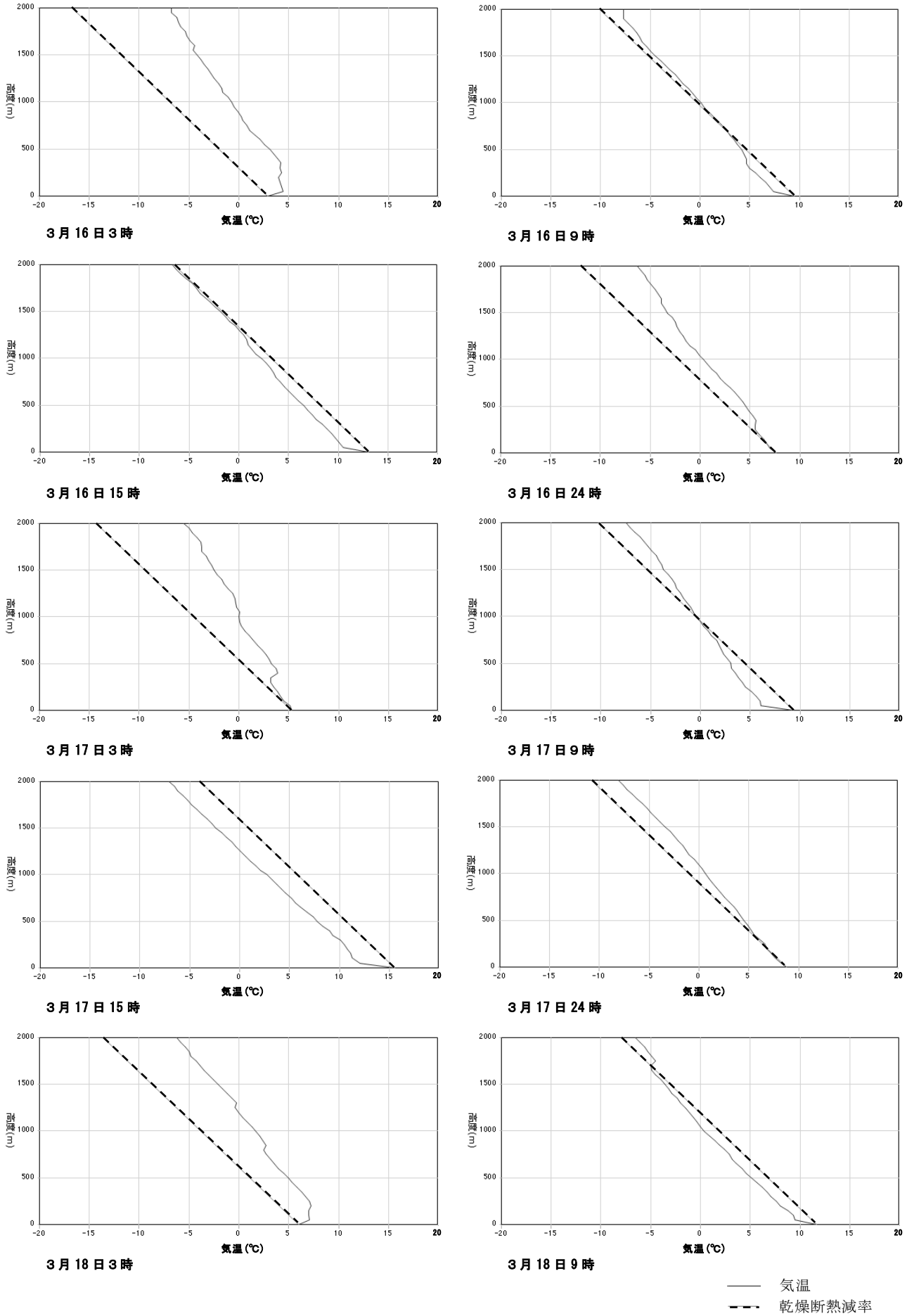


図 8.1-2(8)　気温の鉛直分布（春季調査）

8.1.2　予測

（1）　予測方法

ア　拡散係数の設定

有風時の拡散パラメーターは、図 8.1-3に示すパスキル・ギフォード図より大気安定度分類ごとに風下距離x（m）の関数で与えられており、計算には表 8.1-5(1)及び(2)に示す近似関数を利用した。

なお、σ_yについては以下のとおり時間希釈の補正を行った。

$$\sigma_y = \sigma_{yp} \cdot (t / t_p)^r$$

ここで、σ_y：評価時間 t に対する値

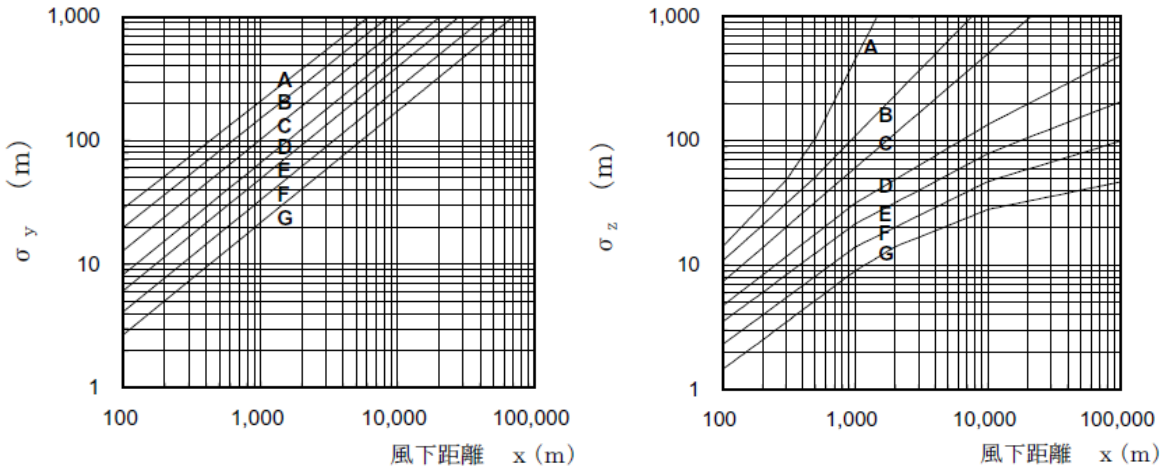
σ_{yp}：パスキル・ギフォード図の近似関数による値

t　：評価時間（＝60分）

t_p　：パスキル・ギフォード図の評価時間（＝３分）

r　：べき指数（＝0.2）

弱風時及び無風時の拡散パラメーターは、ターナーの拡散パラメーターをパスキル安定度分類表に対応させた表 8.1-6を用いた。



水平方向（σ_y）　　鉛直方向（σ_z）

出典）「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成 12 年 12 月、公害研究対策センター）

図 8.1-3　パスキル・ギフォード図

表 8.1-5(1)　パスキル・ギフォード図の近似関数（σ_y）

$$\sigma_y(x) = \gamma_y \cdot x^{\alpha_y}$$

安定度	α_y	γ_y	風下距離 x（m）
A	0.901 0.851	0.426 0.602	0～1,000 1,000～
B	0.914 0.865	0.282 0.396	0～1,000 1,000～
C	0.924 0.885	0.1772 0.232	0～1,000 1,000～
D	0.929 0.889	0.1107 0.1467	0～1,000 1,000～
E	0.921 0.897	0.0864 0.1019	0～1,000 1,000～
F	0.929 0.889	0.0554 0.0733	0～1,000 1,000～
G	0.921 0.896	0.0380 0.0452	0～1,000 1,000～

資料)「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版)」(平成 12 年 12 月、公害研究対策センター)

表 8.1-5(2)　パスキル・ギフォード図の近似関数（σ_z）

$$\sigma_z(x) = \gamma_z \cdot x^{\alpha_z}$$

安定度	α_z	γ_z	風下距離 x（m）
A	1.122 1.514 2.109	0.0800 0.00855 0.000212	0～　300 300～　500 500～
B	0.964 1.094	0.1272 0.0570	0～　500 500～
C	0.918	0.1068	0～
D	0.826 0.632 0.555	0.1046 0.400 0.811	0～ 1,000 1,000～10,000 10,000～
E	0.788 0.565 0.415	0.0928 0.433 1.732	0～ 1,000 1,000～10,000 10,000～
F	0.784 0.526 0.323	0.0621 0.370 2.41	0～ 1,000 1,000～10,000 10,000～
G	0.794 0.637 0.431 0.222	0.0373 0.1105 0.529 3.62	0～ 1,000 1,000～ 2,000 2,000～10,000 10,000～

資料)「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版)」(平成 12 年 12 月、公害研究対策センター)

表 8.1-6　弱風時・無風時の拡散パラメーター

安定度	α		γ
	弱風時	無風時	
A	0.748	0.948	1.569
A-B	0.659	0.859	0.862
B	0.581	0.781	0.474
B-C	0.502	0.702	0.314
C	0.435	0.635	0.208
C-D	0.342	0.542	0.153
D	0.270	0.470	0.113
E	0.239	0.439	0.067
F	0.239	0.439	0.048
G	0.239	0.439	0.029

資料)「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版)」(平成 12 年 12 月、公害研究対策センター)

イ 建設機械の稼働状況及び汚染物質排出量

定格出力別の窒素酸化物及び粒子状物質のエンジン排出係数原単位は表 8.1-7に、定格出力別の平均燃料消費率は表 8.1-8に、建設機械の稼働台数は表 8.1-9に、汚染物質ごとに算出した建設機械からの汚染物質排出量は図 8.1-4(1)及び(2)に示すとおりである。

$$Ei_{NOX\ (SPM)} = Qi \times hi / 1000$$

$$Qi = (Pi \times NOxi\ (Pmi)) \times Bri / Bi$$

$Ei_{NOX\ (SPM)}$：建設機械iの年間NOx（SPM）排出量（kg/年）

Qi：建設機械iのNOx（PM）排出係数原単位（g/kW･時）

hi：建設機械iの年間稼働時間数（時間/年）

Pi：建設機械iの定格出力（kW）

NOxi（Pmi）：エンジン排出係数原単位（g/kW･時）

Bri：燃料消費率[注)]

Bi:ISO-CIモードにおける平均燃料消費率（g/kW･時）

注)「建設機械等損料表　平成 29 年度版」（一般社団法人　日本建設機械施工協会）から算出した。

表 8.1-7　定格出力別のエンジン排出係数原単位

単位：g/kW･時

定格出力	NOx 原単位			PM 原単位		
	二次排出ガス対策型	一次排出ガス対策型	排出ガス未対策型	二次排出ガス対策型	一次排出ガス対策型	排出ガス未対策型
～15kW	5.3	5.3	6.7	0.36	0.53	0.53
15～30kW	5.8	6.1	9.0	0.42	0.54	0.59
30～60kW	6.1	7.8	13.5	0.27	0.50	0.63
60～120kW	5.4	8.0	13.9	0.22	0.34	0.45
120kW～	5.3	7.8	14.0	0.15	0.31	0.41

資料)「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版)」(国土交通省　国土技術政策総合研究所、独立行政法人　土木研究所)

表 8.1-8　定格出力別の平均燃料消費率

単位：g/kW･時

定格出力	平均燃料消費率	
	二次排出ガス対策型	一次排出ガス対策型・排出ガス未対策型
～15kW	285	296
15～30kW	265	279
30～60kW	238	244
60～120kW	234	239
120kW～	229	237

資料)「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版)」
（国土交通省　国土技術政策総合研究所、独立行政法人　土木研究所)

表 8.1-9　建設機械の稼働台数

単位：台

工事着工からの月数 / 建設機械名称	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
油圧圧砕機（3.4m³）※※	150	150	150	150	150	150	150	150	50	50	0	0
バックホウ（0.3m³）※※	0	0	0	0	50	50	50	50	0	0	0	0
バックホウ（0.75m³）※※	50	50	50	50	100	100	150	150	175	175	125	125
ジャイアントブレーカー※※	50	50	50	50	50	50	50	50	0	0	0	0
クラムシェル（0.75m³）※	0	0	0	0	25	25	25	25	0	0	0	0
ラフタークレーン（25t）※※	50	50	50	50	150	150	125	125	150	150	150	150
ラフタークレーン（60t）※※	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	75	75
ラフタークレーン（160t）※※	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
クローラークレーン（70t）※※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	75
クローラークレーン（300t）※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25
アームロール車（4m³）	60	60	60	60	20	20	60	60	50	50	40	40

注）※※は二次排出ガス対策型、※は一次排出ガス対策型、それ以外は排出ガス未対策型の機械である。

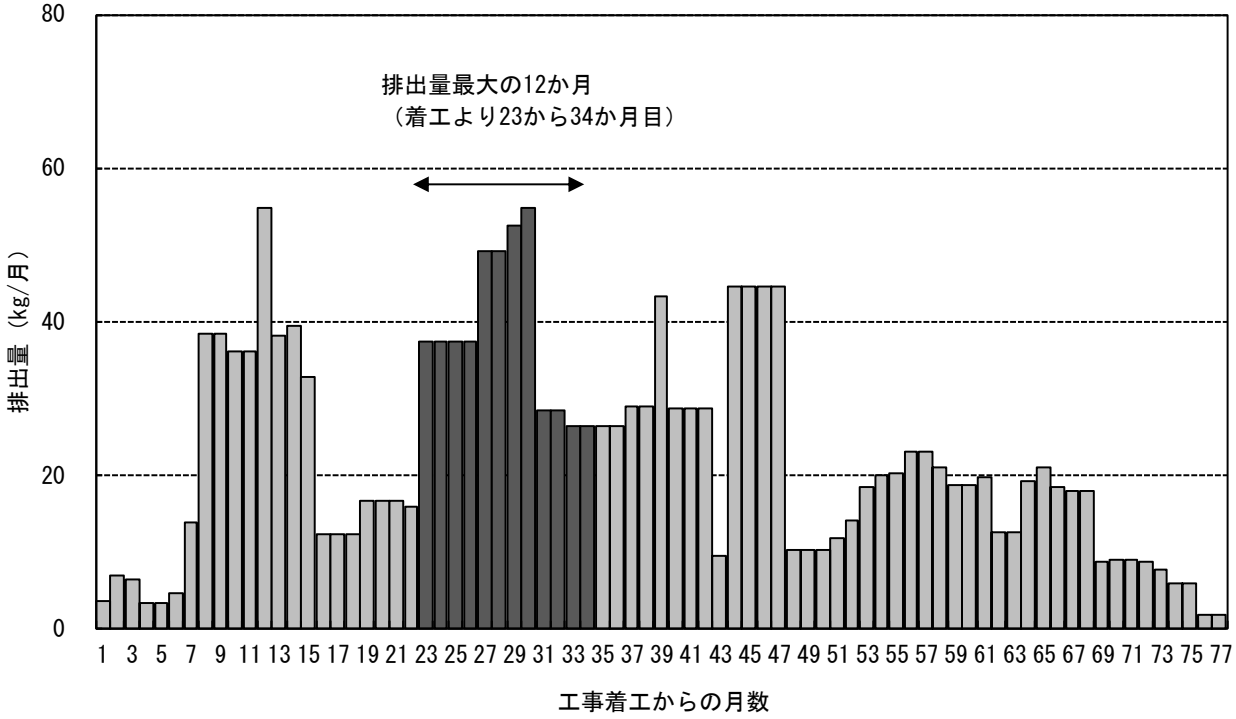


図 8.1-4(1)　建設機械からの汚染物質排出量（浮遊粒子状物質）

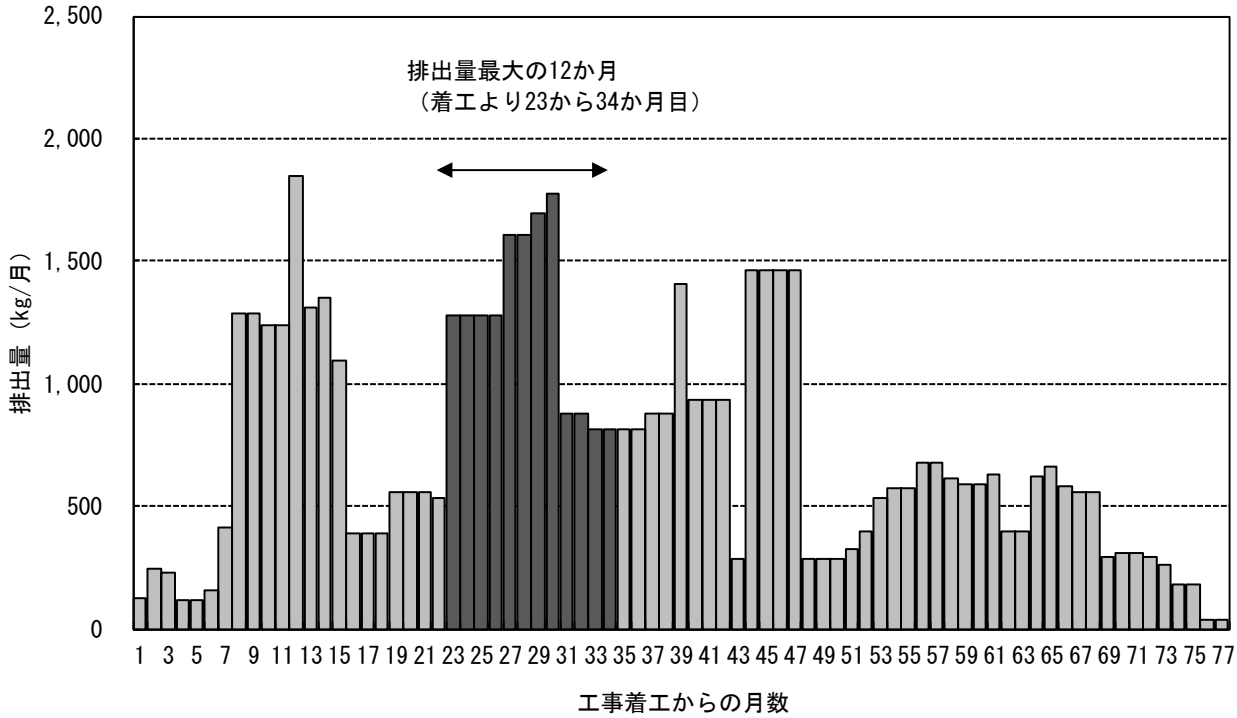


図 8.1-4(2)　建設機械からの汚染物質排出量（窒素酸化物）

ウ　気象条件及び大気安定度

(ｱ)　ベクトル相関

計画地内で現地調査を行った気象（風向・風速）の測定結果と計画地近傍（計画地から３km範囲内）の江戸川区春江町測定局及び市川行徳駅前測定局の測定結果（現地調査と同時期）とでベクトル相関をとると、相関係数は江戸川区春江町測定局が0.94、市川行徳駅前測定局が0.96となる。

なお、風ベクトルの相関は近似的に、以下の式で表される。

$$r\ (V_A、V_B) \fallingdotseq (\Sigma\ |V_{Ai}| \times |V_{Bi}| \times \cos\theta i) / (\ \Sigma\ |V_{Ai}| \times |V_{Bi}|\ )$$

$|V_{Ai}|$，$|V_{Bi}|$：風ベクトルの長さ＝風速

θi：二つのベクトルのなす角

現地調査期間（平成28年６月～平成29年５月）における現地調査と江戸川区春江町測定局及び市川行徳駅前測定局の風配図は、図 8.1-5に示すとおりである。

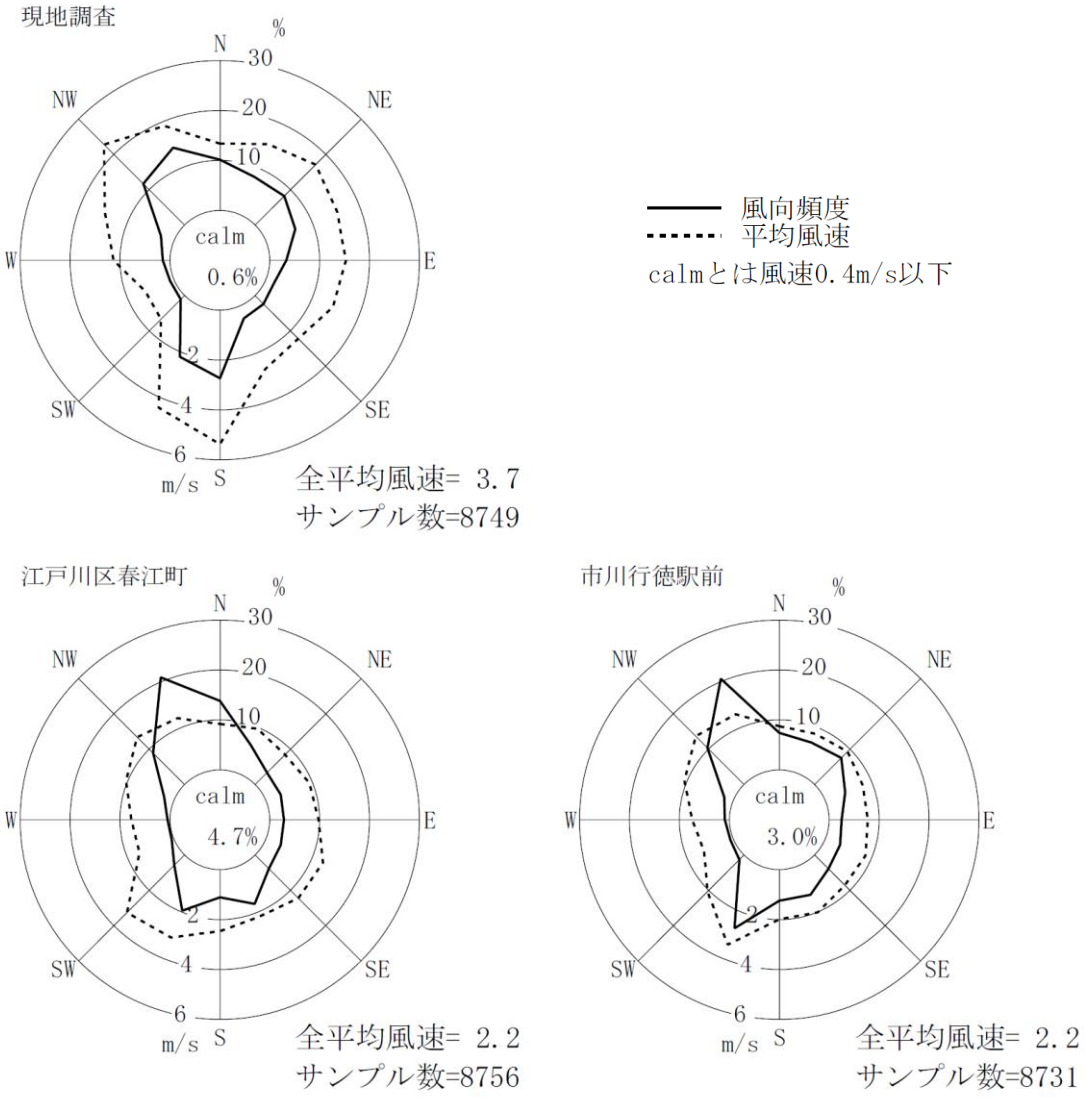


図 8.1-5　風配図（現地調査期間）

(ｲ) 風速のべき乗則

拡散方程式で使用する風速は発生源高度の風速である。このため、以下に示す「べき乗則」により、風速の推定を行った。

$$U = U_0 (H/H_0)^P$$

ただし、

U ：高さ H（m）の推定風速（m/s）
U_0 ：基準高さ H_0 の風速（m/s）
H ：排出源の高さ（m）
H_0 ：基準とする高さ（地上 32m）
P ：べき指数

一例として、工事用車両の走行に伴う排出ガスについて、べき乗則から求めた排出源高さ（地上１m）の風向別出現頻度を表 8.1-11に、平均風速を表 8.1-12に示す。

なお、べき指数は表 8.1-10 に示すとおり、大気安定度別に設定した。

表 8.1-10 大気安定度別のべき指数

大気安定度	A	B	C	D	E	F, G
べき指数	0.1	0.15	0.20	0.25	0.25	0.30

資料)「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版)」(平成 12 年 12 月、公害研究対策センター)

表 8.1-11　時間別風向別の出現頻度（地上１ｍの補正値）

単位：％

時刻	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	calm
1	0.17	0.24	0.16	0.07	0.02	0.01	0.02	0.00	0.42	0.30	0.00	0.00	0.00	0.05	0.42	0.46	1.83
2	0.24	0.25	0.18	0.08	0.05	0.00	0.00	0.01	0.38	0.26	0.00	0.00	0.00	0.05	0.46	0.41	1.81
3	0.23	0.31	0.08	0.08	0.06	0.01	0.00	0.00	0.34	0.25	0.00	0.00	0.01	0.08	0.45	0.55	1.73
4	0.25	0.17	0.21	0.08	0.06	0.01	0.00	0.00	0.27	0.22	0.00	0.00	0.02	0.01	0.56	0.51	1.79
5	0.27	0.24	0.17	0.06	0.02	0.02	0.00	0.00	0.23	0.22	0.00	0.00	0.02	0.03	0.37	0.62	1.90
6	0.27	0.21	0.18	0.05	0.03	0.01	0.01	0.00	0.30	0.23	0.00	0.00	0.01	0.03	0.42	0.54	1.87
7	0.39	0.27	0.27	0.10	0.03	0.01	0.00	0.00	0.27	0.25	0.00	0.00	0.01	0.05	0.37	0.51	1.61
8	0.33	0.42	0.35	0.15	0.02	0.01	0.01	0.05	0.31	0.29	0.00	0.00	0.06	0.13	0.39	0.53	1.12
9	0.42	0.33	0.41	0.15	0.03	0.06	0.06	0.01	0.30	0.34	0.02	0.01	0.05	0.11	0.50	0.65	0.70
10	0.49	0.23	0.37	0.26	0.14	0.02	0.15	0.10	0.43	0.30	0.00	0.00	0.07	0.11	0.41	0.51	0.56
11	0.39	0.31	0.30	0.27	0.10	0.11	0.03	0.14	0.51	0.37	0.03	0.00	0.03	0.15	0.41	0.55	0.45
12	0.25	0.24	0.33	0.27	0.08	0.07	0.15	0.23	0.64	0.33	0.03	0.05	0.06	0.19	0.43	0.42	0.38
13	0.15	0.24	0.37	0.22	0.08	0.13	0.18	0.21	0.66	0.47	0.03	0.01	0.03	0.11	0.41	0.43	0.42
14	0.18	0.21	0.25	0.25	0.09	0.14	0.23	0.18	0.79	0.47	0.05	0.00	0.03	0.11	0.41	0.32	0.45
15	0.21	0.17	0.25	0.26	0.14	0.09	0.22	0.24	0.67	0.64	0.01	0.01	0.03	0.05	0.27	0.35	0.54
16	0.07	0.16	0.24	0.32	0.08	0.11	0.25	0.14	0.81	0.57	0.01	0.01	0.00	0.03	0.33	0.38	0.64
17	0.19	0.09	0.32	0.21	0.13	0.09	0.21	0.14	0.75	0.58	0.00	0.00	0.00	0.01	0.30	0.34	0.80
18	0.09	0.16	0.25	0.18	0.25	0.10	0.06	0.11	0.73	0.56	0.00	0.00	0.01	0.01	0.25	0.39	1.01
19	0.14	0.13	0.24	0.21	0.29	0.11	0.02	0.07	0.77	0.41	0.00	0.00	0.01	0.05	0.34	0.30	1.10
20	0.15	0.22	0.17	0.22	0.27	0.06	0.00	0.08	0.65	0.34	0.01	0.01	0.02	0.01	0.40	0.31	1.25
21	0.09	0.17	0.24	0.21	0.17	0.03	0.02	0.03	0.56	0.37	0.01	0.00	0.02	0.01	0.42	0.27	1.53
22	0.13	0.15	0.32	0.18	0.07	0.03	0.00	0.02	0.62	0.29	0.00	0.00	0.01	0.02	0.42	0.40	1.51
23	0.15	0.16	0.30	0.13	0.06	0.01	0.01	0.03	0.50	0.27	0.00	0.00	0.00	0.02	0.35	0.39	1.78
24	0.10	0.18	0.18	0.13	0.03	0.02	0.00	0.02	0.49	0.24	0.00	0.00	0.00	0.03	0.34	0.51	1.87
全日	5.36	5.26	6.15	4.13	2.31	1.29	1.63	1.82	12.42	8.56	0.22	0.10	0.53	1.47	9.45	10.66	28.63

注）calm とは風速 1.0m/s 以下

表 8.1-12　時間別風向別の平均風速（地上１ｍの補正値）

単位：m/s

時刻	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	calm
1	1.39	1.47	1.49	1.58	1.15	1.50	1.25	0.00	2.15	1.92	0.00	0.00	0.00	1.58	2.01	1.85	0.69
2	1.35	1.26	1.59	1.43	1.45	0.00	0.00	2.40	2.05	1.85	0.00	0.00	0.00	1.35	2.11	1.78	0.72
3	1.38	1.46	1.49	1.53	1.32	1.50	0.00	0.00	2.13	1.84	0.00	0.00	1.30	2.23	1.96	1.70	0.67
4	1.31	1.51	1.54	1.37	1.22	1.10	0.00	0.00	1.94	2.21	0.00	0.00	1.30	4.20	1.87	1.75	0.67
5	1.38	1.39	1.53	1.36	1.25	1.40	0.00	0.00	1.93	2.19	0.00	0.00	2.15	2.30	2.13	1.68	0.69
6	1.39	1.53	1.46	1.90	1.37	1.30	1.20	0.00	2.20	2.11	0.00	0.00	1.90	1.47	2.00	1.66	0.70
7	1.36	1.56	1.70	1.80	1.43	1.40	0.00	0.00	2.35	2.23	0.00	0.00	1.20	1.73	2.06	1.68	0.70
8	1.63	1.71	1.87	1.82	1.15	1.30	1.10	1.48	2.48	2.33	0.00	0.00	1.76	2.10	1.88	1.82	0.72
9	1.68	1.79	2.00	1.79	1.30	1.52	1.40	1.20	2.57	2.46	1.20	1.10	2.95	2.11	2.33	1.87	0.72
10	1.90	2.14	2.06	1.93	1.60	1.55	1.58	1.79	2.87	2.62	0.00	0.00	2.37	2.47	2.62	2.22	0.74
11	1.92	1.93	2.13	1.88	1.77	1.68	1.80	1.81	3.05	2.68	1.33	0.00	2.00	2.57	2.63	2.21	0.78
12	1.90	1.99	2.12	1.83	1.77	1.78	1.50	1.92	3.04	2.77	1.13	1.20	1.60	2.14	2.78	2.66	0.72
13	1.98	1.83	2.17	1.92	2.16	1.88	1.84	1.92	3.30	2.84	1.53	1.20	2.57	1.86	2.85	2.49	0.76
14	1.95	1.88	2.25	2.11	1.90	2.03	1.72	2.11	3.17	2.82	1.35	0.00	1.97	2.19	3.03	2.50	0.69
15	2.01	2.03	2.15	2.10	1.82	1.94	1.71	2.01	3.04	2.67	1.60	1.10	1.57	1.90	3.15	2.50	0.70
16	2.02	1.94	2.16	1.98	1.43	1.98	1.74	1.71	2.92	2.72	1.10	1.60	0.00	2.00	2.60	2.32	0.63
17	1.64	2.38	1.93	1.88	1.71	1.94	1.38	1.84	2.74	2.45	0.00	0.00	0.00	1.60	2.42	2.20	0.70
18	1.75	1.94	2.15	1.81	1.64	1.56	1.24	1.62	2.62	2.10	0.00	0.00	3.30	2.20	2.10	2.26	0.71
19	1.53	1.87	1.93	1.71	1.63	1.48	1.30	1.38	2.40	2.06	0.00	0.00	1.90	1.55	2.38	1.85	0.69
20	1.52	1.58	1.79	1.86	1.55	1.58	0.00	1.44	2.41	1.98	1.10	1.70	1.80	1.40	2.33	1.70	0.70
21	1.34	1.84	1.71	1.56	1.54	1.27	1.20	1.20	2.31	1.98	1.60	0.00	1.50	2.00	2.31	1.97	0.70
22	1.55	1.65	1.52	1.43	1.48	1.27	0.00	1.20	2.08	1.98	0.00	0.00	1.20	2.30	1.94	2.16	0.69
23	1.51	1.55	1.47	1.32	1.48	2.00	1.60	1.23	2.29	1.82	0.00	0.00	0.00	2.60	2.12	2.07	0.71
24	1.36	1.64	1.32	1.49	1.20	1.40	0.00	1.15	2.14	2.00	0.00	0.00	0.00	1.83	2.17	1.83	0.69
全日	1.62	1.72	1.86	1.80	1.60	1.72	1.61	1.80	2.60	2.34	1.33	1.28	1.99	2.10	2.31	2.00	0.70

注）calm とは風速 1.0m/s 以下

(ｳ)　大気安定度

大気安定度の分類は、江戸川清掃工場（現地調査）における風向・風速測定結果と東京管区気象台における雲量・日射量の測定結果を用い、表 8.1-13に示すパスキルの大気安定度階級分類表に従って行った。

江戸川清掃工場における平成28年６月～平成29年５月の大気安定度出現回数は、図 8.1-6及び表 8.1-14に示すとおりである。

表 8.1-13　パスキル大気安定度階級別分類表

風速（u）m/s	昼間　日射量（T）kW/m²				夜間　雲量		
	T≧0.60	0.60＞T≧0.30	0.30≧T≧0.15	0.15＞T	本雲（8～10）	上層雲（5～10）中・下層雲（5～7）	雲量（0～4）
u＜2	A	A-B	B	D	D	G	G
2≦u＜3	A-B	B	C	D	D	E	F
3≦u＜4	B	B-C	C	D	D	D	E
4≦u＜6	C	C-D	D	D	D	D	D
6≦u	C	D	D	D	D	D	D

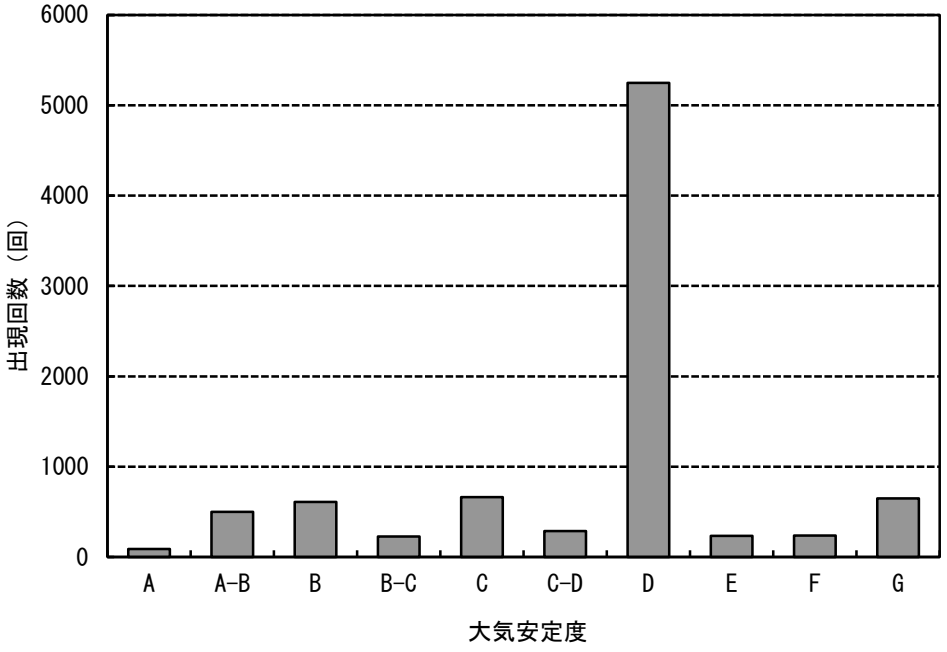


図 8.1-6　大気安定度出現回数（江戸川清掃工場）

表 8.1-14 大気安定度別風速階級別風向別の出現頻度（江戸川清掃工場）

風速階級 (m/s)	大気安定度	風向出現頻度（%）																
		N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	Calm	計
0.0-0.4	A																	0.00	0.00
	A-B																	0.02	0.02
	B																	0.06	0.06
	B-C																	0.00	0.00
	C																	0.00	0.00
	C-D																	0.00	0.00
	D																	0.42	0.42
	E																	0.00	0.00
	F																	0.00	0.00
	G																	0.07	0.07
0.5-0.9	A	0.00	0.02	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01		0.06
	A-B	0.03	0.03	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.05	0.02	0.00	0.02	0.02	0.01		0.26
	B	0.07	0.03	0.00	0.02	0.01	0.02	0.01	0.00	0.01	0.02	0.00	0.03	0.05	0.03	0.01	0.02		0.35
	B-C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	C-D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	D	0.25	0.15	0.22	0.03	0.00	0.03	0.01	0.03	0.06	0.14	0.19	0.16	0.15	0.14	0.15	0.16		1.87
	E	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	G	0.09	0.03	0.08	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.03	0.03	0.05	0.03	0.05	0.15	0.10		0.71
1.0-1.9	A	0.01	0.07	0.10	0.08	0.02	0.01	0.06	0.03	0.05	0.06	0.03	0.06	0.06	0.02	0.01	0.01		0.69
	A-B	0.11	0.21	0.19	0.13	0.08	0.07	0.10	0.08	0.05	0.17	0.13	0.13	0.07	0.14	0.11	0.18		1.94
	B	0.18	0.19	0.06	0.13	0.05	0.03	0.06	0.03	0.10	0.14	0.06	0.05	0.02	0.02	0.07	0.15		1.34
	B-C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	C-D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	D	1.49	0.93	0.71	0.81	0.25	0.15	0.39	0.37	0.34	0.63	0.31	0.16	0.31	0.35	0.45	0.80		8.44
	E	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	G	0.51	0.30	0.23	0.15	0.07	0.03	0.03	0.03	0.10	0.29	0.17	0.07	0.11	0.19	0.30	0.55		3.14
2.0-2.9	A	0.02	0.05	0.01	0.01	0.02	0.01	0.06	0.02	0.02	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	0.02	0.00		0.29
	A-B	0.18	0.17	0.15	0.17	0.07	0.14	0.39	0.46	0.27	0.17	0.05	0.00	0.06	0.13	0.15	0.09		2.64
	B	0.25	0.15	0.17	0.21	0.06	0.07	0.24	0.15	0.13	0.21	0.01	0.01	0.05	0.08	0.18	0.32		2.27
	B-C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	C	0.11	0.13	0.11	0.10	0.02	0.06	0.05	0.03	0.05	0.07	0.00	0.00	0.00	0.01	0.08	0.17		0.99
	C-D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	D	2.49	1.61	1.26	1.07	0.79	0.30	0.38	0.34	0.64	1.21	0.01	0.02	0.11	0.27	1.02	2.38		13.91
	E	0.09	0.03	0.03	0.02	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.06		0.35
	F	0.13	0.06	0.03	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.11	0.00	0.00	0.00	0.03	0.19	0.10		0.75
	G	0.72	0.23	0.13	0.41	0.19	0.01	0.00	0.03	0.17	0.32	0.01	0.00	0.05	0.16	0.41	0.65		3.50
3.0-3.9	A	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	A-B	0.06	0.00	0.03	0.03	0.02	0.07	0.09	0.11	0.16	0.11	0.00	0.00	0.02	0.06	0.03	0.03		0.85
	B	0.18	0.10	0.24	0.15	0.06	0.07	0.11	0.17	0.24	0.24	0.00	0.00	0.02	0.05	0.03	0.15		1.82
	B-C	0.11	0.02	0.08	0.09	0.02	0.02	0.05	0.02	0.13	0.08	0.00	0.00	0.01	0.00	0.10	0.07		0.81
	C	0.32	0.14	0.15	0.26	0.03	0.06	0.09	0.09	0.13	0.18	0.01	0.00	0.01	0.03	0.09	0.27		1.87
	C-D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	D	1.21	1.46	1.25	0.72	0.74	0.33	0.16	0.18	1.22	1.14	0.01	0.00	0.01	0.10	1.18	2.10		11.83
	E	0.05	0.03	0.06	0.01	0.07	0.00	0.00	0.00	0.15	0.06	0.00	0.00	0.00	0.01	0.07	0.08		0.58
	F	0.18	0.13	0.05	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.29	0.23	0.00	0.00	0.03	0.07	0.61	0.35		1.97
	G	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
4.0-5.9	A	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	A-B	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	B	0.07	0.05	0.08	0.09	0.03	0.02	0.02	0.07	0.31	0.18	0.00	0.00	0.01	0.06	0.09	0.05		1.13
	B-C	0.17	0.18	0.22	0.15	0.01	0.05	0.03	0.08	0.30	0.24	0.00	0.00	0.01	0.06	0.16	0.15		1.81
	C	0.17	0.26	0.27	0.19	0.03	0.05	0.00	0.02	0.54	0.37	0.00	0.00	0.01	0.08	0.24	0.17		2.41
	C-D	0.06	0.11	0.14	0.09	0.01	0.01	0.00	0.02	0.26	0.23	0.00	0.00	0.02	0.09	0.23	0.19		1.47
	D	0.57	0.79	1.53	0.99	0.51	0.14	0.01	0.11	2.85	1.44	0.00	0.00	0.05	0.21	1.76	2.55		13.51
	E	0.08	0.05	0.06	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.33	0.17	0.00	0.01	0.03	0.06	0.53	0.40		1.75
	F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	G	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
6.0-7.9	A	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	A-B	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	B	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	B-C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	C	0.01	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.51	0.24	0.00	0.00	0.02	0.06	0.17	0.19		1.27
	C-D	0.06	0.06	0.11	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.46	0.30	0.00	0.00	0.03	0.07	0.42	0.29		1.82
	D	0.07	0.25	0.35	0.13	0.02	0.00	0.00	0.01	1.57	0.90	0.00	0.00	0.03	0.07	1.50	0.94		5.84
	E	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	G	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
8.0-	A	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	A-B	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	B	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	B-C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.18	0.03		1.02
	C-D	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	D	0.02	0.02	0.07	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	1.51	0.96	0.00	0.00	0.00	0.03	0.89	0.63		4.16
	E	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	G	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
計		10.15	8.07	8.21	6.36	3.31	1.76	2.34	2.58	13.60	10.92	1.09	0.77	1.42	2.77	11.67	14.42	0.57	100.0

エ　異常年検定

予測を行う際に、江戸川区春江町測定局における平成28年６月～平成29年５月の気象を基準年とした異常年検定（Ｆ分布検定）を行い、この基準年が平年の気象に比べて異常でなかったかどうかの判定をした。

なお、計画地近傍で現地気象と相関（風ベクトルの相関）の高い市川行徳駅前測定局は、測定開始が平成21年4月であり過去10年間の気象との比較ができないことから、江戸川区春江町測定局の気象データを使用した。

この方法は、正規分布をなす母集団から取り出した標本のうち、不良標本と見られるものをX_0、その他のものをX_1，X_2，･･･X_6，･････X_nとした場合、X_0を除く他のn個の標本の平均を$X=\Sigma X_i/n$として、標本の分散からみてX_0とXとの差が有意ならばX_0を棄却するとする方法である。

(F分布検定の手順)

①　仮説：不良標本X_0と他の標本（その平均値）Xとの間に有意な差は無いとする。

$H_0：X_0=X$　$(X=\Sigma Xi/n)$

②　F_0を計算する。

$F_0=(n-1)(X_0-X)^2/(n+1)S^2$

ただし、$S^2=\Sigma(Xi-X)^2/n$

③　自由度$\nu_1=1$、$\nu_2=n-1$を求める。

④　有意水準（危険率）αを決め、F分布表により$F_{\nu_2}^{\nu_1}(\alpha)$の値を求める。

⑤　F_0 と$F_{\nu_2}^{\nu_1}(\alpha)$を比較して

$F_0 \geqq F_{\nu_2}^{\nu_1}(\alpha)$ならば仮説棄却：$H_0：X_0=X$は棄却

$F_0 < F_{\nu_2}^{\nu_1}(\alpha)$ならば仮説採択：$H_0：X_0=X$は採択　とする。

⑥　危険率αでの棄却限界を求めるには$F_0=F_{\nu_2}^{\nu_1}(\alpha)$とおいて$X_0$を計算すればよい。

$$X_0=X\pm S\sqrt{(n+1)/(n-1)\,F_{\nu_2}^{\nu_1}(\alpha)}$$

危険率αは１％、2.5％、５％の３種類とした。$F_{\nu_2}^{\nu_1}(\alpha)$のそれぞれの値はF分布表より

1%　：　$F_9^1(0.01)=10.56$

2.5%　：　$F_9^1(0.025)=7.21$

5%　：　$F_9^1(0.05)=5.12$　　となる。

風向及び風速頻度の異常年検定結果は、表 8.1-15(1)及び(2)に示すとおりであり、基準年と他の年度との間に有意な差は見られなかったものと判断される。

表 8.1-15(1)　風向別出現頻度の異常年検定結果

風向	統計年度 風向出現頻度（%）										平均 X	標準偏差 S	検定年度		判定（○採択，×棄却）			棄却限界(5%)		棄却限界(2.5%)		棄却限界(1%)	
	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年			H28年	F_0	5%	2.5%	1%	上限値	下限値	上限値	下限値	上限値	下限値
N	24.44	25.12	25.36	23.30	23.36	18.40	12.76	13.84	13.41	16.99	19.70	4.91	13.81	1.18	○	○	○	31.99	7.41	34.29	5.11	37.35	2.04
NNE	7.83	9.04	8.71	9.89	7.96	7.08	5.36	5.14	5.57	6.96	7.35	1.55	6.18	0.47	○	○	○	11.23	3.48	11.95	2.76	12.92	1.79
NE	5.36	6.13	5.38	8.27	5.87	5.28	3.62	2.99	3.57	4.30	5.08	1.47	3.35	1.14	○	○	○	8.74	1.41	9.43	0.73	10.34	-0.19
ENE	4.04	3.63	3.28	4.12	2.82	2.86	2.74	2.67	3.51	3.45	3.31	0.50	3.19	0.05	○	○	○	4.57	2.05	4.81	1.82	5.12	1.50
E	4.15	4.26	3.38	4.26	2.60	2.78	2.38	2.79	3.08	3.29	3.30	0.67	2.83	0.40	○	○	○	4.97	1.62	5.28	1.31	5.70	0.89
ESE	3.37	3.22	3.05	3.42	2.38	2.74	2.62	3.23	2.87	3.09	3.00	0.32	3.19	0.28	○	○	○	3.81	2.19	3.96	2.04	4.16	1.84
SE	5.08	3.67	4.82	4.17	3.32	3.65	3.95	3.99	4.01	3.50	4.02	0.53	3.86	0.07	○	○	○	5.34	2.69	5.59	2.44	5.92	2.11
SSE	7.14	5.88	6.69	5.72	5.08	6.37	7.36	8.40	8.06	8.06	6.88	1.06	8.22	1.32	○	○	○	9.53	4.22	10.02	3.73	10.69	3.07
S	4.06	3.96	4.67	4.31	4.98	4.15	5.17	5.37	6.35	6.20	4.92	0.82	5.49	0.40	○	○	○	6.96	2.88	7.34	2.50	7.85	1.99
SSW	6.10	8.34	7.10	6.98	9.51	9.15	15.12	12.96	10.31	10.73	9.63	2.66	9.67	0.00	○	○	○	16.28	2.98	17.52	1.74	19.18	0.08
SW	7.91	8.91	9.89	10.57	14.38	9.07	3.03	3.96	3.77	3.21	7.47	3.63	2.87	1.31	○	○	○	16.55	-1.62	18.25	-3.31	20.52	-5.58
WSW	0.73	0.63	0.65	0.82	0.94	0.65	0.45	0.57	0.56	0.48	0.65	0.14	0.42	2.03	○	○	○	1.01	0.29	1.07	0.22	1.16	0.13
W	0.55	0.36	0.48	0.35	0.43	0.42	0.55	0.66	0.54	0.36	0.47	0.10	0.45	0.06	○	○	○	0.71	0.23	0.76	0.18	0.82	0.12
WNW	1.18	0.90	0.64	0.83	0.85	1.15	1.91	2.11	2.27	1.42	1.33	0.55	2.04	1.39	○	○	○	2.70	-0.05	2.96	-0.31	3.30	-0.65
NW	4.62	3.79	3.70	3.08	3.76	5.59	7.32	7.32	8.33	6.12	5.36	1.75	8.87	3.29	○	○	○	9.74	0.98	10.56	0.17	11.65	-0.92
NNW	10.28	9.26	9.58	7.10	9.06	17.59	22.09	20.55	19.71	17.25	14.25	5.40	20.87	1.23	○	○	○	27.76	0.74	30.28	-1.78	33.65	-5.15
calm	3.16	2.90	2.63	2.80	2.68	3.06	3.58	3.45	4.08	4.59	3.29	0.61	4.69	4.36	○	○	○	4.81	1.78	5.10	1.49	5.47	1.11

表 8.1-15(2)　風速別出現頻度の異常年検定結果

風速階級 (m/s)	統計年度 風速出現頻度（%）										平均 X	標準偏差 S	検定年度		判定（○採択，×棄却）			棄却限界(5%)		棄却限界(2.5%)		棄却限界(1%)	
	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年			H28年	F_0	5%	2.5%	1%	上限値	下限値	上限値	下限値	上限値	下限値
0.0～0.9	12.89	12.89	11.92	12.52	13.20	13.47	13.48	13.63	15.79	16.08	13.59	1.27	15.86	2.63	○	○	○	16.76	10.41	17.36	9.82	18.15	9.02
1.0～1.9	34.56	32.57	34.08	32.68	30.12	32.11	27.72	29.77	31.38	33.17	31.82	2.00	32.08	0.01	○	○	○	36.81	26.82	37.75	25.89	38.99	24.64
2.0～2.9	28.12	28.30	28.04	28.89	26.14	26.27	25.82	26.27	26.13	26.17	27.01	1.11	26.45	0.21	○	○	○	29.78	24.25	30.30	23.73	30.99	23.04
3.0～3.9	14.68	15.18	15.01	15.01	16.14	15.62	16.28	16.64	15.21	14.41	15.42	0.69	14.55	1.29	○	○	○	17.15	13.69	17.47	13.37	17.91	12.93
4.0～4.9	6.24	6.74	7.31	6.44	8.80	7.70	9.71	8.53	7.67	6.49	7.56	1.10	7.14	0.12	○	○	○	10.30	4.82	10.81	4.31	11.50	3.63
5.0～5.9	2.09	2.72	2.51	2.68	3.66	2.77	4.25	3.29	2.68	2.43	2.91	0.61	2.63	0.17	○	○	○	4.43	1.38	4.72	1.10	5.10	0.72
6.0～	1.42	1.59	1.12	1.78	1.95	2.07	2.74	1.87	1.12	1.25	1.69	0.48	1.29	0.58	○	○	○	2.89	0.50	3.11	0.27	3.41	-0.03

オ バックグラウンド濃度

設定に用いた測定局は、表 8.1-16(1)及び(2)に示すとおり、過去３年間（平成26年度から平成28年度まで）の年平均値の平均をバックグラウンド濃度とした。

表 8.1-16(1) 調査地域内における一般環境大気測定局の年度別濃度

項　目	測定局	年度			過去３年間平　均
		H26	H27	H28	
二酸化硫黄（ppm）	江戸川区鹿骨測定局	0.002	0.002	0.002	0.002
	市川本八幡測定局	0.001	0.001	0.001	0.001
	市川行徳駅前測定局	0.002	0.002	0.001	0.002
	浦安猫実測定局	0.001	0.001	0.001	0.001
	中央測定局	0.002	0.002	0.002	0.002
	平　均	0.002	0.002	0.001	0.002
浮遊粒子状物質（mg/m^3）	江戸川区鹿骨測定局	0.018	0.019	0.015	0.017
	江戸川区春江町測定局	0.022	0.020	0.017	0.020
	江戸川区南葛西測定局	0.024	0.022	0.018	0.021
	市川新田測定局	0.019	0.019	0.016	0.018
	市川二俣測定局	0.025	0.023	0.016	0.021
	市川本八幡測定局	0.021	0.020	0.017	0.019
	市川行徳駅前測定局	0.025	0.025	0.016	0.022
	浦安猫実測定局	0.022	0.023	0.018	0.021
	中央測定局	0.019	0.020	0.019	0.019
	平　均	0.022	0.021	0.017	0.020
二酸化窒素（ppm）	江戸川区鹿骨測定局	0.017	0.017	0.015	0.016
	江戸川区春江町測定局	0.019	0.018	0.017	0.018
	江戸川区南葛西測定局	0.020	0.020	0.019	0.020
	市川新田測定局	0.017	0.016	0.015	0.016
	市川二俣測定局	0.021	0.020	0.019	0.020
	市川本八幡測定局	0.016	0.016	0.015	0.016
	市川行徳駅前測定局	0.017	0.017	0.016	0.017
	浦安猫実測定局	0.019	0.019	0.017	0.018
	中央測定局	0.020	0.019	0.018	0.019
	平　均	0.018	0.018	0.017	0.018

表 8.1-16(2)　調査地域内における一般環境大気測定局の年度別濃度

項　目	測定局	年度			過去３年間 平　均
		H26	H27	H28	
窒素酸化物 (ppm)	江戸川区鹿骨測定局	0.023	0.022	0.020	0.022
	江戸川区春江町測定局	0.025	0.024	0.023	0.024
	江戸川区南葛西測定局	0.027	0.026	0.025	0.026
	市川新田測定局	0.022	0.021	0.019	0.021
	市川二俣測定局	0.030	0.028	0.027	0.028
	市川本八幡測定局	0.022	0.021	0.019	0.021
	市川行徳駅前測定局	0.022	0.021	0.020	0.021
	浦安猫実測定局	0.025	0.024	0.023	0.024
	中央測定局	0.026	0.025	0.024	0.025
	平　均	0.025	0.024	0.022	0.023
ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類 (pg-TEQ/m^3)	江戸川区春江町測定局	0.031	0.036	0.025	0.031
	市川新田測定局	0.022	0.027	0.025	0.025
	中央測定局	0.035	0.031	0.032	0.033
	平　均	0.029	0.031	0.027	0.029
水銀 ($\mu g/m^3$)	江戸川区春江町測定局	0.0022	0.0019	0.0019	0.0020
	市川新田測定局	0.0020	0.0018	0.0022	0.0020
	中央測定局	0.0022	0.0024	0.0022	0.0023
	平　均	0.0021	0.0020	0.0021	0.0021
光化学 オキシダント (ppm)	江戸川区鹿骨測定局	0.030	0.031	0.031	0.031
	江戸川区春江町測定局	0.029	0.031	0.030	0.030
	江戸川区南葛西測定局	0.029	0.030	0.029	0.029
	市川本八幡測定局	0.032	0.032	0.032	0.032
	市川行徳駅前測定局	0.032	0.031	0.031	0.031
	浦安猫実測定局	0.028	0.028	0.028	0.028
	中央測定局	0.030	0.031	0.043	0.035
	平　均	0.030	0.031	0.032	0.031

カ　窒素酸化物の転換

(ｱ)　建設機械排出ガス、工事用車両及びごみ収集車両排出ガス

窒素酸化物の年平均値を二酸化窒素の年平均値に転換する式は、計画地から半径５km以内に設置されている、自動車排出ガス測定局（５局）における過去５年間（平成24年度から平成28年度まで）の年平均値と、その測定局から最も近い一般環境大気測定局の平均値の差をとり、自動車による寄与を算出し、最小二乗法により得られた回帰式を基に設定した。

その結果は、図 8.1-7に示すとおりである。

なお、自動車排出ガス測定局と一般環境大気測定局の組み合わせは、表 8.1-17に示すとおりである。

表 8.1-17　自動車排出ガス測定局と一般環境大気測定局の組み合わせ

自動車排出ガス測定局			一般環境大気測定局		
No.	測定局名 （所在地）	測定 主体	No.	測定局名 （所在地）	測定 主体
10	市川市市川測定局 （千葉県市川市市川 2-33-6）	千葉県	4	市川新田測定局 （千葉県市川市新田 4-10-12）	千葉県
11	市川行徳測定局 （千葉県市川市末広 1-1-48）	千葉県	7	市川行徳駅前測定局 （千葉県市川市湊新田 2-4）	千葉県
12	浦安美浜測定局 （千葉県浦安市美浜 4-6）	千葉県	8	浦安猫実測定局 （千葉県浦安市猫実 1-2-7）	千葉県
13	篠崎測定局 （東京都江戸川区篠崎町 3-2-18）	江戸川区	1	江戸川区鹿骨測定局 （東京都江戸川区鹿骨 1-15-1）	東京都
14	上一色測定局 （東京都江戸川区上一色 1-8-11）	江戸川区	1	江戸川区鹿骨測定局 （東京都江戸川区鹿骨 1-15-1）	東京都

注）No.は、本編 p. 115 及び p. 116 参照

$[NO_2]=0.2600\{[NO_x]p\}^{0.9421}$

$[NO_2]$　：NO_2の寄与濃度（ppm）

$[NO_x]p$：計算によって得られたNO_xの寄与濃度（ppm）

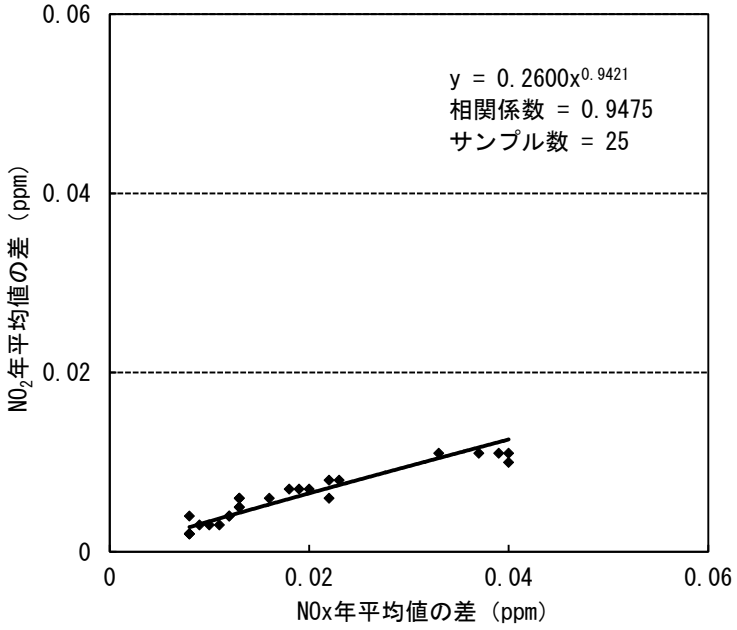


図 8.1-7　自動車の寄与による窒素酸化物と二酸化窒素の散布図
（自動車排出ガス測定局の年平均値と、その測定局から最も近い一般環境大気測定局の平均値の差）

(ｲ)　清掃工場の煙突排出ガス

窒素酸化物の年平均値を二酸化窒素の年平均値に転換する式は、計画地から半径５km以内に設置されている一般環境大気測定局（９局）における過去５年間（平成24年度から平成28年度まで）の年平均値から、最小二乗法により回帰式を求めた。

その結果は、図 8.1-8に示すとおりである。

$[NO_2]=0.2666\{[NO_x]_{DF}+[NO_x]_{B.G}\}^{0.7238}$

$[NO_2]$　：NO_2の濃度（ppm）

$[NO_x]_{DF}$ ：計算によって得られたNO_xの濃度（ppm）

$[NO_x]_{B.G}$：NO_xのバックグラウンド濃度（ppm）

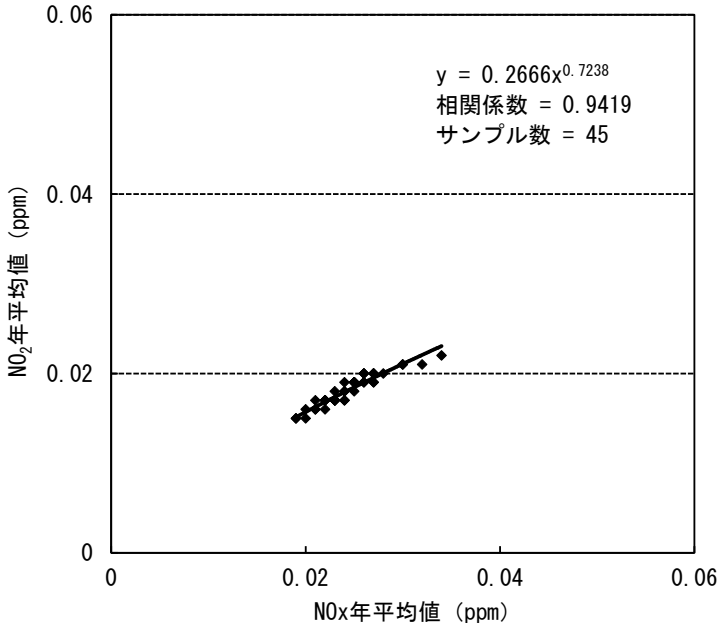


図 8.1-8　窒素酸化物及び二酸化窒素の年平均値の散布図（一般環境大気測定局）

(ｳ)　清掃工場の煙突排出ガス（短期予測）

短期平均値予測における窒素酸化物濃度を二酸化窒素に転換する式は、指数近似型モデル（改良横山型）を用いた。

$$[NO_2]=[NO_x]_D\left\{1-\frac{\alpha}{1+\beta}\{\exp(-kt)+\beta\}\right\}$$

$[NO_2]$　：NO_2の濃度（ppm）

$[NO_x]_D$：予測されたNO_xの濃度（ppm）

α　：煙突近傍での［NO］/$[NO_x]$比 0.83 を用いる

β　：平衡状態を近似する定数（昼間 0.3、夜間 0.0 とする。）

k：反応係数（$k=0.0062\cdot u\cdot [O_3]_{BG}$）

u：風速（m/s）

$[O_3]_{BG}$：バックグラウンド・オゾン濃度（ppm）＝0.031（ppm）

t：拡散時間（s）t＝x/u（x は風下距離）

キ　有効煙突高の算出

有効煙突高の算出は、風速の分類により、CONCAWE式及びBriggs式を使用した。

CONCAWE式：$\Delta H=0.175\cdot Q_H^{1/2}\cdot u^{-3/4}$

Briggs式　：$\Delta H=1.4\cdot Q_H^{1/4}\cdot (d\theta/dz)^{-3/8}$

ΔH：排出ガス上昇高（m）

Q_H：排出熱量（cal/s）

$Q_H=\rho QC_P\Delta T$

ρ ：　0℃における排出ガス密度（1.293×10^3g/m^3）

Q ：　単位時間当たりの排出ガス量（湿り）（m^3N/s）

C_P：　定圧比熱（0.24cal/K/g）

ΔT：　排出ガス温度と気温との温度差（T_G-15）（℃）

T_G：　排出ガス温度（℃）

u：　煙突頭頂部の風速（m/s）

$d\theta/dz$：　温位勾配　昼間0.003、夜間0.010（℃/m）

有風時：CONCAWE 式による。

弱風時：CONCAWE 式の風速 2.0m/s での上昇高と Briggs 式による上昇高から、弱風時の代表風速での上昇高を内挿する。

無風時：弱風時と同じ方法により、無風時の最大風速 0.4m/s での上昇高さを内挿する。

注）無風時及び弱風時で上昇高を内挿したのは Briggs 式には風速の要素がないが、無風時、弱風時には、それぞれ 0～0.4m/s、0.5～0.9m/s の風速があることによる。

ク 施設の稼働に伴う煙突排出ガス（短期平均値（１時間値）予測）

(ｱ) ダウンウォッシュの発生による短期高濃度予測について

a 煙突自体によるダウンウォッシュ

煙突自体によるダウンウォッシュは、「窒素酸化物総量規制マニュアル」（公害研究対策センター）によると、以下の条件のときに発生するとされる。

$$\Delta H = 2\left(\frac{Vs}{u}-1.5\right)D$$

ΔH ： 排ガス上昇高（m）
Vs ： 排ガスの吐出速度（m/s）
u ： 煙突頭頂部における風速（m/s）
D ： 煙突頭頂部内径（m）

上式から、$u > \frac{Vs}{1.5}$ の条件でダウンウォッシュが出現する。

計画での排ガスの吐出速度は25m/sとしており、上記条件にあてはめると、煙突頂部における風速が16.7m/s以上のときであり、平成28年６月～平成29年５月の現地調査の風速を江戸川清掃工場の煙突高さに換算した場合の発生頻度は0.4%と非常に低い。また、仮にこのような強い風の状態が生じた場合でも、拡散が促され、高濃度にはならないと考えられる。

b 煙突に近接する建物によるダウンウォッシュ

煙突に近接する建物によるダウンウォッシュの発生条件には、ISC-PRIMEモデルを用いた。

ISC-PRIMEモデル（Industrial Source Complex Plume Rise Model Enhancements）は、EPA（米国環境保護庁）の大気拡散モデルのひとつであり、周辺建物による風の乱れの影響を受けて、排煙が地上に影響を与えるダウンウォッシュに対する取扱いが含まれている。

ISC-PRIMEモデルにおける建物影響の判定条件は以下のとおりである。①及び②の両方の条件で影響ありと判断された場合に、建物影響を考慮した予測を行う。

①位置に関する影響判定

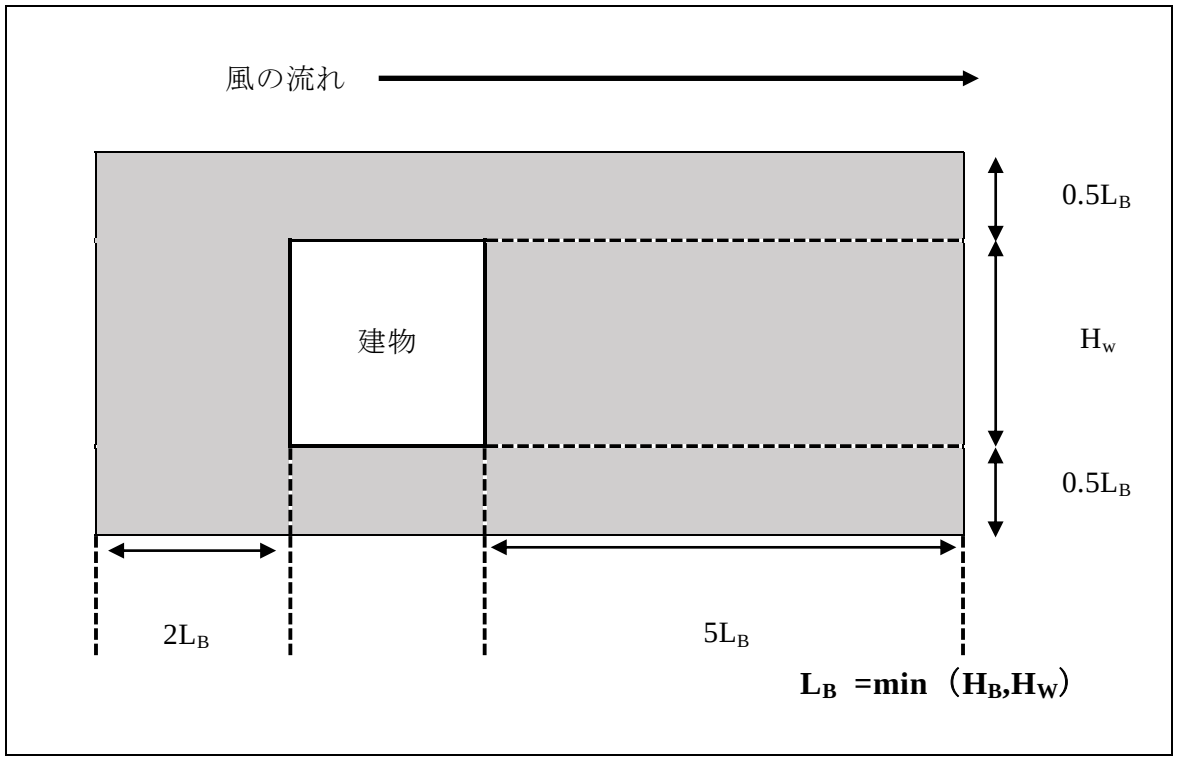
図 8.1-9に示す網掛けの範囲内に煙突が存在する時に、影響の可能性ありとされる。風上と風下で範囲が異なる。

②高さに関する影響判定

$Hs < H_B + 1.5L_B$；建物影響あり
$Hs \geqq H_B + 1.5L_B$；建物影響なし

Hs：煙突高さ（m）
H_B ：建物高さ（m）
L_B ：建物高さと風向に直角な面への建物の投影幅のいずれか小さい方（m）

江戸川清掃工場周辺の高い建物としては、西側に高さ41m、幅160mのマンションがある。しかしながら、江戸川清掃工場の煙突高さは150mであり、条件②で建物影響なしと判定される（150m＞H_B＋1.5L_B＝41＋1.5×41＝102.5m）ことから、建物ダウンウォッシュは発生しない。



（L_B：建物高さ H_B と風向に直角な面への建物の投影幅（H_W）のいずれか小さい方の長さ）

図 8.1-9　ISC-PRIME モデルにおける建物影響範囲

以上のことから建物ダウンウォッシュの発生による短期予測は行わない。

なお、特定の建物によるダウンウォッシュの影響ではなく、周辺の複数の建物や地形による影響を把握するために、風洞実験を行った。

(ｲ)　逆転層発生による短期高濃度予測について

気温の鉛直方向の変化を見ると、通常地表面から上空に行くに従って気温が低下している。しかし、放射冷却等の影響により上空の気温が高くなる現象が発生する（逆転層）。

a　上層逆転層発生時

上層逆転層発生時は図 8.1-10に示すとおり、ちょうど上空に蓋（リッド）をしたような状態になり、より上空への拡散は抑制され、このリッドで排出ガスが反射し地上での濃度が高くなる。

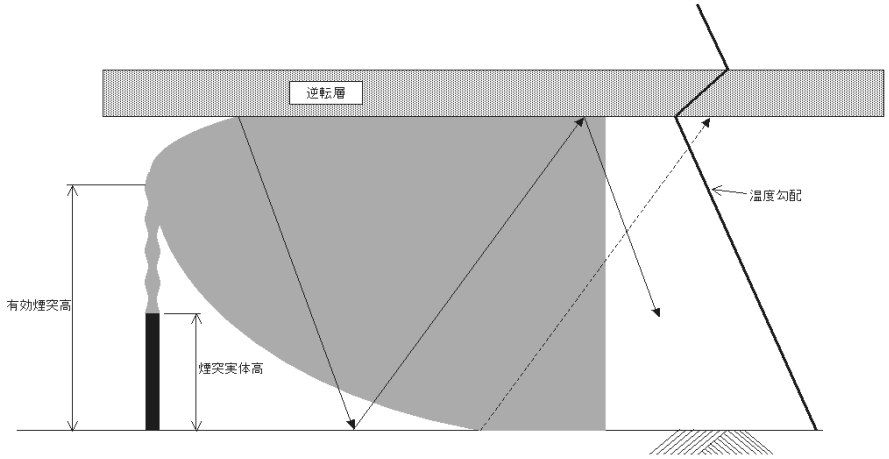


図 8.1-10　逆転層イメージ図

b　接地逆転層崩壊時（フュミゲーション）

夜間の放射冷却等、地表面付近の空気が冷えてできる接地逆転層が存在した場合、地表面温度の上昇による逆転層崩壊時に、排ガスが地表付近の不安定層内に取り込まれ、急激な混合により地上の濃度が高くなる可能性がある。この現象はフュミゲーションと呼ばれる。

(ｳ)　逆転層の発生状況

江戸川清掃工場敷地内で実施した高層気象観測結果を用いて、逆転層発生時の突き抜け判定を行った。突き抜け判定結果は、表 8.1-18(1)及び(2)に示すとおりである。

煙突の上空にある上層逆転層を排煙が突き抜けない場合を対象として、上層逆転層発生時の予測を行った。リッドの高さは、逆転層の下端高度とした。

なお、リッドの高さを決定する場合、以下の式において煙突からの排出ガスが逆転層を突き抜けるかどうか判定し、図 8.1-11に示すとおり、突き抜ける場合は、さらに高度の高い逆転層において同様の判定を行った。

また、接地逆転層を排煙が突き抜けない場合のうち、下端高度が地表面と接しており逆転層崩壊時に地上に高濃度が出現する可能性のある場合を対象として、接地逆転層崩壊時（フュミゲーション）の予測を行った。接地逆転層が崩壊する高さは、接地逆転層の上端高度から設定した。

a　逆転層の突き抜け判定

接地逆転層の突き抜け判定

$\Delta H = 2.9 \times (F/US)^{1/3}$　（有風時）

$\Delta H = 5.0 \times F^{1/4} S^{-3/8}$　　（無風時）

この式から算出される有効煙突高さがその逆転層の上限よりも高い時に突き抜ける。

上層逆転層の突き抜け判定

$Z_1 \leqq 2.0 \times (F/Ub_1)^{1/2}$　（有風時）

$Z_1 \leqq 4 \times F^{0.4} b_1^{-0.6}$　　（無風時）

この式が成立する場合逆転層を突き抜ける。

$b_1 = g \Delta T/T$　（m/s^2）

$F = 3.7 \times 10^{-5} \times Q_H$　（m^4/s^3）

$S = g/T \times d\theta/dz$　（s^{-2}）

Q_H：煙突排出ガスによる排出熱量（cal/s）

U　：煙突高さにおける風速（m/s）

Z_1：貫通される上空逆転層の煙突上端からの高さ（m）

g　：重力加速度（m/s^2）

ΔT：上空逆転層の底と上限の間の温度差（K）

T　：環境大気の温度（K）

$d\theta/dz$：温位傾度（℃/m）

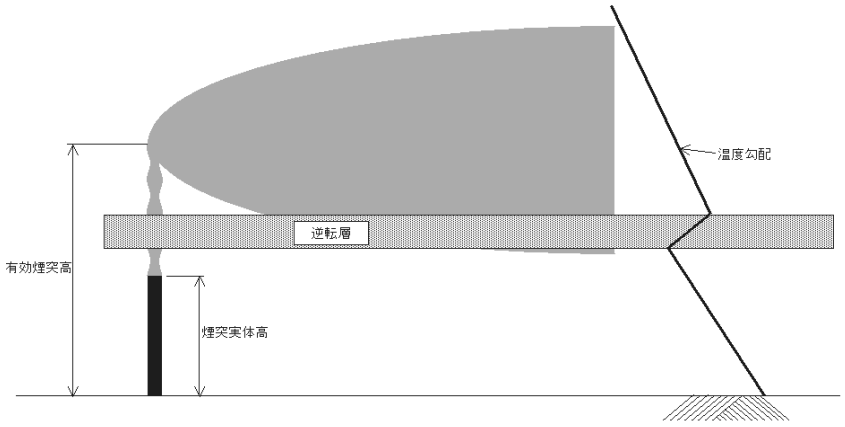


図 8.1-11　煙突排出ガスが逆転層を突き抜ける場合のイメージ図

表 8.1-18(1) 逆転層突き抜け判定結果（夏・秋）

日時（平成28年）		逆転層の状況		逆転層の種類	突き抜け判定		
		逆転層高度(m)	下端と上端の気温差(℃)		接地逆転層	上層逆転層	
7月 25日	15時	1300 ～ 1350	0.1	上層		×	He＜L
	24時	1200 ～ 1250	0.1	上層		×	He＜L
7月 26日	3時	1250 ～ 1300	0.2	上層		×	He＜L
	9時	1300 ～ 1350	0.1	上層		×	He＜L
	24時	250 ～ 300	0.2	上層		×	He≧L
7月 27日	3時			なし			
	15時	1400 ～ 1450	0.4	上層		×	He＜L
	24時	800 ～ 850	0.5	上層		×	He＜L
7月 28日	3時	950 ～ 1050	0.5	上層		×	He＜L
	9時	1300 ～ 1400	0.3	上層		×	He＜L
	15時	200 ～ 250	0.2	上層		○	He≧L
	24時	750 ～ 800	0.1	上層		×	He＜L
7月 29日	3時	1200 ～ 1250	0.3	上層		×	He＜L
	9時	950 ～ 1000	0.3	上層		×	He＜L
	15時	1200 ～ 1250	0.1	上層		×	He＜L
	24時	950 ～ 1050	0.4	上層		×	He＜L
7月 30日	3時	550 ～ 600	0.2	上層		×	He＜L
	9時	1150 ～ 1200	0.2	上層		×	He＜L
	15時	1550 ～ 1600	0.2	上層		×	He＜L
7月 31日	9時	1250 ～ 1300	0.5	上層		×	He＜L
10月 13日	15時	1350 ～ 1450	0.3	上層		×	He＜L
	24時	1350 ～ 1400	0.8	上層		×	He＜L
10月 14日	3時	1300 ～ 1350	1.7	上層		×	He＜L
	9時	550 ～ 600	0.1	上層		×	He＜L
	15時	1300 ～ 1400	0.6	上層		×	He＜L
	24時	1100 ～ 1150	0.1	上層		×	He＜L
10月 15日	3時	100 ～ 300	2.9	接地	×		
	9時	200 ～ 300	0.9	上層		×	He≧L
	15時	1400 ～ 1500	0.6	上層		×	He＜L
	24時	0 ～ 250	3.0	接地	○		
10月 16日	3時	150 ～ 250	2.7	接地	×		
	9時	300 ～ 450	1.3	上層		×	He＜L
	15時			なし			
	24時			なし			
10月 17日	3時	300 ～ 350	0.3	上層		×	He≧L
	9時	750 ～ 850	0.2	上層		×	He＜L
	15時	1550 ～ 1600	0.1	上層		×	He＜L
	24時	200 ～ 350	1.4	上層		×	He≧L
10月 18日	3時	250 ～ 400	0.6	上層		×	He＜L
	9時	400 ～ 500	1.7	上層		×	He＜L

注１）逆転層の区分は次のとおりとした。
接地逆転層：逆転層の下端高度が煙突高さ（150m）以下のもの
上層逆転層：逆転層の下端高度が 200～1,950mのもの
注２）He は有効煙突高さ、L は逆転層下端高度を示す。

表 8.1-18(2)　逆転層突き抜け判定結果（冬・春）

日時（平成29年）		逆転層の状況		逆転層の種類	突き抜け判定		
		逆転層高度（m）	下端と上端の気温差(℃)		接地逆転層	上層逆転層	
1月 19日	15時			なし			
	24時	250 ～ 350	0.7	上層		×	He≧L
1月 20日	3時	150 ～ 250	1.7	接地	×		
	9時	100 ～ 250	1.0	接地	×		
	15時	250 ～ 300	0.3	上層		×	He≧L
	24時	350 ～ 500	1.2	上層		×	He＜L
1月 21日	3時	250 ～ 300	0.6	上層		×	He＜L
	9時	350 ～ 400	0.1	上層		×	He＜L
	15時			なし			
	24時	1000 ～ 1050	0.4	上層		×	He＜L
1月 22日	3時	150 ～ 300	0.7	接地	×		
	9時	200 ～ 350	1.4	上層		×	He≧L
	15時			なし			
	24時			なし			
1月 23日	3時	1650 ～ 1700	0.1	上層		×	He＜L
	9時	850 ～ 900	0.3	上層		×	He＜L
	15時	1250 ～ 1300	0.1	上層		×	He＜L
	24時			なし			
1月 24日	3時	0 ～ 50	0.8	接地	○		
	9時			なし			
3月 13日	15時			なし			
	24時	150 ～ 200	0.6	接地	○		
3月 14日	3時	250 ～ 300	0.6	上層		×	He＜L
	9時	350 ～ 450	0.5	上層		×	He＜L
	15時			なし			
	24時	1450 ～ 1550	0.3	上層		×	He＜L
3月 15日	3時	1550 ～ 1600	0.3	上層		×	He＜L
	9時	650 ～ 700	0.1	上層		×	He＜L
	15時	800 ～ 950	1.0	上層		×	He＜L
	24時	350 ～ 400	0.8	上層		×	He＜L
3月 16日	3時	1550 ～ 1600	0.2	上層		×	He＜L
	9時			なし			
	15時			なし			
	24時	300 ～ 350	0.1	上層		×	He＜L
3月 17日	3時	350 ～ 400	0.7	上層		×	He＜L
	9時			なし			
	15時			なし			
	24時			なし			
3月 18日	3時	800 ～ 850	0.2	上層		×	He＜L
	9時	1700 ～ 1750	0.5	上層		×	He＜L

注１）逆転層の区分は次のとおりとした。
　　接地逆転層：逆転層の下端高度が煙突高さ（150m）以下のもの
　　上層逆転層：逆転層の下端高度が 200～1,950mのもの
注２）He は有効煙突高さ、L は逆転層下端高度を示す。

b　調査方法等

調査は江戸川清掃工場周辺の高層気象に係る特性を把握し、大気拡散予測に必要なデータを得ることを目的として江戸川清掃工場敷地内で実施した。

調査は下記に示す各季節５日間、気温及び風向・風速の鉛直分布調査が行われた。なお、夏季については、天候不良により放球できなかった回については日程を延長して実施した。

夏季：平成28年７月25日～７月31日
秋季：平成28年10月13日～10月18日
冬季：平成29年１月19日～１月24日
春季：平成29年３月13日～３月18日

GPSゾンデによる高層気象観測方法概念は、図 8.1-12に示すとおりである。

GPSゾンデによる高層気象観測は、ヘリウムガスを充填して放球し、上層気温及び上層風を観測した。

観測は、地上50ｍから50ｍ毎に2,000ｍまでの40高度とし、１日４回、３時、９時、15時及び24時に実施した。

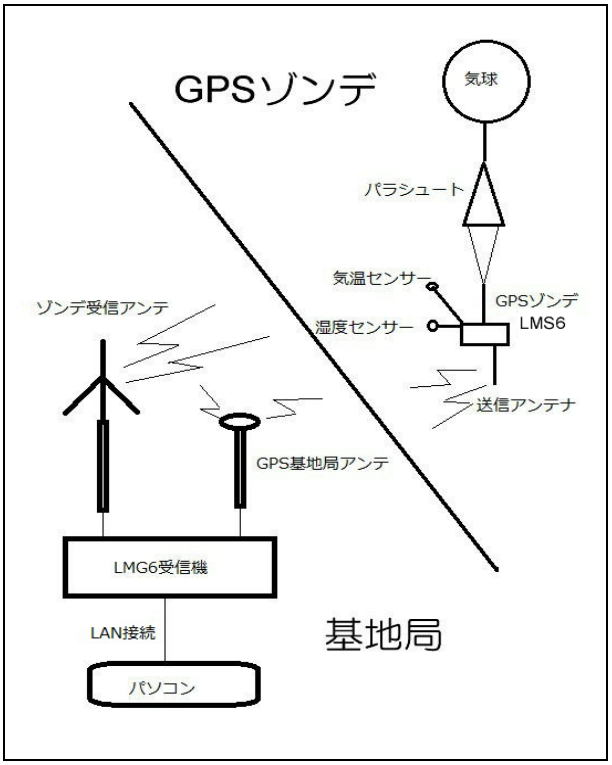


図 8.1-12　GPS ゾンデによる高層気象観測方法概念図

(ｴ)　大気安定度

大気安定度は、高層気象観測時の江戸川清掃工場における地上風速測定結果と東京管区気象台における雲量・日射量の測定結果を用い、表 8.1-13に示すパスキルの大気安定度階級分類表に従って分類した。

(オ)　二酸化硫黄の予測濃度

以上のことより、高層気象調査期間中における気象条件を用いて二酸化硫黄の予測を行った。

a　上層逆転層発生時

上層逆転層発生時の予測結果は、表 8.1-20(1)及び(2)に示すとおりである。予測結果で最も高濃度となったのは、平成29年１月22日９時における気象条件であるため、この気象条件を用いて他の項目についても予測を行った。

なお、この際の逆転層の下端の高さ（リッド高さ）は200ｍとなった。

b　接地逆転層崩壊時（フュミゲーション）

高層気象観測期間中に接地逆転層を排煙が突き抜けない場合は５回出現した。

なお、接地逆転層崩壊時に地上で高濃度が出現する可能性のある下端高度が地表面と接している場合は出現しなかったが、接地逆転層を排煙が突き抜けない場合全てについて予測を行った。

接地逆転層崩壊時（フュミゲーション）の予測結果は、表 8.1-19に示すとおりである。

予測結果で最も高濃度となったのは、平成29年１月22日３時における気象条件であるため、この気象条件を用いて他の項目についても予測を行った。

表 8.1-19　接地逆転層崩壊時（フュミゲーション）の二酸化硫黄の予測結果

日時（平成28年）		有効煙突高さ（m）	地上風速（m/s）	逆転層の上端高度（m）	逆転層気温勾配（℃/100m）	最大着地濃度地点（m）	予測濃度（二酸化硫黄）（ppm）
10月 15日	3時	236	2.9	300	1.5	6,470	0.00106
10月 16日	3時	218	3.1	250	2.7	13,780	0.00099

日時（平成29年）		有効煙突高さ（m）	地上風速（m/s）	逆転層の上端高度（m）	逆転層気温勾配（℃/100m）	最大着地濃度地点（m）	予測濃度（二酸化硫黄）（ppm）
1月 20日	3時	231	4.3	250	1.7	7,250	0.00084
1月 20日	9時	249	5.1	250	0.7	3,170	0.00084
1月 22日	3時	285	1.7	300	0.5	1,470	0.00216

注）網掛けは、最大濃度出現時を示す。

(カ)　接地逆転層崩壊時（フュミゲーション）の拡散係数と渦電導度

接地逆転層崩壊時（フュミゲーション）の予測において、用いた水平方向の拡散幅（σ_{yc}）、鉛直方向の拡散幅（σ_{zc}）及び渦電導度（k）を図 8.1-13 及び図 8.1-14 に示す。

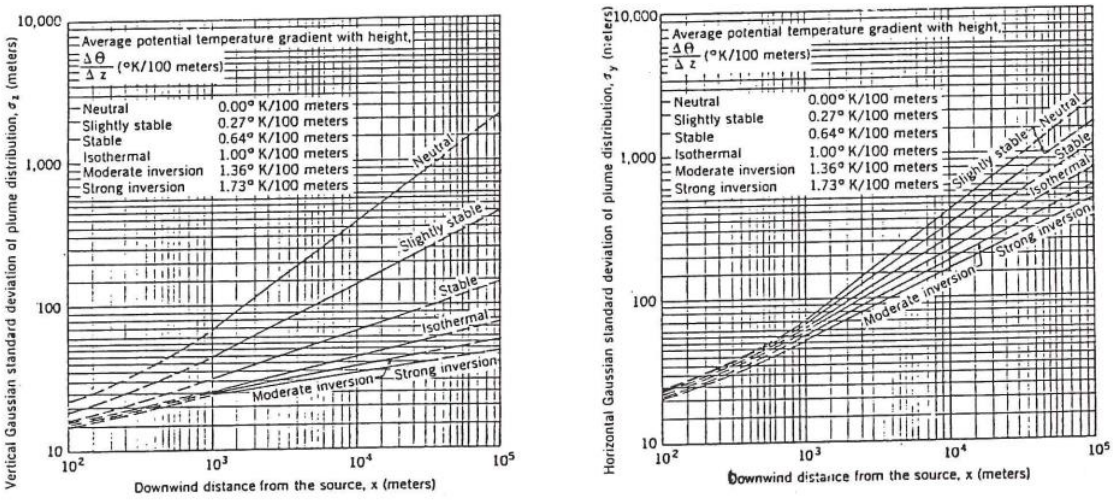


図 8.1-13　カーペンターらの煙の拡がり幅

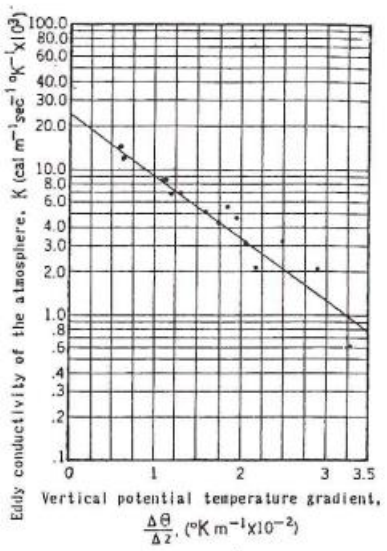


図 8.1-14　渦伝導度

表 8.1-20(1)　二酸化硫黄の予測結果（夏季・秋季）

日時（平成28年）		有効煙突高さ（m）	高層150m風速（m/s）	逆転層の下端高度（m）	大気安定度	最大着地濃度地点（m）	予測濃度（二酸化硫黄）（ppm）
7月 25日	15時	320	2.2	1,300	B	2,050	0.00026
7月 25日	24時	296	2.7	1,200	D	17,490	0.00006
7月 26日	3時	305	2.5	1,250	D	18,430	0.00006
7月 26日	9時	270	3.5	1,300	D	14,840	0.00006
7月 26日	24時	250	4.4	250	D	12,900	0.00012
7月 27日	3時	逆転層出現なし					
7月 27日	15時	217	7.7	1,400	D	10,000	0.00005
7月 27日	24時	259	4.0	800	D	13,720	0.00006
7月 28日	3時	263	3.8	950	D	14,130	0.00006
7月 28日	9時	255	4.2	1,300	B	1,660	0.00021
7月 28日	15時	232	5.8	200	上層逆転層を突き抜ける		
7月 28日	24時	263	3.8	750	E	20,000	0.00001
7月 29日	3時	285	3.0	1,200	G	20,000	<0.00001
7月 29日	9時	251	4.4	950	B	1,640	0.00020
7月 29日	15時	253	4.3	1,200	B	1,650	0.00020
7月 29日	24時	279	3.2	950	F	20,000	<0.00001
7月 30日	3時	296	2.7	550	F	20,000	<0.00001
7月 30日	9時	315	2.3	1,150	B	2,020	0.00026
7月 29日	15時	238	5.3	1,550	A-B	910	0.00026
7月 31日	9時	229	6.1	1,250	C-D	5,190	0.00010
10月 13日	15時	235	5.6	1,350	D	11,500	0.00005
10月 13日	24時	228	6.2	1,350	D	10,950	0.00005
10月 14日	3時	225	6.6	1,300	D	10,000	0.00005
10月 14日	9時	270	3.5	550	C	3,530	0.00017
10月 14日	15時	273	3.4	1,300	B	1,770	0.00023
10月 14日	24時	340	1.9	1,100	G	20,000	<0.00001
10月 15日	3時	239	5.2	100	上層逆転層出現なし		
10月 15日	9時	200	4.3	200	B	1,340	0.00062
10月 15日	15時	320	2.2	1,400	A-B	1,100	0.00040
10月 15日	24時	268	3.6	0	上層逆転層出現なし		
10月 16日	3時	221	7.1	150	上層逆転層出現なし		
10月 16日	9時	263	3.8	300	B-C	2,630	0.00031
10月 16日	15時	逆転層出現なし					
10月 16日	24時	逆転層出現なし					
10月 17日	3時	300	2.0	300	D	17,920	0.00016
10月 17日	9時	285	3.0	750	D	16,330	0.00006
10月 17日	15時	534	0.8	1,550	D	2,570	0.00021
10月 17日	24時	200	5.4	200	D	9,310	0.00017
10月 18日	3時	215	7.9	250	D	11,900	0.00007
10月 18日	9時	268	3.6	400	B	2,020	0.00024

注）有効煙突高さが逆転層下端高度を超える場合は、有効煙突高さ＝逆転層下端高度とした。

表 8.1-20(2) 二酸化硫黄の予測結果（冬季・春季）

日時（平成29年）		有効煙突高さ（m）	高層150m風速（m/s）	逆転層の下端高度（m）	大気安定度	最大着地濃度地点（m）	予測濃度（二酸化硫黄）（ppm）
1月 19日	15時	逆転層出現なし					
1月 19日	24時	250	3.7	250	D	12,900	0.00014
1月 20日	3時	235	5.6	150	上層逆転層出現なし		
1月 20日	9時	243	4.9	100	上層逆転層出現なし		
1月 20日	15時	250	3.1	250	D	12,900	0.00017
1月 20日	24時	207	9.5	350	D	9,960	0.00004
1月 21日	3時	204	10.3	250	D	11,040	0.00005
1月 21日	9時	205	10.0	350	D	9,770	0.00004
1月 21日	15時	逆転層出現なし					
1月 21日	24時	300	2.6	1,000	G	20,000	<0.00001
1月 22日	3時	320	2.2	150	上層逆転層出現なし		
1月 22日	9時	200	3.3	200	C	2,550	0.00065
1月 22日	15時	逆転層出現なし					
1月 22日	24時	逆転層出現なし					
1月 23日	3時	194	13.3	1,650	D	8,880	0.00004
1月 23日	9時	211	8.7	850	D	10,000	0.00005
1月 23日	15時	192	14.4	1,250	D	8,700	0.00004
1月 23日	24時	逆転層出現なし					
1月 24日	3時	219	7.3	0	上層逆転層出現なし		
1月 24日	9時	逆転層出現なし					
3月 13日	15時	逆転層出現なし					
3月 13日	24時	255	4.2	150	上層逆転層出現なし		
3月 14日	3時	237	5.4	250	D	12,760	0.00010
3月 14日	9時	211	8.6	350	D	10,000	0.00005
3月 14日	15時	逆転層出現なし					
3月 14日	24時	211	8.7	1,450	D	10,000	0.00005
3月 15日	3時	208	9.2	1,550	D	9,920	0.00005
3月 15日	9時	208	9.3	650	D	9,890	0.00005
3月 15日	15時	237	5.4	800	C	3,060	0.00014
3月 15日	24時	257	4.1	350	D	16,090	0.00006
3月 16日	3時	320	2.2	1,550	G	20,000	<0.00001
3月 16日	9時	逆転層出現なし					
3月 16日	15時	逆転層出現なし					
3月 16日	24時	210	8.8	300	D	10,000	0.00005
3月 17日	3時	228	6.2	350	D	11,520	0.00005
3月 17日	9時	逆転層出現なし					
3月 17日	15時	逆転層出現なし					
3月 17日	24時	逆転層出現なし					
3月 18日	3時	235	5.6	800	G	20,000	<0.00001
3月 18日	9時	253	4.3	1,700	B-C	2,270	0.00018

注１）網掛けは、最大濃度出現時を示す。
注２）有効煙突高さが逆転層下端高度を超える場合は、有効煙突高さ＝逆転層下端高度とした。

ケ　風洞実験を用いた周辺建物による排ガスの拡散への影響の検討

計画地周辺はおおむね平坦な地形となっているが、中層及び高層の共同住宅等があることから、風洞実験により地形及び周辺建物の影響の程度を把握した。

風洞実験においては、定量拡散実験及び煙流し実験を行った。風洞実験の概要は、表 8.1-21に示すとおりである。

表 8.1-21　風洞実験の概要

項　目		内　容
風洞設備		電力中央研究所　乱流輸送モデリング風洞
実験実施年月		平成 29 年１月～３月
模型の縮尺、作成範囲		縮尺：1/2,000 作成範囲：東西、南北方向に全長約 12km の範囲
実験内容		①　煙流し実験 地形及び周辺建物の影響を受けた排ガス上昇過程で生じるダウンドラフト等の有無を観察し、建物影響等が懸念される風速を強風時風速として設定した。 風向：４方向（東西南北） 風速：煙突風下で排煙下端に間欠的な排煙の巻落としが見られる強風時風速１ケースとした。 ②　定量拡散実験（地表濃度測定） 地形及び周辺建物の影響を受けた条件の下での高濃度（１時間値）を風洞実験で予測し、地形及び周辺建物の影響を考慮した際の地表面上の最大着地濃度及びその出現距離を求めるための実験を行った。 風向：４方向（東西南北） 風速：市川行徳駅前測定局の平均風速を高度150m相当に補正した風速及び強風時風速の２ケースとした。
実験条件	煙源条件	・煙突高さ：150m ・排ガス温度：190℃ ・湿り排出ガス量：205,100m^3N/h ・排出ガス吐出速度：25m/s
	気象条件	①煙流し実験 ・風向：東西南北の４方位 ・風速：強風時風速[注1)] 8.0m/s ②定量拡散実験（地表濃度測定） ・風向：東西南北の４方位＋平板 ・風速：平均風速[注2)] 3.7m/s、 強風時風速 8.0m/s

注１）強風時風速は、建物影響の懸念される風速を風洞実験により設定した。
注２）平均風速は、近傍の市川行徳駅前測定局の平成 27 年度における年平均風速 2.2m/s（高度 11.5m）より、高度 150 mに補正した風速である。

(ｱ)　実験内容

a　煙流し実験

地形模型上で実煙突高さから上向きにガスを放出し、可視化した排煙の挙動を観察した。

排ガスの上昇過程を再現するために、平板上で計算式（CONCAWE式）で求まる有効煙突高さまで排煙が上昇するように流量及び煙突出口径を調整し、上昇噴流により置き換える手法を用いた。これは、煙の上昇は温度浮力によるものと運動量によるものがあるが、風洞実験では温度浮力の再現は困難なため、運動量による上昇のみで再現する手法を採用したためである。

なお、排ガスの拡散過程を再現するため、大気安定度中立をベースに風洞気流を設定した。風速鉛直分布のべき指数は郊外の値である1/5とした。

b　定量拡散実験

計算式（CONCAWE式）より算出される有効煙突高さから水平にガスを放出し、地形模型上の地表濃度を測定して、以下に示すデータを整理した。また、地表煙軸濃度分布のイメージは図 8.1-15に示すとおりである。

・１時間値の軸上濃度分布及び地表濃度分布
・最大濃度比　　α＝Cmax（地形）／Cmax（平板）
・最大濃度距離比　β＝Xmax（地形）／Xmax（平板）

ここで、Cmax；最大着地濃度
Xmax；最大着地濃度出現距離

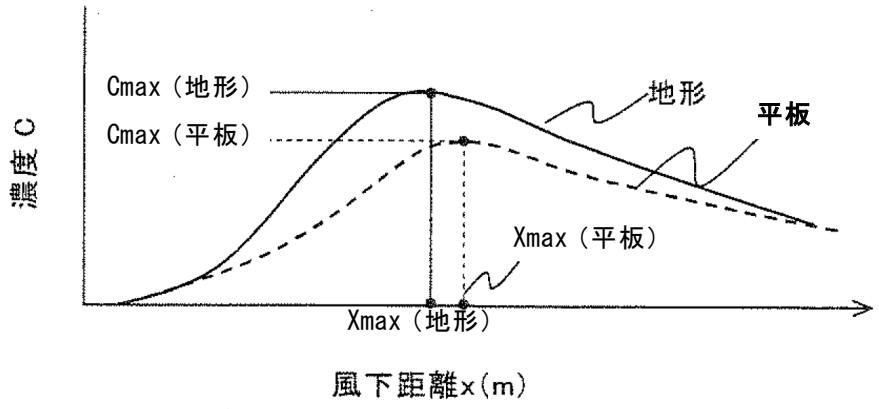


図 8.1-15　地表煙軸濃度分布のイメージ

(ｲ)　実験条件

a　煙源条件

煙源条件は表 8.1-22に示すとおりである。

表 8.1-22　煙源諸元

項　目	諸　元
実煙突高さ	150m
湿り排出ガス量	205,100m^3N/h
排出ガス温度	190℃
排出ガス吐出速度	25m/s
煙突口径（等価口径）	2.2m

b　気象条件

風速条件は表 8.1-23に示すとおり、平均風速と強風時風速の２ケースとした。平均風速は、計画地近傍の測定局のうち、現地気象調査結果と相関（風ベクトルの相関）の高い市川行徳駅前測定局の平均風速を煙突頂部高度150m相当に補正した風速とした。

風向は、東西南北の４風向とした。

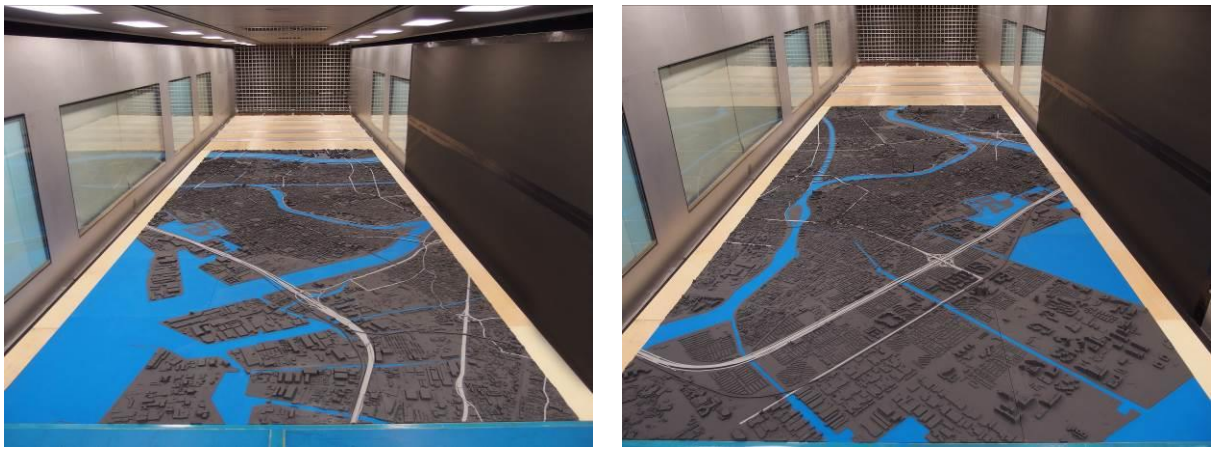
表 8.1-23　風速条件

風速条件	地上（高度 11.5m）	高度 150m
平均風速[注 1)]	2.2m/s	3.7m/s
強風時風速[注 2)]	－	8.0m/s

注１）平均風速は、近傍の市川行徳駅前測定局の平成 27 年度における年平均風速 2.2m/s（高度 11.5m）より、べき指数 1/5 で高度 150mの風速を算出した。
注２）強風時風速は、風洞実験から建物影響が懸念される風速として煙突高さ（高度 150m）において 8.0m/s と設定した。

c　地形模型

作成した地形模型の写真は図 8.1-16、模型範囲は図 8.1-17に示すとおりである。模型範囲は計画地を中心に東西、南北方向に全長約12kmの範囲とした。



（計画地東側から撮影）　　（計画地南側から撮影）

図 8.1-16　地形模型の写真

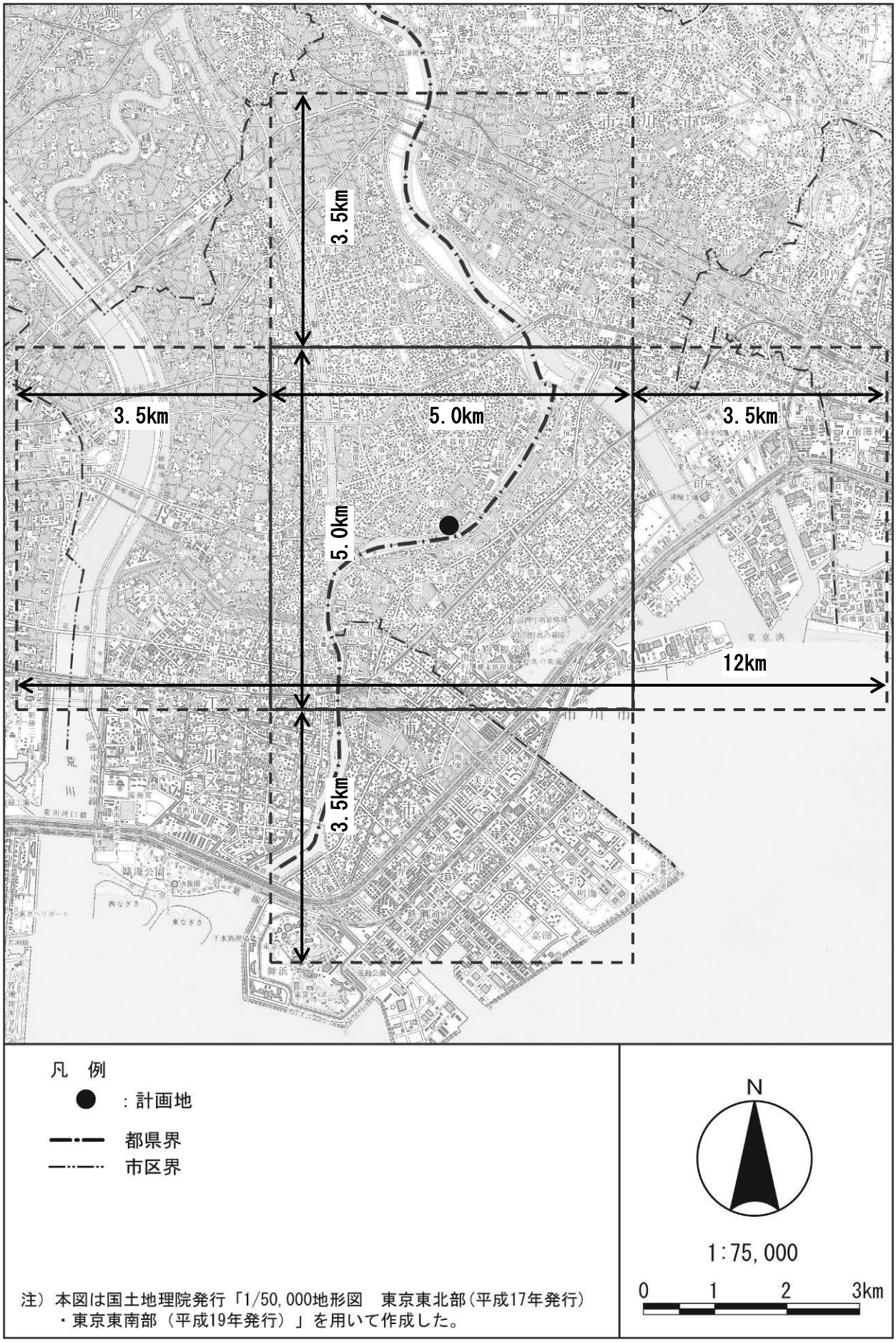


図 8.1-17　地形模型作成範囲

(ｳ)　実験結果

a　地表濃度測定結果

地表濃度の測定結果を、各測定地点における希釈比（Rd）で整理した。

Rd=測定点における着地濃度/煙突出口濃度

平板実験及び地形模型（東西南北の４方位）による地表煙軸濃度分布は、図 8.1-18～図 8.1-25に示すとおりである。

また、平板実験による地表濃度コンターは図 8.1-26及び図 8.1-27に、地形模型による東西南北の地表濃度コンターは図 8.1-28～図 8.1-35に示すとおりである。

b　煙流し実験結果

強風時風速（8.0m/s）における煙流し実験の様子は図 8.1-36(1)～(4)に示すとおりである。排ガスの挙動は地形や周辺建物の影響により上下方向に揺らぐため、各風向において任意の3枚の写真を示した。排ガスの挙動を観察するための目安として、煙突風下約1,000ｍ及び2,000ｍの位置に、鉛直方向50,100,150,200,250,300,400,500ｍの目盛を配置した。

煙流し実験において排煙を可視化しその挙動を観察した結果は以下のとおりである。

いずれの風向（北、南、西、東）においても、排煙の鉛直変動が見られたが、その程度は風向によって大差はなく、排煙が下方に拡散する状況が継続することはなかった。

また、いずれの風向においても、煙突近傍における排煙の巻き込み等は見られなかった。

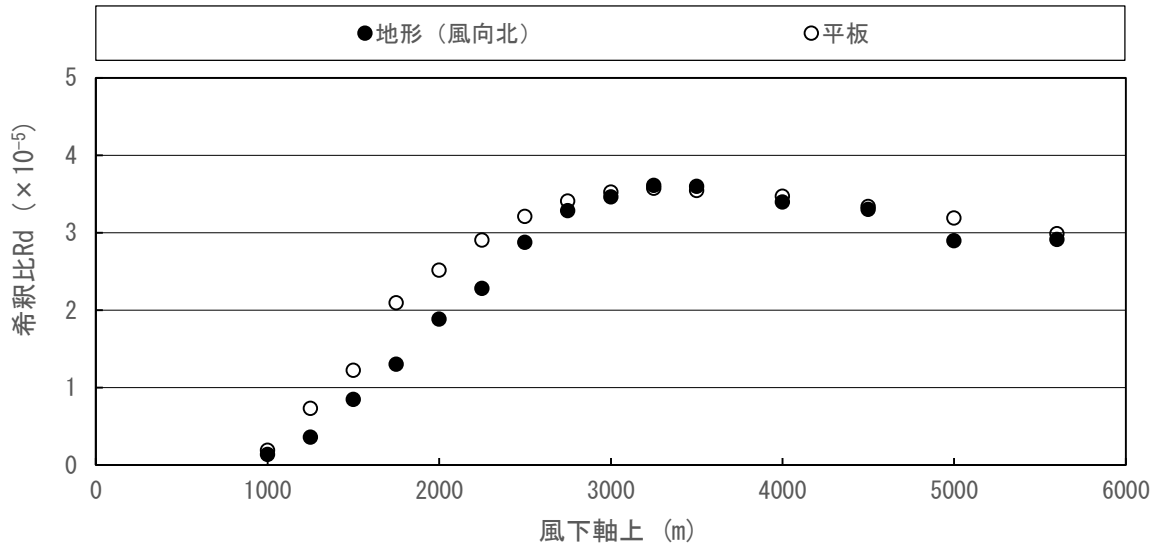


図 8.1-18　地表煙軸濃度分布（風向北、風速 3.7m/s）

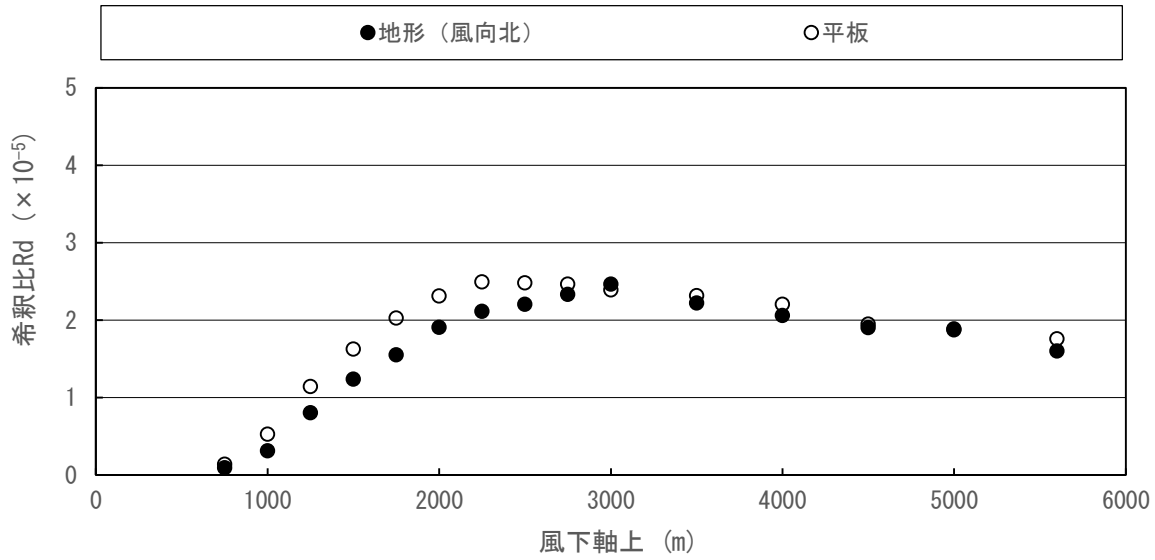


図 8.1-19　地表煙軸濃度分布（風向北、風速 8.0m/s）

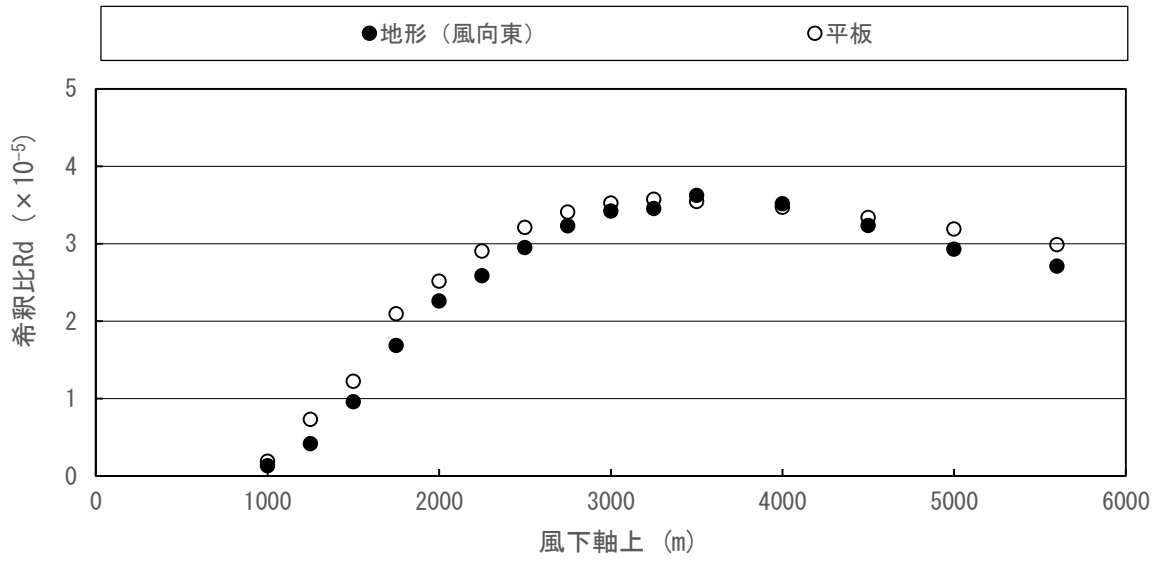


図 8.1-20　地表煙軸濃度分布（風向東、風速 3.7m/s）

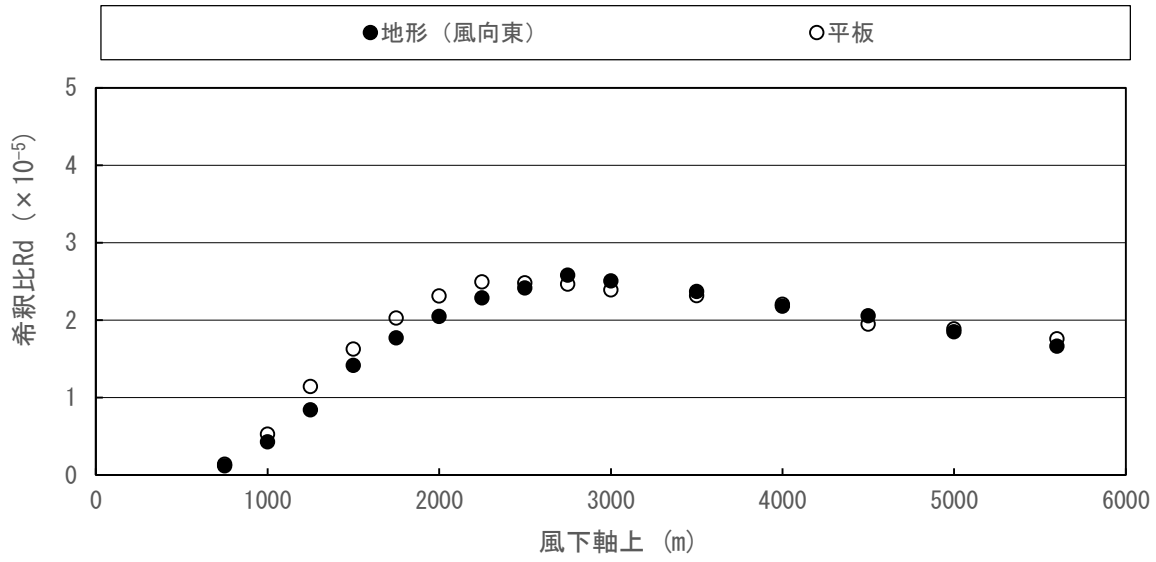


図 8.1-21　地表煙軸濃度分布（風向東、風速 8.0m/s）

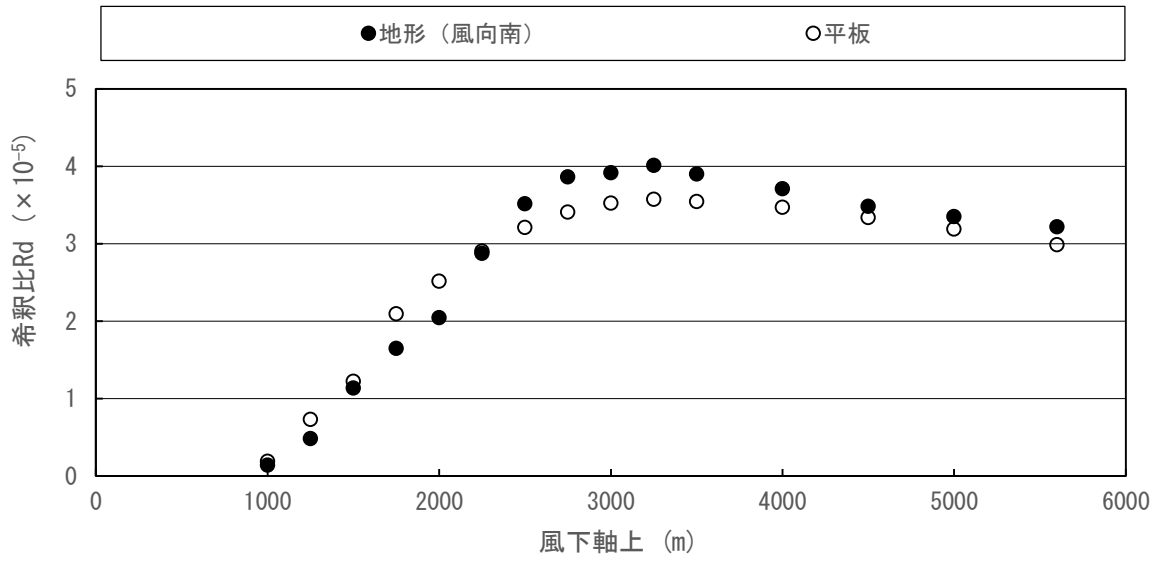


図 8.1-22　地表煙軸濃度分布（風向南、風速 3.7m/s）

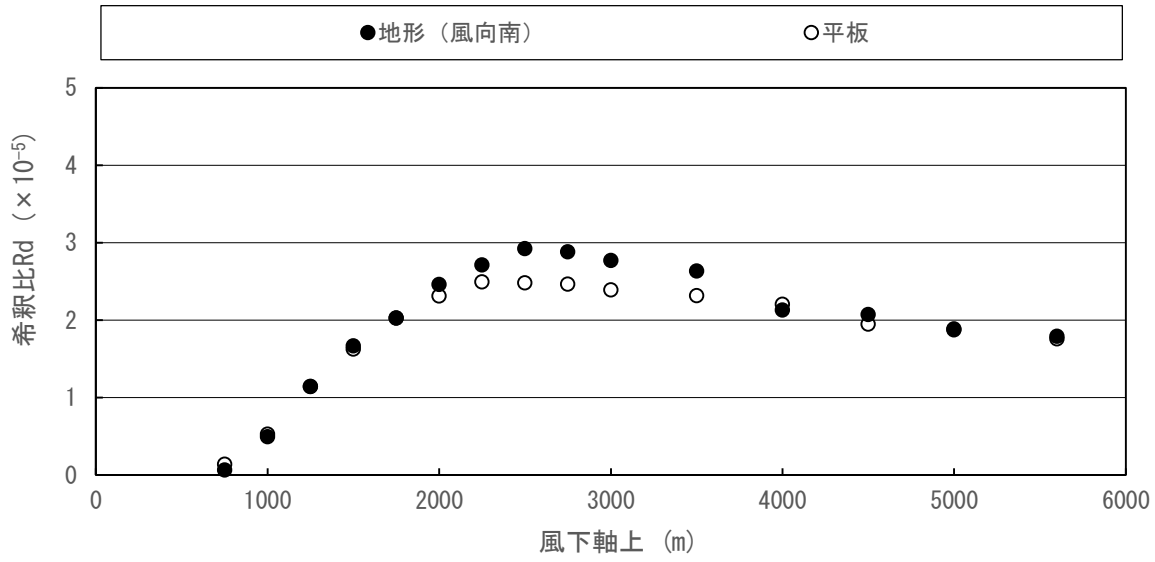


図 8.1-23　地表煙軸濃度分布（風向南、風速 8.0m/s）

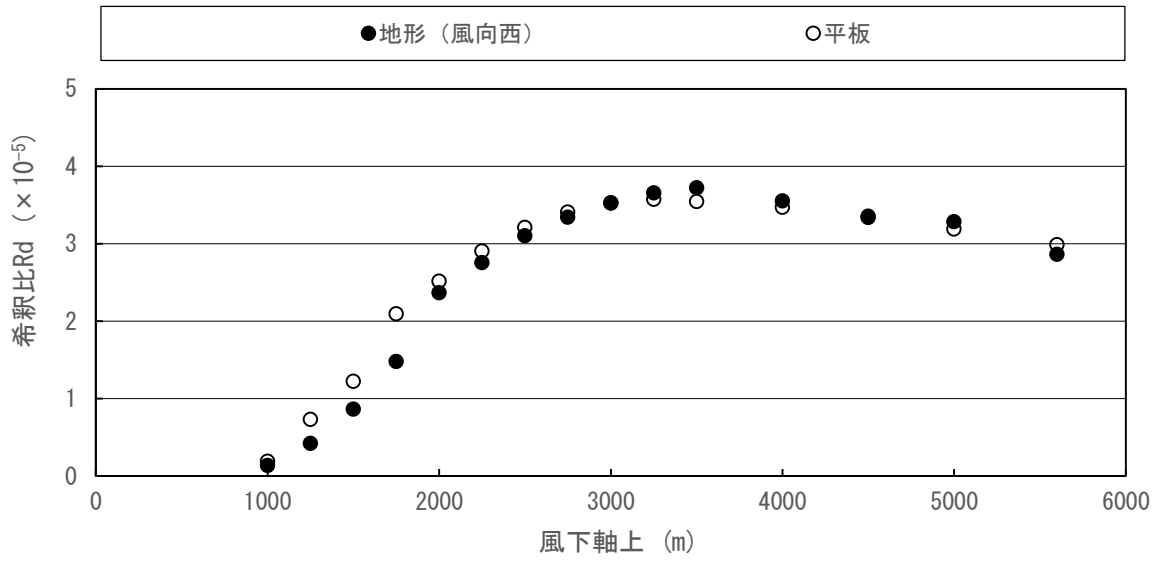


図 8.1-24　地表煙軸濃度分布（風向西、風速 3.7m/s）

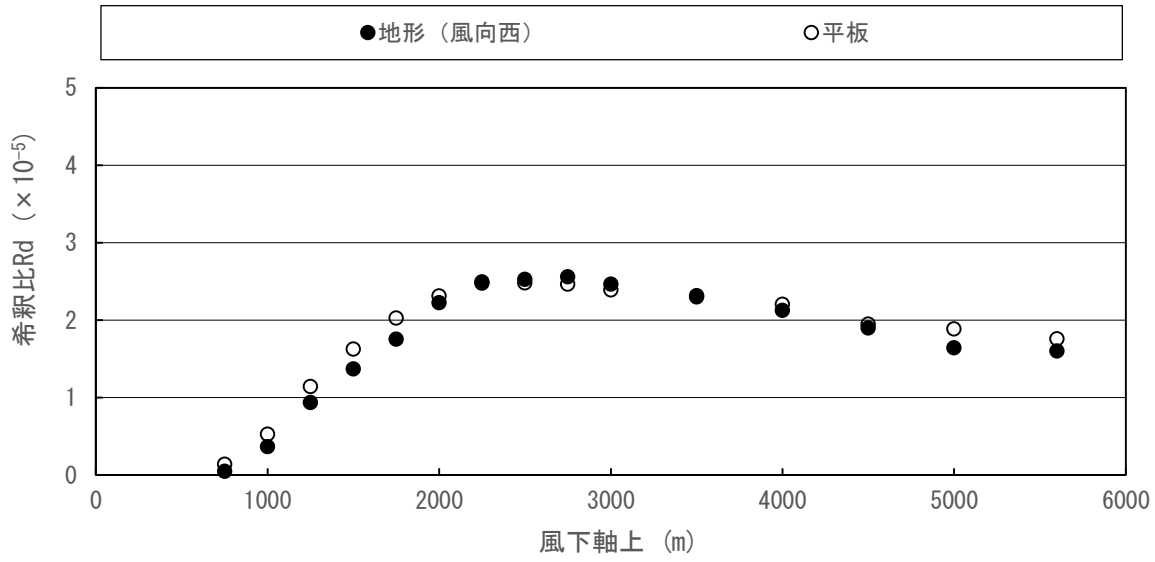


図 8.1-25　地表煙軸濃度分布（風向西、風速 8.0m/s）

平板　平均風速時（3.7m/s）

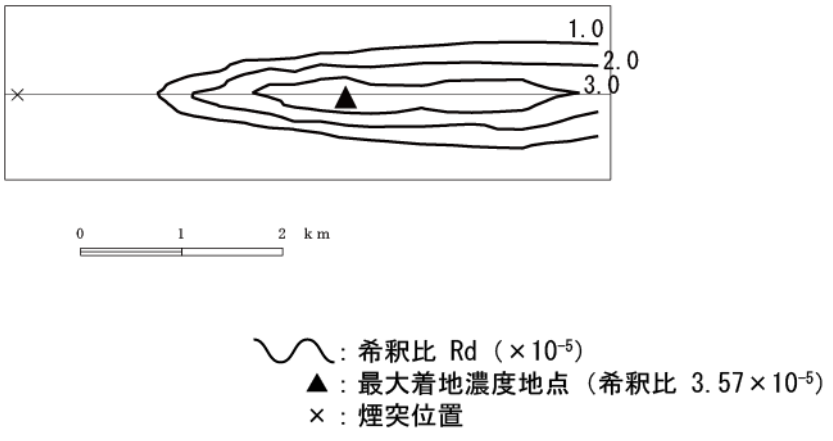


図 8.1-26　地表濃度コンター（平板、風速 3.7m/s）

平板　強風時（8.0m/s）

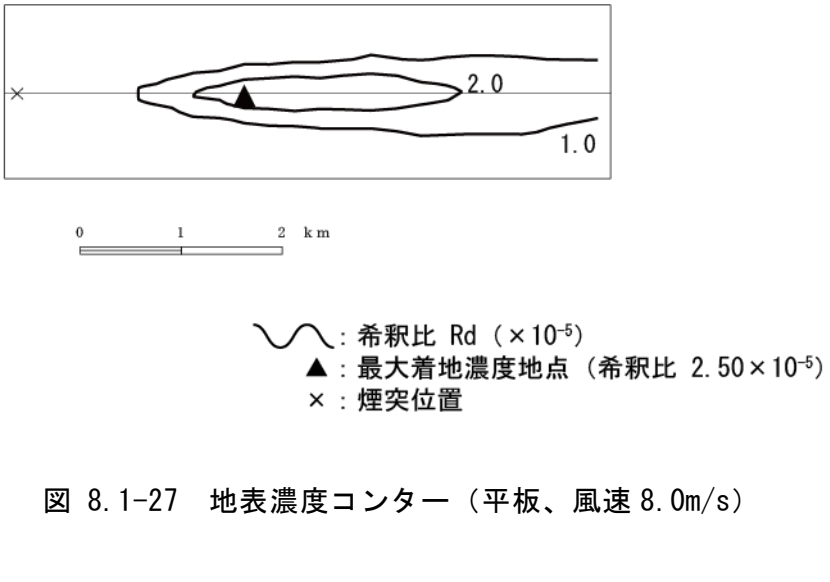


図 8.1-27　地表濃度コンター（平板、風速 8.0m/s）

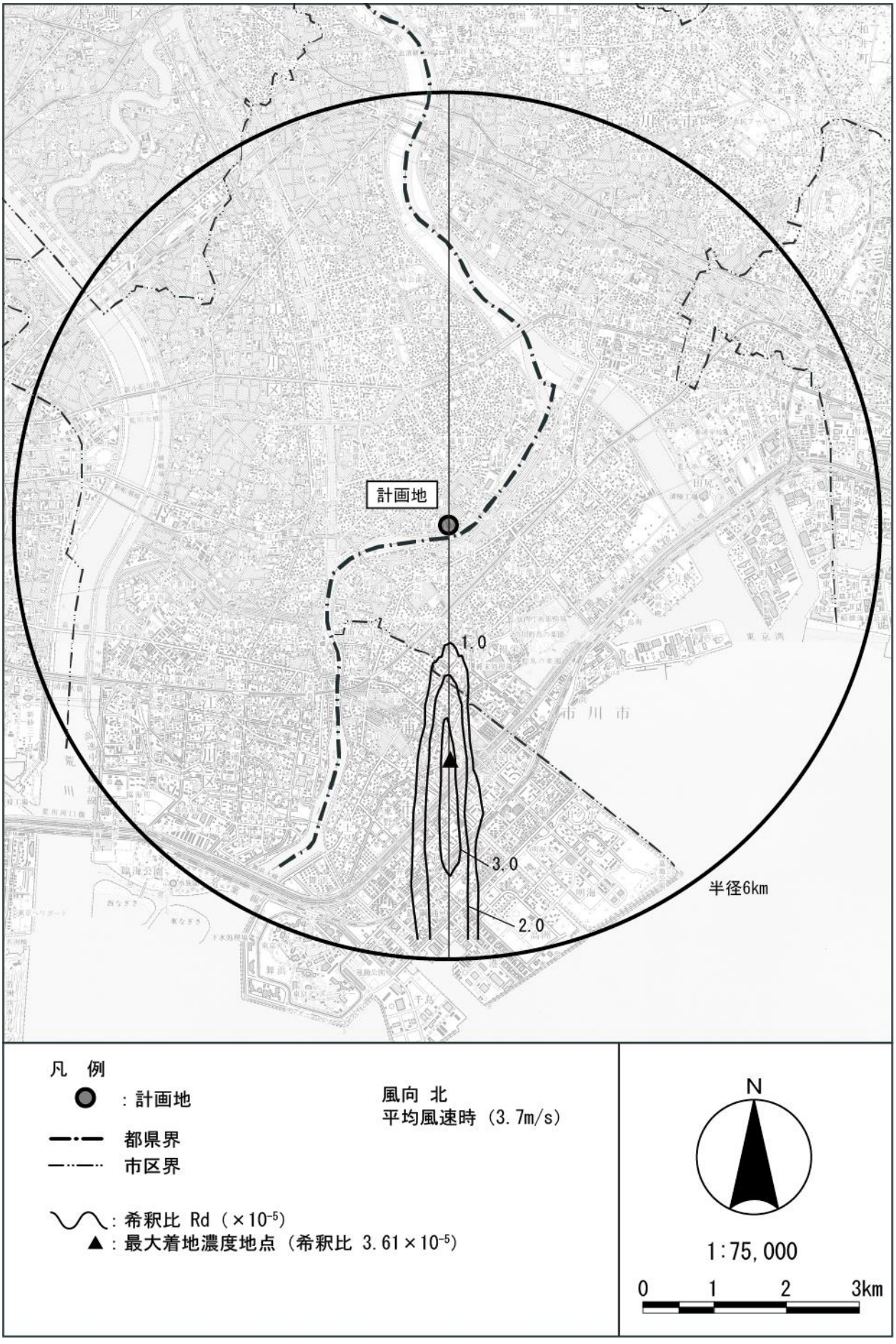


図 8.1-28　地形地表濃度コンター（風向北、風速 3.7m/s）

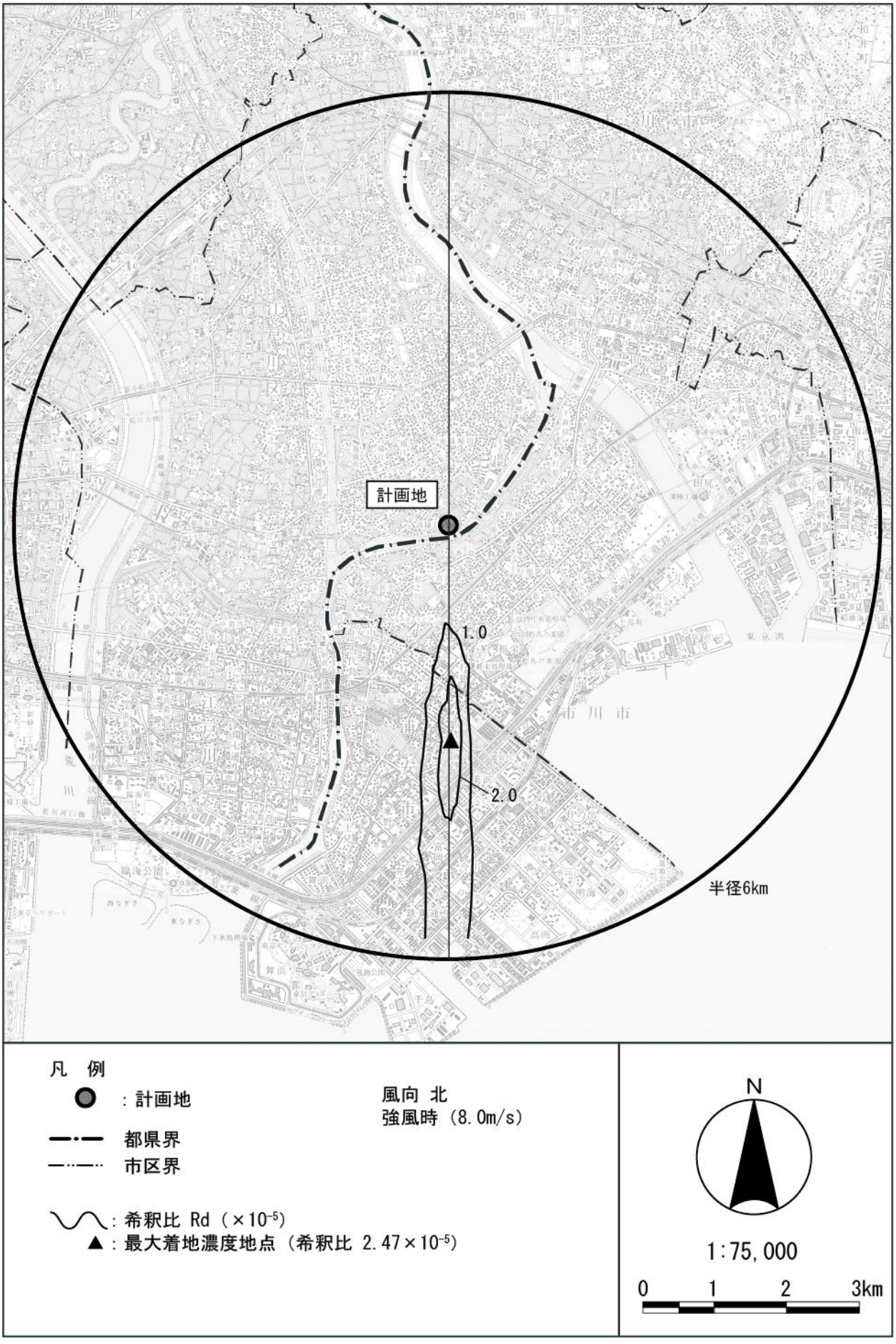


図 8.1-29　地形地表濃度コンター（風向北、風速 8.0m/s）

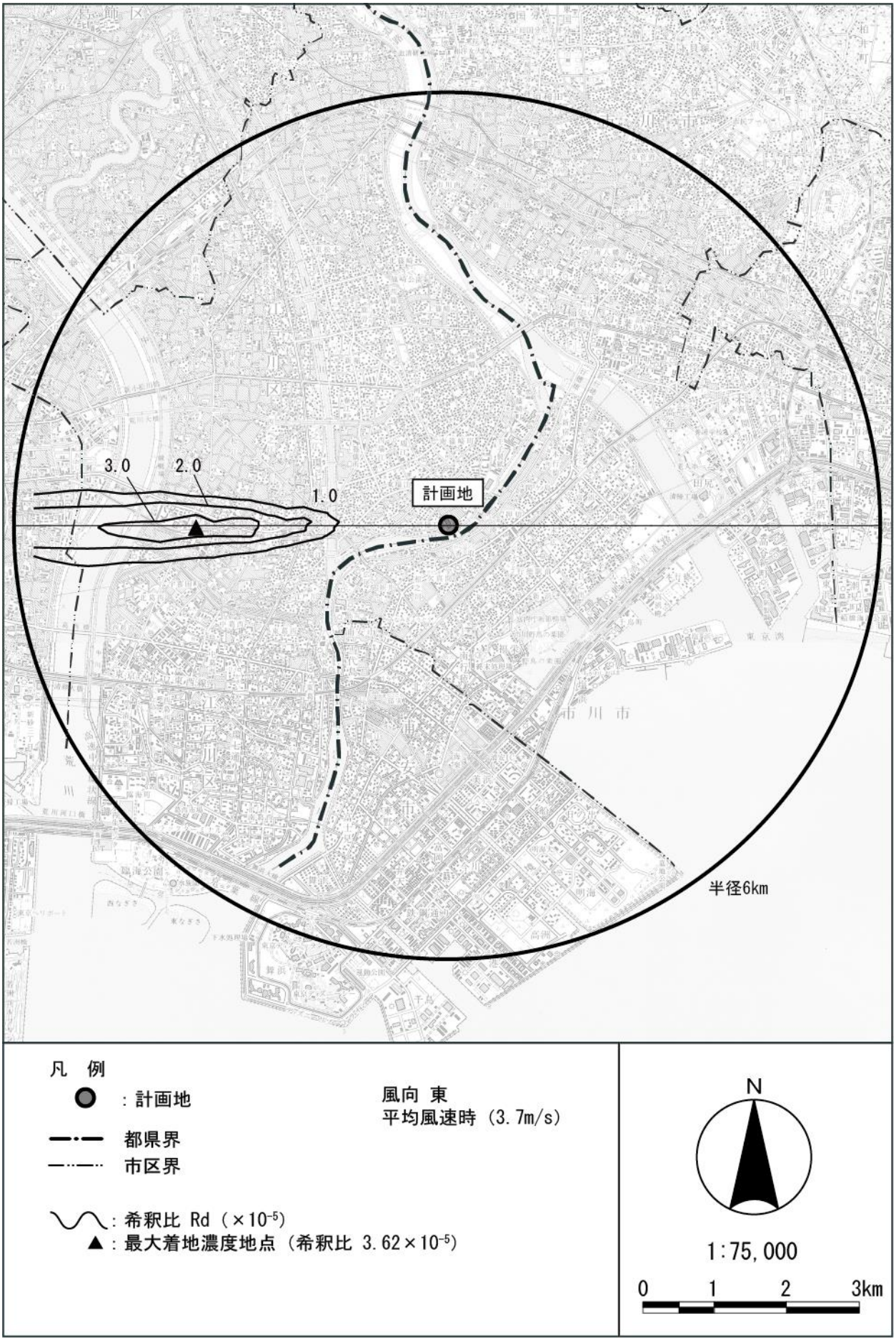


図 8.1-30　地形地表濃度コンター（風向東、風速 3.7m/s）

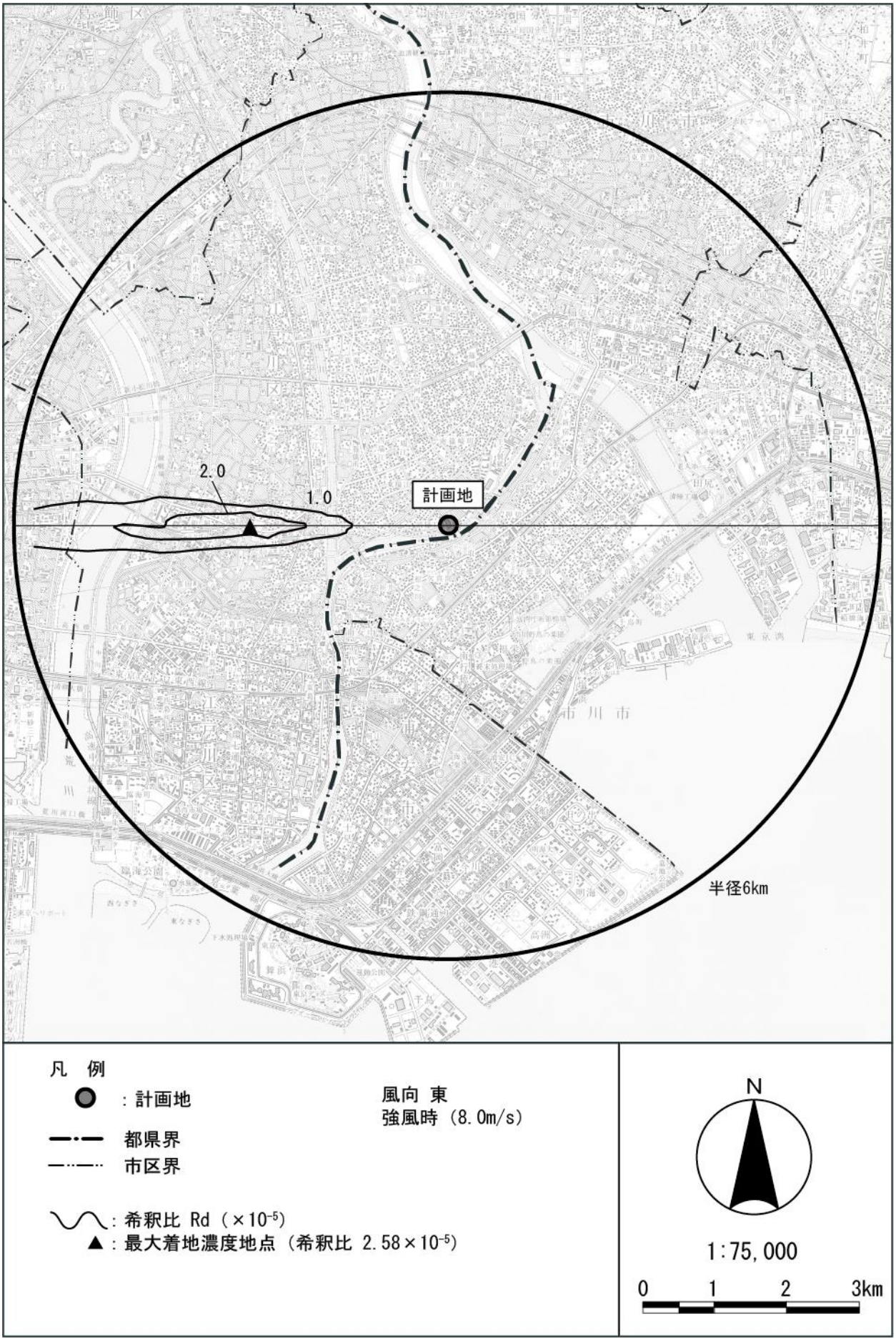


図 8.1-31　地形地表濃度コンター（風向東、風速 8.0m/s）

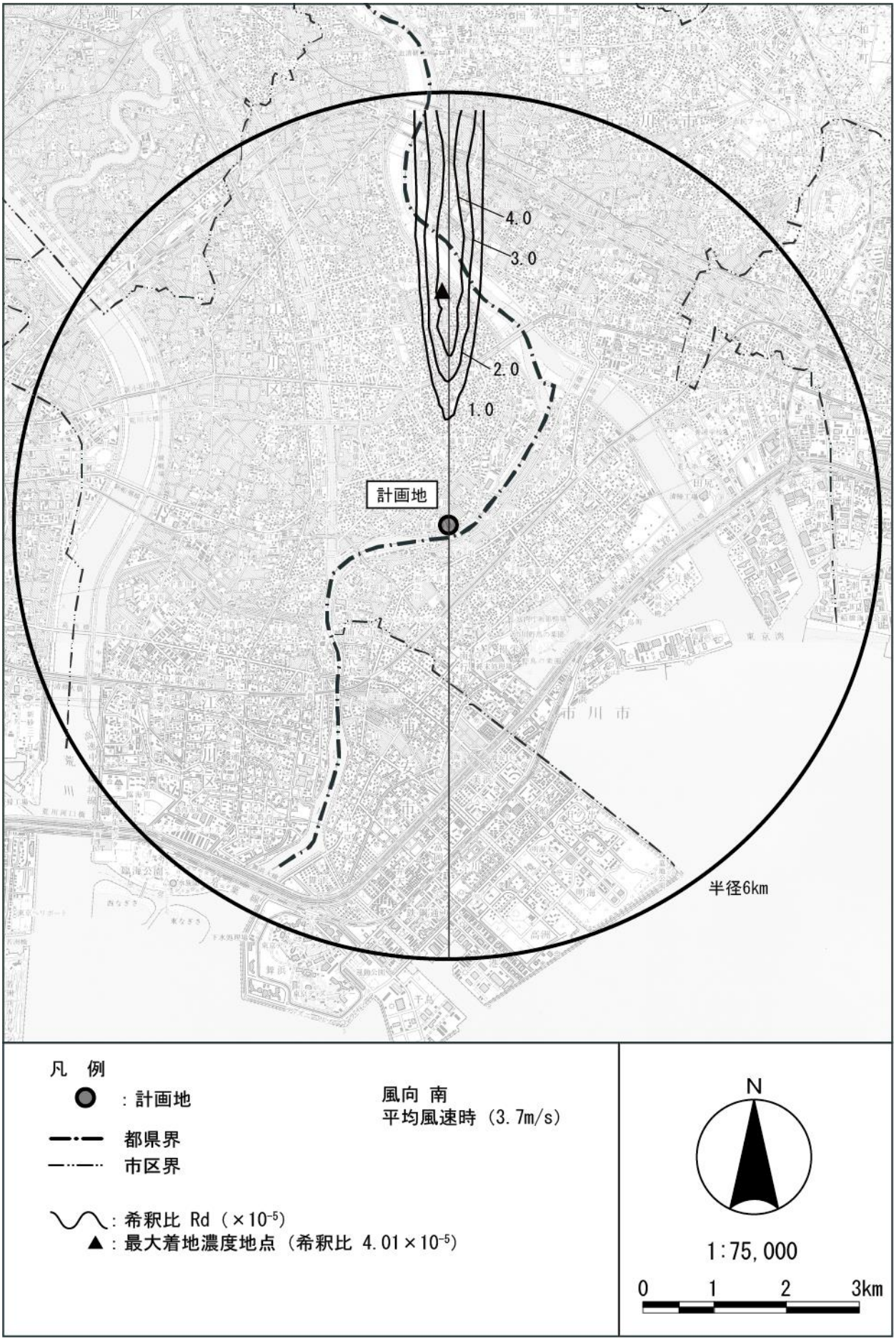


図 8.1-32　地形地表濃度コンター（風向南、風速 3.7m/s）

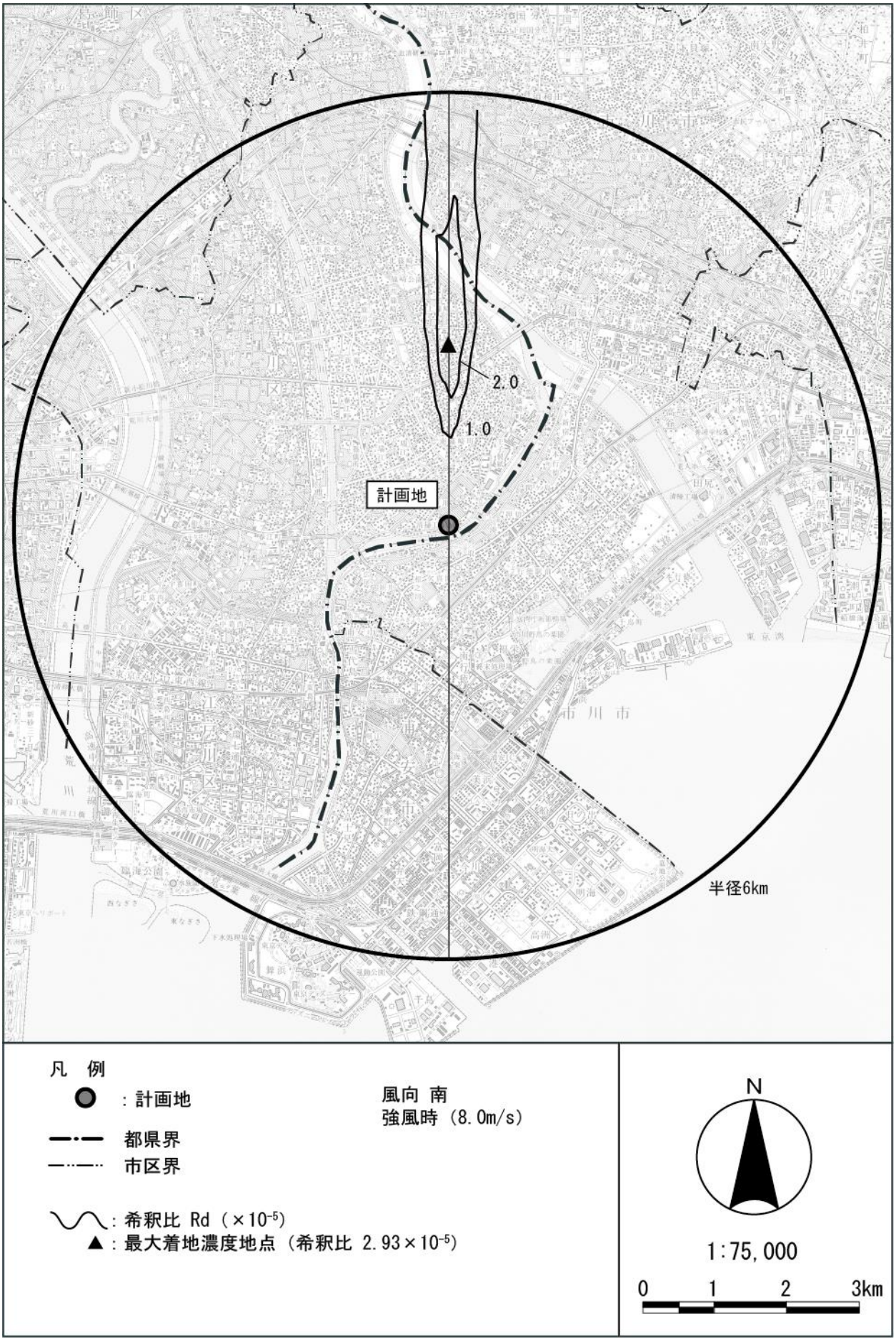


図 8.1-33　地形地表濃度コンター（風向南、風速 8.0m/s）

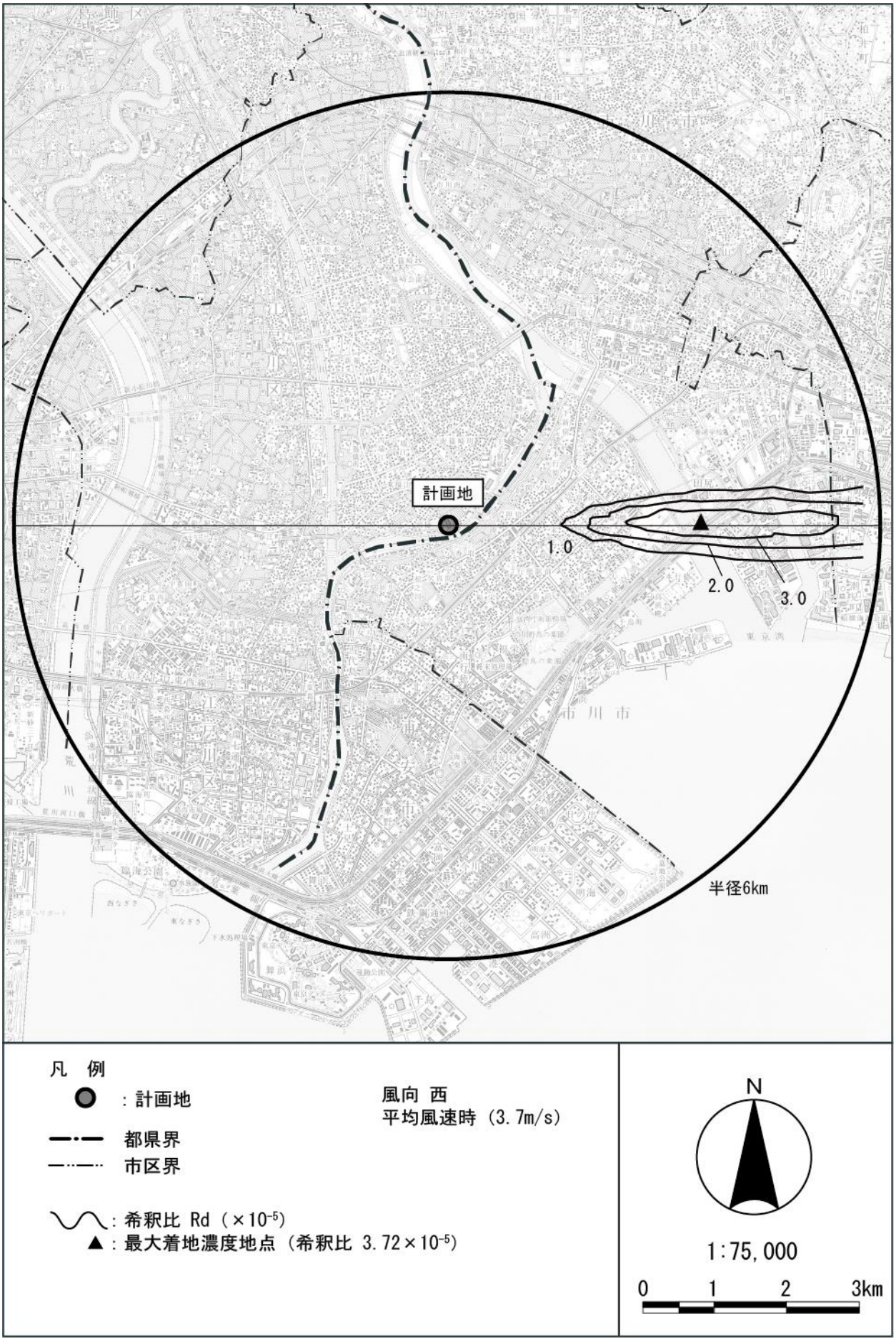


図 8.1-34　地形地表濃度コンター（風向西、風速 3.7m/s）

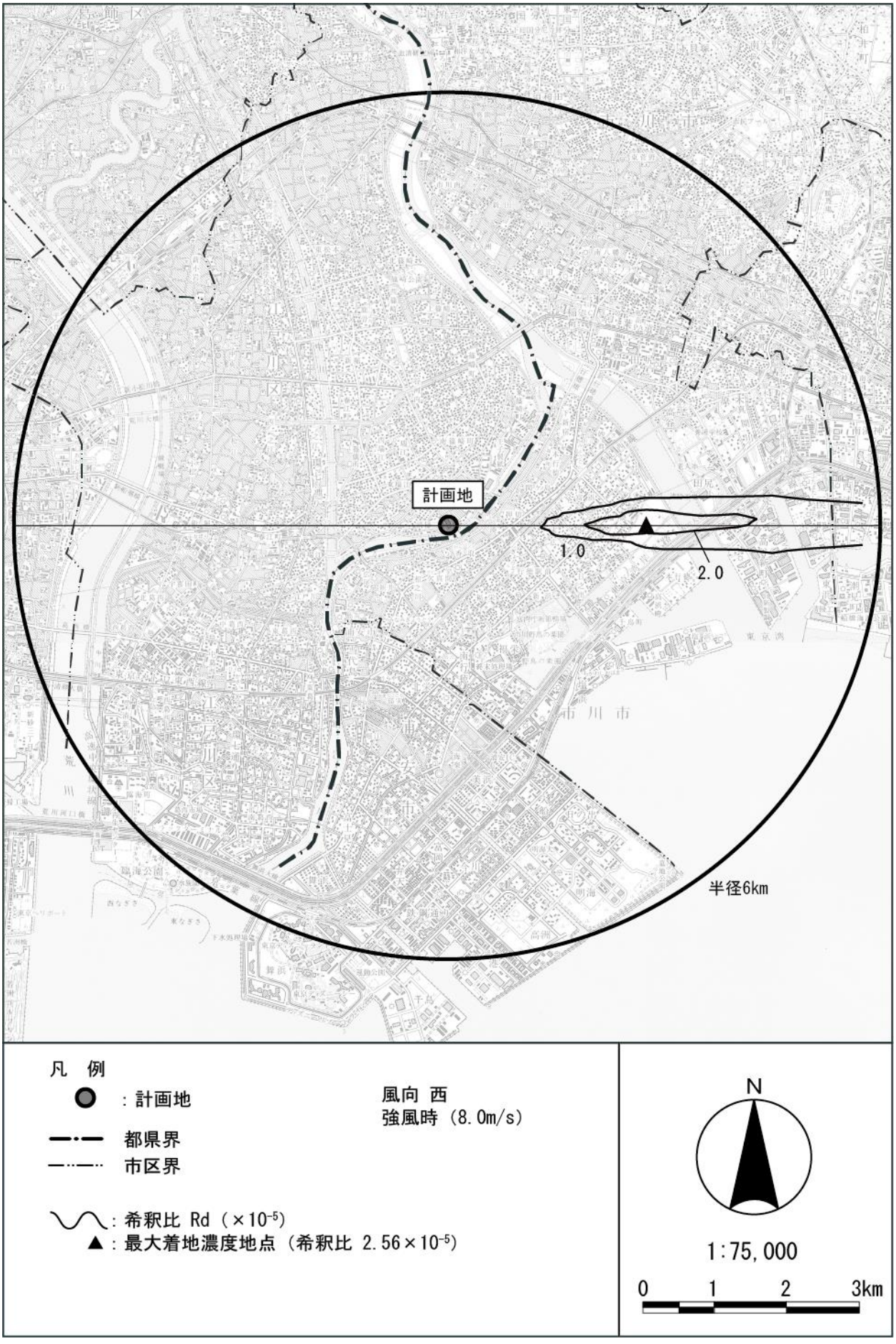


図 8.1-35　地形地表濃度コンター（風向西、風速 8.0m/s）

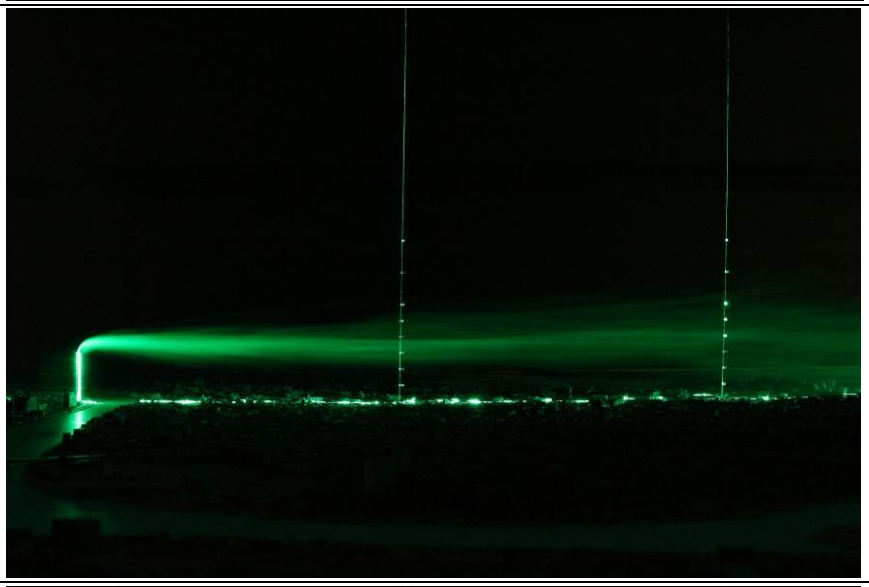
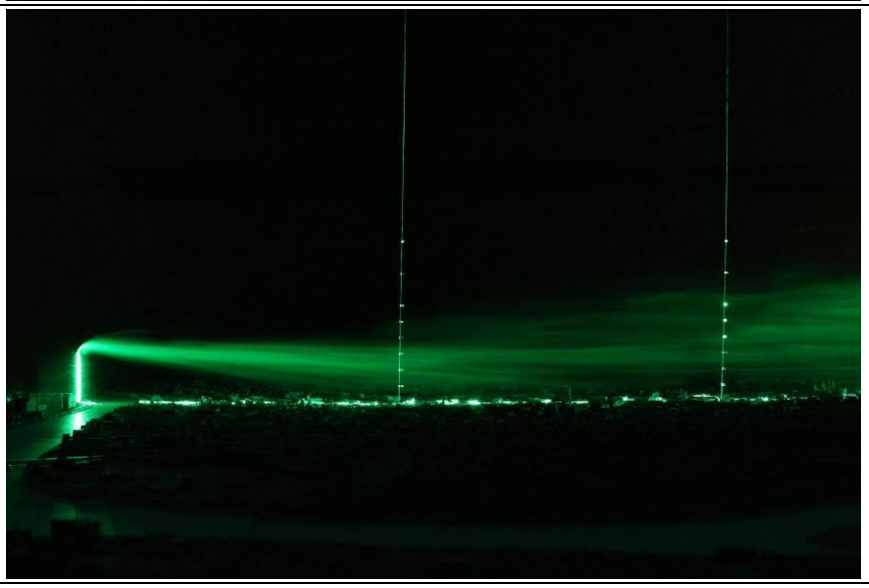
上方に拡散する煙の例	
水平に拡散する煙の例	
下方に拡散する煙の例	

図 8.1-36(1)　煙流し実験結果（風向北、強風時 8.0m/s）

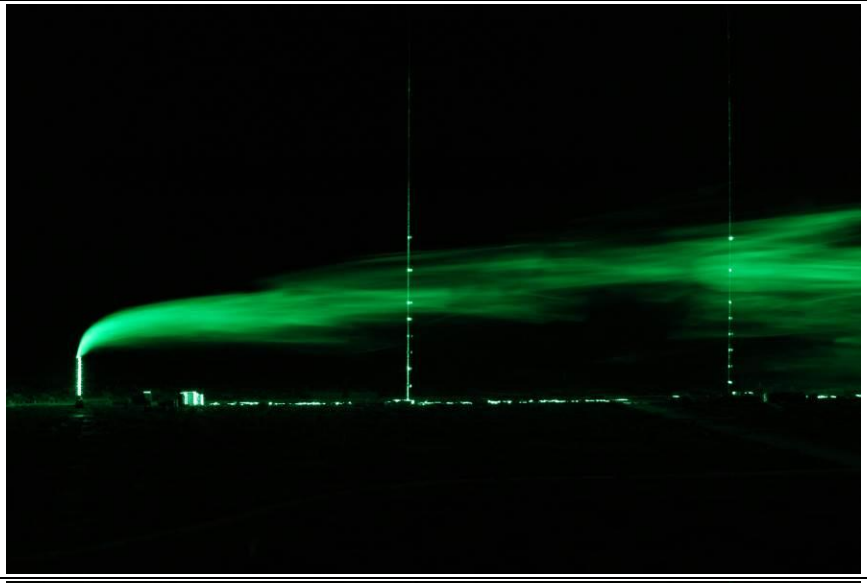
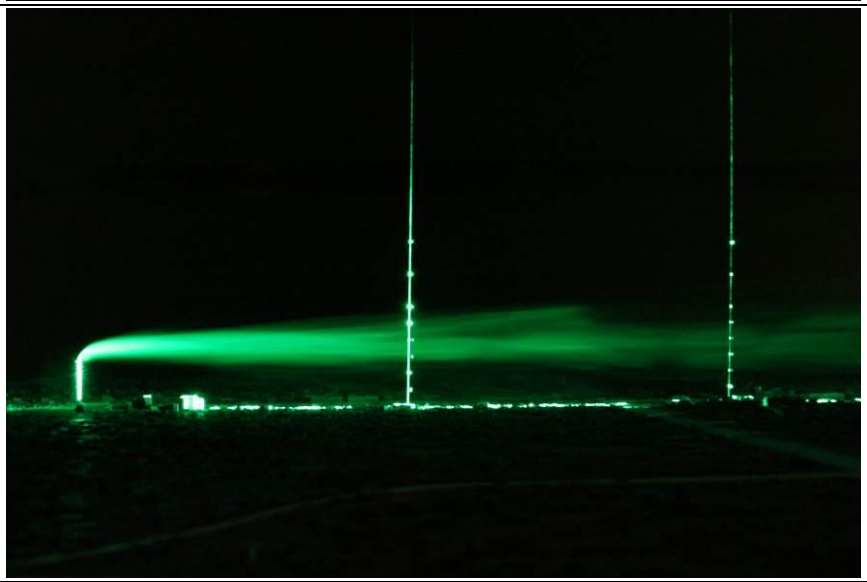
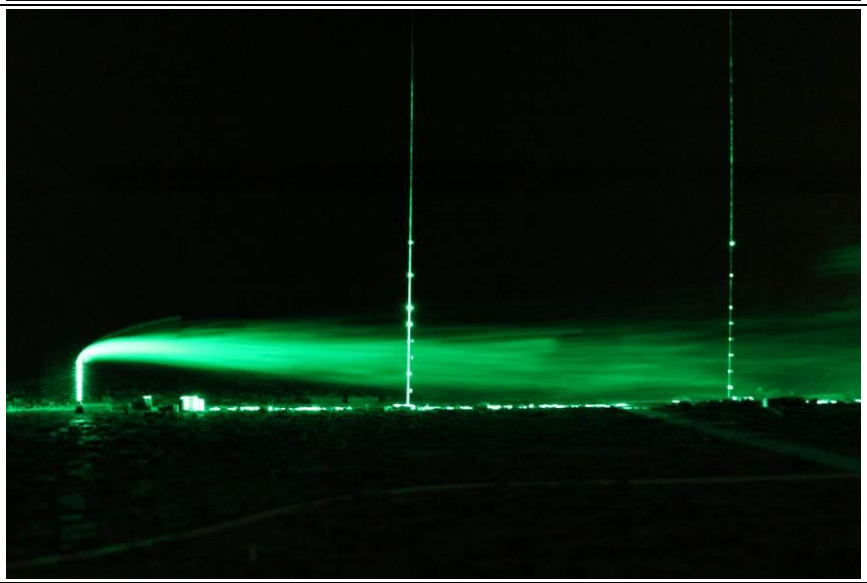
上方に拡散する煙の例	
水平に拡散する煙の例	
下方に拡散する煙の例	

図 8.1-36(2)　煙流し実験結果（風向東、強風時 8.0m/s）

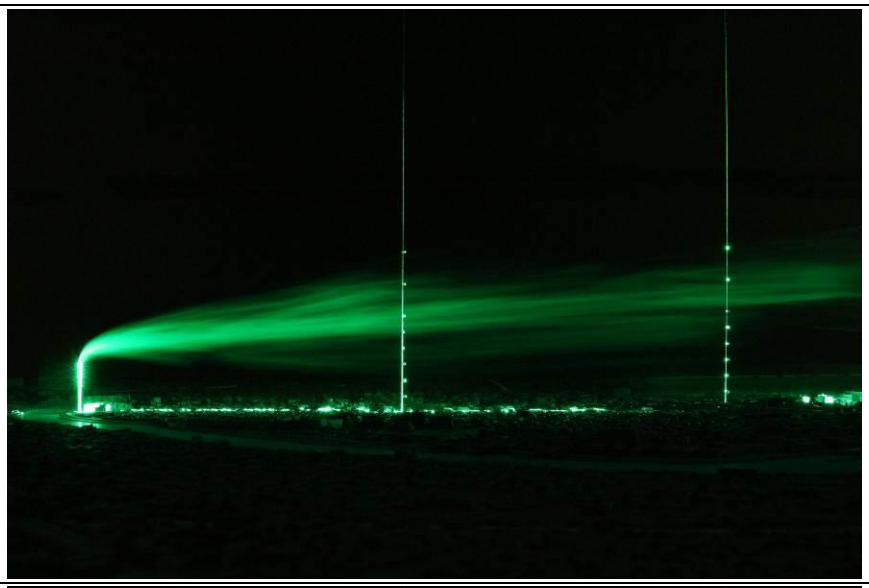
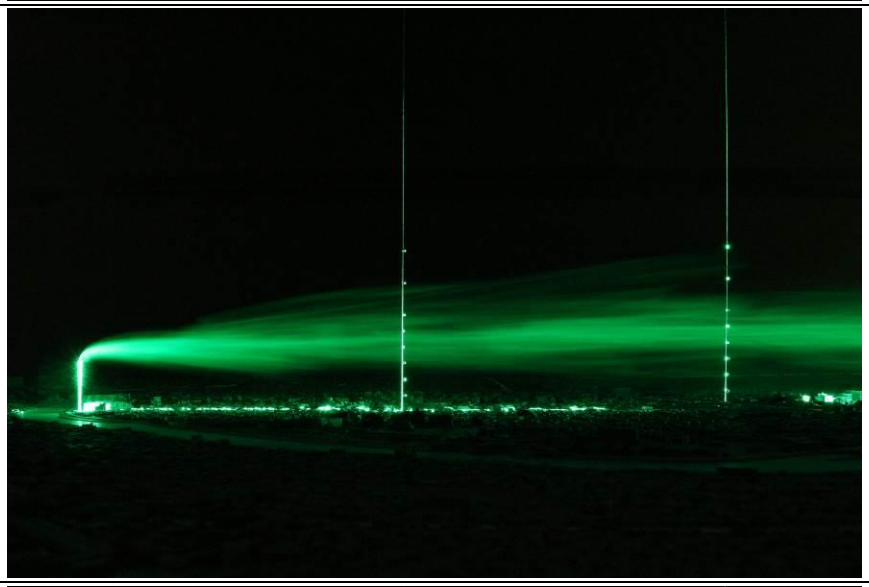
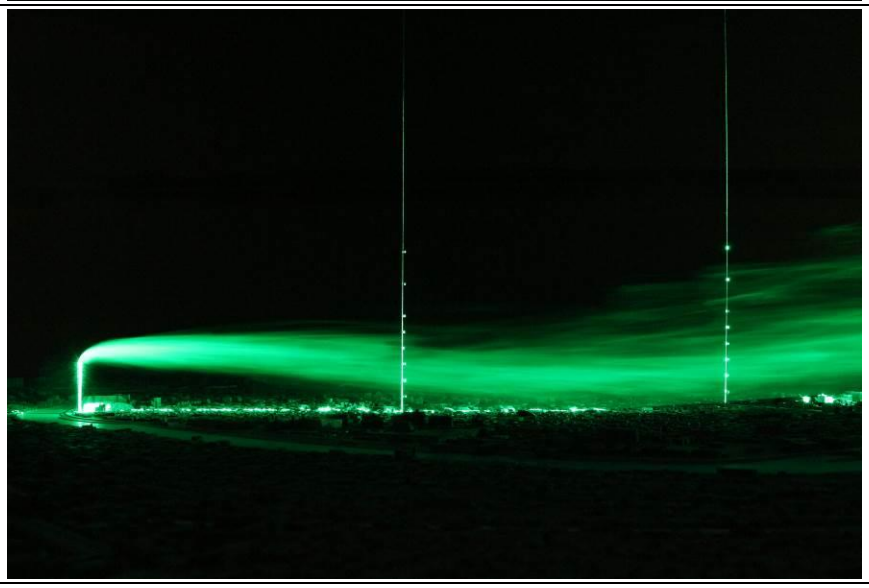
上方に拡散する煙の例	
水平に拡散する煙の例	
下方に拡散する煙の例	

図 8.1-36(3)　煙流し実験結果（風向南、強風時 8.0m/s）

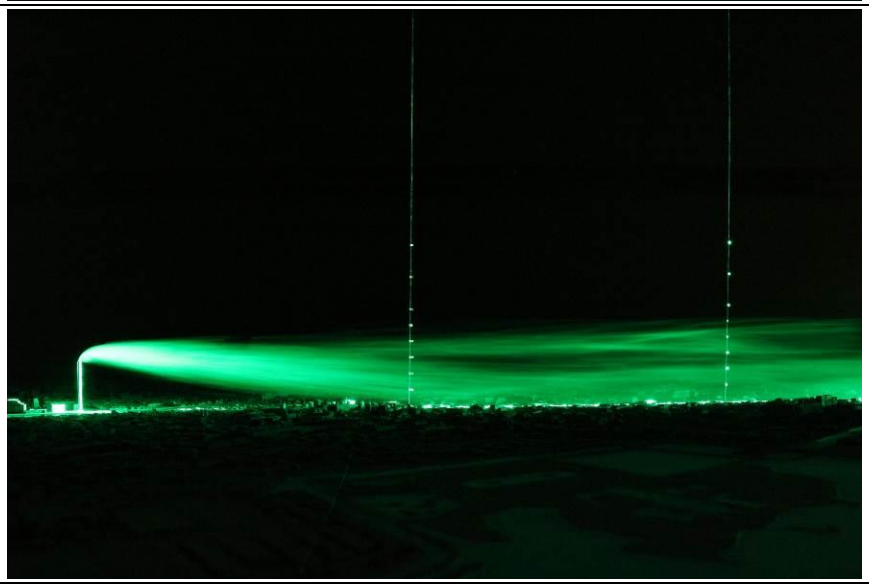
上方に拡散する煙の例	
水平に拡散する煙の例	
下方に拡散する煙の例	

図 8.1-36(4)　煙流し実験結果（風向西、強風時 8.0m/s）

(ｴ)　地形及び周辺建物の影響度

定量拡散実験における平板と地形模型上の最大地上濃度比及び最大地上濃度距離比は、表 8.1-24に示すとおりである。

４風向の中で最大地上濃度比が一番大きい風向は、南となっている。その他の風向では、最大地上濃度比は１に近い値となっている。

風向南では、風下２㎞付近に高さ50ｍ程度のビルが複数存在していることから、その影響で地表濃度が高くなったと考えられる。

表 8.1-24　最大着地濃度及び最大着地濃度出現距離の比較

■風速 3.7m/s

風向	希釈比 ($\times 10^{-5}$)	最大地上濃度距離 (m)	最大地上濃度比 α (地形/平板)	最大地上濃度距離比 β (地形/平板)
平板	3.57	3,250	－	－
風向北	3.61	3,250	1.01	1.00
風向東	3.62	3,500	1.01	1.08
風向南	4.01	3,250	1.12	1.00
風向西	3.72	3,500	1.04	1.08

■風速 8.0m/s

風向	希釈比 ($\times 10^{-5}$)	最大地上濃度距離 (m)	最大地上濃度比 α (地形/平板)	最大地上濃度距離比 β (地形/平板)
平板	2.50	2,250	－	－
風向北	2.47	3,000	0.99	1.33
風向東	2.58	2,750	1.03	1.22
風向南	2.93	2,500	1.17	1.11
風向西	2.56	2,750	1.02	1.22

(オ)　風洞実験結果を考慮した補正係数

プルーム式での計算及び風洞実験による地表煙軸濃度分布は、図 8.1-37～図 8.1-44に示すとおりである。

プルーム式での計算による地表煙軸濃度分布が風洞実験による地表煙軸濃度分布とほぼ同様になるように、プルーム式の鉛直拡散係数（σ_z）に補正係数Kを、プルーム式の計算結果に補正係数K_Cを乗じて補正した。

$$C(x,y,z) = K_C \cdot \frac{Q_p}{2\pi\ \sigma_y \sigma_z K u} \cdot \exp\left(-\frac{y^2}{2\sigma_y^2}\right) \cdot \left(\exp\left\{-\frac{(z-He)^2}{2(\sigma_z K)^2}\right\} + \exp\left\{-\frac{(z+He)^2}{2(\sigma_z K)^2}\right\}\right) \cdot 10^6$$

ここで、

$C(x,y,z)$　：計算点(x,y,z)の濃度（ppm又はmg/m^3）

x,y　：計算点のx,y座標（m）

z　：計算点のz座標（m）

Q_p　：点煙源強度（m^3N/s又はkg/s）

u　：風速（m/s）

He　：有効煙突高（m）

σ_y　：水平方向拡散幅（m）

σ_z　：鉛直方向拡散幅（m）

K　：風洞実験によるσ_zの補正係数

K_C　：風洞実験による濃度の補正係数

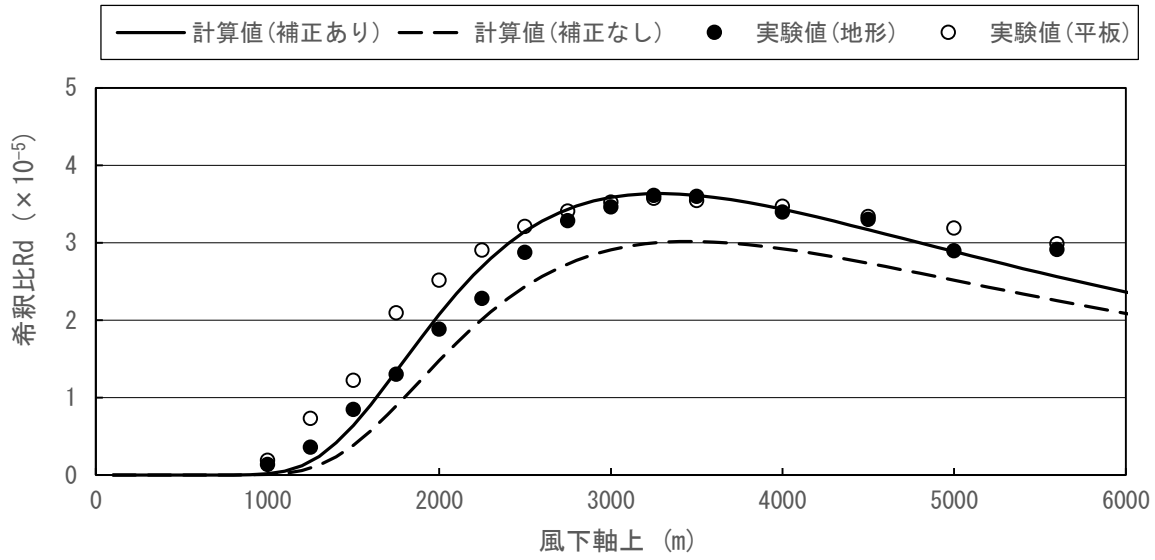


図 8.1-37　排出濃度分布の実験値と計算値の比較（風向：北、風速：3.7m/s、σ_zの補正係数：1.05、濃度の補正係数：1.15）

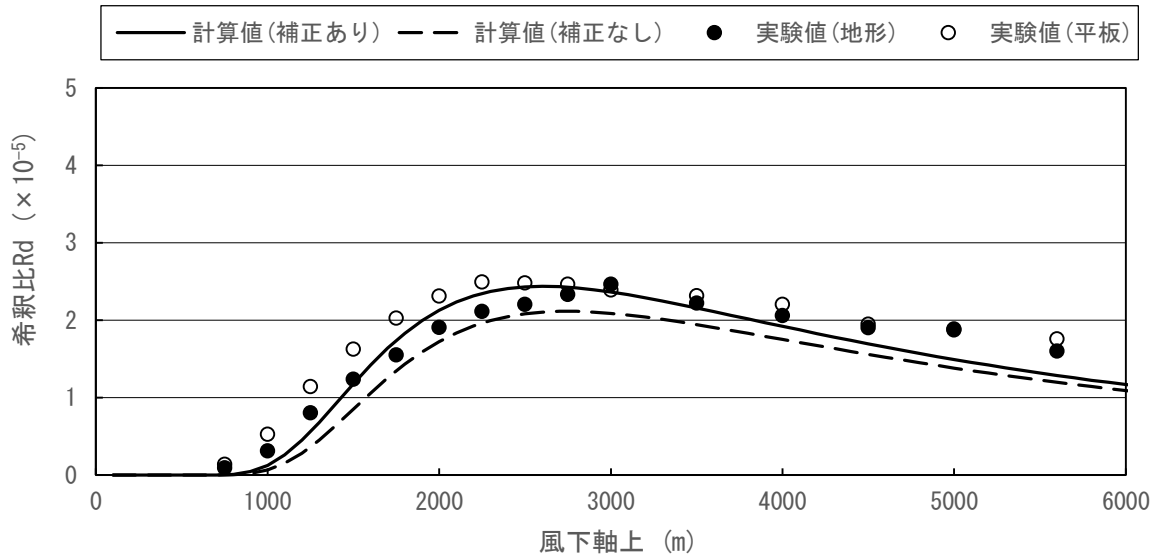


図 8.1-38　排出濃度分布の実験値と計算値の比較（風向：北、風速：8.0m/s、σ_zの補正係数：1.05、濃度の補正係数：1.10）

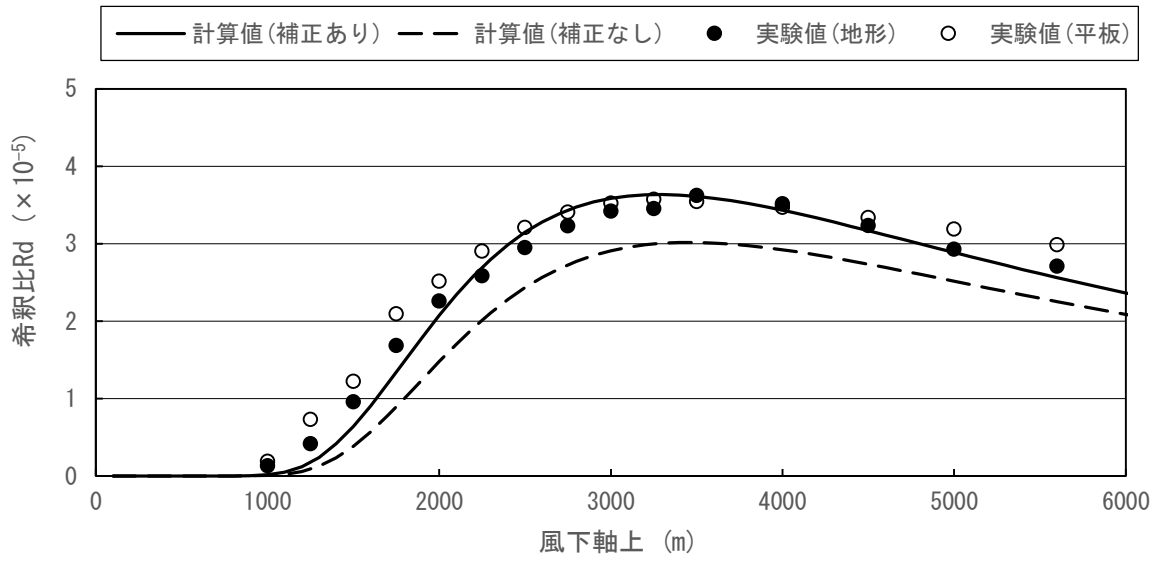


図 8.1-39　排出濃度分布の実験値と計算値の比較（風向：東、風速：3.7m/s、σ_zの補正係数：1.05、濃度の補正係数：1.15）

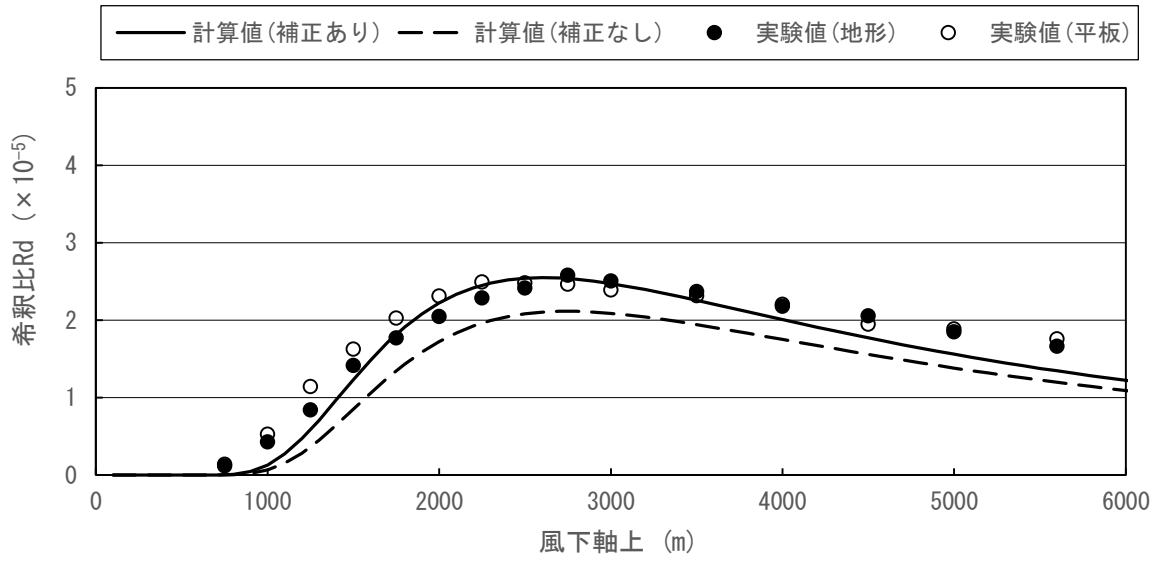


図 8.1-40　排出濃度分布の実験値と計算値の比較（風向：東、風速：8.0m/s、σ_zの補正係数：1.05、濃度の補正係数：1.15）

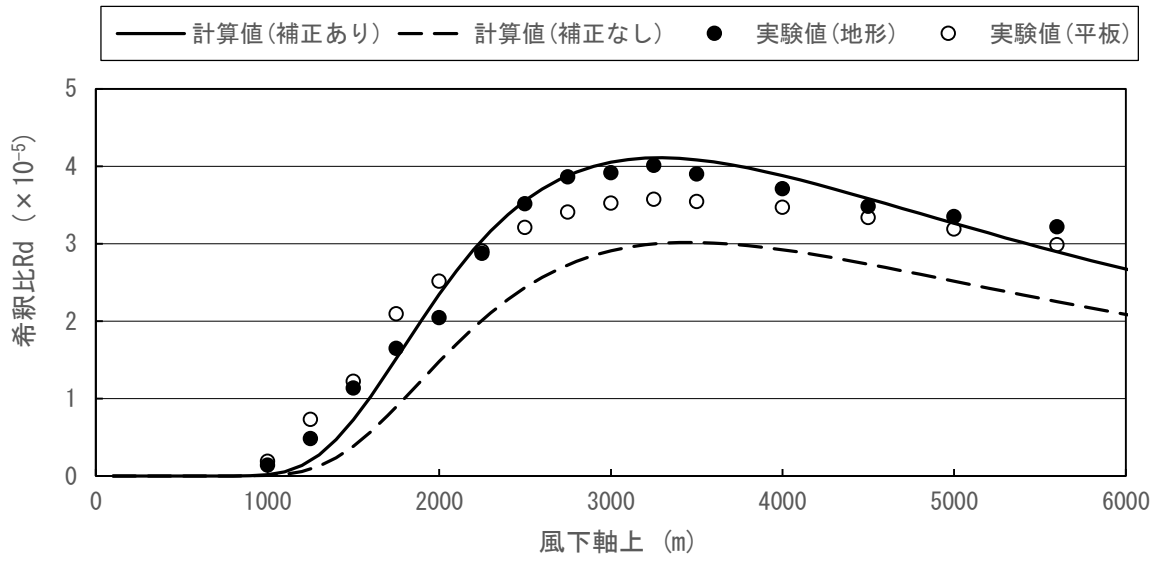


図 8.1-41　排出濃度分布の実験値と計算値の比較（風向：南、風速：3.7m/s、σ_zの補正係数：1.05、濃度の補正係数：1.30）

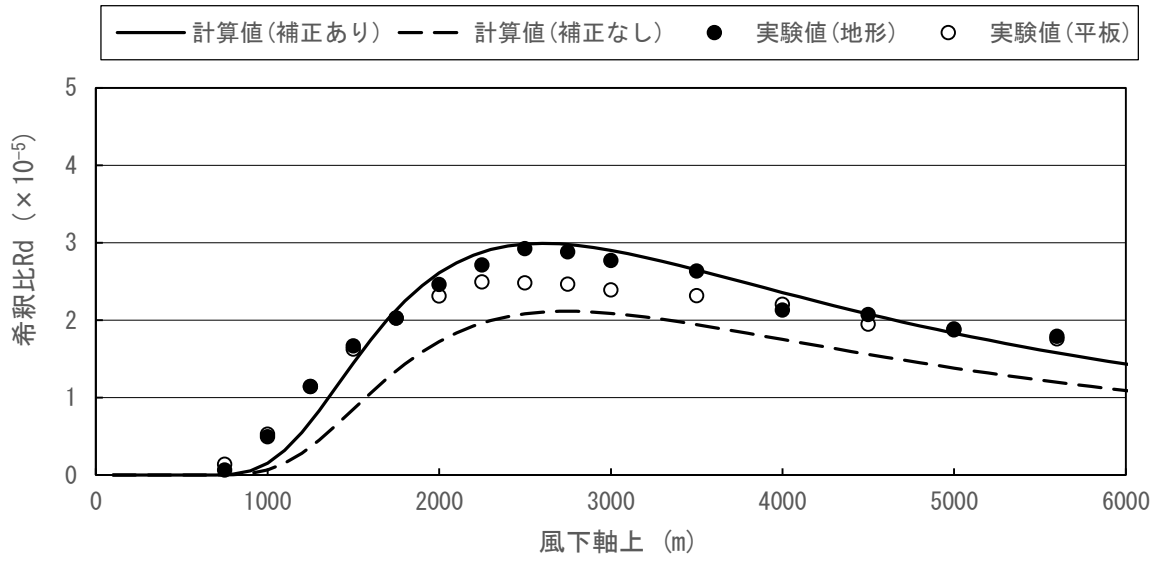


図 8.1-42　排出濃度分布の実験値と計算値の比較（風向：南、風速：8.0m/s、σ_zの補正係数：1.05、濃度の補正係数：1.35）

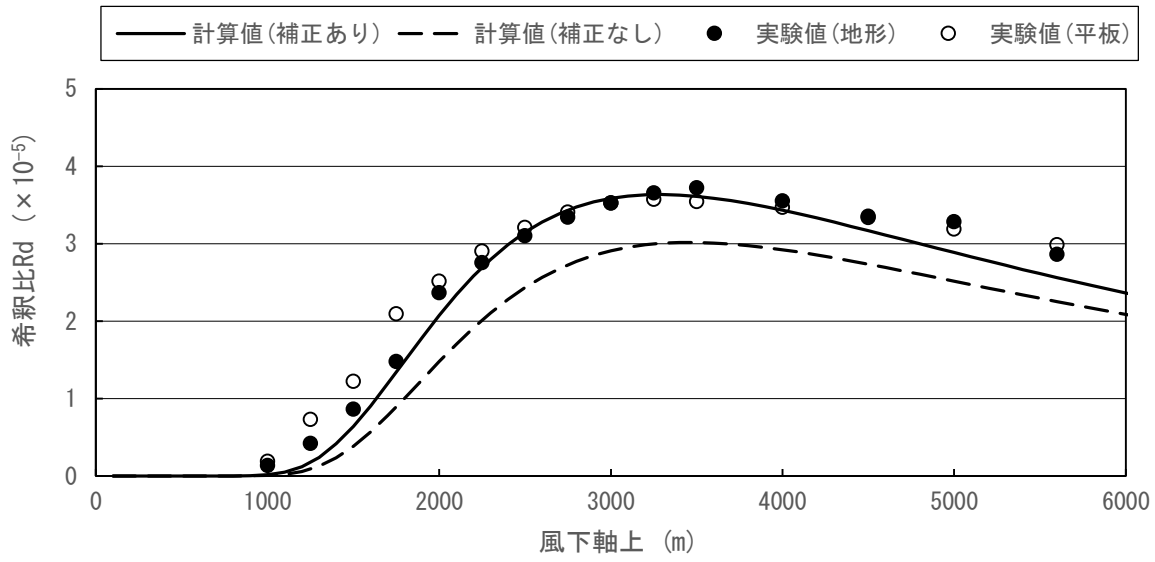


図 8.1-43　排出濃度分布の実験値と計算値の比較（風向：西、風速：3.7m/s、σ_zの補正係数：1.05、濃度の補正係数：1.15）

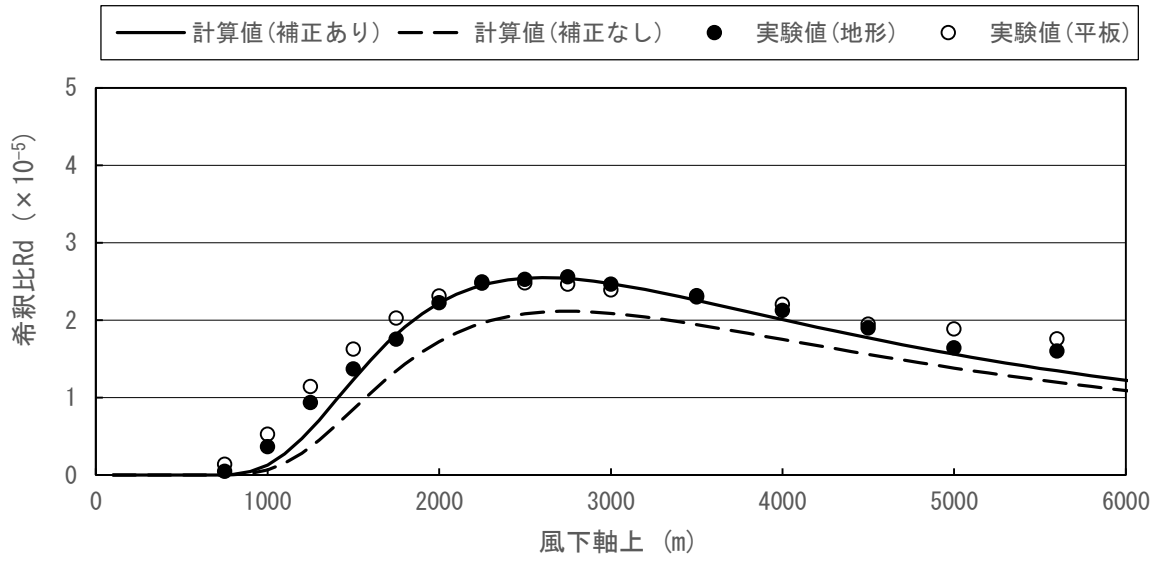


図 8.1-44　排出濃度分布の実験値と計算値の比較（風向：西、風速：8.0m/s、σ_zの補正係数：1.05、濃度の補正係数：1.15）

以上の結果を考慮し、長期平均値（年平均値）予測において、有風時（風速1.0m/s以上）のプルーム式の計算結果に次式のとおり補正を行った。

$$C(R,z)=K_C\cdot\frac{1}{\sqrt{2\pi}}\cdot\frac{Q_p}{\frac{\pi}{8}R\sigma_z Ku}\cdot\left(\exp\left\{-\frac{(z-He)^2}{2(\sigma_z K)^2}\right\}+\exp\left\{-\frac{(z+He)^2}{2(\sigma_z K)^2}\right\}\right)\cdot 10^6$$

ここで、

$C(R,z)$　：計算点(R,z)の濃度（ppm又はmg/m^3）

R　：点煙源と計算点の水平距離(m)　$\left(R=\sqrt{x^2+y^2}\right)$

x,y　：計算点のx,y座標（m）

z　：計算点のz座標(m)

Q_p　：点煙源強度(m^3N/s又はkg/s)

u　：風速(m/s)

He　：有効煙突高(m)

σ_z　：鉛直(z)方向の拡散パラメーター(m)

K　：風洞実験によるσ_zの補正係数（＝1.05）

K_C　：風洞実験による濃度の補正係数（表 8.1-25を参照）

濃度の補正係数K_Cは、気象区分別に表 8.1-25に示すとおり設定した。

地形及び周辺建物によって高濃度が出現するのは風の影響と考えられるため、無風時及び弱風時（0.0～0.9m/s）については補正を行わないこととした。

大気安定度に関しては、風洞実験を行った中立時の値を全ての大気安定度に適用した。

表 8.1-25 風洞実験による濃度の補正係数

風向	風速		
	1.0～3.7m/s	3.8～7.9m/s	8.0m/s 以上
北	1.15	1.13	1.10
北北東	1.15	1.13	1.11
北東	1.15	1.14	1.13
東北東	1.15	1.14	1.14
東	1.15	1.15	1.15
東南東	1.19	1.19	1.20
南東	1.23	1.24	1.25
南南東	1.26	1.28	1.30
南	1.30	1.33	1.35
南南西	1.26	1.28	1.30
南西	1.23	1.24	1.25
西南西	1.19	1.19	1.20
西	1.15	1.15	1.15
西北西	1.15	1.14	1.14
北西	1.15	1.14	1.13
北北西	1.15	1.13	1.11

注）気象区分別の補正係数は以下のとおり設定した。

・風洞実験を行った条件（方位：北、南、西、東）（風速：3.7m/s、8.0m/s）は、実験から得られた値とした。

・それ以外の箇所は、補正値を線形内挿することにより求めた。

8.1.3 評価

（1） 評価の指標

ア 長期平均値

(ｱ) 塩化水素の目標環境濃度について（0.02ppm）

塩化水素の環境濃度は、塩化水素の排出基準の設定根拠から示され、0.02ppmである。塩化水素の排出基準の考え方は、環境庁大気保全局長通達（昭和52年６月16日環大規第136号）の中で「目標環境濃度は、日本産業衛生学会「許容濃度に関する委員会勧告」に示された労働環境濃度を参考として0.02ppmとし、平均的な排出口高さを有する施設からの塩化水素の排出が、拡散条件の悪い場合にあってもこれを満足するよう排出基準値を設定した。」とある。

資料)「廃棄物処理施設 生活環境影響調査指針」（平成 18 年９月、環境省）

(ｲ) 水銀の環境濃度について（年平均値 0.04μg-Hg/m^3 以下）

中央環境審議会の「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第７次答申）」（平成15年７月31日答申）によれば、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）として、水銀については年平均値0.04μg-Hg/m^{3}以下と設定されている。

資料)「廃棄物処理施設 生活環境影響調査指針」（平成 18 年９月、環境省）

イ 短期平均値

(ｱ) 二酸化窒素の目標環境濃度について（１時間値が 0.1～0.2ppm 以下）

中央公害対策審議会の短期暴露指針値（「二酸化窒素の人の健康に係る判定条件等について」（中央公害対策審議会、昭和53年３月22日答申）では、「二酸化窒素の１時間値が0.1～0.2ppm以下」としている。

資料)「廃棄物処理施設 生活環境影響調査指針」（平成 18 年９月、環境省）

（２） 評価方法

年平均値から日平均値の２％除外値又は日平均値の年間98％値への変換は、計画地から半径５km内にある常時監視測定局における過去５年間（平成24年度から平成28年度まで）の値について一次回帰分析を行い求めた。

各測定局における過去５年間の測定結果は表 8.1-26(1)～(5)に示すとおりであり、一次回帰分析結果は表 8.1-27及び 図 8.1-45(1)～(5)に示すとおりである。

表 8.1-26(1)　一般環境大気測定局測定結果（二酸化硫黄）

単位：ppm

測定局	項　目	年　度				
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
江戸川区鹿骨測定局	年平均値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	日平均値の２％除外値	0.004	0.004	0.004	0.005	0.004
市川本八幡測定局	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	日平均値の２％除外値	0.003	0.003	0.004	0.003	0.002
市川行徳駅前測定局	年平均値	0.002	0.001	0.002	0.002	0.001
	日平均値の２％除外値	0.005	0.004	0.004	0.004	0.003
浦安猫実測定局	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	日平均値の２％除外値	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003
中央測定局	年平均値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	日平均値の２％除外値	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004

表 8.1-26(2)　一般環境大気測定局測定結果（浮遊粒子状物質）

単位：mg/m^3

測定局	項　目	年　度				
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
江戸川区鹿骨測定局	年平均値	0.016	0.018	0.018	0.019	0.015
	日平均値の２％除外値	0.041	0.057	0.051	0.046	0.038
江戸川区春江町測定局	年平均値	0.023	0.023	0.022	0.020	0.017
	日平均値の２％除外値	0.051	0.058	0.054	0.046	0.039
江戸川区南葛西測定局	年平均値	0.021	0.024	0.024	0.022	0.018
	日平均値の２％除外値	0.048	0.059	0.054	0.047	0.041
市川新田測定局	年平均値	0.018	0.019	0.019	0.019	0.016
	日平均値の２％除外値	0.045	0.055	0.057	0.047	0.038
市川二俣測定局	年平均値	0.020	0.022	0.025	0.023	0.016
	日平均値の２％除外値	0.051	0.061	0.067	0.060	0.036
市川本八幡測定局	年平均値	0.021	0.022	0.021	0.020	0.017
	日平均値の２％除外値	0.052	0.062	0.058	0.046	0.038
市川行徳駅前測定局	年平均値	0.023	0.029	0.025	0.025	0.016
	日平均値の２％除外値	0.051	0.066	0.061	0.054	0.036
浦安猫実測定局	年平均値	0.019	0.021	0.022	0.023	0.018
	日平均値の２％除外値	0.044	0.061	0.055	0.050	0.042
中央測定局	年平均値	0.020	0.021	0.019	0.020	0.019
	日平均値の２％除外値	0.046	0.059	0.052	0.048	0.041

表 8.1-26(3)　一般環境大気測定局測定結果（二酸化窒素）

単位：ppm

測定局	項　目	年　度				
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
江戸川区鹿骨測定局	年平均値	0.018	0.017	0.017	0.017	0.015
	日平均の年間 98%値	0.042	0.042	0.037	0.037	0.035
江戸川区春江町測定局	年平均値	0.019	0.019	0.019	0.018	0.017
	日平均の年間 98%値	0.046	0.043	0.042	0.039	0.038
江戸川区南葛西測定局	年平均値	0.021	0.020	0.020	0.020	0.019
	日平均の年間 98%値	0.046	0.043	0.044	0.040	0.038
市川新田測定局	年平均値	0.017	0.017	0.017	0.016	0.015
	日平均の年間 98%値	0.044	0.042	0.039	0.038	0.036
市川二俣測定局	年平均値	0.022	0.021	0.021	0.020	0.019
	日平均の年間 98%値	0.050	0.046	0.042	0.043	0.040
市川本八幡測定局	年平均値	0.017	0.017	0.016	0.016	0.015
	日平均の年間 98%値	0.041	0.041	0.037	0.036	0.036
市川行徳駅前測定局	年平均値	0.017	0.018	0.017	0.017	0.016
	日平均の年間 98%値	0.043	0.041	0.039	0.038	0.039
浦安猫実測定局	年平均値	0.019	0.019	0.019	0.019	0.017
	日平均の年間 98%値	0.043	0.042	0.037	0.038	0.038
中央測定局	年平均値	0.020	0.020	0.020	0.019	0.018
	日平均の年間 98%値	0.045	0.045	0.043	0.041	0.039

表 8.1-26(4)　自動車排出ガス測定局測定結果（浮遊粒子状物質）

単位：mg/m^3

測定局	項　目	年　度				
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
市川市市川測定局	年平均値	0.020	0.022	0.021	0.021	0.018
	日平均値の２%除外値	0.048	0.061	0.055	0.051	0.042
市川行徳測定局	年平均値	0.020	0.022	0.020	0.020	0.018
	日平均値の２%除外値	0.047	0.067	0.053	0.048	0.041
浦安美浜測定局	年平均値	0.019	0.019	0.020	0.019	0.017
	日平均値の２%除外値	0.047	0.057	0.056	0.047	0.040
篠崎測定局	年平均値	0.023	0.024	0.024	0.022	0.020
	日平均値の２%除外値	0.052	0.060	0.055	0.049	0.044
上一色測定局	年平均値	0.021	0.021	0.021	0.020	0.018
	日平均値の２%除外値	0.050	0.058	0.053	0.048	0.040

表 8.1-26(5)　自動車排出ガス測定局測定結果（二酸化窒素）

単位：ppm

測定局	項　目	年　度				
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
市川市市川測定局	年平均値	0.024	0.023	0.022	0.022	0.021
	日平均の年間 98%値	0.047	0.046	0.041	0.043	0.041
市川行徳測定局	年平均値	0.022	0.021	0.021	0.021	0.019
	日平均の年間 98%値	0.046	0.042	0.043	0.041	0.039
浦安美浜測定局	年平均値	0.022	0.021	0.021	0.021	0.021
	日平均の年間 98%値	0.049	0.044	0.043	0.042	0.043
篠崎測定局	年平均値	0.028	0.028	0.028	0.028	0.026
	日平均の年間 98%値	0.053	0.051	0.047	0.048	0.047
上一色測定局	年平均値	0.024	0.025	0.025	0.024	0.022
	日平均の年間 98%値	0.047	0.048	0.047	0.045	0.043

表 8.1-27　一次回帰分析結果

測定局	項　目	変　換　式	サンプル数	相関係数
一般環境大気測定局	二酸化硫黄	y=0.8141x+0.0026	25	0.6034
	浮遊粒子状物質	y=2.2230x+0.0051	45	0.7902
	二酸化窒素	y=1.4179x+0.0150	45	0.7511
自動車排出ガス測定局	浮遊粒子状物質	y=2.7231x-0.0048	25	0.7127
	二酸化窒素	y=1.0686x+0.0202	25	0.8391

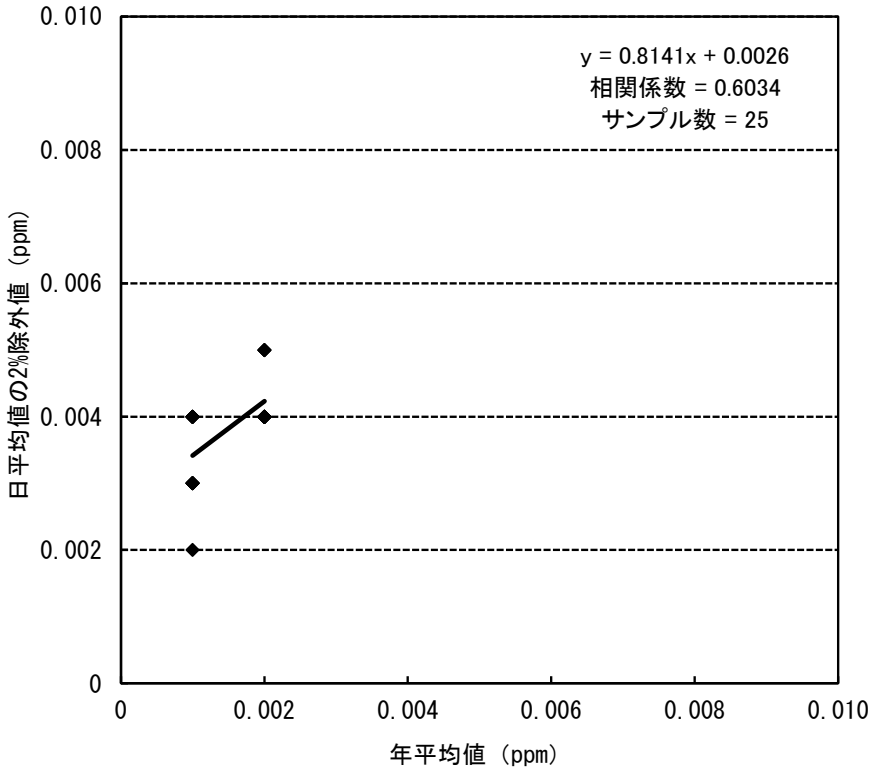


図 8.1-45(1)　一般環境大気測定局年平均値・日平均値の２%除外値散布図
（二酸化硫黄）

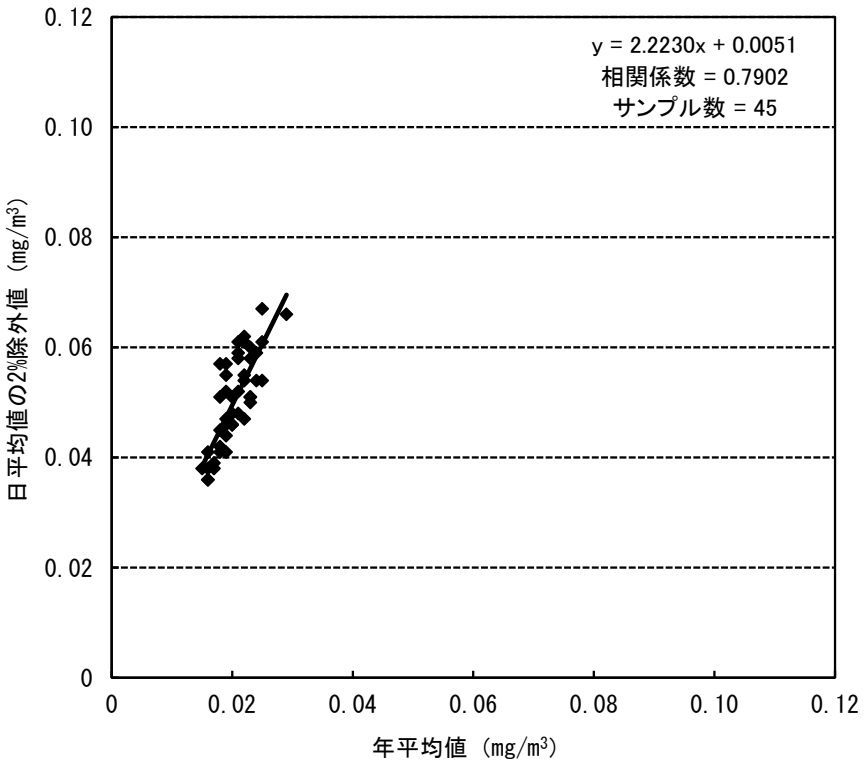


図 8.1-45(2)　一般環境大気測定局年平均値・日平均値の２%除外値散布図
（浮遊粒子状物質）

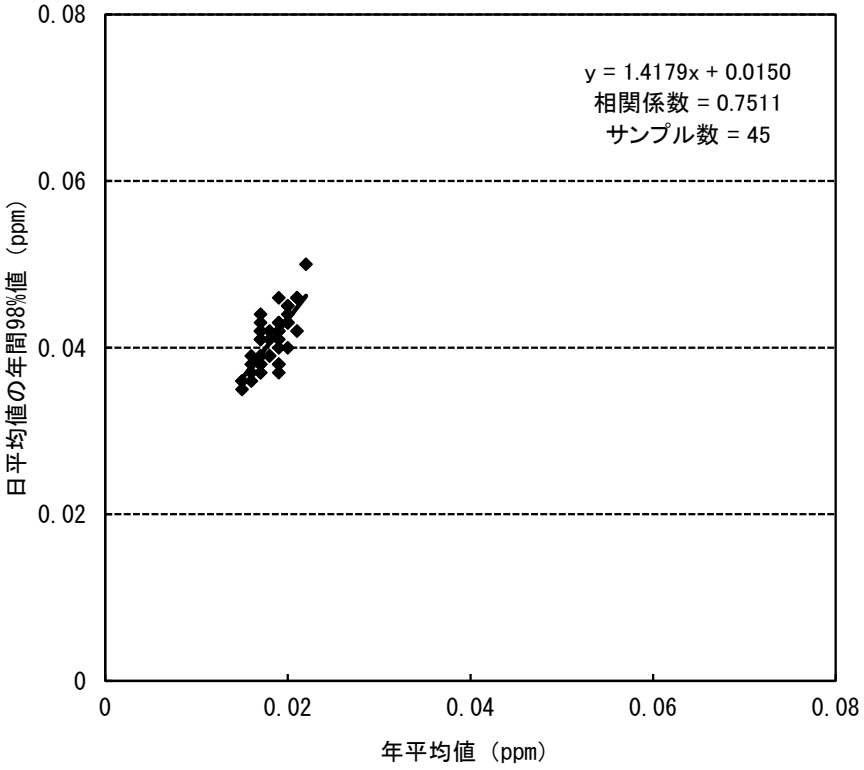


図 8.1-45(3)　一般環境大気測定局年平均値・日平均値の年間 98%値散布図
（二酸化窒素）

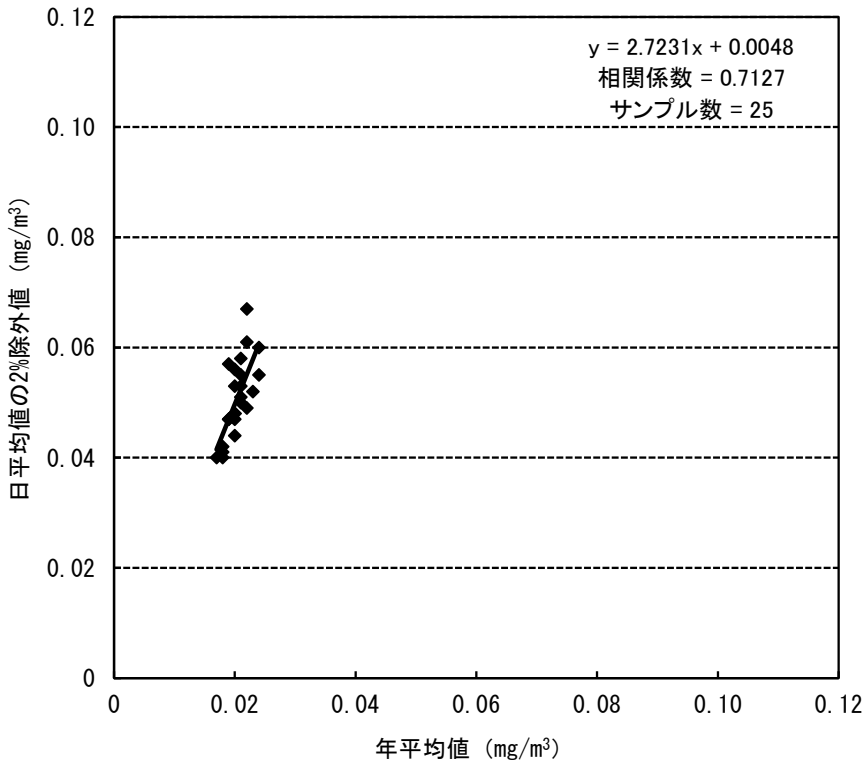


図 8.1-45(4)　自動車排出ガス測定局年平均値・日平均値の２%除外値散布図
（浮遊粒子状物質）

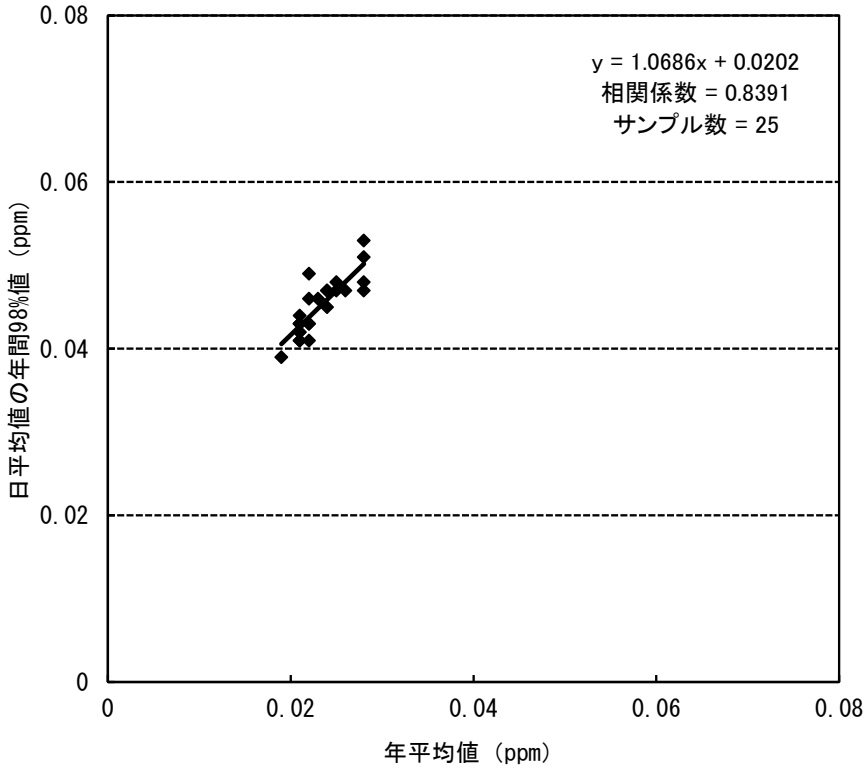


図 8.1-45(5)　自動車排出ガス測定局年平均値・日平均値の年間 98%値散布図
（二酸化窒素）

8.1.4　重合影響

（1）　工事の施行中

ア　建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中における濃度

(ｱ)　浮遊粒子状物質

建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴い発生する浮遊粒子状物質の大気中における濃度の重合結果及び評価の結果は表 8.1-28及び表 8.1-29に示すとおりである。

浮遊粒子状物質の予測濃度は、0.02010229～0.02010934mg/m^{3}であり、予測濃度に対する寄与率は0.50%である。

また、予測濃度の日平均の２%除外値は0.050mg/m^{3}であり、評価の指標とした環境基準を下回る。

表 8.1-28　建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴い発生する浮遊粒子状物質の重合予測結果

単位:mg/m^3

予測地点			ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ濃度 A	将来一般交通量による寄与濃度 B	建設機械による寄与濃度 C	工事用車両による寄与濃度 D	予測濃度 A+B+C+D	寄与率 (C+D) / (A+B+C+D) ×100
1	江戸川小学校前	入車方向	0.020	0.00000623	<0.0001	0.00000046	0.02010669	0.50
		出車方向		0.00000765	<0.0001	0.00000057	0.02010822	0.50
2	そよかぜひろば前	入車方向		0.00000873	0.0001	0.00000061	0.02010934	0.50
		出車方向		0.00000785	0.0001	0.00000058	0.02010843	0.50
3	下鎌田東小学校前	入車方向		0.00000405	0.0001	0.00000019	0.02010424	0.50
		出車方向		0.00000494	0.0001	0.00000025	0.02010519	0.50
5	柴又街道	入車方向		0.00000211	0.0001	0.00000018	0.02010229	0.50
		出車方向		0.00000249	0.0001	0.00000022	0.02010271	0.50

注）建設機械による寄与濃度 0.0001mg/m^{3}未満は 0.00001mg/m^{3}として予測濃度及び寄与率を求めた。

表 8.1-29　建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴い発生する浮遊粒子状物質の評価結果

単位：mg/m^3

予測地点		予測濃度		環境基準
		年平均値	日平均値の２%除外値	
1	江戸川小学校前	0.020 (寄与率 0.50%)	0.050	日平均値の２%除外値が 0.10 以下
2	そよかぜひろば前	0.020 (寄与率 0.50%)	0.050	
3	下鎌田東小学校前	0.020 (寄与率 0.50%)	0.050	
5	柴又街道	0.020 (寄与率 0.50%)	0.050	

注）年平均値は、予測結果（表 8.1-28）において、道路端の高い方の濃度を小数第四位で四捨五入したものである。
浮遊粒子状物質のバックグラウンド濃度：0.020（mg/m^3）

(ｲ) 二酸化窒素

建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素の大気中における濃度の重合結果及び評価の結果は表 8.1-30及び表 8.1-31に示すとおりである。

二酸化窒素の予測濃度は、0.018593～0.019218ppmであり、予測濃度に対する寄与率は1.27～3.37％である。

また、予測濃度の日平均の年間98％値は0.041ppmであり、評価の指標とした環境基準を下回る。

表 8.1-30 建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素の重合予測結果

単位：ppm

予測地点			ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ濃度 A	将来一般交通量による寄与濃度 B	建設機械による寄与濃度 C	工事用車両による寄与濃度 D	予測濃度 A+B+C+D	寄与率 (C+D)／(A+B+C+D)×100
1	江戸川小学校前	入車方向	0.018	0.000412	0.0002	0.000037	0.018649	1.27
		出車方向		0.000498	0.0002	0.000045	0.018743	1.31
2	そよかぜひろば前	入車方向		0.000570	0.0006	0.000048	0.019218	3.37
		出車方向		0.000518	0.0006	0.000046	0.019164	3.37
3	下鎌田東小学校前	入車方向		0.000233	0.0006	0.000013	0.018846	3.25
		出車方向		0.000281	0.0006	0.000017	0.018898	3.26
5	柴又街道	入車方向		0.000174	0.0004	0.000019	0.018593	2.25
		出車方向		0.000205	0.0004	0.000023	0.018628	2.27

表 8.1-31 建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素の評価結果

単位：ppm

予測地点		予測濃度		環境基準
		年平均値	日平均値の年間 98％値	
1	江戸川小学校前	0.019（寄与率 1.31％）	0.041	日平均値の年間 98％値が 0.04 から 0.06 までのゾーン内又はそれ以下
2	そよかぜひろば前	0.019（寄与率 3.37％）	0.041	
3	下鎌田東小学校前	0.019（寄与率 3.26％）	0.041	
5	柴又街道	0.019（寄与率 2.27％）	0.041	

注）年平均値は、予測結果（表 8.1-30）において、道路端の高い方の濃度を小数第四位で四捨五入したものである。
二酸化窒素のバックグラウンド濃度：0.018（ppm）

（２） 工事の完了後

ア　施設の稼働及びごみ収集車両等の走行に伴い発生する二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中における濃度

(ｱ)　浮遊粒子状物質

施設の稼働及びごみ収集車両等の走行に伴い発生する浮遊粒子状物質の大気中における濃度の重合結果及び評価の結果は表 8.1-32及び表 8.1-33に示すとおりである。

浮遊粒子状物質の予測濃度は、0.02000521～0.02001556mg/m^{3}であり、予測濃度に対する寄与率は0.01～0.02%である。

また、予測濃度の日平均の２%除外値は0.050mg/m^{3}であり、評価の指標とした環境基準を下回る。

表 8.1-32　施設の稼働及びごみ収集車両等の走行に伴い発生する浮遊粒子状物質の重合予測結果

単位:mg/m^3

予測地点			ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ濃度 A	将来一般交通量による寄与濃度 B	施設の稼働による寄与濃度 C	ごみ収集車両等による寄与濃度 D	予測濃度 A+B+C+D	寄与率 (C+D) / (A+B+C+D) ×100
1	江戸川小学校前	入車方向	0.020	0.00000623	0.00000137	0.00000142	0.02000902	0.01
		出車方向		0.00000765	0.00000137	0.00000166	0.02001068	0.02
2	そよかぜひろば前	入車方向		0.00000873	0.00000098	0.00000197	0.02001168	0.01
		出車方向		0.00000785	0.00000098	0.00000198	0.02001081	0.01
3	下鎌田東小学校前	入車方向		0.00000405	0.00000078	0.00000088	0.02000571	0.01
		出車方向		0.00000494	0.00000078	0.00000120	0.02000692	0.01
4	篠崎街道	入車方向		0.00001327	0.00000163	0.00000017	0.02001507	0.01
		出車方向		0.00001376	0.00000163	0.00000017	0.02001556	0.01
5	柴又街道	入車方向		0.00000211	0.00000283	0.00000027	0.02000521	0.02
		出車方向		0.00000249	0.00000283	0.00000035	0.02000567	0.02

表 8.1-33 施設の稼働及びごみ収集車両等の走行に伴い発生する浮遊粒子状物質の評価結果

単位：mg/m³

予測地点		予測濃度		環境基準
		年平均値	日平均値の２％除外値	
1	江戸川小学校前	0.020（寄与率 0.02%）	0.050	日平均値の２％除外値が 0.10 以下
2	そよかぜひろば前	0.020（寄与率 0.01%）	0.050	
3	下鎌田東小学校前	0.020（寄与率 0.01%）	0.050	
4	篠崎街道	0.020（寄与率 0.01%）	0.050	
5	柴又街道	0.020（寄与率 0.02%）	0.050	

注）年平均値は、予測結果（表 8.1-32）において、道路端の高い方の濃度を小数第四位で四捨五入したものである。
浮遊粒子状物質のバックグラウンド濃度：0.020（mg/m³）

(ｲ) 二酸化窒素

施設の稼働及びごみ収集車両等の走行に伴い発生する二酸化窒素の大気中における濃度の重合結果及び評価の結果は表 8.1-34及び表 8.1-35に示すとおりである。

二酸化窒素の予測濃度は、0.018209～0.018787pmであり、予測濃度に対する寄与率は0.08～0.85％である。

また、予測濃度の日平均の年間98％値は0.039～0.041ppmであり、評価の指標とした環境基準を下回る。

表 8.1-34　施設の稼働及びごみ収集車両等の走行に伴い発生する二酸化窒素の重合予測結果

単位：ppm

予測地点			ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ濃度 A	将来一般交通量による寄与濃度 B	施設の稼働による寄与濃度 C	ごみ収集車両等による寄与濃度 D	予測濃度 A+B+C+D	寄与率 (C+D)／(A+B+C+D)×100
1	江戸川小学校前	入車方向	0.018	0.000407	0.000004	0.000113	0.018524	0.63
		出車方向		0.000494	0.000004	0.000131	0.018629	0.72
2	そよかぜひろば前	入車方向		0.000565	0.000003	0.000154	0.018722	0.84
		出車方向		0.000513	0.000003	0.000155	0.018671	0.85
3	下鎌田東小学校前	入車方向		0.000230	0.000002	0.000063	0.018295	0.36
		出車方向		0.000278	0.000002	0.000084	0.018364	0.47
4	篠崎街道	入車方向		0.000749	0.000004	0.000011	0.018764	0.08
		出車方向		0.000772	0.000004	0.000011	0.018787	0.08
5	柴又街道	入車方向		0.000174	0.000008	0.000027	0.018209	0.19
		出車方向		0.000204	0.000008	0.000035	0.018247	0.24

表 8.1-35　施設の稼働及びごみ収集車両等の走行に伴い発生する二酸化窒素の評価結果

単位：ppm

予測地点		予測濃度		環境基準
		年平均値	日平均値の年間 98%値	
1	江戸川小学校前	0.019 （寄与率 0.72%）	0.041	日平均値の年間 98%値が 0.04 から 0.06 までのゾーン内又はそれ以下
2	そよかぜひろば前	0.019 （寄与率 0.84%）	0.041	
3	下鎌田東小学校前	0.018 （寄与率 0.47%）	0.039	
4	篠崎街道	0.019 （寄与率 0.08%）	0.041	
5	柴又街道	0.018 （寄与率 0.24%）	0.039	

注）年平均値は、予測結果（表 8.1-34）において、道路端の高い方の濃度を小数第四位で四捨五入したものである。
二酸化窒素のバックグラウンド濃度：0.018（ppm）

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.2　悪 臭

8.2　悪臭

8.2.1　現況調査

江戸川清掃工場における過去５年間(平成24年度～平成28年度)の悪臭調査結果は表 8.2-1、表 8.2-2、表 8.2-3、表 8.2-4に示すとおりであり、臭気指数、臭気排出強度は悪臭防止法における規制基準値以下となっている。なお、排出水の調査を実施した放流槽の位置は、図 8.2-1に示すとおりである。

また、平成28年度に目黒清掃工場で実施した悪臭調査結果は、表 8.2-5、表 8.2-6、表 8.2-7及び表 8.2-8に示すとおりであり、臭気指数、臭気排出強度は、悪臭防止法における規制基準を下回っている。

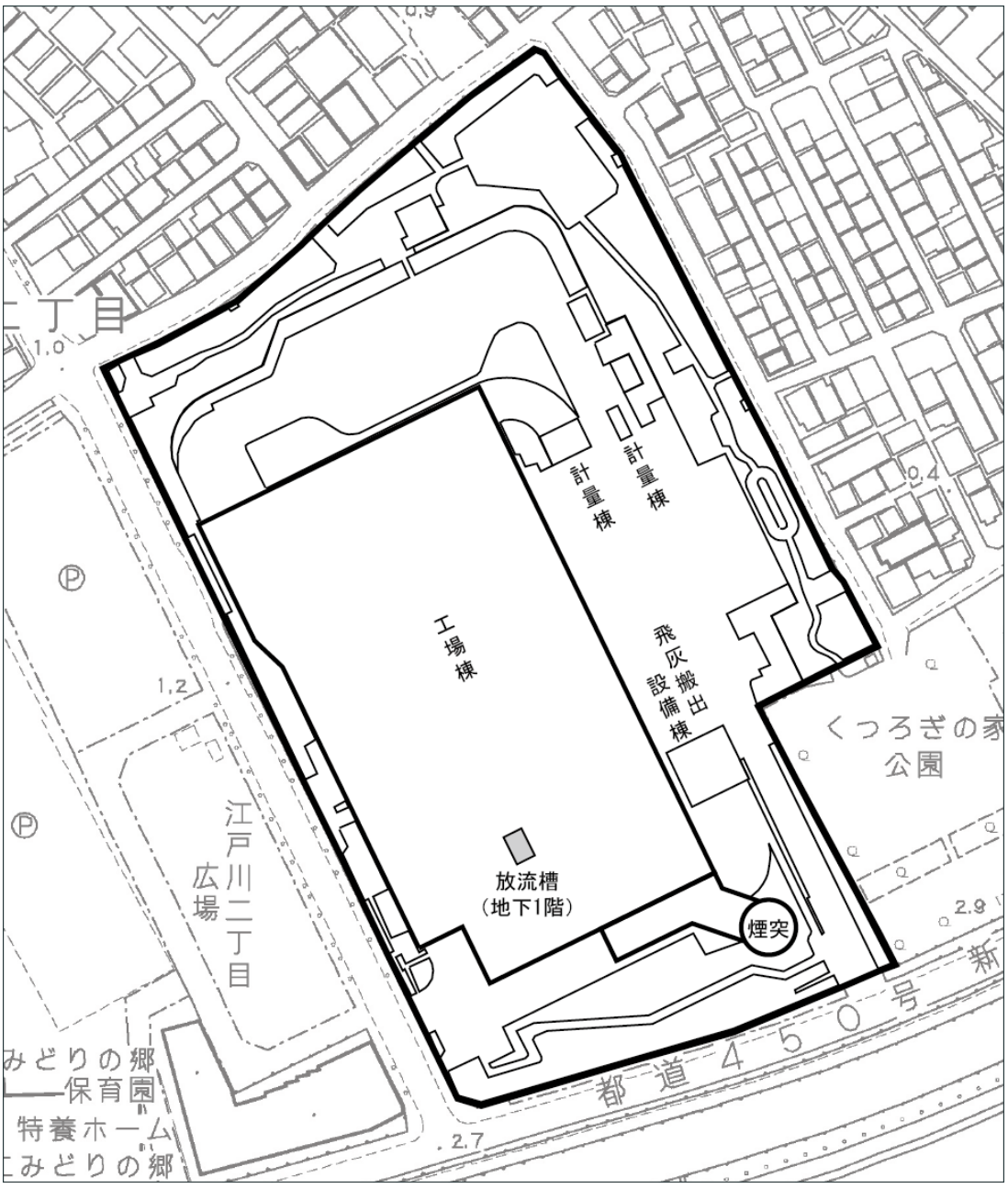


図　8.2-1 放流槽の位置（江戸川清掃工場）

表 8.2-1　江戸川清掃工場の悪臭（敷地境界）（臭気指数）測定結果：過去５年間

測定年度	規　制 区域区分	測定年月日	測定 場所	測定 時刻	天候	風向	風速 (m/s)	温度 (℃)	湿度 (%)	臭気 指数	規制 基準値
平成 28 年度	第二種	H28. 8. 2	⑤	10:35	曇	北西	<0.5	31.0	65	<10	12 (臭気指数)
			⑥	10:45	曇	南東～南	0.7	30.4	68	<10	
			⑦	10:55	曇	南	<0.5	30.4	68	<10	
平成 27 年度		H27. 7.30	⑤	9:40	晴	北～北東	<0.5	30.8	71	<10	
			⑥	10:05	晴	東～北東	<0.5	32.4	65	<10	
			⑦	9:55	晴	東～南東	0.8	32.6	64	<10	
平成 26 年度		H26. 7.25	⑤	11:05	晴	南西	<0.5	33.8	50	<10	
			⑥	11:20	晴	北～北東	<0.5	32.8	53	<10	
			⑦	10:35	晴	南西	0.6	33.0	56	<10	
平成 25 年度		H25. 8. 5	⑤	13:35	晴	南～南西	2.0	31.0	59	<10	
			⑥	13:50	晴	北西	1.4	31.2	57	<10	
			⑦	14:00	晴	南東	2.0	32.2	55	<10	
平成 24 年度		H24. 7.25	⑤	11:15	晴	西	0.6	31.2	58	<10	
			⑥	11:32	晴	西	1.6	32.0	54	<10	
			⑦	11:24	晴	南東	0.9	31.6	58	<10	

注）測定場所の位置は、本編図 8.2-1（p.227 参照）に示す。

表 8.2-2　江戸川清掃工場の悪臭（煙突等気体排出口：焼却設備）（臭気排出強度）測定結果：過去５年間

測定年度	炉No.	測定年月	排出口高さ（m）	排出口口径（m）	排出口から敷地境界までの最短距離（m）	周辺最大建物高さ（m）	周辺最大建物から敷地境界までの最短距離（m）	臭気濃度測定値（倍）	目標臭気指数	臭気排出強度測定結果（m^3N/min）	許容臭気排出強度（m^3N/min）
平成28年度	1	28. 8	150	1.4	6.4	28.0	4.0	830	12	6.8×10^5	1.8×10^8
	2	28.10						830	12	7.5×10^5	1.9×10^8
平成27年度	1	28. 2	150	1.4	6.4	28.0	4.0	370	12	2.7×10^5	1.5×10^8
	2	27. 9						800	12	5.3×10^5	1.4×10^8
平成26年度	1	27. 2	150	1.4	6.4	28.0	4.0	350	12	2.8×10^5	1.8×10^8
	2	26. 9						300	12	2.3×10^5	1.7×10^8
平成25年度	1	25.11	150	1.4	6.4	28.0	4.0	1,800	12	1.5×10^6	1.9×10^8
	2	25.10						930	12	7.6×10^5	1.8×10^8
平成24年度	1	24. 7	150	1.4	6.4	28.0	4.0	1,100	12	9.2×10^5	2.0×10^8
	2	24. 7						1,900	12	1.8×10^6	2.2×10^8

表 8.2-3　江戸川清掃工場の悪臭（煙突等気体排出口：脱臭装置）（臭気指数）測定結果：過去５年間

測定年度	測定年月日	測定場所	測定時刻	臭気指数	臭気濃度	排ガス温度（℃）	排ガス中の水分量（%）	乾き排ガス流量（m^3N/min）	臭気排出強度（m^3N/min）	許容基準値（m^3N/min）
平成 28 年度	H28. 5.30	脱臭装置：出口	11:41	19	79	22	1.4	852	6.7×10^4	3.5×10^7
平成 27 年度	H27. 5.25		10:40	19	79	24	1.3	830	6.6×10^4	3.5×10^7
平成 26 年度	H26. 5.20		12:58	20	100	28	1.7	750	7.5×10^4	3.3×10^7
平成 25 年度	H25. 5.24		9:50	24	250	24	1.6	920	2.3×10^5	3.6×10^7
平成 24 年度	H24. 5.11		10:08	<10	<10	20	1.1	802	<8,000	3.4×10^7

表 8.2-4　江戸川清掃工場の悪臭（排出水）（臭気指数）測定結果：過去 5 年間

測定年度	規制区域区分	測定年月日	採水時刻	採水温度（℃）	排出水量（m^3/s）	外観	臭気指数	規制基準値
平成 28 年度	第二種	H28. 8. 2	11:10	32.4	0.0041	淡灰黄色透明	11	28
平成 27 年度		H27. 7.30	9:25	34.5	0.0040	淡灰黄色透明	5	
平成 26 年度		H26. 7.25	10:00	33.0	0.0036	淡灰黄色透明	20	
平成 25 年度		H25. 8. 5	13:20	35.2	0.0041	淡灰黄色透明	28	
平成 24 年度		H24. 7.25	10:55	35.0	0.0026	無色透明	21	

表 8.2-5　目黒清掃工場の悪臭（敷地境界）（臭気指数）測定結果：平成 28 年度

工場・施設名	規　制 区域区分	測定年月日	測定 場所	測定 時刻	天候	風向	風速 (m/s)	温度 (℃)	湿度 (%)	臭気 指数	規制 基準値	炉稼働状況 (稼働炉/全炉) 搬入量(t/日)
目黒清掃工場	第二種	H28.8.18	①	15:05	曇	南	<0.5	28.8	83	<10	12 (臭気指数)	(2 炉/2 炉) 486.3
			②	14:55	曇	南西	<0.5	28.8	82	<10		
			③	15:10	曇	南西	<0.5	28.0	88	<10		
			④	15:15	曇	北～北西	<0.5	27.8	91	<10		

表 8.2-6　目黒清掃工場の悪臭（煙突等気体排出口：焼却設備）（臭気排出強度）測定結果：平成 28 年度

工場名	炉 No.	測定 年月	排出口 高さ (m)	排出口 口径 (m)	排出口から敷地境界までの最短距離 (m)	周辺最大 建物高さ (m)	周辺最大建物から敷地境界までの最短距離（m）	臭気濃度 測定値 (倍)	目標 臭気 指数	臭気排出強度 測定結果 (m^3N/min)	許容臭気 排出強度 (m^3N/min)
目黒清掃工場	1	28. 9	150	1.30	20.0	27.6	27.6	660	12	5.1×10^5	1.7×10^8
	2	28. 5						570		5.3×10^5	2.0×10^8

表 8.2-7　目黒清掃工場の悪臭（煙突等気体排出口：脱臭装置）（臭気指数）測定結果：平成 28 年度

工場・施設名	測定年月日	測定場所	測定 時刻	臭気 指数	臭気 濃度	排ガス 温度 (℃)	排ガス中の 水分量 (%)	乾き排ガス 流量 (m^3N/min)	臭気排出強度 (m^3N/min)	許容基準値 (m^3N/min)
目黒清掃工場	H28.7.11	入口 1	10:28	31	1,300	28	1.9	－	－	－
		入口 2	10:44	30	1,000	28	1.7	－	－	－
		出口	10:11	21	130	27	2.4	1,188	1.5×10^5	3.6×10^7

表 8.2-8　目黒清掃工場の悪臭（排出水）（臭気指数）測定結果：平成 28 年度

工場・施設名	規制 区域区分	測定年月日	採水時刻	採水温度 (℃)	排出水量 (m^3/s)	外観	臭気 指数	規制基準値
目黒清掃工場	第二種	H28.8.18	13:50	32.0	0.0022	淡灰色透明	13	28

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.3　騒音・振動

8 環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.3 騒音・振動

8.1.1 現況調査

（1） 騒音・振動の状況

ア 騒音の状況

(ｱ) 環境騒音

環境騒音の調査で使用した機器は、表 8.3-1に示すとおりである。
環境騒音の測定結果は、表 8.3-3(1)～(4)に示すとおりである。
なお、調査時間は毎正時各10分間とした。

表 8.3-1 使用機器（環境騒音）

調査事項	機器名	メーカー名	形式	仕様
環境騒音	普通騒音計	リオン(株)	NL-22	測定範囲：28～130dB（A特性） 測定周波数範囲：20～8,000 Hz

(ｲ) 道路交通騒音

道路交通騒音の調査で使用した機器は、表 8.3-2に示すとおりである。
道路交通騒音の測定結果は、表 8.3-4(1)～(5)に示すとおりである。
なお、調査時間は毎正時各10分間とした。

表 8.3-2 使用機器（道路交通騒音）

調査事項	機器名	メーカー名	形式	仕様
道路交通騒音	普通騒音計	リオン(株)	NL-22	測定範囲：28～130dB（A特性） 測定周波数範囲：20～8,000 Hz

表 8.3-3(1) 環境騒音レベル測定結果（地点① 敷地境界北側）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時　　単位：dB

日付	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル			環境基準の時間区分 平均騒音レベル		
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	区分	L_{A50}	L_{Aeq}
5 月 18 日	13:00	52.6	58.0	48.5	43.2	昼間	46	52
	14:00	52.1	57.4	47.1	42.5			
	15:00	53.2	58.5	47.6	43.6			
	16:00	52.6	57.9	47.8	42.6			
	17:00	51.9	57.7	46.2	40.6			
	18:00	53.1	57.8	45.1	40.1			
	19:00	50.0	55.5	42.1	38.7			
	20:00	49.3	54.2	41.5	38.4			
	21:00	47.5	51.5	39.9	37.6			
	22:00	45.6	50.1	39.8	37.5	夜間	40	45
	23:00	44.7	48.3	38.9	36.9			
5 月 19 日	0:00	43.2	45.4	38.8	37.5			
	1:00	42.4	44.6	38.0	36.4			
	2:00	42.3	42.4	38.4	36.8			
	3:00	41.3	43.8	39.5	37.9			
	4:00	44.8	48.3	41.0	38.5			
	5:00	50.3	53.4	44.5	42.1			
	6:00	51.9	57.5	45.6	41.9	昼間	46	52
	7:00	53.2	58.3	44.4	37.7			
	8:00	53.7	57.9	48.1	42.4			
	9:00	52.4	57.7	47.8	44.7			
	10:00	53.2	58.2	48.5	45.2			
	11:00	51.4	55.9	47.5	42.3			
	12:00	50.9	55.5	46.4	41.7			

表 8.3-3(2) 環境騒音レベル測定結果（地点② 敷地境界東側）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時　　単位：dB

日付	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル			環境基準の時間区分 平均騒音レベル		
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	区分	L_{A50}	L_{Aeq}
5 月 18 日	13:00	52.7	56.2	50.7	47.7	昼間	49	53
	14:00	53.4	57.2	51.0	48.3			
	15:00	58.9	62.7	52.5	48.8			
	16:00	57.1	62.0	52.7	47.8			
	17:00	56.0	60.7	48.6	44.1			
	18:00	50.4	55.4	46.5	42.3			
	19:00	47.0	50.4	44.4	41.6			
	20:00	46.9	50.3	44.5	41.8			
	21:00	45.0	47.9	43.3	41.2			
	22:00	45.0	47.6	43.2	41.0	夜間	43	46
	23:00	43.4	46.0	42.6	40.3			
5 月 19 日	0:00	44.1	47.3	43.0	41.1			
	1:00	42.7	44.8	41.4	39.5			
	2:00	43.1	44.9	41.6	40.0			
	3:00	43.1	45.5	42.5	40.7			
	4:00	48.7	52.2	44.6	42.0			
	5:00	51.0	54.2	47.6	44.9			
	6:00	50.7	54.2	48.1	45.2	昼間	49	53
	7:00	49.5	53.8	47.3	43.2			
	8:00	50.4	54.1	48.2	45.2			
	9:00	51.3	54.2	48.9	45.4			
	10:00	51.6	55.2	49.8	46.5			
	11:00	52.1	55.4	50.4	46.7			
	12:00	52.1	56.8	49.2	45.7			

表 8.3-3(3) 環境騒音レベル測定結果（地点③ 敷地境界南側）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時　　単位：dB

日付	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル			環境基準の時間区分 平均騒音レベル		
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	区分	L_{A50}	L_{Aeq}
5 月 18 日	13:00	63.1	68.8	58.2	50.7	昼間	55	62
	14:00	62.5	68.7	57.1	49.5			
	15:00	63.9	69.0	56.9	49.2			
	16:00	61.4	67.1	55.9	48.1			
	17:00	63.5	67.7	56.6	47.8			
	18:00	61.2	66.5	55.1	46.7			
	19:00	61.3	67.0	52.4	46.1			
	20:00	59.5	66.0	49.9	45.7			
	21:00	58.6	65.2	47.2	44.8			
	22:00	58.0	64.3	45.9	44.4	夜間	46	57
	23:00	57.3	62.2	45.0	44.1			
5 月 19 日	0:00	56.4	62.1	45.0	44.2			
	1:00	53.1	58.3	44.4	43.8			
	2:00	54.5	60.0	44.4	43.8			
	3:00	54.3	59.1	44.8	44.1			
	4:00	58.4	64.0	46.0	44.6			
	5:00	61.1	66.6	50.0	45.7			
	6:00	62.1	68.3	55.4	46.8	昼間	55	62
	7:00	61.4	67.7	55.9	45.8			
	8:00	62.5	68.7	57.5	47.5			
	9:00	63.7	69.9	58.1	52.5			
	10:00	63.7	69.8	57.9	52.6			
	11:00	63.4	70.1	56.9	48.4			
	12:00	62.6	69.5	54.5	46.9			

表 8.3-3(4) 環境騒音レベル測定結果（地点④ 敷地境界西側）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時　　単位：dB

日付	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル			環境基準の時間区分 平均騒音レベル		
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	区分	L_{A50}	L_{Aeq}
5 月 18 日	13:00	61.9	66.7	55.7	47.5	昼間	50	60
	14:00	59.8	65.9	50.1	45.0			
	15:00	60.3	65.6	54.6	46.0			
	16:00	60.5	65.6	52.9	45.4			
	17:00	60.1	66.4	49.7	43.5			
	18:00	60.5	65.7	48.8	41.5			
	19:00	59.3	63.8	46.6	40.4			
	20:00	59.4	63.6	45.3	40.4			
	21:00	57.2	62.1	42.2	38.9			
	22:00	54.9	60.0	41.2	38.7	夜間	41	51
	23:00	50.0	49.7	40.4	38.7			
5 月 19 日	0:00	51.8	44.4	39.6	38.4			
	1:00	47.0	44.6	39.1	37.6			
	2:00	42.0	43.2	39.9	38.6			
	3:00	45.1	43.4	39.7	38.4			
	4:00	47.4	47.9	41.0	39.2			
	5:00	54.7	54.5	44.4	42.1			
	6:00	58.7	63.0	47.5	42.8	昼間	50	60
	7:00	59.4	65.5	47.4	40.9			
	8:00	59.6	64.9	54.9	43.8			
	9:00	61.1	66.2	55.0	53.4			
	10:00	59.7	63.9	55.0	53.5			
	11:00	58.7	63.3	51.8	45.5			
	12:00	59.1	63.7	49.1	43.9			

表 8.3-4(1) 道路交通騒音レベル測定結果（地点１　江戸川小学校付近）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル					時間区分平均騒音レベル
			L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A10}	L_{A50}	L_{A90}	L_{A95}	L_{Aeq}
1 月 17 日	昼間	7:00	68.9	74.9	73.3	60.8	46.0	44.0	67
		8:00	68.2	74.1	72.5	60.4	48.1	46.4	
		9:00	67.4	73.9	72.2	59.1	46.0	44.6	
		10:00	67.6	73.9	72.1	58.4	48.6	47.0	
		11:00	67.3	73.8	71.7	57.8	48.0	46.4	
		12:00	66.0	72.9	70.9	55.8	43.9	42.4	
		13:00	67.3	73.7	71.7	59.1	48.9	47.5	
		14:00	67.4	73.8	71.9	59.1	47.4	45.6	
		15:00	66.6	73.1	71.1	56.6	47.1	45.9	
		16:00	68.0	73.7	71.8	60.4	49.5	47.9	
		17:00	67.0	73.3	71.4	58.7	45.0	43.4	
		18:00	67.3	73.1	71.6	58.3	43.7	42.2	
		19:00	66.1	73.0	71.0	55.3	43.4	41.8	
		20:00	66.9	72.9	70.2	52.0	42.8	41.4	
		21:00	64.0	71.8	68.1	47.2	41.0	40.3	
	夜間	22:00	62.4	69.9	65.1	45.1	40.5	39.9	62
		23:00	61.9	69.0	62.3	40.9	37.9	37.3	
1 月 18 日		0:00	61.2	65.9	58.6	39.5	35.6	35.2	
		1:00	60.4	64.0	55.8	38.0	36.0	35.7	
		2:00	61.8	64.7	55.7	38.4	36.3	36.1	
		3:00	60.0	62.0	53.7	38.3	36.4	36.2	
		4:00	62.4	69.0	62.1	40.7	37.4	37.0	
		5:00	65.7	73.3	70.3	48.7	41.0	40.5	
	昼間	6:00	68.9	75.1	73.2	59.1	46.0	44.9	67

表 8.3-4(2) 道路交通騒音レベル測定結果（地点２　そよかぜひろば西）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル					時間区分平均騒音レベル
			L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A10}	L_{A50}	L_{A90}	L_{A95}	L_{Aeq}
1 月 17 日	昼間	7:00	67.2	73.2	71.0	59.2	46.7	45.3	66
		8:00	67.1	72.8	70.6	58.7	46.5	44.7	
		9:00	66.7	73.2	71.0	59.1	45.8	43.6	
		10:00	66.4	72.9	70.6	57.1	44.4	42.6	
		11:00	66.3	73.0	70.5	55.6	43.2	41.6	
		12:00	64.9	71.7	69.4	55.0	42.4	40.8	
		13:00	66.4	72.9	70.6	57.6	43.5	42.0	
		14:00	66.3	72.7	70.4	56.8	43.4	41.2	
		15:00	65.5	72.0	69.7	55.3	42.6	41.1	
		16:00	67.2	72.5	70.4	58.9	45.1	43.0	
		17:00	66.3	72.2	70.2	59.1	45.2	43.0	
		18:00	66.1	72.2	70.1	56.5	44.3	42.7	
		19:00	64.7	71.2	68.7	51.9	40.7	39.3	
		20:00	64.9	71.0	68.0	49.6	40.8	39.3	
		21:00	62.5	69.6	65.5	45.6	38.0	37.3	
	夜間	22:00	60.7	67.5	62.5	43.7	38.1	37.5	61
		23:00	59.4	65.3	59.2	39.5	36.9	36.6	
1 月 18 日		0:00	59.6	64.2	57.6	40.0	37.2	36.9	
		1:00	57.9	62.0	54.7	41.7	39.5	39.2	
		2:00	60.8	62.1	55.1	41.8	39.5	39.2	
		3:00	58.9	61.4	54.6	41.7	40.1	39.8	
		4:00	60.8	66.8	61.1	43.8	41.2	40.9	
		5:00	63.7	70.6	67.1	49.7	44.6	44.2	
	昼間	6:00	66.9	72.9	70.6	58.1	48.3	47.5	66

表 8.3-4(3) 道路交通騒音レベル測定結果（地点３　下鎌田東小学校前）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル					時間区分平均騒音レベル
			L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A10}	L_{A50}	L_{A90}	L_{A95}	L_{Aeq}
1 月 17 日	昼間	7:00	61.3	67.2	63.6	50.2	45.5	44.9	61
		8:00	61.7	68.1	64.9	51.9	45.2	44.3	
		9:00	61.3	67.7	64.6	52.8	46.2	45.2	
		10:00	62.2	68.6	65.0	52.2	46.3	45.5	
		11:00	61.5	67.6	64.1	51.1	44.8	44.0	
		12:00	61.3	67.0	64.0	52.5	45.6	44.1	
		13:00	61.2	67.5	64.4	51.1	44.5	43.6	
		14:00	61.2	67.5	64.3	52.8	46.6	45.6	
		15:00	61.0	66.9	64.1	52.4	45.7	44.5	
		16:00	59.5	65.5	63.1	51.8	44.7	43.6	
		17:00	60.5	66.3	63.6	52.0	45.1	44.1	
		18:00	61.5	66.7	63.6	51.6	44.6	43.5	
		19:00	59.7	66.0	62.7	50.1	43.3	42.1	
		20:00	59.2	65.7	61.8	47.5	41.1	40.3	
		21:00	58.0	63.9	59.6	45.0	39.0	38.3	
	夜間	22:00	56.5	61.7	56.6	42.7	38.6	37.9	53
		23:00	53.8	55.4	49.3	38.4	36.6	36.3	
1 月 18 日		0:00	51.8	53.4	48.6	37.9	35.3	34.8	
		1:00	51.1	53.0	47.5	40.3	38.3	37.9	
		2:00	47.4	46.5	44.0	40.8	39.6	39.3	
		3:00	49.6	49.6	45.6	41.6	40.4	40.1	
		4:00	54.0	55.4	49.9	41.8	40.5	40.2	
		5:00	54.9	58.7	54.1	47.8	46.0	45.7	
	昼間	6:00	58.5	64.3	60.2	48.5	45.9	45.5	61

表 8.3-4(4) 道路交通騒音レベル測定結果（地点４　篠崎街道）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル					時間区分平均騒音レベル
			L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A10}	L_{A50}	L_{A90}	L_{A95}	L_{Aeq}
1 月 17 日	昼間	7:00	67.4	73.8	71.8	61.5	51.4	49.7	66
		8:00	66.9	73.1	71.3	62.0	53.0	51.0	
		9:00	67.3	73.4	71.3	61.9	51.7	49.8	
		10:00	66.6	72.5	70.7	61.9	53.5	51.3	
		11:00	66.4	72.4	70.4	61.5	52.0	50.0	
		12:00	65.3	71.6	69.7	60.3	51.1	49.1	
		13:00	66.0	72.3	70.1	60.0	50.6	48.8	
		14:00	65.4	71.2	69.4	61.0	51.0	49.1	
		15:00	65.5	71.3	69.5	60.7	51.8	49.6	
		16:00	66.1	72.0	70.3	61.8	52.6	50.8	
		17:00	65.9	71.9	69.9	61.8	54.1	52.1	
		18:00	65.7	71.5	69.9	61.6	51.8	50.0	
		19:00	65.4	71.5	69.5	60.1	50.6	48.8	
		20:00	64.4	71.2	68.9	57.3	48.6	46.6	
		21:00	63.6	70.1	67.6	55.5	45.2	43.4	
	夜間	22:00	62.7	69.8	66.8	52.3	43.5	42.0	62
		23:00	61.1	68.0	63.7	47.3	39.4	38.5	
1 月 18 日		0:00	60.5	66.8	61.2	43.3	36.9	36.2	
		1:00	60.1	64.7	59.5	43.8	39.5	39.0	
		2:00	61.4	67.5	61.9	43.9	39.9	39.3	
		3:00	62.1	68.4	63.6	46.4	39.9	39.4	
		4:00	61.9	69.1	64.0	47.1	40.9	40.4	
		5:00	64.5	71.9	68.2	52.6	45.0	44.3	
	昼間	6:00	67.1	73.4	71.6	61.5	51.8	50.0	66

表 8.3-4(5) 道路交通騒音レベル測定結果（地点５　柴又街道）

調査期間：平成 29 年 1 月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	等価騒音レベル	時間率騒音レベル					時間区分平均騒音レベル
			L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A10}	L_{A50}	L_{A90}	L_{A95}	L_{Aeq}
1 月 17 日	昼間	7:00	57.1	62.7	58.8	48.5	44.7	44.2	58
		8:00	59.7	65.7	62.2	51.0	44.4	43.5	
		9:00	59.4	65.1	61.9	51.3	44.8	43.6	
		10:00	58.5	65.0	61.6	49.4	43.8	42.7	
		11:00	60.2	66.6	63.3	51.2	44.6	43.3	
		12:00	59.1	64.9	61.8	51.3	44.4	42.6	
		13:00	59.2	65.2	61.7	49.7	42.5	41.2	
		14:00	60.4	66.0	62.9	50.6	42.1	41.0	
		15:00	58.6	64.1	60.8	49.0	43.0	41.8	
		16:00	61.1	67.0	64.0	52.2	45.0	44.0	
		17:00	58.9	65.0	62.0	50.3	43.9	43.0	
		18:00	56.5	62.4	59.1	47.8	42.2	41.4	
		19:00	54.7	61.1	57.3	45.1	40.1	39.5	
		20:00	55.0	60.3	56.0	45.1	39.6	38.9	
		21:00	54.1	55.4	50.7	41.7	38.9	38.5	
	夜間	22:00	52.2	54.8	49.1	40.6	38.1	37.7	51
		23:00	47.9	48.6	43.7	37.6	35.9	35.6	
1 月 18 日		0:00	52.1	50.5	45.9	37.9	35.7	35.4	
		1:00	50.7	47.4	44.4	39.4	37.7	37.4	
		2:00	49.4	47.1	44.0	39.6	37.9	37.5	
		3:00	49.5	52.0	49.2	42.3	39.4	38.9	
		4:00	48.1	47.0	43.9	40.2	38.9	38.6	
		5:00	53.6	55.8	50.8	43.6	42.1	41.9	
	昼間	6:00	55.8	60.0	55.3	46.4	44.5	44.2	58

イ 振動の状況

(ｱ) 環境振動

環境振動の調査で使用した機器は、表 8.3-5に示すとおりである。
環境振動の測定結果は、表 8.3-8(1)～(4)に示すとおりである。
なお、環境振動の調査時間は毎正時各10分間とした。

表 8.3-5 使用機器（環境振動）

調査事項	機器名	メーカー名	形式	仕様
環境振動	振動レベル計	リオン(株)	VM-53A	測定範囲：25～120dB（Z 方向） 測定周波数範囲：1～80Hz

(ｲ) 道路交通振動

道路交通振動の調査で使用した機器は、表 8.3-6に示すとおりである。
道路交通振動の測定結果は、表 8.3-9(1)～(5)に示すとおりである。

表 8.3-6 使用機器（道路交通振動）

調査事項	機器名	メーカー名	形式	仕様
道路交通振動	振動レベル計	リオン(株)	VM-53A	測定範囲：25～120dB（Z 方向） 測定周波数範囲：1～80Hz

(ｳ) 地盤卓越振動数

地盤卓越振動数の調査で使用した機器は、表 8.3-7に示すとおりである。
地盤卓越振動数の測定結果は、表 8.3-10(1)～(5)に示すとおりである。

表 8.3-7 使用機器（地盤卓越振動数）

調査事項	機器名	メーカー名	形式	仕様
環境騒音	振動レベル計	リオン(株)	VM-53A	測定範囲：25～120dB（Z 方向） 測定周波数範囲：1～80Hz

表 8.3-8(1) 環境振動レベル測定結果（地点① 敷地境界北側）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
5 月 18 日	昼間	13:00	37.3	32.3	29.1	37
		14:00	39.4	32.7	29.2	
		15:00	37.6	32.2	29.1	
		16:00	36.4	29.9	26.8	
		17:00	36.1	29.2	25.7	
		18:00	37.3	29.4	＜25	
		19:00	33.5	25.3	＜25	
	夜間	20:00	34.5	26.5	＜25	30
		21:00	30.9	＜25	＜25	
		22:00	32.0	＜25	＜25	
		23:00	33.6	25.8	＜25	
5 月 19 日		0:00	29.9	＜25	＜25	
		1:00	32.8	26.7	＜25	
		2:00	＜25	＜25	＜25	
		3:00	26.5	＜25	＜25	
		4:00	27.5	＜25	＜25	
		5:00	28.8	＜25	＜25	
		6:00	28.4	＜25	＜25	
		7:00	34.4	26.8	＜25	
	昼間	8:00	33.4	28.5	26.2	37
		9:00	37.9	32.7	29.4	
		10:00	39.3	34.6	30.7	
		11:00	37.7	33.3	29.7	
		12:00	35.6	30.6	27.8	

表 8.3-8(2) 環境振動レベル測定結果（地点② 敷地境界東側）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
5 月 18 日	昼間	13:00	38.5	31.0	27.5	38
		14:00	41.0	32.8	28.9	
		15:00	41.3	33.7	28.7	
		16:00	38.1	31.6	27.8	
		17:00	33.6	28.7	25.4	
		18:00	30.8	25.0	＜25	
		19:00	29.7	＜25	＜25	
	夜間	20:00	27.0	＜25	＜25	27
		21:00	26.2	＜25	＜25	
		22:00	27.0	＜25	＜25	
		23:00	26.7	＜25	＜25	
5 月 19 日		0:00	25.0	＜25	＜25	
		1:00	29.7	＜25	＜25	
		2:00	＜25	＜25	＜25	
		3:00	27.5	＜25	＜25	
		4:00	＜25	＜25	＜25	
		5:00	26.2	＜25	＜25	
		6:00	29.5	＜25	＜25	
		7:00	31.1	25.7	＜25	
	昼間	8:00	33.8	27.2	＜25	38
		9:00	43.1	34.2	29.4	
		10:00	40.1	33.1	29.1	
		11:00	42.9	34.9	29.5	
		12:00	39.0	31.2	26.6	

表 8.3-8(3) 環境振動レベル測定結果（地点③ 敷地境界南側）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
5 月 18 日	昼間	13:00	35.1	29.1	25.9	35
		14:00	36.0	30.4	26.4	
		15:00	38.7	29.7	26.1	
		16:00	35.3	28.3	＜25	
		17:00	32.4	26.3	＜25	
		18:00	31.0	25.5	＜25	
		19:00	29.4	＜25	＜25	
	夜間	20:00	27.5	＜25	＜25	27
		21:00	26.5	＜25	＜25	
		22:00	26.6	＜25	＜25	
		23:00	26.9	＜25	＜25	
5 月 19 日		0:00	25.1	＜25	＜25	
		1:00	28.1	＜25	＜25	
		2:00	＜25	＜25	＜25	
		3:00	25.1	＜25	＜25	
		4:00	＜25	＜25	＜25	
		5:00	27.0	＜25	＜25	
		6:00	28.9	25.2	＜25	
		7:00	29.9	25.7	＜25	
	昼間	8:00	32.8	26.0	＜25	35
		9:00	38.8	31.8	27.0	
		10:00	36.7	30.4	27.0	
		11:00	38.4	29.9	25.8	
		12:00	37.4	28.4	＜25	

表 8.3-8(4) 環境振動レベル測定結果（地点④ 敷地境界西側）

調査期間：平成 28 年 5 月 18 日（水）13 時～5 月 19 日（木）13 時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
5 月 18 日	昼間	13:00	36.9	31.2	27.8	38
		14:00	39.4	32.5	28.9	
		15:00	40.1	32.6	28.3	
		16:00	39.4	29.6	＜25	
		17:00	34.2	27.1	＜25	
		18:00	37.1	27.0	＜25	
		19:00	34.7	25.0	＜25	
	夜間	20:00	35.7	＜25	＜25	28
		21:00	26.2	＜25	＜25	
		22:00	31.9	＜25	＜25	
		23:00	32.0	＜25	＜25	
5 月 19 日		0:00	＜25	＜25	＜25	
		1:00	31.3	＜25	＜25	
		2:00	＜25	＜25	＜25	
		3:00	＜25	＜25	＜25	
		4:00	＜25	＜25	＜25	
		5:00	26.6	＜25	＜25	
		6:00	27.1	＜25	＜25	
		7:00	33.5	25.7	＜25	
	昼間	8:00	34.6	28.9	26.5	38
		9:00	41.9	33.5	29.7	
		10:00	40.8	34.4	29.6	
		11:00	38.1	32.0	28.1	
		12:00	37.8	31.3	27.9	

表 8.3-9(1) 道路交通振動レベル測定結果（地点１ 江戸川小学校付近）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
1 月 17 日	夜間	7:00	49.2	37.7	26.3	41
	昼間	8:00	48.9	37.1	27.0	52
		9:00	55.3	42.6	29.5	
		10:00	56.2	47.2	38.7	
		11:00	51.9	40.3	31.7	
		12:00	50.0	37.5	27.2	
		13:00	50.9	36.9	27.7	
		14:00	55.8	42.8	32.5	
		15:00	50.8	36.3	28.8	
		16:00	57.5	45.6	35.4	
		17:00	49.8	37.8	26.0	
		18:00	49.7	38.7	26.6	
		19:00	46.3	32.4	25.0	
	夜間	20:00	48.0	32.4	＜25	41
		21:00	46.6	26.1	＜25	
		22:00	42.6	27.0	＜25	
		23:00	44.1	＜25	＜25	
1 月 18 日		0:00	38.3	＜25	＜25	
		1:00	30.5	＜25	＜25	
		2:00	38.7	＜25	＜25	
		3:00	25.6	＜25	＜25	
		4:00	42.2	＜25	＜25	
		5:00	40.3	25.1	＜25	
		6:00	46.2	30.2	＜25	

表 8.3-9(2) 道路交通振動レベル測定結果（地点２ そよかぜひろば西）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
1 月 17 日	夜間	7:00	38.0	28.8	＜25	33
	昼間	8:00	40.7	29.7	＜25	46
		9:00	47.6	33.6	25.0	
		10:00	50.4	36.9	27.1	
		11:00	45.5	27.7	＜25	
		12:00	48.7	28.7	＜25	
		13:00	46.4	33.6	＜25	
		14:00	44.2	28.8	＜25	
		15:00	43.7	28.7	＜25	
		16:00	48.8	36.8	27.1	
		17:00	44.5	31.9	＜25	
		18:00	42.4	32.3	＜25	
		19:00	38.4	25.4	＜25	
	夜間	20:00	37.2	＜25	＜25	33
		21:00	36.3	＜25	＜25	
		22:00	32.9	＜25	＜25	
		23:00	27.9	＜25	＜25	
1 月 18 日		0:00	30.4	＜25	＜25	
		1:00	27.5	＜25	＜25	
		2:00	30.9	＜25	＜25	
		3:00	＜25	＜25	＜25	
		4:00	34.3	＜25	＜25	
		5:00	32.2	＜25	＜25	
		6:00	36.4	＜25	＜25	

表 8.3-9(3) 道路交通振動レベル測定結果（地点３ 下鎌田東小学校前）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
1月17日	夜間	7:00	37.9	31.4	29.2	28
	昼間	8:00	37.9	33.2	31.7	37
		9:00	35.9	29.0	26.1	
		10:00	37.2	31.0	28.4	
		11:00	38.1	30.6	28.6	
		12:00	36.3	29.2	27.0	
		13:00	39.3	28.9	25.2	
		14:00	37.8	29.2	25.2	
		15:00	36.7	28.2	＜25	
		16:00	34.6	30.9	29.2	
		17:00	36.6	30.2	27.5	
		18:00	34.7	28.3	＜25	
		19:00	35.7	31.0	25.8	
	夜間	20:00	36.2	30.7	29.1	28
		21:00	32.4	＜25	＜25	
		22:00	27.5	＜25	＜25	
		23:00	＜25	＜25	＜25	
1月18日		0:00	＜25	＜25	＜25	
		1:00	＜25	＜25	＜25	
		2:00	＜25	＜25	＜25	
		3:00	＜25	＜25	＜25	
		4:00	＜25	＜25	＜25	
		5:00	26.5	＜25	＜25	
		6:00	34.1	30.5	28.7	

表 8.3-9(4) 道路交通振動レベル測定結果（地点４ 篠崎街道）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
1月17日	夜間	7:00	51.7	34.8	25.9	38
	昼間	8:00	53.7	38.1	29.7	49
		9:00	52.4	37.0	26.1	
		10:00	54.1	36.2	27.3	
		11:00	50.0	36.8	28.4	
		12:00	47.0	33.5	25.0	
		13:00	43.3	30.1	＜25	
		14:00	50.9	35.5	27.6	
		15:00	44.8	33.6	26.3	
		16:00	48.0	35.0	28.1	
		17:00	47.2	36.2	28.7	
		18:00	48.9	36.2	28.4	
		19:00	45.8	32.5	25.3	
	夜間	20:00	48.1	33.1	25.2	38
		21:00	42.8	30.4	＜25	
		22:00	37.6	25.4	＜25	
		23:00	38.8	25.7	＜25	
1月18日		0:00	28.9	＜25	＜25	
		1:00	28.1	＜25	＜25	
		2:00	26.2	＜25	＜25	
		3:00	35.8	＜25	＜25	
		4:00	34.1	＜25	＜25	
		5:00	33.0	＜25	＜25	
		6:00	52.5	34.5	＜25	

表 8.3-9(5) 道路交通振動レベル測定結果（地点５ 柴又街道）

調査期間：平成 29 年１月 17 日（火）７時～１月 18 日（水）７時　　単位：dB

日付	時間区分	観測時間	時間率振動レベル			時間区分平均振動レベル
			L_{10}	L_{50}	L_{90}	L_{10}
1 月 17 日	夜間	7:00	31.6	25.1	＜25	27
	昼間	8:00	32.4	26.1	＜25	34
		9:00	32.3	27.6	＜25	
		10:00	39.1	31.6	26.3	
		11:00	34.2	27.5	＜25	
		12:00	35.9	27.4	＜25	
		13:00	30.1	25.5	＜25	
		14:00	39.2	30.3	25.8	
		15:00	31.7	25.8	＜25	
		16:00	39.5	30.8	26.0	
		17:00	31.7	25.5	＜25	
		18:00	29.7	＜25	＜25	
		19:00	26.7	＜25	＜25	
	夜間	20:00	27.5	＜25	＜25	27
		21:00	27.0	＜25	＜25	
		22:00	27.4	＜25	＜25	
		23:00	＜25	＜25	＜25	
1 月 18 日		0:00	＜25	＜25	＜25	
		1:00	＜25	＜25	＜25	
		2:00	＜25	＜25	＜25	
		3:00	＜25	＜25	＜25	
		4:00	27.6	＜25	＜25	
		5:00	31.2	＜25	＜25	
		6:00	31.1	＜25	＜25	

表 8.3-10(1) 地盤卓越振動数測定結果（地点１　江戸川小学校付近）

単位：dB

測定No.	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数(Hz)																			卓越振動数(Hz)
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80	
1	56.4									30.8	33.8	41.3	42.0	49.5	52.2	50.5	47.9	42.5	43.1	35.9	32.2	20
2	58.4											35.5	41.2	46.1	54.2	53.9	50.2	47.7	44.1	34.8	33.2	20
3	62.1								31.1	35.4		39.9	52.5	59.8	54.2	50.6	46.1	39.9	37.0	32.4		16
4	54.6											31.2	38.5	43.3	50.9	48.0	49.1	45.0	41.9	37.1	31.2	20
5	60.0									30.5	32.0	41.6	45.1	57.1	54.4	51.5	49.8	42.4	39.5	34.4	30.5	16
6	58.9											33.8	43.2	55.4	54.9	49.2	47.8	40.3	36.4	33.0	30.7	16
7	59.5									30.1	33.4	36.8	48.1	54.9	55.7	51.4	45.3	39.6	40.4	34.2	30.1	20
8	60.2								32.4	31.0	32.7	35.8	47.7	57.9	54.1	47.1	42.5	40.3	36.4	34.2	30.4	16
9	60.0										30.1	37.2	49.4	57.1	54.8	44.1	43.9	33.4	32.9	30.0		16
10	61.8								32.0	35.3	34.7	38.2	45.6	57.2	57.3	53.6	49.7	48.7	43.6	37.2	34.3	20
平均卓越振動数(Hz)																						18.0

注）網掛部は最大値を、空欄は 30dB 未満示す。

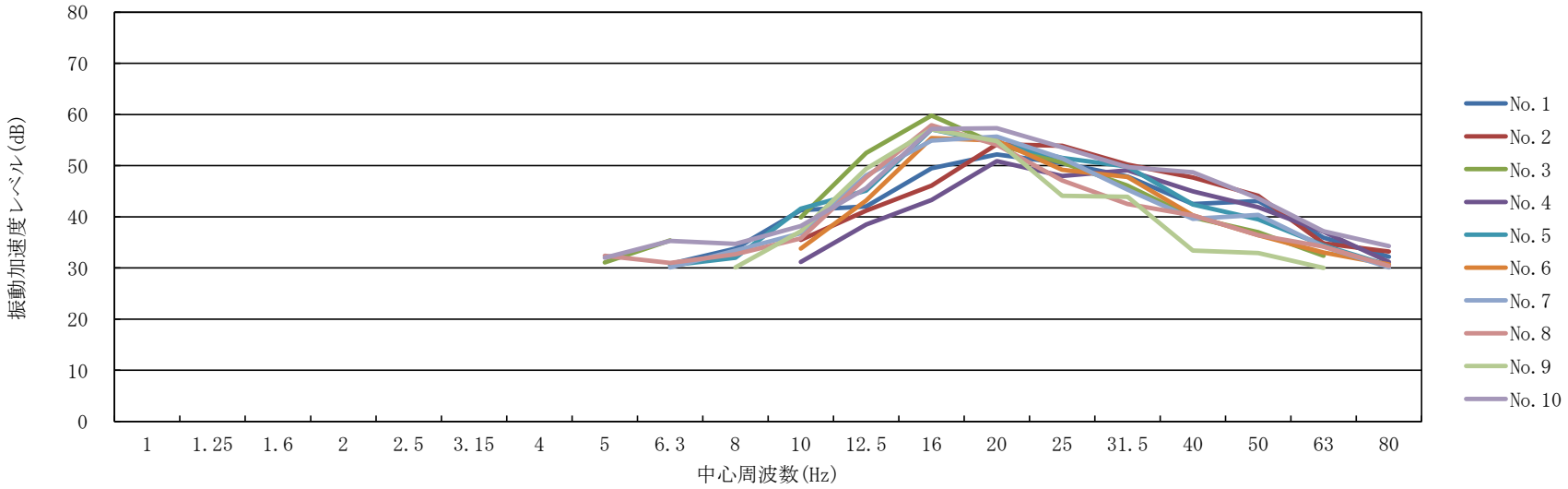


表 8.3-10(2)地盤卓越振動数測定結果（地点２　そよかぜひろば西）

単位：dB

測定No.	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数(Hz)																				卓越振動数(Hz)
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80	
1	60.5											35.9	44.0	55.9	57.4	50.7	46.6	43.7	43.6	35.0		20
2	65.8								33.3	35.9	37.8	43.6	51.4	62.4	59.5	56.2	54.1	48.7	41.7			16
3	61.0									30.8	36.8	39.9	51.7	58.9	50.5	49.8	48.0	42.3	40.0	41.1	42.5	16
4	64.6									31.2	40.3	49.6	55.7	58.3	59.1	54.3	54.5	50.5	39.9	30.1		20
5	61.6											40.6	47.9	55.8	56.3	50.7	48.6	46.3	40.8	34.9		20
6	63.6									36.0	33.8	42.5	47.7	59.7	58.4	52.0	50.2	50.4	47.0	36.8	33.5	16
7	59.9										30.8	39.1	52.3	55.0	54.3	49.4	48.1	46.0	43.2	37.8		16
8	56.8									36.0	35.1	37.0	49.3	50.0	51.7	50.2	47.5	44.9	39.3	37.4	35.9	20
9	64.7							31.0		42.4	40.3	46.8	48.8	59.0	59.6	55.6	56.5	47.0	45.9	39.0	36.6	20
10	62.5								33.5	37.6	41.8	48.5	52.1	58.5	56.1	52.5	48.6	46.6	49.2	43.2	41.4	16
平均卓越振動数(Hz)																						18.0

注）網掛部は最大値を、空欄は 30dB 未満示す。

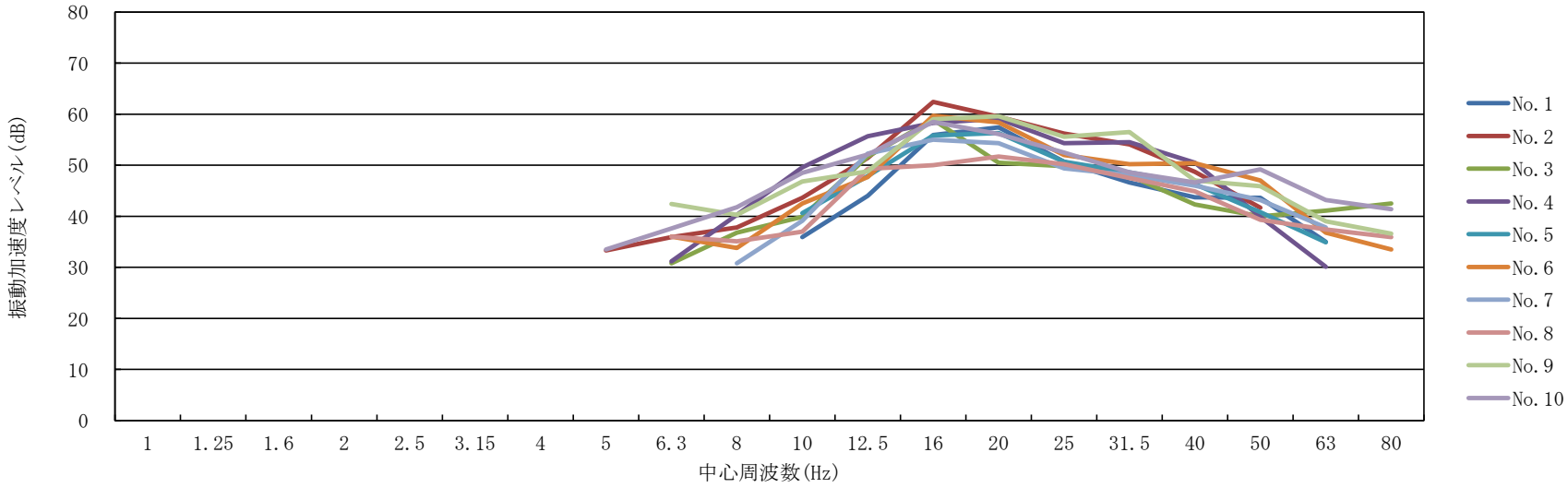


表 8.3-10(3)地盤卓越振動数測定結果（地点３　下鎌田東小学校前）

単位：dB

測定No.	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数(Hz)																			卓越振動数(Hz)
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80	
1	61.1											39.4	50.6	52.8	55.6	52.2	48.2	43.0	36.1	34.0	33.9	20
2	61.5										32.9	44.3	49.6	57.4	56.3	52.8	43.0	37.2	30.3	45.3	38.1	20
3	61.4											41.8	51.6	58.0	57.4	49.6	41.9	42.8	31.7	33.7	35.7	16
4	52.0											37.4	44.1	48.8	43.8	36.2	34.3	32.3	30.8	45.5	42.8	20
5	53.6											41.8	46.8	50.5	42.5	33.9						16
6	59.9										33.4	45.8	48.5	56.8	55.2	48.3	42.8	36.7			32.1	16
7	60.6										32.6	43.6	48.9	57.0	56.8	50.5	42.9	37.2	33.9	32.0	36.9	20
8	53.0										32.3	39.7	47.5	49.1	45.4	41.2	34.1	30.8				16
9	58.2												38.9	52.5	56.4	47.8	41.9	38.3			31.6	16
10	60.7									32.5	34.2	44.8	50.4	56.0	57.3	50.6	45.7	39.8	34.5	42.1	35.5	20
平均卓越振動数(Hz)																						17.2

注）網掛部は最大値を、空欄は 30dB 未満示す。

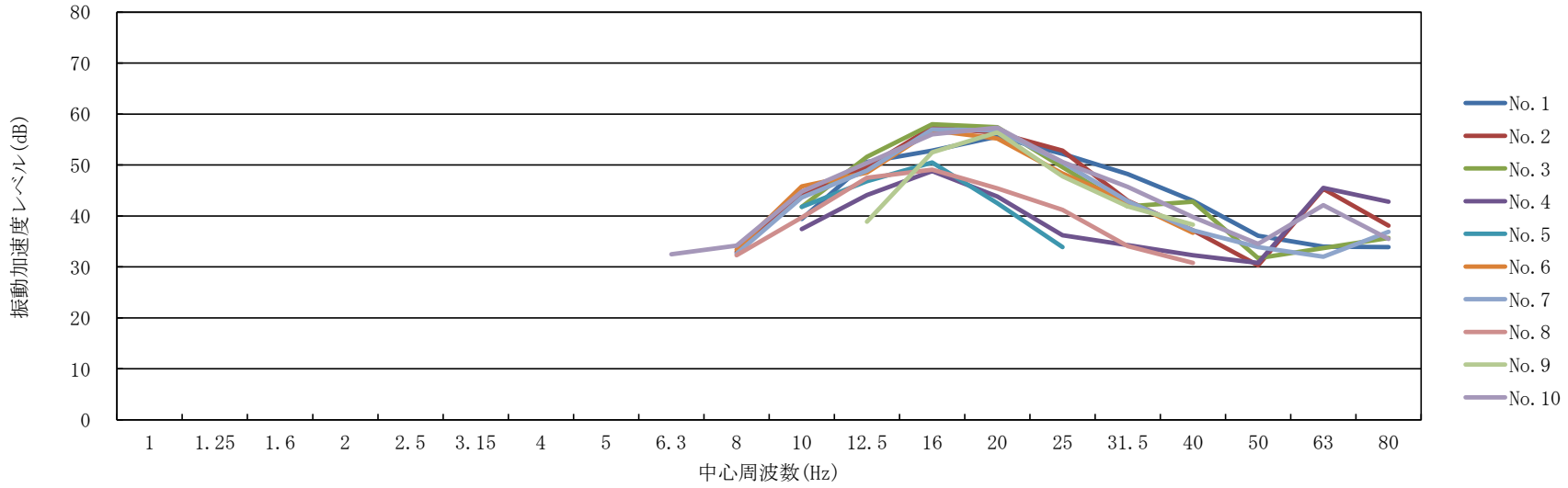


表 8.3-10(4)地盤卓越振動数測定結果（地点４　篠崎街道）

単位：dB

測定No.	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数(Hz)																			卓越振動数(Hz)
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80	
1	54.5											30.2	36.9	44.2	48.2	48.0	47.4	45.4	42.0	34.2		20
2	53.4										34.9	40.3	46.4	49.2	44.4	44.2	43.4	38.0	38.6	30.1		16
3	59.3									33.2	34.8	41.4	47.6	54.4	52.1	53.6	47.8	44.0	42.7	33.5		16
4	55.6								31.3	31.0	38.3	42.5	41.8	45.9	51.6	49.6	45.5	37.3	35.1			20
5	53.2										35.4	30.1	37.3	46.4	48.3	47.7	44.3	39.7	38.5	31.3		20
6	59.3									33.1	41.0	47.4	51.2	51.9	54.6	50.0	45.0	46.3	40.1	36.9		20
7	56.3									31.5	38.0	44.9	48.6	49.0	51.7	46.9	39.5	37.7	38.2			20
8	53.8									30.3	31.6	33.7	40.5	47.6	47.3	47.3	45.2	40.7	40.4	32.6		16
9	60.9											40.5	46.9	51.5	54.3	50.1	44.1	42.4	40.3	34.9	33.6	20
10	55.5									35.1	34.0	39.6	46.1	53.7	49.3	43.3	39.7	35.8	37.7	31.0		16
平均卓越振動数(Hz)																						18.4

注）網掛部は最大値を、空欄は 30dB 未満示す。

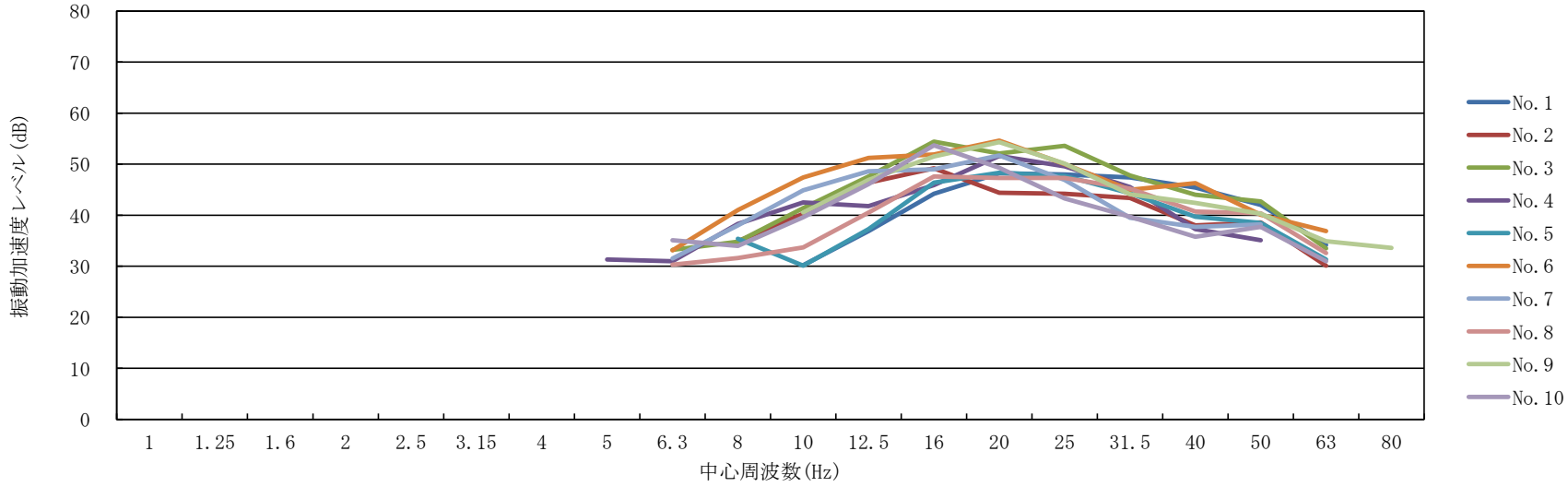
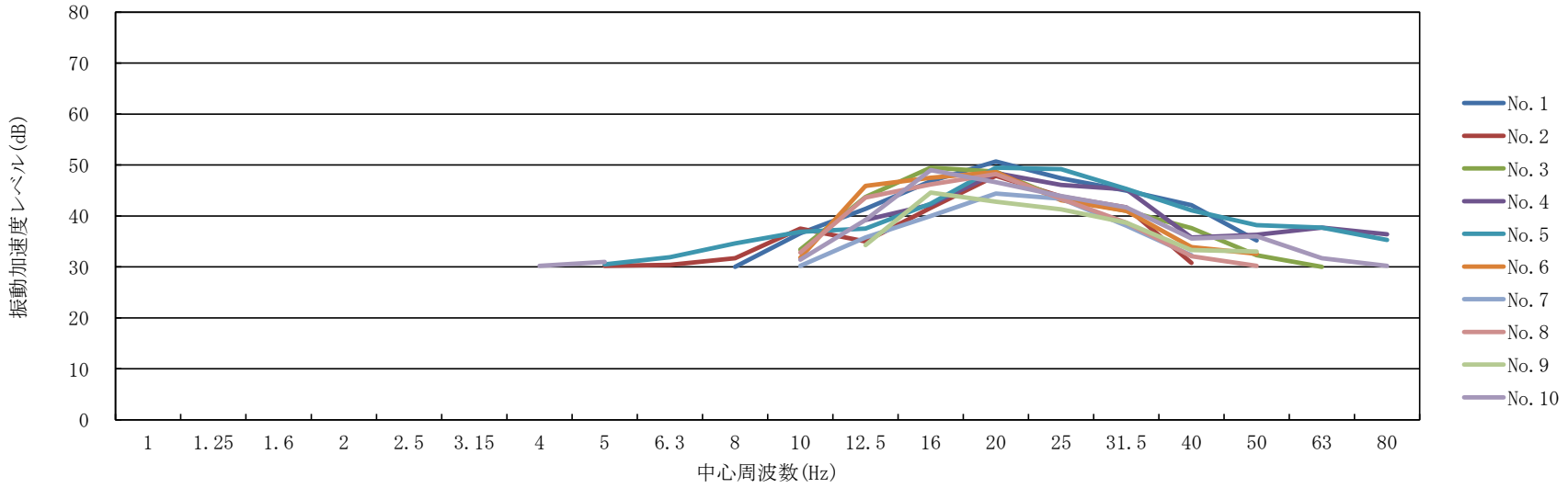


表 8.3-10(5)地盤卓越振動数測定結果（地点５　柴又街道）

単位：dB

測定No.	AP	1/3 オクターブバンド中心周波数(Hz)																			卓越振動数(Hz)
		1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80	
1	56.9										30.0	36.6	41.4	46.8	50.7	47.4	45.0	42.1	35.2			20
2	51.1								30.2	30.4	31.7	37.5	35.0	41.6	47.9	43.8	41.7	30.8				20
3	53.7											33.4	43.7	49.5	48.7	43.4	41.0	37.6	32.3	30.0		16
4	52.8								31.0				39.2	42.2	48.4	46.1	45.2	35.8	36.3	37.7	36.4	20
5	53.9								30.5	31.9	34.6	36.9	37.5	42.4	49.5	49.2	45.3	41.1	38.2	37.7	35.3	20
6	52.5											31.8	45.9	47.5	48.6	43.1	41.0	33.9	32.6			20
7	48.4											30.2	35.8	40.0	44.4	43.4	38.1	32.3				20
8	51.6											32.8	43.6	46.2	48.2	43.4	38.7	32.1	30.2			20
9	48.5												34.3	44.6	42.8	41.3	38.7	33.3	33.0			16
10	52.7							30.2	31.0			31.4	39.2	49.0	46.6	43.9	41.7	35.6	36.0	31.7	30.2	16
平均卓越振動数(Hz)																						18.8

注）網掛部は最大値を、空欄は 30dB 未満示す。



8.1.2 予測

（1） 予測の対象時点

ア 建設機械の稼働に伴う騒音・振動

(ｱ) 建設機械の稼働に伴う騒音

a 建設機械の稼働に伴う騒音の予測対象時期

建設機械の稼働に伴う騒音の予測対象時期は、建設工事の主な工種毎に、環境影響が最大となる時点とした。使用する建設機械別の騒音レベルは、表 8.3-11に示すとおりである。

距離10ｍにおける騒音レベルの90％レンジ上端値（$L_{A5,10m}$）で表した月別の発生騒音レベルの合成値は、図 8.3-1に示すとおりである。

なお解体工事においては、解体する建物と建設機械を覆う全覆い仮設テント等を使用する。合成値の算出にあたっては、以下のbで述べるとおり全覆い仮設テント等による減衰を考慮して、全覆い仮設テント等内で稼働する建設機械の発生騒音レベルを11～13dB減じた。

表 8.3-11 建設機械一覧

建設機械番号	建設機械名	規格	距離 10ｍにおける騒音レベルの 90％レンジ上端値(dB)
1	油圧圧砕機	－	82
2	バックホウ	0.3m^3	77
3		0.75m^3	78
4	ジャイアントブレーカー	－	96
5	クラムシェル	0.75m^3	83
6	多軸混練オーガー機	－	79
7	杭打設機（アースドリル）	－	79
8	全周旋回機　（CD 機）	－	86
9	トラッククレーン（ラフター含む）	10t	74
10		25t	74
11		60t	74
12		160t	74
13	クローラークレーン	70t	73
14		300t	73
15	定置式タワークレーン	－	73
16	コンクリートポンプ車	240m^3	85
17	ブルドーザー	20t	86
18	振動ローラー	2.4～2.8ｔ	81
19	タイヤローラー	0.8～1.1t	76
20	マカダムローラー	10ｔ	76
21	モーターグレーダー	15t	81
22	アスファルトフィニッシャー	2.4～6.0m	83
23	高所作業車	－	72
24	アームロール車	4m^3	72
25	環境集じん機	－	63

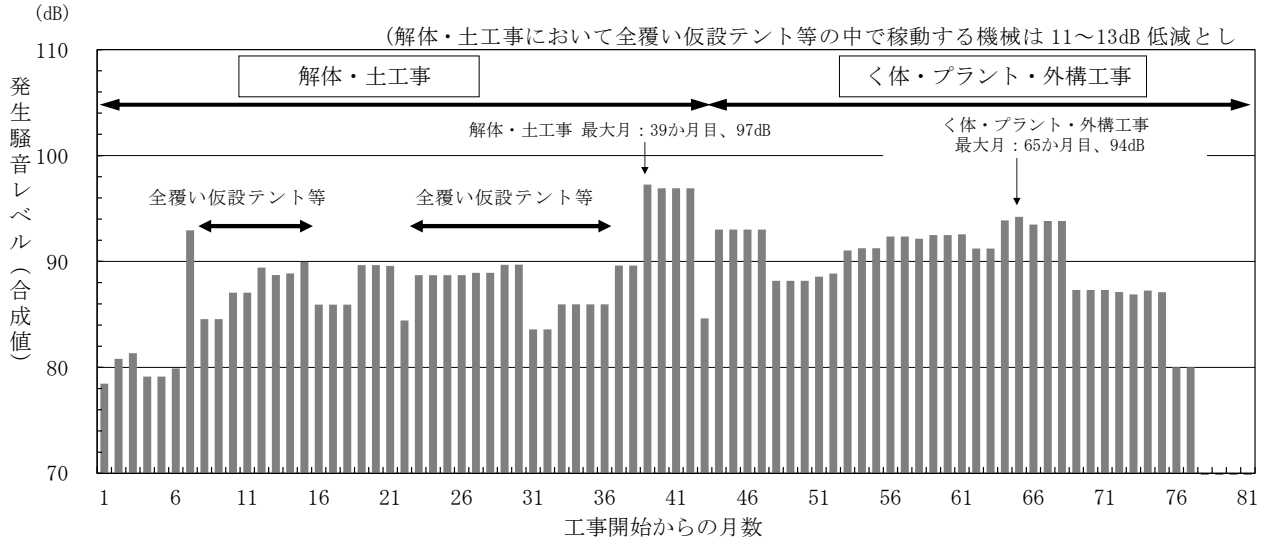


図 8.3-1 建設機械の稼働に伴う月別発生騒音レベル合成値（$L_{A5,10m}$）

b 全覆い仮設テント等の遮音性能

工事の期間のうち、解体・土工事においては、解体する建物と建設機械を覆う全覆い仮設テント等を使用する。テント等内で稼働する建設機械については、テント等の防音効果により周辺環境への騒音の影響が低減されることが期待される。この低減量については以下のとおり推計し、約11～13dBであるとした。

全覆い仮設テント等については、側壁面が防音シートと防音パネル、屋根面が不燃シートと防音シートの二重構造となっている。全覆い仮設テント等を構成する防音シートと防音パネルの音響特性を表 8.3-12(1)のとおり設定し、建設機械からの騒音の減衰量を算定した。側壁面と屋根面の面積割合は、工事で設置される全覆い仮設テント等の寸法から設定した。

また、建設機械から発生する騒音の周波数特性は、建設工事騒音の予測モデル"ASJ CN-Model 2007"（社団法人　日本音響学会）に記載されている建設機械の代表周波数特性を用いた。

この結果、全覆い仮設テント等による減衰量は、表 8.3-12(2)に示すとおり、11～13dBと算定された。

表 8.3-12(1)　全覆い仮設テント等の音響特性

	側壁面と屋根面の面積割合			透過損失 (dB)	吸音率	構造
	工場棟	管理諸室	飛灰搬出設備棟			
側壁面	0.47	0.70	0.77	防音パネル 17～38	防音パネル 0.15～0.35	防音シートと防音パネルの二重構造
屋根面	0.53	0.30	0.23	防音シート 5.7～26	防音シート 0.15～0.70	不燃シートと防音シートの二重構造

注）透過損失及び吸音率は周波数によって異なる。

表 8.3-12(2)　全覆い仮設テント等による騒音減衰量

	工場棟	管理諸室	飛灰搬出設備棟
騒音減衰量	11dB	12dB	13dB

(ｲ) 建設機械の稼働に伴う振動

a 建設機械の稼働に伴う振動の予測対象時期

建設機械の振動に伴う振動の予測対象時期は、建設工事の主な工種毎に、環境影響が最大となる時点とした。使用する建設機械別の振動レベルは、表 8.3-13に示すとおりである。

また、距離７ｍにおける振動レベル($L_{v,7m}$)で表した月別の発生振動レベル合成値は、図8.3-2に示すとおりである。

表 8.3-13 建設機械一覧

建設機械番号	建設機械名	規格	基準点（音源からの距離７ｍ）での振動レベル（dB）
1	油圧圧砕機	－	51
2	バックホウ	0.3m^3	71
3		0.75m^3	71
4	ジャイアントブレーカー	－	69
5	クラムシェル	0.75m^3	54
6	多軸混練オーガー機	－	55
7	杭打設機（アースドリル）	－	55
8	全周旋回機　（CD 機）	－	62
9	トラッククレーン（ラフター含む）	10t	51
10		25t	51
11		60t	51
12		160t	51
13	クローラークレーン	70t	51
14		300t	51
15	定置式タワークレーン	－	51
16	コンクリートポンプ車	240m^3	59
17	ブルドーザー	20t	71
18	振動ローラー	2.4～2.8ｔ	76
19	タイヤローラー	0.8～1.1t	48
20	マカダムローラー	10ｔ	48
21	モーターグレーダー	15t	53
22	アスファルトフィニッシャー	2.4～6.0m	58
23	高所作業車	－	42
24	アームロール車	4m^3	42
25	環境集じん機	－	43

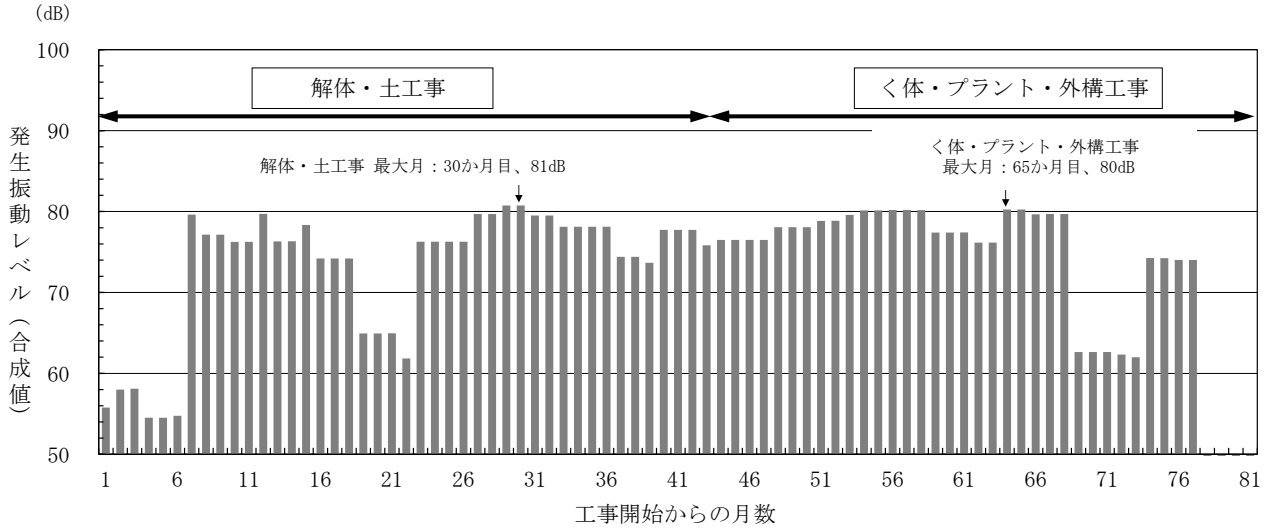


図 8.3-2 建設機械の稼働に伴う月別発生振動レベル合成値（$L_{v,7m}$）

（２）　予測方法

ア　建設機械の稼働に伴う騒音・振動

(ｱ)　建設機械の稼働に伴う騒音

a　工事用仮囲いの回折減衰

音源と予測位置との関係は、図 8.3-3に示すとおりである。

工事にあたっては、計画地の敷地境界に高さ３ｍの仮囲いを設ける。

予測にあたっては、工事用仮囲いによる音の伝搬する距離の差（行路差）による回折減衰を考慮した。なお、回折減衰量は「ASJ CN-Model 2007」（社団法人日本音響学会）による次の近似式を用いて計算した。

〔予測点から音源が見えない場合〕

$$\Delta L_{dif} = \begin{cases} -10 \cdot \log_{10} \delta - 18.4 & \delta \geqq 1 \\ -5 - 15.2 \sinh^{-1}(\delta^{0.42}) & 0 \leqq \delta < 1 \end{cases}$$

〔予測点から音源が見える場合〕

$$\Delta L_{dif} = \begin{cases} -5 + 15.2 \sinh^{-1}(\delta^{0.42}) & 0 < \delta \leqq 0.073 \\ 0 & \delta > 0.073 \end{cases}$$

ΔL_{dif}：回折に伴う減衰に関する補正量（dB）

δ　　：障壁の有無による音の行路差（m）

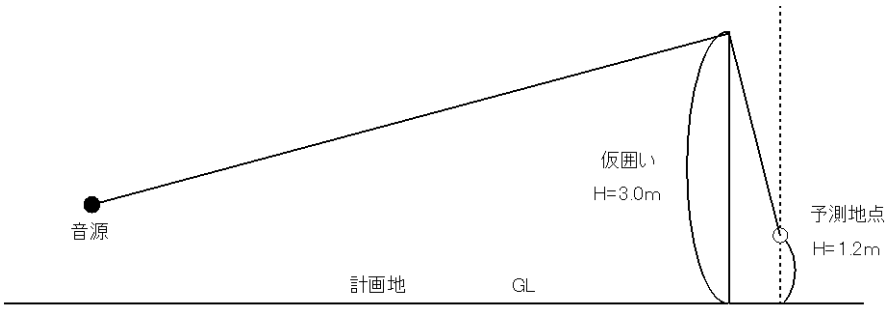
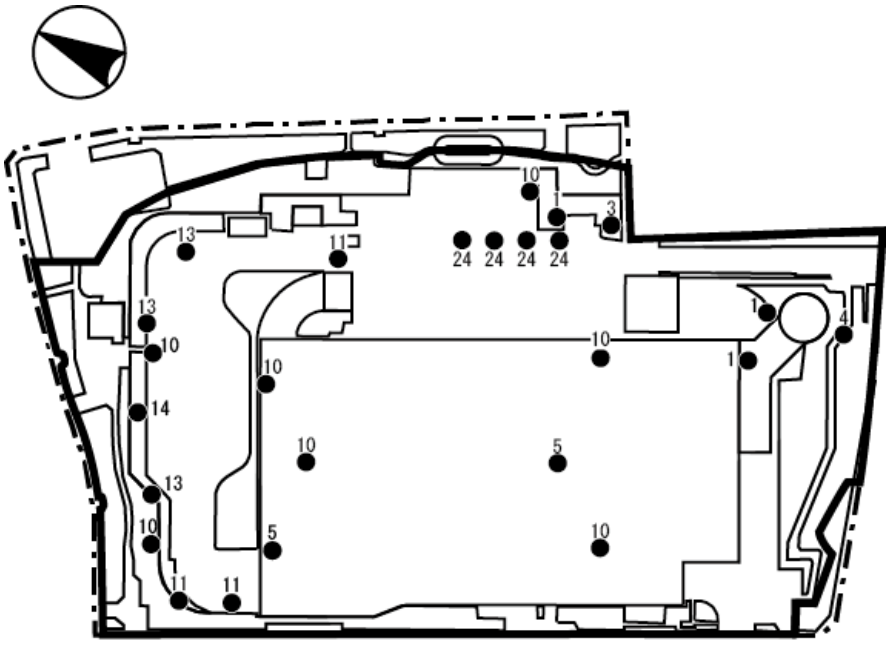


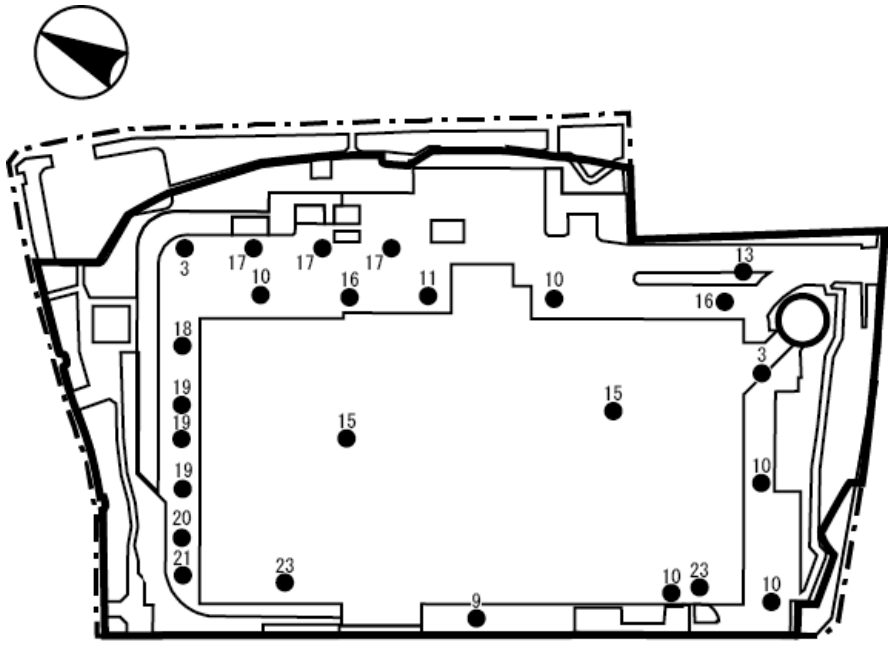
図 8.3-3　音源と予測位置との関係

b　建設機械の配置

音源の位置は、図 8.3-4に示すとおり、建設機械の稼働台数をもとに、建設機械の回転半径、効率的な稼働等を考慮して配置した。予測は各工種において建設機械が同時に稼働していると想定して行った。



解体・土工事（39 か月目）



く体・プラント・外構工事（65 か月目）

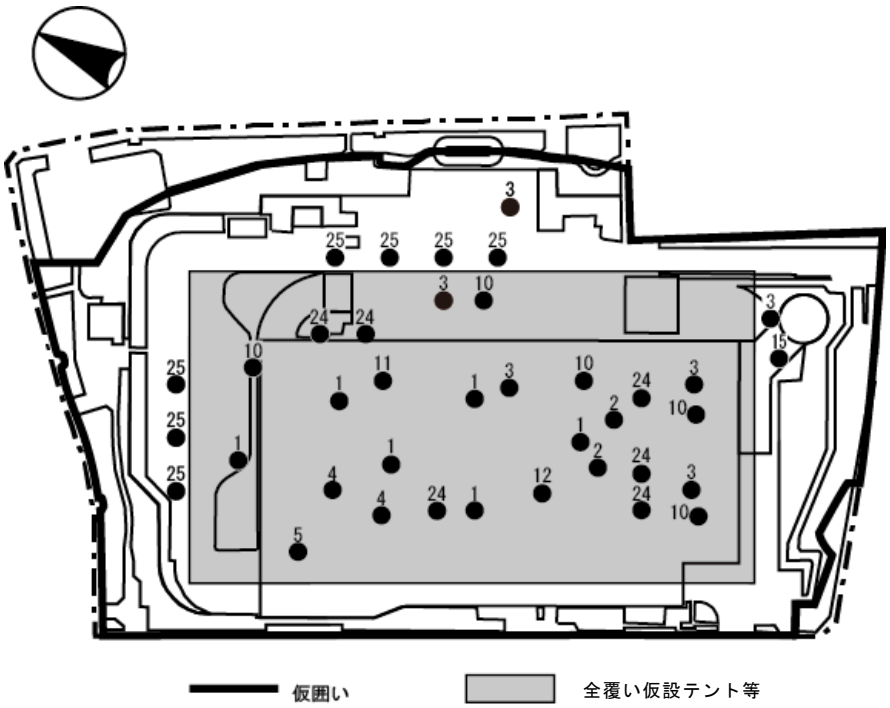
注）図中の数字は、表 8.3-11 に対応する。

図 8.3-4　建設機械の配置

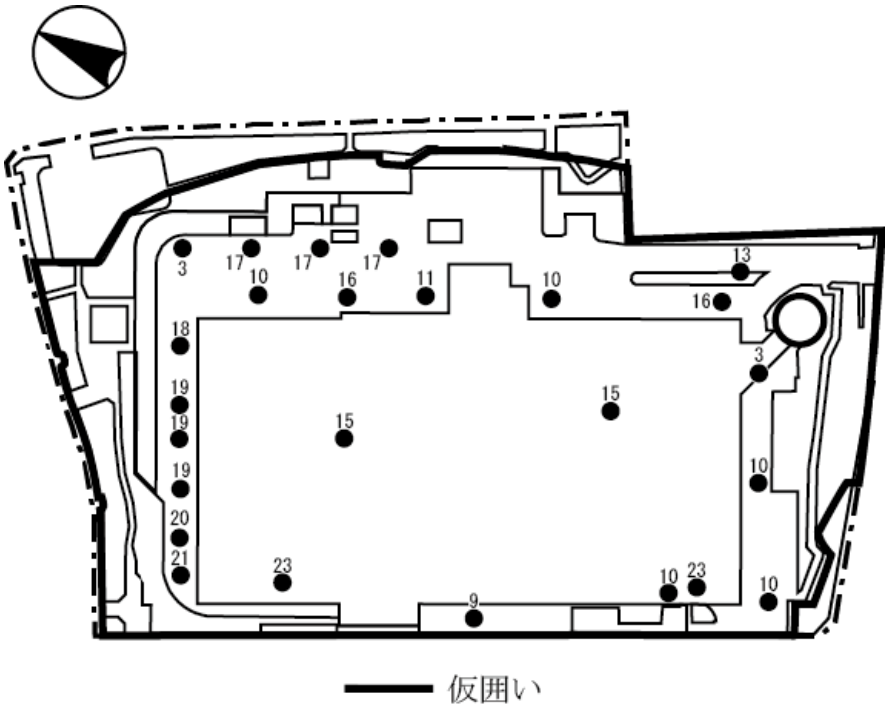
(ｲ) 建設機械の稼働に伴う振動

a 建設機械の配置

振動源の位置は、図 8.3-5に示すとおり、計画で設定した建設機械の稼働台数をもとに、建設機械の回転半径、効率的な稼働等を考慮して配置した。予測は各工種において、建設機械が全て同時に稼働していると想定して行った。



解体・土工事（30 か月目）



く体・プラント・外構工事(65 か月目)

注）図中の数字は、表 8.3-13 に対応する。

図 8.3-5 建設機械の配置

イ 施設の稼働に伴う騒音・振動

(ｱ) 施設の稼働に伴う騒音

a 拡散音場

清掃工場各室内においては、騒音発生機器の位置・形態に関わりなく、一室内では単位体積当たり一様に音のエネルギーが分布しているものとして、室内は拡散状態（拡散音場）にあるものと仮定すると、一室内における内壁面についてはどの部位にも、一様なエネルギー入射があると考えられる。この内壁面への入射パワーレベルは、以下の式で与えられる。

$$L_{wi} = PW_i - 10 \cdot \log_{10} S_i \alpha_i$$

L_{wi} ： i 番目の仮想音源について、内壁面への入射パワーレベル（dB）
PW_i ： i 番目の仮想音源について、室内の騒音発生源パワーレベル（dB）
S_i ： i 番目の仮想音源について、室内表面積（m^2）
α_i ： i 番目の仮想音源について、室の平均吸音率
$S_i \alpha_i$ ： i 番目の仮想音源について、室の吸音力（m^2）

周波数別の吸音率は、表 8.3-14に示すとおりである。

内部仕上げはコンクリートとし、吸音処理が必要な部屋はグラスウールガラスクロス貼りボードタイプとした。

表 8.3-14 内部仕上げ材の吸音率

部材	周波数（Hz）					
	125	250	500	1,000	2,000	4,000
コンクリート打ち放し	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03
グラスウール ガラスクロス貼りボードタイプ （32kg/m^3）厚さ50mm	0.25	0.63	0.93	0.94	0.87	0.91

資料）空調・衛生技術データブック（第３版） 株式会社テクノ菱和 2000

b 建物外壁面の音圧レベル

建物内から建物壁材を透過し、建物外壁面から屋外へ伝搬する音圧レベルは、各室の外壁及び内装仕上げ材による透過損失によって決まり、以下の式で求めることができる。

$$L_{woi} = L_{wi} - TL_i$$

L_{woi}：i 番目の仮想音源について、外壁面でのパワーレベル(dB)
L_{wi} ：i 番目の仮想音源について、内壁面への入射パワーレベル(dB)
TL_i：i 番目の仮想音源について、外壁の透過損失(dB)

外壁の透過損失は、表 8.3-15に示すとおりである。

表 8.3-15 部材別の透過損失

単位：dB

部材	周波数（Hz）							
	63	125	250	500	1,000	2,000	4,000	8,000
コンクリート打ち放し 厚さ180mm	33	37	42	50	58	66	69	67

資料）コンクリート二重壁の音響透過損失　日本建築学会大会学術講演梗概集

c 距離減衰

距離減衰の計算は、以下の式に示す点音源の距離減衰式を用いた。

$$L_{ri} = L_{woi} - 20 \cdot \log_{10} r_i - 11 + 10 \cdot \log_{10} Q_i$$

L_{ri} ：i 番目の仮想音源から r_i(m)離れた受音点までの音圧レベル(dB)
L_{woi}：i 番目の仮想音源のパワーレベル(dB)
r_i ：i 番目の仮想音源から受音点までの距離(m)
Q_i ：i 番目の仮想音源の指向係数
(Q_i=2：屋上に位置する音源(半自由空間)、Q_i=4：側壁面の音源(1/4 自由空間))

d　障壁等による回折減衰

障壁による回折減衰量は、図 8.3-6及び次の近似式を用いて計算した。

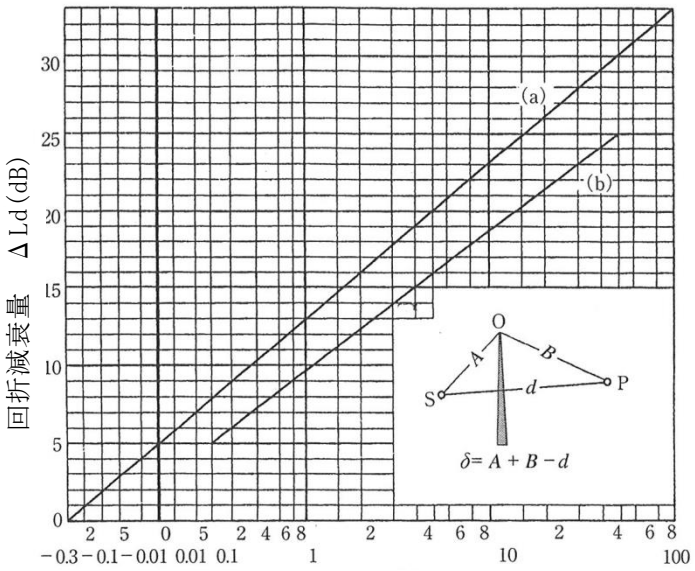
$$\Delta Ld = \begin{cases} 10\cdot\log_{10}N + 13 & 1 \leqq N \\ 5 + 8\sqrt{N} & 0 \leqq N < 1 \\ 5 - 8\sqrt{|N|} & -0.36 \leqq N < 0 \\ 0 & N < -0.36 \end{cases}$$

ΔLd：回折減衰量(dB)

N　：フレネル数…　N＝δf／170

f　：周波数（Hz）

δ　：障壁による経路差（m）



N：フレネル数

注）図中の(a)は点音源、(b)は線音源の回折減衰量である。

図 8.3-6　障壁等による回折減衰

e 清掃工場の設備機器の配置

主要な騒音発生機器一覧は、表 8.3-16(1)及び(2)に示すとおりである。また、その位置は図 8.3-7(1)～(4)に示すとおりである。

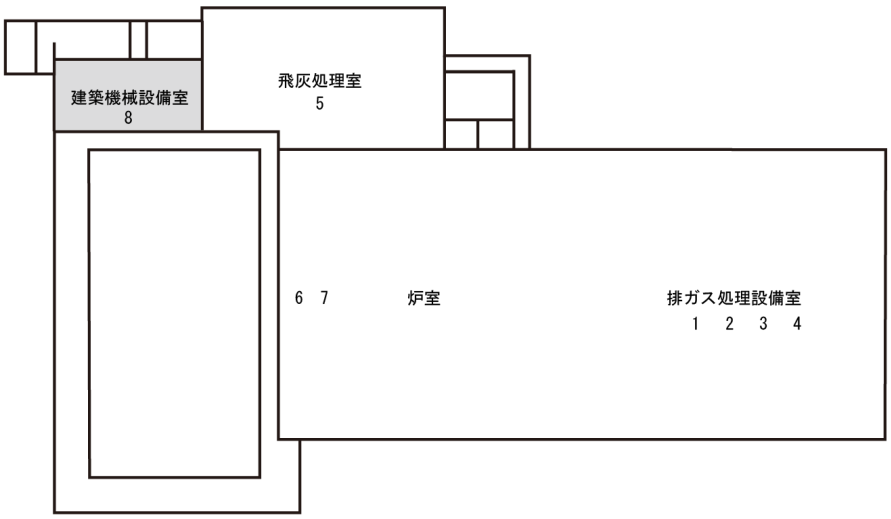
表 8.3-16(1) 主要な騒音発生機器一覧

NO.	階	室（スペース）名	機器名称	台数	予測対象[注1)]		設置環境	パワーレベル[注6)] (dB)
					昼間	朝、夕、夜間		
1	地下3階	排ガス処理設備室	排ガス処理薬品用ブロワー	2	○	○	屋内	110
2			吸収液循環ポンプ	2	○	○	屋内	118
3			冷却液循環ポンプ	2	○	○	屋内	91
4			洗煙汚水引抜ポンプ	2	○	○	屋内	81
5		飛灰処理室	混練機※2	1	－	－	屋内	95
6		炉室	押込ファン	2	○	○	屋内	98
7			二次燃焼ファン	2	○	○	屋内	102
8		建築機械設備室	換気ファン	1	○	○	屋内	93
9	地下2階	排ガス処理設備室（地下3階～地下1階）	ろ過式集じん器※4	2	－	－	屋内	88
10		炉室	ストーカ駆動装置	2	○	○	屋内	120
11		建築機械設備室	換気ファン	1	○	○	屋内	93
12		汚水処理室	排水処理設備用ブロワー	1	○	○	屋内	88
13	地下1階	脱臭装置室	脱臭ファン※3	1	－	－	屋内	100
14		ボイラ補機室	脱気器	2	○	○	屋内	111
15			ボイラ給水ポンプ	2	○	○	屋内	118
16			純水設備送水ポンプ	1	○	○	屋内	86
17		純水設備室	純水補給ポンプ	1	○	○	屋内	108
18		発電機補機室	排気復水ポンプ	1	○	○	屋内	118
19			脱気器給水ポンプ	1	○	○	屋内	118
20			タービンドレン移送ポンプ	1	○	○	屋内	111
21		空気圧縮機室	計装用空気圧縮機	1	○	○	屋内	118
22			雑用空気圧縮機	1	○	○	屋内	118
23			ろ過式集じん器用空気圧縮機	1	○	○	屋内	78
24		誘引ファン室	誘引ファン	2	○	○	屋内	123
25		ポンプ室	プラント用水揚水ポンプ	1	○	○	屋内	93
26			冷却水揚水ポンプ	1	○	○	屋内	97

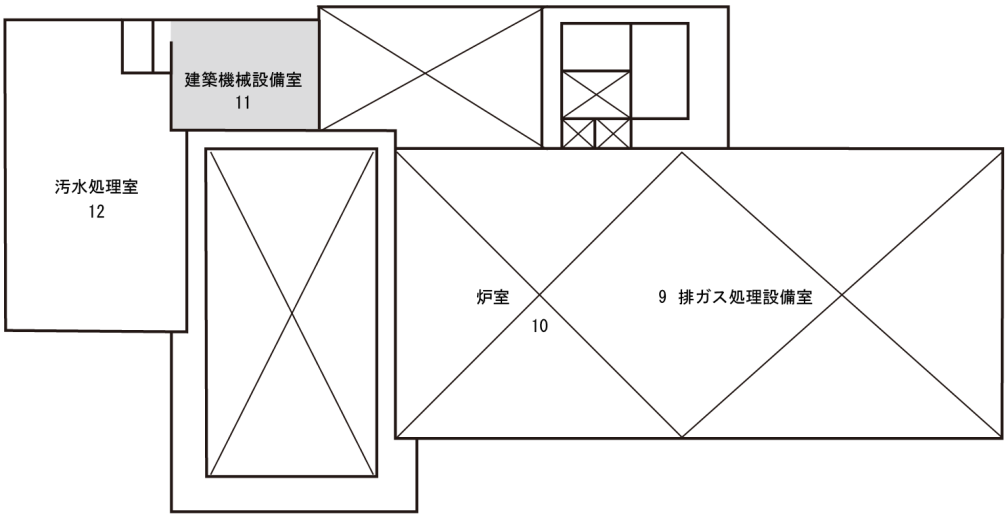
表 8.3-16(2) 主要な騒音発生機器一覧

NO.	階	室（スペース）名	機器名称	台数	予測対象[注1)]		設置環境	パワーレベル[注6)] (dB)
					昼間	朝、夕、夜間		
27	1階	アンモニア水貯槽室	アンモニア水ポンプ	2	○	○	屋内	78
28			アンモニア廃液ポンプ※2	1	－	－	屋内	88
29			アンモニア排気ファン※2	1	－	－	屋内	88
30		飛灰処理室	環境集じん器ファン※2	1	－	－	屋内	98
31		受変電室	受変電設備	1式	○	○	屋内	87
32		プラットホーム	ゴミ収集車※1	4	○	－	屋内	102
33	2階	発電機･非常用発電機室	蒸気タービン	1	○	○	屋内	101
34			蒸気タービン発電機	1	○	○	屋内	93
35			非常用発電機※2	1	－	－	屋内	113
36		建築機械設備室	換気ファン	1	○	○	屋内	93
37	3階	排気復水器スペース（地上2階～4階）	タービン排気復水器	1式	○	○	屋外	105
38		発電機･非常用発電機室	発電機用クレーン※2	1	－	－	屋内	83
39		減湿用冷却塔ヤード	減湿用冷却塔	4	○	○	屋外	105
40		クレーン操作室	ごみクレーン電気設備	1式	○	○	屋内	68
41		灰バンカ	灰クレーン※1	1	○	－	屋内	88
42		機器冷却塔ヤード	機器冷却塔	2	○	○	屋外	103
43	4階	ごみバンカ	ごみクレーン	2	○	○	屋内	120
44		建築機械設備室	換気ファン	1	○	○	屋内	93

注１）予測対象欄の「―」は予測に含めないことを示す。
注２）※1は、昼間の予測にのみ含める。
注３）※2は、定常時には停止している（予測に含めない）。
注４）※3は、炉稼働時には停止している（予測に含めない）。
注５）※4は、非定常音である（予測に含めない）。
注６）パワーレベルは、プラントメーカーへのヒアリング結果に基づいて設定した。



地下３階

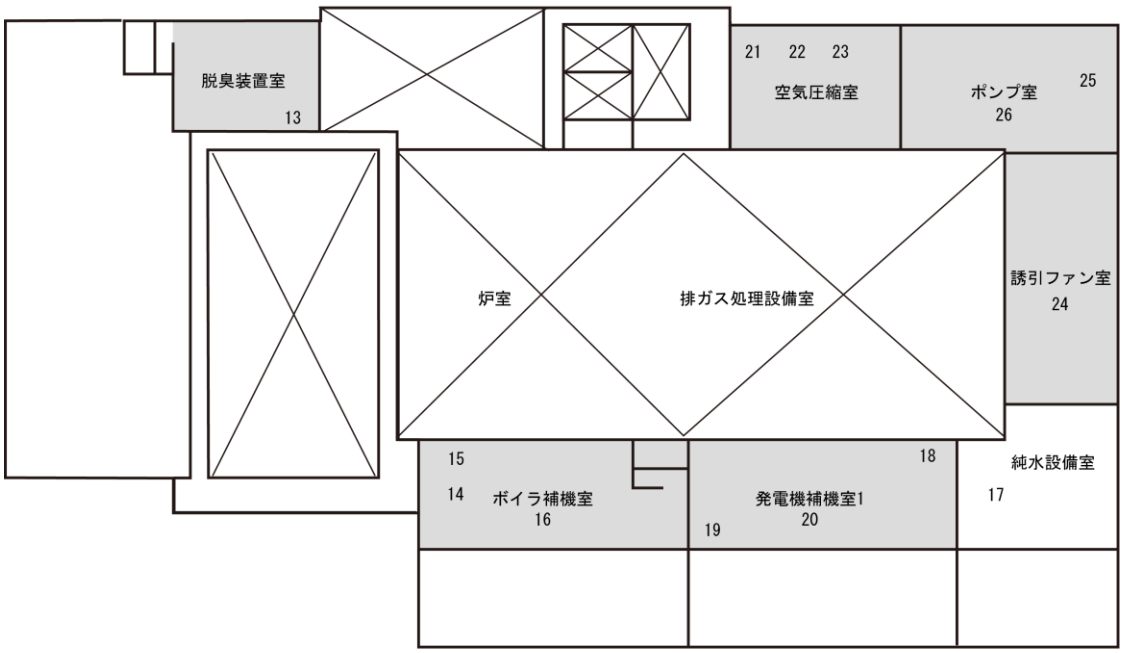


地下２階

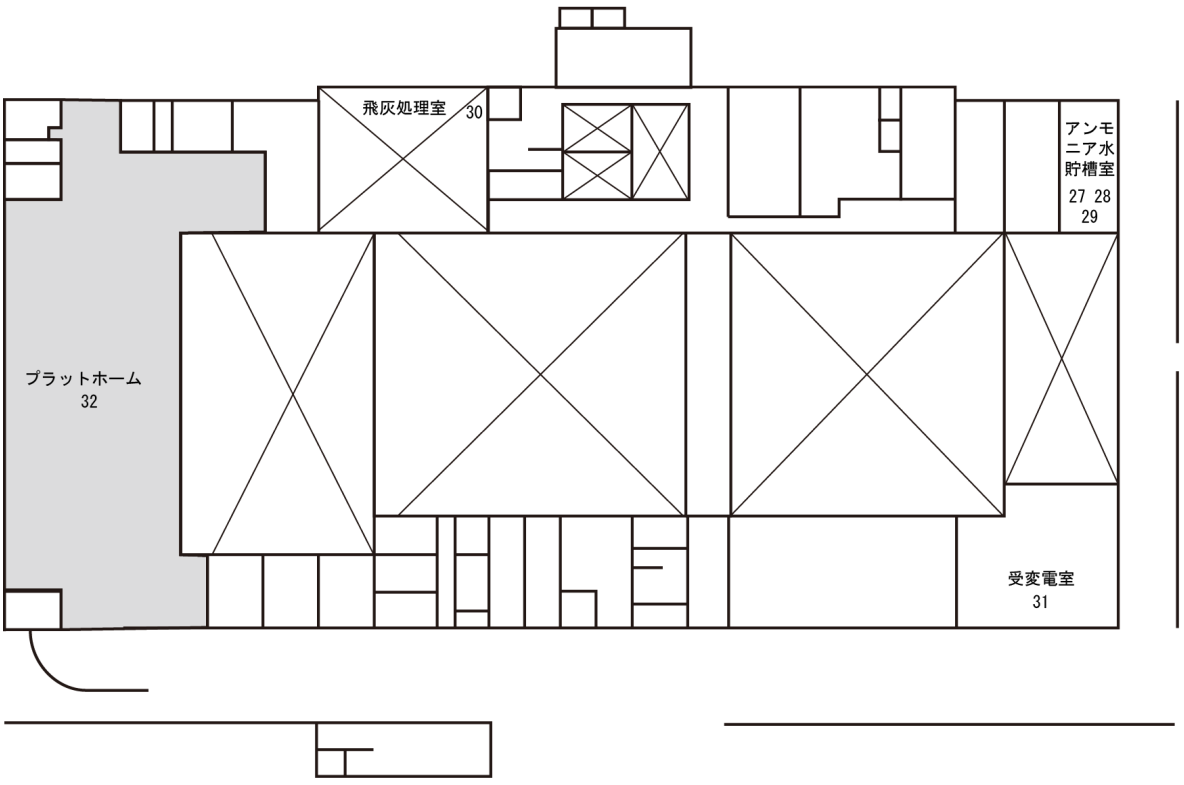
：吸音処理

注）図中の数字は、表 8.3-16 に対応する。

図 8.3-7(1)　主要な騒音発生機器の位置



地下１階

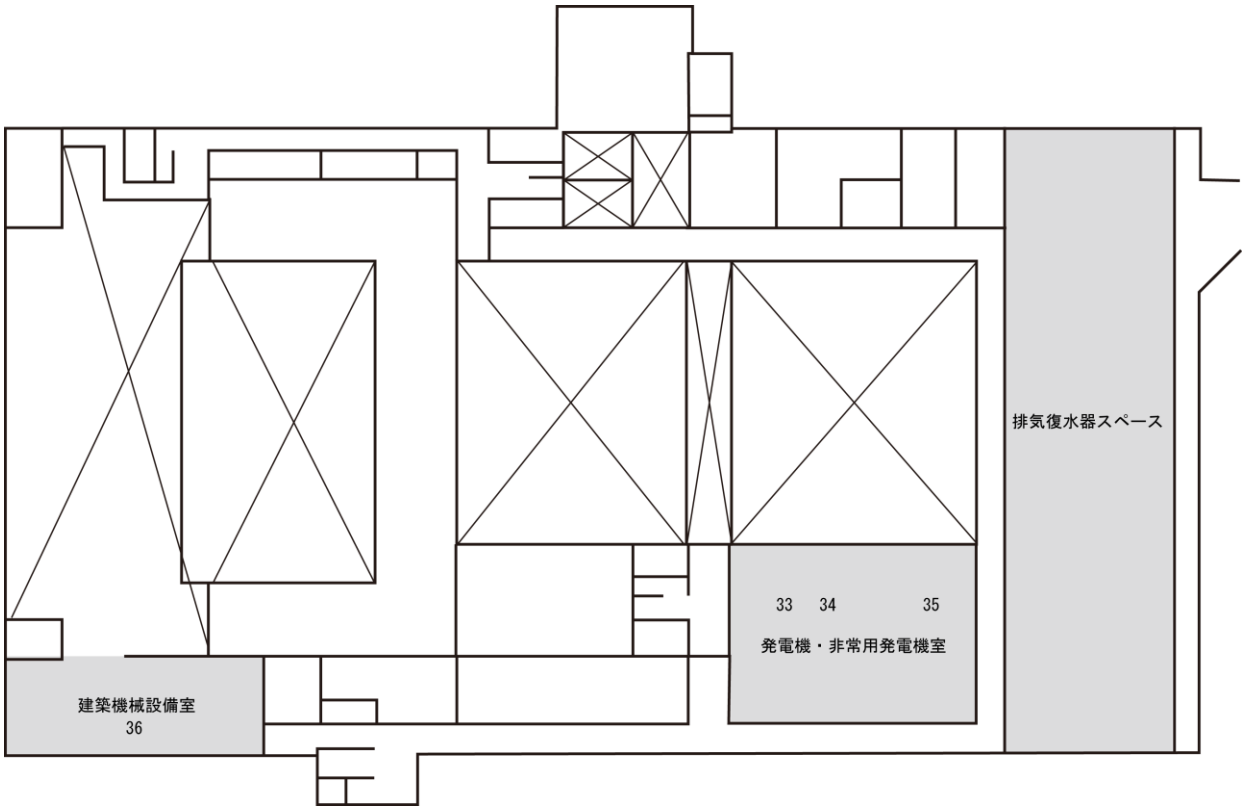


１階

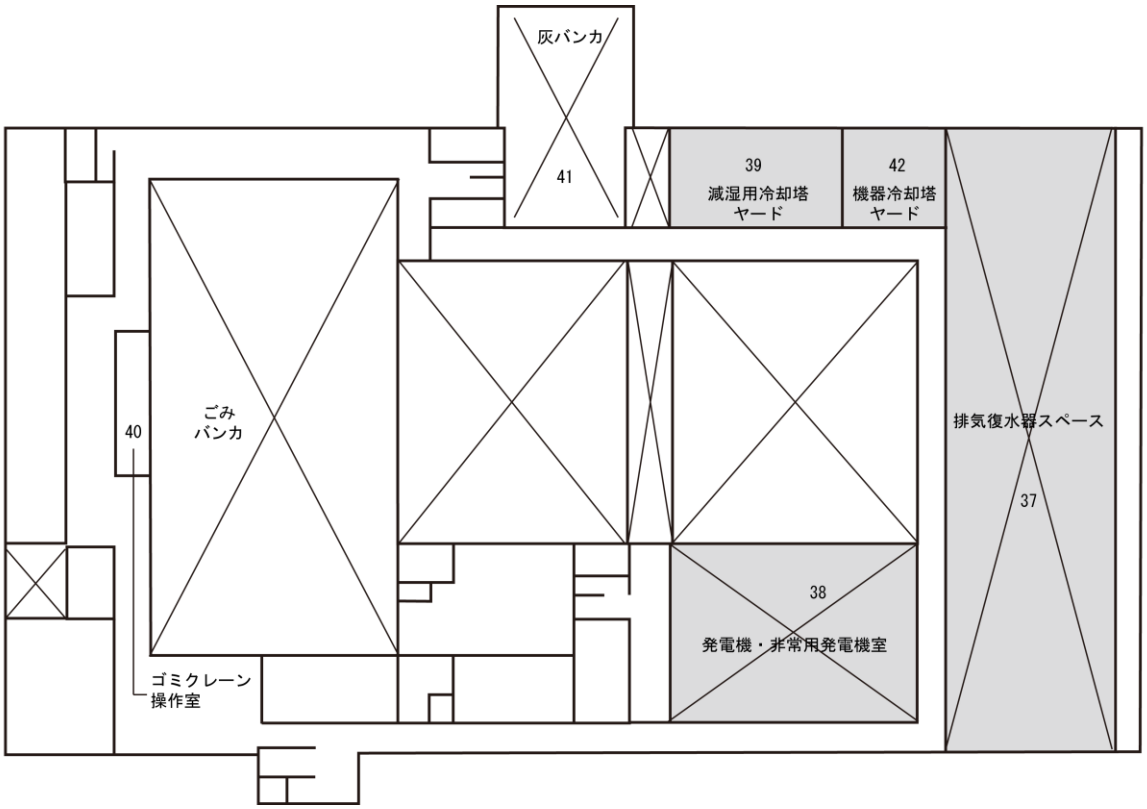
：吸音処理

注）図中の数字は、表 8.3-16 に対応する。

図 8.3-7(2)　主要な騒音発生機器の位置



２階

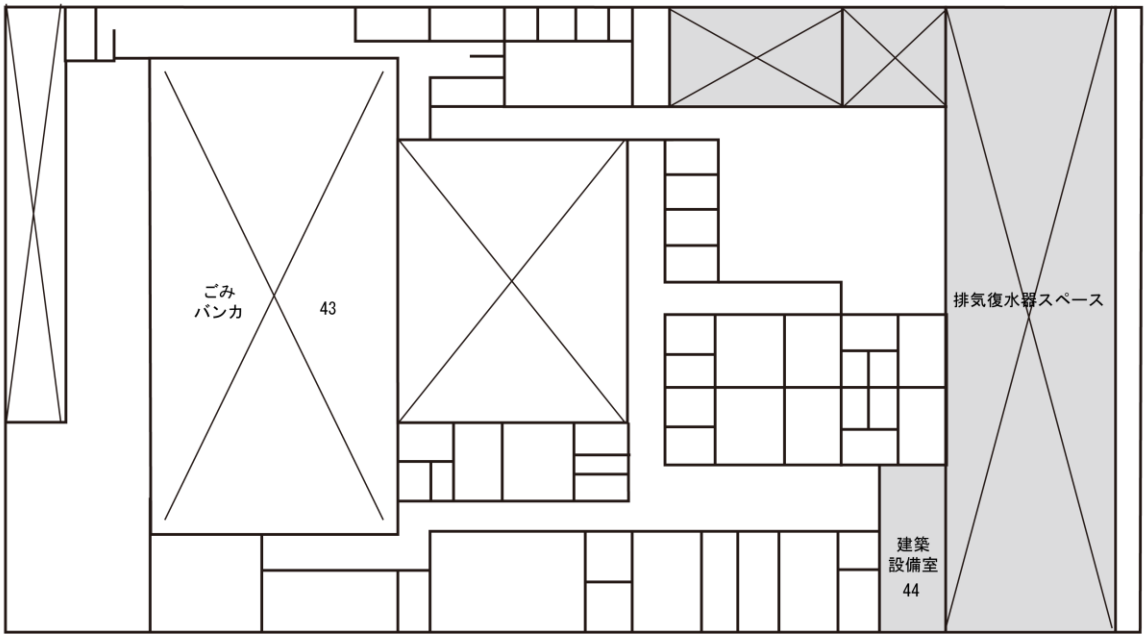


３階

：吸音処理

注）図中の数字は、表 8.3-16 に対応する。

図 8.3-7(3)　主要な騒音発生機器の位置



４階

：吸音処理

注）図中の数字は、表 8.3-16 に対応する。

図 8.3-7(4)　主要な騒音発生機器の位置

f 面音源と受音点

面音源と受音点の関係は、図 8.3-8に示すとおりである。

清掃工場の設備機器から発生する騒音は、ほぼ均一に建物の外壁を通して受音点に到達するが、このように音源がかなりの広がりを持っている場合は面音源と考えられる。このため、この面音源を細分化し点音源の集合体と考え、個々について伝搬計算を行い、それらを合成したものを受音点の騒音レベルとして予測した。

なお、音源から受音点に伝搬する音は、清掃工場の建物自体を含む障害建物等による回折の影響を考慮した。

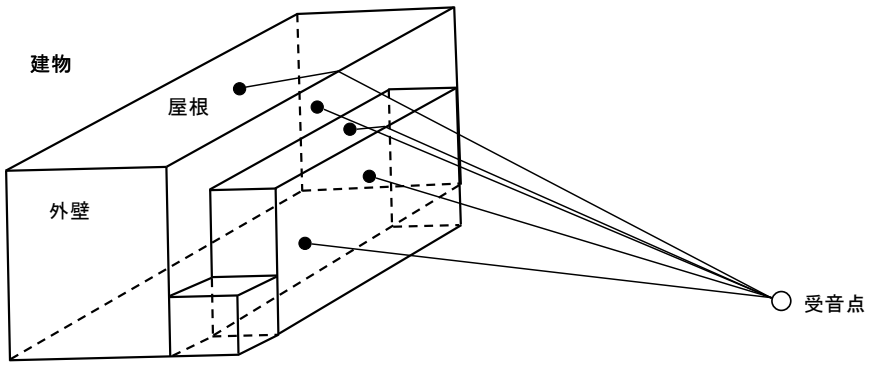


図 8.3-8　面音源と受音点の関係

(ｲ) 施設の稼働に伴う振動

a 清掃工場の設備機械の配置

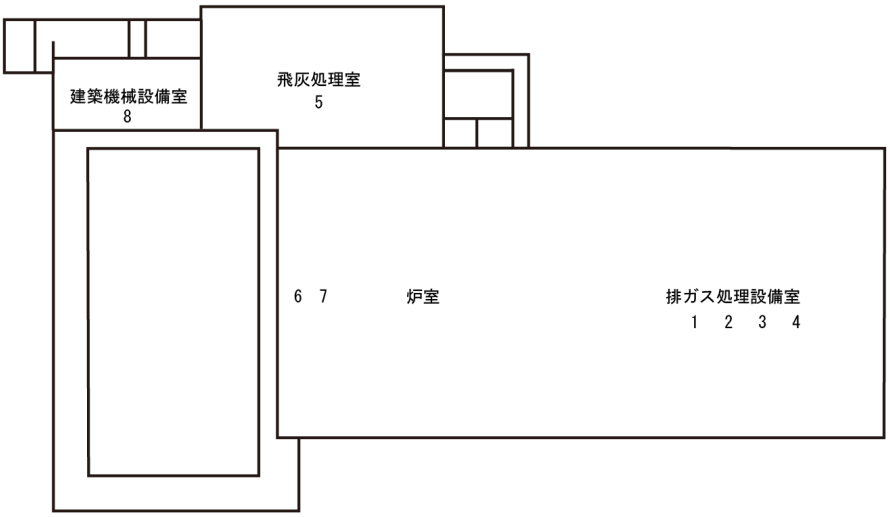
主要な振動発生機器一覧は、表 8.3-17に示すとおりである。また、その位置は、図8.3-9(1)及び(2)に示すとおりである。

なお、対象とした発生機器は、地下３階～１階部分に配置される機器とした。

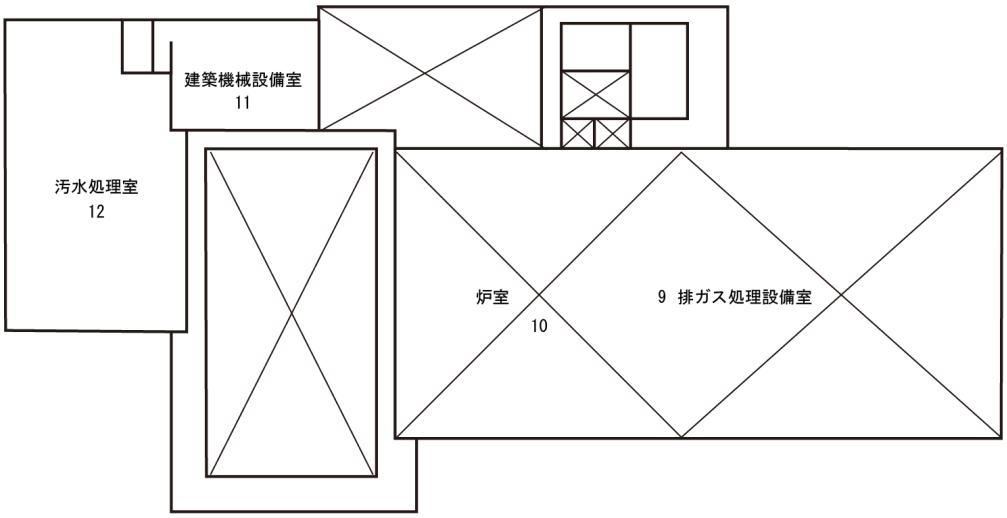
表 8.3-17 主要な振動発生機器一覧

NO.	階	室（スペース）名	機器名称	台数	予測対象[注1)]		設置環境	機側1m振動レベル[注6)]（ｄＢ）
					昼間	朝､夕､夜間		
1	地下3階	排ガス処理設備室	排ガス処理薬品用ブロワー	2	○	○	屋内	60
2			吸収液循環ポンプ	2	○	○	屋内	61
3			冷却液循環ポンプ	2	○	○	屋内	61
4			洗煙汚水引抜ポンプ	2	○	○	屋内	42
5		飛灰処理室	混練機※2	1	－	－	屋内	50
6		炉室	押込ファン	2	○	○	屋内	55
7			二次燃焼ファン	2	○	○	屋内	55
8		建築機械設備室	換気ファン	1	○	○	屋内	30
9	地下2階	排ガス処理設備室（地下3階～地下1階）	ろ過式集じん器※4	2	－	－	屋内	48
10		炉室	ストーカ駆動装置	2	○	○	屋内	39
11		建築機械設備室	換気ファン	1	○	○	屋内	30
12		汚水処理室	排水処理設備用ブロワー	1	○	○	屋内	55
13	地下1階	脱臭装置室	脱臭ファン※3	1	－	－	屋内	55
14		ボイラ補機室	脱気器	2	○	○	屋内	40
15			ボイラ給水ポンプ	2	○	○	屋内	61
16			純水設備送水ポンプ	1	○	○	屋内	45
17		純水設備室	純水補給ポンプ	1	○	○	屋内	61
18		発電機補機室	排気復水ポンプ	1	○	○	屋内	46
19			脱気器給水ポンプ	1	○	○	屋内	61
20			タービンドレン移送ポンプ	1	○	○	屋内	53
21		空気圧縮機室	計装用空気圧縮機	1	○	○	屋内	50
22			雑用空気圧縮機	1	○	○	屋内	50
23			ろ過式集じん器用空気圧縮機	1	○	○	屋内	50
24		誘引ファン室	誘引ファン	2	○	○	屋内	55
25		ポンプ室	プラント用水揚水ポンプ	1	○	○	屋内	55
26			冷却水揚水ポンプ	1	○	○	屋内	61
27	1階	アンモニア水貯槽室	アンモニア水ポンプ	2	○	○	屋内	44
28			アンモニア廃液ポンプ※2	1	－	－	屋内	42
29			アンモニア排気ファン※2	1	－	－	屋内	46
30		飛灰処理室	環境集じん器ファン※2	1	－	－	屋内	59
31		受変電室	受変電設備	1式	○	○	屋内	46
32		プラットホーム	ごみ収集車※1	4	－	－	屋内	－

注１）予測対象欄の「―」は予測に含めないことを示す。
注２）※1は、振動は小さいものとして予測から除外した。
注３）※2は、定常時には停止している（予測に含めない）。
注４）※3は、炉稼働時には停止している（予測に含めない）。
注５）※4は、非定常稼働である（予測に含めない）。
注６）振動レベルは、プラントメーカーへのヒアリング結果に基づいて設定した。



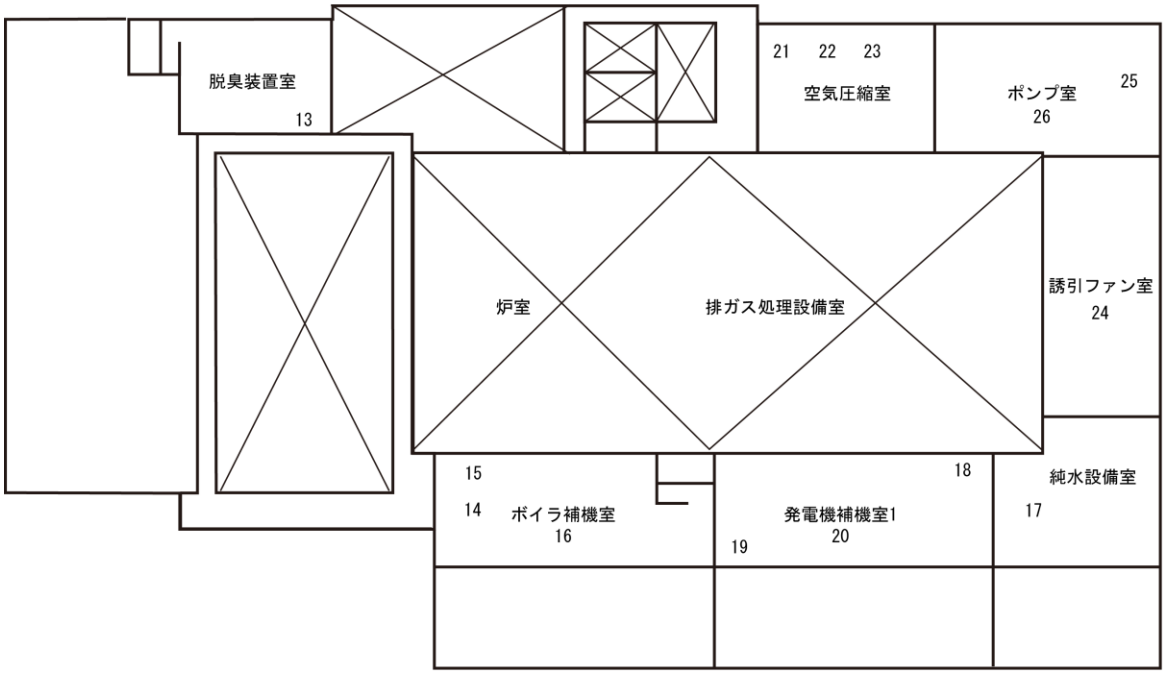
地下３階



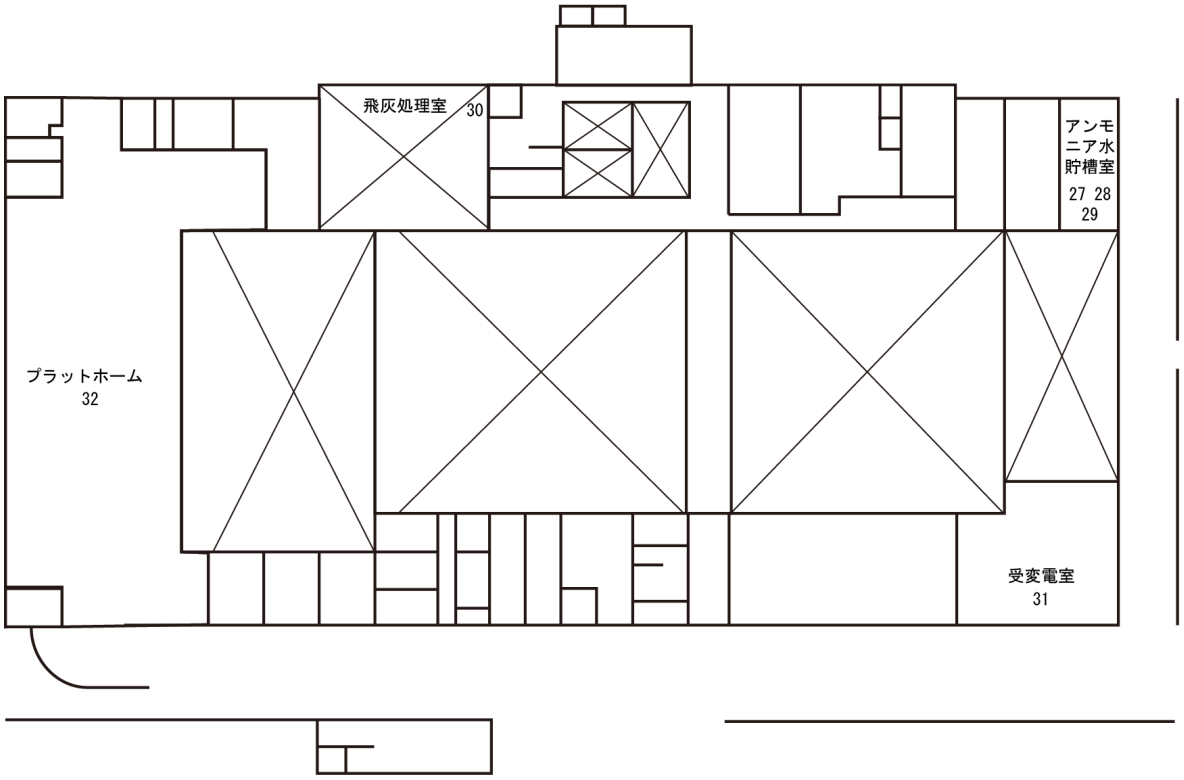
地下２階

注）図中の数字は、表 8.3-17 に対応する。

図 8.3-9(1) 主要な振動発生機器の位置



地下１階



１階

注）図中の数字は、表 8.3-17 に対応する。

図 8.3-9(2) 主要な振動発生機器の位置

（３）　予測結果

ア　工事用車両及びごみ収集車両等の走行に伴う道路交通騒音・振動

(ｱ)　工事用車両及びごみ収集車両等の走行に伴う道路交通騒音

a　道路交通騒音の距離減衰

(a)　地点１

道路端からの騒音距離減衰図は、図 8.3-10に示すとおりである。工事中、工事完了後いずれにおいても環境基準を満たしている。

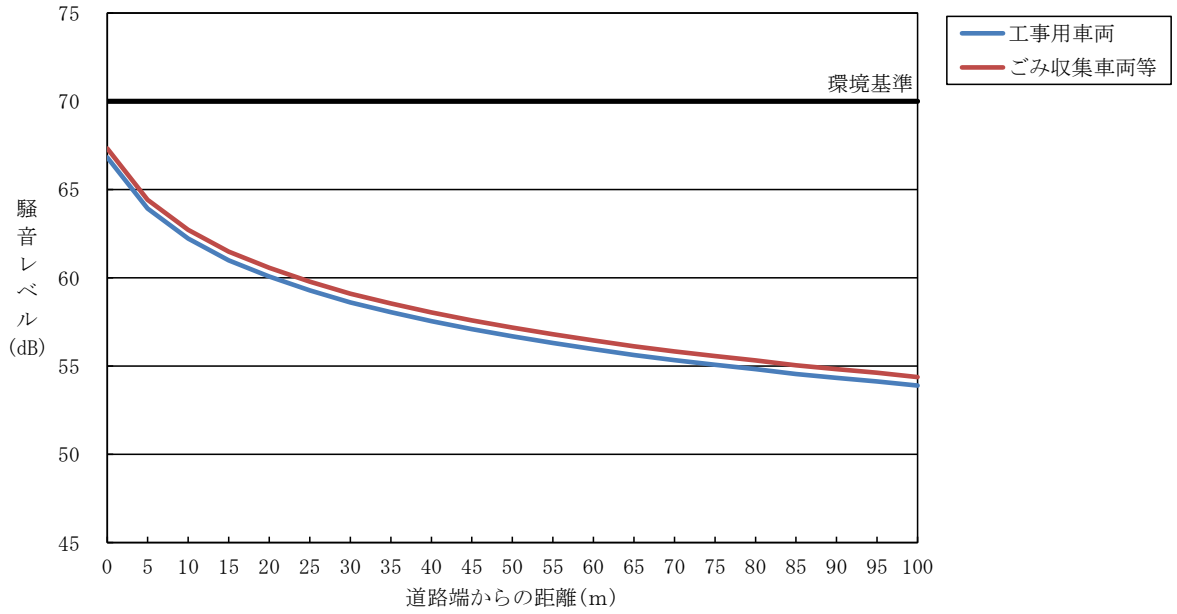


図 8.3-10　距離減衰図　（地点１　江戸川小学校付近）

(b)　地点２

道路端からの騒音距離減衰図は、図 8.3-11に示すとおりである。工事中、工事完了後いずれにおいても環境基準を満たしている。

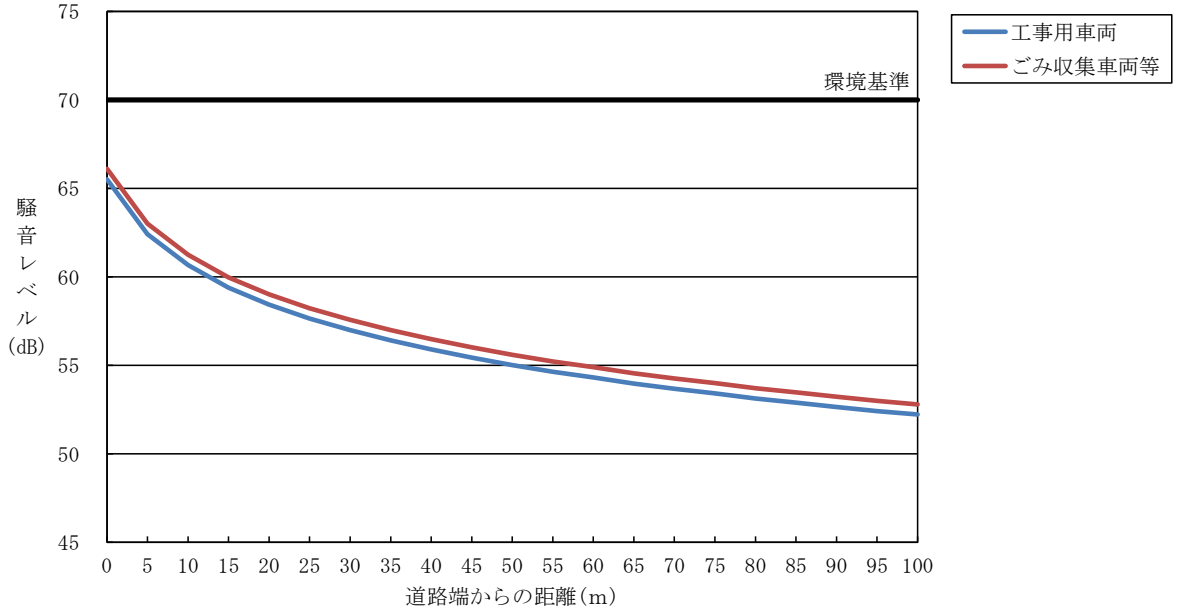


図 8.3-11　距離減衰図（地点２　そよかぜひろば西）

(c)　地点３

道路端からの騒音距離減衰図は、図 8.3-12に示すとおりである。工事中、工事完了後いずれにおいても環境基準を満たしている。

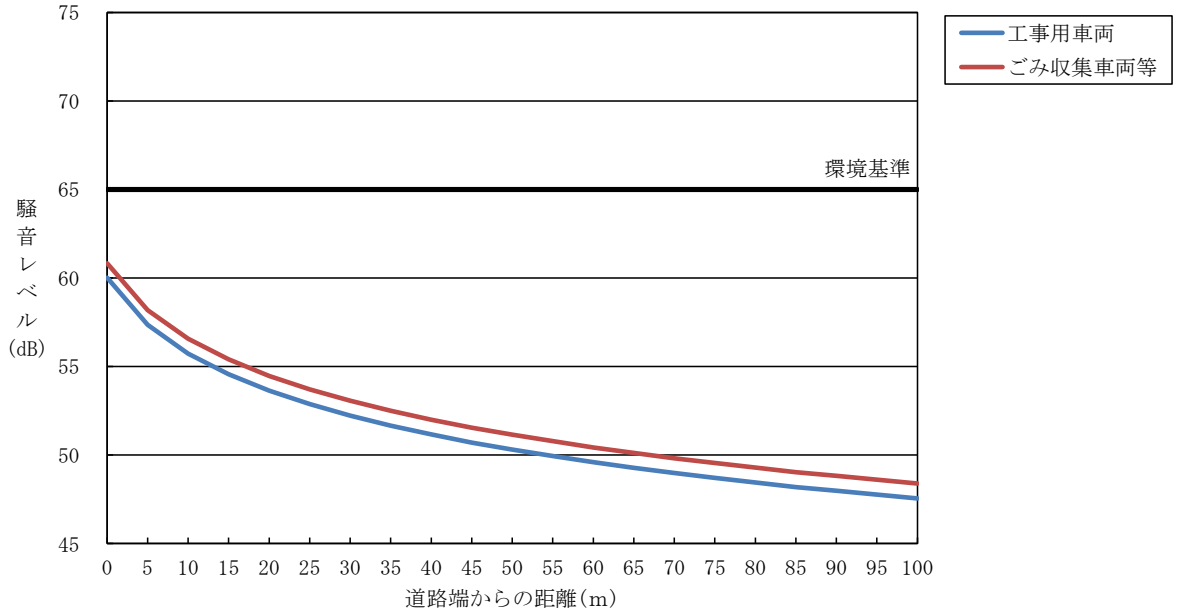


図 8.3-12　距離減衰図（地点３　下鎌田東小学校前）

(d)　地点４

道路端からの騒音距離減衰図は、図 8.3-13に示すとおりである。

なお、工事完了後において環境基準を満足する道路端からの距離は、約３ｍである。

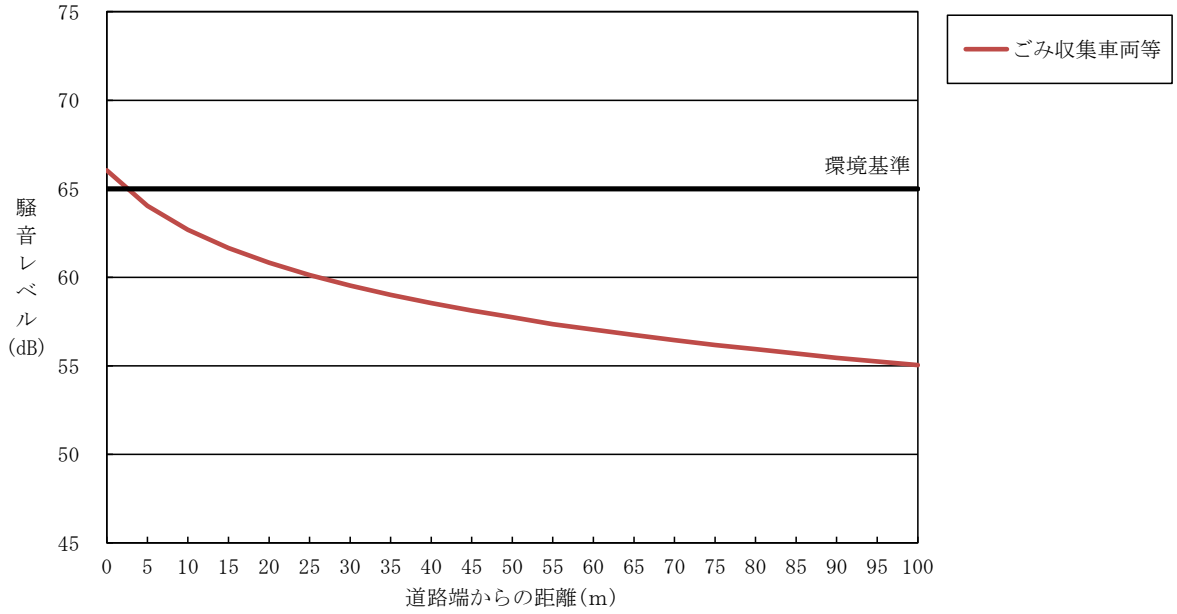


図 8.3-13　距離減衰図（地点４　篠崎街道）

(e)　地点５

道路端からの騒音距離減衰図は、図 8.3-14に示すとおりである。工事中、工事完了後いずれにおいても環境基準を満たしている。

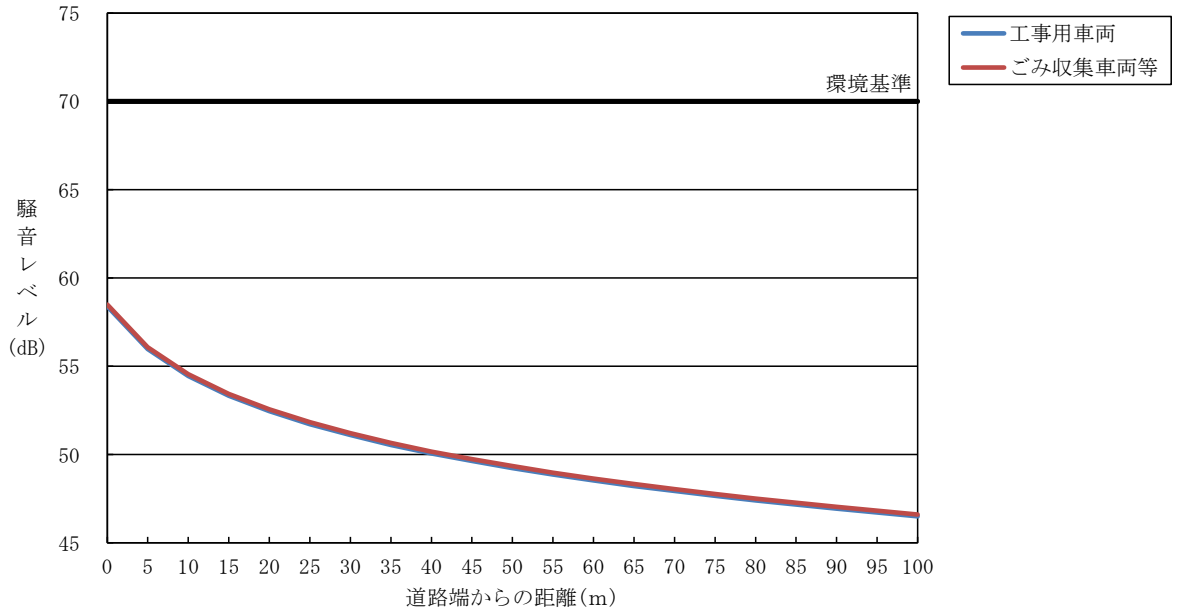


図 8.3-14　距離減衰図（地点５　柴又街道）

(ｲ) 工事用車両及びごみ収集車両等の走行に伴う道路交通振動

a 工事用車両の走行に伴う振動の予測結果

工事用車両の走行に伴う振動の予測結果は、表 8.3-18(1)及び(2)に示すとおりである。各時間帯別の予測結果は29．7～57.6dBであり、工事用車両の走行に伴う振動レベルの増加分は-3.6～1.5dB以下である。

表 8.3-18(1) 工事用車両の走行に伴う振動の予測結果（道路端）

予測地点		時間	時間区分	振動レベル L_{10}(dB)		
				現況調査結果	工事用車両の走行に伴う振動レベルの増加	予測結果
1	江戸川小学校付近	7-8	夜間	49.2	0.6	49.8
		8-9	昼間	48.9	-1.3	47.6
		9-10		55.3	-1.3	54.0
		10-11		56.2	-1.0	55.2
		11-12		51.9	-1.1	50.8
		12-13		50.0	-0.7	49.3
		13-14		50.9	-1.3	49.6
		14-15		55.8	-1.9	53.9
		15-16		50.8	0.1	50.9
		16-17		57.5	0.1	57.6
		17-18		49.8	0.1	49.9
		18-19		49.7	0.0	49.7
2	そよかぜひろば西	7-8	夜間	38.0	0.6	38.6
		8-9	昼間	40.7	-0.8	39.9
		9-10		47.6	-1.4	46.2
		10-11		50.4	-1.5	48.9
		11-12		45.5	-0.8	44.7
		12-13		48.7	-0.7	48.0
		13-14		46.4	-1.5	44.9
		14-15		44.2	-1.9	42.3
		15-16		43.7	-0.3	43.4
		16-17		48.8	0.2	49.0
		17-18		44.5	0.1	44.6
		18-19		42.4	0.0	42.4
3	下鎌田東小学校前	7-8	夜間	37.9	0.9	38.8
		8-9	昼間	37.9	-2.4	35.5
		9-10		35.9	-3.2	32.7
		10-11		37.2	-3.6	33.6
		11-12		38.1	-2.9	35.2
		12-13		36.3	-1.2	35.1
		13-14		39.3	-3.0	36.3
		14-15		37.8	-2.1	35.7
		15-16		36.7	-0.1	36.6
		16-17		34.6	0.1	34.7
		17-18		36.6	0.0	36.6
		18-19		34.7	0.0	34.7

注１）時間区分は、「東京都環境確保条例」に定める日常生活に適用する規制基準によるもの。
注２）網掛部は、各時間区分における最大振動レベルを示す。

表 8.3-18(2) 工事用車両の走行に伴う振動の予測結果（道路端）

予測地点		時間	時間区分	振動レベル L_{10}(dB)		
				現況調査結果	工事用車両の走行に伴う振動レベルの増加	予測結果
5	柴又街道	7-8	夜間	31.6	1.5	33.1
		8-9	昼間	32.4	-0.2	32.2
		9-10		32.3	-0.7	31.6
		10-11		39.1	-0.6	38.5
		11-12		34.2	-0.7	33.5
		12-13		35.9	-0.1	35.8
		13-14		30.1	-0.2	29.9
		14-15		39.2	-0.6	38.6
		15-16		31.7	0.4	32.1
		16-17		39.5	0.1	39.6
		17-18		31.7	0.0	31.7
		18-19		29.7	0.0	29.7

注１）時間区分は、「東京都環境確保条例」に定める日常生活に適用する規制基準によるもの。
注２）網掛部は、各時間区分における最大振動レベルを示す。

b ごみ収集車両等の走行に伴う振動の予測結果

ごみ収集車両等の走行に伴う振動レベルの予測結果は、表 8.3-19(1)及び(2)に示すとおりである。各時間帯別の予測結果は30.6～57.5dBであり、ごみ収集車両等の走行に伴う振動レベルの増加分は-1.0～1.2dB以下である。

表 8.3-19(1) ごみ収集車両等の走行に伴う振動の予測結果（道路端）

予測地点		時間	時間区分	振動レベル L_{10}(dB)		
				現況調査結果	ごみ収集車両等の走行に伴う振動レベルの増加	予測結果
1	江戸川小学校付近	8-9	昼間	48.9	0.4	49.3
		9-10		55.3	0.7	56.0
		10-11		56.2	0.3	56.5
		11-12		51.9	-0.2	51.7
		12-13		50.0	-0.8	49.2
		13-14		50.9	0.3	51.2
		14-15		55.8	-1.0	54.8
		15-16		50.8	-0.1	50.7
		16-17		57.5	0.0	57.5
2	そよかぜひろば西	8-9	昼間	40.7	1.2	41.9
		9-10		47.6	0.6	48.2
		10-11		50.4	0.3	50.7
		11-12		45.5	0.1	45.6
		12-13		48.7	-0.7	48.0
		13-14		46.4	0.4	46.8
		14-15		44.2	-1.0	43.2
		15-16		43.7	-0.5	43.2
		16-17		48.8	0.0	48.8

注１）時間区分は、「東京都環境確保条例」に定める日常生活に適用する規制基準によるもの。
注２）網掛部は、各時間区分における最大振動レベルを示す。

表 8.3-19(2) ごみ収集車両等の走行に伴う振動の予測結果（道路端）

予測地点		時間	時間区分	振動レベル L_{10}(dB)		
				現況調査結果	ごみ収集車両等の走行に伴う振動レベルの増加	予測結果
3	下鎌田東小学校前	8-9	昼間	37.9	0.7	38.6
		9-10		35.9	0.9	36.8
		10-11		37.2	-0.1	37.1
		11-12		38.1	-0.6	37.5
		12-13		36.3	-0.8	35.5
		13-14		39.3	0.5	39.8
		14-15		37.8	0.0	37.8
		15-16		36.7	0.0	36.7
		16-17		34.6	0.0	34.6
4	篠崎街道	8-9	昼間	53.7	0.1	53.8
		9-10		52.4	0.2	52.6
		10-11		54.1	0.0	54.1
		11-12		50.0	0.0	50.0
		12-13		47.0	0.0	47.0
		13-14		43.3	0.3	43.6
		14-15		50.9	-0.1	50.8
		15-16		44.8	-0.3	44.5
		16-17		48.0	0.0	48.0
5	柴又街道	8-9	昼間	32.4	1.2	33.6
		9-10		32.3	0.9	33.2
		10-11		39.1	0.1	39.2
		11-12		34.2	-0.5	33.7
		12-13		35.9	-0.8	35.1
		13-14		30.1	0.5	30.6
		14-15		39.2	-0.3	38.9
		15-16		31.7	-0.1	31.6
		16-17		39.5	0.0	39.5

注１）時間区分は、「東京都環境確保条例」に定める日常生活に適用する規制基準によるもの。
注２）網掛部は、各時間区分における最大振動レベルを示す。

c　道路交通振動の距離減衰

道路端からの振動距離減衰図は、図 8.3-15～図 8.3-19に示すとおりである。

なお、距離減衰図は、各地点の道路端において予測結果が最大となった時間の将来交通量から算出した値を基に作成したものである。

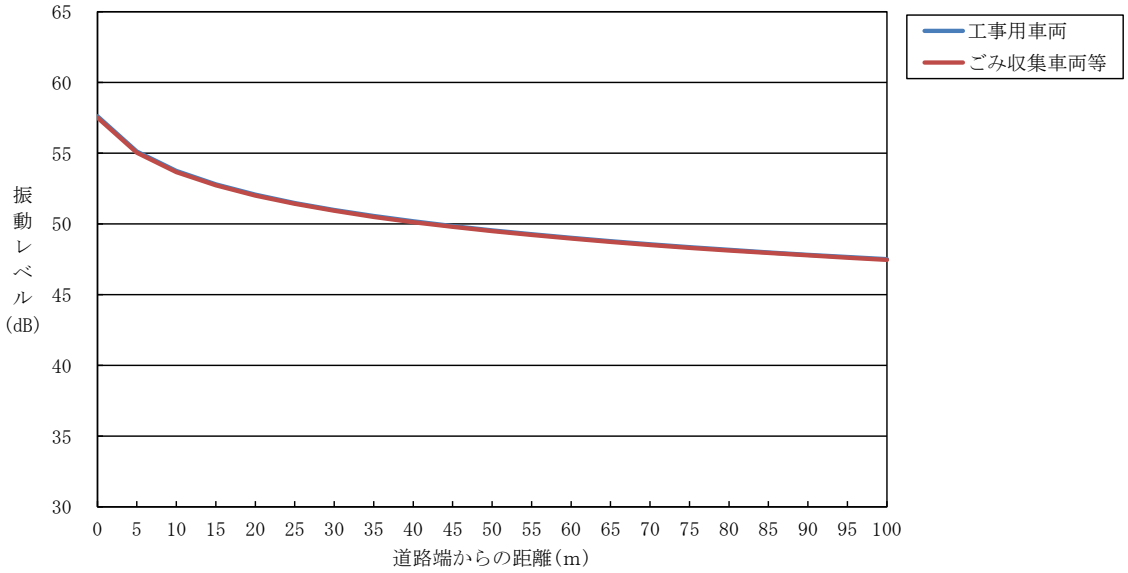


図 8.3-15　距離減衰図（地点１　江戸川小学校付近）

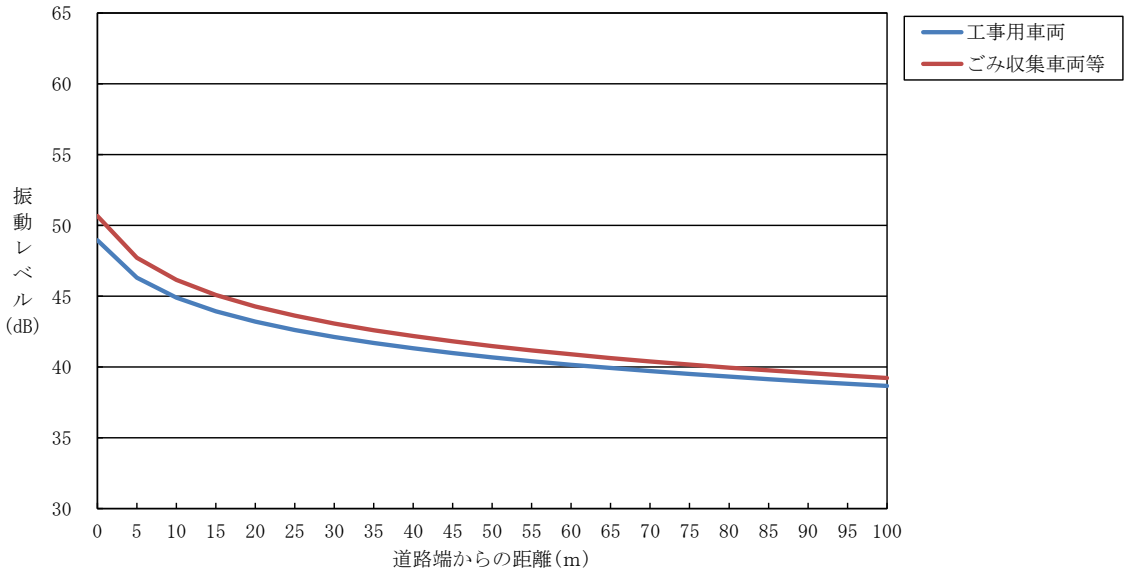


図 8.3-16　距離減衰図（地点２　そよかぜひろば西）

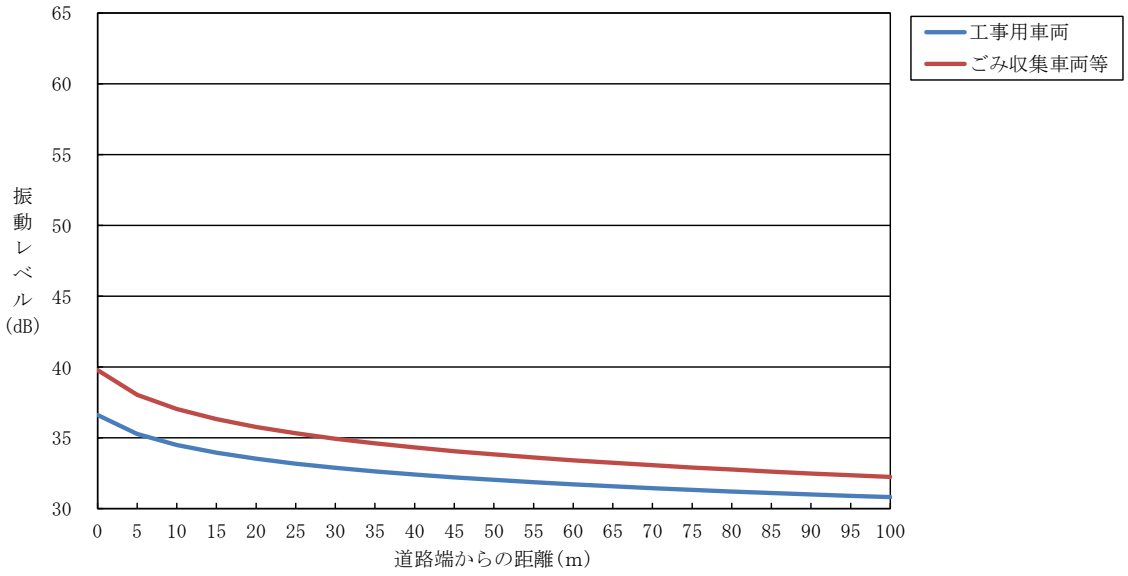


図 8.3-17　距離減衰図（地点３　下鎌田東小学校前）

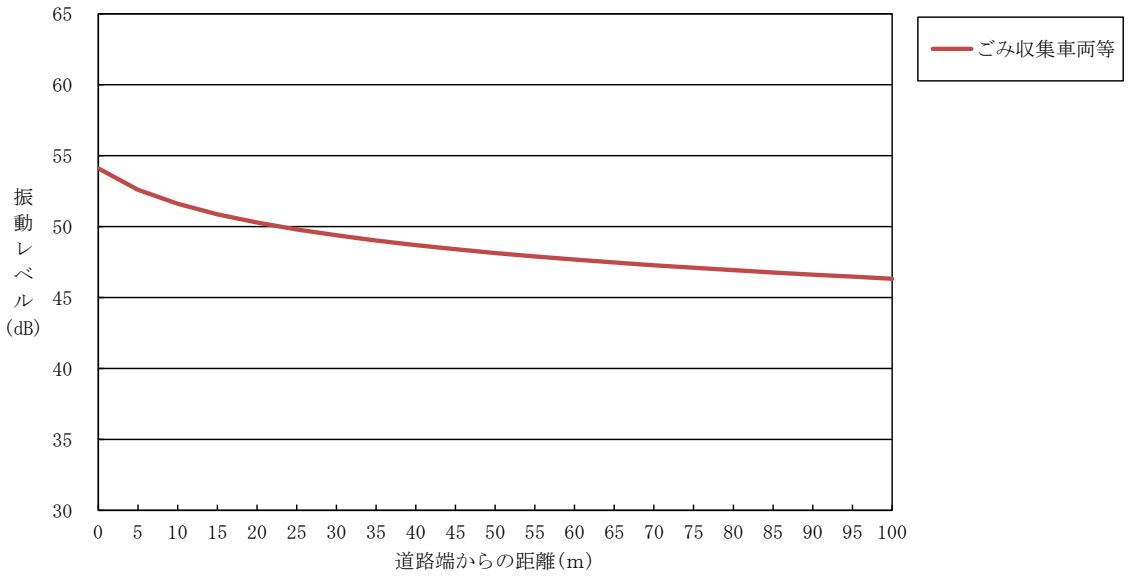


図 8.3-18　距離減衰図（地点４　篠崎街道）

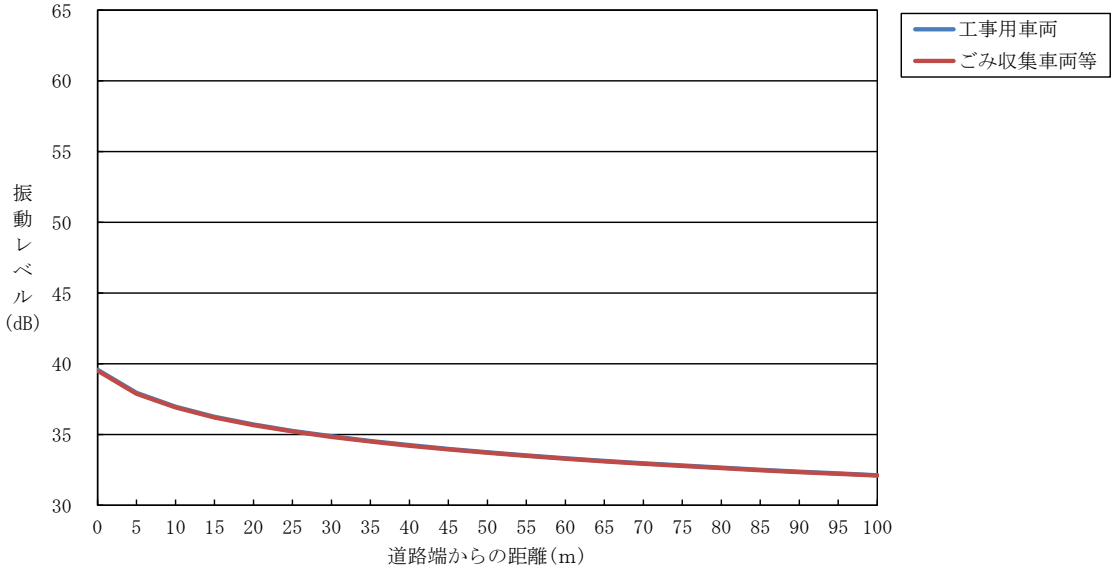


図 8.3-19　距離減衰図（地点５　柴又街道）

イ 施設の稼働に伴う騒音・振動

(ｱ) 施設の稼働に伴う騒音

a 騒音レベルの合成値（参考）

施設の稼働に伴う騒音の予測値と、現地調査で得られた環境騒音の値との合成値を表 8.3-20に示す。

表 8.3-20 施設稼働騒音予測値と現地調査結果との合成値（参考）

地点		施設稼働に伴う騒音レベル（dB）		現地調査（環境騒音）測定結果との合成騒音レベル（dB）															
	時間区分	昼間	朝・夕・夜間	朝				昼間				夕				夜間			
				L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}
①	北側	31.2	31.1	58.0	45.2	40.5	53.0	57.0	47.1	42.3	52.0	52.0	40.5	38.8	48.1	47.1	40.5	38.8	45.2
②	東側	41.5	41.5	54.2	48.9	45.9	50.6	57.1	49.7	47.3	54.2	49.7	45.9	44.3	47.3	48.9	45.3	44.3	47.3
③	南側	42.2	42.2	68.0	56.2	47.5	62.0	69.0	56.2	49.8	63.0	65.0	49.0	46.8	59.1	62.0	47.5	46.2	57.1
④	西側	41.0	41.0	64.0	48.0	44.5	59.1	65.0	52.3	47.2	60.1	62.0	45.1	43.1	58.1	48.0	44.0	43.1	50.5

注１）時間区分：朝６時～８時、昼間８時～20 時、夕 20 時～23 時、夜間 23 時～６時
注２）現地調査は「環境騒音」の測定として、あらゆる発生源からの総合された騒音を測定した。
注３）合成騒音レベルは、「環境騒音」と「工場騒音（予測）」とのエネルギー合成であるため、参考値として扱う。

(ｲ) 施設の稼働に伴う振動

a 振動レベルの合成値（参考）

施設の稼働に伴う振動の予測値と、現地調査で得られた環境振動の合成値は、表 8.3-21に示すとおりである。

表 8.3-21 施設稼働振動予測値と現地調査結果との合成値（参考）

地点		施設稼働に伴う振動レベル（dB）		現地調査（環境振動）測定結果との合成振動レベル L_{10}（dB）	
	時間区分	昼間	夜間	昼間	夜間
①	敷地境界北側	43.7	43.7	44.5	43.9
②	敷地境界東側	49.9	49.9	50.2	49.9
③	敷地境界南側	47.6	47.6	47.8	47.6
④	敷地境界西側	52.4	52.4	52.6	52.4

注１）時間区分：昼間８時～20 時、夜間 20～８時
注２）現地調査は「環境振動」の測定として、あらゆる発生源からの総合された振動を測定した。
注３）合成振動レベルは、「環境振動」と「工場振動（予測）」とのエネルギー合成であるため、参考値として扱う。

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.4　土壌汚染

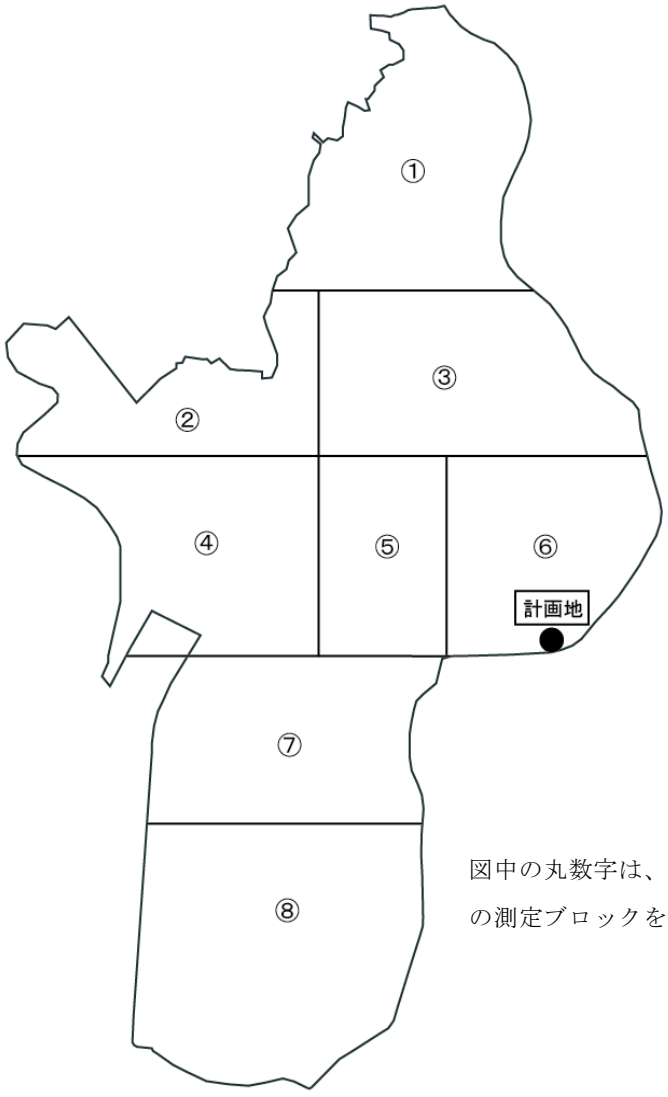
8.4　土壌汚染

8.4.1 現況調査結果

（1） 地下水の状況

東京都では、都内全域の地下水の水質調査を実施している。このうち、江戸川区内における概況調査の測定結果を表 8.4-2(1)及び(2)に、その測定ブロックを図 8.4-1に示す。測定結果によると、全地点において全項目が環境基準を下回っている。

また、過去に概況調査等で地下水汚染が確認された地域において、汚染状況を継続的に監視するために実施している継続監視調査の測定結果を表 8.4-1に示す。測定結果によると、３地点で砒素の濃度が環境基準を超過している。



図中の丸数字は、表 8.4-1、表 8.4-2(1)及び(2)の測定ブロックを表す。

資料）「東京の地下水質調査結果」（東京都環境局ホームページ）

図 8.4-1　地下水質測定地点

表 8.4-1　地下水質測定結果（継続調査）

単位：mg/L

測定ブロック		①	③	③	環境基準
測定地点（全て江戸川区）		東小岩４	東松本１	東松本１	
測定年度		H27	H27	H27	
環境基準項目	砒素	0.013	0.016	0.012	0.01 以下

注）　測定結果の下線は環境基準超過を示す。

資料）「東京の地下水質調査結果」（東京都環境局ホームページ）

表 8.4-2(1) 地下水質測定結果（概況調査）

単位：mg/L（ダイオキシン類を除く）
pg-TEQ/L（ダイオキシン類）

測定ブロック		①	②	③	④	⑤	環境基準（括弧書きは指針値）
測定地点（全て江戸川区）		東小岩６	平井	北篠崎２	西一之江４	一之江５	
測定年度		H26	H27	H24	H25	H26	
環境基準項目	カドミウム	< 0.0003	< 0.0003	< 0.001	< 0.0003	< 0.0003	0.003 以下
	全シアン	< 0.01	< 0.01	< 0.1	< 0.1	< 0.01	検出されないこと
	鉛	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.01 以下
	六価クロム	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.05 以下
	砒素	< 0.005	< 0.005	0.008	< 0.005	< 0.005	0.01 以下
	総水銀	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	－	－	－	－	－	検出されないこと
	ＰＣＢ	－	< 0.0005	－	－	－	検出されないこと
	ジクロロメタン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.02 以下
	四塩化炭素	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.002 以下
	塩化ビニルモノマー	－	< 0.0002	－	－	－	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	－	< 0.0002	－	－	－	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	0.04 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	－
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	－
	1,1,1-トリクロロエタン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	－	< 0.0002	－	－	－	0.006 以下
	トリクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 以下
	テトラクロロエチレン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	－	< 0.0002	－	－	－	0.002 以下
	チウラム	－	< 0.0006	－	－	－	0.006 以下
	シマジン	－	< 0.0003	－	－	－	0.003 以下
	チオベンカルブ	－	< 0.0003	－	－	－	0.02 以下
	ベンゼン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.01 以下
	セレン	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.01 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	< 0.012	< 0.03	< 0.012	< 0.012	0.063	10 以下
	硝酸性窒素	< 0.01	< 0.02	< 0.01	< 0.01	0.06	－
	亜硝酸性窒素	< 0.002	< 0.01	< 0.002	< 0.002	< 0.002	－
	ふっ素	0.06	0.16	0.61	0.21	0.11	0.8 以下
	ほう素	0.03	0.03	0.26	0.04	0.13	1 以下
	1,4-ジオキサン	－	< 0.005	－	－	－	0.05 以下
要監視項目	アンチモン	－	< 0.002	－	－	－	(0.02 以下)
	エピクロロヒドリン	－	< 0.00004	－	－	－	(0.0004 以下)
	全マンガン	－	< 0.02	－	－	－	(0.2 以下)
	ウラン	－	< 0.0002	－	－	－	(0.002 以下)
ダイオキシン類		－	－	－	－	－	1 以下

資料)「東京の地下水質調査結果」(東京都環境局ホームページ)

表 8.4-2(2)　地下水質測定結果（概況調査）

単位：mg/L（ダイオキシン類を除く）
pg-TEQ/L（ダイオキシン類）

測定ブロック		⑥	⑦	⑧	環境基準（括弧書きは指針値）
測定地点（全て江戸川区）		東瑞江２	一之江７	中葛西７	
測定年度		H27	H24	H25	
環境基準項目	カドミウム	< 0.0003	< 0.001	< 0.0003	0.003 以下
	全シアン	< 0.01	< 0.1	< 0.1	検出されないこと
	鉛	0.008	< 0.002	< 0.002	0.01 以下
	六価クロム	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.05 以下
	砒素	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.01 以下
	総水銀	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	－	－	－	検出されないこと
	ＰＣＢ	－	< 0.0005	－	検出されないこと
	ジクロロメタン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.02 以下
	四塩化炭素	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.002 以下
	塩化ビニルモノマー	－	< 0.0002	－	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	－	< 0.0002	－	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	0.04 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	－
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	－
	1,1,1-トリクロロエタン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	－	< 0.0002	－	0.006 以下
	トリクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 以下
	テトラクロロエチレン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	－	< 0.0002	－	0.002 以下
	チウラム	－	< 0.0006	－	0.006 以下
	シマジン	－	< 0.0003	－	0.003 以下
	チオベンカルブ	－	< 0.0003	－	0.02 以下
	ベンゼン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.01 以下
	セレン	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.01 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	< 0.03	< 0.012	0.075	10 以下
	硝酸性窒素	< 0.02	< 0.01	0.07	－
	亜硝酸性窒素	< 0.01	< 0.002	< 0.002	－
	ふっ素	0.08	0.15	0.19	0.8 以下
	ほう素	0.12	0.22	0.75	1 以下
	1,4-ジオキサン	－	< 0.005	－	0.05 以下
要監視項目	フェニトロチオン	－	< 0.0002	－	(0.003 以下)
	イソプロチオラン	－	< 0.0002	－	(0.04 以下)
	オキシン銅	－	< 0.004	－	(0.04 以下)
	クロロタロニル	－	< 0.0002	－	(0.05 以下)
	プロピザミド	－	< 0.0002	－	(0.008 以下)
ダイオキシン類		－	0.043	－	1 以下

資料)「東京の地下水質調査結果」（東京都環境局ホームページ）

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.5　地盤

8.5　地盤

8.5.1　現況調査結果

（１）　調査地域

ボーリング調査及び地下水位調査地点の位置は、図 8.5-1に示すとおりである。

（２）　地質、地質構造等の状況

計画地内のボーリング柱状図は、図 8.5-2～図 8.5-5に示すとおりである。

また、既存江戸川清掃工場建設時の環境影響評価において調査した地質柱状図等は、図 8.5-6(1)～(3)に示すとおりである。

（３）　地下水位の変化の状況

計画地内の観測井における不圧地下水位の調査結果は表 8.5-1(1)～(4)に、被圧地下水位の調査結果は表 8.5-2(1)～(4)示すとおりである。

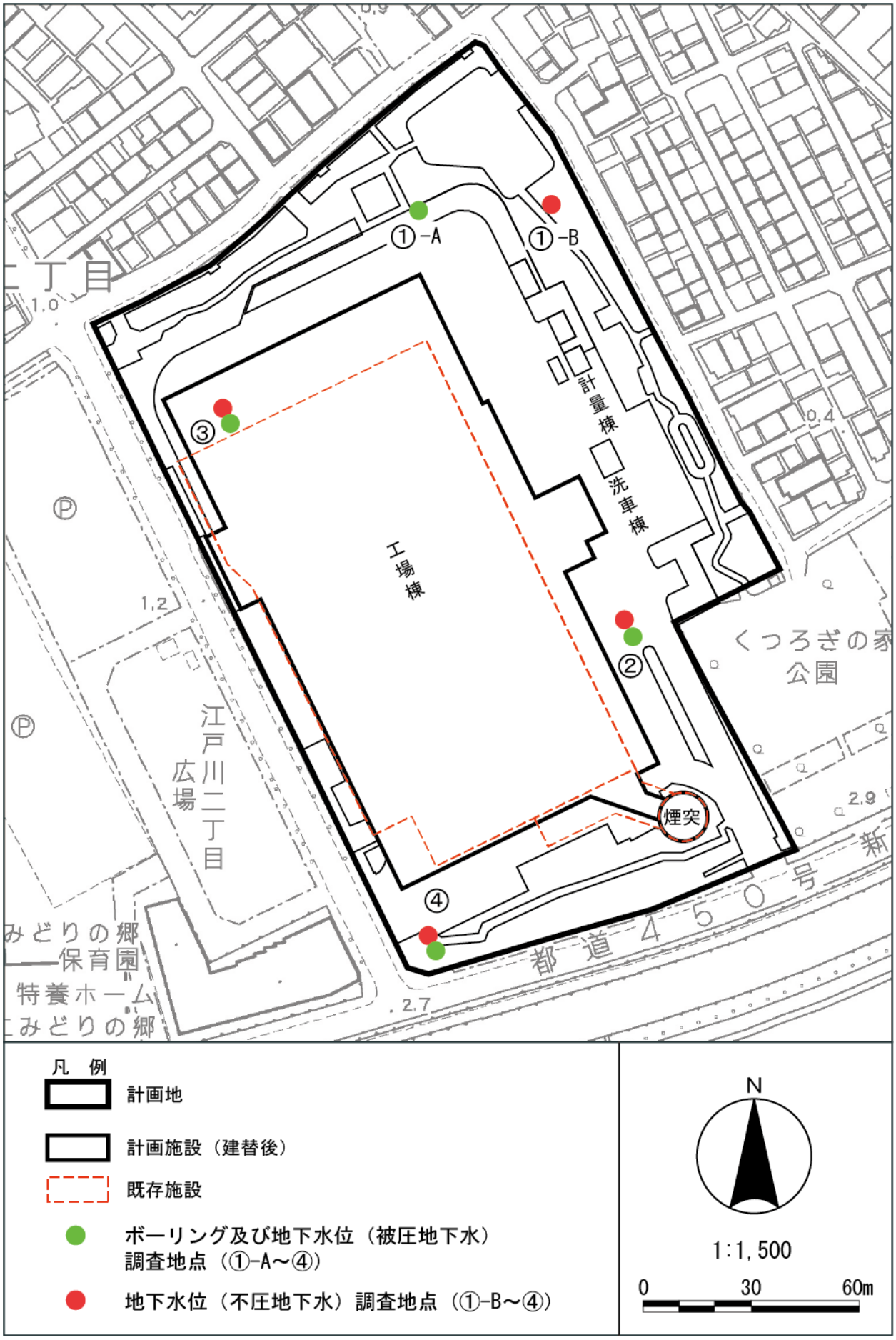


図 8.5-1　ボーリング調査及び地下水位調査地点図

ボーリング名	地点①-A	調査位置	東京都江戸川区江戸川二丁目10番（江戸川清掃工場敷地内）	北緯	35° 41’9.32”
発注機関	東京二十三区清掃一部事務組合	調査期間	平成 28年 6月 7日 ～ 28年 6月17日	東経	139° 54’14.30”

孔口標高	AP +2.44m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	59.34m								エンジン	NFD-10	ポンプ	BG-4

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1					埋土(粘性土)	暗褐			0.45mまで粘性土。0.70mまでガラ主体(200mm位のガラ混じる) 1.00mまで砂主体。1.00m～1.65m付近コンクリート。 以下小さなガラを少量混じる粘性土の埋土。	6/7 1.89	1.35	貫入不能			50/0							6/7
2	0.54	1.90	1.90		砂質シルト	暗灰		非常に軟らかい	微細砂を全体に多く混入シルト主体。腐植物を少量混じる。含水量は多い。		1.35 2.15	1/30			1/30							
3	0.04	0.50	2.40		シルト質細砂	暗灰	緩い～中ぐらい		粒子比較的均一な細砂主体。含水非常に多く緩い砂である。 粒状の浮石を全体に多く混じる。 GL-4.00m～4.10mにシルトを挟む。 GL-5.80m付近よりシルトを帯状で若干挟むようになる。		2.45 3.15	3	4	4	11/30							
4											3.45 4.15	2	3	3	8/30	4.00	現場透水試験	4.15	1-P1	⊖		6/8
5											4.45 5.65	4	3	4	11/30	4.50 5.00	孔内水平載荷試験	4.45				
6											5.95 6.15	2	2	1	5/30							
7	-4.36	4.40	6.80		砂質シルト	暗灰		非常に軟らかい	微細砂を全体に多く混入する。含水量は多い。		6.45 7.15	1/13	1/20		2/33							

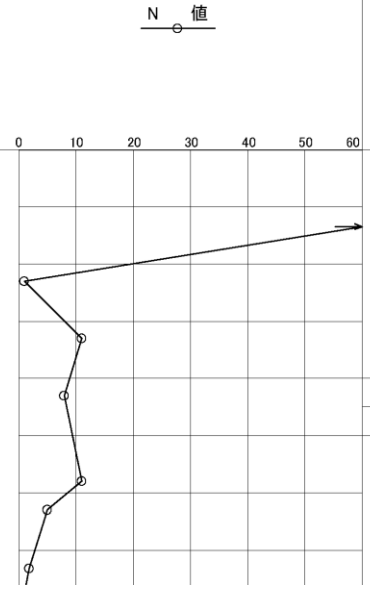


図 8.5-2(1)　ボーリング柱状図（地点①-A）

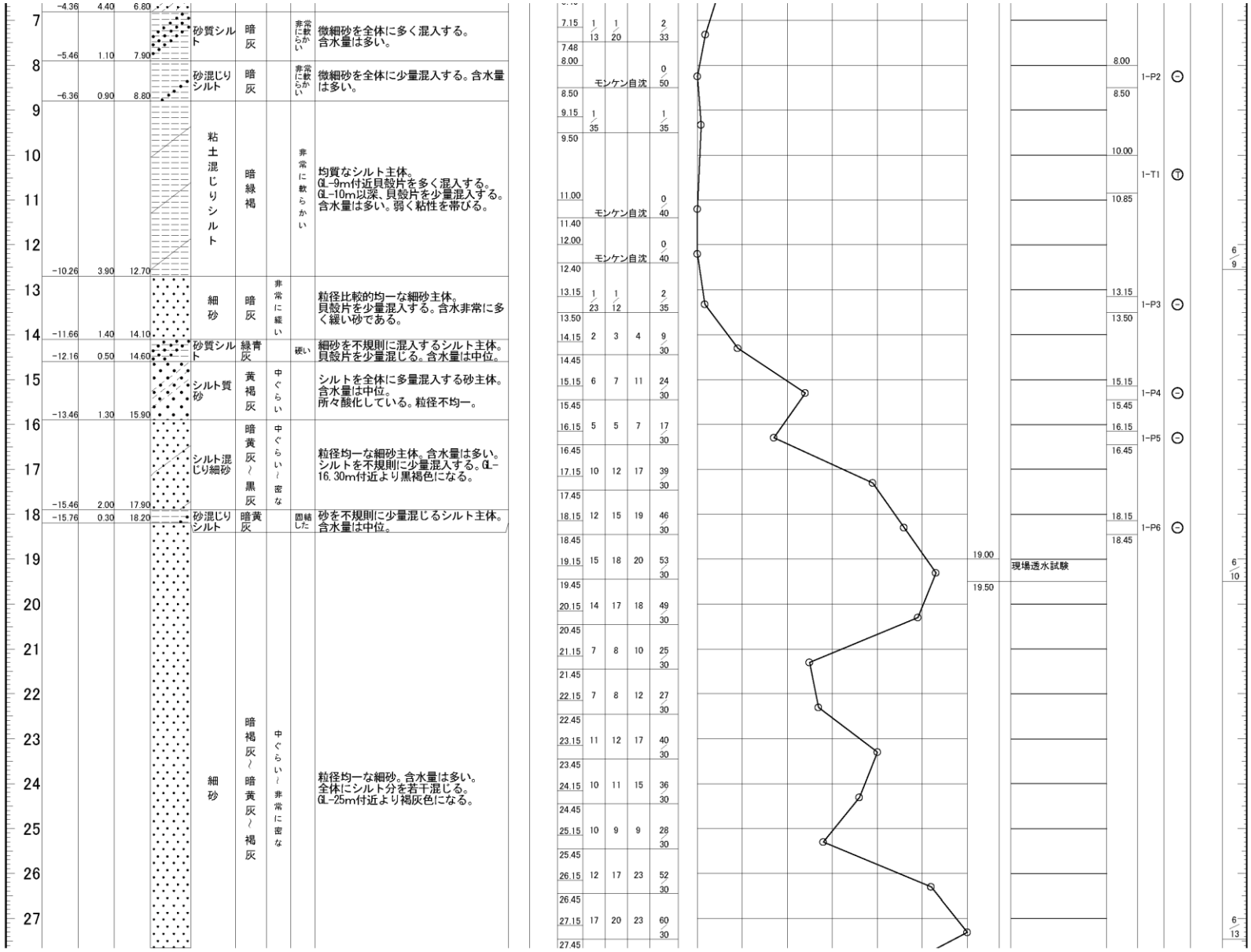


図 8.5-2(2)　ボーリング柱状図（地点①-A）

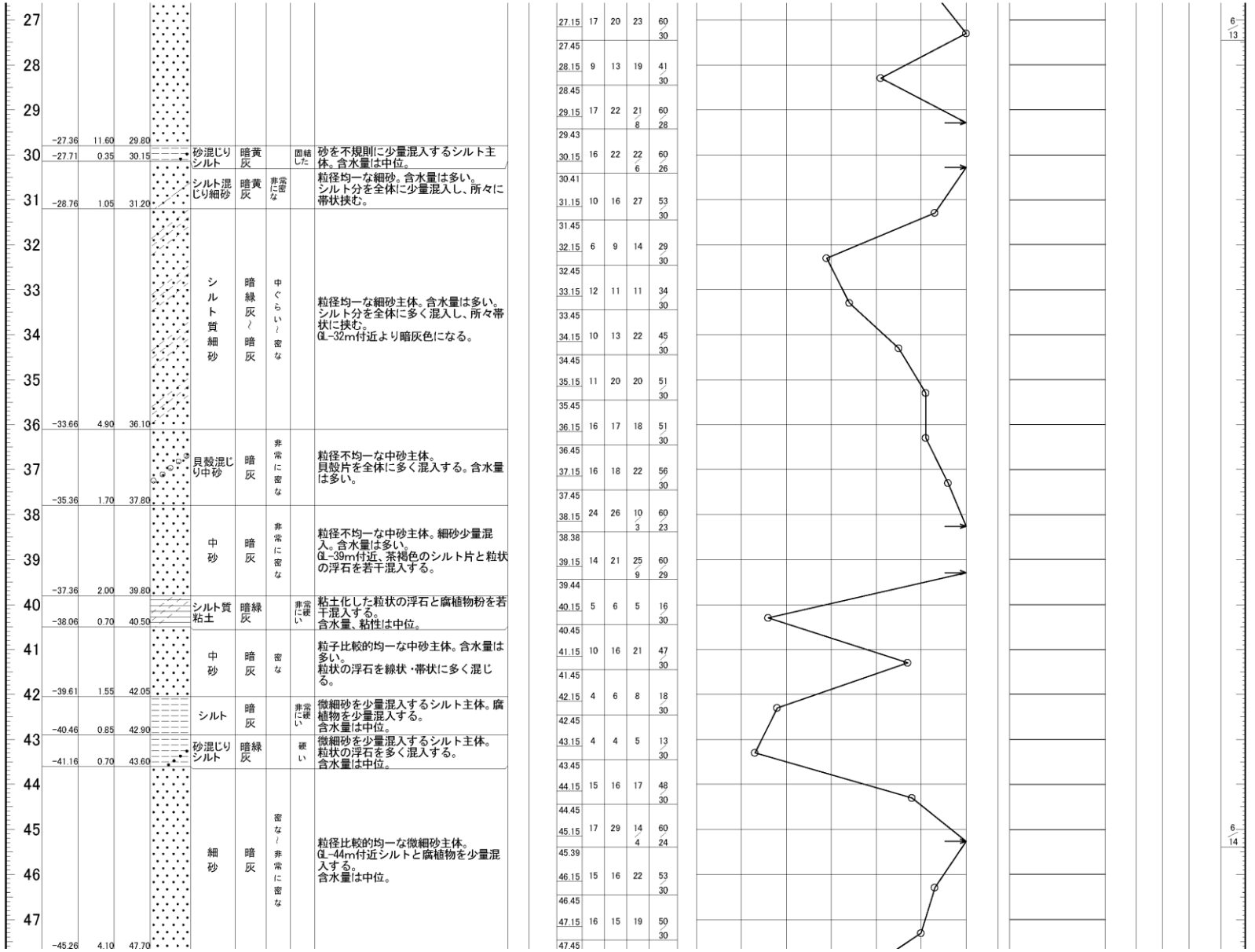


図 8.5-2(3)　ボーリング柱状図（地点①-A）

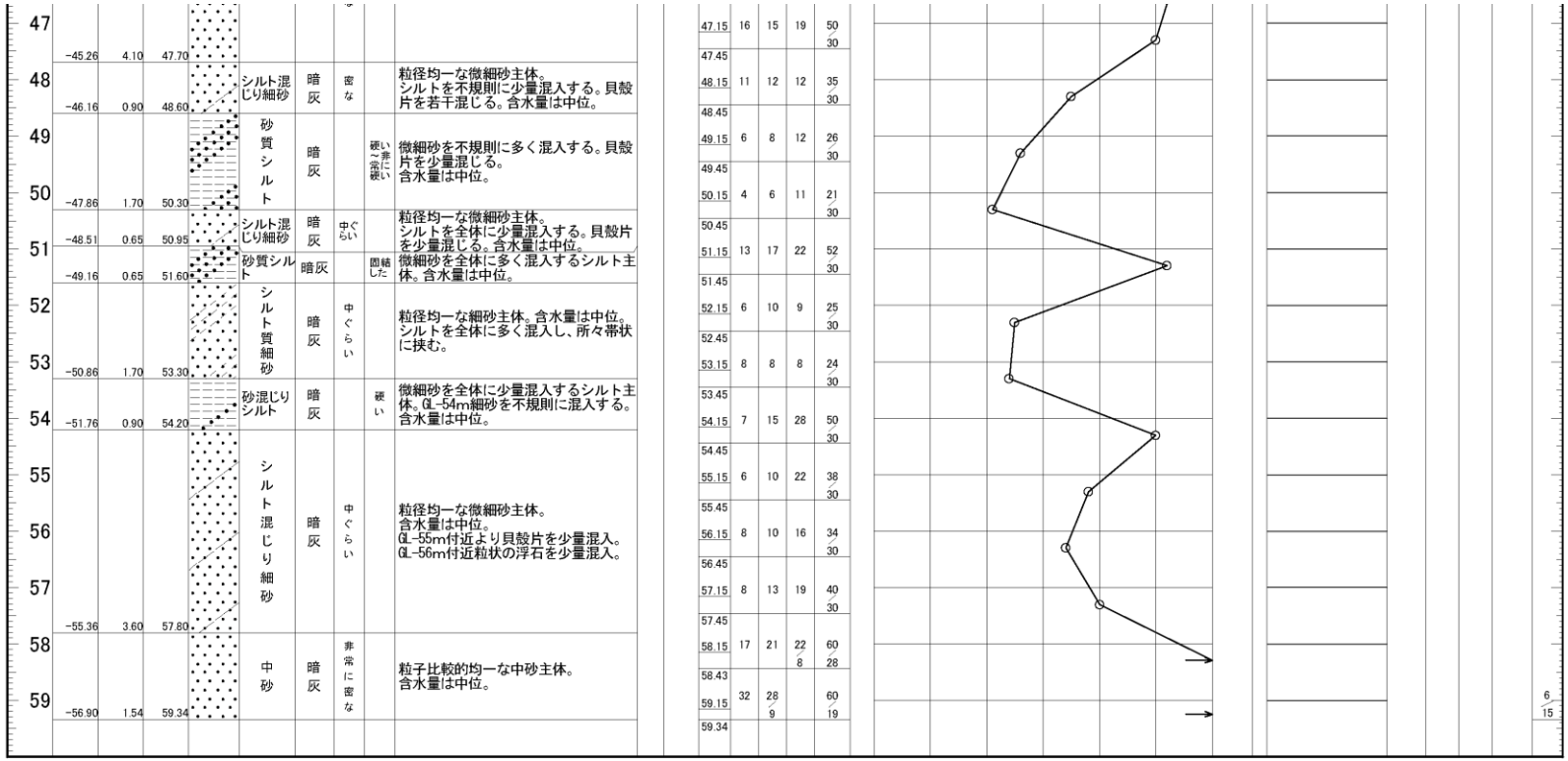


図 8.5-2(4)　ボーリング柱状図（地点①-A）

ボーリング名	地点②	調査位置	東京都江戸川区江戸川二丁目10番（江戸川清掃工場敷地内）	北緯	35° 41’ 2.98”
発注機関	東京二十三区清掃一部事務組合	調査期間	平成 28年 6月 7日 ～ 28年 6月 17日	東経	139° 54’ 16.83”

孔口標高	AP +2.33m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0°	使用機種	試錐機	TOHO DO-D	ハンマー落下用具	半自動落下式
総掘進長	55.45m								エンジン	NFD10	ポンプ	V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	0.43	1.90	1.90		埋土(砂混りシルト)	暗灰～褐灰～暗灰			GL-0.05mまでアスファルト。 GL-0.05mより褐灰。砕石主体。 GL-0.30mより粘砂主体。 礫・コンクリート片・レンガ片・木片を混入。 GL-1.30mより含水中位。粘性中位。 砂を不規則に混入。 暗灰・暗緑灰の砂を混入。 黒灰のシルトを混入。
2									
3					細砂	暗灰	中ぐらい		粒径均一な細砂主体。 含水量は非常に多い。 雲母片を混入。 GL-3.00m以深は含水量は中位。 GL-5.00m、少量のシルトを混入。 浮石を線状に少量混入。
4									
5									
6	-4.37	4.80	6.70						
7					砂質シルト	暗灰		非常に緩い	微細砂を多く混入するシルト主体。 含水量は若干多め。粘性は中位。

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
6/7 1.88	1.45～1.77	1			1/32								
	1.77～2.15	2	1	2	5/33								
	2.15～2.48	14	6	13									
	2.48～3.15	4	5	5	14/30								
	3.15～3.45												
	3.45～4.15	5	6	5	16/30		4.00	現場透水試験	4.15～4.45	2-P1	○		6/7
	4.15～4.45						4.50						
	4.45～5.15	3	5	4	12/30								
	5.15～5.45												
	5.45～6.15	5	6	7	18/30								
	6.15～6.45												
	6.45～7.15	1	1		2/50				7.15～7.45	2-P2	○		
	7.15～7.65	25	25										

図 8.5-3(1)　ボーリング柱状図（地点②）

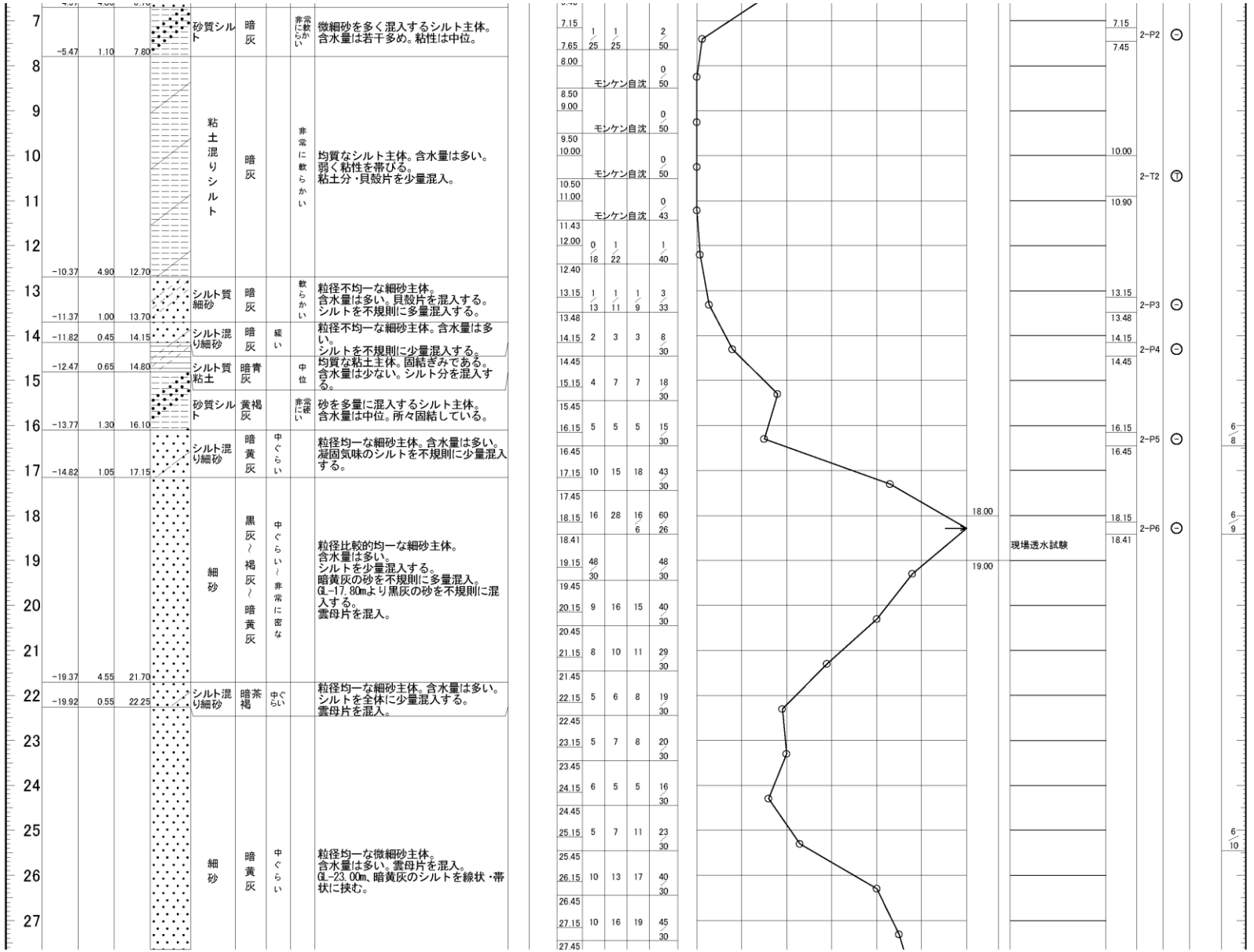


図 8.5-3(2)　ボーリング柱状図（地点②）

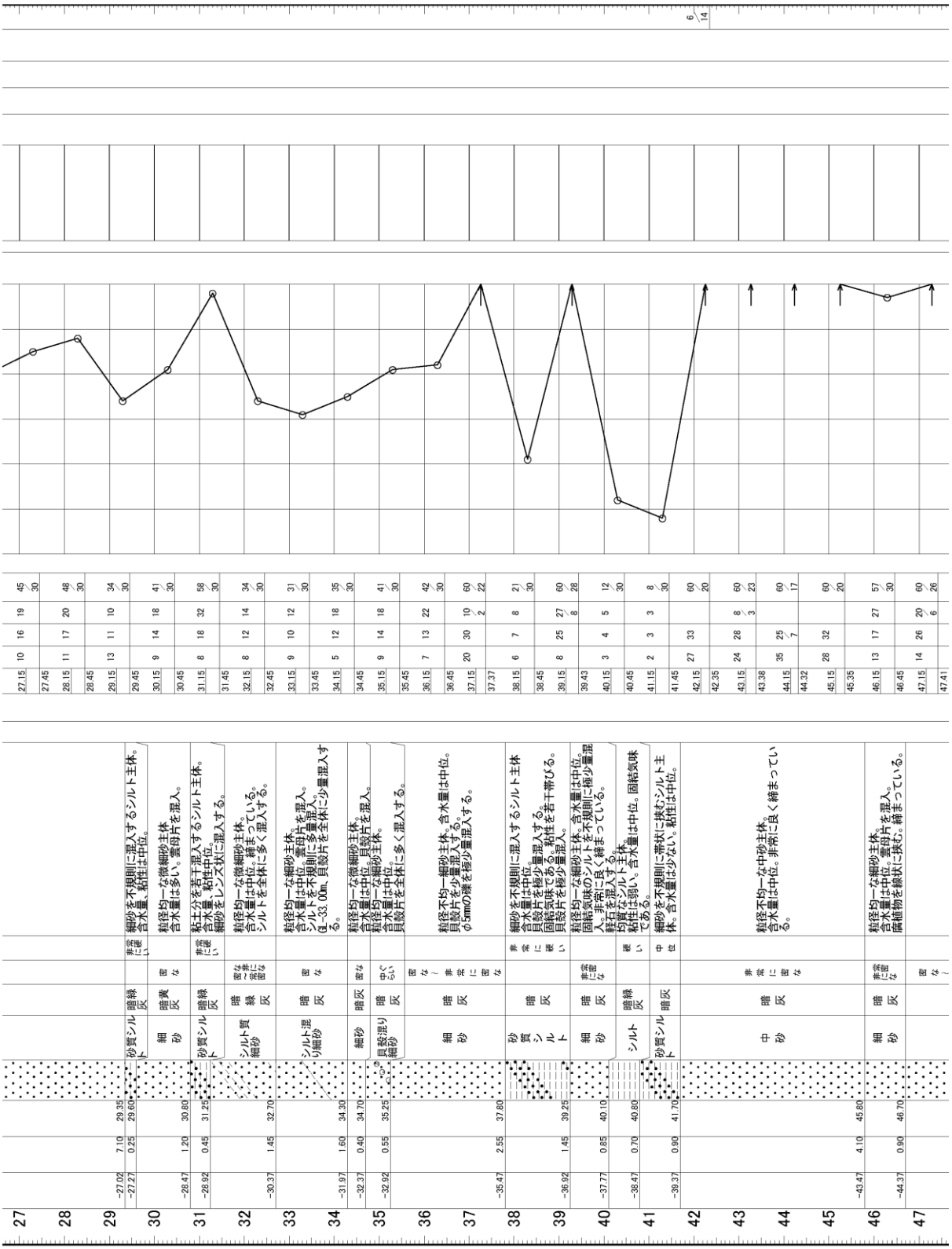


図 8.5-3(3)　ボーリング柱状図（地点②）

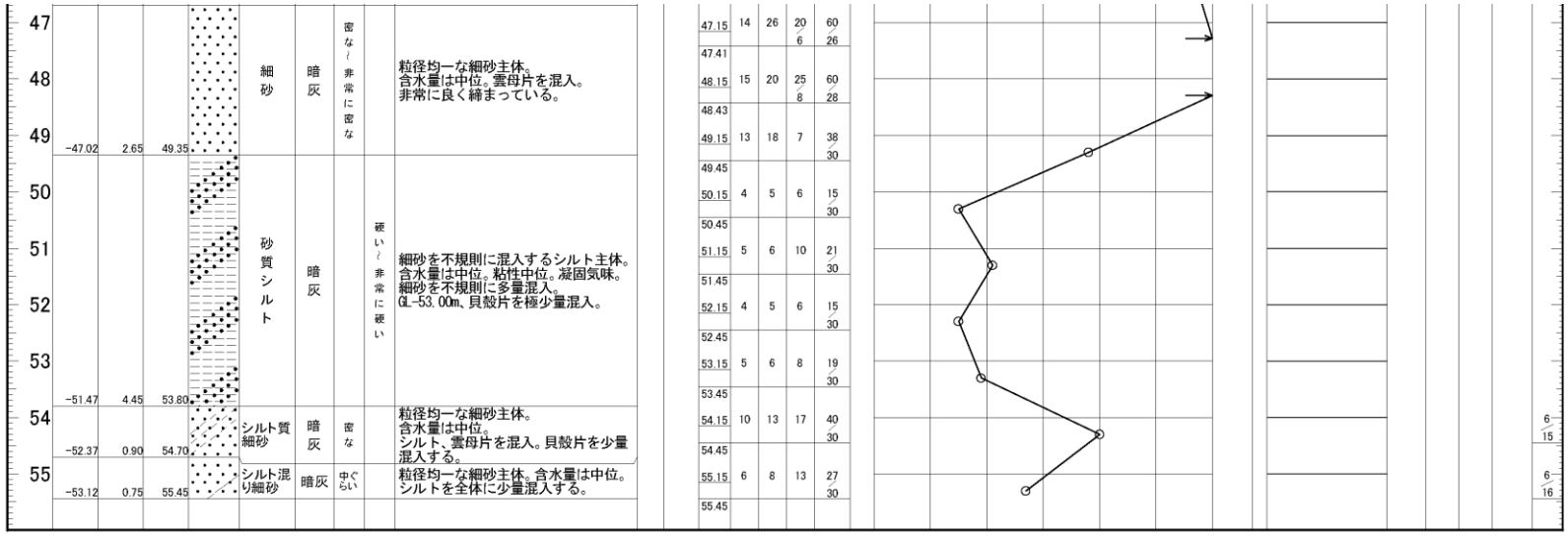


図 8.5-3(4)　ボーリング柱状図（地点②）

ボーリング名	地点③	調査位置	東京都江戸川区江戸川二丁目10番（江戸川清掃工場敷地内）	北緯	35° 41’ 7.71”
発注機関	東京二十三区清掃一部事務組合	調査期間	平成 28年 6月 20日 ～ 28年 7月 1日	東経	139° 54’ 12.41”

孔口標高	AP +2.09m	角度	180° 上 / 下 0°, 90°	方向	北 0°, 90° 東, 180° 南, 270° 西	地盤勾配	鉛直 90°, 水平 0°	使用機種	試錐機：TOHO DO-D / エンジン：NFD10	ハンマー落下用具：半自動落下式 / ポンプ：V-6
総掘進長	55.45m									

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	0.19	1.90	1.90		埋土(砂混りシルト)	暗灰～褐灰			GL-0.40mまでアスファルト。 GL-0.40mより褐灰。砂主体。 礫を混入。 GL-1.00mより凝灰質粘土主体。 木の根を多量混入。 GL-1.45～1.55m間、玉石。 GL-1.55mより凝灰質粘土主体。 礫を少量混入。
2	-0.61	0.80	2.70		シルト混り細砂	暗灰			粒径均一な微細砂主体。 含水量は多い。 シルトを線状・帯状に挟む。 雲母片を混入。
3	-1.61	1.00	3.70		細砂	暗灰	緩い		粒径均一な細砂主体。含水量は多い。 雲母片を混入。
4					シルト混り細砂	暗灰	緩い～中ぐらい		粒径均一な細砂主体。含水量は中位。 シルトを全体に所々帯状に挟む。 雲母片を混入。
5									
6	-4.61	3.00	6.70						
7	-5.71	1.10	7.80		砂質シルト	暗灰		軟らかい	微細砂を全体に混入するシルト主体。 含水量は中位。粘性は弱い。

孔内水位(m)／測定月日：6/20 1.92

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.35	2	58		60／20
1.55～2.15	3	2	3	8／30
2.45～3.15	4	5	6	15／30
3.45～4.15	3	3	3	9／30
4.45～5.15	4	4	5	13／30
5.45～6.15	4	5	6	15／30
6.45～7.15	1	1／14	1／12	3／36
7.51				

N 値：0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
4.00～4.50	現場透水試験

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法
2.15～2.45	4-P1	○
4.15～4.45	4-P2	○
7.15～7.51	4-P3	○

室内試験（ ）

掘進月日：6／20

図 8.5-4(1)　ボーリング柱状図（地点③）

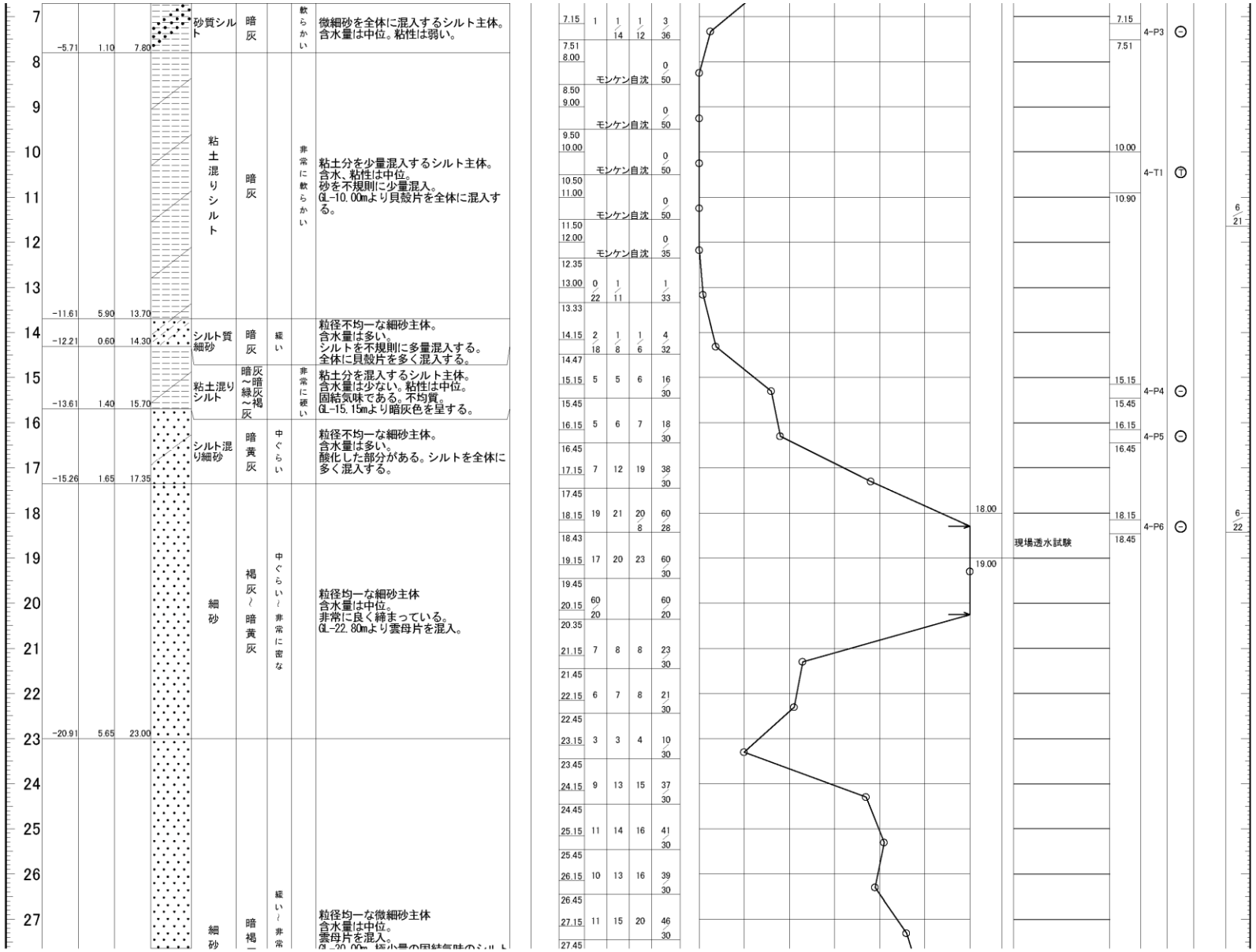


図 8.5-4(2)　ボーリング柱状図（地点③）

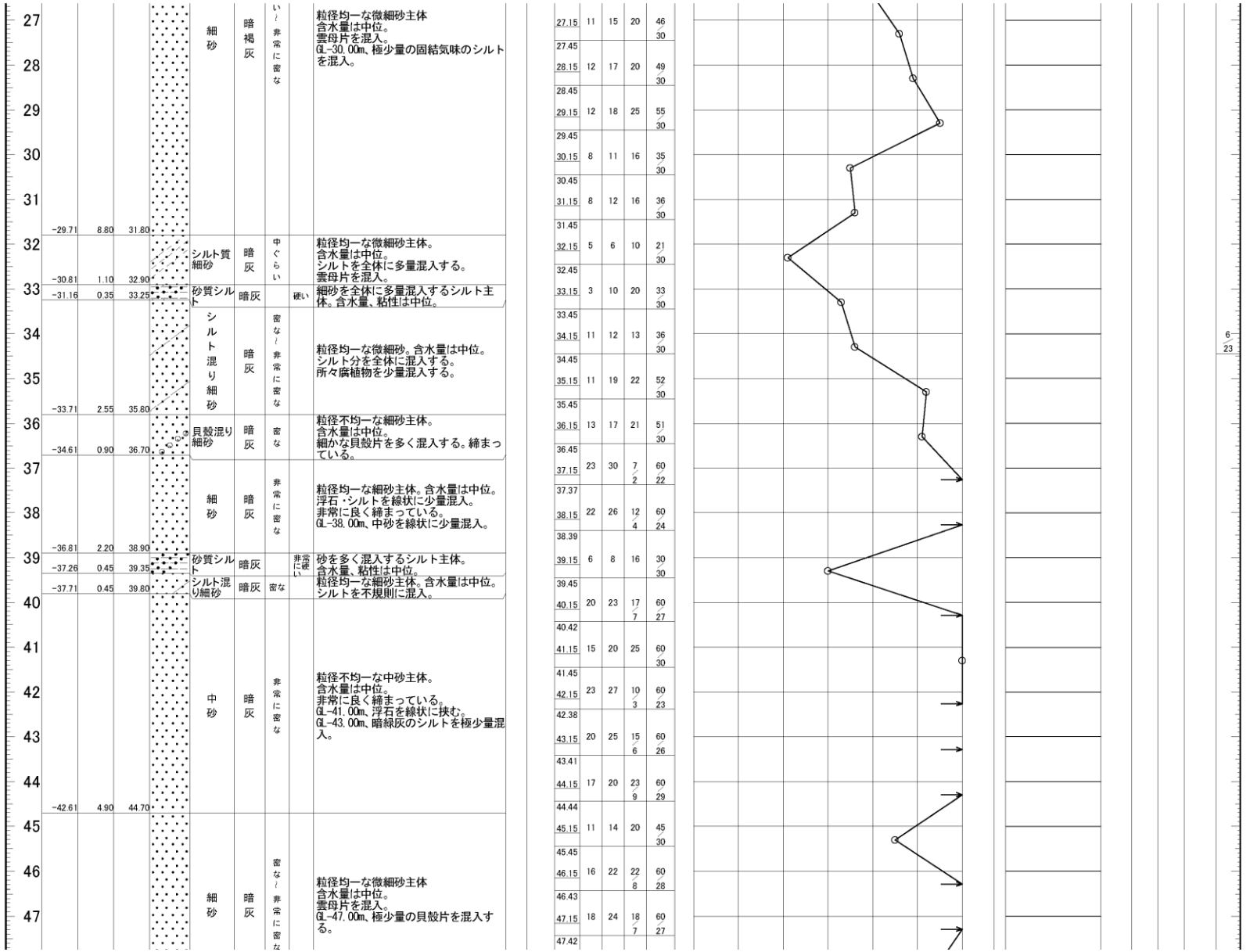


図 8.5-4(3)　ボーリング柱状図（地点③）

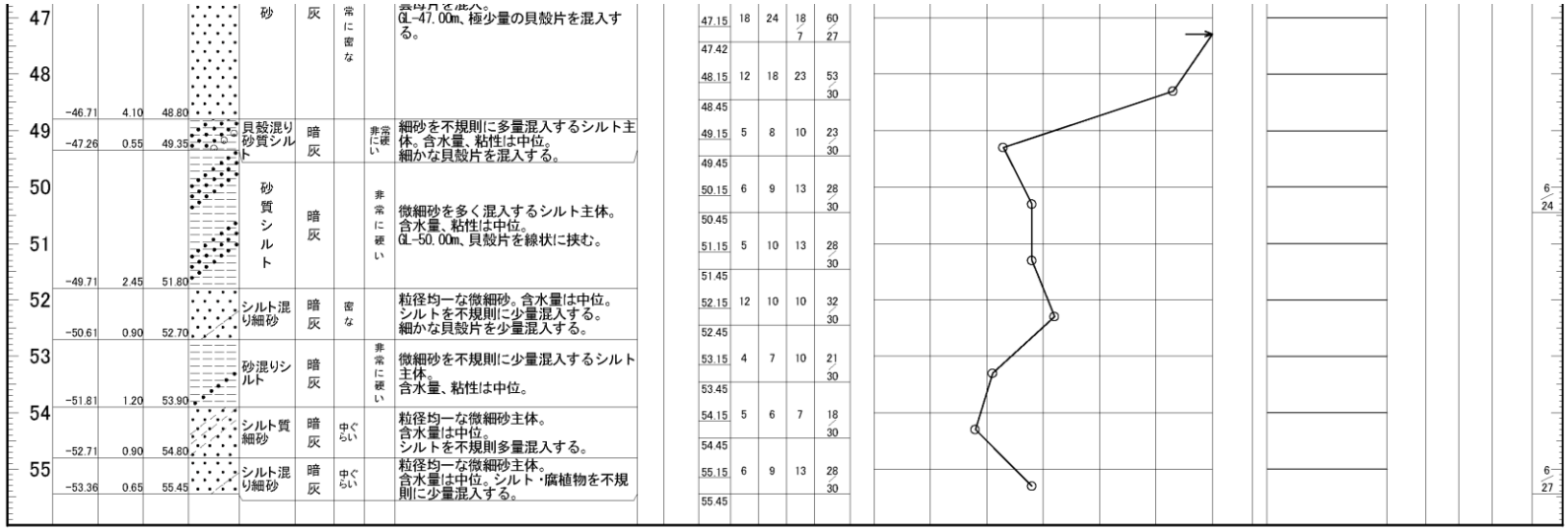


図 8.5-4(4)　ボーリング柱状図（地点③）

ボーリング名	地点④	調査位置	東京都江戸川区江戸川二丁目10番（江戸川清掃工場敷地内）	北緯	35° 41’2.98”
発注機関	東京二十三区清掃一部事務組合	調査期間	平成 28年 6月 20日 ～ 28年 6月 30日	東経	139° 54’14.63”

孔口標高	AP +3.46m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0°	使用機種	試錐機	東邦D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	56.45m								エンジン	NFD-10	ポンプ	BG-4

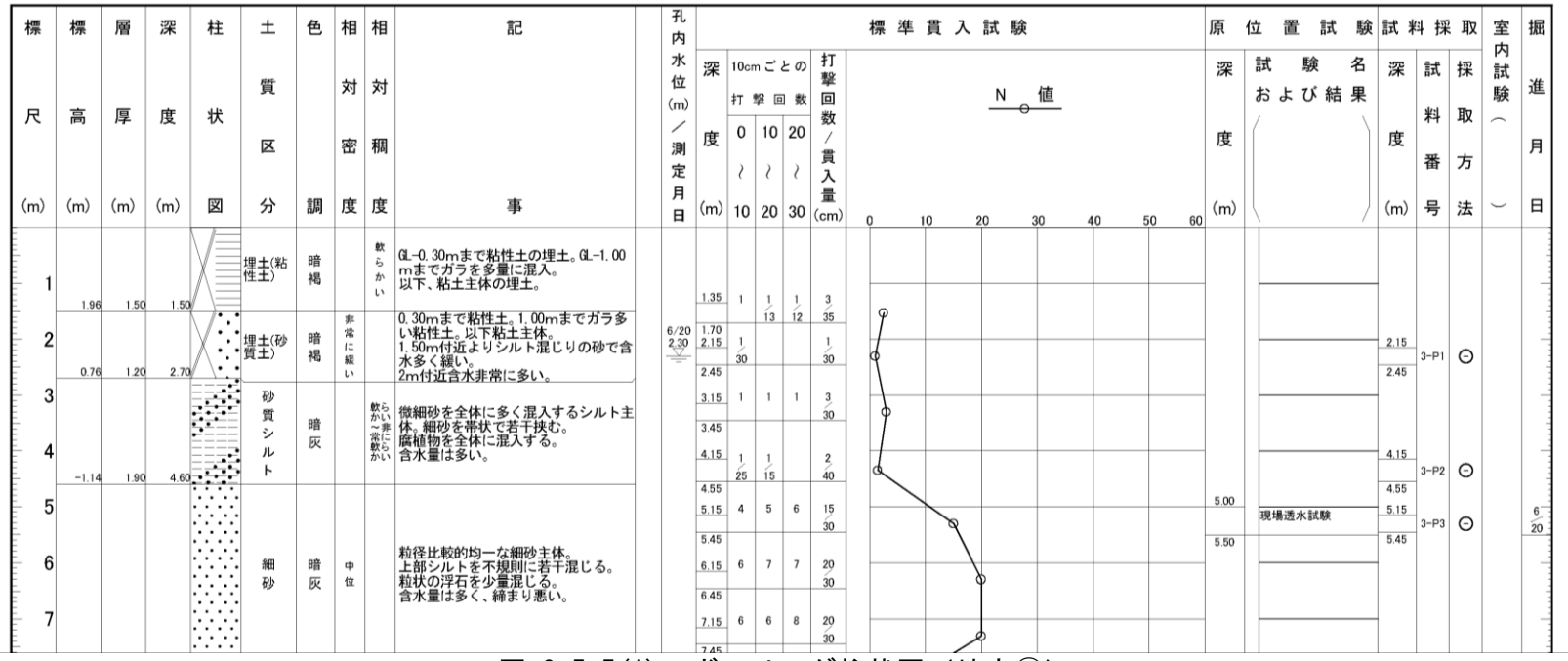


図 8.5-5(1)　ボーリング柱状図（地点④）

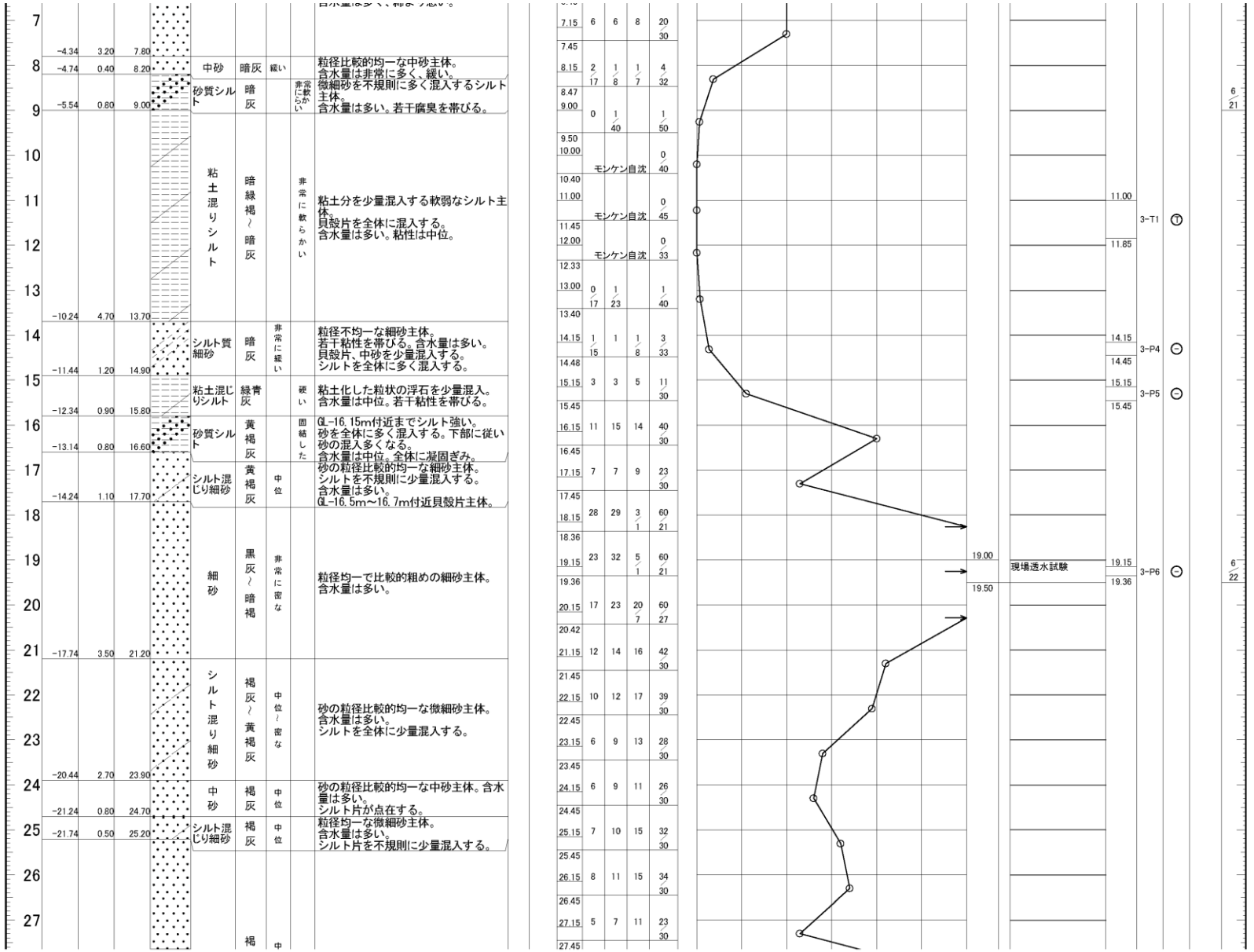


図 8.5-5(2)　ボーリング柱状図（地点④）

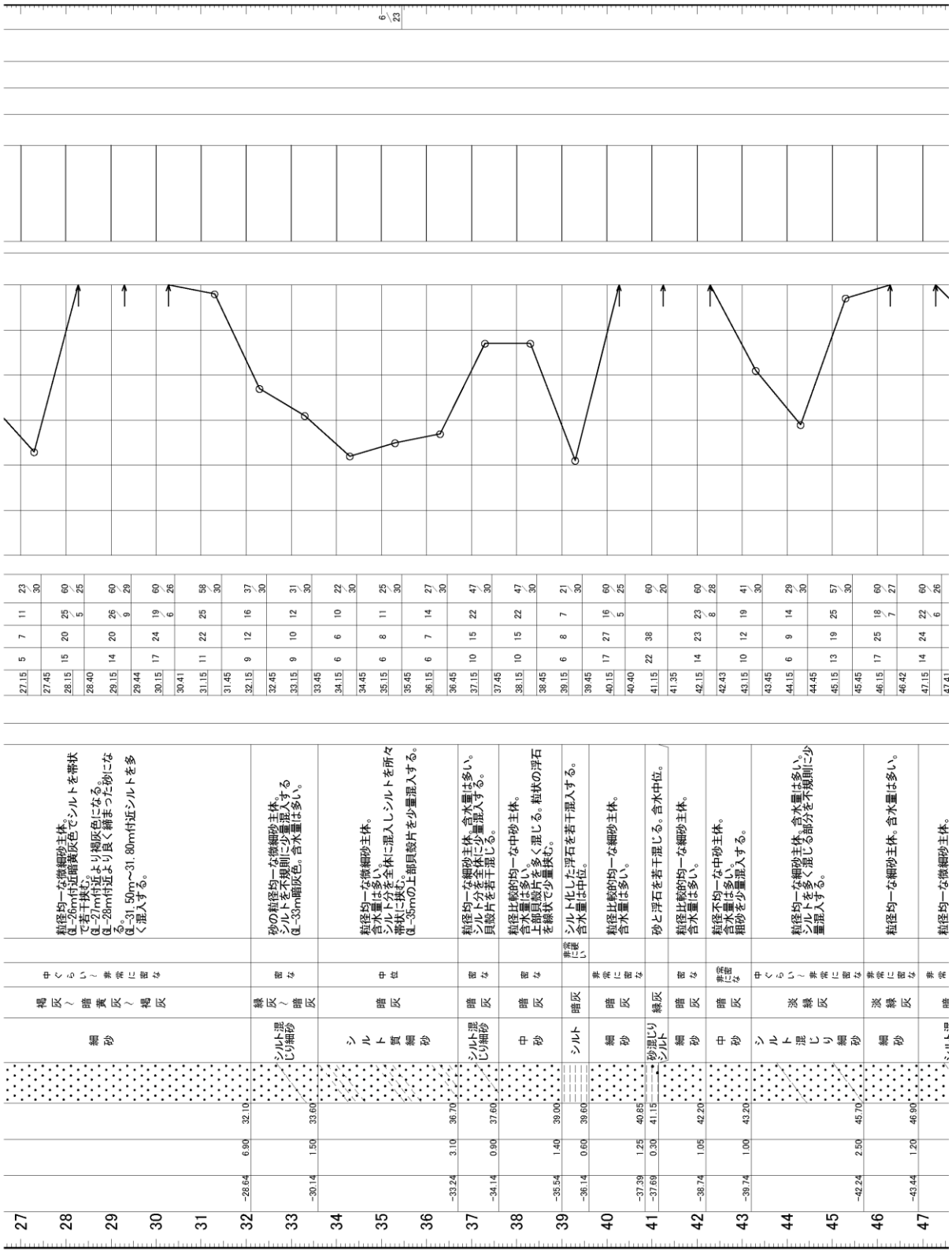


図 8.5-5(3)　ボーリング柱状図（地点④）

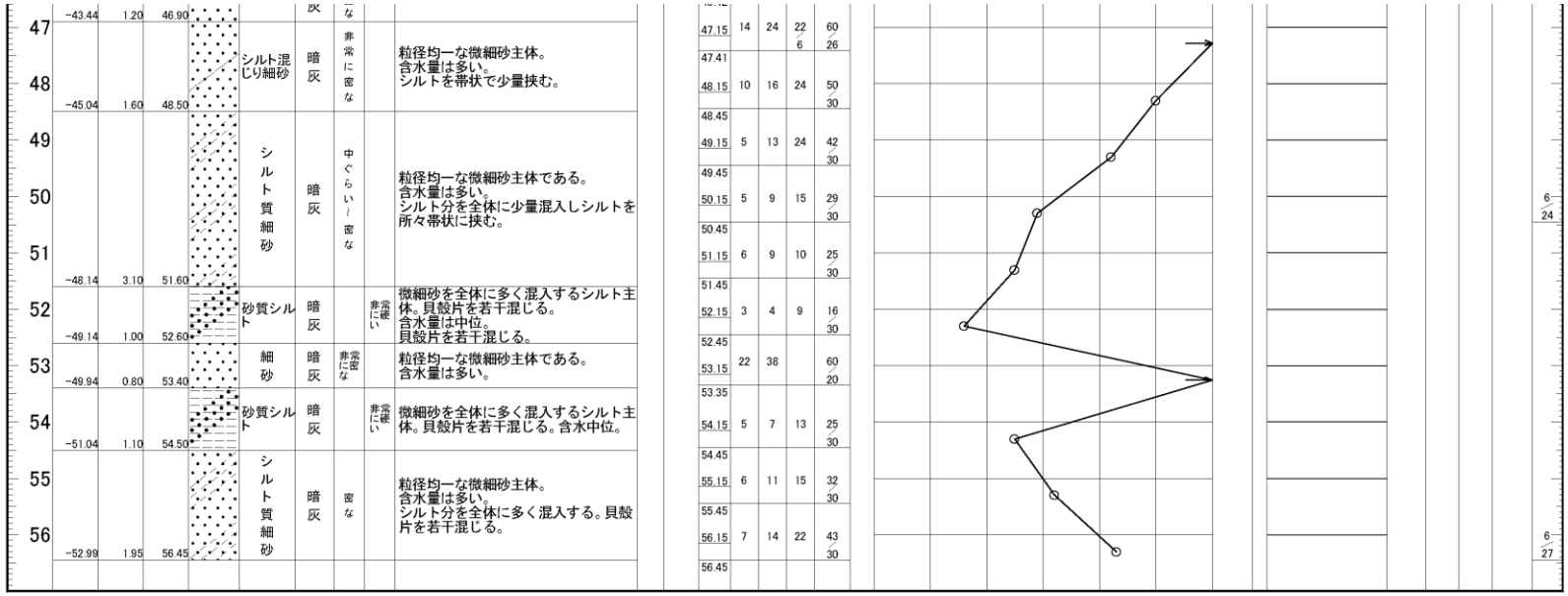
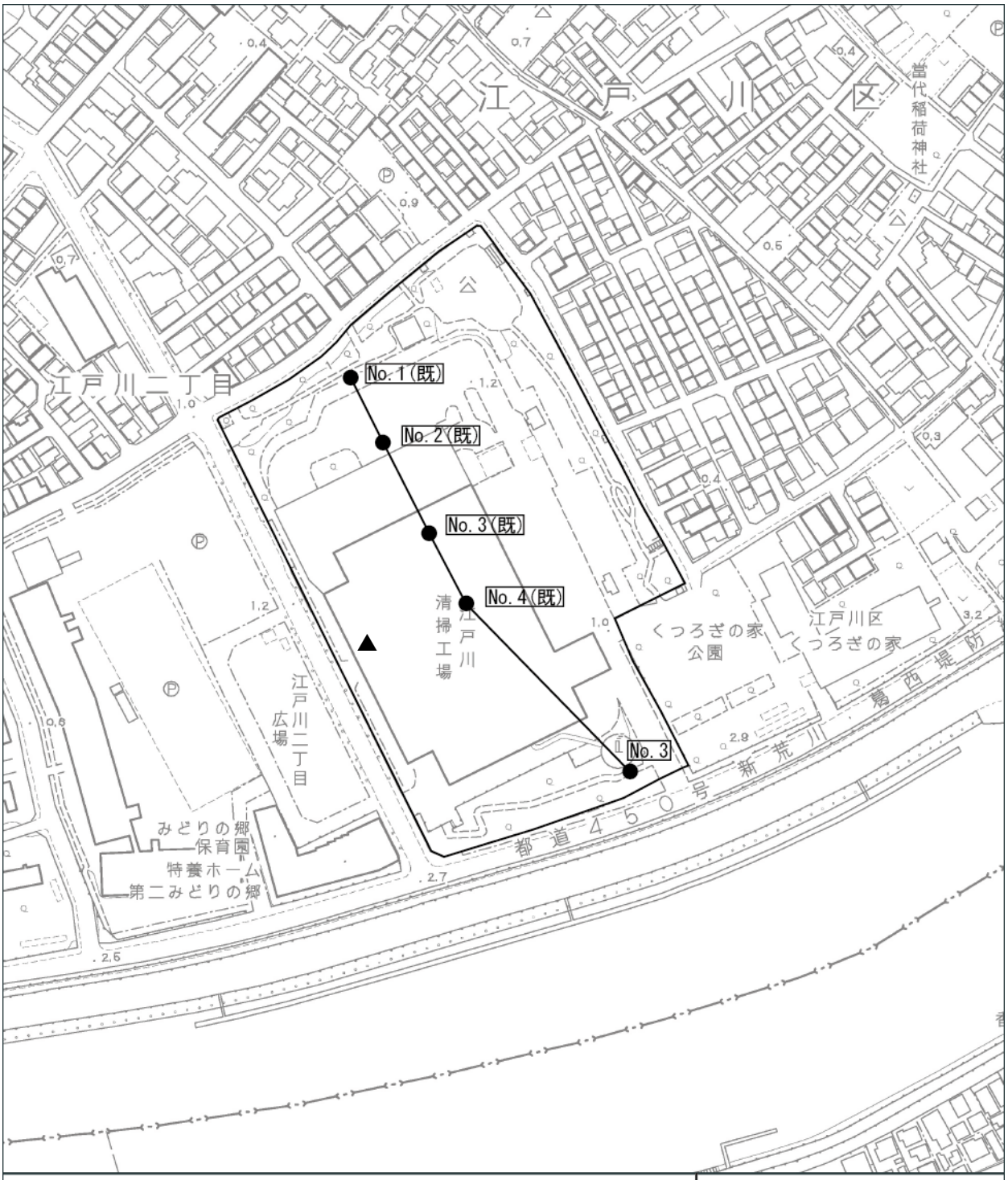


図 8.5-5(4)　ボーリング柱状図（地点④）



凡　例

□ 計画地

● 地質柱状図地点

▲ 地層別の透水性図地点

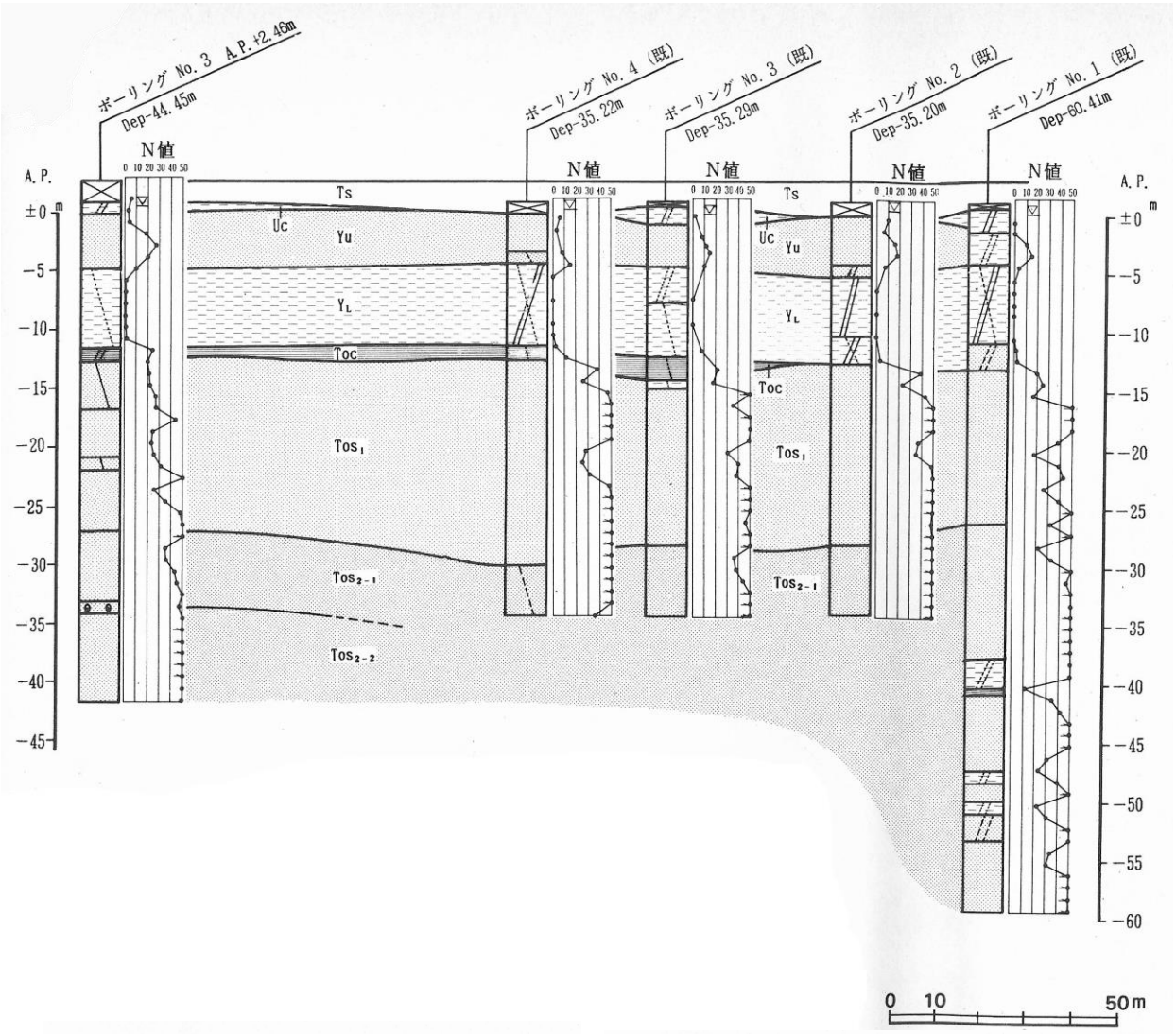
N

1:2,500

0　50　100m

資料）「環境影響評価書　－東京都江戸川清掃工場建設事業－」
（平成３年12月、東京都）

図 8.5-6(1)　計画地の地質柱状図等位置図（既存江戸川清掃工場建設時）



工場敷地の地質区分表

時代		地層名		土質名	記号	地質断面図記号
第四紀	沖積世	最上部層		埋土	Ts	
		上部粘性土層		砂質シルト 砂混りシルト	Uc	
		上部有楽町層		細砂、中細砂	Yu	
		下部有楽町層		砂質シルト 砂混りシルト	Y_L	
	洪積世	上部東京層	粘性土	砂質粘土	Toc	
			砂質土	粘土混り細砂 細砂	Tos_1	
		東京層	砂質土（上層）	細砂	Tos_{2-1}	
			砂質土（下層）	細砂	Tos_{2-2}	

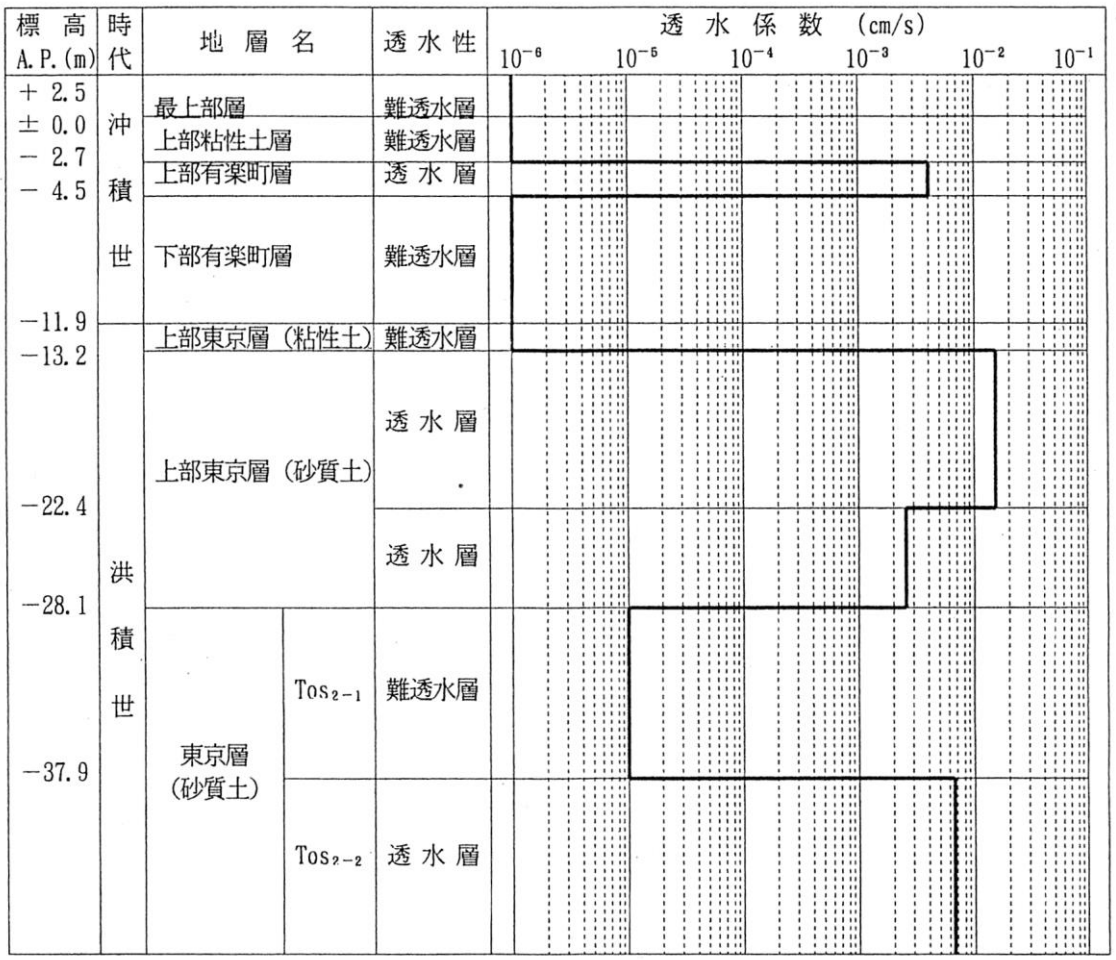
柱状図記号

	埋土		砂質
	砂		シルト質
	シルト		粘土質
	粘土		砂混り
	貝殻混り		シルト混り
	孔内水位		粘土混り

N値：土質の締まりの程度を示す値で、0に近い程軟らかく、50に近い程締まって硬いことを示す。

資料）「環境影響評価書　－東京都江戸川清掃工場建設事業－」（平成３年 12 月、東京都）

図 8.5-6(2)　計画地の地質柱状図（既存江戸川清掃工場建設時）



資料)「環境影響評価書　－東京都江戸川清掃工場建設事業－」(平成３年 12 月、東京都)

図 8.5-6(3)　計画地の地層別の透水性（既存江戸川清掃工場建設時）

表 8.5-1(1)　不圧地下水位調査結果一覧

地下水位（地点①-B、不圧）　　単位：A.P(m)

日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年
1日	0.47	0.64	0.67	0.48	0.66	0.42	0.26	0.16	0.45	0.48	0.33	0.31	
2日	0.60	0.62	0.65	0.47	0.64	0.42	0.24	0.23	0.45	0.46	0.32	0.31	
3日	0.69	0.60	0.64	0.50	0.62	0.40	0.22	0.24	0.43	0.45	0.30	0.30	
4日	0.67	0.58	0.62	0.47	0.62	0.39	0.22	0.23	0.41	0.45	0.28	0.29	
5日	0.63	0.56	0.60	0.45	0.61	0.37	0.23	0.23	0.40	0.45	0.26	0.38	
6日	0.61	0.55	0.58	0.42	0.59	0.36	0.23	0.24	0.40	0.44	0.25	0.37	
7日	0.58	0.54	0.54	0.40	0.56	0.36	0.20	0.23	0.42	0.43	0.26	0.35	
8日	0.57	0.53	0.56	0.41	0.54	0.38	0.20	0.22	0.46	0.41	0.27	0.34	
9日	0.54	0.50	0.60	0.42	0.54	0.52	0.23	0.22	0.50	0.39	0.25	0.32	
10日	0.51	0.50	0.61	0.39	0.50	0.51	0.26	0.19	0.51	0.41	0.24	0.30	
11日	0.49	0.51	0.59	0.57	0.48	0.49	0.23	0.17	0.59	0.40	0.23	0.29	
12日	0.47	0.50	0.57	0.64	0.46	0.48	0.20	0.17	0.70	0.37	0.21	0.28	
13日	0.46	0.58	0.54	0.62	0.47	0.47	0.19	0.17	0.67	0.42	0.23	0.27	
14日	0.44	0.64	0.52	0.60	0.58	0.45	0.18	0.21	0.65	0.46	0.26	0.25	
15日	0.43	0.63	0.50	0.61	0.58	0.42	0.18	0.21	0.63	0.45	0.25	0.24	
16日	0.42	0.62	0.49	0.57	0.57	0.40	0.18	0.20	0.60	0.43	0.23	0.24	
17日	0.54	0.60	0.56	0.55	0.54	0.37	0.19	0.19	0.59	0.41	0.21	0.24	
18日	0.54	0.59	0.61	0.53	0.52	0.36	0.17	0.18	0.68	0.39	0.22	0.23	
19日	0.57	0.57	0.60	0.57	0.50	0.36	0.16	0.18	0.66	0.37	0.27	0.23	
20日	0.64	0.79	0.58	0.57	0.48	0.37	0.20	0.17	0.63	0.37	0.25	0.21	
21日	0.68	0.95	0.54	0.55	0.46	0.33	0.19	0.23	0.62	0.35	0.31	0.20	
22日	0.79	0.98	0.53	0.57	0.48	0.34	0.19	0.26	0.60	0.35	0.36	0.20	
23日	0.87	1.00	0.51	0.53	0.51	0.32	0.23	0.26	0.59	0.34	0.34	0.20	
24日	0.80	0.92	0.48	0.60	0.45	0.30	0.18	0.25	0.57	0.34	0.33	0.19	
25日	0.76	0.87	0.46	0.65	0.44	0.28	0.17	0.23	0.56	0.33	0.36	0.18	
26日	0.73	0.82	0.46	0.63	0.45	0.28	0.17	0.26	0.57	0.37	0.35	0.27	
27日	0.69	0.79	0.43	0.63	0.48	0.29	0.15	0.40	0.56	0.38	0.34	0.33	
28日	0.67	0.76	0.45	0.66	0.46	0.26	0.15	0.43	0.54	0.35	0.33	0.33	
29日	0.67	0.73	0.50	0.64	0.47	0.27		0.42	0.52	0.34	0.32	0.32	
30日	0.70	0.70	0.47	0.62	0.44	0.29		0.42	0.50	0.33	0.32	0.33	
31日	0.67		0.46		0.43	0.23		0.40		0.32		0.32	
平均	0.61	0.67	0.55	0.54	0.52	0.37	0.20	0.24	0.55	0.40	0.28	0.28	0.44
日数	31	30	31	30	31	31	28	31	30	31	30	31	365
最大	0.87	1.00	0.67	0.66	0.66	0.52	0.26	0.43	0.70	0.48	0.36	0.38	1.00
最小	0.42	0.50	0.43	0.39	0.43	0.23	0.15	0.16	0.40	0.32	0.21	0.18	0.15

表 8.5-1(2)　不圧地下水位調査結果一覧

地下水位　（地点②、不圧）　　単位：A.P(m)

日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年
1日	0.64	0.92	1.05	0.67	0.87	0.58	0.37	0.25	0.53	0.68	0.42	0.37	
2日	0.76	0.90	1.03	0.66	0.86	0.58	0.36	0.30	0.53	0.66	0.41	0.36	
3日	0.86	0.88	1.00	0.68	0.85	0.56	0.34	0.31	0.53	0.64	0.39	0.36	
4日	0.85	0.85	0.98	0.65	0.84	0.55	0.33	0.30	0.52	0.63	0.37	0.35	
5日	0.82	0.83	0.95	0.64	0.84	0.53	0.34	0.30	0.52	0.62	0.36	0.41	
6日	0.80	0.81	0.92	0.60	0.81	0.51	0.34	0.32	0.52	0.61	0.35	0.41	
7日	0.78	0.79	0.88	0.58	0.78	0.51	0.31	0.31	0.53	0.59	0.35	0.40	
8日	0.77	0.77	0.88	0.58	0.76	0.52	0.30	0.30	0.55	0.58	0.35	0.39	
9日	0.74	0.74	0.91	0.58	0.75	0.62	0.33	0.30	0.59	0.55	0.33	0.37	
10日	0.71	0.73	0.90	0.56	0.72	0.62	0.35	0.28	0.62	0.56	0.32	0.36	
11日	0.68	0.73	0.88	0.72	0.69	0.61	0.32	0.26	0.70	0.54	0.31	0.35	
12日	0.66	0.71	0.86	0.79	0.67	0.61	0.30	0.25	0.83	0.52	0.29	0.34	
13日	0.64	0.79	0.83	0.79	0.67	0.60	0.29	0.26	0.82	0.54	0.30	0.33	
14日	0.63	0.85	0.80	0.78	0.76	0.58	0.28	0.28	0.82	0.57	0.33	0.31	
15日	0.60	0.85	0.78	0.80	0.77	0.56	0.28	0.29	0.81	0.56	0.32	0.30	
16日	0.59	0.84	0.76	0.77	0.76	0.54	0.27	0.27	0.79	0.55	0.30	0.30	
17日	0.68	0.82	0.80	0.75	0.73	0.51	0.28	0.26	0.78	0.53	0.28	0.29	
18日	0.67	0.81	0.85	0.73	0.71	0.50	0.27	0.26	0.86	0.50	0.28	0.29	
19日	0.69	0.80	0.83	0.76	0.70	0.50	0.26	0.25	0.86	0.49	0.32	0.29	
20日	0.79	1.03	0.82	0.76	0.68	0.50	0.28	0.25	0.83	0.48	0.30	0.27	
21日	0.85	1.24	0.79	0.74	0.66	0.47	0.27	0.29	0.83	0.47	0.34	0.26	
22日	0.98	1.32	0.77	0.76	0.67	0.47	0.27	0.31	0.81	0.46	0.39	0.25	
23日	1.10	1.38	0.75	0.73	0.68	0.45	0.31	0.32	0.80	0.46	0.38	0.25	
24日	1.07	1.33	0.72	0.78	0.64	0.43	0.27	0.32	0.77	0.45	0.37	0.25	
25日	1.04	1.28	0.70	0.83	0.62	0.41	0.26	0.31	0.77	0.44	0.39	0.24	
26日	1.02	1.23	0.69	0.83	0.62	0.40	0.26	0.32	0.77	0.46	0.39	0.30	
27日	0.98	1.20	0.66	0.83	0.65	0.41	0.25	0.45	0.76	0.47	0.39	0.36	
28日	0.96	1.16	0.67	0.86	0.63	0.38	0.24	0.49	0.74	0.44	0.38	0.35	
29日	0.95	1.13	0.69	0.85	0.63	0.38		0.49	0.72	0.43	0.38	0.35	
30日	0.99	1.09	0.67	0.83	0.60	0.40		0.50	0.70	0.42	0.37	0.38	
31日	0.95		0.66		0.59	0.36		0.49		0.41		0.37	
平均	0.81	0.96	0.82	0.73	0.72	0.50	0.30	0.32	0.71	0.53	0.35	0.33	0.59
日数	31	30	31	30	31	31	28	31	30	31	30	31	365
最大	1.10	1.38	1.05	0.86	0.87	0.62	0.37	0.50	0.86	0.68	0.42	0.41	1.38
最小	0.59	0.71	0.66	0.56	0.59	0.36	0.24	0.25	0.52	0.41	0.28	0.24	0.24

表 8.5-1(3)　不圧地下水位調査結果一覧

地下水位　（地点③、不圧）　　単位：A.P(m)

日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年
1日	0.15	0.37	0.43	0.16	0.35	0.10	-0.10	-0.19	0.13	0.18	0.00	-0.01	
2日	0.25	0.35	0.39	0.17	0.35	0.10	-0.11	-0.13	0.14	0.16	0.00	-0.02	
3日	0.36	0.33	0.37	0.19	0.33	0.08	-0.12	-0.09	0.12	0.15	-0.03	-0.03	
4日	0.35	0.30	0.35	0.16	0.31	0.07	-0.13	-0.10	0.09	0.14	-0.05	-0.03	
5日	0.33	0.28	0.33	0.15	0.31	0.05	-0.13	-0.11	0.08	0.13	-0.07	0.05	
6日	0.30	0.26	0.30	0.11	0.29	0.04	-0.12	-0.10	0.07	0.13	-0.08	0.06	
7日	0.27	0.25	0.27	0.09	0.26	0.03	-0.15	-0.10	0.08	0.11	-0.08	0.04	
8日	0.26	0.24	0.27	0.09	0.24	0.04	-0.16	-0.11	0.12	0.10	-0.07	0.02	
9日	0.23	0.21	0.31	0.10	0.23	0.16	-0.14	-0.12	0.17	0.07	-0.09	0.00	
10日	0.20	0.22	0.32	0.08	0.20	0.18	-0.11	-0.13	0.20	0.08	-0.09	-0.01	
11日	0.18	0.23	0.30	0.22	0.17	0.17	-0.13	-0.16	0.26	0.08	-0.11	-0.03	
12日	0.16	0.23	0.28	0.32	0.15	0.16	-0.15	-0.17	0.37	0.06	-0.12	-0.04	
13日	0.14	0.29	0.26	0.30	0.15	0.15	-0.17	-0.17	0.36	0.09	-0.12	-0.05	
14日	0.13	0.36	0.24	0.29	0.24	0.13	-0.17	-0.14	0.34	0.15	-0.08	-0.06	
15日	0.11	0.35	0.22	0.30	0.27	0.10	-0.18	-0.12	0.32	0.14	-0.08	-0.08	
16日	0.10	0.34	0.20	0.27	0.26	0.08	-0.18	-0.13	0.30	0.12	-0.10	-0.08	
17日	0.20	0.32	0.24	0.25	0.23	0.05	-0.17	-0.14	0.28	0.10	-0.12	-0.09	
18日	0.21	0.31	0.32	0.23	0.21	0.03	-0.18	-0.15	0.36	0.07	-0.12	-0.09	
19日	0.25	0.29	0.30	0.25	0.19	0.03	-0.19	-0.16	0.37	0.06	-0.07	-0.09	
20日	0.31	0.48	0.28	0.26	0.17	0.03	-0.17	-0.17	0.34	0.05	-0.08	-0.11	
21日	0.37	0.74	0.25	0.25	0.15	0.00	-0.15	-0.13	0.33	0.04	-0.04	-0.12	
22日	0.47	0.80	0.24	0.26	0.16	0.00	-0.16	-0.07	0.30	0.02	0.04	-0.13	
23日	0.62	0.87	0.22	0.23	0.19	-0.02	-0.13	-0.07	0.30	0.02	0.03	-0.13	
24日	0.57	0.79	0.19	0.27	0.15	-0.04	-0.15	-0.08	0.27	0.01	0.01	-0.14	
25日	0.52	0.72	0.17	0.34	0.13	-0.06	-0.17	-0.09	0.26	0.01	0.03	-0.14	
26日	0.48	0.65	0.16	0.33	0.13	-0.06	-0.18	-0.08	0.26	0.04	0.03	-0.08	
27日	0.43	0.60	0.13	0.32	0.16	-0.06	-0.20	0.04	0.26	0.06	0.02	0.01	
28日	0.40	0.55	0.14	0.35	0.15	-0.08	-0.20	0.12	0.24	0.03	0.01	0.01	
29日	0.39	0.51	0.19	0.35	0.15	-0.08		0.11	0.22	0.01	0.00	0.00	
30日	0.43	0.46	0.16	0.33	0.13	-0.07		0.10	0.20	0.01	0.00	0.01	
31日	0.40		0.15		0.11	-0.10		0.09		0.00		0.00	
平均	0.31	0.42	0.26	0.23	0.21	0.04	-0.15	-0.09	0.24	0.08	-0.05	-0.04	0.12
日数	31	30	31	30	31	31	28	31	30	31	30	31	365
最大	0.62	0.87	0.43	0.35	0.35	0.18	-0.10	0.12	0.37	0.18	0.04	0.06	0.87
最小	0.10	0.21	0.13	0.08	0.11	-0.10	-0.20	-0.19	0.07	0.00	-0.12	-0.14	-0.20

表 8.5-1(4)　不圧地下水位調査結果一覧

地下水位　（地点④、不圧）　　単位：A.P(m)

日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年
1日	0.78	1.04	1.23	0.78	0.96	0.69	0.46	0.32	0.58	0.81	0.50	0.43	
2日	0.83	1.02	1.20	0.78	0.95	0.69	0.45	0.35	0.60	0.79	0.49	0.42	
3日	0.91	1.00	1.18	0.79	0.95	0.67	0.43	0.36	0.60	0.78	0.47	0.42	
4日	0.92	0.98	1.15	0.77	0.95	0.66	0.42	0.36	0.60	0.77	0.46	0.41	
5日	0.92	0.96	1.12	0.76	0.95	0.64	0.42	0.36	0.59	0.75	0.44	0.44	
6日	0.91	0.94	1.09	0.74	0.93	0.63	0.42	0.37	0.60	0.74	0.43	0.45	
7日	0.89	0.92	1.05	0.72	0.91	0.62	0.40	0.37	0.60	0.72	0.42	0.45	
8日	0.89	0.91	1.04	0.71	0.89	0.61	0.39	0.37	0.62	0.70	0.42	0.45	
9日	0.86	0.88	1.05	0.70	0.88	0.66	0.40	0.36	0.65	0.67	0.41	0.44	
10日	0.84	0.86	1.04	0.68	0.85	0.68	0.41	0.35	0.67	0.67	0.40	0.43	
11日	0.81	0.85	1.03	0.75	0.83	0.69	0.40	0.34	0.73	0.65	0.39	0.42	
12日	0.80	0.84	1.01	0.83	0.81	0.69	0.38	0.33	0.84	0.63	0.37	0.41	
13日	0.78	0.87	0.99	0.85	0.81	0.69	0.37	0.33	0.87	0.63	0.36	0.40	
14日	0.76	0.93	0.96	0.86	0.84	0.68	0.37	0.34	0.89	0.65	0.37	0.39	
15日	0.73	0.94	0.94	0.88	0.86	0.66	0.36	0.34	0.89	0.64	0.37	0.38	
16日	0.71	0.94	0.92	0.86	0.86	0.65	0.35	0.34	0.89	0.64	0.37	0.37	
17日	0.74	0.93	0.93	0.85	0.84	0.62	0.35	0.33	0.89	0.62	0.35	0.37	
18日	0.75	0.93	0.96	0.84	0.83	0.61	0.34	0.33	0.94	0.60	0.35	0.36	
19日	0.77	0.91	0.96	0.85	0.82	0.60	0.34	0.32	0.94	0.59	0.36	0.36	
20日	0.83	1.05	0.95	0.86	0.80	0.60	0.35	0.32	0.93	0.58	0.36	0.35	
21日	0.90	1.26	0.92	0.85	0.79	0.58	0.34	0.33	0.94	0.56	0.37	0.34	
22日	1.00	1.36	0.91	0.86	0.79	0.57	0.34	0.36	0.92	0.55	0.41	0.33	
23日	1.14	1.47	0.90	0.84	0.79	0.55	0.36	0.37	0.91	0.55	0.42	0.33	
24日	1.14	1.47	0.87	0.85	0.76	0.54	0.35	0.37	0.90	0.54	0.42	0.32	
25日	1.14	1.44	0.86	0.90	0.74	0.52	0.34	0.37	0.89	0.53	0.43	0.31	
26日	1.12	1.40	0.85	0.90	0.74	0.50	0.33	0.38	0.90	0.53	0.44	0.33	
27日	1.09	1.37	0.82	0.92	0.75	0.50	0.32	0.44	0.89	0.54	0.44	0.38	
28日	1.07	1.34	0.81	0.94	0.73	0.48	0.32	0.50	0.87	0.52	0.44	0.40	
29日	1.07	1.30	0.81	0.94	0.73	0.47		0.53	0.86	0.51	0.43	0.40	
30日	1.08	1.26	0.80	0.93	0.71	0.48		0.55	0.83	0.50	0.43	0.42	
31日	1.06		0.79		0.71	0.45		0.56		0.50		0.42	
平均	0.91	1.08	0.97	0.83	0.83	0.60	0.37	0.38	0.79	0.63	0.41	0.39	0.68
日数	31	30	31	30	31	31	28	31	30	31	30	31	365
最大	1.14	1.47	1.23	0.94	0.96	0.69	0.46	0.56	0.94	0.81	0.50	0.45	1.47
最小	0.71	0.84	0.79	0.68	0.71	0.45	0.32	0.32	0.58	0.50	0.35	0.31	0.31

表 8.5-2(1)　被圧地下水位調査結果一覧

地下水位（地点①-A、被圧）　　単位：A.P(m)

日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年
1日	-1.19	-1.12	-1.13	-1.20	-1.14	－	－	-1.26	-1.15	-1.08	-1.04	-1.13	
2日	-1.18	-1.14	-1.13	-1.23	-1.15	－	－	-1.19	-1.15	-1.13	-1.02	-1.13	
3日	-1.17	-1.16	-1.11	-1.17	-1.18	－	－	-1.20	-1.17	-1.14	-1.07	-1.12	
4日	-1.17	-1.17	-1.10	-1.18	-1.15	－	－	-1.24	-1.22	-1.12	-1.11	-1.11	
5日	-1.17	-1.17	-1.13	-1.17	-1.10	－	－	-1.22	-1.23	-1.08	-1.15	-1.09	
6日	-1.18	-1.15	-1.11	-1.20	-1.10	－	－	-1.17	-1.21	-1.05	-1.18	-1.11	
7日	-1.19	-1.14	-1.18	-1.24	-1.13	－	－	-1.16	-1.17	-1.03	-1.16	-1.11	
8日	-1.16	-1.13	-1.13	-1.19	-1.12	－	－	-1.17	-1.16	-1.05	-1.11	-1.11	
9日	-1.14	-1.14	-1.10	-1.19	-1.09	－	－	-1.17	-1.13	-1.10	-1.12	-1.11	
10日	-1.18	-1.19	-1.16	-1.23	-1.13	－	－	-1.19	-1.18	-1.08	-1.11	-1.12	
11日	-1.21	-1.21	-1.16	-1.19	-1.16	－	-1.16	-1.24	-1.11	-1.05	-1.13	-1.13	
12日	-1.22	-1.22	-1.15	-1.20	-1.19	－	-1.21	-1.26	-1.06	-1.09	-1.16	-1.12	
13日	-1.22	-1.20	-1.18	-1.21	-1.15	－	-1.25	-1.23	-1.11	-1.06	-1.18	-1.12	
14日	-1.20	-1.19	-1.20	-1.20	-1.08	－	-1.25	-1.19	-1.13	-1.06	-1.15	-1.13	
15日	-1.19	-1.17	-1.21	-1.13	-1.12	－	-1.26	-1.19	-1.10	-1.07	-1.14	-1.14	
16日	-1.19	-1.18	-1.21	-1.17	-1.13	－	-1.25	-1.23	-1.10	-1.06	-1.14	-1.14	
17日	-1.15	-1.16	-1.17	-1.19	-1.18	－	-1.18	-1.25	-1.10	-1.08	-1.17	-1.14	
18日	-1.20	-1.14	-1.15	-1.22	-1.22	－	-1.19	-1.26	-0.97	-1.10	-1.17	-1.13	
19日	-1.21	-1.13	-1.15	-1.17	-1.20	－	-1.22	-1.25	-1.01	-1.12	-1.15	-1.13	
20日	-1.18	-1.11	-1.13	-1.17	-1.19	－	-1.15	-1.26	-1.08	-1.11	-1.16	-1.15	
21日	-1.18	-1.12	-1.16	-1.19	-1.22	－	-1.22	-1.18	-1.05	-1.11	-1.12	-1.15	
22日	-1.12	-1.09	-1.17	-1.13	-1.15	－	-1.25	-1.20	-1.04	-1.09	-1.11	-1.15	
23日	-1.12	-1.08	-1.16	-1.16	-1.07	－	-1.13	-1.22	-1.09	-1.07	-1.12	-1.12	
24日	-1.13	-1.10	-1.20	-1.16	-1.19	－	-1.19	-1.22	-1.14	-1.06	-1.12	-1.10	
25日	-1.14	-1.11	-1.23	-1.16	-1.24	－	-1.22	-1.23	-1.13	-1.05	-1.09	-1.11	
26日	-1.12	-1.11	-1.21	-1.19	-1.21	－	-1.23	-1.21	-1.07	-1.03	-1.12	-1.12	
27日	-1.13	-1.10	-1.25	-1.13	-1.09	－	-1.27	-1.16	-1.03	-1.04	-1.14	-1.14	
28日	-1.11	-1.07	-1.24	-1.12	-1.17	－	-1.28	-1.19	-1.04	-1.07	-1.15	-1.13	
29日	-1.05	-1.07	-1.20	-1.17	-1.16	－		-1.21	-1.05	-1.08	-1.16	-1.12	
30日	-1.00	-1.12	-1.26	-1.21	-1.19	－		-1.18	-1.07	-1.08	-1.14	-1.12	
31日	-1.07		-1.24		-1.20	－		-1.17		-1.07		-1.11	
平均	-1.16	-1.14	-1.17	-1.18	-1.15	—	-1.22	-1.21	-1.11	-1.08	-1.13	-1.12	-1.15
日数	31	30	31	30	31	0	18	31	30	31	30	31	324
最大	-1.00	-1.07	-1.10	-1.12	-1.07	—	-1.13	-1.16	-0.97	-1.03	-1.02	-1.09	-0.97
最小	-1.22	-1.22	-1.26	-1.24	-1.24	—	-1.28	-1.26	-1.23	-1.14	-1.18	-1.15	-1.28

注）1月は全日欠測。2月は10日間欠測。

表 8.5-2(2)　被圧地下水位調査結果一覧

地下水位　（地点②、被圧）　　単位：A.P(m)

日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年
1日	-1.12	-1.04	-1.05	-1.12	-1.07	-1.13	-1.11	-1.19	-1.09	-1.03	-0.98	-1.07	
2日	-1.10	-1.07	-1.05	-1.15	-1.09	-1.10	-1.11	-1.12	-1.09	-1.08	-0.96	-1.07	
3日	-1.09	-1.09	-1.02	-1.09	-1.11	-1.09	-1.13	-1.14	-1.12	-1.09	-1.01	-1.06	
4日	-1.09	-1.10	-1.02	-1.10	-1.08	-1.09	-1.16	-1.18	-1.16	-1.07	-1.05	-1.05	
5日	-1.10	-1.09	-1.04	-1.09	-1.03	-1.13	-1.13	-1.16	-1.17	-1.03	-1.09	-1.03	
6日	-1.10	-1.07	-1.02	-1.12	-1.04	-1.15	-1.07	-1.11	-1.15	-0.99	-1.12	-1.05	
7日	-1.12	-1.05	-1.10	-1.16	-1.07	-1.14	-1.13	-1.10	-1.11	-0.98	-1.10	-1.05	
8日	-1.08	-1.05	-1.04	-1.11	-1.06	-1.10	-1.13	-1.11	-1.09	-0.99	-1.05	-1.05	
9日	-1.06	-1.05	-1.01	-1.11	-1.03	-1.02	-1.08	-1.11	-1.07	-1.05	-1.06	-1.05	
10日	-1.11	-1.11	-1.08	-1.15	-1.07	-1.05	-1.05	-1.14	-1.13	-1.02	-1.05	-1.06	
11日	-1.13	-1.14	-1.08	-1.11	-1.10	-1.06	-1.10	-1.19	-1.05	-1.00	-1.07	-1.07	
12日	-1.14	-1.15	-1.07	-1.13	-1.12	-1.02	-1.15	-1.20	-1.00	-1.03	-1.10	-1.06	
13日	-1.14	-1.12	-1.10	-1.13	-1.08	-1.00	-1.19	-1.17	-1.06	-1.01	-1.12	-1.05	
14日	-1.13	-1.11	-1.11	-1.11	-1.00	-1.01	-1.20	-1.13	-1.07	-1.01	-1.09	-1.07	
15日	-1.11	-1.09	-1.13	-1.04	-1.05	-1.04	-1.20	-1.13	-1.04	-1.01	-1.08	-1.09	
16日	-1.11	-1.10	-1.13	-1.09	-1.07	-1.05	-1.19	-1.16	-1.05	-1.01	-1.08	-1.08	
17日	-1.08	-1.08	-1.08	-1.11	-1.11	-1.11	-1.12	-1.19	-1.04	-1.03	-1.11	-1.08	
18日	-1.13	-1.06	-1.06	-1.14	-1.15	-1.13	-1.14	-1.20	-0.91	-1.05	-1.11	-1.07	
19日	-1.14	-1.05	-1.07	-1.09	-1.13	-1.09	-1.16	-1.20	-0.95	-1.07	-1.09	-1.08	
20日	-1.10	-1.01	-1.05	-1.09	-1.13	-1.05	-1.09	-1.20	-1.02	-1.06	-1.10	-1.09	
21日	-1.11	-1.04	-1.09	-1.11	-1.15	-1.08	-1.17	-1.13	-1.00	-1.06	-1.05	-1.10	
22日	-1.02	-1.00	-1.08	-1.06	-1.08	-1.07	-1.20	-1.14	-0.99	-1.04	-1.05	-1.09	
23日	-1.03	-1.00	-1.07	-1.09	-1.00	-1.09	-1.08	-1.16	-1.04	-1.02	-1.06	-1.06	
24日	-1.06	-1.03	-1.11	-1.10	-1.13	-1.12	-1.14	-1.16	-1.09	-1.01	-1.06	-1.04	
25日	-1.07	-1.03	-1.14	-1.10	-1.17	-1.15	-1.16	-1.17	-1.08	-1.00	-1.03	-1.05	
26日	-1.05	-1.04	-1.12	-1.13	-1.14	-1.14	-1.18	-1.15	-1.01	-0.98	-1.05	-1.06	
27日	-1.05	-1.02	-1.17	-1.07	-1.02	-1.09	-1.22	-1.10	-0.97	-0.99	-1.08	-1.07	
28日	-1.03	-0.99	-1.15	-1.05	-1.11	-1.13	-1.22	-1.13	-0.98	-1.02	-1.09	-1.07	
29日	-0.97	-0.99	-1.12	-1.11	-1.10	-1.12		-1.15	-0.99	-1.03	-1.10	-1.06	
30日	-0.92	-1.03	-1.18	-1.15	-1.13	-1.04		-1.12	-1.01	-1.03	-1.08	-1.06	
31日	-0.99		-1.16		-1.13	-1.14		-1.12		-1.01		-1.05	
平均	-1.08	-1.06	-1.09	-1.11	-1.09	-1.09	-1.14	-1.15	-1.05	-1.03	-1.07	-1.06	-1.08
日数	31	30	31	30	31	31	28	31	30	31	30	31	365
最大	-0.92	-0.99	-1.01	-1.04	-1.00	-1.00	-1.05	-1.10	-0.91	-0.98	-0.96	-1.03	-0.91
最小	-1.14	-1.15	-1.18	-1.16	-1.17	-1.15	-1.22	-1.20	-1.17	-1.09	-1.12	-1.10	-1.22

表 8.5-2(3)　被圧地下水位調査結果一覧

地下水位　（地点③、被圧）　　単位：A.P(m)

日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年
1日	-1.55	-1.46	-1.50	-1.57	-1.53	-1.58	-1.56	-1.65	-1.54	-1.46	-1.43	-1.52	
2日	-1.53	-1.49	-1.50	-1.60	-1.54	-1.55	-1.56	-1.58	-1.55	-1.52	-1.41	-1.52	
3日	-1.51	-1.51	-1.47	-1.54	-1.56	-1.54	-1.58	-1.59	-1.56	-1.53	-1.46	-1.51	
4日	-1.51	-1.52	-1.47	-1.54	-1.53	-1.54	-1.61	-1.63	-1.60	-1.51	-1.50	-1.50	
5日	-1.52	-1.52	-1.49	-1.54	-1.48	-1.57	-1.58	-1.61	-1.61	-1.47	-1.54	-1.49	
6日	-1.53	-1.50	-1.47	-1.57	-1.48	-1.59	-1.52	-1.56	-1.59	-1.44	-1.57	-1.50	
7日	-1.54	-1.49	-1.54	-1.60	-1.51	-1.58	-1.57	-1.55	-1.55	-1.42	-1.55	-1.51	
8日	-1.51	-1.48	-1.49	-1.56	-1.50	-1.54	-1.58	-1.56	-1.54	-1.43	-1.51	-1.50	
9日	-1.49	-1.49	-1.46	-1.56	-1.48	-1.47	-1.53	-1.57	-1.51	-1.49	-1.51	-1.51	
10日	-1.53	-1.53	-1.52	-1.60	-1.51	-1.49	-1.50	-1.58	-1.57	-1.47	-1.50	-1.51	
11日	-1.55	-1.56	-1.52	-1.55	-1.54	-1.50	-1.55	-1.63	-1.49	-1.44	-1.52	-1.52	
12日	-1.56	-1.57	-1.51	-1.57	-1.57	-1.47	-1.60	-1.65	-1.44	-1.48	-1.55	-1.51	
13日	-1.56	-1.55	-1.54	-1.58	-1.53	-1.45	-1.64	-1.63	-1.49	-1.45	-1.57	-1.51	
14日	-1.55	-1.53	-1.56	-1.56	-1.46	-1.45	-1.65	-1.58	-1.51	-1.45	-1.54	-1.53	
15日	-1.54	-1.52	-1.57	-1.50	-1.50	-1.48	-1.65	-1.58	-1.48	-1.46	-1.53	-1.54	
16日	-1.54	-1.53	-1.57	-1.54	-1.51	-1.50	-1.64	-1.62	-1.49	-1.46	-1.53	-1.54	
17日	-1.50	-1.51	-1.53	-1.56	-1.56	-1.55	-1.58	-1.64	-1.48	-1.47	-1.56	-1.53	
18日	-1.55	-1.48	-1.51	-1.59	-1.60	-1.57	-1.59	-1.66	-1.36	-1.50	-1.56	-1.53	
19日	-1.56	-1.48	-1.51	-1.54	-1.58	-1.54	-1.61	-1.65	-1.39	-1.51	-1.54	-1.53	
20日	-1.53	-1.45	-1.49	-1.53	-1.57	-1.50	-1.55	-1.65	-1.46	-1.51	-1.55	-1.54	
21日	-1.53	-1.46	-1.53	-1.56	-1.60	-1.53	-1.62	-1.58	-1.43	-1.50	-1.51	-1.55	
22日	-1.46	-1.43	-1.53	-1.51	-1.54	-1.52	-1.65	-1.59	-1.42	-1.49	-1.50	-1.54	
23日	-1.45	-1.43	-1.52	-1.54	-1.45	-1.53	-1.53	-1.61	-1.47	-1.47	-1.51	-1.52	
24日	-1.47	-1.46	-1.56	-1.55	-1.57	-1.57	-1.59	-1.61	-1.52	-1.45	-1.51	-1.50	
25日	-1.49	-1.47	-1.59	-1.55	-1.62	-1.59	-1.61	-1.62	-1.51	-1.44	-1.48	-1.50	
26日	-1.47	-1.48	-1.57	-1.57	-1.59	-1.59	-1.63	-1.60	-1.45	-1.43	-1.50	-1.52	
27日	-1.47	-1.46	-1.61	-1.52	-1.47	-1.54	-1.66	-1.55	-1.41	-1.44	-1.53	-1.53	
28日	-1.46	-1.44	-1.60	-1.50	-1.55	-1.57	-1.67	-1.58	-1.42	-1.46	-1.54	-1.53	
29日	-1.40	-1.44	-1.56	-1.55	-1.55	-1.57		-1.60	-1.43	-1.48	-1.54	-1.52	
30日	-1.35	-1.48	-1.62	-1.59	-1.57	-1.49		-1.57	-1.45	-1.47	-1.53	-1.52	
31日	-1.41		-1.61		-1.58	-1.58		-1.56		-1.46		-1.51	
平均	-1.50	-1.49	-1.53	-1.55	-1.54	-1.53	-1.59	-1.60	-1.49	-1.47	-1.52	-1.52	-1.53
日数	31	30	31	30	31	31	28	31	30	31	30	31	365
最大	-1.35	-1.43	-1.46	-1.50	-1.45	-1.45	-1.50	-1.55	-1.36	-1.42	-1.41	-1.49	-1.35
最小	-1.56	-1.57	-1.62	-1.60	-1.62	-1.59	-1.67	-1.66	-1.61	-1.53	-1.57	-1.55	-1.67

表 8.5-2(4)　被圧地下水位調査結果一覧

地下水位　（地点④、被圧）　　単位：A.P(m)

日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年
1日	-0.92	-0.85	-0.85	-0.95	-0.94	-1.03	-1.01	-1.10	-0.99	-0.92	-0.90	-0.98	
2日	-0.90	-0.88	-0.85	-0.98	-0.97	-1.00	-1.02	-1.03	-0.99	-0.98	-0.88	-0.98	
3日	-0.87	-0.89	-0.83	-0.92	-0.99	-0.99	-1.04	-1.05	-1.02	-0.99	-0.93	-0.98	
4日	-0.88	-0.90	-0.84	-0.93	-0.96	-0.99	-1.06	-1.08	-1.06	-0.97	-0.96	-0.96	
5日	-0.90	-0.90	-0.86	-0.92	-0.92	-1.02	-1.03	-1.07	-1.06	-0.93	-1.00	-0.95	
6日	-0.90	-0.88	-0.85	-0.95	-0.93	-1.04	-0.98	-1.02	-1.04	-0.90	-1.03	-0.97	
7日	-0.92	-0.87	-0.92	-0.99	-0.95	-1.03	-1.04	-1.02	-1.01	-0.89	-1.01	-0.97	
8日	-0.88	-0.86	-0.86	-0.94	-0.95	-1.00	-1.04	-1.03	-0.99	-0.89	-0.97	-0.97	
9日	-0.86	-0.87	-0.84	-0.96	-0.92	-0.92	-0.99	-1.03	-0.96	-0.95	-0.98	-0.97	
10日	-0.91	-0.93	-0.89	-0.99	-0.97	-0.94	-0.96	-1.05	-1.02	-0.93	-0.96	-0.97	
11日	-0.93	-0.96	-0.89	-0.95	-0.99	-0.95	-1.01	-1.10	-0.93	-0.91	-0.99	-0.98	
12日	-0.94	-0.97	-0.88	-0.96	-1.01	-0.92	-1.06	-1.11	-0.88	-0.94	-1.01	-0.98	
13日	-0.95	-0.94	-0.91	-0.97	-0.96	-0.90	-1.10	-1.09	-0.94	-0.92	-1.04	-0.97	
14日	-0.94	-0.92	-0.93	-0.95	-0.89	-0.91	-1.10	-1.04	-0.95	-0.92	-1.01	-0.99	
15日	-0.93	-0.91	-0.95	-0.88	-0.92	-0.94	-1.11	-1.04	-0.93	-0.92	-1.00	-1.01	
16日	-0.93	-0.92	-0.95	-0.92	-0.95	-0.95	-1.10	-1.07	-0.94	-0.92	-1.00	-1.00	
17日	-0.89	-0.90	-0.90	-0.95	-0.99	-1.01	-1.03	-1.10	-0.93	-0.94	-1.03	-1.00	
18日	-0.94	-0.87	-0.88	-0.97	-1.03	-1.03	-1.05	-1.11	-0.80	-0.97	-1.03	-0.99	
19日	-0.95	-0.87	-0.89	-0.93	-1.02	-0.99	-1.07	-1.11	-0.84	-0.98	-1.00	-1.00	
20日	-0.91	-0.82	-0.87	-0.92	-1.01	-0.96	-1.00	-1.12	-0.91	-0.98	-1.02	-1.01	
21日	-0.91	-0.81	-0.91	-0.95	-1.04	-0.99	-1.09	-1.04	-0.88	-0.97	-0.97	-1.02	
22日	-0.82	-0.78	-0.91	-0.93	-0.96	-0.97	-1.10	-1.06	-0.88	-0.95	-0.97	-1.01	
23日	-0.81	-0.78	-0.90	-0.98	-0.90	-0.99	-0.99	-1.08	-0.92	-0.94	-0.98	-0.98	
24日	-0.84	-0.81	-0.93	-0.99	-1.02	-1.03	-1.06	-1.08	-0.97	-0.92	-0.97	-0.96	
25日	-0.86	-0.81	-0.97	-0.99	-1.06	-1.05	-1.07	-1.08	-0.96	-0.92	-0.94	-0.96	
26日	-0.84	-0.82	-0.95	-1.01	-1.03	-1.04	-1.08	-1.06	-0.90	-0.89	-0.97	-0.97	
27日	-0.85	-0.81	-1.00	-0.95	-0.91	-0.99	-1.12	-1.01	-0.86	-0.91	-1.00	-0.99	
28日	-0.83	-0.79	-0.98	-0.94	-1.00	-1.04	-1.12	-1.03	-0.87	-0.93	-1.00	-0.98	
29日	-0.78	-0.79	-0.95	-0.99	-0.99	-1.02		-1.05	-0.88	-0.95	-1.01	-0.98	
30日	-0.72	-0.83	-1.00	-1.02	-1.03	-0.94		-1.02	-0.90	-0.94	-0.99	-0.97	
31日	-0.79		-0.99		-1.03	-1.04		-1.02		-0.93		-0.96	
平均	-0.88	-0.86	-0.91	-0.95	-0.97	-0.99	-1.05	-1.06	-0.94	-0.94	-0.98	-0.98	-0.96
日数	31	30	31	30	31	31	28	31	30	31	30	31	365
最大	-0.72	-0.78	-0.83	-0.88	-0.89	-0.90	-0.96	-1.01	-0.80	-0.89	-0.88	-0.95	-0.72
最小	-0.95	-0.97	-1.00	-1.02	-1.06	-1.05	-1.12	-1.12	-1.06	-0.99	-1.04	-1.02	-1.12

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.6　水循環

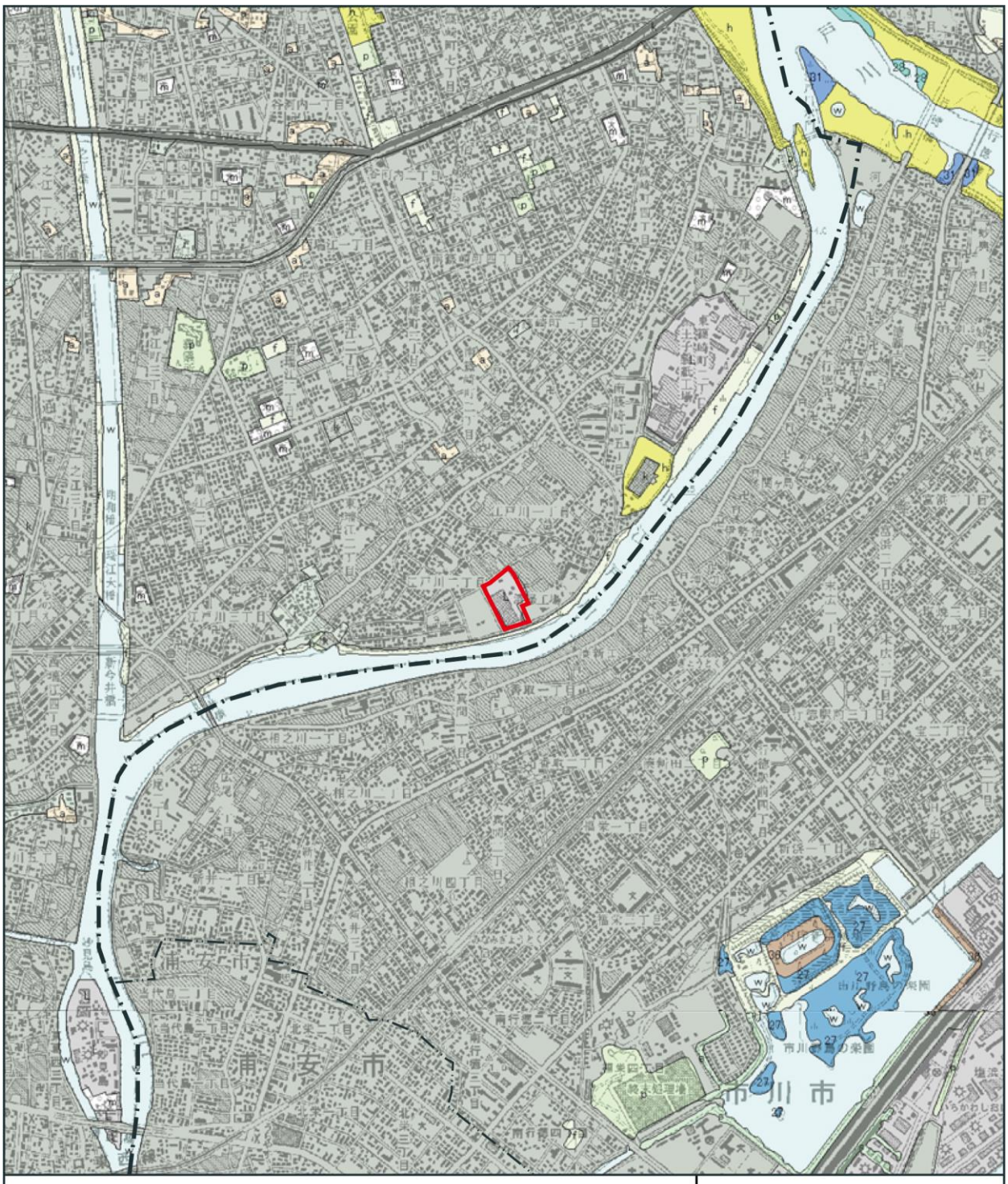
8.6　水循環

8.6.1　現況調査結果

（1）　植生の状況

計画地周辺における現存植生図は、図 8.6-1に示すとおりである。

計画地は、「自然環境保全基礎調査植生図」（環境省生物多様性センター）において、工場地帯となっている。計画地周辺は、主に市街地が占め、旧江戸川沿いに路傍・空地雑草群落等となっている。



資料）「自然環境保全基礎調査 植生調査 1/25,000植生図（船橋・浦安）」
（環境省生物多様性センターホームページ）

図 8.6-1　現存植生図

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.7　日影

8.7　日影

8.7.1 現況調査

（1） 調査結果

ア 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等の状況

国、東京都、江戸川区、千葉県及び市川市により指定または登録された文化財（建造物、絵画、彫刻、史跡、名勝、天然記念物）の建設予定地周辺における分布状況を表 8.7-1(1)、(2)及び図 8.7-1に示す。計画地に最も近い文化財は、市川市指定有形文化財の「狩野浄天夫妻墓石・供養塔」であり、計画地から約400ｍに位置している。

また、計画地周辺における遺跡の分布状況を表 8.7-1(3)及び図 8.7-1に示す。計画地に最も近い遺跡は、市川市相之川二丁目11-9他にある吉田佐太郎陣屋跡であり、計画地から約1,000ｍに位置している。

なお、計画地周辺の江戸川区内には周知の遺跡はない。また、計画地には指定・登録された文化財及び周知の遺跡は存在しない。

表 8.7-1 (1)　計画地周辺の文化財（江戸川区）

図 No.	文化財	種別	所在地
①	成田山不動明王石造道標	江戸川区登録　有形文化財	江戸川一丁目 48
②	木造親鸞聖人坐像（一躯）	江戸川区指定　有形文化財	江戸川三丁目 8-1
	木造聖徳太子立像	江戸川区登録　有形文化財	
③	木造大塚氏先祖夫妻坐像	江戸川区登録　有形文化財	江戸川三丁目 22-5
	新川梨の碑	江戸川区登録　有形文化財	
	大塚宗蔵の墓	江戸川区登録　史跡	
	力誉上人筆子塚	江戸川区登録　有形文化財	
	順定和尚筆子塚	江戸川区登録　有形文化財	
	声誉上人・随誉上人筆子塚	江戸川区登録　有形文化財	
	紙本着色十王図	江戸川区登録　有形民俗文化財	
④	木造阿弥陀如来立像	江戸川区指定　有形文化財	江戸川三丁目 23-4
⑤	今井の富士塚	江戸川区登録　有形文化財	江戸川三丁目 44-8
⑥	下鎌田の富士塚	江戸川区登録　有形民俗文化財	東瑞江二丁目 5-3
	豊田神社の社叢	江戸川区指定　天然記念物	
⑦	観音庚申塔	江戸川区登録　有形文化財	東瑞江二丁目 39
⑧	石造線刻地蔵菩薩立像碑	江戸川区指定　有形文化財	南篠崎町一丁目 1-24
	西光寺所在の地蔵菩薩像庚申塔（万治三年銘）	江戸川区登録　有形民俗文化財	
	絹本着色六地蔵菩薩画像	江戸川区登録　有形文化財	
⑨	上鎌田の庚申塔行徳道石造道標	江戸川区登録　有形文化財	南篠崎町二丁目 46-13
⑩	上鎌田の富士塚	江戸川区登録　有形文化財	南篠崎町二丁目 54-15

資料）「江戸川区の文化財」（江戸川区ホームページ）

表 8.7-1 (2)　計画地周辺の文化財（市川市）

図 No.	文化財	種別	所在地
⑪	狩野浄天夫妻墓石・供養塔	市川市指定　有形文化財	香取一丁目 16-26
⑫	常夜灯	市川市指定　有形文化財	本行徳 34 地先
⑬	旧浅子神輿店店舗兼主屋	国登録　有形文化財	本行徳 37-2

資料）「市川市の文化財」（市川市ホームページ）

表 8.7-1 (3)　計画地周辺の遺跡（市川市）

図 No.	遺跡名	所在地	時代	概要	状態
14	吉田佐太郎陣屋跡	相之川二丁目 11-9 他	中近世	空堀、平地・寺院、墓地	現存

資料）「千葉県埋蔵文化財分布地図(1)」（平成９年３月、千葉県教育委員会）

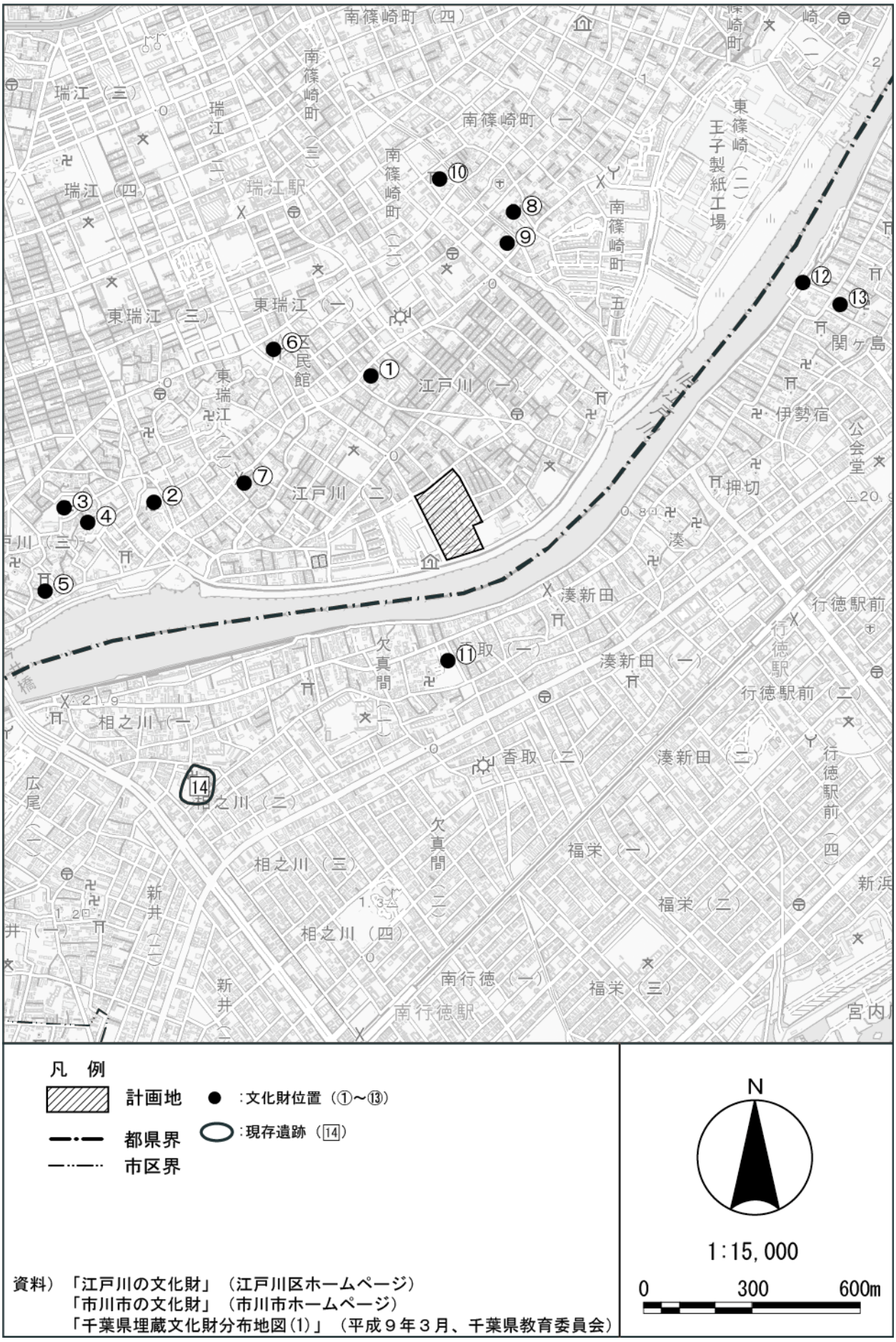


図 8.7-1　文化財・遺跡の分布状況

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.8　電波障害

8.8　電波障害

8.8.1　地上デジタル波の特性

「建造物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」（平成22年３月、社団法人日本ＣＡＴＶ技術協会）によると、地上デジタル放送での建造物障害の概要は以下のように記されている。

アナログ放送では、建造物によるマルチパス障害はゴースト症状として、また遮へい障害はスノー及びゴースト症状として画面に現れ、電波の受信状況が悪くなるにつれて受信画質も徐々に劣化する。

地上デジタル放送は、ガードインターバルや誤り訂正などのデジタル伝送技術によって受信障害が発生しにくいように工夫されており、電波の受信状況が悪くなっても受信機での誤り訂正が可能な範囲内であれば受信画質の劣化はない。しかし、地上デジタル放送は誤り訂正の限界を超えると急激に受信画質が劣化するという特徴をもっている。

一般的に、強・中電界地域においては、地上デジタル放送の受信障害はアナログ放送に比べて小さく（弱電界地域ではこの限りではない）なるが、その障害範囲はアナログ放送と同様に建造物の形状、テレビ電波到来方向に対する建造物の配置状態、周囲の状況、地形及び電波の強さなどにより異なる。

なお、地上デジタル放送のテレビ受信障害は、工事の進捗状況等により受信画像が突然劣化することがある。また、建設中は鉄骨、クレーンなどにより、思わぬところに障害を及ぼすことがあるので、注意が必要である。

8.8.2 現況調査結果

デジタル波における受信状況調査結果は、表 8.8-1(1)～(4)に示すとおりである。

表 8.8-1(1) 受信状況調査結果（地上デジタル放送）

調査地点	受信局名	関東広域局							(県域局)	県域局	備考
	調査項目	NHK総合	NHK Eテレ	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	東京MX	千葉テレビ	
		27ch	26ch	25ch	24ch	22ch	23ch	21ch	16ch	30ch	アンテナ高 10 m
1	端子電圧	57.7	58.8	60.2	56.8	56.3	57.9	57.1	45.5		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	4.3E-10	1.7E-8	2.8E-9	2.5E-9	7.4E-9	6.1E-10	8.2E-9	5.4E-14		
	品質評価	A	B	A	A	A	A	A	A		
2	端子電圧	63.2	63.2	63.5	63.8	63.2	63.4	62.4	49.0		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	1.4E-20	2.7E-16	1.9E-27	2.6E-22	8.7E-23	4.2E-15	1.4E-12	6.4E-10		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
3	端子電圧	68.4	70.5	72.7	73.3	73.0	71.8	72.1	57.8		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	1.1E-26	1.4E-33	5.7E-33	2.0E-35	6.2E-35	1.8E-35	1.6E-35	2.3E-32		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
4	端子電圧	82.1	80.9	82.8	83.2	82.2	81.1	79.8	66.4		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	9.7E-35	1.1E-35	1.1E-35	1.3E-35	4.5E-34	6.9E-34	3.2E-35	2.7E-34		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
5	端子電圧	88.2	86.3	87.3	87.9	88.0	86.2	86.8	70.1		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	1.4E-35	5.4E-35	6.6E-36	3.6E-36	4.4E-35	7.0E-36	4.5E-35	3.1E-34		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
6	端子電圧	80.6	79.7	81.6	82.1	82.2	80.4	81.0	64.7		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	2.0E-35	8.0E-36	6.4E-36	2.5E-35	4.2E-35	3.5E-36	2.0E-35	9.9E-32		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
7	端子電圧	90.0	87.5	88.5	90.3	91.1	88.2	89.3	73.3		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	5.9E-36	9.7E-35	5.4E-36	5.0E-36	7.2E-35	6.5E-37	5.0E-36	1.7E-33		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
8	端子電圧	89.6	87.9	89.8	91.0	91.2	88.8	90.0	73.3		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	4.1E-36	5.5E-35	1.4E-36	1.5E-36	1.6E-35	6.5E-36	1.5E-35	7.7E-34		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		

参考事項

デジタル波の端子電圧（受信レベル）は75Ω終端値[dB（μV）]で表示。
画像評価は次の基準による評価です。
○ ： 正常に受信
△ ： ブロックノイズや画面フリーズあり
× ： 受信不能

品質評価は次の基準による評価です。
A ： きわめて良好 ：画像評価○で、BER≦1E-8、または0.0E+0
B ： 良好 ：画像評価○で、1E-8＜BER＜1E-5
C ： おおむね良好 ：画像評価○で、1E-5≦BER≦2E-4
D ： 不良 ：画像評価○ではあるが、BER＞2E-4,または画像評価△
E ： 受信不能 ：画像評価×

表 8.8-1(2)　受信状況調査結果（地上デジタル放送）

調査地点	受信局名	関東広域局							(県域局)	県域局	備考
	調査項目	NHK総合	NHK Eテレ	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	東京MX	千葉テレビ	
		27ch	26ch	25ch	24ch	22ch	23ch	21ch	16ch	30ch	アンテナ高　10 m
9	端子電圧	87.4	85.1	86.1	87.4	87.8	85.3	86.4	70.3		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	2.5E-36	5.9E-35	1.9E-35	7.1E-36	1.1E-35	6.1E-35	6.2E-36	5.6E-34		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
10	端子電圧	74.7	77.0	78.2	77.5	78.4	78.3	77.7	60.6		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	7.7E-31	1.9E-32	2.6E-35	2.6E-35	4.7E-35	8.7E-35	4.1E-35	1.2E-28		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
11	端子電圧	71.8	71.9	72.8	70.7	70.2	70.2	71.4	54.6		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	1.9E-32	2.7E-31	6.4E-30	1.1E-27	5.9E-25	1.0E-31	5.5E-30	6.9E-26		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
12	端子電圧	88.3	88.0	90.0	90.3	89.7	88.5	88.3	71.4		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	3.4E-35	5.9E-35	1.4E-35	6.8E-36	2.5E-35	8.8E-36	1.1E-35	2.7E-32		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
13	端子電圧	79.1	81.1	82.0	80.0	79.8	79.3	78.9	60.7		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	2.4E-35	7.9E-35	1.1E-35	1.3E-35	3.8E-35	1.8E-35	9.5E-34	3.9E-34		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
14	端子電圧	79.0	80.4	81.5	80.4	79.8	78.6	79.6	61.3		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	1.6E-35	1.1E-34	1.6E-35	2.2E-36	5.6E-35	2.1E-34	1.7E-33	7.3E-32		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
15	端子電圧	91.0	90.6	92.0	91.8	91.8	90.6	90.3	73.0		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	6.2E-36	2.2E-35	1.3E-36	4.8E-36	5.4E-36	5.1E-36	2.8E-35	8.7E-33		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
16	端子電圧	78.6	78.9	79.6	78.9	79.7	79.0	77.8	61.4		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	2.2E-34	9.8E-34	3.4E-36	5.7E-34	4.5E-33	1.6E-34	4.3E-33	2.6E-30		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		

参考事項

デジタル波の端子電圧（受信レベル）は75Ω終端値[dB（μV）]で表示。
画像評価は次の基準による評価です。
○ ： 正常に受信
△ ： ブロックノイズや画面フリーズあり
× ： 受信不能

品質評価は次の基準による評価です。
A ： きわめて良好　：画像評価○で、BER≦1E-8、または0.0E+0
B ： 良好　：画像評価○で、1E-8＜BER＜1E-5
C ： おおむね良好　：画像評価○で、1E-5≦BER≦2E-4
D ： 不良　：画像評価○ではあるが、BER＞2E-4,または画像評価△
E ： 受信不能　：画像評価×

表 8.8-1(3) 受信状況調査結果（地上デジタル放送）

調査地点	受信局名	関東広域局							(県域局)	県域局	備考
	調査項目	NHK総合	NHK Eテレ	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	東京MX	千葉テレビ	
		27ch	26ch	25ch	24ch	22ch	23ch	21ch	16ch	30ch	アンテナ高 10 m
17	端子電圧	80.8	80.7	81.4	80.6	80.3	79.7	78.7	61.5		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	1.0E-35	1.6E-33	4.9E-36	2.8E-35	2.7E-35	8.0E-36	6.3E-34	7.8E-33		
	品質評価	A	A	A	A	A	A	A	A		
18	端子電圧	59.7	62.2	64.0	64.1	62.7	62.3	59.6	46.0		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	1.6E-8	1.2E-8	1.1E-9	2.4E-7	3.7E-8	1.9E-9	2.1E-8	4.8E-10		
	品質評価	B	B	A	B	B	A	B	A		
19	端子電圧	56.3	60.3	59.4	56.0	53.7	52.8	59.1	38.8		
	画像評価	○	○	○	○	○	○	○	○		
	BER	3.5E-28	6.4E-12	1.1E-8	2.9E-8	1.6E-13	7.4E-9	6.3E-9	6.6E-6		
	品質評価	A	A	B	B	A	A	A	B		
20	端子電圧									42.0	
	画像評価									○	
	BER									1.5E-9	
	品質評価									A	
21	端子電圧									47.5	
	画像評価									○	
	BER									7.6E-12	
	品質評価									A	
22	端子電圧									45.5	
	画像評価									○	
	BER									1.4E-12	
	品質評価									A	
23	端子電圧									39.1	
	画像評価									○	
	BER									1.1E-12	
	品質評価									A	
24	端子電圧									37.8	
	画像評価									○	
	BER									9.5E-9	
	品質評価									A	

参考事項

デジタル波の端子電圧（受信レベル）は75Ω終端値[dB（μV）]で表示。
画像評価は次の基準による評価です。
○ ： 正常に受信
△ ： ブロックノイズや画面フリーズあり
× ： 受信不能

品質評価は次の基準による評価です。
A ： きわめて良好 ：画像評価○で、BER≦1E-8、または0.0E+0
B ： 良好 ：画像評価○で、1E-8＜BER＜1E-5
C ： おおむね良好 ：画像評価○で、1E-5≦BER≦2E-4
D ： 不良 ：画像評価○ではあるが、BER＞2E-4,または画像評価△
E ： 受信不能 ：画像評価×

表 8.8-1(4)　受信状況調査結果（地上デジタル放送）

調査地点	受信局名	関東広域局							(県域局)	県域局	備考
	調査項目	NHK総合	NHK Eテレ	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	東京MX	千葉テレビ	
		27ch	26ch	25ch	24ch	22ch	23ch	21ch	16ch	30ch	アンテナ高　10 m
25	端子電圧									46.3	
	画像評価									○	
	BER									5.9E-26	
	品質評価									A	
26	端子電圧									54.4	
	画像評価									○	
	BER									1.7E-33	
	品質評価									A	
27	端子電圧									54.8	
	画像評価									○	
	BER									4.9E-34	
	品質評価									A	
28	端子電圧									41.2	
	画像評価									○	
	BER									8.5E-10	
	品質評価									A	
29	端子電圧									49.8	
	画像評価									○	
	BER									3.2E-28	
	品質評価									A	
30	端子電圧									49.1	
	画像評価									○	
	BER									2.5E-22	
	品質評価									A	
	端子電圧										
	画像評価										
	BER										
	品質評価										
	端子電圧										
	画像評価										
	BER										
	品質評価										

参考事項

デジタル波の端子電圧（受信レベル）は75Ω終端値[dB（μV）]で表示。
画像評価は次の基準による評価です。
○ ： 正常に受信
△ ： ブロックノイズや画面フリーズあり
× ： 受信不能

品質評価は次の基準による評価です。
A ： きわめて良好　：画像評価○で、BER≦1E-8、または0.0E+0
B ： 良好　：画像評価○で、1E-8＜BER＜1E-5
C ： おおむね良好　：画像評価○で、1E-5≦BER≦2E-4
D ： 不良　：画像評価○ではあるが、BER＞2E-4,または画像評価△
E ： 受信不能　：画像評価×

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.9　景観

8.9　景観

8.9.1　現況調査

（1）　調査方法

ア　圧迫感の状況

形態率は、「圧迫感の計測に関する研究・１（圧迫感の意味と実験装置）」（昭和52年11月、日本建築学会論文報告集第261号、武井正昭・大原昌樹）において、「建築物の外形の水平面立体角投射率」と定義され、建築物等による圧迫感を計測する指標のひとつである。

形態率の算定方法は図 8.9-1に示すとおり、日照・日影の分野で用いられている天空率と同様の概念であり、具体的には魚眼レンズ（正射影）で天空写真を撮影したときに、写真内で対象建築物が占める面積比（%）として表される。

（算定式）当該地点における対象建物の形態率

c（形態率）＝（S_0／πr^2）×100（%）

S_0　：建築物の外形を、測定点を中心として天球面に射影したもの（S）を、さらに測定点を含む水平面に正射影した面積（＝天空写真内で対象建物が占める面積）

r　：天球を、測定点を含む水平面に正射影したものの半径（＝天空写真の半径）

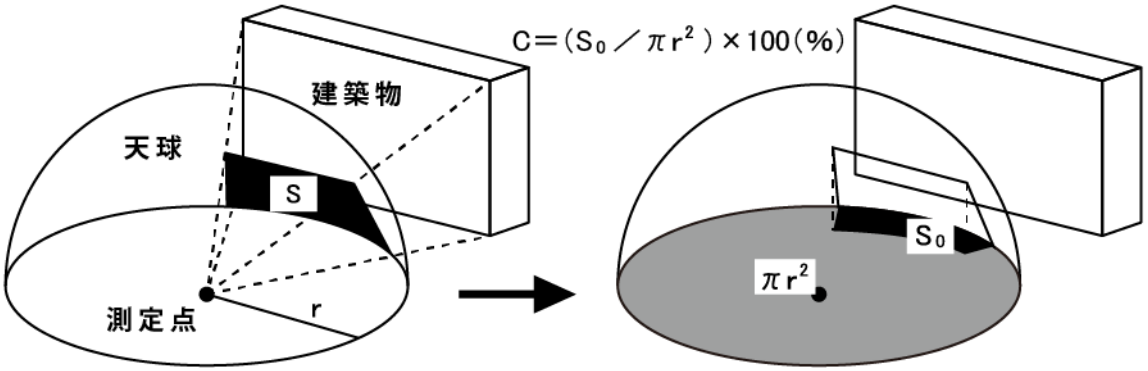


図 8.9-1　形態率の算定方法

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.11　廃棄物

8.11　廃棄物

8.11.1　現況調査

（1）　特別管理廃棄物の状況

ア　撤去建造物内に存在する特別管理廃棄物の状況

既存施設におけるアスベスト調査の概要は、表 8.11-1に示すとおりであり、石綿含有の可能性があった配管弁パッキンについては、含有していない部材と交換している。

表 8.11-1　アスベスト調査の概要

調査年月日	調査対象	調査結果	調査方法
平成 17 年 10 月	煙突	石綿含有無し	使用材料の製造番号の確認
平成 18 年 3 月	建築物	石綿含有無し	分析調査委託
平成 19 年 2 月	建築物	石綿含有無し	分析調査委託
平成 21 年 3 月	建築物	石綿含有無し	分析調査委託
平成 22 年 1 月	配管弁パッキン	石綿含有の可能性有り	既存資料等により確認
平成 28 年 3 月	煙突及び建築物の外壁等仕上塗材	以下の場所でクリソタイル 0.1%以上含有 ・工場棟の一部外壁(仕上塗材) ・工場棟階段の一部内壁、段裏(仕上塗材) ・煙突の外壁(塗装) ・屋外便所の外壁(仕上塗材) ・計量棟の外壁(仕上塗材) ・油庫の外壁(仕上塗材)	分析調査委託

注）平成22年１月の配管弁パッキンについては、石綿含有の可能性があるものについて、平成23年１月に交換を実施している。

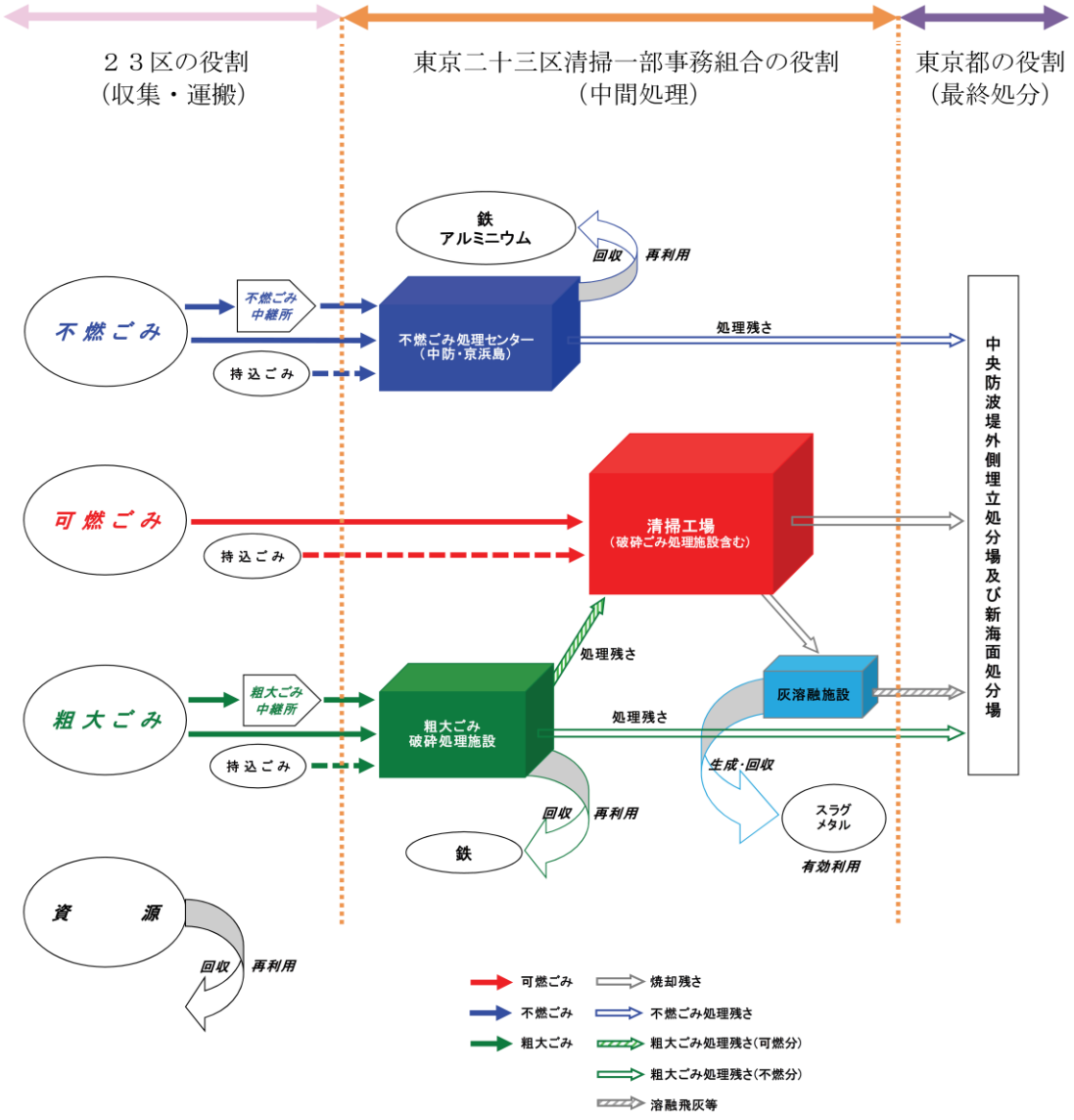
（２）　廃棄物処理の状況

ア　廃棄物処理施設

東京23区における一般廃棄物の処理の流れを図 8.11-1に示す。

東京23区においては、収集・運搬を各区が行い、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの中間処理及びし尿の処理を清掃一組が実施し、最終処分は東京都に委託し埋立処分場に埋立てる。

平成30年３月時点、東京23区内には、可燃ごみを処理する清掃工場が19工場稼働しており、２工場が建替え中である。また、不燃ごみ処理センターは２か所、粗大ごみ破砕処理施設、破砕ごみ処理施設（休止中）は各１か所、埋立処分場は１か所設置されている。このうち計画地には、可燃ごみを処理する江戸川清掃工場が設置されている。



資料）「一般廃棄物処理基本計画」（平成 27 年２月、東京二十三区清掃一部事務組合）

図 8.11-1　東京 23 区における一般廃棄物の処理の流れ

イ　ごみ処理の状況

これらの処理施設での処理実績は表 8.11-2に示すとおりである。

過去５年間のごみ処理状況において、処理量、処分量、資源化量は若干変動がみられるが、平成23年度と比較すると、平成27年度の処理量、処分量、資源化量は減少している。

なお、計画地にある江戸川清掃工場でのごみ処理状況は表 8.11-3のとおりである。

表 8.11-2　ごみ処理の状況

単位：ﾄﾝ

年度	処理量			処分量			資源化量
	焼却処理	破砕・減容積処理	合計	焼却残さ埋立	処理残さ埋立	合計	
23	2,727,370	181,174	2,908,544	293,022	120,975	413,997	63,894
24	2,739,348	171,042	2,910,390	264,553	94,490	359,043	71,555
25	2,725,694	167,440	2,893,134	264,017	90,175	354,192	74,816
26	2,705,225	152,582	2,857,807	270,879	81,918	352,797	62,424
27	2,720,228	147,478	2,867,706	294,467	66,815	361,282	41,906

資料)「事業概要　平成 29 年版」(平成 29 年８月、東京二十三区清掃一部事務組合)

表 8.11-3　江戸川清掃工場でのごみ処理状況

単位：ﾄﾝ

年度	焼却量	焼却残灰量
24	145,917	19,069
25	133,584	18,281
26	134,675	17,546
27	134,658	17,869
28	137,492	17,521

注）焼却残灰量には排水処理後の脱水汚泥量を含む。
資料)「清掃事業年報　平成 24～28 年度」
(平成 25～29 年、東京二十三区清掃一部事務組合)

8.11.2 予測

（1） 工事の施行中

ア 解体工事に伴う廃棄物の排出量の算出根拠

解体工事に伴う廃棄物の排出原単位は、表 8.11-4に示すとおり、直近で解体工事を行った２工場（練馬清掃工場建替事業及び杉並清掃工場建替事業）の事後調査報告書より求めた排出原単位の平均値とした。

ここで、練馬清掃工場建替事業及び杉並清掃工場建替事業の事後調査報告書においては、地下部解体が建設工事に含まれているが、本事業では地下部解体を解体工事に含めて廃棄物の排出量を予測した。具体的には以下のように取り扱った。

○練馬清掃工場整備事業

工事工程上、地下部解体については事後調査報告書その２からその３にかけて行われている。事後調査報告書その３の主たる工事はく体工事等であることから、解体工事に伴う排出量に事後調査報告書その２までの建設に伴う排出量を合計したものを地下部解体を含む解体工事に伴う排出量とした。

○杉並清掃工場整備事業

工事工程上、地下部解体については事後調査報告書その３で行われている。事後調査報告書その３の主たる工事は地下部解体であることから、解体工事に伴う排出量に事後調査報告書その３までの建設に伴う排出量を合計したものを地下部解体を含む解体工事に伴う排出量とした。

表 8.11-4(1) 解体工事に伴う廃棄物の排出原単位（練馬清掃工場整備事業）

種類	排出量（t）			解体工事対象床面積 (m^2)	排出原単位 (kg/m^2)
	解体工事（事後調査報告その1～3）	建設工事（事後調査報告その1～2）	合計		
コンクリート塊	36,344	555	36,899	10,197.46	3,618.5
その他がれき類	369	0	369		36.2
金属くず	5,026	3	5,029		493.2
廃プラスチック類	98	4	102		10.0
ガラスくず及び陶磁器くず	571	0	571		56.0
木くず	183	14	197		19.3
紙くず	3	1	4		0.4
繊維くず	0	0	0		0.0
その他（混合廃棄物）	92	0	92		9.0

注）排出原単位に使用した練馬清掃工場の概要は以下のとおりである。
・建替え前の練馬清掃工場
（用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：520t/日）
なお、江戸川清掃工場の概要は以下のとおりである。
・建替え前の江戸川清掃工場(既存施設)
（用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：600t/日）
資料）「事後調査報告書（工事の施工中その１～その３）-練馬清掃工場建替事業-」
（平成 24～26 年、東京二十三区清掃一部事務組合）

表 8.11-4(2) 解体工事に伴う廃棄物の排出原単位（杉並清掃工場整備事業）

種類	排出量（t）			解体工事対象床面積（m^2）	排出原単位（kg/m^2）
	解体工事（事後調査報告その1～3）	建設工事（事後調査報告その1～3）	合計		
コンクリート塊	385	82,953	83,338	26,738.33	3,116.8
その他がれき類	2,947	1,545	4,492		168.0
金属くず	8,928	963	9,891		369.9
廃プラスチック類	171	80	251		9.4
ガラスくず及び陶磁器くず	2,366	70	2,436		91.1
木くず	310	48	358		13.4
紙くず	0	29	29		1.1
繊維くず	0	2	2		0.1
その他（混合廃棄物）	105	8	113		4.2

注）排出原単位に使用した杉並清掃工場の概要は以下のとおりである。
・建替え前の杉並清掃工場
（用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：600t/日）
なお、江戸川清掃工場の概要は以下のとおりである。
・建替え前の江戸川清掃工場(既存施設)
（用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：600t/日）
資料）「事後調査報告書（工事の施工中その１～その３）-杉並清掃工場建替事業-」
（平成 26～28 年、東京二十三区清掃一部事務組合）

表 8.11-4(3) 解体工事に伴う廃棄物の排出原単位（平均値）

（単位：kg/m^2）

種類	練馬清掃工場整備事業	杉並清掃工場整備事業	平均値
コンクリート塊	3,618.5	3,116.8	3,367.7
その他がれき類	36.2	168.0	102.1
金属くず	493.2	369.9	431.6
廃プラスチック類	10.0	9.4	9.7
ガラスくず及び陶磁器くず	56.0	91.1	73.6
木くず	19.3	13.4	16.4
紙くず	0.4	1.1	0.8
繊維くず	0.0	0.1	0.1
その他（混合廃棄物）	9.0	4.2	6.6

イ 計画施設の建設に伴う廃棄物の排出量の算出根拠

計画施設の建設に伴う廃棄物の排出原単位は、表 8.11-5に示すとおり、直近で建設工事を行った２工場（練馬清掃工場建替事業及び杉並清掃工場建替事業）の事後調査報告書より求めた排出原単位の平均値とした。

ここで、練馬清掃工場建替事業及び杉並清掃工場建替事業の事後調査報告書においては、地下部解体が建設工事に含まれているが、本事業では地下部解体を解体工事に含めて廃棄物の排出量を予測した。具体的には以下のように取り扱った。

○練馬清掃工場整備事業

工事工程上、地下部解体については事後調査報告書その２からその３にかけて行われている。事後調査報告書その３の主たる工事はく体工事等であることから、事後調査報告書その３以降の建設に伴う排出量を合計したものを地下部解体を含まない建設に伴う排出量とした。

○杉並清掃工場整備事業

工事工程上、地下部解体については事後調査報告書その３で行われている。事後調査報告書その３の主たる工事は地下部解体であることから、事後調査報告書その４以降の建設に伴う排出量を合計したものを地下部解体を含まない建設に伴う排出量とした。

表 8.11-5 計画施設の建設に伴う廃棄物の排出原単位

種類	練馬清掃工場建替事業			杉並清掃工場建替事業			排出原単位の平均値 (①+②)/2
	排出量 (t)	建設工事対象床面積 (m^2)	排出原単位① (kg/m^2)	排出量 (t)	建設工事対象床面積 (m^2)	排出原単位② (kg/m^2)	(kg/m^2)
コンクリート塊	1,715	26,721.40	64.2	3,425	32,234.27	106.3	85.3
その他がれき類	1,400		52.4	5,713		177.2	114.8
金属くず	5		0.2	730		22.6	11.4
廃プラスチック類	379		14.2	536		16.6	15.4
ガラスくず及び陶磁器くず	441		16.5	779		24.2	20.4
木くず	620		23.2	687		21.3	22.3
紙くず	144		5.4	303		9.4	7.4
繊維くず	4		0.1	4		0.1	0.1
その他（混合廃棄物）	0		0.0	195		6.0	3.0

注）排出原単位に使用した２工場の概要は以下のとおりである。
・練馬清掃工場(用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：500t/日)
・杉並清掃工場(用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：600t/日)
なお、江戸川清掃工場の概要は以下のとおりである。
・江戸川清掃工場(計画施設)(用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：600t/日)
資料）「事後調査報告書（工事の施工中その３～その５）-練馬清掃工場建替事業-」（平成 26～28 年、東京二十三区清掃一部事務組合）
「事後調査報告書（工事の施工中その４～その５）-杉並清掃工場建替事業-」（平成 29～30 年、東京二十三区清掃一部事務組合）

ウ　解体工事及び建設工事に伴う廃棄物の再資源化率

解体工事及び建設工事に伴う廃棄物の再資源化率は、表 8.11-6に示すとおり、直近で解体工事及び建設工事を行った杉並清掃工場建替事業の事後調査報告書より求めた再資源化率とした。

表 8.11-6　解体工事及び建設工事に伴う廃棄物の再資源化率

種類	単位	杉並清掃工場建替事業		
		排出量	再利用量	再資源化率（%）
コンクリート塊	t	86,763	86,723	100
その他がれき類	t	10,205	10,058	99
金属くず	t	10,621	10,621	100
廃プラスチック類	t	787	657	83
ガラスくず及び陶磁器くず	t	3,215	2,379	74
木くず	t	1,045	1,044	100
紙くず	t	332	326	98
繊維くず	t	6	6	100
その他	t	308	259	84
汚泥	m^3	16,627	16,597	100
建設発生土	m^3	68,296	68,287	100

注１）再資源化率を使用した杉並清掃工場の概要は以下のとおりである。
・杉並清掃工場(用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：600t/日)
注２）排出量及び再利用量は解体工事と建設工事の合計である。
注３）再資源化率 100%は 99.5%以上を示す。
資料）「事後調査報告書（工事の施工中その１～その５）-杉並清掃工場建替事業-」
（平成 26～30 年、東京二十三区清掃一部事務組合）

（２） 工事の完了後

ア 主灰、飛灰処理汚泥及び脱水汚泥の発生率

計画施設の主灰、飛灰処理汚泥及び脱水汚泥の発生率は、表 8.11-7に示すとおり、しゅん工後１年目の大田清掃工場整備事業及び練馬清掃工場建替事業の実績より求めた。

表 8.11-7 主灰、飛灰処理汚泥及び脱水汚泥の発生率

種類	大田清掃工場建替事業			練馬清掃工場建替事業			発生率の平均値
	排出量 (t/年)	ごみ焼却量 (t/年)	発生率 ① (-)	排出量 (t/年)	ごみ焼却量 (t/年)	発生率 ② (-)	(①+②)/2 (-)
主灰	10,772	169,848	0.063	9,167	127,889	0.072	0.068
飛灰処理汚泥	7,087		0.042	6,113		0.048	0.045
脱水汚泥	48		0.00028	131		0.00102	0.00065

注１）発生率を使用した２工場の概要は以下のとおりである。
・大田清掃工場
（用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：600t/日）
・練馬清掃工場
（用途：清掃工場、構造：SRC 造、処理能力：500t/日）
注２）排出量及びごみ焼却量の期間は以下のとおりである。
・しゅん工後１年目の大田清掃工場：平成 26 年 10 月～平成 27 年９月
・しゅん工後１年目の練馬清掃工場：平成 27 年 12 月～平成 28 年 11 月
資料）「事後調査報告書（工事の完了後）-大田清掃工場整備事業-」
（平成 28 年、東京二十三区清掃一部事務組合）
「事後調査報告書（工事の完了後）-練馬清掃工場建替事業-」
（平成 29 年、東京二十三区清掃一部事務組合）
※練馬清掃工場については、事後調査報告書の飛灰量 4,707t から含水率 23.0%として飛灰処理汚泥量を算出した。

8.11.3 既存施設における主灰・飛灰・脱水汚泥の処理について

（1） 既存施設における施設稼働に伴う廃棄物の量

既存施設における主灰、飛灰処理汚泥及び脱水汚泥の発生量は、表 8.11-8に示すとおりである。

表 8.11-8 既存施設における灰等発生量（平成 27 年度）

単位：t

	主灰	飛灰処理汚泥	脱水汚泥	合計
発生量	14,943.33	2,861.65	64.17	17,869.15

（2） 既存施設における施設稼働に伴う廃棄物の定期測定結果

埋立処分するにあたり、埋立基準の適合状況を確認するため、ダイオキシン類等の測定を実施している。既存施設における灰等の測定結果は、表 8.11-9に示すとおりである。

表 8.11-9 既存施設における灰等測定結果（平成 28 年度）

種類	主灰 （基準値）	飛灰処理汚泥 （基準値）	脱水汚泥 （基準値）	単位
熱灼減量	1.3～2.5 （10）	－	－	%
ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類	0.013 （3）	7.4 （3）注３）	0.18 （3）	ng-TEQ/g
総水銀	－	N.D. （0.005 以下）	－	mg/L
ｱﾙｷﾙ水銀	－	N.D. （検出されないこと）	－	mg/L
鉛	－	N.D.～0.01 （0.3 以下）	－	mg/L
ｶﾄﾞﾐｳﾑ	－	N.D. （0.09 以下）	－	mg/L
六価ｸﾛﾑ	－	N.D. （1.5 以下）	－	mg/L
砒素	－	N.D. （0.3 以下）	－	mg/L
ｾﾚﾝ	－	N.D. （0.3 以下）	－	mg/L
1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	－	N.D. （0.5 以下）	－	mg/L

注１）N.D.は定量下限値未満である。
注２）熱灼減量は平成 28 年度の各月、ダイオキシン類は平成 28 年９月 30 日、その他の項目は平成 28 年４月 21 日、９月 30 日、12 月５日及び平成 29 年２月 20 日に採取した試料の測定結果である。
注３）既存施設については、廃掃法に定める方法により廃棄物を処理する場合、基準値は適用されない。

8　環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.12　温室効果ガス

8.12 温室効果ガス

8.12.1 調査結果

（1） 一般廃棄物の焼却に係る排出係数

一般廃棄物の焼却に係る排出係数は、表 8.12-1に示すとおりであり、ごみ中の炭素成分が全て二酸化炭素になるものとして、以下に示す式より算出した。

〈排出係数の算出式〉

$P = (C/100) \times (44/12)$

ただし、P：排出係数（$kg\text{-}CO_2/kg$）

C：炭素含有率（%）［28.5%］

注）1.炭素含有率は、「平成 28 年度ごみ性状調査」の結果を基に算出した。
2.二酸化炭素の分子量(44)／炭素の分子量(12)を乗じたことにより二酸化炭素の量に換算している。

表 8.12-1 温室効果ガス排出係数

区 分	原単位（排出係数）
一般廃棄物の焼却	1.05 $kg\text{-}CO_2/kg$

8.12.2 東京 23 区内の清掃工場におけるごみ処理量及び発電量

（1） 東京 23 区内清掃工場のごみ処理量及び発電量

平成28年度における東京23区内清掃工場のごみ処理量及び発電量は、表8.12-2に示すとおりである。

表 8.12-2 東京23区内の清掃工場におけるごみ処理量及び発電量（平成28年度）

工場名	ごみ処理量 (t/年)	発電量 (kWh/年)	工場名	ごみ処理量 (t/年)	発電量 (kWh/年)
中央	150,174.94	79,004,460	千歳	147,243.26	70,509,530
港	209,740.07	99,405,830	渋谷	48,752.32	21,942,710
墨田	129,815.93	58,276,580	豊島	97,172.93	37,797,620
新江東	422,303.04	172,111,380	北	124,474.96	47,536,500
有明	105,085.12	17,838,851	板橋	131,549.17	73,343,910
品川	152,423.41	70,705,110	練馬	133,394.56	76,049,000
目黒	104,876.85	37,963,410	足立	160,483.92	80,934,900
大田(新)	166,597.79	88,501,500	葛飾	128,734.15	59,250,500
多摩川	73,448.67	36,319,890	江戸川	137,491.92	50,029,220
世田谷	73,863.00	33,939,610			

注１）発電量とはごみ焼却によって発生した廃熱を利用した発電量を示す。太陽光発電、風力発電、その他（保安動力発電機等）で発電した発電量は含まない。
注２）目黒清掃工場は平成 29 年２月から建替工事のため稼働を停止している。
資料）「清掃事業年報（東京二十三区）平成 28 年度」（平成 29 年８月、清掃一組）

8.12.3 予測

（1） エネルギー消費量、ごみ焼却量

施設の稼働に伴う、エネルギー（電力、都市ガス）使用量及びごみ焼却量は、表 8.12-3に示すとおりである。

表 8.12-3 エネルギー（電力、都市ガス）使用量及びごみ焼却量

区 分	数 量
電力使用量	29,351,644 kWh/年
都市ガス使用量（助燃バーナー）	75,010 m^3/年
ごみ焼却量	169,800 t /年

注１）電力使用量は、過去５年間（平成 24 年度から 28 年度）のうち、ごみ焼却量が最も多かった平成 24 年度の実績を基に、焼却量の比を乗じて計算した。
電力使用量＝電力使用量（平成 24 年度）×計画ごみ焼却量÷ごみ焼却量（平成 24 年度）
注２）助燃バーナーは焼却炉の立ち上げ・立ち下げ等に用いるものである。都市ガス使用量は、過去５年間（平成 24 年度から 28 年度）のうち、ごみ焼却量が最も多かった平成 24 年度の実績を用いた。
注３）ごみ焼却量は、定格処理能力で計画年間稼働日数 283 日（「一般廃棄物処理基本計画」（平成 27 年２月、清掃一組）による）稼働した場合の焼却量である。

（2） エネルギー発生量

計画施設において、温室効果ガスの削減に寄与するエネルギー発生量は、表 8.12-4に示すとおりである。

また、太陽光発電量の算定結果は、表 8.12-5に示すとおりである。

表 8.12-4 エネルギー発生量

区 分	エネルギー発生量
ごみ発電量	10,694 万 kWh/年
太陽光発電量	8.0 万 kWh/年
余熱利用量	1,887 GJ/年（外部給熱）

注１）ごみ発電量の算出は以下のとおりである。
ごみ発電量＝ごみ焼却量×ごみ発熱量×発電効率
＝169,800（t/年）×1,000（t→kg 変換）×10,545kJ/kg×21.5％÷3,600（J→Wh 変換）
≒10,694 万 kWh/年
※1 ごみ発熱量は、江戸川清掃工場で実施されたごみ性状調査結果（平成 28 年度）の低位発熱量を用いた。
※2 発電効率は、「エネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアル」（平成 26 年３月（平成 30 年３月改訂）、環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課）における交付金の交付要件（施設規模が 450 超 600t/日以下の施設における満足すべき発電効率）とした。
注２）余熱利用量は、既存施設における過去５年間（平成 24 年度から平成 28 年度）の実績値の平均とした。

表 8.12-5　太陽光発電量の算定結果

項　目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月平均気温 T_{AV}	℃	5.7	6.1	8.8	13.6	17.7	20.9	24.4	26.3	23.0	17.9	12.9	8.3	－
温度補正係数 K_{PT} 注2)	－	1.00	1.00	0.99	0.97	0.95	0.94	0.92	0.91	0.93	0.95	0.97	0.99	－
月別総合設計係数 K 注3)	－	0.76	0.76	0.75	0.73	0.72	0.71	0.70	0.69	0.70	0.72	0.73	0.75	－
月積算水平面日射量 H_{Am}	kWh/m²	77	87	109	126	140	115	137	130	91	84	70	69	1,236
月間発電電力量 注4)	kWh	5,292	5,961	7,347	8,276	9,069	7,292	8,567	8,083	5,749	5,445	4,612	4,685	80,379

注１）計算条件　定格出力 P_{AS}：90kW、設置面積：900m²、平均気温：アメダス江戸川臨海観測所 1981 年～2010 年平年値データ（気象庁 HP）、月積算水平面日射量：年間時別日射量データベース（METPV-11）（平成 29 年８月閲覧、NEDO）

注２）$K_{PT}=1+\alpha_{Pmax}(T_{CR}-25)/100$　ただし、最大出力温度係数 α_{Pmax}:-0.45、加重平均太陽電池モジュール温度 $T_{CR}=T_{AV}+18.4$(℃)

注３）$K=K_{PT}\times K_{HD}\times K_{PD}\times K_{PM}\times K_{PA}\times \eta_{INO}$　ただし、日射量年変動補正係数 K_{HD}:0.97、経時変化補正係数 K_{PD}:0.95、アレイ負荷整合補正係数 K_{PM}=0.94、アレイ回路補正係数 K_{PA}=0.97、インバータ実行効率 η_{INO}=0.90

注４）月間発電電力量$=K\times P_{AS}\times H_{Am}/G_S$　ただし、標準試験条件における日射強度 G_S=1,000(W/m²)

注５）各係数及び計算方法は、JIS C 8907（2005 年）太陽光発電システムの発電電力量推定方法による。

（３） 予測結果

温室効果ガス排出量の算出方法は、以下のとおりである。

電力の使用、都市ガスの燃焼、外部給熱は、「総量削減義務と排出量取引制度における特定温室効果ガス排出量算定ガイドライン」（平成29年４月、東京都環境局）で記載されている原単位を用いた。

また、一般廃棄物の焼却のCO_2原単位は、「平成28年度ごみ性状調査」の結果を基に推計し、それ以外の原単位は、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer. 4.3.1」（平成29年７月、環境省・経済産業省）で記載されている原単位を用いた。

ア　電力使用に伴う温室効果ガスの発生量
＝電力使用量×機器の稼働等に伴う電気の原単位（0.000489t-CO_2/kWh）

イ　発電に伴う温室効果ガスの削減量
＝発電量×電気の原単位（0.000489t-CO_2/kWh）

ウ　都市ガスの使用（助燃バーナー）に伴う温室効果ガスの発生量
＝都市ガス使用量（助燃バーナー）×焼却炉の稼働に伴う都市ガスの燃焼の原単位（0.00224t-CO_2/m³N）

エ　ごみ焼却に伴う温室効果ガスの発生量：CO_2
＝ごみ焼却量×一般廃棄物の焼却の原単位（1.05kg-CO_2/kg）

オ　ごみ焼却に伴う温室効果ガスの発生量：CH_4
＝ごみ焼却量×一般廃棄物の焼却の原単位（0.00000095t-CH_4/t）
×地球温暖化係数（25）

カ　ごみ焼却に伴う温室効果ガスの発生量：N_2O
＝ごみ焼却量×一般廃棄物の焼却の原単位（0.0000567t-N_2O/t）
×地球温暖化係数（298）

キ　外部熱供給に伴う温室効果ガスの削減量
＝外部熱供給量×熱（蒸気、温水及び冷水）の原単位（0.060t-CO_2/GJ）

8.12.4 計画施設と既存施設との温室効果ガス総排出量の比較（参考）

参考として、計画施設と既存施設におけるごみ焼却量を同一条件とした場合の温室効果ガス排出量について比較した。比較結果は、表 8.12-6に示すとおりである。

なお、ごみ焼却量は、既存施設の過去５年間（平成24年度から平成28年度まで）の最大焼却量（平成24年度）144,326t/年として比較した。

計画施設の温室効果ガス総排出量は約12.2万t-CO_2/年、既存施設の温室効果ガス総排出量は約14.1万t-CO_2/年であり、計画施設の方が約1.9万t-CO_2/年少ない。これは、計画施設ではタービンの発電効率が高くなることや、太陽光発電の導入により温室効果ガスの削減量が多くなるためである。

東京都環境影響評価技術指針では「二酸化炭素については、木材、厨芥類等のバイオマス起源のものを含む」としている。表 8.12-6に示す温室効果ガス排出量は、東京都環境影響評価技術指針に基づき算出したものである。

なお、清掃工場の温室効果ガス排出量は、「地球温暖化対策の推進に関する法律（平成20年法律第67号）」により環境省に毎年報告しているが、一般廃棄物の焼却に伴うCO_2排出については、ごみ中のプラスチック及び合成繊維のみを対象としており、表8.12-6と算出方法が異なる。

表 8.12-6　計画施設と既存施設における温室効果ガス排出量（参考）

項目		計画施設	既存施設	単位
ごみ焼却量 エネルギー使用量 エネルギー発生量	ごみ焼却量	144,326	144,326	t/年
	電力使用量	24,948,206	24,948,206	kWh/年
	都市ガス使用量	75,010	75,010	m^3/年
	ごみ発電量	90,892,306	51,198,590	kWh/年
	太陽光発電量	80,379	－	kWh/年
	余熱利用量	1,887	1,885	GJ/年
温室効果ガス排出量	ごみ焼却(CO_2)	151,542	151,542	t-CO_2/年
	ごみ焼却(CH_4)	3.4	3.4	
	ごみ焼却(N_2O)	2,439	2,439	
	電力使用	12,200	12,200	
	都市ガス使用	168	168	
	排出量合計	**166,352**	**166,352**	
温室効果ガス削減量	ごみ発電	44,446	25,036	t-CO_2/年
	太陽光発電	39	－	
	余熱利用	113	113	
	削減量合計	**44,598**	**25,149**	
温室効果ガス総排出量 （排出量－削減量）		**121,754**	**141,203**	t-CO_2/年

注１）既存施設のごみ焼却量・エネルギー使用量及び発生量は、平成 24 年度の実績値である。
注２）計画施設の電力使用量とごみ発電量は、表 8.12-3、表 8.12-4 に記載の数値を基に、焼却量の比を按分して算出した。
注３）計画施設の太陽光発電量、余熱利用量は、表 8.12-4 に記載の数値とした。

8.12.5　廃棄物処理部門における温室効果ガス排出抑制等指針マニュアルに基づく温室効果ガス排出量（参考）

廃棄物処理部門における温室効果ガス排出抑制等指針マニュアル（2012年３月、環境省）（以下「指針マニュアル」という。）では、一般廃棄物処理施設における処理量当たりの温室効果ガス排出量の目安を定めている。指針マニュアルに基づく温室効果ガス排出量は、ごみ焼却に由来するCO_2排出量は木材、厨芥類等のバイオマス起源のものを除くなど、東京都環境影響評価制度とは算出方法が異なるが、参考として、指針マニュアルに基づく温室効果ガス排出量を予測した。予測結果は、表 8.12-7に示すとおりである。

なお、予測結果は、指針マニュアルに定める目安を下回った。

表 8.12-7 廃棄物処理部門における温室効果ガス排出抑制等指針マニュアルに基づく温室効果ガス排出量（参考）

項目		計画施設	単位
ごみ焼却量 エネルギー使用量 エネルギー発生量	ごみ焼却量	169,800	t/年
	受電電力量[注1]	1,057,356	kWh/年
	都市ガス使用量	75,010	m^3/年
	売電量[注2]	78,725,712	kWh/年
	余熱利用量	1,887	GJ/年
ごみ組成[注3] （乾燥ベース）	水分	38.94	%
	プラスチック類	22.43	%
	繊維 （うち合成繊維）	10.72 (53.2)	%
	バイオマス比率	52.2	%
温室効果ガス排出量	エネルギー使用及び熱回収に係る CO_2[注4]	-131 (-22,161)	kg-CO_2/t-焼却ごみ (t-CO_2/年)
	廃プラスチック類等の焼却に由来する CO_2[注5]	469 (79,621)	
	排出量合計	**338** **(57,460)**	
指針マニュアルに定める目安[注6] （処理能力：600t/日）		473	kg-CO_2/t-焼却ごみ

注１）受電電力量は、過去５年間（平成 24 年度から 28 年度）のうち、ごみ焼却量が最も多かった平成 24 年度の実績を基に、焼却量の比を乗じて計算した。

注２）売電量＝ごみ発電量＋太陽光発電量＋受電電力量－電力使用量
※ごみ発電量及び太陽光発電量は表 8.12-4、電力使用量は表 8.12-3 の値を用いた。

注３）繊維のうち合成繊維の割合は「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.4.3.2」（平成 30 年６月、環境省・経済産業省）の値、それ以外は「平成 28 年度ごみ性状調査」の結果を用いた。

注４）エネルギー使用及び熱回収に係る CO_2＝(電気使用に由来する CO_2＋都市ガス使用に由来する CO_2
－ごみ発電による CO_2削減量－余熱利用による CO_2削減量)÷ごみ焼却量
電気使用に由来する CO_2＝受電電力量×電力の CO_2排出係数(0.000555t-CO_2/kWh)
都市ガス使用に由来する CO_2＝都市ガス使用量×都市ガスの CO_2排出係数(0.00223t-CO_2/Nm^3)
ごみ発電による CO_2削減量＝売電量×バイオマス比率×電力の CO_2排出係数(0.000555t-CO_2/kWh)
余熱利用による CO_2削減量＝余熱利用量×バイオマス比率×熱利用の CO_2排出係数(0.057t-CO_2/kWh)

注５）廃プラスチック類等の焼却に由来する CO_2＝ごみ中の非水分量×廃プラスチック類等の組成割合×
廃プラスチック類等の CO_2排出係数(2730kg-CO_2/t-廃プラスチック類等)
※廃プラスチック類等とは、一般廃棄物中のプラスチック類及び合成繊維を示す。

注６）指針マニュアルに定める目安＝エネルギー使用及び熱回収に係る CO_2排出量(目安)
＋廃プラスチック類等の焼却に由来する CO_2(目安)
エネルギー使用及び熱回収に係る CO_2排出量(目安)＝－240×log(処理能力(600t/日))＋820
廃プラスチック類等の焼却に由来する CO_2(目安)＝320

注７）温室効果ガス排出量の予測に当たっては、指針マニュアルの排出係数を用いた。

注８）温室効果ガス排出量欄の()は、１年間の CO_2排出量を示す。

写 真 集

（1） 大気質

●一般環境大気質（夏季）





江戸川清掃工場　地点Ａ（風向風速計は、通年観測）



南篠崎小学校　地点Ｂ



第七中学校　地点Ｃ



福栄中学校　地点Ｄ



瑞江小学校　地点Ｅ

●一般環境大気質（秋季）



江戸川清掃工場　地点Ａ



南篠崎小学校　地点Ｂ



第七中学校　地点Ｃ



福栄中学校　地点Ｄ



瑞江小学校　地点Ｅ

●一般環境大気質（冬季）



江戸川清掃工場　地点Ａ



南篠崎小学校　地点Ｂ



第七中学校　地点Ｃ



福栄中学校　地点Ｄ



瑞江小学校　地点Ｅ

●一般環境大気質（春季）



江戸川清掃工場　地点Ａ



南篠崎小学校　地点Ｂ



第七中学校　地点Ｃ



福栄中学校　地点Ｄ



瑞江小学校　地点Ｅ

●高層気象





夏季　江戸川清掃工場





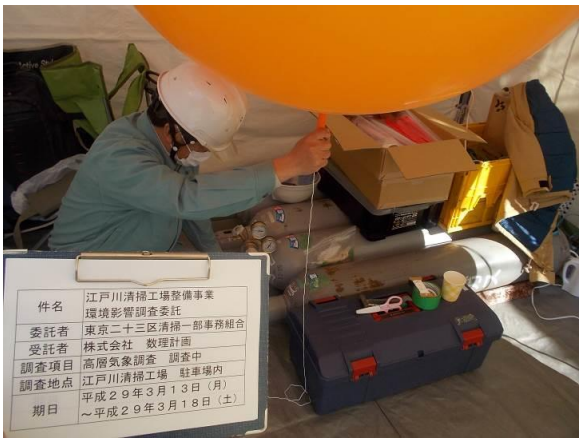
秋季　江戸川清掃工場





冬季　江戸川清掃工場


件名
江戸川清掃工場整備事業
環境影響調査委託
委託者
東京二十三区清掃一部事務組合
受託者
株式会社　数理計画
調査項目
高層気象調査　調査中
調査地点
江戸川清掃工場　駐車場内
期日
平成２９年３月１３日（月）
～平成２９年３月１８日（土）


件名
江戸川清掃工場整備事業
環境影響調査委託
委託者
東京二十三区清掃一部事務組合
受託者
株式会社　数理計画
調査項目
高層気象調査　調査中
調査地点
江戸川清掃工場　駐車場内
期日
平成２９年３月１３日（月）
～平成２９年３月１８日（土）

春季　江戸川清掃工場

●道路沿道大気質（秋季）



江戸川小学校前　地点１



そよかぜひろば前　地点２



下鎌田東小学校前　地点３



篠崎街道　地点４



柴又街道　地点５

●道路沿道大気質（冬季）



江戸川小学校前　地点１



そよかぜひろば前　地点２



下鎌田東小学校前　地点３



篠崎街道　地点４



柴又街道　地点５

●道路沿道大気質（春季）



江戸川小学校前　地点１



そよかぜひろば前　地点２



下鎌田東小学校前　地点３



篠崎街道　地点４



柴又街道　地点５

●道路沿道大気質（夏季）



江戸川小学校前　地点１



そよかぜひろば前　地点２



下鎌田東小学校前　地点３



篠崎街道　地点４



柴又街道　地点５

（２） 悪臭



敷地境界北側　地点①



敷地境界東側　地点②



敷地境界南側　地点③



敷地境界西側　地点④

（３） 騒音・振動

●環境騒音・振動調査



敷地境界北側　地点①



敷地境界東側　地点②



敷地境界南側　地点③



敷地境界西側　地点④

●道路交通騒音・道路交通振動調査



江戸川小学校付近　地点１



そよかぜひろば西　地点２



下鎌田東小学校前　地点３

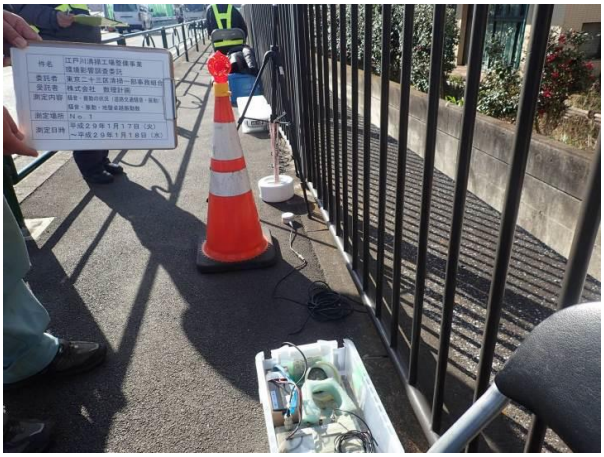


篠崎街道　地点４



柴又街道　地点５

●地盤卓越振動調査



江戸川小学校付近　地点１



そよかぜひろば西　地点２



下鎌田東小学校前　地点３



篠崎街道　地点４



柴又街道　地点５

（4） 低周波音

●工場停止時



地点 1



地点 2



地点 3



地点 4



地点 5



地点 6



地点７



地点８



地点９



地点 10

●工場稼働時



地点１



地点２



地点３



地点４



地点５



地点６



地点７



地点８



地点９



地点 10

（５） 土壌汚染

●土壌調査



地点１



地点２



地点３



地点４



地点５



地点６



地点 7



地点 8



地点 9



地点 10



地点 11



地点 12



地点 13



地点 14



地点 15



地点 16



地点 17



地点 18



地点 19



地点 20



地点 21



地点 22



地点 23



地点 24



地点 25



地点 26



地点 27



地点 28



地点 29



地点 30

（６） 地盤・水循環

●ボーリング調査



地点①-A



地点②



地点③



地点④

●地下水位調査



地点①-A（被圧地下水）



地点①-B（不圧地下水）



地点②（被圧地下水）



地点②（不圧地下水）



地点③（被圧地下水）



地点③（不圧地下水）



地点④（被圧地下水）



地点④（不圧地下水）

（７） 交通量

●断面交通量



江戸川小学校付近　地点１



そよかぜひろば西　地点２



下鎌田東小学校前　地点３



篠崎街道　地点４



柴又街道　地点５

令和元年７月発行

印　刷　物　登　録
令和元年度 第２号

環境影響評価書

－江戸川清掃工場建替事業－
資料編

編集・発行　東京二十三区清掃一部事務組合　建設部
東京都千代田区飯田橋三丁目５番１号　東京区政会館１２階
電話番号　０３（６２３８）０９１５

印　　刷　協和綜合印刷株式会社
東京都江東区大島七丁目３７番２号
電話番号　０３（３６８５）６４１１

再生紙を使用しています。